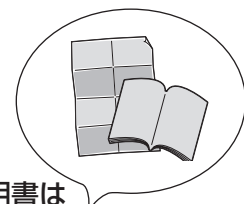
SHARP

取扱説明書

ブルーレイディスクレコーダー

形名 BD-HDW32（ビー ディー エイチ ディー ダブル）
BD-HDW35
BD-HDW40

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」（→ **9** ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。
- 製造番号は、品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記入されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

取扱説明書は本書のほかに、2冊あります。
- 「接続･設定ガイド」
- 「かんたん!!ガイド」

目的別早見もくじ

● ご使用の前に、「**安全にお使いいただくために**」（→ **9** ページ）を必ずお読みください。

ご自分で接続・設定を行う

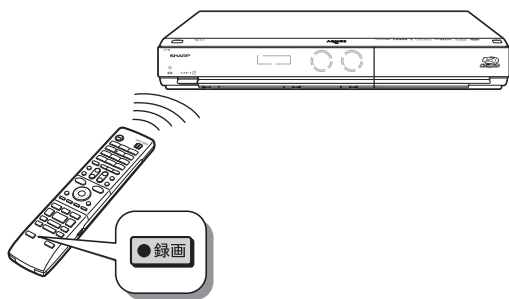
・アンテナ線の接続やテレビとの接続は

基本的な操作をテレビ画面で確かめる

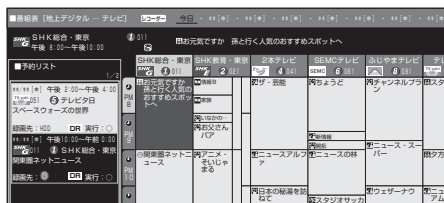
Help

・基本的な録画や再生、予約録画などの操作方法をテレビ画面で確認できます。

録画を行う

・録画したい番組を選局して、録画ボタンを押すだけで録画できます。

※ BDやDVDディスクへの直接録画は行えません。

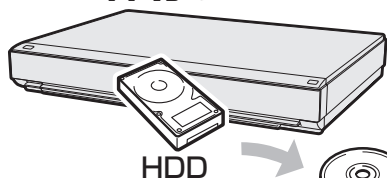
予約録画を行う

・デジタル放送は、電子番組表を使って予約できます。

※ BDやDVDディスクへの予約録画は行えません。

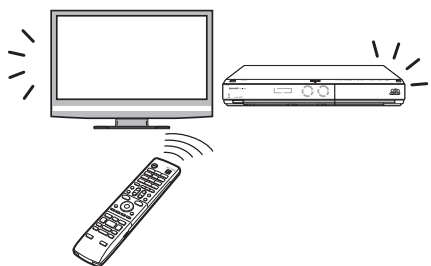
録画した番組を再生する

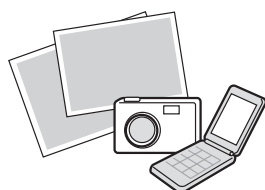
・録画した番組の再生や市販のBDビデオやDVDビデオの再生ができます。再生中の便利機能も試してみましょう。

一発ニュース･天気番組再生機能をご使用のときは、あらかじめ録画設定を行います。（→**88**ページ）

HDD（ハードディスク）に録画した番組をBDやDVDに保存する

※ BDやDVDからHDD（ハードディスク）にはダビングできません。
AVCHD記録方式のDVDからは、ダビングできます。

ファミリンクで便利に使う

・シャープ製のファミリンク対応テレビ「アクオス」と本機をHDMIケーブルを使って接続することにより、テレビと本機を連動させて操作が行えます。

※ ファミリンクの操作については、別冊の「かんたん!!ガイド」もご覧ください。

携帯電話、AVCHD方式のデジタルビデオカメラ、デジタルスチルカメラ、などとつなぐ

※ BDに写真をコピーすることはできません。

操作ができないときは

DVD/BDサポートステーションの「Q&A情報」もご覧ください。 ⇒ http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/index.html

・取扱説明書では、「ブルーレイディスクレコーダー BD-HDW32/BD-HDW35/BD-HDW40」を「本機」と表現しています。
・取扱説明書では、「ブルーレイディスク」を「BD」と表現しています。
・取扱説明書に掲載しているイラストは説明のため簡略化していますので、実際のものとは多少異なります。
・取扱説明書の操作説明は、おもにリモコンを使って説明しています。

もくじ

まずは　別冊「接続・設定ガイド」で基本的な接続
別冊「かんたん!! ガイド」で基本的な操作
さらに詳しくは　本書「取扱説明書」

はじめに

確認する

基本の使いかた

接続と設定 ご自分で接続するときはここからお読みください。

接続・準備する

初期設定する

チャンネルなどを設定する

使ってみよう

番組を見る

録画する・予約録画する

再生する・タイトルを消去する

使ってみよう（つづき）

ファミリンクで便利に使う

デジタルスチルカメラ、ビデオカメラ、携帯電話を使って楽しむ

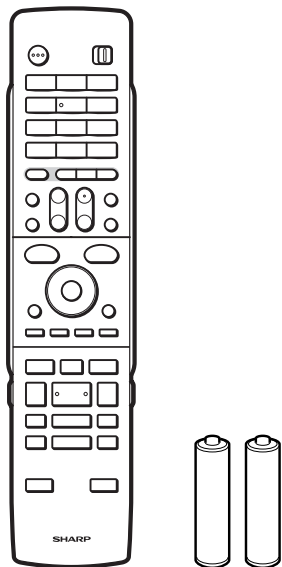
録画や再生などの設定をする　各種設定

困ったときは

付属品

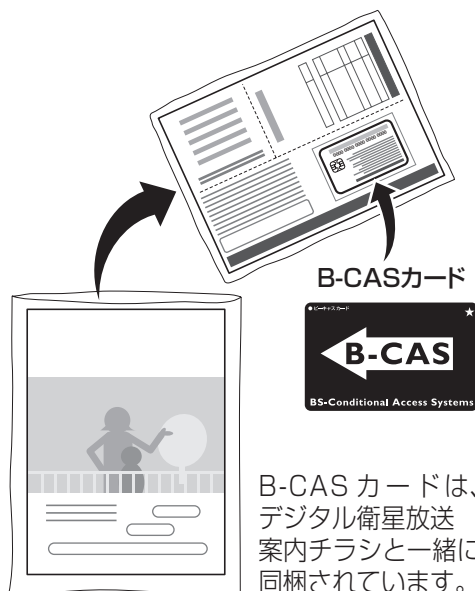
付属品

• 箱を開けて、本機とつぎの付属品がそろっているか確認してください。
• B-CASカードは開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

リモコン× 1 個、
単 3 形乾電池× 2 個

使いかたは **22** ～ **24** ページ

・電池を交換する際は、アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

B-CAS（ビーキャス）カード× 1 枚

B-CAS カードは、デジタル衛星放送案内チラシと一緒に同梱されています。

（B-CAS カードユーザー登録はがき、B-CAS カード使用許諾契約約款付き）

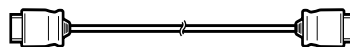
地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの各放送を見るには、B-CASカードを本機にセットしてください。

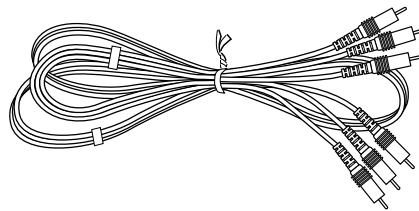
使いかたは **221** ～ **222** ページ

電源コード（約 2m）× 1 本

注意：
本製品以外にこの電源コードは、使用しないでください。

使いかたは **223** ページ

HDMI ケーブル（HIGH SPEED（カテゴリー 2）／約 2m）× 1 本

使いかたは**205**、**211**、**215**～**220**ページ

映像・音声コード（約 1m20cm）× 1 本

使いかたは**200**、**202**、**204**、**206**、**207**ページ

アンテナケーブル（約 2m）× 1 本
（両側 F 接栓ケーブル）

使いかたは **199** ～ **203**、**210** ページ

取扱説明書

・取扱説明書（本書）※
・接続・設定ガイド※
・かんたん !! ガイド※

※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

保証書

本機の保証書は、本機の梱包箱に貼り付けています。

安全にお使いいただくために

●「安全にお使いいただくために」はお使いになる前に必ず読み、正しく安全にご使用ください。

●この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告　人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 注意　人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

気をつける必要があることを表しています。

してはいけないことを表しています。

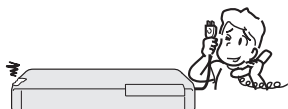
しなければならないことを表しています。

警告

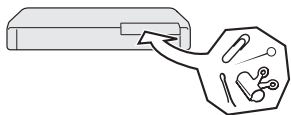
煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のときは電源プラグを抜く

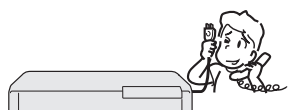
・異常状態のまま使用すると、火災·感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

電源プラグを抜く

・本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

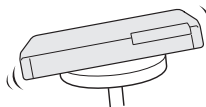
内部に物や水などを入れない

・本機の開口部（通風孔やディスクトレイ開閉口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

・異物や水が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

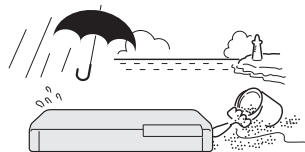
不安定な場所に置かない

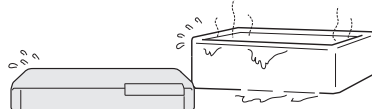
・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

禁止

本機の上には花びん、水などの入った容器を置かない

・水がこぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

・水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

・風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

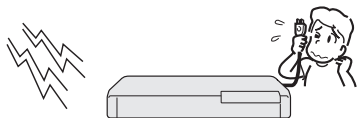
表示された電源電圧で使用する

・表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

100V 使用

⚠警告

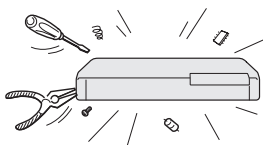
雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れない

・感電の原因となります。

接触禁止

キャビネットは絶対に開けない

・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

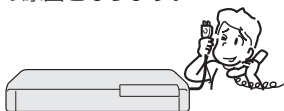
分解禁止

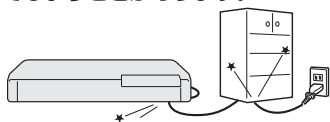
・本機を分解したり改造したりしないでください。発熱・発火・感電・けがの原因となります。またレーザー光が目に当たると視力障害を起こす原因となります。

分解禁止
禁止

電源コードを破損するようなことはしない

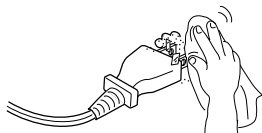
・電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードが破損して火災・感電の原因となります。

禁止

・電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

交換を依頼する

・電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

禁止

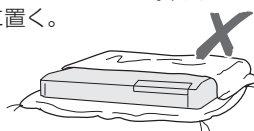
電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は乾いた布で取り除く

・そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

ほこりを取る

⚠注意

本機の通風孔をふさがない

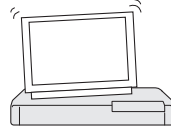
・通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
  ・本機を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
  ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置く。

禁止

  ・あお向けや横倒し、逆さまにする。（動作姿勢水平）

重いものを置かない

・本機に乗らないでください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

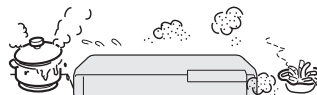
禁止

・本機の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

禁止

・ディスクトレイの上にものを置かないでください。

禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

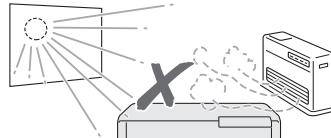
・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁止

冷気が直接吹き付ける所や極端に寒い所には置かない

・つゆがつき、漏電、焼損、故障や事故の原因となることがあります。

注意

直射日光の当たる場所や温度の高い場所に置かない

・内部の温度が上がり、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

⚠注意

電源コードを熱器具に近づけない

• コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

移動させるときは必ず接続コードを外す

• 移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線や機器間の接続コードなど外部の接続コードを外したことを確認の上、行ってください。接続したまま持ち運ぶとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
またディスクは取り出しておいてください。

電源プラグを抜く

• 移動させるときは、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。けがや故障の原因となることがあります。

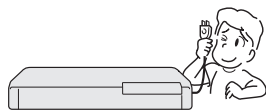
禁止

お手入れのときは電源プラグを抜く

• 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

テレビ、オーディオ機器などに接続するときは、本機の電源プラグをコンセントから抜く

• 電源を入れたまま接続すると、感電やけがの原因となることがあります。

電源プラグを抜く

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

• コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

• 感電の原因となることがあります。

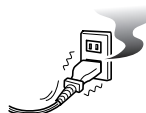
ぬれ手禁止

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

• 差し込みが不完全なときは、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
• 金属の部分にふれると感電の原因となることがあります。

確実に差し込む

電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるときはコンセントに接続しない

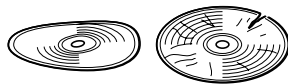
• 発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

ディスクトレイ開閉口に手を入れない

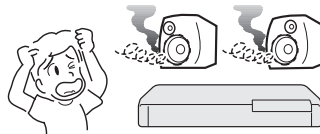
• 小さなお子さまがディスクトレイ開閉口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

指のケガに注意

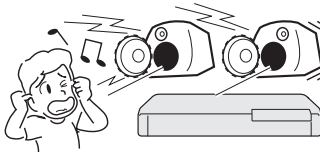
ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

• 飛び散ってけがの原因となることがあります。

禁止

長時間、音が歪んだ状態で使わない

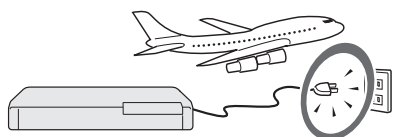
• スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源を入れる前にはテレビやアンプの音量を最小にする

• 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

音量を小さく

⚠ 注意

旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

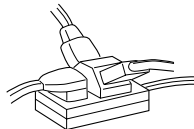
・安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

3年に一度くらいは本機内部の清掃を販売店に依頼する

・本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、販売店などにご相談ください。

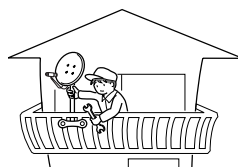
注意

タコ足配線をしない

・感電・火災の原因となることがあります。

禁止

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、電気工事店などにご相談ください

・送配電線から離れたところに設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

アンテナは強風の影響を受けやすいので、堅固に取り付け設置してください。

ご相談ください

電池についての安全上のご注意

液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池は幼児の手の届く所に置かない

・電池は飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

禁止

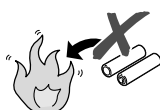
電池の液が漏れたときは素手でさわらない

・電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。

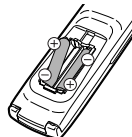
・皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など障害の症状があるときは、医師に相談してください。

禁止

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

・電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

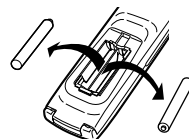
・間違えると電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

表示どおりに入れる

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

・電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

・電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ故障、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を取り出す

使用上のご注意

重要 必ずお読みください

■ **大切な録画の場合は** …… 事前に試し録りをするなど、機器が正常に働くことを確認してから行ってください。大切な映像はHDD（ハードディスク）に録画したままではなく、BDやDVD（DVD-RW/-R）ディスクにダビング保存（バックアップ）しておくことをおすすめします。

■ **録画（録音）内容の補償はできません** …… 万一何らかの原因で本機が故障し、データが消失した場合、または不具合により録画・録音されなかった場合の録画・録音内容の補償はできません。ご容赦ください。

■ **著作権について** ……
・本機で録画・録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。私的目的で録画したものでも、著作権者等に無断で販売したり、インターネット上で公衆に送信したり、営利目的で放映すると著作権侵害となります。
・著作権保護のための信号が記録されている放送番組の録画・録音はできません。

■ **録画防止機能について** …… 本機は、複製防止機能（コピーガード）を搭載しており、著作権などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。

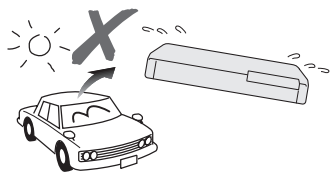
■ **保証について** …… 本機を分解しますと、保証が無効になります。

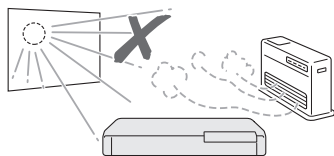
■ **再生の制限について** …… 本機は、無許諾のディスク（海賊版など）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。

免責事項

• お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

高温の場所で使用しないでください

• 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。本機およびディスクの周囲が高温状態にならないよう十分ご注意ください。

• 発熱する機器の上には本機を置かないでください。

• 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

雨天・降雪中でのご使用の場合は

• 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機を濡らさないようにご注意ください。

本体後面のファンや通風孔をふさがないでください

• 本体を設置する際は、本体後面のファンや通風孔をふさがないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。特にテレビ台やAVラック等に収納して設置するときはご注意ください。

• 毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

ほこりや煙を避けてください

• 不安定な場所や振動の多い場所やほこり・タバコの煙の多い場所には置かないでください。故障や事故の原因になります。

設置するときは水平に置いてください

• 立てて置いたり、逆さまにするなどしたときは故障の原因となります。

本機の上には物を乗せないでください

• 本機の上に十分なスペースがとれる場所に、設置してください。

• 本機の上に、物を置かないでください。画面にノイズが出たり、キャビネットに傷がつく、キャビネットが変形するなど故障の原因となります。

• ディスクトレイの上に物を置かないでください。

取扱いはていねいに

• 落下させたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。持ち運びや移動の際にもご注意ください。

引っ越しや輸送のときは

• ディスクを取り出してから梱包してください。
また、ふだんご使用にならないときも、ディスクを取り出してから、電源を切ってください。

接続機器について

• 本機に接続して使用する機器の取扱説明書に記載されている「使用上のご注意」もよくご覧ください。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

• ディスクのメニューや本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビでは残像現象（画像の焼きつき）が起こりやすいのでご注意ください。

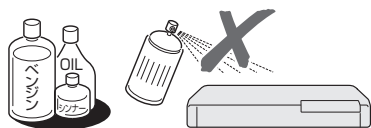
使用温度について

• 室温が 5℃～ 35℃の状態でご使用ください。室温の温度変化は、1 時間あたりの温度変化を 10℃以内に保つことをおすすめします。寒冷地区でのご使用の場合は、特につゆつきにご注意ください。

結露（つゆつき）について

• 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

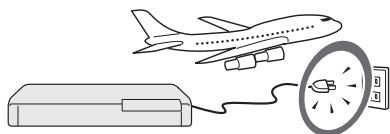
キャビネットのお手入れについて

• キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

• キャビネットやリモコンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品・合成皮革などを長時間接触させたままにしないでください。塗料がはげるなどの原因となります。

• ステッカーやテープなどを貼らないでください。キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

• キャビネットや操作パネル部分の汚れはネルなど柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。
強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。

節電について

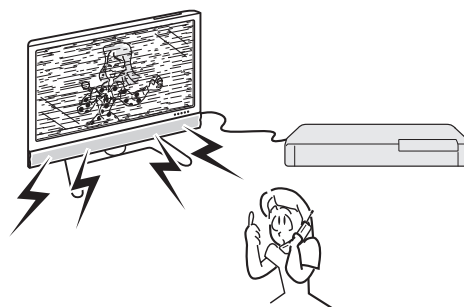
• 使い終わった後は電源を切り、節電に心掛けましょう。また旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。

長期間ご使用にならないとき

• 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

磁気について

• 本機に磁石、電気時計、磁石を使用した機器やおもちゃなど磁気を持っているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて、画面の色が乱れたり、ゆれたり、大切な記録が損なわれたりすることがあります。

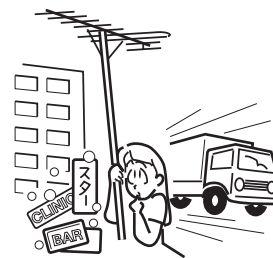
電磁波妨害について

• 本機の近くで、携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより、再生時や録画時に映像が乱れたり、雑音が発生することがあります。

アンテナについて

• 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。

• アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。

• BS・CS アンテナ用のケーブルは、必ず専用品を使用してください。

• アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、電気工事店などにご相談ください。

B-CAS カードは必要なときだけ抜き差しする

• 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。

• B-CAS カードの中には IC（集積回路）が内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れないようご注意ください。

• 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」とならないよう、方向に注意して確実に差し込んでください。

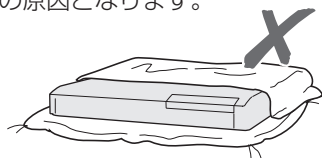
国外では使用できません

• 本機が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本機の取り扱いに関するご注意とお知らせ

設置時のお願い

・本体後面にある冷却ファンや通風孔をふさがないでください。
冷却ファンや通風孔をふさぐと放熱の妨げとなり、故障の原因となります。

キャビネットについて

・本機をご使用中、使用環境によっては本体（キャビネット）の温度が若干高くなりますが故障ではありません。安心してお使いください。
・「本体設定」の「アンテナ設定」で「電源・受信強度表示」の「BS・CSアンテナ電源」を「オート」または「入」に設定している場合は、本機の電源を切っても本体やキャビネットが多少温かくなります。
・使用上のご注意（→ **13** ～ **14** ページ）もご覧ください。

使用前に必ず設定をしてください

・接続（→ **198** ～ **220** ページ）と準備（→ **221** ～ **223** ページ）が終わったら、必ず初期設定（→ **225** ～ **233** ページ）を行ってください。設定を行わないと、本機の操作が行えません。
・後から設定し直すときは以下のページをご覧になり、必要な設定を行ってください。
　・「初期設定をやり直す」（→ **233** ページ）
　・「地上アナログ放送のチャンネル設定をする」（→ **242** ～ **249** ページ）
　・「デジタル放送の視聴設定をする」（→ **250** ～ **261** ページ）

本機の電源について

・ダウンロードサービスによりソフトウェアの更新が行われたときは、本機の電源が自動的に入ります。
ソフトウェアの更新中は、本機前面のHDDランプとBD/DVDランプが点滅（点灯）します。
本体表示部には「DL」の表示が出ます。
・ダウンロードサービス中は、電源コードを抜いたりリセット操作を行わないでください。
・衛星からの情報をHDD（ハードディスク）に取り込むため、電源プラグは差し込んだままにしてください。
・移動などで電源プラグを抜く場合は、HDD（ハードディスク）保護のため、「クイック起動設定」（→ **235** ページ）を「しない」、地上デジタル放送の「番組表取得設定」（→ **255** ページ）を「しない」に設定してから電源を切った状態（**本体の電源ランプが赤色点灯後、約2分程度待ってから**）で行ってください。
・電源プラグをコンセントに差し込んだ直後や、停電からの復帰後は、電源を「入」にしても、システム調整のため数10秒～10分程度、動作しない場合があります。
また、テレビ画面にディスク確認中を示す表示が出たときは、ディスクの状態の確認に10分以上かかる場合があります。
・電源を入れると、冷却のため本体内部の冷却ファンが回転します。
・電源を切っていても次のような場合は内部の電源が入っているため、本体内部の冷却ファンが回転します。
　・地上デジタル放送の「番組表取得設定」（→ **255** ページ）が「する」に設定されているときは、設定された時刻に電源「切」になっていれば番組表データを取得するため約40分本体内部の電源が入った状態となります。（受信できる放送局が多いほど、番組表データの取得に時間がかかります。）
　・「クイック起動設定」（→ **235** ページ）が「する（設定1）」または「する（設定2）」に設定されているときは、電源「切」の状態からすばやく起動できるようにするため、クイック起動待機状態となります。そのため、本体内部の冷却ファンが回転します。
　・本機がB-CASカードの内容を確認しているときは、本体内部の電源が入った状態となります。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

・地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は、2006年末までに放送が開始されました。
今後も受信可能エリアは順次拡大されます。
この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送、BSアナログ放送は、2011年7月までに終了することが定められています。

アナログ放送受信チューナー内蔵の録画機器でデジタル放送を録画するには

・別売のデジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと、お手元の録画機器を接続することにより、デジタル放送を録画していただけます。ただし、録画機器の種類により、接続方法は異なります。また、録画機器により録画画質は異なります。番組によっては、著作権保護の目的により、録画や一度録画した番組のダビングができない場合があります。

HDD（ハードディスク）の取り扱いに関するご注意とお知らせ

取り扱い上のご注意

本機の設置場所や取り扱いに十分な配慮が不足しますと、次のような症状が発生します。

- HDD（ハードディスク）が故障する
- HDD（ハードディスク）に録画した内容が損なわれる
- 動作が中断する
- ノイズが記録される

上記のようなことを避けるため、以下のことを守ってください。

次のような場所には置かないでください。

- 本体後面の冷却用ファンや通風口をふさぐような狭いところ
- 本体前面の扉が開けられないようなところ
- 傾いたところ（水平に置いてください）
- 振動の激しいところ（振動や衝撃は与えないでください）
- 湿度の高いところ
- 温度差の激しいところ
  以下のような温度差の激しいところに設置すると、「つゆつき（結露）」が起こる場合があります。
  - 暖房をつけた直後。
  - 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
  - 冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。

  本機の内部につゆつきが起こったままお使いになると、HDD（ハードディスク）に傷が付いて故障の原因になります。室内の温度変化は、毎時 10℃以下に保つことをおすすめします。

  つゆがつくと
  信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

  つゆをとるには
  電源を切り、つゆがなくなるまで放置してください。そのままご使用になると、故障の原因になります。

電源が入っているときは次の点にご注意ください。

- 電源プラグをコンセントから抜かない
- 本機を設置してある場所のブレーカーを落とさない
- 本機を移動させない

本機を移動させるときは次の点にご注意ください。故障の原因になります。

- BD や DVD ディスクを取り出してください。
- 「クイック起動設定」（→ **235** ページ）と地上デジタル放送の「番組表取得設定」（→ **255** ページ）をそれぞれ「しない」に設定し、電源を切った状態で（本体の電源ランプが赤色点灯後、約 2 分程度待ってから）、接続や電源プラグを抜いてください。
- 振動や衝撃は与えないでください。

エラーメッセージが表示されたら

- 「ハードディスクにエラーが発生しました。放送視聴のみ可能です。」などのエラーメッセージが表示されたときは、HDD（ハードディスク）が故障していることがあります。
  HDD（ハードディスク）が故障した場合、ご自身で HDD（ハードディスク）を交換することはできません。
  HDD（ハードディスク）が故障しても再生が可能であれば、録画内容を BD-RE/-R や DVD-RW/-R ディスクに保存してください。その上で、お買いあげの販売店、またはシャープお客様相談センター（→ **327** ページ）にご連絡ください。
  ※ 本機をご自身で分解すると、保証が無効になります。
  ※ 録画した内容の修復はできません。
- エラーメッセージが表示されたとき、症状によっては HDD（ハードディスク）を「初期化」することで改善されることがあります。初期化のしかたについては **33** ページをご覧ください。
  ※ 初期化をすると、録画した内容は全て消去されます。大切な録画内容は、初期化をする前に BD や DVD-RW/-R ディスクに保存してから初期化をしてください。

停電になったら

- 録画中、または予約録画中に停電になると、録画中の内容が損なわれることがあります。
- 録画中、停電などにより録画停止した番組は、編集やダビングができません。録画リストに「正常に録画できませんでした。」のメッセージが表示されます。
- 再生中に停電になると、再生中の内容が損なわれることがあります。

大切な録画内容は

- パソコンと同様に、HDD(ハードディスク) は、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。
  録画 (録音) 内容の長期的な保管場所ではありません。大切な番組、残しておきたい映像は、BD-RE/-R や DVD-RW/-R ディスクにダビングして保存 (バックアップ) しておくことをおすすめします。

本機では HDD の容量の一部を、システム管理領域として使用しています。

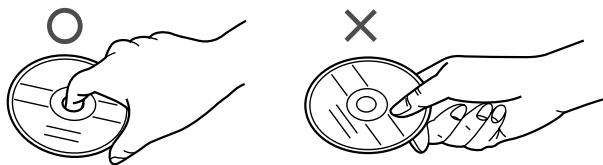
HDD の故障による録画・録音内容の損失など万一何らかの不具合により、録画・編集されなかった場合の内容の補償、録画・編集されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いません。あらかじめご了承ください。

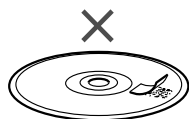
ディスク（BD・DVD・CD）の取り扱いに関するご注意とお知らせ

ディスク（BD・DVD・CD）の取り扱いはていねいに

- 記録面（再生面）には手を触れないでください。

○

×

- ディスクに紙やシールを貼らないでください。

×

ディスク（BD・DVD・CD）のお手入れについて

- ディスクについた指紋や汚れを落とすときは、柔らかい布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取るようにしてください。

○

×

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布でからぶきしてください。
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの再生で音飛びしたり、画像が乱れるときは

- レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れて見える場合があります。
  修理は、お買い上げの販売店またはシャープお客様相談センター（→ **327** ページ）にご依頼ください。

ディスク（BD・DVD・CD）の保管のしかた

- ディスクのケースに入れ、立てて保管してください。

- 直射日光の当たるところや熱器具などのそば、湿気の多いところは避けて保管してください。

- 落としたり、強い振動やショックを与えないでください。
- ほこりの多いところやカビの発生しやすいところは避けてください。

つゆつきについて

- 以下のような温度差の激しいところに設置すると、内部のピックアップレンズやディスクに「つゆつき（結露）」が起こる場合があります。
  - ・暖房をつけた直後。
  - ・湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
  - ・冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。

  つゆがつくと
  ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

  つゆをとるには
  ディスクを取り出して、電源を切り、つゆがなくなるまで放置してください。そのままご使用になると、故障の原因になります。

停電になったら

- ダビング中に停電になると、録画の内容が損なわれることがあります。また BD や DVD ディスクが使用できなくなる場合があります。

登録商標

商標・登録商標など

- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- ドルビーデジタルステレオクリエーターによって、ドルビーデジタルの目の覚めるような音質でステレオ音声のDVDビデオを作成することができるようになります。
  この技術をPCM記録の代わりに用いることで記録容量を節約することが可能となり、その結果、より高い解像度（ビットレート）の映像、または、より長い記録時間を実現することが可能になります。
  ドルビーデジタルステレオクリエーターを用いてマスタリングしたDVDは全てのDVDビデオプレーヤーで再生することが可能です。
  注：使用した記録型DVDに対してプレーヤーが互換性を持っている場合。
- Dolby、ドルビーおよびダブルD（DD）記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSはデジタルシアターシステムズ社の登録商標です。
- DTS-HD Advanced Digital Outは、デジタルシアターシステムズ社の商標です。
- Manufactured under license under U.S. Patent#'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS is a registered trademark & the DTS logos and Symbol are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2008 DTS, Inc. All Rights Reserved.
- Blu-ray Discは商標です。
- BD LIVEは、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- BONUSVIEW™は、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- DVDはDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。
- HDMI、HDMIロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- i.LINK（アイリンク）とi.LINKロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA（The Digital Transmission Licensing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー･プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。
- 本製品はAudyssey Laboratories, Incからのライセンスに基づき製造されております。米国で外国特許審議中。Audyssey Dynamic Volume ™はAudyssey Laboratories, Incの商標です。

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成

本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。
また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPLおよびLGPLも、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびにGPL、LGPLおよびその他のライセンス契約の確認方法については、以下のWEBサイトをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/source/download/index.html
（シャープGPL情報公開サイト）
なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問合わせはご遠慮ください。
また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

謝辞

本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。

· linux kernel	· glibc	· OpenSSL
· modutils	· DirectFB	· zlib

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務

本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

OpenSSL License

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org)
この製品にはOpenSSL Toolkitにおける使用のためにOpenSSLプロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

Original SSLeay License

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
この製品にはEric Youngによって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

BSD License

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
この製品にはカリフォルニア大学バークレイ校と、その寄与者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954
5,400,433	5,222,189	5,357,594
5,752,225	5,394,473	5,583,962
5,274,740	5,633,981	5,297,236
4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037
97/02875	97/02874	98/03036
5,227,788	5,285,498	5,481,614
5,592,584	5,781,888	08/039,478
08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239
5,299,240	5,197,087	5,490,170
5,264,846	5,268,685	5,375,189
5,581,654	5,548,574	5,717,821

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計したLCフォント（複製禁止）が搭載されております。LCフォント、LCFONT、エルシーフォント及びLCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。なお、一部LCフォントでないものも使用しています。

放送の種類について

地上アナログ放送

従来の放送です。録画やダビングができます。

地上デジタル放送

テレビ放送　データ放送

BSデジタル放送

テレビ放送　データ放送

110度CSデジタル放送

テレビ放送　データ放送

従来の放送よりも高画質・高音質な、デジタル放送です。
デジタルハイビジョン番組を、HDD（ハードディスク）に高品位で録画できます。ただし、録画やダビングに制限がある放送もあります。

デジタル放送の特徴

- **テレビ放送** 従来のアナログ放送にくらべて、高画質・高音質なテレビ放送が楽しめます。
- **データ放送** 静止画や文字によって、さまざまな情報を提供する放送です。

電子番組表	デジタル放送から送られてくる番組表データを表示させて、選局や録画予約などができます。
HD／SD放送	デジタル放送にはハイビジョン放送（HD放送）と、スタンダード放送（SD放送…従来画質の放送）があります。
字 幕	映画などの番組では、字幕が放送されます。
双方向サービス	クイズ番組に参加したり、アンケートに答えたりすることができます。

衛星デジタル放送の専用サービス

自動仮視聴サービスについて

・有料で提供されるBSデジタル放送または110度CSデジタル放送をご覧になる場合は、受信契約が必要です。
　ただし、放送事業者（チャンネル）によってはB-CASカードを使い始めてから一定の期間は視聴できる場合があります。
　（仮視聴期間といいます。）これは、契約促進を目的としたサービスです。
　お客様が別途に契約を行わない場合は、放送事業者の決めた仮視聴期間を過ぎますと、番組が視聴できなくなります。
　（録画もできません。）

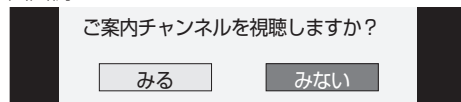
・有料放送を本機で視聴・録画するには、契約済みのB-CASカードを本機にセットしておく必要があります。
　（有料放送は、未契約の B-CAS カードでは視聴・録画が行えません。）（→**221** ～ **222** ページ）

ご案内チャンネルの表示

・お客様が未契約の有料放送を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内表示と共に、契約をご案内する番組への切換えを促す画面が表示されることがあります。

画面例

ご案内チャンネルを視聴しますか？

みる　　みない

ブックマーク

・コンテンツ画面にブックマークが表示されているときは、その情報を登録しておき、後でブックマークを一覧表示、選択して、関連チャンネルを呼び出したりすることができます。

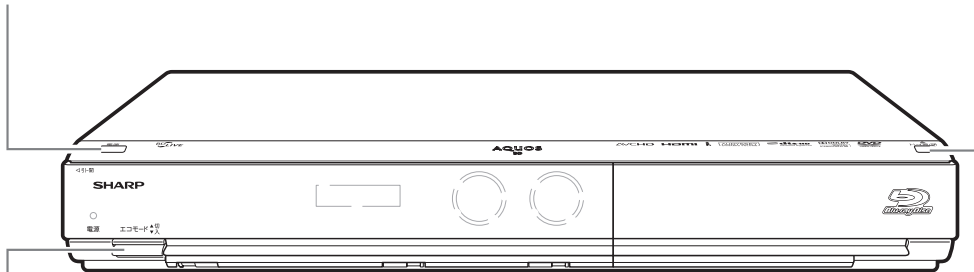
ボード（掲示板）

・プラットフォーム（スカパー!e2）単位でいろいろなサービス情報の案内がボード（掲示板）に表示されます。詳しくは**273**ページをご覧ください。

デジタル放送のコピー制御について

デジタル放送で視聴・録画できる番組には、コピー制御信号が含まれています。
コピー制御信号の種類やデジタル放送を録画できるディスクについては、**54**・**128**・**291** ページをご覧ください。

各部のなまえとおもな機能

本体前面

本体前面（ランプ）

「AQUOS純モード」について

ファミリンク対応のシャープ製テレビ「アクオス」とHDMIケーブルで接続し、ファミリンク機能を使用するための設定をしているとき（**→166～168**、**205**ページ）、本機のHDMI端子から「アクオス」に最適な画質で映像が出力される機能です。

本体前面（扉内）

IrSS※受光部（→175ページ）
・デジタルスチルカメラや携帯電話で撮った写真をIrSS（高速赤外線通信）機能で本機に転送して見ることができます。
※IrSS（高速赤外線通信）機能は一方向の赤外線通信システムです。

リモコン受光部（→24ページ）

本体表示部（→25ページ）

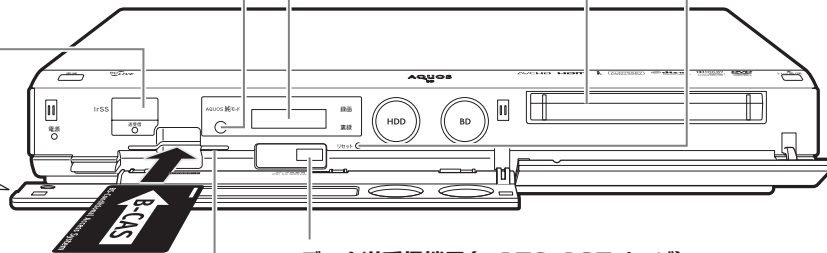
ディスクトレイ（→30ページ）

リセットボタン（→294ページ）

扉の開けかた
扉端に指をかけて、手前に引いて開けます。

B-CAS（ビーキャス）カード（付属品）

B-CAS（ビーキャス）カードスロット（→8、222ページ）

データ送受信端子（→176、187ページ）
・デジタルスチルカメラや携帯電話、AVCHD方式のデジタルビデオカメラなどとUSBケーブルで接続します。

本体後面

・接続について詳しくは 197 ～ 220 ページ

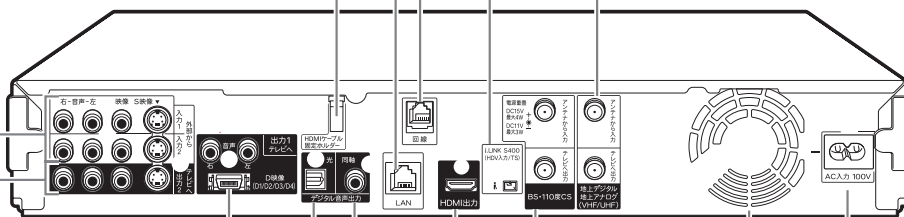
電話回線端子（→263ページ）
・電話線で、電話回線と接続します。

LAN端子（→268ページ）
・BD-LIVE対応のディスクや、デジタル放送の双方向番組などを楽しむために接続する端子です。

HDMIケーブル固定ホルダー（→205ページ）
・HDMIケーブルを固定します。

S映像・映像・音声入力端子（入力1/入力2）（→152、200、202、209ページ）
・BS/CS チューナー、CATV ボックス、ビデオデッキなどと接続します。

i.LINK S400（HDV入力/TS）端子（→146ページ）
・シャープ製BDプレーヤーやハイビジョンレコーダー、HDV方式のデジタルビデオカメラなどと接続します。

地上デジタル・地上アナログ（VHF/UHF）（→198～203ページ）
（上）アンテナから入力端子
・VHF/UHFアンテナのアンテナ線を接続します。
（下）テレビへ出力端子
・テレビのVHF/UHFアンテナ入力端子と接続します。

冷却ファン　電源コード接続部

S映像・映像・音声出力端子（出力2）（→207ページ）
・テレビのS映像・映像・音声入力端子と接続します。

D映像出力・音声出力端子（D1/D2/D3/D4）（出力1）（→206ページ）
・D映像入力端子付きテレビと接続します。

光デジタル音声出力端子（→212ページ）
・光デジタル音声入力端子付きのオーディオ機器などと接続します。

BS・110度CSデジタル（→198～202、210ページ）
（上）アンテナから入力端子
・BS・110度CSアンテナのアンテナ線を接続します。
（下）テレビへ出力端子
・BS・110度CS対応のチューナーや、テレビのBS・110度CSアンテナ入力端子と接続します。

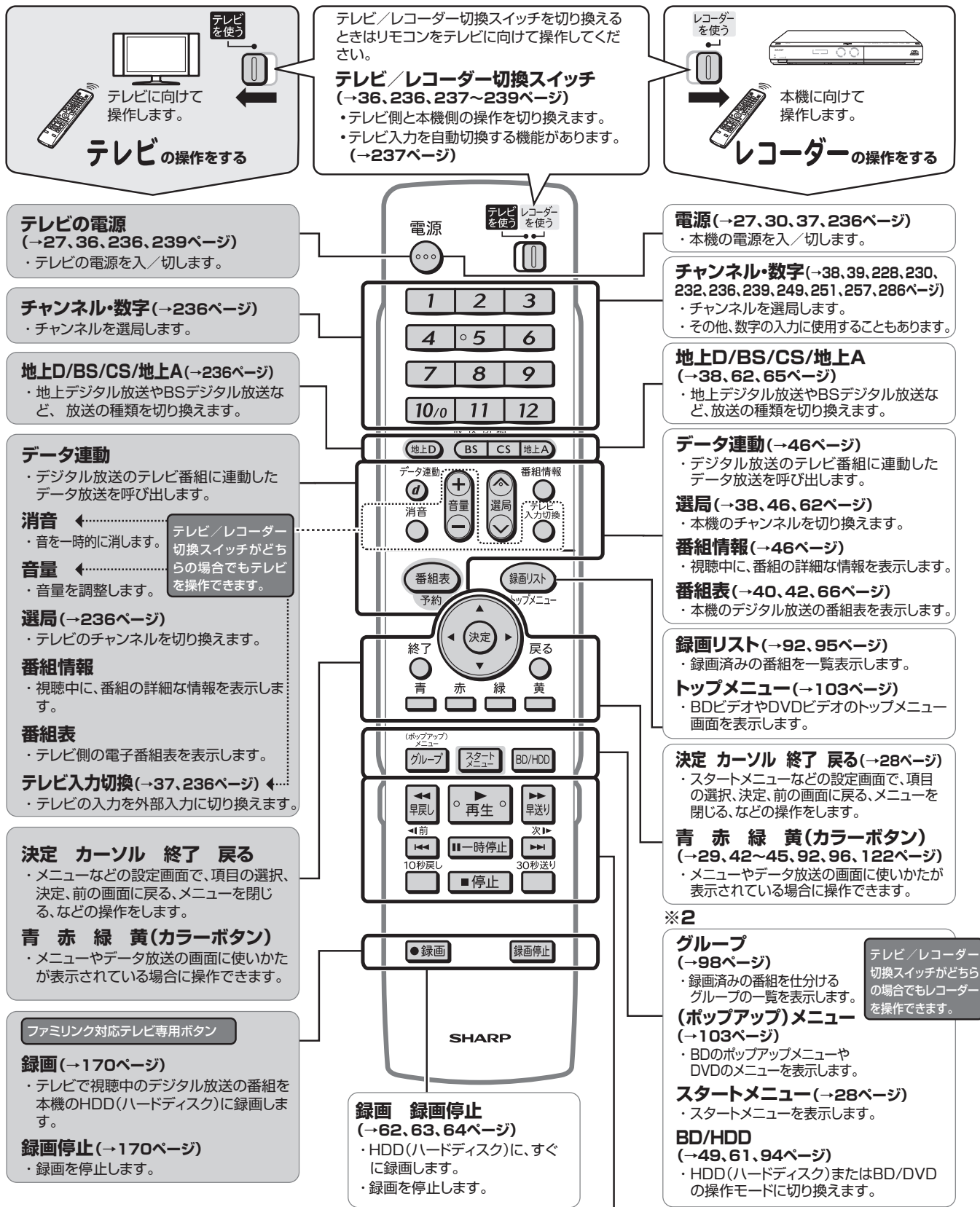
HDMI出力端子（→205、211、215～220ページ）
・HDMI入力端子付きテレビやオーディオ機器などと接続します。

同軸デジタル音声出力端子（→212ページ）
・同軸デジタル音声入力端子付きのオーディオ機器などと接続します。

リモコン

・本機のリモコンは、本機と国内メーカー 11 社のテレビを操作することができます。

工場出荷時は、シャープ製デジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」が操作できます。それ以外のテレビを操作するときは、「テレビメーカー指定」(→ **236** ページ)を行ってください。

※ 1 シャープ製デジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」(テレビメーカー指定「シャープ C1 ／シャープ C2」)で操作できるボタンです。

※ 2 暗いところでも見やすい蓄光ラバーを採用しています。(蓄光ラバーの発光の強さは、時間の経過とともに低減します。)

テレビ／レコーダー切換スイッチを切り換えるときはリモコンをテレビに向けて操作してください。

テレビ／レコーダー切換スイッチ
(→36、236、237～239ページ)
- テレビ側と本機側の操作を切り換えます。
- テレビ入力を自動切換する機能があります。**(→237ページ)**

テレビ／レコーダー切換スイッチがどちらの場合でもテレビを操作できます。

画面サイズ
・画面サイズを切り換えます。

裏番組
・裏番組の情報を表示します。

ファミリンク対応テレビ専用ボタン

ファミリンク機能選択
・ファミリンク機能選択メニューを表示させます。

音声
・音声を切り換えます。

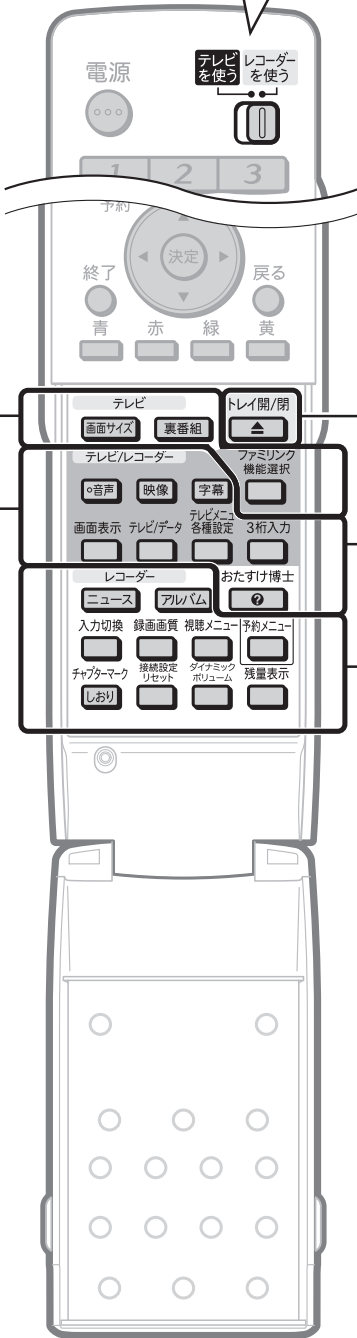
映像
・映像を切り換えます。

字幕
・字幕を切り換えます。

画面表示
・画面表示を入／切します。

テレビ／データ
・デジタル放送の種類を切り換えます。

テレビメニュー
・テレビのメニュー画面表示を入／切します。

3桁入力
・デジタル放送の視聴中に、3桁のチャンネル番号で選局するときに押します。

音声(→46、110ページ)
・音声を切り換えます。

映像(→47、110ページ)
・映像を切り換えます。

字幕(→47、110ページ)
・字幕を切り換えます。

画面表示(→41、52ページ)
・画面表示を入／切します。
・デジタルハイビジョン対応テレビと接続時、電子番組表の表示(縦にチャンネルを並べた、6時間/3時間)を切り換えます。

テレビ／データ(→38ページ)
・デジタル放送の種類を切り換えます。

各種設定(→276ページ)
・各種設定画面を表示します。

3桁入力(→39ページ)
・デジタル放送の視聴中に、3桁のチャンネル番号で選局するときに押します。

おたすけ博士(→26ページ)
・本機の使いかたを画面で確認できるヘルプ画面を表示します。

テレビ／レコーダー切換スイッチがどちらの場合でもレコーダーを操作できます。

トレイ開/閉
・ディスクトレイを開/閉します。

ニュース(→87、169ページ)
・HDD(ハードディスク)に自動で録画したニュース番組や天気番組を再生します。

アルバム(→169、178ページ)
・HDD(ハードディスク)に保存してある写真や動画のアルバムを表示します。

入力切換(→39、64、153ページ)
・本機の入力を外部入力に切り換えます。

録画画質(→62、153、278ページ)
・録画画質を選びます。

視聴メニュー(→47、114ページ)
・視聴／再生中に、番組や録画した番組の音声や字幕を切り換えるための設定メニューを表示します。

予約メニュー(→81、169ページ)
・予約メニューを表示します。

チャプターマーク(しおり)
(→63、91ページ)
・HDDの録画中や再生中にチャプターマークを記録します。

接続設定リセット(→233ページ)
・停止中に5秒以上押すと、かんたん設定画面が表示されます。テレビと接続した端子の設定や、オーディオ機器(音声出力)の設定ができます。

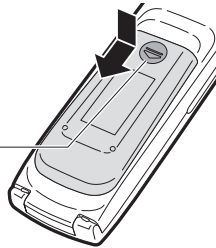
ダイナミックボリューム(→90、102、103ページ)
・BDやDVDなどの音量と放送の音量を調整し、聞きやすくします。

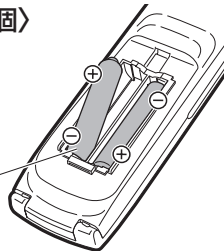
残量表示(→52ページ)
・HDD(ハードディスク)またはBD/DVDディスクの残量を表示します。

・テレビ側でのリモコンボタンの機能と操作については、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

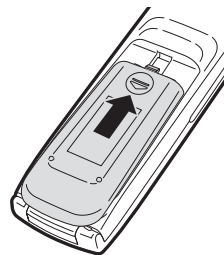
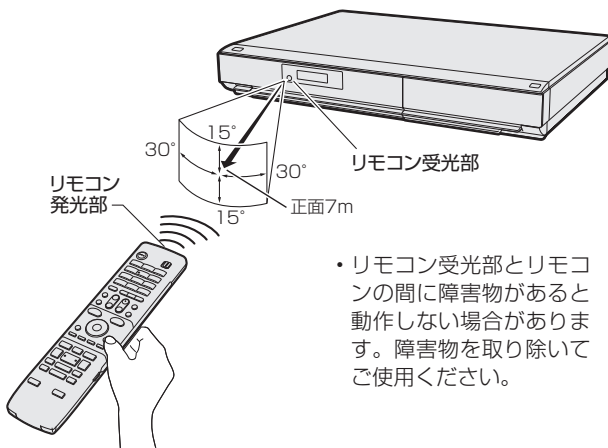
電池の入れかたと操作範囲

①裏ぶたを開ける

この部分を軽く押しながら、
矢印の方向にスライドします。

②付属の乾電池〈単３形×２個〉を入れる

・収納部の⊕⊖の表示どおりに正しく入れてください。

・新しい乾電池に交換する際は、アルカリ乾電池をご使用ください。

③裏ぶたを閉める

・カチッと音がするまで確実に閉めてください。

リモコンの操作範囲

・リモコン受光部とリモコンの間に障害物があると動作しない場合があります。障害物を取り除いてご使用ください。

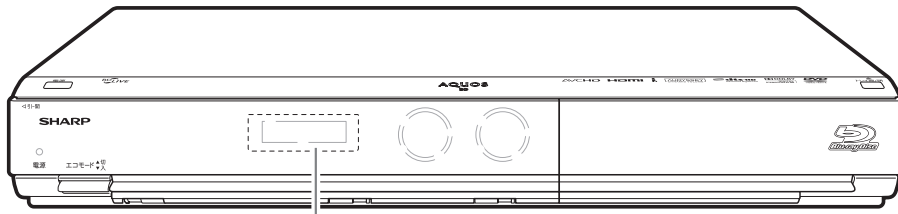
⚠注意　乾電池使用上のご注意

乾電池は誤った使いかたをすると、液もれや破れつを起こすことがありますので、次の点について特にご注意ください。

- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおりに正しく入れてください。
- 乾電池はショートさせたり、充電したり、分解したりしないでください。
- 乾電池は種類によって特性が異なります。
  種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
  新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。
- 乾電池が使えなくなったら…
  液がもれて故障の原因となるおそれもありますのですぐ取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- 不要となった乾電池を廃棄する場合は、各自治体の指示（条例）に従って処理してください。

重要

- リモコンには衝撃を与えないでください。
- リモコンのふたに強い力を加えないでください。故障の原因となる恐れがあります。
- リモコンを、水に濡らしたり湿度の高いところに置いたりしないでください。
- 乾電池を入れ換えたとき、リモコンが正しく動作しないことがあります。このようなときは、乾電池をいったんリモコンから取り外し、５分以上たってから入れ直してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっていると、リモコンが正しく動作しないことがあります。照明または本体の向きにご注意ください。
- **付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがあります。**早めに新しい乾電池と交換してください。
  （寿命は通常６カ月〜１年が目安です。）
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出してください。
- 長時間（約１日）電池のない状態が続いたときは、「リモコン番号」（→ **240** ページ）や「メーカー指定」（→ **236** ページ）がリセットされますので、設定し直してください。
- リモコンの「テレビ自動入力切換」は、電池がなくなるとリセットされますので、設定し直してください。
  （→ **237** ページ）

本体表示部の動作表示例

本体表示部

選局時（停止時）

地上デジタル放送選局中	D:052
BS デジタル放送選局中	B:103
110 度 CS デジタル放送選局中	C:320
地上アナログ放送選局中	A: 62
ケーブルテレビ（CATV）放送選局中	A:c63
外部入力選択中（入力１）	L: 1
外部入力選択中（入力 2）	L: 2

i.LINK 入力時

i.LINK(TS) 入力の表示	TS- in

ダウンロード中

「DL」表示	DL

ダウンロードサービスについて

- 電源が切れた状態でも、電波を通して本機の機能を改善させるソフトウェア更新サービスを行うことができます。このサービスをダウンロードサービスといいます（→ **285** ページ）。
- ソフトウェアのダウンロードサービス中は、本機の電源が入るため、後面ファンが回転し、本体表示部に「」の表示が出ます。また、本体の HDD（ハードディスク）ランプ、BD/DVD ランプが点滅（点灯）します。
- ダウンロードサービス中は、電源コードを抜いたりリセット操作を行わないでください。

本体表示部のバックライトを消したいときは

- スタートメニューから「各種設定」－「機能切換」－「液晶設定」（→ **284** ページ）で設定してください。

再生・録画時

カウンター表示（裏録はカウンター表示されません。）	01:23:45
BD/DVD チャプター表示	C 012
CD 再生トラック表示	T 03

ディスク残量

時間表示

例：残量 12 時間 34 分のとき

12:34

- リモコンの「残量表示」ボタンを押すと表示されます。
- 残量時間が 100 時間以上の場合は、「分」は表示されません。

メニュー画面の操作時

「MENU」表示	MENU

電話回線使用中

「ACCESS」表示	ACCESS

- 放送局との通信中は、数時間「ACCESS」の表示が出たままになることがあります。通信しているためで故障ではありません。
- 「ACCESS」表示中は、本体電源が入るため、冷却ファンが回転します。

番組表取得中

電子番組表データ取得中表示	EPG

エラー表示について

- エラー表示については **311** ページをご覧ください。

時計を表示させるには

時計表示	AM 8:27

- 「電源オフ時計表示設定」（→ **284** ページ）を「する」に設定している場合は、電源を切ると時計が表示されます。

おたすけ博士（ヘルプ機能）の使いかた

「おたすけ博士」（ヘルプ機能）は、基本的な操作を画面で案内する機能です。

▼「おたすけ博士」の画面

はじめに
便利な機能
録 画
再 生
予約録画
ダビング
消 去
操作方法
決定
項目を選んで
終了
レコーダーの操作をいっしょに覚えよう！
BDレコーダーを使うには、はじめに何を覚えたらいいの？

はじめに

- 操作を始める前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

便利な機能

- 本機を活用していただくための便利な機能を紹介しています。

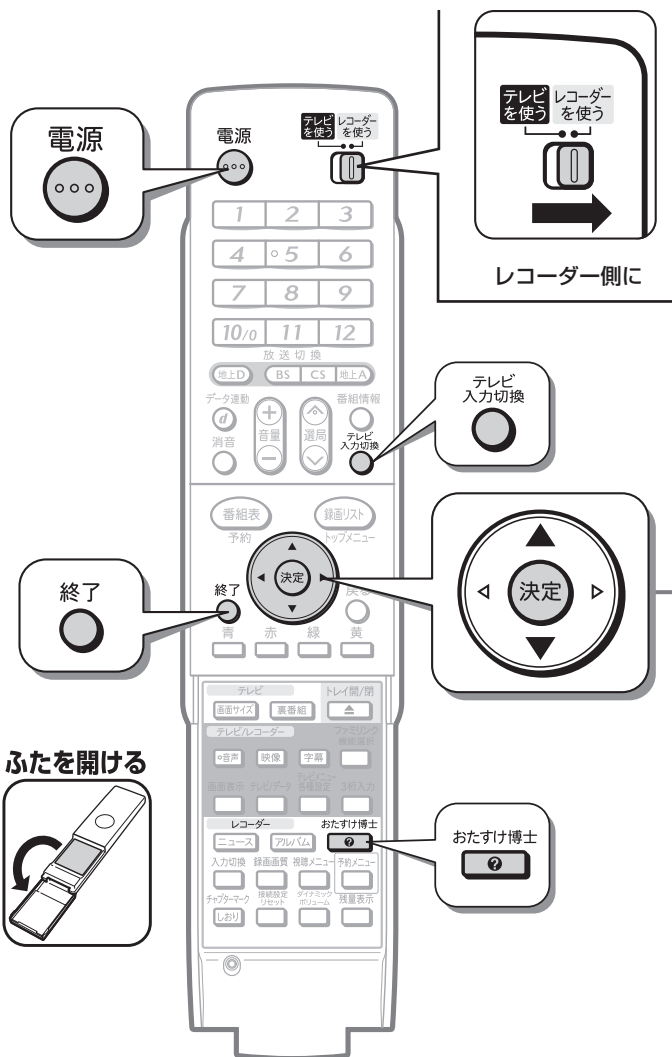
基本的な操作の説明

- 録画、再生、予約録画、ダビング、消去の操作方法を説明しています。

- 画面の操作を案内しています。

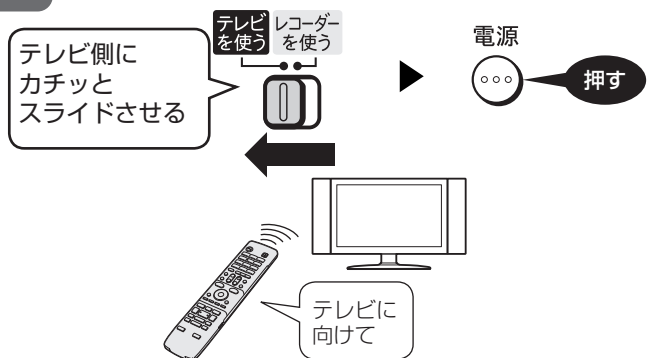
- 具体的な説明が表示されます。

- 見ている画面が何番目の画面かわかります。

- 操作で使うリモコンのボタンが表示されます。

ご注意

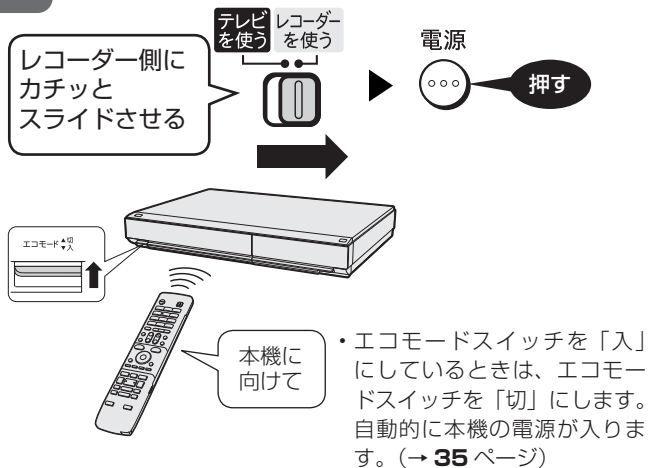
- 電子番組表やメニュー画面などの画面表示中は「おたすけ博士」は表示されません。
  リモコンの 終了 を押して画面表示を消してからリモコンふた内の おたすけ博士 を押して操作してください。
- 「おたすけ博士」は本機が停止中に使える機能です。再生などの動作をしているときは、表示できません。

〔例〕録画の操作方法について調べるとき

1 テレビの電源を入れます

・リモコンでお使いのテレビを操作するには、「メーカー指定」操作を行う必要があります。(→ **236** ページ)

2 テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます

・リモコンをテレビに向けたまま テレビ入力切換 を押し、テレビの入力を切り換えます。

3 本機の電源を入れます

・エコモードスイッチを「入」にしているときは、エコモードスイッチを「切」にします。自動的に本機の電源が入ります。(→ **35** ページ)

4 「おたすけ博士」を表示させます

(ふた内)

5 知りたい項目を選んで決定します

(例：「録画」を選ぶ場合)

選んだ項目はオレンジ色で表示

6 ① 画面を見ながら操作方法を画面と音声で学びます
② 「次へ」を選んで決定します

選んだ項目はオレンジ色で表示

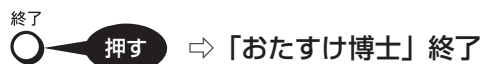
・「前へ」を選んで 決定 を押すと前の説明に戻ります。

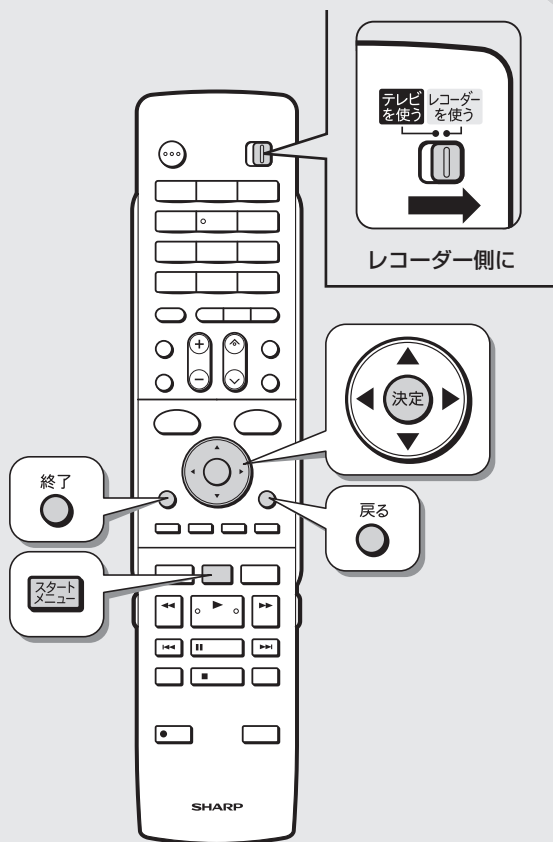
・「次へ」を選んで 決定 を押すと次の説明に進みます。

・ほかの項目の説明が読みたい場合は「はじめの画面へ」を選んで 決定 を押して、操作をくり返してください。

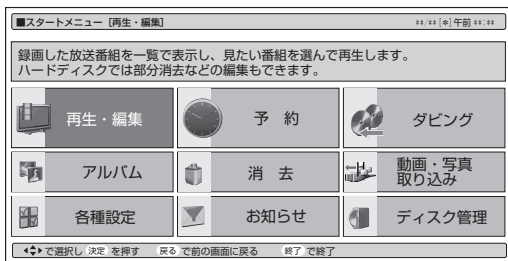
7 手順 6 をくり返します

8 操作を終わるとき

⇨「おたすけ博士」終了

スタートメニューの使いかた

スタートメニューから本機のほとんどの操作・設定ができます。

・スタートメニュー画面を表示後約 1 分間何も操作をしないと、画面は自動的に消えます。
・スタートメニュー画面が表示されない場合は、「故障かな？と思ったら」（→ **312** ページ）をお読みください。

1 テレビと本機の準備をします（**36** ～ **37** ページの 1 ～ 3 を行います）

2 スタートメニューを表示させます

スタートメニュー 押す

3 項目を選んで決定します

（例：「各種設定」を選んだとき）

⇨選んだ項目の画面

4 さらに項目を選んで決定します

（例：「各種設定」－「録画機能設定」－「外部入力音声設定」を選んだとき）

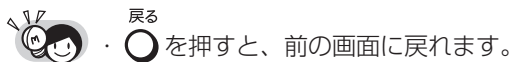
■各種設定［録画機能設定…外部入力音声設定］

録画機能設定	本体設定	機能切換	デジタル設定

項目	設定
携帯電話転送設定	
ニュース・天気録画設定	［しない］
HD録画画質設定	［HD10］
MN録画画質設定	［MN65］
音声記録方式設定	［DD 2ch］
外部入力音声設定	［ステレオ］

⇨選んだ項目の画面

5 設定します

・戻る を押すと、前の画面に戻れます。

6 設定を終了します

■文字表示設定について

• スタートメニューは、デジタルハイビジョン対応テレビと次の接続・設定をしている場合、きめ細かい文字で表示されます。
  ・D 映像ケーブルで接続し、「D 映像出力設定」を「D3/D4/D5」に設定しているとき
  ・HDMI ケーブルで接続し、「HDMI 映像出力設定」を「オート」、「1080/60p 固定」または「1080i 固定」にしているとき
•「スタートメニュー」－「各種設定」－「機能切換」－「文字表示設定」（→ **283** ページ）で表示のしかたを選ぶことができます。
•「文字表示設定」を「しない」に設定している場合でも、スタートメニューの表示内容、操作方法などは基本的に変わりません。

■スタートメニューのあらまし

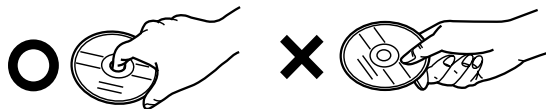
ディスクの入れかた・出しかた

BD や DVD ディスクの入れかたと取り出しかたです。

お知らせ

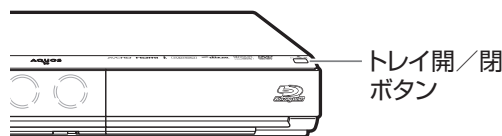
- 本機にディスクを入れる前に、「本機で使えるディスクについて」(→ **290** ページ)をご覧ください。
- 新品の BD-RE/-R をセットしたときは、自動的に初期化が始まります。詳しくは「ディスクを初期化する」(→ **32** ページ)をご覧ください。
- DVD ディスクにダビングする前に、録画フォーマットや初期化についてご確認ください。(→ **32**、**33**、**289**、**291**、**292** ページ)
- 新品の DVD-RW ディスクをセットしたときは、自動的に VR フォーマットで初期化が始まります。初期化が完了したら、録画可能になります。
  DVD-R ディスクを VR フォーマットで初期化したあとは、ビデオフォーマットで初期化し直すことはできません。
- ディスクトレイにセットできるディスクは 1 枚です。2 枚以上セットすると、故障の原因となります。
- 1 回の記録(ダビング)の最長時間は 12 時間です。
  1 枚の BD-RE/-R に記録できる時間は最長約 48 時間です。
  詳しくは **55**、**59** ページをご覧ください。
  ※BD-RE/-R SL…25GB: 約 34 時間 40 分(録画画質「MN01」)
  ※BD-RE/-R DL…50GB: 約 48 時間(録画画質「MN08～MN01」)
  DVD ディスク…4.7GB:約 8 時間(録画画質「MN01」)
  DVD-R DL(2 層) VR フォーマット:約 9 時間
  ビデオフォーマット:約 14 時間 30 分(録画画質「MN01」)
- 記録(ダビング)できる番組数
  BD:200 番組
  DVD ディスク:99 番組

ディスクの持ちかた

- 光っている面に手を触れないように持ってください。
  指紋などがつくと、ダビングや再生ができなくなる場合があります。

- ディスクに紙やラベル、シールなどを貼らないでください。

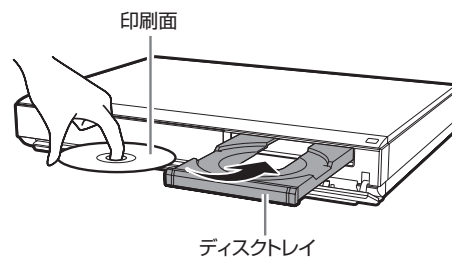
ディスクの入れかた

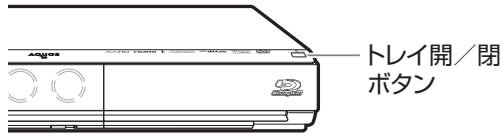
1 本機の電源を入れます

2 リモコンふた内の トレイ開/閉 または本体のトレイ開/閉ボタンを押してディスクトレイを開けます

⇨ディスクトレイが開きます。

- トレイが開くまでに時間がかかる場合があります。

- 電源が切れているときにトレイ開/閉ボタンを押した場合、電源が入り、ディスクトレイが開きます。

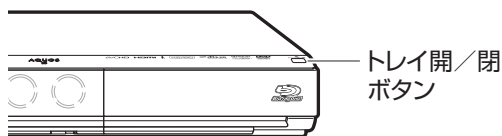
3 ディスクトレイにディスクを置きます

- 印刷面を上にして置きます。
- 両面記録のディスクは、ダビングまたは再生したい面を下にして置きます。

4 リモコンふた内の［トレイ開/閉］または本体のトレイ開／閉ボタンを押してディスクトレイを閉めます

⇨ディスクトレイが閉まります。

- ディスクの読み込みを行いますので、しばらくお待ちください。
- 新品のディスクをセットしたときは、録画するための準備「初期化」が自動で始まります。

- セットすると自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。画面の指示にしたがって操作してください。
- BD ビデオや DVD ビデオ、音楽用 CD など再生専用ディスクをセットしたときは、自動的に再生が始まります。

ディスクの出しかた

1 リモコンふた内の［トレイ開/閉］または本体のトレイ開／閉ボタンを押してディスクトレイを開けます

▶ディスクを取り出す

- ダビング中は、ディスクトレイが開きません。画面を終了させてから操作してください。

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R 新品 市販のBDビデオ 市販のDVDビデオ

ディスクを初期化する

- 新品の BD や DVD ディスクを使ってダビングを行う前には、ディスクの初期化が必要です。
- 新品の BD や DVD-RW をセットしたときは、自動的に初期化が始まります。
- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
- 使用済みの BD-RE や DVD-RW ディスクを未使用の状態に戻したい場合は、次ページの手順で初期化をします。

ご注意

- 初期化をすると、「タイトル保護設定」(→ **116** ページ）されたものも含めてそれまでに記録された番組がすべて消去されます。内容をよくご確認のうえ、初期化してください。
- 他社のレコーダーで録画した BD-RE をセットしたときも、「初期化する」「ディスク取り出し」と表示されることがあります。「初期化する」を選ぶとディスクの内容が全て消去されます。消去したくない場合は、「ディスク取り出し」を選んで決定してください。
- 「ディスク保護」されたディスクは初期化できません。（ディスク保護設定を解除してから初期化してください。）(→ **117** ページ)
- DVD-RW Ver.1.0 ディスクはビデオフォーマットおよび写真用フォーマットでの初期化はできません。
- BD-R/DVD-R は記録後の初期化はできません。
- デジタル放送を DVD にダビングするには、「VR フォーマット」で初期化した CPRM 対応の DVD ディスクが必要です。

お知らせ

- ダビングした DVD ディスクを VR フォーマットに対応していない機器で再生したい場合は、ダビングをする前に DVD-RW/-R を「ビデオフォーマット」で初期化することをおすすめします。
  ただし、ダビング（録画）制限のあるデジタル放送は、「ビデオフォーマット」で初期化した DVD ディスクにはダビングできません。
- 工場出荷時設定では、新品の DVD-RW ディスクをセットすると自動的に「VR フォーマット」で初期化されます。新品の DVD-RW をビデオフォーマットで初期化、あるいは新品の DVD-R を VR フォーマットで使いたい場合にのみ初期化操作を行ってください。

■ DVD ディスクの録画フォーマットについて

フォーマット	説明
VRフォーマット	・デジタル放送を記録できる（CPRM対応の場合）
ビデオフォーマット	・市販のDVDプレーヤーなどで再生できる
写真用フォーマット	・携帯電話やデジタルスチルカメラから本機のHDD（ハードディスク）に取り込んだ写真をコピーするためのフォーマットです。

- 写真をコピーした DVD ディスクをパソコンで確認するときはファイナライズ処理が必要です。

162 ページ

■新しい BD の初期化について

- 新品の BD-RE/-R をセットすると、自動的に初期化が始まります。
- 新品のBD-RE/-Rでもディスクによっては、「初期化する」「ディスク取り出し」と表示されることがあります。このときは「初期化する」を選び決定してください。

■新しい DVD ディスクの初期化について

ディスクの種類	新品のディスクへの初期化(フォーマット)
DVD-RW CPRM対応 / DVD-RW	**VRフォーマットで使いたい** → 自動的にVRフォーマットで初期化されます。（工場出荷時）(→**33**、**278**ページ) **ビデオフォーマットで使いたい** → 初期化が必要です。(DVD ビデオフォーマット) (→**33**、**278**ページ) **HDD(ハードディスク)に取り込んだ写真を保存したい** → 初期化が必要です。(写真用フォーマット) (→**33**ページ)
DVD-R CPRM対応 / DVD-R	**VRフォーマットで使いたい** → CPRM対応の場合は、「初期化する」で決定すると、VRフォーマットで初期化されます。 → CPRM非対応の場合は、初期化が必要です。(DVD VRフォーマット) (→**33**ページ) **ビデオフォーマットで使いたい** → 初期化の必要はありません。そのままお使いいただけます。

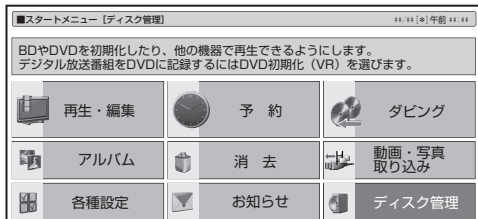
BD、DVD ディスクの初期化

1 テレビと本機の準備をします 36 ページ

2 BD や DVD ディスクの初期化の場合、ディスクをセットします 30 ページ

- 新品の BD をセットした場合は自動的に初期化が始まります。
- 新品の DVD-RW をセットした場合は自動的に VR フォーマットで初期化が始まります（工場出荷時）。
- 初期化が完了すると、HDD から BD、DVD-RW へのダビングができるようになります。
- CPRM 対応の DVD-R をセットした場合は「初期化する」を選んで決定すると VR フォーマットで初期化が始まります。「初期化しない」を選んで決定すると初期化は行われず、そのままビデオフォーマットのディスクとして使用できます。

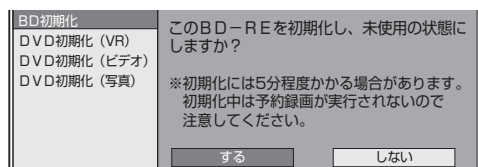
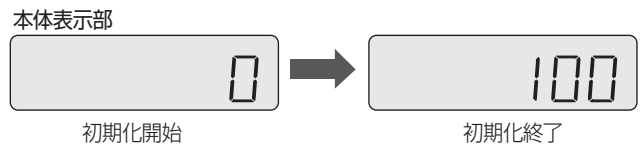
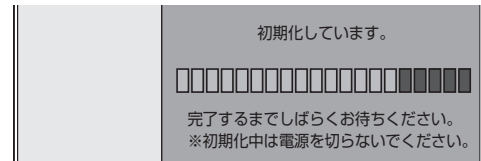
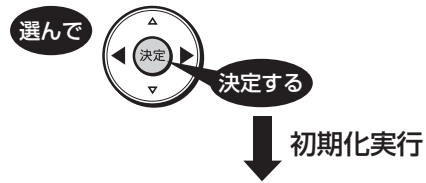
3 スタートメニューを表示させます

4 ①「ディスク管理」を選んで決定します

② 「ディスク初期化」を選んで決定します

5 ①初期化の種類を選んで決定します ②「する」を選んで決定します

6 「はい」を選んで決定します

本体表示部

初期化開始　　初期化終了

7 「確認」で決定します

8 操作を終了します

HDD(ハードディスク)の初期化について

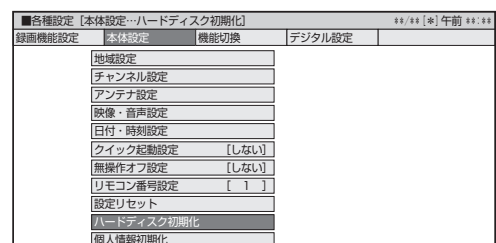
- お買い上げ時、ハードディスクは初期化された状態ですので初期化の必要はありません。

こんなときに初期化をします

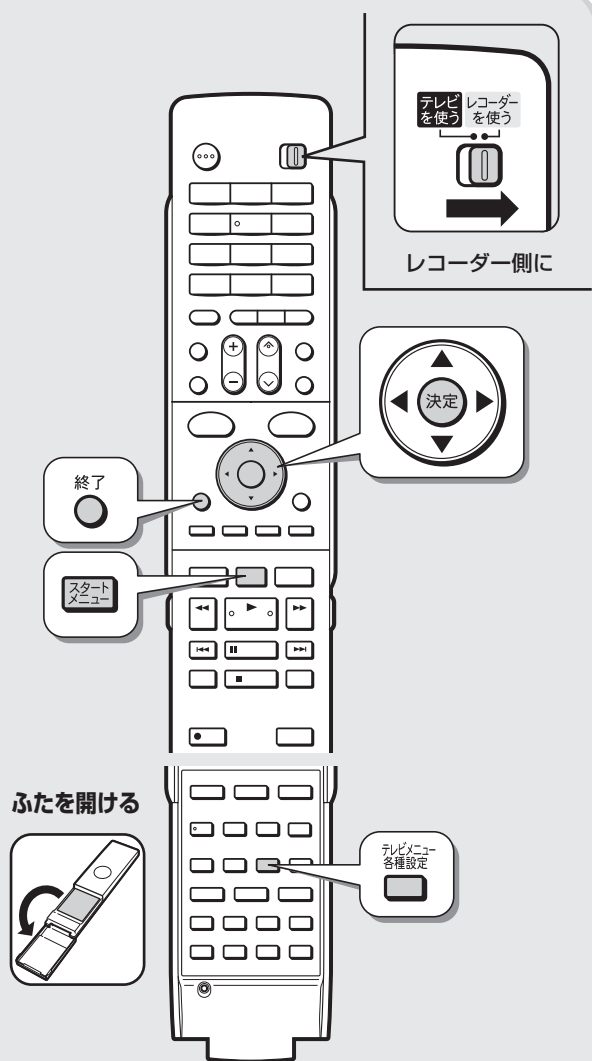
- ハードディスク内の番組を消去しても空き容量（残量時間）が増えないとき。
- 本機のエラーが発生し、リセット操作をしても改善されないとき。
- ハードディスク内のタイトル（録画した番組）をすべて消去し、リフレッシュさせたいとき。

ご注意

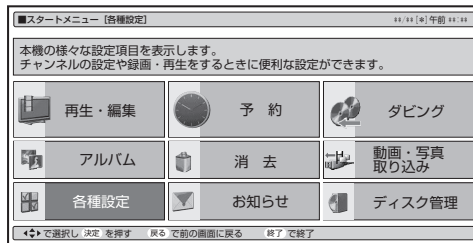
- **初期化するとすべてのタイトルが消去されます。消去されたタイトルは復元できません。大切なタイトルは、BD または DVD ディスクにダビングしてから初期化を行ってください。**

- 「スタートメニュー」−「各種設定」−「本体設定」−「ハードディスク初期化」で初期化の操作をします。（→ **282** ページ）

- 「各種設定」の操作について詳しくは、**276** ページをご覧ください。

エコモードについて

・電源「切」のときに、待機電力を抑えるエコモードに設定する方法です。
・就寝時など本機を長時間使用しないときに、テレビの主電源を切るような感覚でお使いいただくことをおすすめします。

エコモードの設定のしかた

1 テレビと本機の準備をします 36 ページ

2 スタートメニューを表示させます

3 「各種設定」を選んで決定します

4 「機能切換」を選んで決定します

■各種設定［機能切換］

録画機能設定	本体設定	機能切換	デジタル設定
		エコモード設定	［しない］
		ファミリンク設定	［ する ］
		文字表示設定	［ する ］

5 「エコモード設定」を選んで決定します

■各種設定［機能切換…エコモード設定］

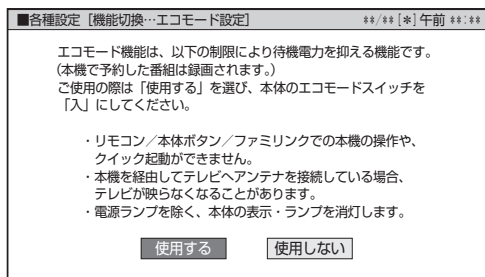
録画機能設定	本体設定	機能切換	デジタル設定
		エコモード設定	［しない］
		ファミリンク設定	［ する ］
		文字表示設定	［ する ］

6 「使用する」を選んで決定します

■各種設定［機能切換…エコモード設定］ **/**［*］午前 **:**

エコモード機能は、以下の制限により待機電力を抑える機能です。
（本機で予約した番組は録画されます。）
ご使用の際は「使用する」を選び、本体のエコモードスイッチを「入」にしてください。

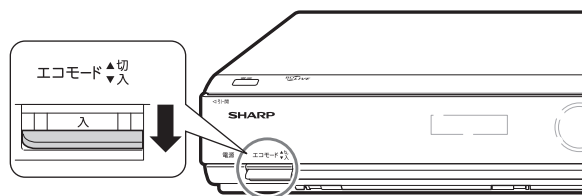
・リモコン／本体ボタン／ファミリンクでの本機の操作や、クイック起動ができません。
・本機を経由してテレビへアンテナを接続している場合、テレビが映らなくなることがあります。
・電源ランプを除く、本体の表示・ランプを消灯します。

使用する　使用しない

7 設定を終了します

お知らせ

・テレビで放送を視聴中にエコモードを入／切したとき
　－テレビ画面に、一瞬ノイズが入りますがエコモードを切り換えているための故障ではありません。
・エコモード中は待機時の消費電力が削減されますが、リモコン・本体ボタン・ファミリンクによる本機の操作ができなくなりますのでご注意ください。クイック起動（→ **235** ページ）も働きません。
・エコモード中は、テレビの電子番組表で予約したファミリンク予約は働きません。エコモード「入」状態での予約録画は本機で行ってください。
・本機を経由してテレビへアンテナ接続をしている場合、エコモード中はテレビの映りが悪くなることがあります。この場合、アンテナ分配器を使って本機とテレビの両方にアンテナを接続することをおすすめします。
・エコモード中でも、以下の機能は働きます。
　－予約録画（テレビに、予約録画中は「予約録画中です。」、ダビング予約中は「ダビング予約中です。」と表示されます。）
　－デジタル放送のダウンロード
　－電子番組表のデータ取得
・エコモードになった直後など、エコモードスイッチを「切」にしても本機の電源が入らない場合があります。このような場合は、しばらく待ってから、電源ボタンを押して電源を入れてください。

エコモードを「入」にする

1 エコモードスイッチを「入」にします

エコモードにします。しばらくお待ちください。

エコモード中は、本機で予約した番組は録画されますが、以下の動作制限がありますのでご注意ください。

・リモコン／本体ボタン／ファミリンクでの本機の操作や、クイック起動ができません。
・本機を経由してテレビへアンテナを接続している場合、テレビが映らなくなることがあります。
・電源ランプを除く、本体の表示・ランプを消灯します。

⇨エコモードについてのメッセージが約 20 秒間テレビ画面に表示された後、本機の電源が切れてエコモードになります。

・本機での予約録画やダビング中にエコモードを「入」にしたときは、その動作終了後にエコモードが「入」となります。
・ファミリンクによるワンタッチ録画中や地上アナログ放送などの録画中にエコモードを「入」にしたときは、録画を停止するとエコモードが「入」となります。
・エコモードにすると、電源ランプを除く、本体の表示・ランプが消えます。

エコモードを「入」にすると

・リモコン、本体のボタンは働きません。
・シャープ製テレビ「アクオス」からファミリンクによって操作することができません。
・ファミリンク対応の「アクオス」で設定したファミリンク予約は働きません。

エコモードを「切」にする

1 エコモードスイッチを「切」にします

⇨本機の電源が入ります。

使ってみよう

この章では、放送中の番組を選局してハードディスクに録画・予約録画する方法、再生・編集・ダビングする方法について説明しています。

■本機のリモコンでテレビを操作するときは

- 本機のリモコンは国内 11 社のテレビが操作できます。
- 工場出荷時はシャープ製デジタルチューナー内蔵の液晶テレビ「アクオス」が操作できます。
- デジタルチューナー内蔵の液晶テレビ「アクオス」以外のテレビを本機のリモコンで操作したいときは、あらかじめ「テレビメーカー指定」（→ **236** ページ）を行ってください。

テレビ / レコーダー切換スイッチについて

- テレビ / レコーダー切換スイッチは本機のリモコンでテレビを操作するのか、本機（レコーダー）を操作するのかを切り換えます。
- テレビを操作するとき

テレビ側にする

- 本機（レコーダー）を操作するとき

レコーダー側にする

テレビと本機の準備をする

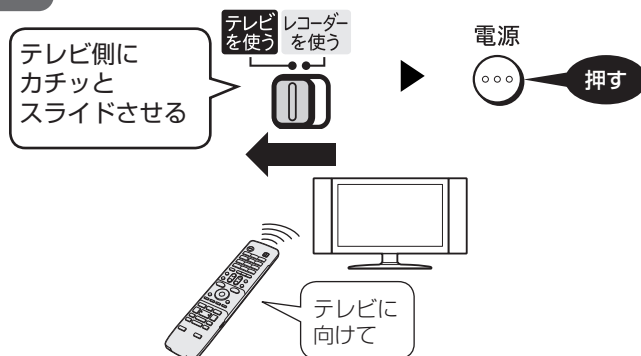
テレビで本機を楽しむための準備をします。

ご注意

- リモコン操作をすると他のシャープ製 BD・DVD 機器も動作してしまうときは、「リモコン番号」を設定してください。（→ **240** ページ）

準備 B-CAS（ビーキャス）カードを表面の矢印の方向に差し込みます

- デジタルチューナー内蔵テレビをご使用の場合でも、B-CAS カードは視聴／録画のため、本機にもセットする必要があります。

1 テレビの電源を入れます

- デジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」以外のテレビを本機のリモコンで操作するには、「メーカー指定」操作を行う必要があります。（→ **236** ページ）

2 本機の電源を入れます

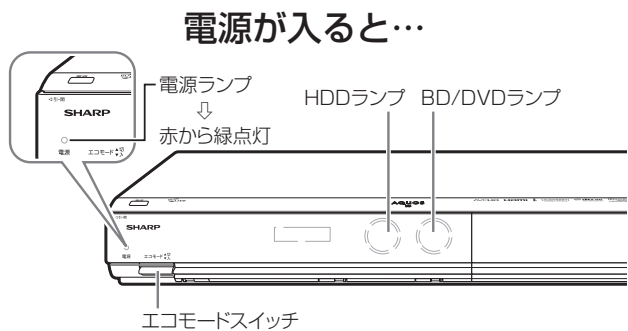
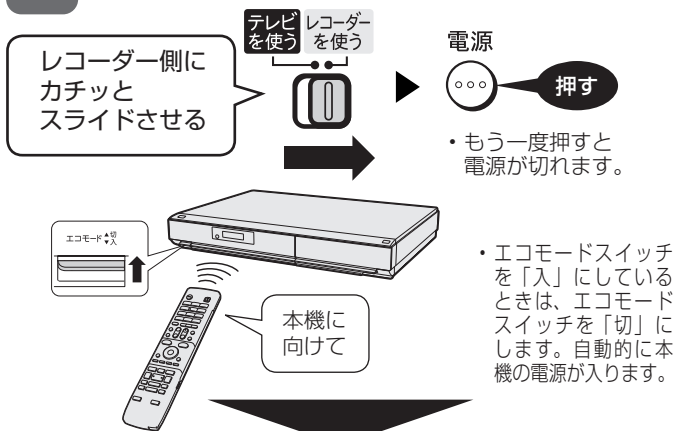
・もう一度押すと電源が切れます。

・エコモードスイッチを「入」にしているときは、エコモードスイッチを「切」にします。自動的に本機の電源が入ります。

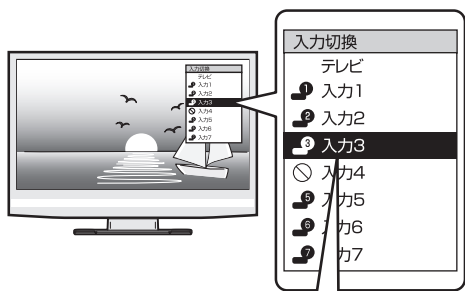
電源が入ると…

電源ランプ
⇩
赤から緑点灯

HDDランプ BD/DVDランプ

エコモードスイッチ

・電源を入れると、本体のHDDランプ、BD/DVDランプが点滅します。点滅中は操作のための準備を行っていますので、点滅が終了するまで1分～2分お待ちください。（ディスクが挿入されているときには、さらに時間がかかる場合があります。）

3 テレビに向け テレビ入力切換 を繰り返し押して、テレビの入力を本機を接続した入力（「入力3」など）に切り換えます

例：本機をテレビの外部入力3に接続したとき

・シャープ製のファミリンク対応テレビとHDMIケーブルで接続したときは、本機の製品名が表示されます。製品名が表示されている外部入力を選びます。

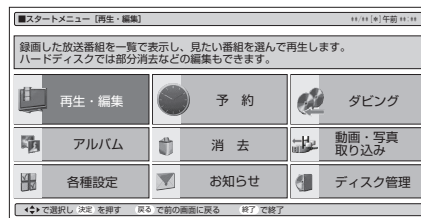
・入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。

本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

・接続後、初めて電源を入れたときは「初期設定」画面になります。初期設定を行ってください。（→ **225** ページ）

■本機の映像が映っているか確認したいときは

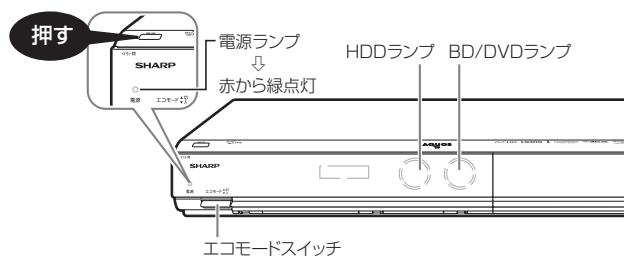
- リモコンの スタートメニュー を押します（→ **28** ページ）
  - スタートメニュー画面が表示されます。

スタートメニュー画面

終了 を押すとスタートメニュー画面が消えます。

- スタートメニュー画面が表示されないときは
  - 手順 3 を繰り返し操作し、スタートメニュー画面が表示される入力を選びます。
  - 手順 3 を繰り返し操作しても、スタートメニュー画面が表示されないときは、
    - ・本機の電源が入っているか確認します。
    - ・エコモードスイッチが「切」になっているか確認します。
    - ・本機とテレビの接続を確認します。
    - ・本機を接続したテレビの入力がスキップ「しない」に設定されているか確認します。

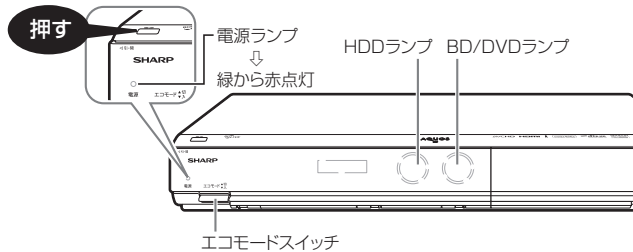
本体ボタンで本機電源の入／切するとき

（エコモードスイッチを「入」にしているときは「切」にします。）

■電源を入れる

エコモードスイッチ

・電源を入れると、本体のHDDランプ･BD/DVDランプが点滅します。点滅中は操作のための準備を行っていますので、点滅が終了するまでお待ちください。

・接続後、初めて電源を入れたときは、「初期設定」画面になります。（→ **225** ページ）

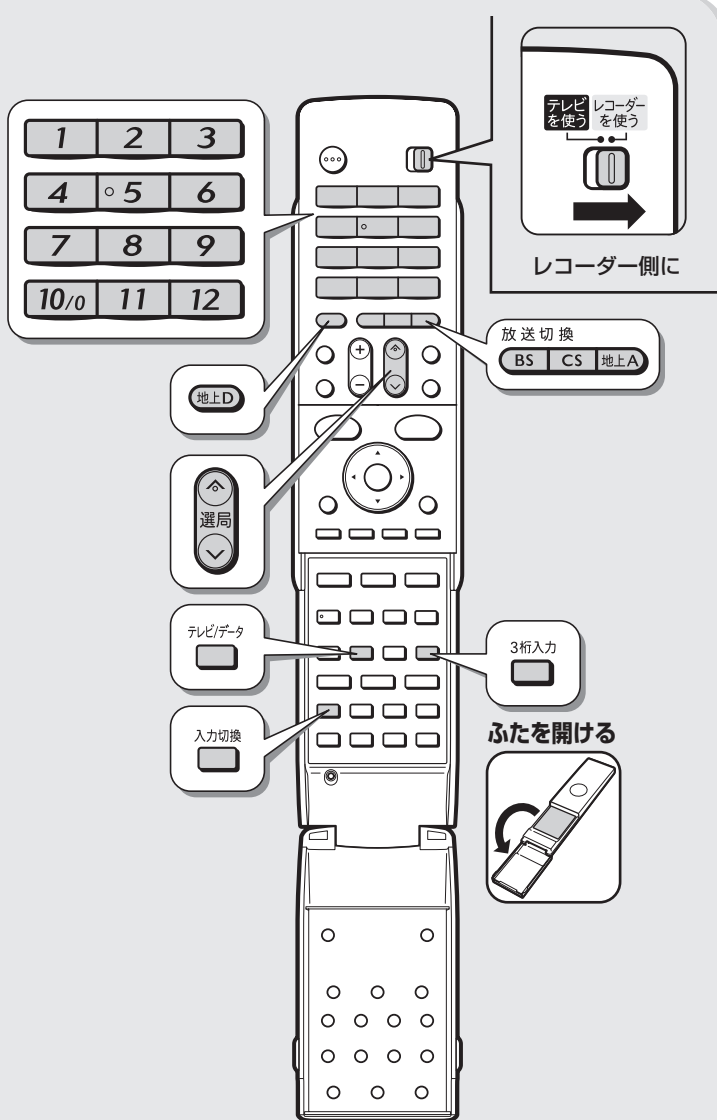
■電源を切る

エコモードスイッチ

・電源を切った直後は、再度電源ボタンを押しても電源が入らない場合があります。そのようなときは少し待ってから再度電源を入れてください。

お知らせ

・**エコモードスイッチを「入」にしているときは、リモコンや本体での操作ができません。**

チャンネルを選ぶ

本機のチューナーでテレビ番組を選びます。

1 テレビと本機の準備をします 36 ページ

- 付属の B-CAS カードは、必ずセットしてください。B-CAS カードをセットしないと、デジタル放送がご覧になれません。(→ **222** ページ)

■有料放送を視聴するときは

- WOWOW などの有料放送を本機で視聴・録画するときは契約済みの B-CAS カードを本機にセットしておく必要があります。

2 放送を選びます

地上D 放送切換 BS CS 地上A 選ぶ

地上D	地上デジタル放送へ切り換え
BS	BS デジタル放送へ切り換え
CS	110 度 CS デジタル放送へ切り換え
地上A	地上アナログ放送へ切り換え

3 データ放送を選ぶ場合

テレビ/データ 押す 押すたびに
(ふた内)

テレビ放送 →(ラジオ放送)→ データ放送

- デジタル放送を 3 桁入力で選ぶ場合はこの操作は必要ありません。
- ラジオ放送は 2009 年 2 月現在放送されておりません。

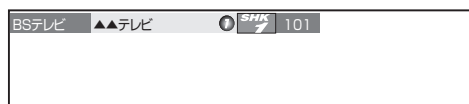
4 選局します

選局 または 1 ～ 12 押す

⇨ 選局したチャンネルの情報表示
(自動的に消えます。)

重要

- WOWOW や、スターチャンネル、110 度 CS デジタル放送は有料放送です。事業者との受信契約が必要です。
- 放送局との契約については、**222** ページをご覧ください。
- CS 放送を選局したとき、テレビ画面が暗く放送が映らない場合があります。「現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。」のメッセージが表示される場合もあります。

この場合は手順 **4** で を押し、放送のあるチャンネルを選局してください。

ご注意

- 録画中は、選局の操作ができません。
- 放送番組によっては、上下または上下左右に黒い帯が付いて見える場合があります。(放送局の送信方式によるもので、本機の故障ではありません。)

ケーブルテレビや外部チューナーなど外部機器の映像を見るときは（入力切換）

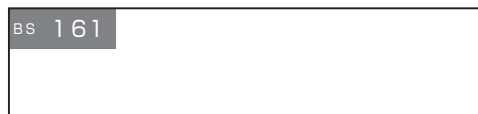
（ふた内）

- 押すたびに、次のように切り換わります。
  → L1（外部入力1）→ L2（外部入力2）→ i.LINK(TS)※ → 放送（現在のチャンネル）→
- 本機で外部機器の映像を録画するときは、外部入力に切り換えます。

※i.LINK（TS）に切り換えたときは本体表示部に「TS- in」と表示されます。

デジタル放送のチャンネルを入力するには（3 桁入力）

選局時に

3桁入力 押す（ふた内）▶ チャンネルボタン（1 〜 9、10/0）で「3 桁入力」

- 番号を間違えたときは、もう一度 3桁入力 を押してから、チャンネル番号を入力し直してください。

地上デジタル放送の「4 桁目（枝番選択）」について

- チャンネル番号が重複している放送局がある場合は、3 桁目を入力すると、下記の画面になります。チャンネルボタンで 4 桁目の番号を入力して選局してください。（枝番選択）

4 桁目の入力画面例

工場出荷時に設定されているチャンネル一覧

- 数字ボタンを押して選局できる放送局です。

関東の東京で受信できるチャンネルです。

BS（BSデジタル放送）チャンネル			地上デジタルチャンネル		
チャンネルボタン	テレビ放送を選んだとき 放送局名	チャンネル番号	チャンネルボタン	放送局名	チャンネル番号
1	NHK BS1	101	1	NHK総合・東京	011
2	NHK BS2	102	2	NHK教育・東京	021
3	NHK ハイビジョン	103	3	—	—
4	BS 日テレ	141	4	日本テレビ	041
5	BS 朝日	151	5	テレビ朝日	051
6	BS-TBS	161	6	TBS	061
7	BS ジャパン	171	7	テレビ東京	071
8	BS フジ	181	8	フジテレビジョン	081
9	WOWOW	191	9	TOKYO MX	091
10/0	スターチャンネル	200	10/0	—	—
11	BS11	211	11	—	—
12	TwellV	222	12	放送大学	121

- BS デジタル放送のデータ放送は設定されていません。
- 110 度 CS デジタル放送は設定されていません。電子番組表または 選局 で放送局を選んでください。
- 登録されていないチャンネルをリモコンの数字ボタンで選局したいときは、チャンネル設定を行ってください。（→ **257** 〜 **261** ページ）
- チャンネルプランは 2009 年 2 月現在のもので、変更されることもあります。

メモ

- **データ放送の画面操作方法は、各放送局によって異なります。**
- **選局ボタンで選ぶ場合、スキップ設定（→ 249、258、261 ページ）したチャンネルは飛び越します。**
- **リモコンの数字ボタンに登録されているチャンネルの確認や変更については、257、261 ページをご覧ください。**

デジタル放送を電子番組表で選ぶ

電子番組表でデジタル放送の番組を番組表から選ぶことができます。

電子番組表の表示について

- 本機の電子番組表は、デジタルハイビジョン対応テレビと以下の接続をしているときは、チャンネルを縦に並べ表示する「モード 1」と新聞のテレビ欄のようにチャンネルを横に並べ表示する「モード 2」、番組表の横に予約リストが表示される「モード 3」の 3 つの番組表を表示できます。（工場出荷時は、「モード 3」となっています。）設定は、「スタートメニュー」－「各種設定」－「デジタル設定」－「番組表設定」－「表示方式設定」で行います。（→ **256**、**285** ページ）
  - D 映像ケーブルで接続し、「D 映像出力設定」（→ **280** ページ）を「D3/D4/D5」に設定しているとき
  - HDMI ケーブルで接続し、「HDMI 映像出力設定」（→ **280** ページ）を「オート」、「1080/60p 固定」または「1080i 固定」にしているとき
- 上記以外のテレビ（S 映像ケーブルや AV ケーブル接続にしている）では、チャンネルが縦方向に並んだ 3 時間表示の番組表となります。
- デジタルハイビジョン対応テレビと接続していてチャンネルを縦方向に並べた番組表（モード 1）にしているときは、「6 時間表示（きめ細かい文字）」と「3 時間表示」の選択ができます。
  切り換えは次の方法で行えます。
  - リモコンふた内の 画面表示 を押す。
    「6 時間表示（きめ細かい文字）」⇔「3 時間表示」と切り換わります。
  - 「スタートメニュー」－「各種設定」－「機能切換」－「文字表示設定」（→ **283** ページ）で切り換えられます。

モード 3

予約リストと番組表を並べて表示

※1 番組情報と録画予約の録画先や録画画質などを示すマーク

マーク	内　容
H	録画予約（本体のHDD）している番組
裏	裏録予約（本体のHDD）している番組
	予約情報書き込み専用ディスクでの予約
¥	有料放送
	録画できない番組
C	コピーに制限がある番組 •1回だけ録画可能な番組 •ダビング10の番組（→**54**ページ）

※2 ジャンルを示すマーク

マーク	ジャンル	マーク	ジャンル
	ニュース・報道		映画
	スポーツ		アニメ・特撮
	情報・ワイドショー		教養・ドキュメンタリー
	ドラマ		劇場・講演
	音楽		趣味・教育
	バラエティー		福祉

- 「ジャンルアイコン設定」（→**285**ページ）により、マークを目立たせることができます。

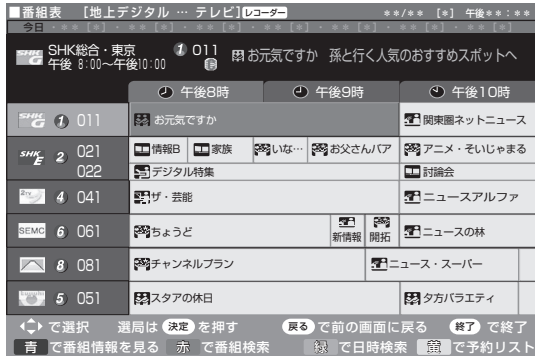
モード 1

縦にチャンネルを並べ、横に 6 時間分を表示

・「文字表示設定」(→ **283** ページ) で「する (きめ細かい文字)」を選択しているときに表示できます。

リモコンふた内の 画面表示 を押すたびに切り換わります。

縦にチャンネルを並べ、横に 3 時間分を表示

・「文字表示設定」(→ **283** ページ) で「しない」を選択しているときに表示できます。

「モード 1」「モード 2」「モード 3」を切り換える

・「スタートメニュー」−「各種設定」−「デジタル設定」−「番組表設定」−「表示方式設定」で、「モード 1」「モード 2」、「モード 3」のいずれかを選んで切り換えることができます（→ **256**、**285** ページ)。

・「文字表示設定」(→ **283** ページ) が「しない」に設定されているときは「モード 1」の表示のみとなります。

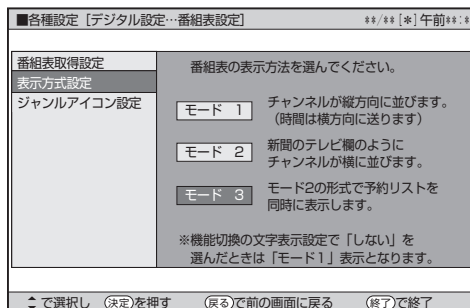
モード 2

新聞のテレビ欄のように、チャンネルを横に並べて表示

・「文字表示設定」(→ **283** ページ) で「する (きめ細かい文字)」を選択しているときに表示できます。

モード2とモード3の番組表では、1つの放送局から2つ以上の番組が放送される場合に空白の番組枠が表示されます。

・ で番組枠を選ぶと、番組情報が番組表の上部に表示されますので内容を確認できます。

・ 決定 を押せば、選局・録画予約を行うことができます。

ご注意

・各放送局が随時最新のデータを送信しています。
・地上デジタル放送は、電源を切っていれば決められた時間 (→ **255** ページ) に番組表データを自動で取得します。
・番組表データ取得中は、本体表示部に「 EPG 」が表示されます。データ取得中は電子番組表が表示されるまでしばらく時間がかかったり、本機の電源操作ができない場合があります。
・電源を入れてすぐに電子番組表を表示させたときや、本機が番組予約の情報を取得する動作をしているときは、電子番組表は表示されません。(空白となります。)

お知らせ

・地上アナログ放送は、電子番組表を表示できません。
・電子番組表が表示されない場合については「故障かな？と思ったら」(→ **297** ページ) をお読みください。
・デジタル放送の電子番組表に何も表示されない放送局がある場合は、その放送局を選局してしばらくすると番組表が表示できるようになります。

次ページへつづく

番組を選ぶには

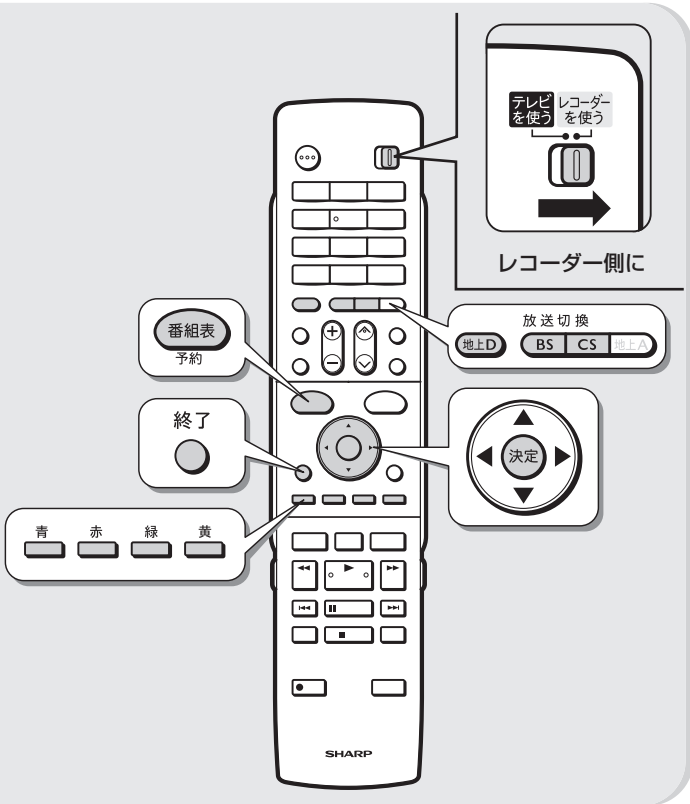
準備 テレビと本機の準備をします

① B-CAS カードをセットします。

② テレビの電源を入れます。

③ 本機の電源を入れます。

④ テレビに向けリモコンの テレビ入力切換 を繰り返し押し、テレビの入力を切り換えます。

例：本機をテレビの外部入力３に接続したとき

• 入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。 詳しくは 37 ページ

本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

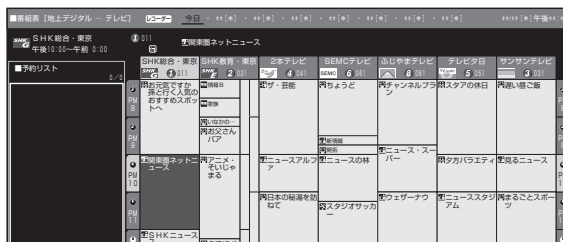
1 デジタル放送を選びます

地上D	地上デジタル放送へ切り換え
BS	BS デジタル放送へ切り換え
CS	110 度 CS デジタル放送へ切り換え

・データ放送の場合 38 ページ

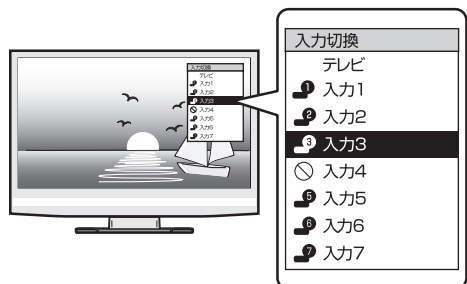
2 電子番組表を表示させます

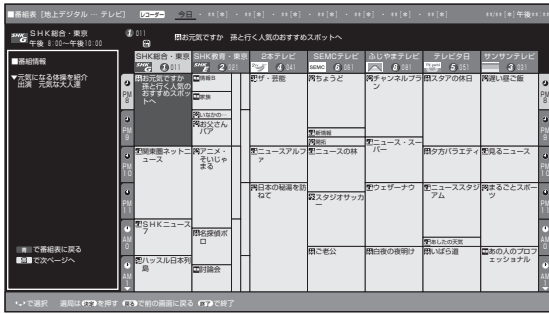
3 番組を選んで決定します

［例］６時間表示（モード３）

• 画面は、ハイビジョン対応テレビと、D 映像ケーブル（「D 映像出力設定」を「D3/D4/D5」に設定時）または HDMI ケーブル（「HDMI 映像出力設定」を「オート」、「1080/60p 固定」または「1080i 固定」に設定時）で接続した場合を例に説明しています。それ以外のテレビでは、3 時間表示の番組表（モード 1）となります。
詳しくは **40**、**41** ページをご覧ください。

放送中の番組 ⇨選局

未放送の番組 ⇨予約録画完了 65、66ページ

•番組表を消すには

番組の情報を見るには

1 番組情報を表示します

2 見たい番組を選びます

- 番組情報が 2 ページ以上あるときは、黄（次ページ）や 緑（前ページ）を押してページを切り換えられます。
- 番組表に戻したいときは

- 番組を選ぶときに、次 / 前 を押して、次／前の時間帯に表示を切り換えることもできます。

番組表を表示する日時を選ぶ

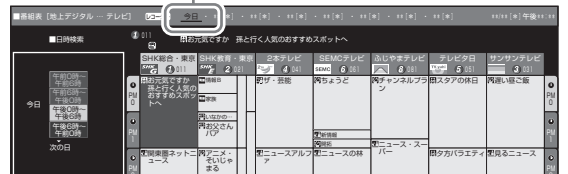
1 電子番組表を表示させます

42 ページ

2 日時検索画面を表示させます

3 日付を選びます

- 黄 を押すたびに日付が進みます。
- 日付を戻したいときは 緑 を押します。

日付が変わります。

4 表示する時間帯を選んで決定します

- 赤 を押して決定することもできます。

5 番組を選んで決定します

放送中の番組 ⇨選局
未放送の番組 ⇨予約録画完了

65、66ページ

- 3 時間表示と 6 時間表示では情報量が異なります。

次ページへつづく

お好みのジャンルの番組をさがす

1 電子番組表を表示させます

42 ページ

2 ジャンル検索を表示させます

赤 押す

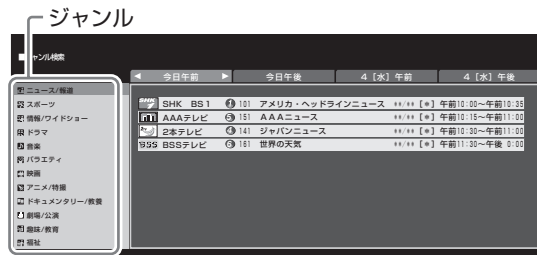
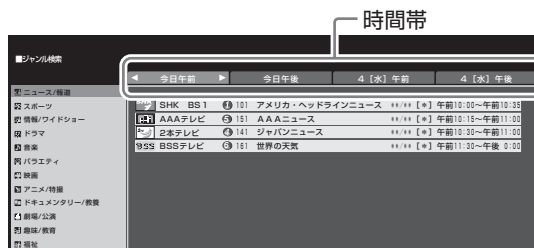
キーワード検索画面

↕ 赤 で切り換えます。

ジャンル検索画面

3 ジャンルを選んで決定します

4 時間帯を選びます

時間帯

- を押すと、番組表示を次のページに送ることができます。前のページに戻るときは、緑 を押します。

- 画面は、ハイビジョン対応テレビと、D 映像ケーブル（「D 映像出力設定」を「D3/D4/D5」に設定時）または HDMI ケーブル（「HDMI 映像出力設定」を「オート」、「1080/60p 固定」または「1080i 固定」に設定時）で接続した場合を例に説明しています。それ以外のテレビでは、3 時間表示の番組表（モード 1）となります。
  詳しくは **40**、**41** ページをご覧ください。
- 電子番組表（モード 1）（→ **41** ページ）を 3 時間表示にしているときは、ジャンル検索の画面に番組終了時刻は表示されません。

5 番組を選んで決定します

放送中の番組 ⇨選局

未放送の番組 ⇨予約録画完了

・3 時間表示と 6 時間表示では情報量が異なります。

キーワードで番組をさがす

キーワード検索は、番組名と番組情報の文章からキーワードと一致する番組を探して表示します。

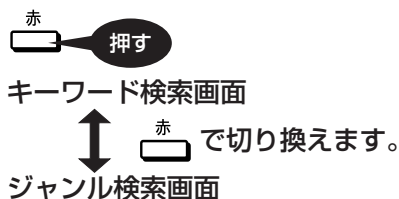
1 電子番組表を表示させます

42 ページ

2 キーワード検索を表示させます

キーワード検索画面

↕ 赤 で切り換えます。

ジャンル検索画面

・キーワードを登録している場合は、手順 5 に進みます。

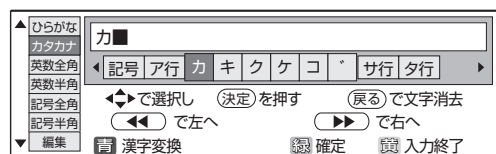
a. キーワードを登録する

3 「[登録されていません]」を選んで 緑（入力）を押します

b. すでに登録されたキーワードを変更する

・登録されたキーワードを選び 緑（入力）を押すと、キーワードを修正できます。
・登録されたキーワードを選び 黄（削除）を押すと、キーワードを削除できます。

4 キーワードを入力します

「文字入力のしかた」→ 159 ページ

・文字の入力が終了したら、黄（入力終了）を押します。

キーワード検索をする

5 キーワードを選んで決定します

キーワード

・検索結果が表示されます。

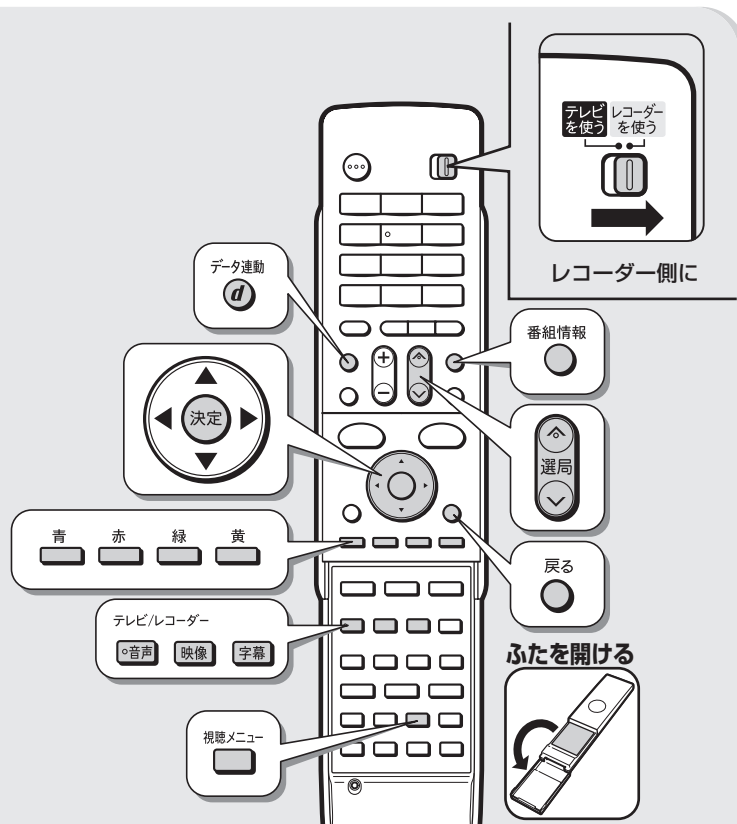
6 番組を選んで決定します

放送中の番組 ⇨選局
未放送の番組 ⇨予約録画完了

65、66ページ

・3 時間表示と 6 時間表示では情報量が異なります。

番組を見ながら使えるボタン

番組情報や連動データ放送を見たり、音声、字幕、映像を切り換えます。

ご注意

マルチビューサービス放送などをHDD（ハードディスク）に録画して再生する場合は

- 主映像以外の映像を再生した場合、データ放送が視聴できない、字幕などが表示できないなどの制限が出る場合があります。また、スロー再生などの特殊な再生はできません。このような制限が出る場合は、主映像でお楽しみください。

お知らせ

- 電源を入れた直後やチャンネル切換えをした直後は、データ連動 ⓓ を押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、テレビ放送受信後しばらく（約20秒）待ってから操作してください。（表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。）
- 連動データ放送を終了させるには再度 データ連動 ⓓ を押します。

チャンネル表示を表示するには

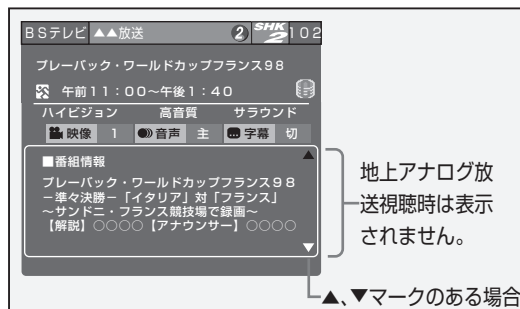
1 視聴中にチャンネルを選びます

チャンネル表示
BS デジタル放送の例

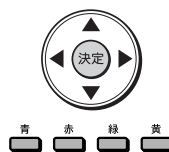
（自動的に消えます。）

番組情報・連動データ放送を見るには

1 視聴中に番組情報を表示させます

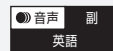
- もう一度押すと番組情報が消えます。

2 連動データ放送を表示させます

- 画面の指示に従って操作できます。

青 赤 緑 黄

主音声・副音声を切り換えるには

番組情報に「◉音声」表示がある場合

（ふた内）

- ボタンを押すたびに音声が切り換わります。

二重音声番組のとき
- 主 → 副 → 主／副 → 主

マルチ音声（ステレオ二重音声）番組のとき
- 音声 1 →音声 2……音声 8※→音声 1

※番組により音声の数は異なります。

- モノラル放送やステレオ放送の音声は切り換わりません。

字幕を切り換えるには

番組情報に「字幕」表示がある場合

（ふた内）

・ボタンを押すたびに字幕が切り換わります。

主映像と副映像を切り換えるには

番組情報に「映像」表示がある場合

（ふた内）

・ボタンを押すたびに映像が切り換わります。

お知らせ

音声切り換えについて

・マルチ音声（ステレオ二重音声）番組を受信したときは、前回の選択に関わらず「音声 1」が選択されます。
・二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
・二重音声やマルチ音声（ステレオ二重音声）のときの言語表記は、放送からの情報による表示であり、必ずしも表記どおりでないことがあります。
・二重音声放送を録画する場合については、「故障かな？と思ったら」（→ **304**、**310** ページ）をご覧ください。

字幕を消したいときは

・視聴メニューで「切」を選んでください。
・「字幕表示設定」（→ **285** ページ）が「する」に設定されているときは、字幕は消せません。「しない」に設定してください。

メモ

連動データ放送の録画について

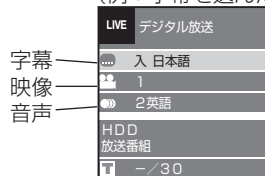
・テレビ放送と同時に送られてくる連動データ放送は、録画画質（→ **55** ページ）を「DR」「2 倍」「3 倍」「HD ○○」に設定して録画すると、テレビ放送と共に録画（記録）されます。
・「DR」「2 倍」「3 倍」「HD ○○」で録画（記録）した連動データ放送は、放送視聴時と同じ操作で再生することができます。（再生時の制限を行っている放送局もあります。）

視聴メニューによる切り換え

1 視聴中に視聴メニューを表示させます

（ふた内）

2 機能を選んで決定します

（例：字幕を選んだとき）

3 機能を切り換えます

・字幕を消したいときは「切」にしてください。
・戻るを押すと視聴メニューは消えます。

メモ

再生時の番組情報について

・HDD（ハードディスク）に「DR」「2 倍」「3 倍」「5 倍」「7 倍」「HD ○○」で録画した番組を再生したときも、番組情報を押すと録画した番組の番組情報を表示して確認することができます。
※ HDD（ハードディスク）に「DR」「2 倍」「3 倍」「5 倍」「7 倍」「HD ○○」以外の録画画質で録画したタイトル（録画した番組）や DVD ディスクに記録されたタイトル（記録された番組）の場合、番組情報画面は表示されません。

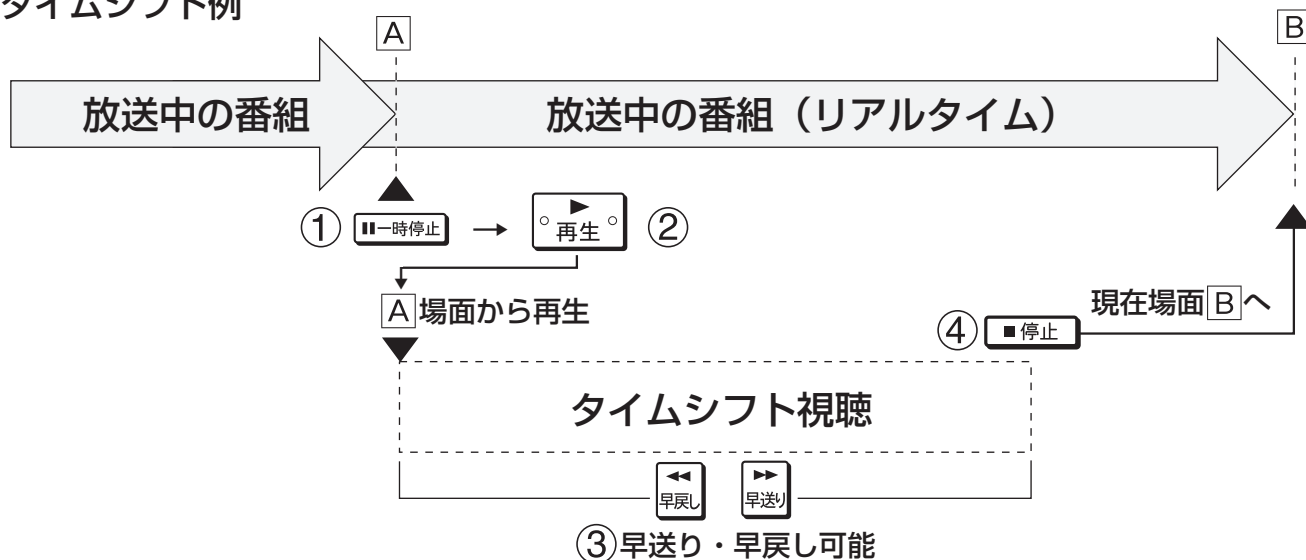
番組情報画面

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販のBDビデオ 市販のDVDビデオ 音楽用CD BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

本機のチューナーで見ている番組を一時停止・早戻しする（タイムシフト視聴）

放送中のデジタル放送番組を一時停止して、つづきから再生して見ることができます。
タイムシフト視聴をするためには、「スタートメニュー」－「各種設定」－「機能切換」－「タイムシフト視聴設定」で 30 分、60 分、90 分のいずれかを選びます。（選んだ時間分、さかのぼって視聴できます。）

タイムシフトの設定は 284 ページ

■タイムシフト例

タイムシフトの種類

■「ちょっと待って」視聴

来客などでテレビの前を離れるとき「一時停止」
用事が終わってテレビの前に戻ってきて「再生」
①一時停止した箇所から「タイムシフト視聴」開始

■「今のシーンをもう一度」視聴

見逃したシーンを見たいとき
⇨戻した箇所から「タイムシフト視聴」開始

■タイムシフト視聴中に

・早送りや早戻ししたいとき

・不要な箇所（CM など）を 30 秒単位で飛ばしたいとき

・「今のシーンをもう一度見たい」とき

・現在時刻の放送に戻りたいとき

ご注意

・タイムシフトを設定したときは、本機が自動的に、タイムシフトのための一時的な録画をします。

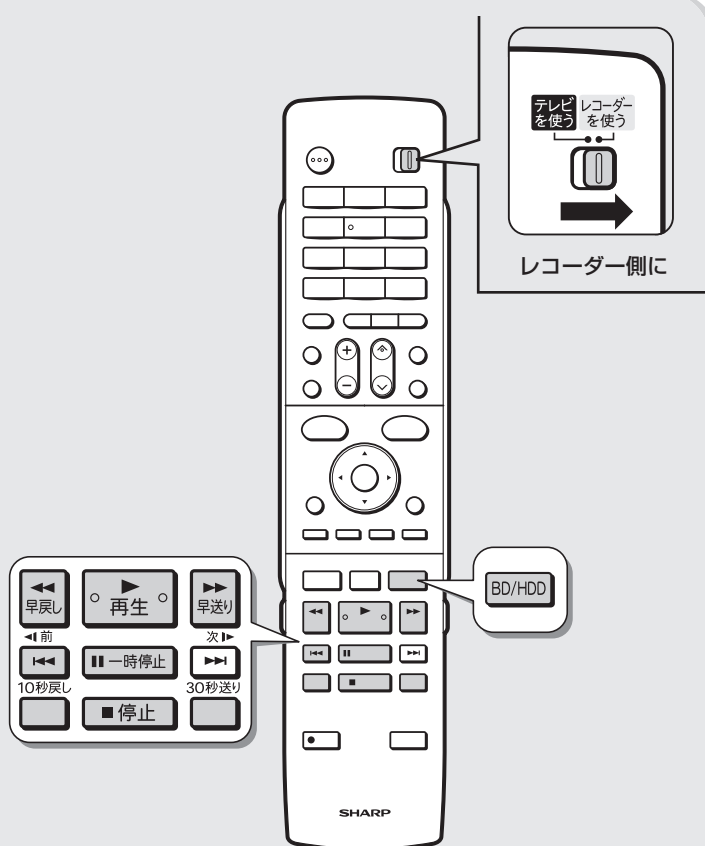
次の場合はタイムシフト視聴はできません。

・タイムシフトを「しない」にした場合（「タイムシフト視聴設定」（→ 284 ページ）で設定してください。）
・データ放送、アナログ放送、外部入力の場合
・録画禁止の番組や著作権保護による場合
・BD または DVD 使用中（本機の BD/DVD ランプが点灯しているとき）
・i.LINK 入力録画中
・HDD の残量が少ないとき

タイムシフト視聴をするときの画質について

・録画画質「DR」（放送画質）となります。

お知らせ

・タイムシフト視聴は、本機の HDD（ハードディスク）のタイムシフト用エリアに視聴中のデジタル放送を常に自動録画することにより行われます。
・さかのぼって視聴できる時間は、初期設定や「タイムシフト視聴設定」で設定した時間（30 分 /60 分 /90 分）の範囲です。
・一時停止状態が 15 分以上続いたときは、一時停止状態は解除され再生となります。
・タイムシフト視聴中に録画予約がスタートすると、タイムシフト視聴が停止され、録画されるチャンネルの現在放送画面に変わります。

タイムシフト操作

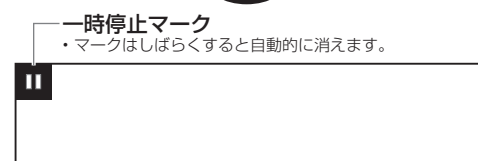
1 HDD モードを選びます

- BD/HDD を押すと、HDD モードと BD/DVD モードが切り換わります。
- 本体前面の HDD ランプが点灯している状態で操作します。

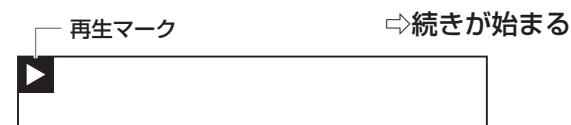
2 タイムシフトの操作をします

■「ちょっと待って」視聴

⇨画面が止まる

一時停止マーク
・マークはしばらくすると自動的に消えます。

3 一時停止したところからタイムシフト視聴を開始します

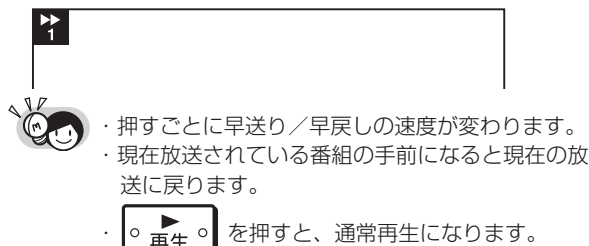
再生マーク

⇨続きが始まる

■「今のシーンをもう一度」視聴

いずれかを押して戻します

■タイムシフト視聴中の早戻し／早送り

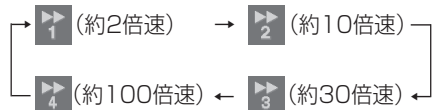
または

・押すごとに早送り／早戻しの速度が変わります。
・現在放送されている番組の手前になると現在の放送に戻ります。
・再生 を押すと、通常再生になります。

4 タイムシフトを終わるとき

⇨現在の放送に戻ります

メモ

タイムシフト視聴中の早戻し／早送り速度

1（約2倍速）→ 2（約10倍速）→ 3（約30倍速）→ 4（約100倍速）→ 1

・タイムシフト視聴中に早送りをして放送に追いついたときは、現在の放送に戻ります。

録画をする前に

本機の HDD（ハードディスク）に録画・予約録画をする前にお読みください。

録画の種類について

今見ている番組を録画する	放送中の番組録画	61ページ
デジタル放送を予約録画する	電子番組表から	65ページ
	日時・チャンネル指定	69ページ
地上アナログ放送を予約録画する	日時・チャンネル指定	69ページ
2番組を同時に録画する	裏録予約	72ページ
ケーブルテレビ放送や外部チューナーから予約録画する	日時・チャンネル指定	69ページ

予約設定・変更などについて

予約の詳細設定をする	77ページ
予約した内容を確認・変更・取り消す	81ページ

ご注意

・外部入力および放送を直接 BD や DVD ディスクに録画することはできません。HDD（ハードディスク）に録画した後、BD や DVD ディスクにダビングしてください。
・予約の最大件数は 62 番組です。それを超える予約はできません。（件数には電子番組表予約、裏録予約、日時指定予約、ダビング予約、休止中の予約が含まれます。予約書き込み機能は含みません。）
・62 件を超える録画予約を完了しようとするとメッセージが表示されます。不要な予約を取り消してください。
・ダビング中は、予約設定はできません。

予約録画実行中の制限について

・通常の予約（表録画予約）または裏録予約が実行中（録画中）の場合は、実行中の予約と時刻の重なる新たな予約は設定できません。
－通常の予約が実行中の場合は裏録予約のみ設定できます。
－裏録予約が実行中の場合は通常の予約のみ設定できます。
－通常の予約と裏録予約が両方とも実行中の場合は、予約は設定できません。すぐに予約を設定したいときは、通常の予約録画を停止させてから設定してください。

メ　モ

■本体表示部のあかりが気になるときは

・電源を切った状態で予約録画が始まると、本体表示部のバックライトが点灯します。就寝中などであかりが気になる場合は、バックライトを点灯しないようにすることもできます。
（→ **284** ページ「液晶設定」）
・エコモード中は、予約録画中でも本体表示部のバックライトは点灯しません。

お知らせ

■予約録画のしかた

・番組の頭切れ防止のため、設定した時刻より数秒早く録画が始まります。
・時間の連続した予約設定をしている場合、次番組は先頭から録画を開始するため、前番組は予約の終了時刻よりも早く録画が終わります。
・既存の予約と日時が重なっている場合は、メッセージが表示されます。画面に従って操作し直してください。

■操作中に録画開始時刻が近づいた場合

・BD や DVD ディスクの再生中であれば、テレビ画面にメッセージが表示されます。再生中のメッセージは、「メッセージ表示設定」（→ **283** ページ）で消すことができます。
・HDD（ハードディスク）の編集中であれば、編集は中断されて予約録画が行われます。（録画画質が SXP 以下の予約）
・BD や DVD ディスクのタイトル名変更などの操作中であれば、変更は中断され、予約録画が行われます。

■ハイビジョン放送をそのままの画質で録画・ダビングするには

・録画画質「DR」で HDD（ハードディスク）に録画してください。
（→ **55**、**61**、**65** ページ）

■ハイビジョン画質で長時間録画するには

・録画画質「2 倍」、「3 倍」、「5 倍」、「7 倍」、「HD ○○」で HDD（ハードディスク）に録画してください。（→ **55**、**61**、**65** ページ）
・放送データを圧縮したハイビジョン画質で長時間録画できます。

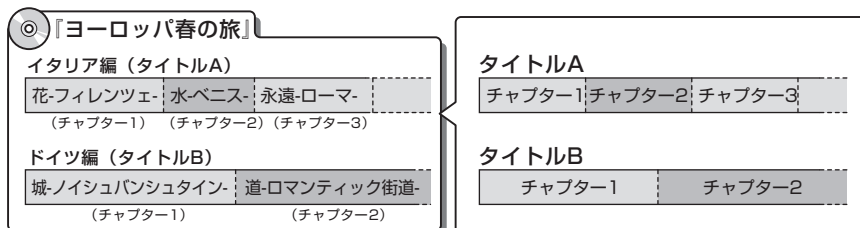
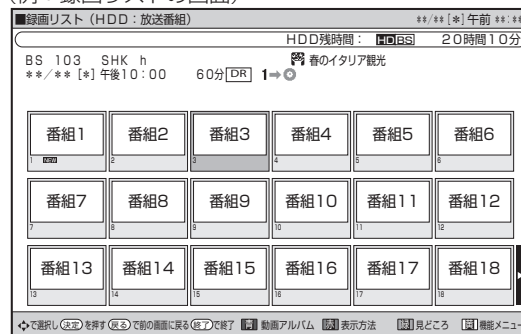
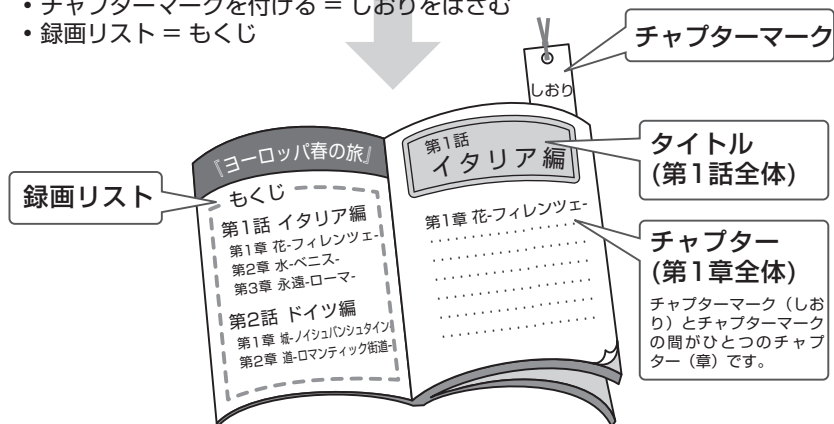
■延長される可能性のある番組の録画をするには

・電子番組表から予約した場合は、「延長」は自動的に「入」に設定されます。（→ **68** ページ）
・アナログ放送を予約したときは、番組延長はありません。

録画した番組の構成

録画した番組は、1回の録画ごとに**「タイトル」**として記録されます。各タイトルは「録画リスト」に一覧表示され、再生や編集ができます。(→ **92** ～ **97** ページ)

・タイトルは**「チャプター」**マークをつけることによりさらに区切ることができ、あとから検索するときに便利です。(→ **63** ページ)
・「オートチャプター設定」をしておけば、録画時、自動的に一定時間ごとにチャプターが区切られます。(→ **278** ページ)
・「タイトル」「チャプター」「録画リスト」の関係は以下のとおりです。

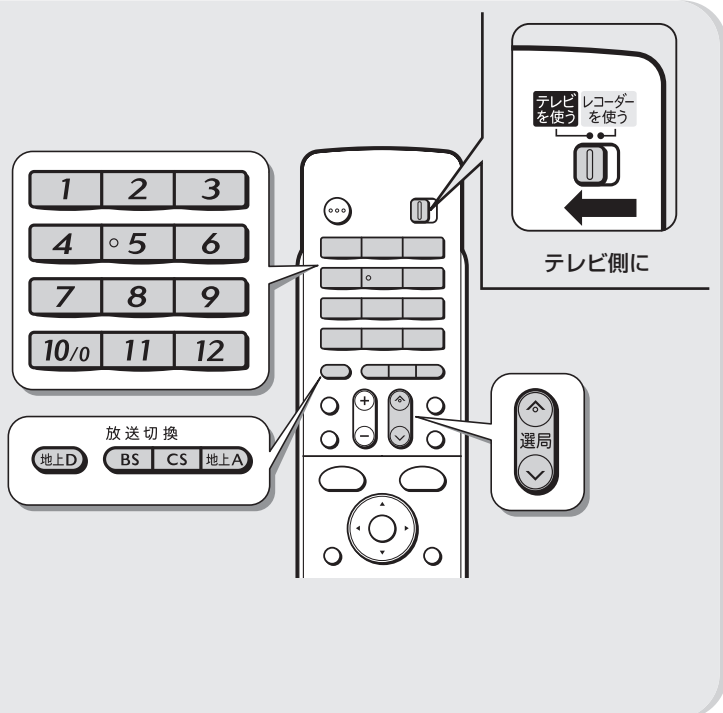
(例：録画リストの画面)

これを短編小説に例えると、次のような関係になります。
• タイトル ＝ 話
• チャプター ＝ 章
• チャプターマークを付ける ＝ しおりをはさむ
• 録画リスト ＝ もくじ

録画中に別の番組を見たい場合

放送中の番組を録画中に別の番組を見たいときは、テレビ側のチャンネルを切り換えます。テレビのリモコン、または本機のリモコンが使えます。

■本機のリモコンで操作するとき

1 テレビ／レコーダー切換スイッチをテレビ側にします

2 選局ボタンで、テレビのチャンネルを切り換えます

・詳しくは **38** ページをご覧ください。

ディスク残量(録画可能時間)を確認する

1 残時間を確認したいディスク(HDDまたはBD/DVD)を選びます

BD/HDD 押す

2 ディスク残量（録画可能時間）を表示させます

（ふた内）

- テレビ画面と本体表示部に、選択しているディスクの残量（残量時間）が表示されます。
- 残量時間が 100 時間以上あるときは、「分」は表示されません。

画面表示（例）

ディスク種別：HDD
残時間： HD BS 80時間10分

本体表示部（例）

80:10

3 表示を消します

（ふた内）

- 残量表示ボタンを押さなくても、表示してから 10 秒後に自動的に表示は消えます。

お知らせ

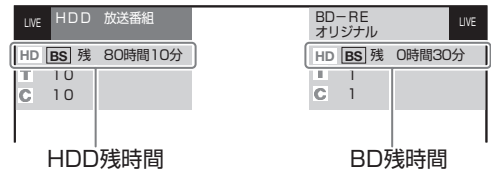
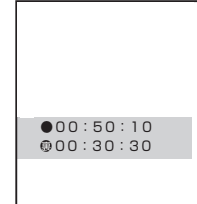
- 残量が足りない場合は、録画や予約ができないことがあります。
- 表示される残時間は、その時点で受信中の放送のきめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像が録画できる時間の目安です。
- 録画（ダビング）できない BD や DVD ディスクがセットされた場合は、「残 0 時間 00 分」や空欄で表示されます。

ディスク情報の確認

1 ディスク情報を表示させます

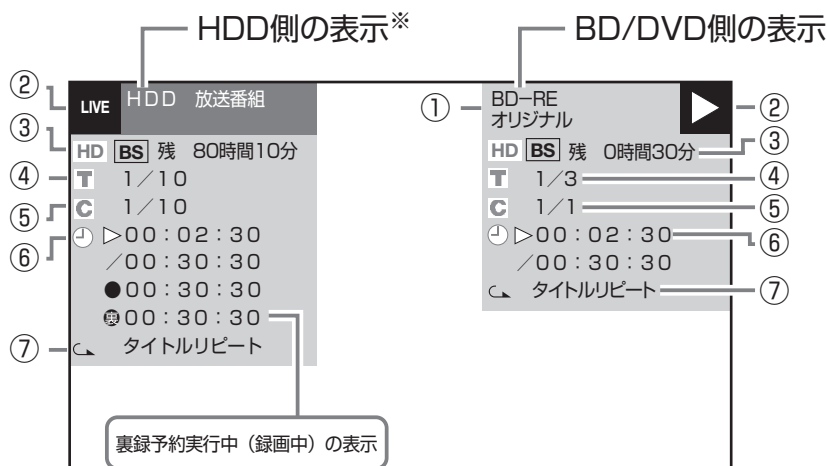
（ふた内）

2 表示を切り換えます

（ふた内）

※ 1 残量時間が 100 時間以上あるときは、「分」表示は表示されません。
※ 2 録画・再生・タイムシフト視聴のときにカウンター表示します。

お知らせ

- ディスク残量表示は、目安です。録画中の残量表示と録画停止時点での表示が一致しないこともあります。
- 一部の市販の BD ビデオでは、チャプターやカウンターの総時間表示が出ないことがあります。

ディスク情報表示例

※ HDD（ハードディスク）の再生モードを表示します。
（「放送番組」か「動画アルバム」かを表示。）

① ディスクの種類／録画フォーマットを表示

・セットしたディスクの種類を表示
・オリジナルタイトルを再生しているかプレイリストを再生しているかを表示（他機でプレイリストを作ったディスクの場合）
・DVDディスクを再生するときは、録画フォーマットを表示

② 動作表示

▶ 再生中	（青いマーク）	■ 録画停止時（赤いマーク）
■ 再生停止時	（青いマーク）	LIVE 録画中（赤いマーク）
REC 録画開始時	（赤いマーク）	LIVE 停止中（青いマーク）

③ 現在受信している放送を録画する場合に、選択されている録画画質で録画するときの残量時間（録画可能時間）を表示

・表示される残時間は、その時点で選択されている録画画質できめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像が録画できる時間の目安です。
・残時間が100時間以上あるときは、「分」表示は表示されません。
・録画できないディスクがセットされたときは、ディスク残量表示部が空欄または「残　0時間00分」と表示されます。
・ファイナライズしたビデオフォーマットのディスクをセットしたとき、および、ファイナライズしたVRフォーマットのDVD-Rをセットしたときは「ファイナライズ済」の表示になります。
・録画画質を「DR」「2倍」「3倍」「5倍」「7倍」「HD○○」に設定しているときは、放送に応じた表示となります。

デジタル放送	アナログ放送
HD ハイビジョン放送	SXP 高画質モード
SD 標準テレビ放送	

④ 再生中または録画中のタイトル番号／そのタイトル数を表示（停止中はディスク内の総タイトル数を表示）

⑤ 再生中または録画中のチャプター番号／そのタイトルの総チャプター数を表示(停止中はディスク内の総チャプター数を表示)

⑥ 再生中は、カウンター／再生中のタイトルの総時間を表示 録画中は、録画開始からの経過時間を表示

⑦ リピート再生をしているときに表示

お知らせ

• 通常の録画と、裏録予約した番組の録画が同時に実行されたときは、残量表示が通常よりも早く減ります。
• 選択している録画画質でHDD(ハードディスク)の残時間が5時間を切ったときは、画面左下に「」のマークが表示されます。

デジタル放送の録画について

■ハイビジョン放送をそのままの画質で録画するには

「HDD（ハードディスク）」に録画画質「DR」で録画する必要があります。

・放送内容に合わせてHD（ハイビジョン画質）やSD（標準画質）で録画されます。
・HDDに録画画質「DR」で録画した番組は、BDに画質を劣化させることなくダビング（高速ダビング）できます。
・録画画質「2倍」「3倍」「5倍」「7倍」「HD ○○」で録画すると、圧縮したハイビジョン画質で長時間録画することができます。

■デジタル放送のダビングに使えるBD/DVDのディスクについて

・**136**ページをご覧ください。

■連動データ放送の録画をするには

「HDD（ハードディスク）」に録画画質「DR」「2倍」「3倍」「HD ○○」で録画する必要があります。

・テレビ放送と同時に送られてくる連動データ放送が、テレビ放送とともに録画（記録）されます。
・録画した番組は、再生時も放送視聴時と同じ操作で連動データ放送を見られますが、放送局によっては再生を制限している場合があります。

ご注意

・スポーツや歌番組などの動きの激しい番組を「7倍」などの長時間録画画質で録画した場合、ブロックノイズなどが目立つ場合があります。また58ページに記載の録画時間まで録画できない場合が多くなりますので、動きの激しい番組を録画する場合は、なるべく3倍以上の高画質で録画していただくことをおすすめします。

お知らせ

マルチビューサービス放送などをHDD(ハードディスク）に録画して再生する場合は

・主映像以外の映像を再生した場合、連動データ放送が視聴できない、字幕などが表示できないなどの制限が出る場合があります。また、スロー再生などの特殊な再生はできません。

■コピー制御信号について

デジタル放送で視聴･録画できる番組には、コピー制御信号が含まれています。

- 録画可能：制限なしに録画・ダビングが可能です
- 録画禁止：録画できません（視聴のみ）
- 1回だけ録画可能※1：録画できますが、HDDからBDまたはDVD、i.LINK、携帯電話などへダビングするとHDDのデータが消えます（ムーブ）
- ダビング10※1※2：録画できます。HDDからBDまたはDVD、i.LINK、携帯電話などに9回までコピーできます。10回目はコピーではなく、移動（ムーブ）となり、HDDからはデータが消えます

※1 外部チューナーなどから録画したデジタル放送は、「AACS」著作権コンテンツ保護技術の規定によりBDディスクへはダビングできません。そのようなタイトルは、DVDディスクを使用してダビングしてください。

※2 外部チューナーを経由してHDD（ハードディスク）に録画したデジタル放送の番組は、「ダビング10」の番組であっても「1回だけ録画可能」の番組となります。そのため、BDまたはDVDにダビングすると、HDD（ハードディスク）のデータが消去され、移動（ムーブ）となります。

■「ダビング10」について

・ダビング10とは、従来「1回だけ録画可能」であったデジタル放送番組を、レコーダー自身に内蔵しているチューナーで受信して内蔵ハードディスクに録画したものに限り、BDまたはDVDディスクなどへ9回までコピーができ、10回目は移動（ムーブ）となるコピー回数を緩和した機能です。
・デジタル放送番組のすべてがダビング10になるわけではありません。
・テレビなど、他の機器より、i.LINKケーブルや、映像・音声コードを用いて入力した場合は、「ダビング10」の番組であっても「1回だけ録画可能」の番組として録画されます。
・ダビング10のデジタル放送番組は、CPRMまたはAACSなどのコンテンツ保護技術に対応した録画機器および録画用DVD、BDを使用したときに録画が行えます。本機はCPRMおよびAACSコンテンツ保護技術を採用しています。

※ CPRM (Content Protection for Recordable Media) とは、デジタル放送番組に対するコンテンツ保護技術の一つです。デジタル放送番組を録画・再生する場合は、機器およびDVDディスクがこの技術に対応していることが必要です。

※ AACS (Advanced Access Content System) とは、コンテンツ保護技術の一つです。デジタル放送番組をBDディスクに録画・再生する場合は、機器およびBDディスクがこの技術に対応していることが必要です。

■用語の解説

- コピー：オリジナルの映像を残したまま複製が可能なことです。
- 移動（ムーブ）：ハードディスクに録画した番組の保存場所を変える（移動する）ことです。（移動後は、ハードディスクに録画されていた番組は自動的に消去されます。）
- 1回だけ録画可能：放送番組から1回だけ録画できることで、コピー（複製）はできません。（ダビングすると移動（ムーブ）となります。）

■録画画質と録画される内容・楽しめる機能

録画画質 / 放送の種類	DR画質	2倍/3倍/HD ○○	5倍/7倍	SXP/XP/SP/LP/EP/MN
マルチビューサービス放送（ステレオ二重音声）	○	視聴中の映像（音声は主・副両方記録されます）	視聴中の映像（音声は主・副両方記録されます）	視聴中の映像 / 音声
連動データ放送	○	○	×	×
二重音声放送	○	○	○	○
字幕	○	○	○	×
番組情報	○	○	○	×
追いかけ再生	○	○	○	×
同時録画再生	○	○	○	×

※マルチビューサービス（ステレオ二重音声）放送を録画した番組をDVDディスクにダビングする際に、副音声（音声2）などをダビングして残したいときは、あらかじめ録画画質を「SXP/XP/SP/LP/EP」または「MN」に設定して、ダビングして残したい音声を選んでから録画してください。

録画画質と録画時間の関係について

- 録画・ダビングをする前に録画画質を決める必要があります。録画画質によって録画できる時間に大きな差が生まれますので、目的によって録画画質を切り換えてください。（下記の表を参照ください。）
- 画質がきれいになるほど記録するデータ量が多くなるため、HDD（ハードディスク）にたくさんの空きが必要になります。つまりきれいな画質で録画するほど、録画できる時間が短くなります。
- BD にハイビジョン画質で記録（ダビング）する場合は、高速ダビング（→ **131**、**136**、**140** ページ）を行ってください。

録画画質設定について

- 録画画質の細かな段階については、**58** ～ **60** ページをご覧ください。
- ハイビジョン画質の録画時間は、BS デジタルハイビジョン放送が録画できる時間の目安です。
- SD 放送の場合は、記載されている時間より 2 倍～ 3 倍長く録画できます。
- BD の録画可能時間は、最大で 48 時間です。

録画画質	マニュアル録画画質設定	録画時間（ダビングできる時間） HDD（ハードディスク）（BD-HDW40の場合）※2	BD（25GB）※3	DVD-RW DVD-R（4.7GB）	参考画質（VHS との比較）
ハイビジョン画質 （DR）※1	−	約 89時間※4	約 2時間10分※4	−	
ハイビジョン画質 長時間 （2 倍）※1	HD06	約 178時間※4	約 4時間20分※4	−	
ハイビジョン画質 長時間 （3 倍）※1	HD02	約 267時間※4	約 6時間30分※4	−	
ハイビジョン画質 より長時間 （5 倍）	−	約 445時間※4	約10時間50分※4	−	
ハイビジョン画質 より長時間 （7 倍）	−	約 623時間※4	約15時間10分※4	−	
高画質 （SXP）	MN68	約 149時間	約 3時間30分	−	
高画質 （XP）	MN65	約 199時間	約 4時間40分	約 60分	S-VHS クオリティー以上
標準画質 （SP）	MN37	約 358時間	約 8時間40分	約120分	S-VHS クオリティー
長時間 （LP）	MN13	約 717時間	約17時間20分	約240分	VHS クオリティー
より長時間 （EP）	MN05	約1345時間	約32時間30分	約360分	VHS 3倍モード
	MN01	約1434時間	約34時間40分	約480分	VHS 3倍モード以下

※ 1　連動データ放送や字幕も記録することができます。
※ 2　BD-HDW32/BD-HDW35/BD-HDW40 の録画時間は **58** ページをご覧ください。
※ 3　2 層ディスクの録画時間は **59** ページをご覧ください。
※ 4　DR は約 24Mbps、2 倍は約 12Mbps、3 倍は約 8Mbps、5 倍は約 4.8Mbps、7 倍は約 3.4Mbps で換算した録画時間です。特に 2 倍・3 倍・HD ○○の録画時間は、連動データ放送が計算値（2Mbps）より大きい放送があり、実際に録画できる時間は記載値よりも誤差が大きくなる場合があります。

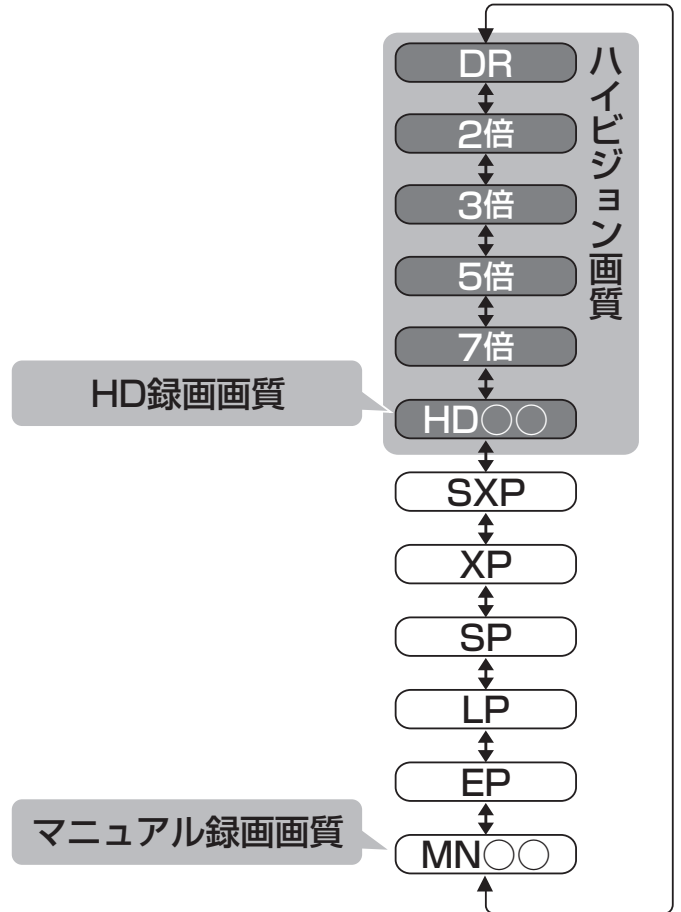
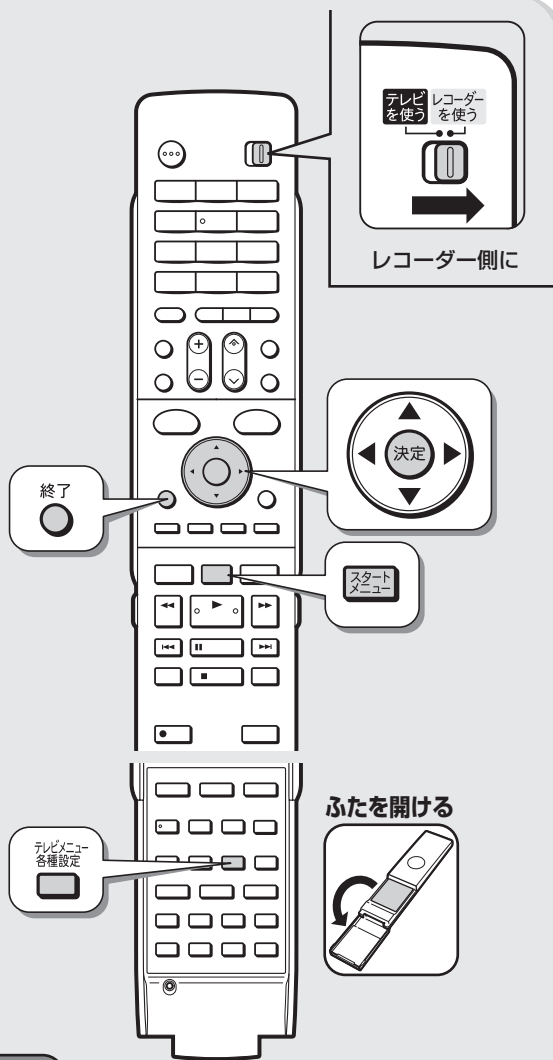
お知らせ

- 録画（ダビング）した時間と空き時間の合計は、録画時間と一致しない場合があります。
- タイムシフト（→ **284** ページ）を設定している場合は **58** ページの表より録画時間が短くなります。
- 写真データを記録したり、携帯電話転送用動画を記録している場合は、**58** ページの表より録画時間が短くなります。
- 地上アナログ放送を受信中に表示される残時間は、その時点で選択されている録画画質でのきめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像が録画できる時間の目安です。
- 録画画質を「DR」「2 倍」「3 倍」「5 倍」「7 倍」「HD ○○」にしているとき、デジタル放送受信中に表示される残量時間は、受信中のデジタル放送（HD：ハイビジョン放送／ SD：標準テレビ放送）が録画できる残量時間です。（残量表示は、目安です。録画できる時間の表示ではありません。）
- 録画時間は目安です。録画時間は、その性能を保証するものではなく、実際の録画では、入力映像やその他の条件により表記の時間を下回る場合があります。
- スポーツや歌番組などの動きの激しい番組を「7 倍」などの長時間録画画質で録画した場合、ブロックノイズなどが目立つ場合があります。また **58** ページに記載の録画時間まで録画できない場合が多くなりますので、動きの激しい番組を録画する場合は、なるべく 3 倍以上の高画質で録画していただくことをおすすめします。

次ページへつづく

HD 録画画質 / マニュアル録画画質を設定する

HDD（ハードディスク）に録画するときの、ＨＤ録画画質「ＨＤ○○」または MN（マニュアル）録画画質「ＭＮ○○」を、手動で細かく設定できます。

録画時、録画画質「HD ○○」または「MN ○○」を選択した際の、画質を設定します。録画画質の選択については **62** ページをご覧ください。

ご注意

・録画前に設定しておいてください。

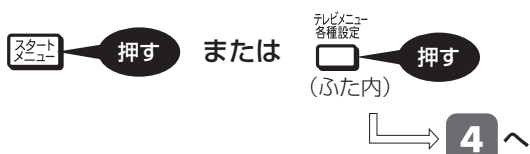
お知らせ

・ＨＤ○○または MN ○○の数字が大きいほど高画質で録画できますが、録画時間は減ります。
・各録画画質と録画時間についての一覧表は、**58** ～ **60** ページをご覧ください。

58 ～ 60 ページの一覧表について

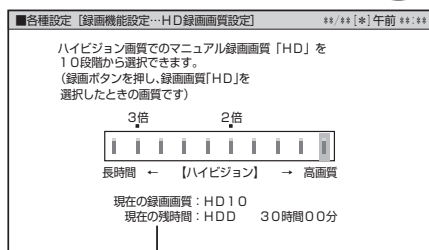
・HDD（ハードディスク）と BD の録画時間は目安です。DVD ディスクの録画時間は 4.7GB のディスクを使用したときの目安です。録画時間はその性能を保証するものではなく、実際の録画では入力映像の画質、その他の条件により表記の時間を下回る場合があります。
・**58** ～ **60** ページの表では、画質が大きく変わる録画画質を太線で示しています。使用するディスクの種類や録画フォーマットにより、画質が大きく変わる録画画質が異なります。
・録画画質 MN01 ～ MN04 は、本機で録画・再生するための長時間録画画質です。他の機器では再生できない場合があります。
・BD や DVD ディスクへの録画画質設定は、ダビング時に行います。

HD 録画画質「HD ○○」を設定する

または

3 「各種設定」を選んで決定します

4 「録画機能設定」－「HD 録画画質設定」を選んで決定します

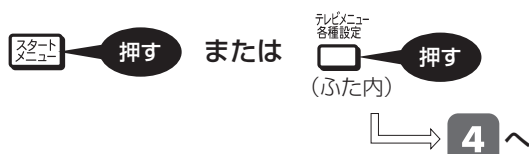
5 録画画質を設定します

録画画質（HD ○○）を

選択した録画画質での録画可能時間表示

6 設定画面を消すには

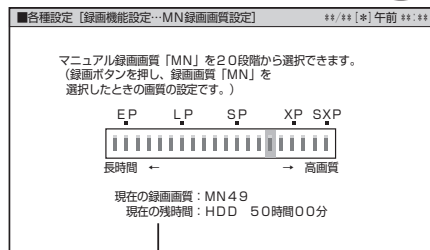
マニュアル録画画質「MN ○○」を設定する

または

4 へ

3 「各種設定」を選んで決定します

4 「録画機能設定」－「MN 録画画質設定」を選んで決定します

5 録画画質を設定します

録画画質（MN ○○）を 選んで

選択した録画画質での録画可能時間表示

6 設定画面を消すには

HDD(ハードディスク) の録画画質と録画時間

録画画質		マニュアル録画画質	録画時間		
			BD-HDW32	BD-HDW35	BD-HDW40
DR（放送画質）	デジタルハイビジョン(HD)放送(BS/110度CSデジタル)		約　27時間	約　44時間	約　89時間
	デジタルハイビジョン(HD)放送(地上デジタル)		約　39時間	約　63時間	約　125時間
	デジタル標準(SD)放送		約　55時間	約　89時間	約　178時間
	デジタルハイビジョン(HD)放送(地上デジタル／BSデジタル／110度CSデジタル) ・録画画質「2 倍」「3 倍」「5 倍」「7 倍」「HD ○○」では、デジタル標準（SD）放送時は、表記の録画時間より長く録画できます。	HD10	約　41時間	約　67時間	約　133時間
		HD09	約　44時間	約　71時間	約　142時間
		HD08	約　47時間	約　76時間	約　152時間
		HD07	約　51時間	約　82時間	約　164時間
2倍		HD06	約　55時間	約　89時間	約　178時間
		HD05	約　61時間	約　97時間	約　194時間
		HD04	約　67時間	約　107時間	約　213時間
		HD03	約　74時間	約　119時間	約　237時間
3倍		HD02	約　83時間	約　134時間	約　267時間
		HD01	約　95時間	約　153時間	約　305時間
5倍			約　139時間	約　223時間	約　445時間
7倍			約　195時間	約　313時間	約　623時間

地上アナログ放送の場合は、録画画質SXPに自動設定されます。

録画画質	マニュアル録画画質	BD-HDW32	BD-HDW35	BD-HDW40
SXP	MN68	約　46時間	約　73時間	約　149時間
	MN67	約　49時間	約　78時間	約　159時間
	MN66	約　55時間	約　89時間	約　179時間
XP	MN65	約　62時間	約　98時間	約　199時間
	MN55	約　74時間	約　118時間	約　239時間
	MN49	約　83時間	約　132時間	約　268時間
	MN44	約　93時間	約　147時間	約　298時間
	MN42	約　99時間	約　157時間	約　318時間
SP	MN37	約　111時間	約　177時間	約　358時間
	MN33	約　124時間	約　196時間	約　398時間
	MN26	約　149時間	約　236時間	約　478時間
	MN21	約　167時間	約　265時間	約　537時間
	MN18	約　186時間	約　295時間	約　597時間
LP	MN13	約　223時間	約　354時間	約　717時間
	MN11	約　248時間	約　393時間	約　796時間
	MN10	約　279時間	約　442時間	約　896時間
	MN08	約　310時間	約　492時間	約　996時間
	MN07	約　335時間	約　531時間	約 1075時間
EP	MN05	約　419時間	約　664時間	約 1345時間
	MN01	約　447時間	約　708時間	約 1434時間

HDD/BD の録画時間算出について

- BS・110 度 CS ハイビジョン（HD）放送は約 24Mbps、地上デジタルハイビジョン（HD）放送は約 17Mbps、標準放送（SD）は約 12Mbps で算出しています。
- 2 倍は、約 12Mbps、3 倍は約 8Mbps、5 倍は約 4.8Mbps、7 倍は約 3.4Mbps で換算した録画時間です。2 倍、3 倍、HD ○○の録画時間は、連動データ放送が計算値（2Mbps）より大きい放送があり、実際に録画できる時間は記載値よりも誤差が大きくなる場合があります。
- スポーツや歌番組などの動きの激しい番組を「7 倍」などの長時間録画画質で録画した場合、ブロックノイズなどが目立つ場合があります。
  また標記の録画時間まで録画できない場合が多くなりますので、動きの激しい番組を録画する場合は、なるべく 3 倍以上の高画質で録画していただくことをおすすめします。

BD の録画画質と録画時間（HDD からのダビングのみ行えます。）

・必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。

録画画質		マニュアル録画画質	録画時間 BD-RE（片面1層 25GB） BD-R（片面1層 25GB）	録画時間 BD-RE（片面2層 50GB） BD-R（片面2層 50GB）
DR（放送画質）	デジタルハイビジョン(HD)放送(BS/110度CSデジタル)		約 2時間 10分	約 4時間 20分
	デジタルハイビジョン(HD)放送(地上デジタル)		約 3時間	約 6時間
	デジタル標準(SD)放送		約 4時間 20分	約 8時間 40分
		HD10	約 3時間 10分	約 6時間 20分
		HD09	約 3時間 20分	約 6時間 40分
		HD08	約 3時間 40分	約 7時間 20分
		HD07	約 4時間	約 8時間
2倍		HD06	約 4時間 20分	約 8時間 40分
		HD05	約 4時間 40分	約 9時間 20分
		HD04	約 5時間 10分	約 10時間 20分
		HD03	約 5時間 40分	約 11時間 20分
3倍		HD02	約 6時間 30分	約 13時間
		HD01	約 7時間 20分	約 14時間 40分
5倍			約 10時間 50分	約 21時間 40分
7倍			約 15時間 10分	約 30時間 20分

デジタルハイビジョン(HD)放送(地上デジタル／BSデジタル／110度CSデジタル)

・録画画質「2 倍」「3 倍」「5 倍」「7 倍」「HD ○○」では、デジタル標準（SD）放送時は、表記の録画時間より長く録画できます。

地上アナログ放送の場合は、録画画質SXPに自動設定されます。

録画画質	マニュアル録画画質	BD-RE / BD-R（片面1層 25GB）	BD-RE / BD-R（片面2層 50GB）
SXP	MN68	約 3時間 30分	約 7時間
	MN67	約 3時間 50分	約 7時間 20分
	MN66	約 4時間 20分	約 8時間 40分
XP	MN65	約 4時間 40分	約 9時間 20分
	MN55	約 5時間 40分	約 11時間 20分
	MN49	約 6時間 30分	約 13時間
	MN44	約 7時間 10分	約 14時間 20分
	MN42	約 7時間 40分	約 15時間 20分
SP	MN37	約 8時間 40分	約 17時間 20分
	MN33	約 9時間 40分	約 19時間 20分
	MN26	約 11時間 30分	約 23時間
	MN21	約 13時間	約 26時間
	MN18	約 14時間 30分	約 29時間
LP	MN13	約 17時間 20分	約 34時間 40分
	MN11	約 19時間 10分	約 38時間 40分
	MN10	約 21時間 40分	約 43時間 40分
	MN08	約 24時間 10分	約 48時間
	MN07	約 26時間	約 48時間
EP	MN05	約 32時間 30分	約 48時間
	MN01	約 34時間 40分	約 48時間

BD の録画可能時間は、最大 48 時間です。

DVD ディスクの録画画質と録画時間（HDD からのダビングのみ行えます。）

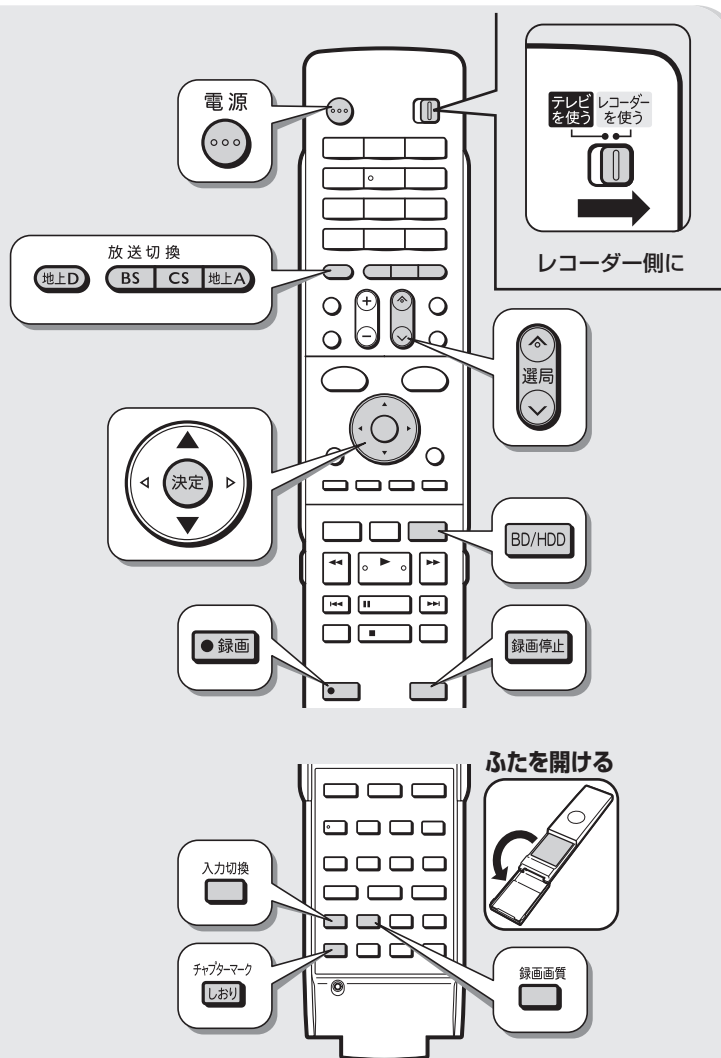
・必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。

録画画質	マニュアル録画画質	DVD-RW（片面1層 4.7GB）DVD-R （片面1層 4.7GB）の録画時間	
		VRフォーマット	ビデオフォーマット
XP	MN65	約 60分	←
	MN64	約 70分	←
	MN63	約 72分	←
	MN62	約 74分	←
	MN61	約 76分	←
	MN60	約 78分	←
	MN59	約 80分	←
	MN58	約 82分	←
	MN57	約 83分	←
	MN56	約 85分	←
	MN55	約 87分	←
	MN54	約 88分	←
	MN53	約 90分	←
	MN52	約 92分	←
	MN51	約 93分	←
	MN50	約 95分	←
	MN49	約 96分	←
	MN48	約 98分	←
	MN47	約 100分	←
	MN46	約 101分	←
	MN45	約 103分	←
	MN44	約 105分	←
	MN43	約 106分	←
	MN42	約 108分	←
	MN41	約 110分	←
	MN40	約 112分	←
	MN39	約 115分	←
	MN38	約 117分	←
SP	MN37	約 120分	←
	MN36	約 122分	←
	MN35	約 124分	←
	MN34	約 127分	←
	MN33	約 130分	←

録画画質	マニュアル録画画質	DVD-RW（片面1層 4.7GB）DVD-R （片面1層 4.7GB）の録画時間	
		VRフォーマット	ビデオフォーマット
	MN32	約 133分	←
	MN31	約 136分	←
	MN30	約 140分	←
	MN29	約 143分	←
	MN28	約 146分	←
	MN27	約 150分	←
	MN26	約 153分	←
	MN25	約 156分	←
	MN24	約 160分	←
	MN23	約 165分	←
	MN22	約 170分	←
	MN21	約 175分	←
	MN20	約 180分	←
	MN19	約 185分	←
	MN18	約 190分	←
	MN17	約 200分	←
	MN16	約 210分	←
	MN15	約 220分	←
	MN14	約 230分	←
LP	MN13	約 240分	←
	MN12	約 255分	←
	MN11	約 270分	←
	MN10	約 285分	←
	MN09	約 300分	←
	MN08	約 315分	←
	MN07	約 330分	←
	MN06	約 345分	←
EP	MN05	約 360分	←
	MN04	約 390分	←
	MN03	約 420分	←
	MN02	約 450分	←
	MN01	約 480分	←

録画画質	DVD-R DL（片面2層 8.5GB）の録画時間
XP	約 111分
SP	約 215分
LP	約 431分
EP	約 646分

放送中の番組を録画する（らくらく一発録画）

今見ている番組をその場で HDD（ハードディスク）に録画します。
放送中の番組を BD や DVD ディスクに直接録画することはできません。

デジタル放送を録画するときは

- 本機に B-CAS カードを挿入してください。
- 有料放送（WOWOW や CS 放送など）を録画するときは、契約済みの B-CAS カードを本機に挿入してください。

ご注意

- １回の録画の最長時間
  HDD（ハードディスク）: 12 時間
- 録画できる番組数（放送番組と、動画アルバムの合計）
  HDD（ハードディスク）: 999 番組
- 「録画予約」の開始時刻になると、録画が停止されます。（録画予約優先）
- 録画が禁止されている番組や独立データ放送（→ **333** ページ）は録画できません。
- 録画禁止の番組が始まったりデジタル放送の電波状況が悪くなった場合は、録画が停止・一時停止する場合があります。
- デジタル放送を「DR」、「2倍」、「3倍」「HD ○○」以外の録画画質で録画しているとき、連動データ放送は録画できません。
- 録画中に停電になったときや誤って電源プラグを抜いたときは、その番組は正常に保存されず、編集やダビングなどができません。

お知らせ

- 録画画質と録画時間の関係については、**55** ページ
- ハイビジョン放送をそのままの画質で録画したい場合や、デジタル放送のさまざまな機能を録画後も楽しみたい場合は、HDD（ハードディスク）に「DR」で録画してください。また、「2倍」「3倍」「5倍」「7倍」「HD ○○」で録画すると、圧縮したハイビジョン画質で長時間録画できます。

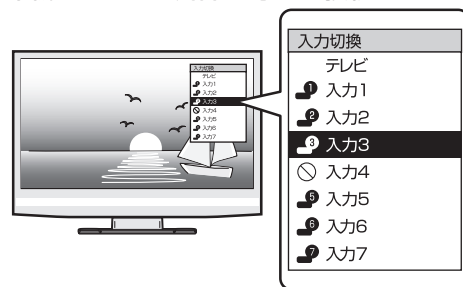
準備 テレビと本機の準備をします

① B-CAS カードをセットします。

② テレビの電源を入れます。

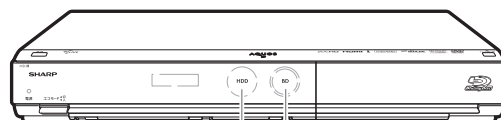
③ 本機の電源を入れます。

④ テレビに向けリモコンの テレビ入力切換 ○ を繰り返し押し、テレビの入力を切り換えます。

例：本機をテレビの外部入力 3 に接続したとき

- 入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。 詳しくは 37 ページ

本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

1 HDD モードを選びます

- リモコンを本機に向けて押すたびに、HDD モードと BD/DVD モードが切り換わります。電源を入れると自動的に HDD モードになります。

HDDモード選択時に点灯します

BD/DVDモード選択時に点灯します

- 本体前面の HDD ランプが点灯している状態で操作します。

2 録画したい番組を選局します

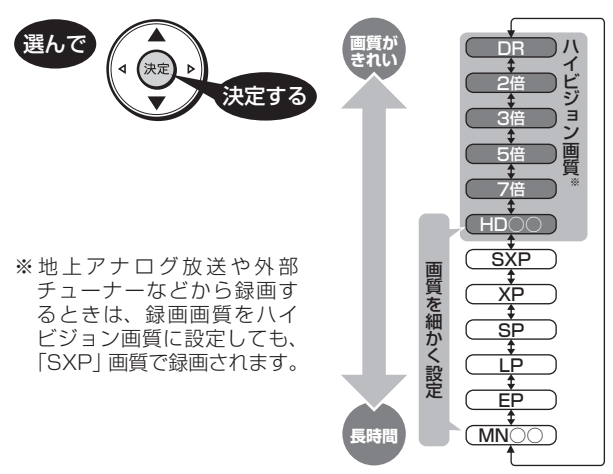
地上D	地上デジタル放送へ切り換え
BS	BS デジタル放送へ切り換え
CS	110 度 CS デジタル放送へ切り換え
地上A	地上アナログ放送へ切り換え

・外部機器（ケーブルテレビなど）を録画するときはリモコンふた内の 入力切換 で接続した外部入力名（L1 など）を選んでください。 ➞詳しくは **39** ページ

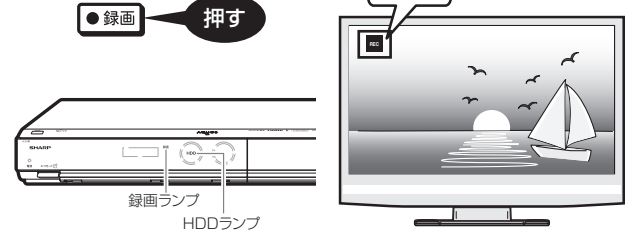
■録画画質を変更したいときは

・初期状態の録画画質は、一番きれいな画質で録画できる「DR」が設定されています。

録画画質設定画面を表示させます

録画画質を選びます

※地上アナログ放送や外部チューナーなどから録画するときは、録画画質をハイビジョン画質に設定しても、「SXP」画質で録画されます。

・録画画質については、➞ **55** ページをご覧ください。
・ハイビジョン放送をそのままの画質で録画する場合は「DR」を選んでください。
・「2 倍」「3 倍」「5 倍」「7 倍」「HD ○○」で録画すると、圧縮したハイビジョン画質で長時間録画できます。
・HD ○○または MN ○○の設定については、➞ **56** ページをご覧ください。
・残量を確認したいときは、➞ **52** ページをご覧ください。

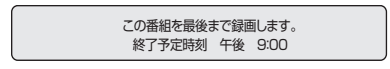
3 録画を始めます

⇨HDD ランプがオレンジ色に点灯
⇨録画ランプが赤色に点灯
⇨テレビ画面左上に REC マーク表示

・電子番組表で区切られた、番組の開始時刻約 2 分前を過ぎて録画を開始すると、次の番組の終了時刻が設定されます。

4 録画の終了時刻を確認します

• デジタル放送を録画したときは、テレビ画面に録画終了時刻のメッセージが表示されます。

録画終了時刻のメッセージ例

この番組を最後まで録画します。
終了予定時刻　午後　9:00

• 終了時刻になると、自動的に録画が停止します。番組が延長しても番組の最後まで録画します。ただし、番組が延長した時刻に他のチャンネルの予約が重なっているときは、予約録画が優先されます。

■録画停止後に電源が切れるようにしたいとき

• 終了時刻を設定した後に 電源 を 1 回押します。

■終了時刻より前に録画を停止したいとき

• 録画停止 を続けて 2 回押してください。
• 録画と高速ダビングを同時に行っているときは、録画停止 を押すと、どちらを停止するのかを選択する画面が表示されますので、停止したいほうを選び 決定 を押してください。

■録画予定終了時刻の表示について

• 以下の場合は番組終了時刻が設定されず、メッセージが表示されません。
  ・地上アナログ放送や外部チューナー、ケーブルテレビ（CATV）など外部入力で録画したとき。
  ・録画開始時に、番組の終わりまでが 12 時間を超える番組。
  ・録画した番組の終了時刻と重複する予約があるとき。
  ・残量が不足するとき。
• 終了時刻が表示されないときは、録画停止 を押すまで録画が続きます。必要に応じて 録画停止 を押し、録画を止めてください。

録画終了時刻を変更（設定）したいときは、**63** ページをご覧ください。

録画中に別の番組を見たいときは

テレビのチャンネルを切り換えて別の番組をご覧ください。

選局ボタンでテレビのチャンネルを切り換えます

・テレビのチャンネルを切り換えても、録画はそのまま継続されます。

録画終了時刻を設定し直すには

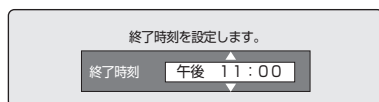
終了時刻設定画面を表示させます

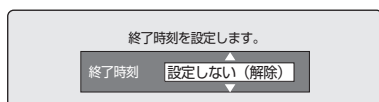
録画中に

終了時刻を設定します。
終了時刻　午後　9：00

・電子番組表で番組情報が取得されていないときや、地上アナログ放送では、「この番組の最後まで」は設定できません。

2 終了時刻を選んで決定します（15 分単位）

終了時刻を設定します。
終了時刻　午後　11：00

・設定を解除したい場合は、「設定しない（解除）」を選びます。

終了時刻を設定します。
終了時刻　設定しない（解除）

録画終了後の動作について

■「この番組の最後まで」を設定したとき

・番組が延長しても、番組の最後まで録画します。

■録画終了時刻を設定したとき

・設定した時刻になると、自動的に録画が停止します。

■録画停止後に電源が切れるようにしたいとき

・終了時刻を設定した後に 電源 を 1 回押します。

■終了時刻より前に録画を停止したいとき

・録画停止 を続けて 2 回押してください。
・録画と高速ダビングを同時に行っているときは、録画停止 を押すと、どちらを停止するのかを選択する画面が表示されますので、停止したいほうを選び 決定 を押してください。

チャプターマーク（しおり）を付けるには

あとで編集するときや頭出しのために、録画中にチャプターマーク（しおり）を記録できます。

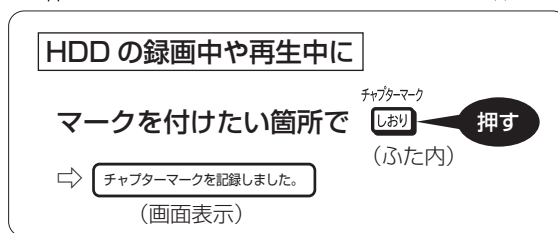
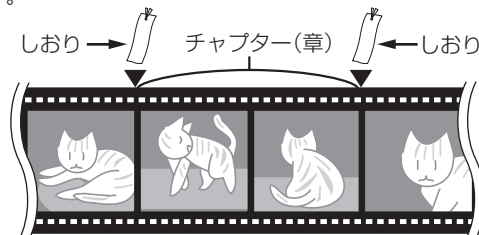
■チャプターマークとは

映像の区切りのことです。（本にたとえると「しおり」のようなものです。）お好みの場所に記録させておくと、再生時の頭出しや編集するときに便利です。

マークを付けたい箇所で

（ふた内）

⇨ チャプターマークを記録しました。

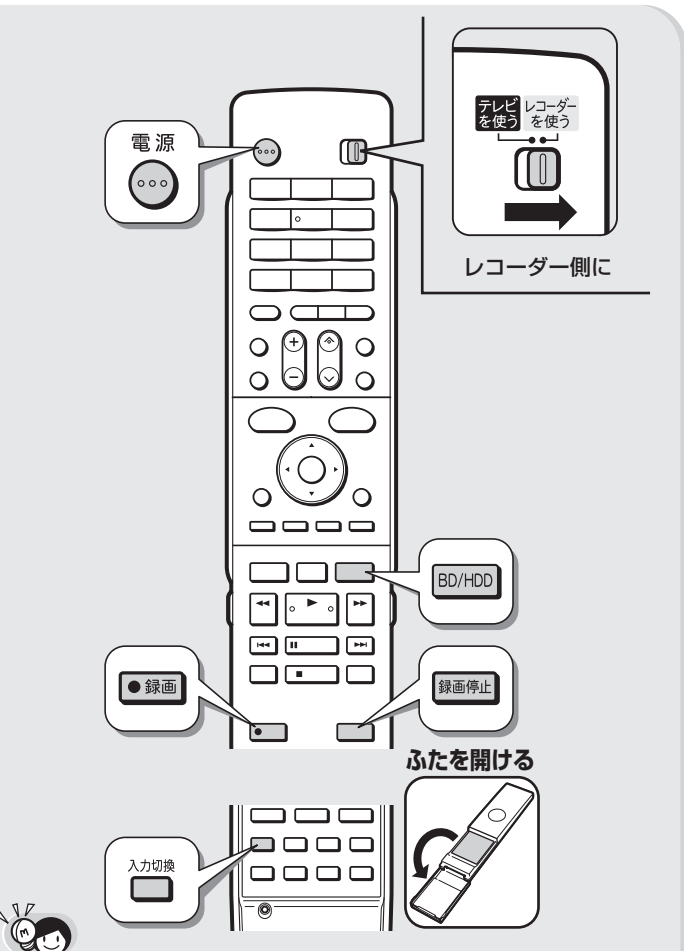
（画面表示）

・同時録画再生中は、再生側にチャプターが追加されます。

メモ

・通常の再生時にもチャプターマーク記録操作ができますが、追いかけ再生中（→ **112** ページ）はできません。
・1 タイトルごとに記録できるチャプター数：99
・記録できるチャプター合計数：4000
・BD や DVD ディスクのタイトルにチャプターマークを付けることはできません。

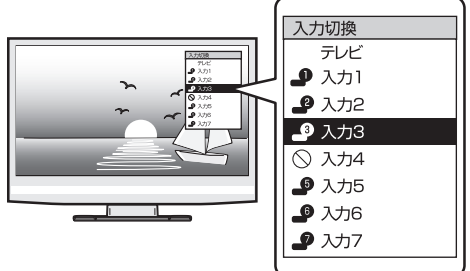
HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販のBDビデオ 市販のDVDビデオ 音楽用CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

ケーブルテレビ（CATV）や外部チューナーからの番組を録画する

ケーブルテレビ（CATV）ボックスや外部チューナーからの映像を録画するときは本機の入力を切り換え、外部機器で選局した放送を録画します。
・番組をＢＤやＤＶＤディスクに直接録画することはできません。

・外部チューナーなどから録画したとき、連動データ放送や字幕などは録画されません。
・ケーブルテレビ（CATV）ボックスを使用して HDD（ハードディスク）に録画したデジタル放送番組は、著作権保護技術「AACS」規定により、BD へのダビングはできません。CPRM に対応した DVD-RW または DVD-R を VR フォーマットで初期化してからダビングしてください。

準備 テレビと本機の準備をします

① テレビの電源を入れます。

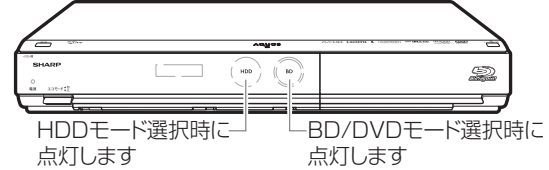
② テレビに向けたままリモコンの テレビ入力切換 を繰り返し押し、テレビの入力を切り換えます。

例：本機をテレビの外部入力３に接続したとき

• 入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。　詳しくは 37 ページ

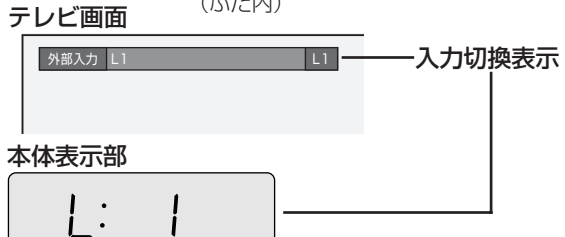
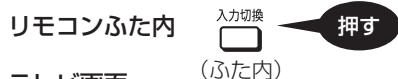
本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

1 ＨＤＤモードを選びます

BD/HDD 押す

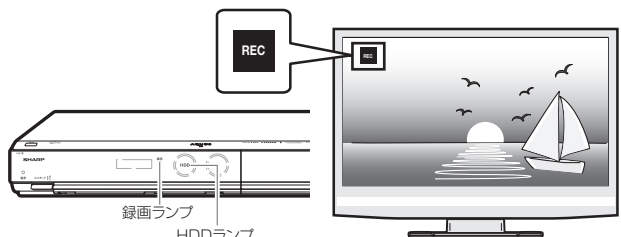
・押すたびに、HDD モードと BD/DVD モードが切り換わります。電源を入れると自動的に HDD モードになります。

・本体正面の HDD ランプが点灯している状態で操作します。

2 ケーブルテレビや外部チューナーを接続した入力を選びます

リモコンふた内 入力切換 押す（ふた内）

3 ケーブルテレビや外部チューナーで録画したい放送を選びます

4 録画を始めます

●録画 押す

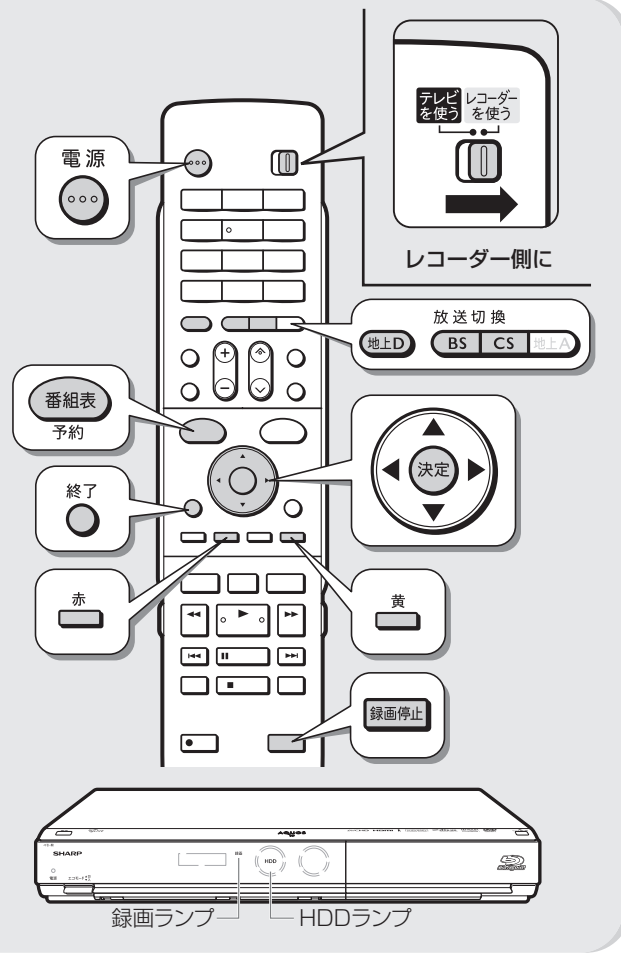
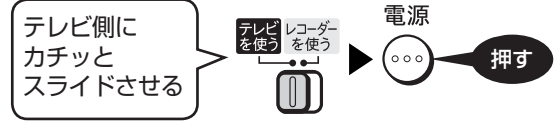
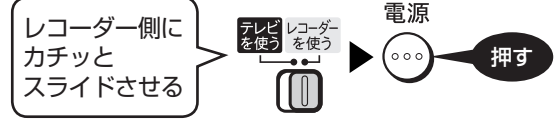
⇨HDD ランプがオレンジ色に点灯
⇨録画ランプが赤色に点灯
⇨テレビ画面左上に REC マーク表示

録画を止めるとき

録画停止 を押し、録画を止めてください。

ご注意

・外部チューナーなどから録画したとき、デジタル放送は「ダビング 10」の番組でも「1 回だけ録画可能」番組として保存されます。
・外部チューナーなどから録画したデジタル放送番組は、BD へのダビングはできません。
・ハイビジョン放送でも、ハイビジョン画質にはなりません。

デジタル放送を電子番組表で予約する（らくらく予約）

デジタル放送を電子番組表から希望の番組を選ぶだけで予約設定できます。7日先まで予約録画できます。地上アナログ放送の電子番組表は表示できません。地上アナログ放送の予約録画については→ **69** ページをご覧ください。

準備 テレビと本機の準備をします

① B-CAS カードをセットします。

② テレビの電源を入れます。

③ 本機の電源を入れます。

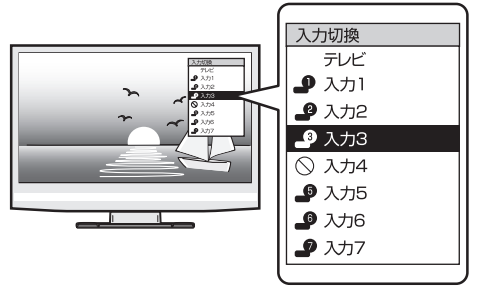
④ テレビに向けリモコンの テレビ入力切換 を繰り返し押し、テレビの入力を切り換えます。

例：本機をテレビの外部入力 3 に接続したとき

・入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。 詳しくは 37 ページ

本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

1 予約したいデジタル放送を選びます

地上D	地上デジタル放送へ切り換え
BS	BS デジタル放送へ切り換え
CS	110 度 CS デジタル放送へ切り換え

予約録画を設定する前に

・予約したい放送局（チャンネル）が映っていることを確認します。

放送局が映らないときは

・B-CAS カードは正しくセットされているか確認してください。（→ **222** ページ）

・WOWOW 放送や CS 放送などを録画するときは、契約済みの B-CAS カードを本機にセットしてください。

予約した番組の放送が延長されそうなときは

・電子番組表から予約した場合､「延長」が「入」に設定されます。（→ **68** ページ）

・別の予約録画と重なったときは､録画開始時間が早い予約が優先されます。

予約をしたあとは

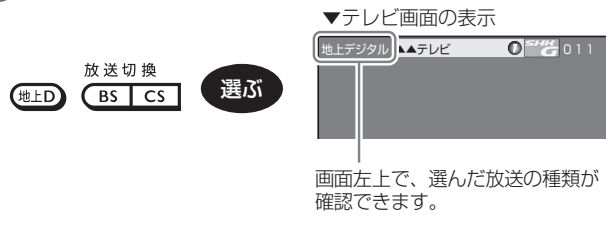
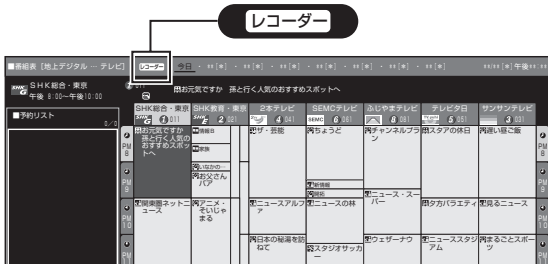
・お出かけになるときや、就寝中（深夜）に予約録画するときは、本機とテレビの電源を切ってください。電源を切っても予約録画は働きます。

・本機のコンセントは抜かないでください。予約録画が働きません。

メモ

・HDD の残量が少なく録画しきれないときは、タイトル消去（→ **66**､**118** ～ **120** ページ）をします。

・予約録画した番組と同じ時間帯に重複する予約があるときは、予約の重複をお知らせする画面（→ **67** ページ）が表示されます。

・毎週（毎日）放送される番組を予約したいときは、**67**、**70** ページをご覧ください。

2 番組表を表示させます

・接続しているテレビや接続しているケーブルによっては上記の画面にならない場合があります。（→ **40** ページ）

3 予約する番組を選んで決定します

放送局の続きがあります

選んでいる番組
（黄色で表示されます）

番組選択

決定した番組に
「H」が表示されます。

・翌日以降の番組を予約するときやジャンルで検索する番組など、電子番組表の使いかたについて詳しくは **40** ～ **45** ページをご覧ください。
・現在放送中の番組を選択したときは、予約（録画）されず、選択した番組が選局されます。

4 番組表を消します

・開始時刻になると、録画が始まります。
・録画が始まると、録画ランプと HDD ランプが点灯します。（エコモードスイッチが「入」のときは点灯しません。）
・**電源を切っても録画予約は働きます。**

■ HDD（ハードディスク）の残量が不足している場合

・手順 3 で (決定) を押したあと次のような画面になったときは、HDD（ハードディスク）の残量が足りません。タイトル（録画した番組）を消して、HDD（ハードディスク）の残量を増やします。

現在のHDD残時間ではこの予約は最後まで実行できません。
予約実行可能目安：＊＊月＊＊日［＊］まで
HDD残時間を増やすにはタイトル消去を行ってください。

予約設定終了　おすすめ消去リスト

おすすめ消去で消す

・「おすすめ消去リスト」を選んで決定を押すと、タイトル消去画面になります。

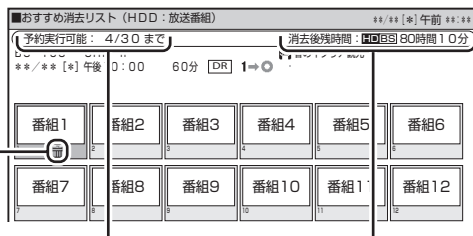
1 つのタイトルを選んで消去する場合

複数のタイトルを一度に選んで消去する場合

①

・上記操作をくり返し、最大 20 タイトル（またはチャプター）まで選べます。

② 選び終わったら

・決定したタイトルには「🗑」マークがつきます。

決定したタイトルを消去した後の予約可能日の目安を表示します。

決定したタイトルを消去した後のハードディスク残時間です。

・もう一度選ぶと、選択が解除されます。

・消去したいタイトルを選んで決定したら、「する」を選んで決定します。
・消去が済んだら、終了 を押して終了します。

・おすすめ消去リストで、赤 を押して並び順を変えることができます。

おすすめ消去リストの表示について

・予約リスト画面（→ **82** ページ）で 赤（おすすめ消去）を押しても表示できます。
・スタートメニューの「消去」－「タイトル選択消去」を選んでもタイトルを消去することができます。

■予約の重複について

・手順 3 で 決定 を押したあと次のような画面になったときは、既存の予約と重複しています。このようなときは、現在の予約を「裏録予約」にすることができます。詳しくは **73** ページをご覧ください。

同じ時間帯に上の番組が表録画予約されています。
裏録予約すると、重なった２つの番組を同時に録画できます。
重複予約を休止し予約すると、前の予約を残したまま
（録画はされません）、新たに予約が入ります。

裏録予約する（画質［DR］） | 重複予約を休止し予約する | 予約しない

・手順 3 で 決定 を押したあと次のような画面になったときは、裏録予約を含む既存の予約と重複しています。このようなときは、既存の予約を「休止状態」にして、現在の予約を実行させることができます。「休止」と「実行」は予約リスト画面で切り換えることができます。切り換えの操作については **82** ページをご覧ください。

同じ時間帯に上の番組が予約されています。
予約されている番組を休止して、この番組を予約しますか？
重複予約を休止し予約すると、前の予約を残したまま
（録画はされません）、新たに予約が入ります。

すでに設定された予約を休止し、新しい予約を設定

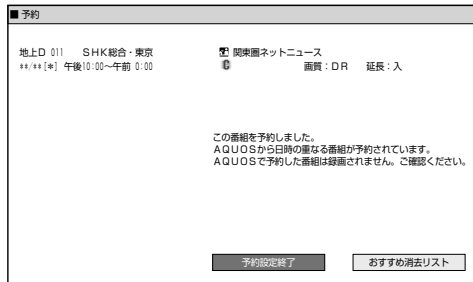
すでに設定された予約を残す

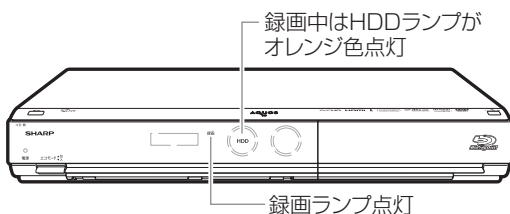
ファミリンク対応アクオスからの予約と重複した場合

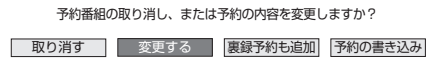
・次のようなお知らせメッセージが表示されます。

AQUOSから日時の重なる番組が予約されています。AQUOSの予約は録画されません。

69 ページの手順で日時指定予約や、65 ページの手順で予約内容を変更したときに、ファミリンク対応アクオスからの予約と重複した場合

・次のような画面になります

・予約設定を終了すると本機の予約が実行され、アクオスで予約した番組は録画されません。
・両方の番組を録画したいときは、本機の予約を裏録予約してください。ファミリンク予約［1］（標準）との重複予約については、**172** ページをご覧ください。

録画開始時刻になると、録画が始まります。

■予約した内容を確認・変更する

➡もう一度同じ番組を選び決定します。
「録画日」（毎日・毎週への変更を含む）「開始 / 終了時刻」「録画先」「録画画質」「延長」などが確認・変更できます。
「変更する」を選び決定します。
詳しくは→ **70** ページ手順 4 〜 **71** ページ手順 7

予約番組の取り消し、または予約の内容を変更しますか？

取り消す | 変更する | 裏録予約も追加 | 予約の書き込み

取り消す	予約が取り消されます。
変更する	予約内容の確認や変更ができます。
裏録予約も追加	同じ番組が裏録にも追加予約されます。
予約の書き込み	BDディスクに予約の書き込みができます。（→**84**ページ）

確認や変更が済んだら

■その他のメッセージについては、80 ページをご覧ください。

・**80** ページに記載されていないエラーメッセージについては、**313** 〜 **324** ページをご覧ください。

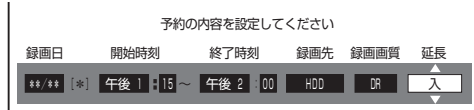
ご注意

・番組が始まるまで2分を切ると、予約ができません。そのようなときは直接録画してください。
・あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
・放送は i.LINK（TS）端子からは出力されません。
・地上アナログ放送は、番組表予約ができません。「地上アナログ放送予約」（→ **69** ページ）で予約してください。

お知らせ

・放送を選んでから「スタートメニュー」-「予約」-「デジタル放送番組表予約」を選んでも電子番組表が表示されます。
・放送局で番組の開始時刻が変更されると予約した録画が行われない場合があります。（「受信機レポート」にメッセージが残ります。（→ **274** ページ））
・電源を切っても、予約録画は行われます。予約後に電源を切った場合、あるいは録画予約中にリモコンの電源ボタンを 1 回押した場合は、予約録画終了後に自動的に電源が切れます。
・予約録画に関する注意事項については「録画をする前に」(→ **50** ページ）や「故障かな？と思ったら」(→ **301** ページ）を参照ください。

電子番組表でのデジタル放送の延長予約について

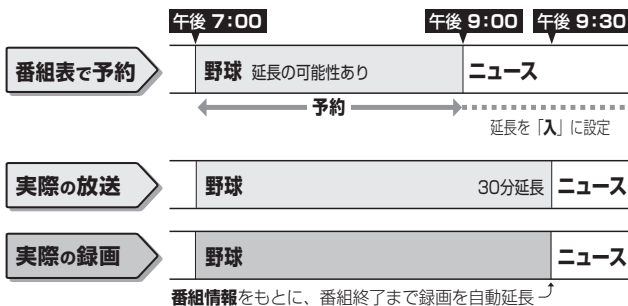
- スポーツ中継など終了時刻が延長される可能性のある番組を予約するときは、予約録画の終了時刻を延長できます。
- 電子番組表で予約した場合は、「延長」は自動的に「入」に設定されます。

- 放送時刻が変更されて他の予約と重なった場合は、録画開始時刻の早い予約が優先されます。

お知らせ

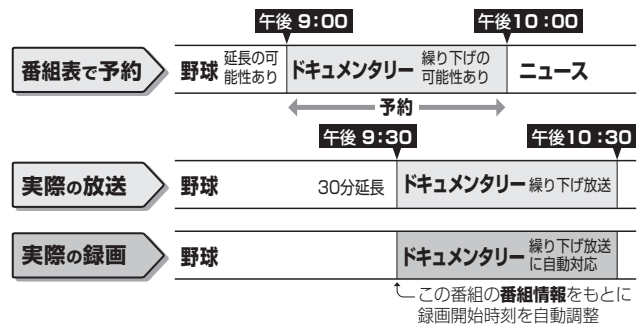
- 予約した番組が延長したり、繰り下げとなった予約と他のチャンネルの予約が重なったときは、重なった予約が実行されない、または番組の途中から予約が実行されます。
- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、設定をし直した時刻で録画されます。（放送時刻の変更に対応できなくなります。）
  繰り返し予約の場合、前回録画した時刻の前後２時間以内の番組名が類似する番組を上記の時刻内で探して録画します。番組表の情報をもとにして働くため、番組表の内容によっては、うまく予約録画できない場合があります。このような場合は、前回録画予約をした時刻に録画されます。

延長を「入」にした場合

- 番組が延長されても番組の最後まで録画を行います。

スポーツ番組を延長「入」で予約録画したとき

前の番組が延長になった場合

- 前の番組が延長されて予約録画した番組が繰り下げられたときでも、予約録画した番組の最後まで録画できます。

繰り下げの可能性がある番組を予約録画したとき

繰り返し予約

- 日時指定予約から毎週（毎日）予約すると、指定した時間で繰り返し予約を行います。
- 電子番組表から連続ドラマなどを毎週（毎日）予約すると、放送開始時刻が変わったり番組放送時間が拡大されたときでも自動的に対応した録画ができます。（前回録画開始された時刻の前後２時間以内で放送が開始される類似した番組名の番組を、検索し録画予約します。このとき延長設定は、自動的に「入」となります。「切」にすると放送時間の延長分を録画しなくなります。）

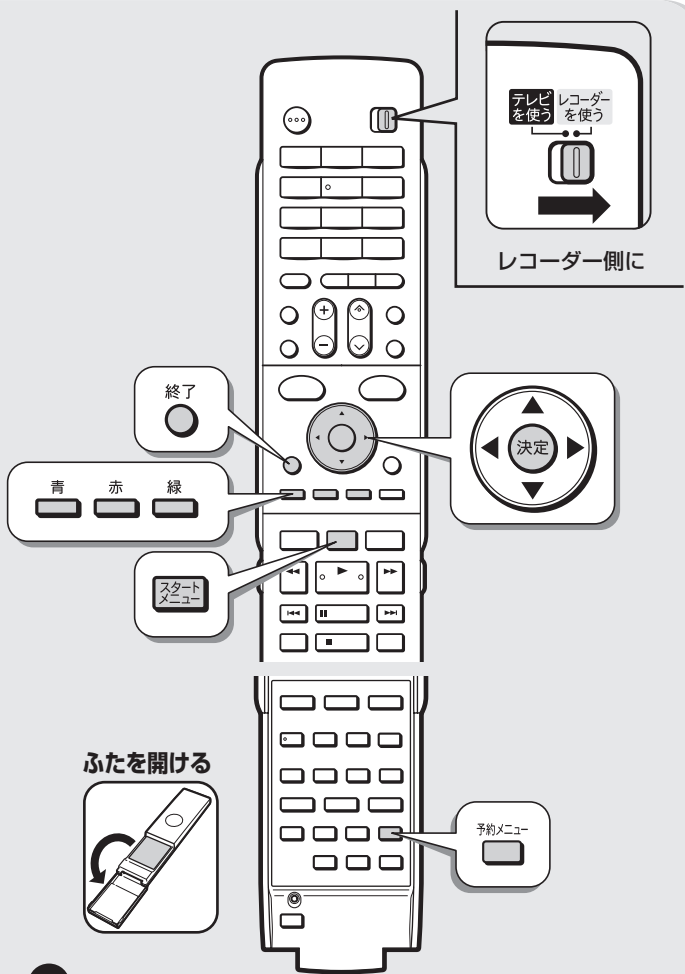
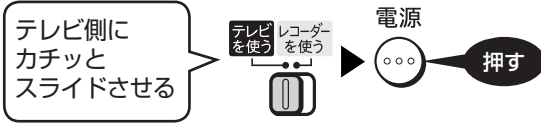
繰り返し予約が他の予約の時間と重なる場合、繰り返し予約は自動的に「休止」となり、予約録画は行われません。
（「予約リスト」に「他の予約と重なるため休止しました」と表示されます。）

「スタートメニュー」－「予約」－「予約リスト」で次回の録画予約が確認できます。
次回の予約が正しく設定されないときは、番組名（予約名）を変更してください。

- 「スタートメニュー」－「予約」－「予約リスト」で変更する予約を選び決定し、「する」を選び決定します。予約画面で「詳細設定」を選び決定し、「予約名設定・変更」を選び決定し、「する」を選び決定します。
  タイトル名変更画面で、次回の番組名を入力してください。（文字入力のしかたは、159 ページをご覧ください。）

地上アナログ放送を予約する(電子番組表を使わずに予約)

番組が放送される日時とチャンネルを入力して予約します。デジタル放送を日時指定予約することもできます。
地上アナログ放送の番組は、予約メニューから「地上アナログ放送予約」を選んで予約します。(「日時指定予約」を選んで予約することもできます。)

ケーブルテレビ (CATV) や外部チューナーからの映像も予約録画できます。(→ **71** ページ)

ご注意

- 予約を始める前に、チャンネル設定 (→ **242** 〜 **249**、**250** 〜 **259**、**260** 〜 **261** ページ) を行ってください。
  デジタル放送を受信していないときは、時計合わせ (→ **234** ページ) も行ってください。
- 番組が始まる 3 分前までに予約を完了してください。
- ケーブルテレビ (CATV) など、外部機器からの映像を録画するときは、外部機器の電源を入れてください。
- 外部チューナーから CS 放送や WOWOW などの二重音声番組を録画するときは、あらかじめ「外部入力音声設定」で「二ヶ国語」を選んでおいてください。(→ **278** ページ)
- ケーブルテレビ(CATV)ボックスの接続や操作について詳しくは、ケーブルテレビ (CATV) 会社にお問い合わせください。
- スカパーチューナーの接続や操作について詳しくは、製造業者にお問い合わせください。

お知らせ

- HDD(ハードディスク) には最大 12 時間まで連続して録画できます。
- 予約録画に関する注意事項については「録画をする前に」(→ **50** ページ) や「故障かな?と思ったら」(→ **301** ページ) を参照してください。

- 外部チューナーなどから録画したとき、連動データ放送や字幕などは録画されません。

準備 テレビと本機の準備をします

① B-CAS カードをセットします。

② テレビの電源を入れます。

③ 本機の電源を入れます。

④ テレビに向けリモコンの テレビ入力切換 を繰り返し押し、テレビの入力を切り換えます。

例:本機をテレビの外部入力 3 に接続したとき

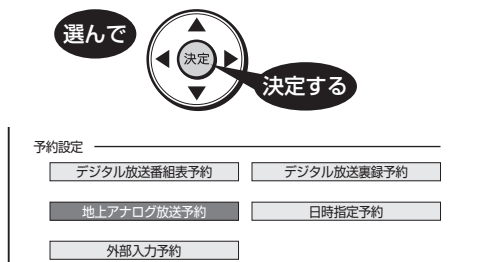
- 入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。 詳しくは 37 ページ

本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

1 スタートメニューを表示させます

2 「予約」を選んで決定します

次ページへつづく

3 「地上アナログ放送予約」または「日時指定予約」を選んで決定します

地上アナログ放送を予約

→ 地上アナログ放送予約 を選んで決定します。

電子番組表を使わずにデジタル放送を予約

→ 日時指定予約 を選んで決定します。

ケーブルテレビ（CATV）放送を予約する場合

**ケーブルテレビボックスを接続していないとき
地上アナログ放送を予約**

→ 地上アナログ放送予約 を選んで決定します。

**ケーブルテレビボックスを、本機の外部入力1または
外部入力2端子と接続しているとき**

→ 外部入力予約 を選んで決定します。

・日時指定予約を選んだときは、「地上アナログ放送」「地上デジタル放送」「BS・110度CSデジタル放送」「外部機器」すべての予約ができます。
・62件を超える録画予約を完了しようとするとメッセージが表示されます。不要な予約を取り消してください。

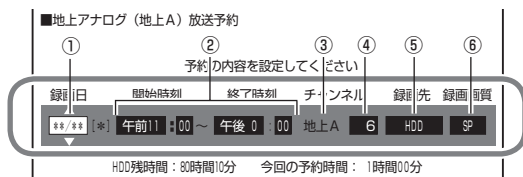
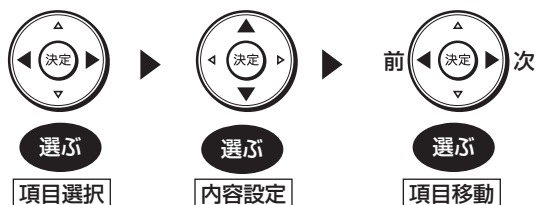
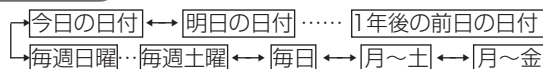
81 ページ

・リモコンふた内の [予約メニュー] を押すと、手順 3 の画面をすぐに表示させることができます。

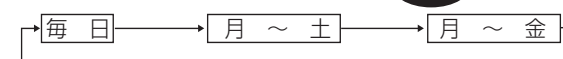
4 設定したい項目を設定します

予約内容の設定項目

① 録画日

今日の日付 ←→ 明日の日付 …… 1年後の前日の日付
毎週日曜 … 毎週土曜 ←→ 毎日 ←→ 月～土 ←→ 月～金

毎日予約したいときは、 [青] 押す

毎週予約したいときは、 [赤] 押す

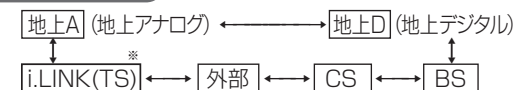
毎週日曜 → 毎週月曜 …… 毎週金曜 → 毎週土曜

・日付を入力し直すときは、 [緑] 押す

②録画開始時刻・終了時刻

午前0 ←→ 午前1 …… 午後10 ←→ 午後11 （時）

00 ←→ 01 ←→ 02 ←→ 03 …… 57 ←→ 58 ←→ 59 （分）

・録画開始時刻の2分前をきったときは、「予約可能時間を超過しました。予約できません。」の表示が出ます。予約開始時刻を現在時刻より3分以上あけて設定し直してください。

③放送の種類

・手順 3 で「地上アナログ放送予約」を選んだ場合は、「地上A」、「外部入力予約」を選んだ場合は「外部」に自動設定されます。
・ケーブルテレビ（CATV）や外部チューナーなど、本機の外部入力1または外部入力2から入力する予約の場合は、「外部」を選びます。（→ **71** ページ）
・「i.LINK（TS）」で録画できるi.LINK機器はシャープ製のテレビのみです。（アナログ放送は録画できません。）
※「i.LINK(TS)」は、「日時指定予約」から予約するときにのみ選択できます。

④チャンネル

・選んだ放送によって異なります。
・スキップを「する」に設定したチャンネルは表示されません。（→ **249**、**258**、**261** ページ）

ケーブルテレビ（CATV）など、外部機器を予約するときは

・→ **71** ページをご覧ください。

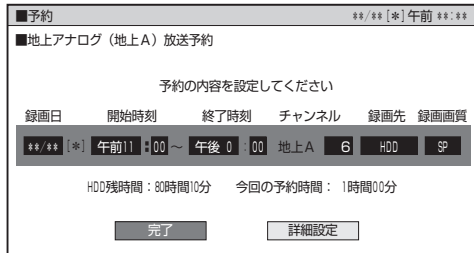
⑤録画先

※「裏録」はデジタル放送を予約するときに選択できます。

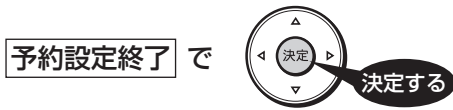
⑥録画画質

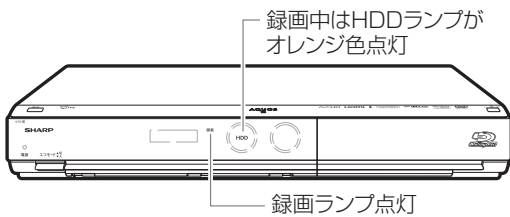
DR※ ←→ 2倍※ ←→ 3倍※ ←→ 5倍※ ←→ 7倍※ ←→ HD10※ … HD01※
MN01 … MN68 ←→ EP ←→ LP ←→ SP ←→ XP ←→ SXP

※
・「DR」、「2倍」、「3倍」、「5倍」、「7倍」、「HD○○」は、デジタル放送を予約するときにのみ選択できます。
・アナログ放送や外部チューナー（外部入力）などは「SXP」、「XP」、「SP」、「LP」、「EP」、「MN01」～「MN68」の録画画質となります。
・録画先を「裏録」にしているときは、録画画質は「DR」に固定されます。
・放送の種類を「i.LINK（TS）」にしているときは、録画画質は「DR」に固定されます。

5 設定内容を確認して完了します

・ 詳細設定 については、**77** ページ
・ 予約の重複については、**67** ページ
・ HDD の残量が足りないときは「おすすめ消去リスト」**66** ページ

6 予約設定を終わります

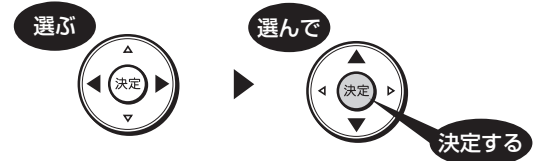
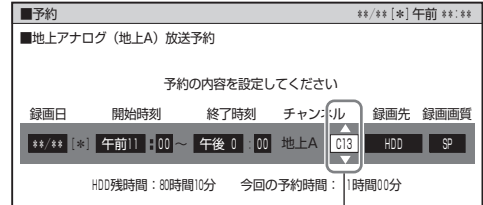
予約設定終了 で

7 設定画面を消すには

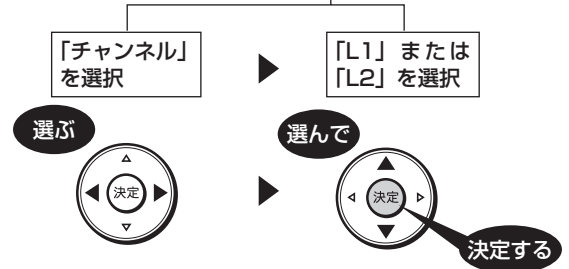
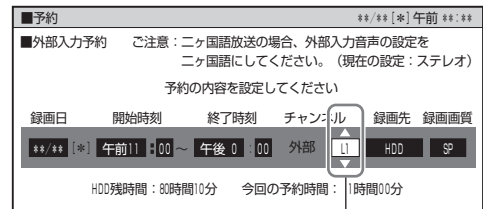
開始時刻になると、録画が始まります。

ケーブルテレビ(CATV)や外部チューナーからの番組を予約する

1 69 ページの手順 1 ～ 70 ページの手順 4 を行います

2 チャンネルを確定します

例1 ケーブルテレビ（CATV）ボックスを接続しないで、ケーブルテレビ（CATV）を視聴している場合

70 ページの手順 3 で「地上アナログ放送予約」を選択

例2 ケーブルテレビ（CATV）ボックスやスカパーチューナーを本機の「外部から入力」端子に接続している場合

70 ページの手順 3 で「外部入力予約」を選択

3 画面に従って予約の操作を続けます

ケーブルテレビ（CATV）ボックスやスカパーチューナーを本機に接続している場合（手順 2・例 2 の場合）

① ケーブルテレビ(CATV)ボックスやスカパーチューナーの電源を入れます
② 録画したい番組を選局します
・ ケーブルテレビ（CATV）ボックスやスカパーチューナーに番組予約機能があるときは、番組を予約します。

・手順 2 の例 2 で予約録画したデジタル放送は、著作権保護技術「AACS」規定により、BD へのダビングは、できません。CPRM に対応した DVD-RW または DVD-R を VR フォーマットで初期化してからダビングしてください。

2つの番組を同時に録画予約する（裏録予約）

BS/110 度 CS/ 地上デジタル放送は、2 番組同時に録画できます。

● 本機は BS・110 度 CS デジタルチューナー、地上デジタルチューナーをそれぞれ 2 つ搭載しています。1 つは通常の視聴や録画を行うために使われるチューナーです。もう 1 つは BS/110 度 CS/ 地上デジタル放送を裏録予約して録画するための専用チューナーです。BS/110 度 CS/ 地上デジタル放送の番組を 2 つ同時に録画（裏録予約）できます。

と で、**2 つの番組を同時に録画**できます。

通常の予約録画（表録画予約）
または**録画**
録画中の番組は、見ることもできます。

のいずれかを、予約録画／録画／視聴

裏
「裏録予約」に設定して**予約録画**
録画中の番組は、見られません。
録画が済んでから再生してください。

のいずれかを、裏録予約で予約録画

地上アナログ放送は、
表録画予約します。
（裏録予約できません。）

裏録実行中の画面は
ご覧いただけません。

2 番組を同時に録画するには

予約中に、予約重複のメッセージが表示されたときは

● **メッセージの中の、「裏録予約する」を選ぶ**
（→ 73 ページ）

- 設定中の予約を裏録予約に設定すると、2 番組を同時に予約録画できます。

あらかじめ予約録画／録画と重複することがわかっているときは

（地上アナログ放送は裏録予約できません。）

● **電子番組表から裏録予約する**
（→ 74 ページ）

- 「デジタル放送裏録予約」で電子番組表から予約すると、裏録予約になります。
- 新たに予約録画をすると、2 番組を同時に予約録画できます。

● **日時指定予約で裏録予約する**
（→ 75 ～ 76 ページ）

- 「日時指定予約」で、録画先を「裏録」に設定します。
- 新たに予約録画をすると、2 番組を同時に予約録画できます。

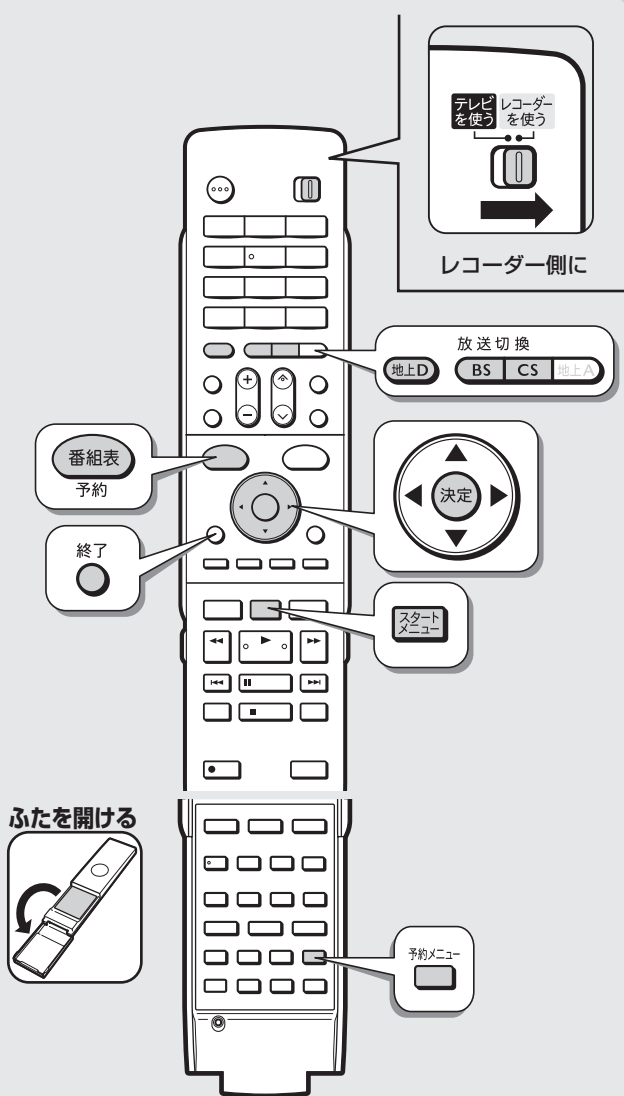
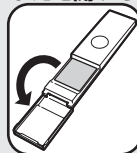
● **表録画予約のデジタル放送を裏録に変える**
（→ 76 ページ）

- 電子番組表で、予約済みの番組を選んで決定し、予約の設定を「裏録」に変更します。
- 新たに予約録画をすると、2 番組を同時に予約録画できます。

予約中に、予約重複のメッセージが表示されたときは

■メッセージの中の、「裏録予約する」を選ぶ

予約したい番組と同じ日時に他の番組を予約していた場合は、次の操作で裏録予約ができます。

・電子番組表から予約する場合、同じ日時にすでに予約された番組がないと「裏録予約」はできません。「スタートメニュー」－「予約」－「デジタル放送裏録予約」や「日時指定予約」から行えます。（→ **75** ページ）

1 予約操作をします

・**65** ページの手順 **1** ～ **66** ページの手順 **3**

2 すでに同じ日時に予約があるときは、メッセージがでます

同じ時間帯に上の番組が表録画予約されています。
裏録予約すると、重なった２つの番組を同時に録画できます。
重複予約を休止し予約すると、前の予約を残したまま
（録画はされません）、新たに予約が入ります。

裏録予約する（画質 [DR]） | 重複予約を休止し予約する | 予約しない

3 「裏録予約する（画質 [DR]）」を選んで決定します

同じ時間帯に上の番組が表録画予約されています。
裏録予約すると、重なった２つの番組を同時に録画できます。
重複予約を休止し予約すると、前の予約を残したまま
（録画はされません）、新たに予約が入ります。

裏録予約する（画質 [DR]） | 重複予約を休止し予約する | 予約しない

⇨ 裏録予約が完了し、電子番組表に戻ります。

4 電子番組表を消します

または
ご注意

・「裏録予約」は、予約録画の操作で設定できる機能です。録画ボタンを押して裏録することはできません。
・裏録される番組の録画画質は「DR」（放送画質）固定となります。他の録画画質に設定することはできません。
・通常の録画と、裏録予約した番組の録画が同時に実行されたときは、残量表示が通常よりも早く減ります。
・地上アナログ放送どうしで２番組を同時に録画することはできません。
・「裏録予約」で録画中の番組は視聴できません。

お知らせ

・裏録は、リモコンの録画停止ボタンでは停止できません。
・裏録中に裏録を停止したい場合は、予約リスト画面から実行中の予約を取り消します。（→ **81** ページ）

ご注意

- 「裏録予約」は、予約録画の操作で設定できる機能です。録画ボタンを押して裏録することはできません。
- 裏録される番組の録画画質は「DR」（放送画質）固定となります。他の録画画質に設定することはできません。
- 通常の録画と、裏録予約した番組の録画が同時に実行されたときは、残量表示が通常よりも早く減ります。
- 地上アナログ放送どうしで 2 番組を同時に録画することはできません。
- 「裏録予約」で録画中の番組は視聴できません。

お知らせ

- 裏録は、リモコンの録画停止ボタンでは停止できません。
- 裏録中に裏録を停止したい場合は、予約リスト画面から実行中の予約を取り消します。（→ **81** ページ）

あらかじめ予約録画 / 録画と重複することがわかっているときは

■電子番組表から裏録予約する

準備 テレビと本機の準備をします

① B-CAS カードをセットします。

② テレビの電源を入れます。

③ 本機の電源を入れます。

④ テレビに向けリモコンの テレビ入力切換 を繰り返し押し、テレビの入力を切り換えます。

例：本機をテレビの外部入力 3 に接続したとき

- 入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。 詳しくは **37** ページ

本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

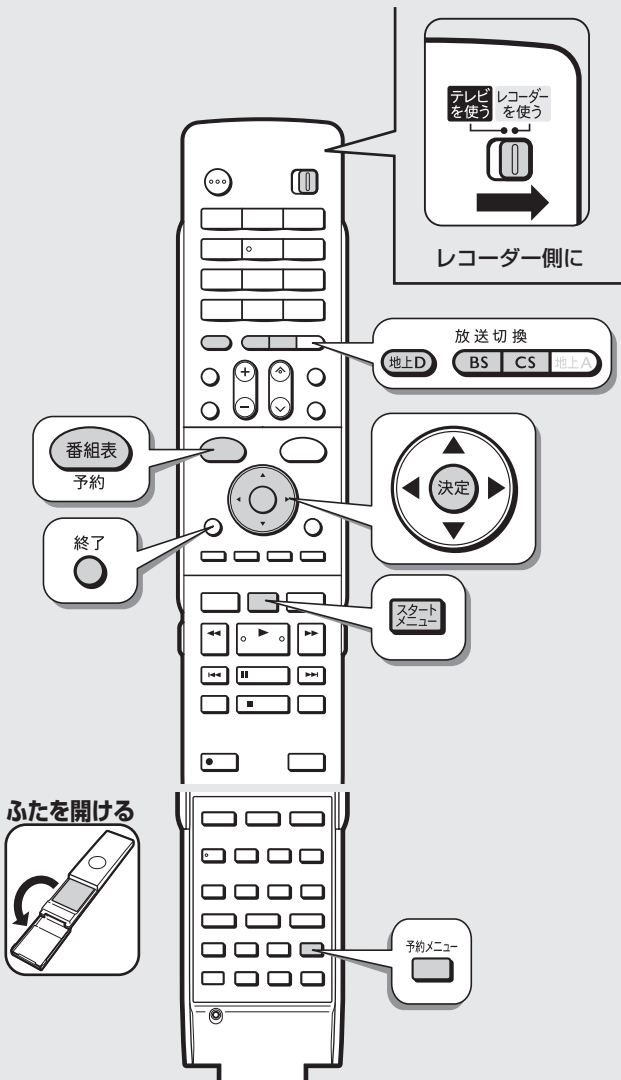
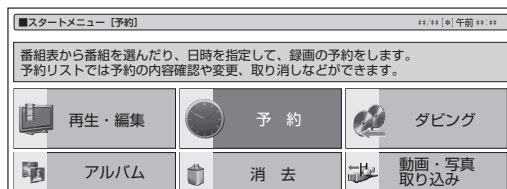
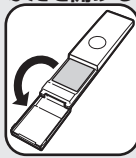
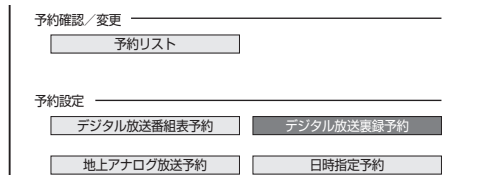
1 スタートメニューを表示させます

- リモコンふた内の 予約メニュー を押すと、手順 3 の画面をすぐに表示させることができます。

2 「予約」を選んで決定します

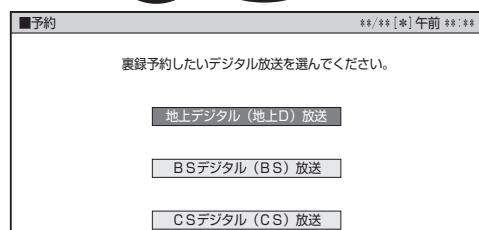
3 「デジタル放送裏録予約」を選んで決定します

予約確認／変更
予約リスト

予約設定
デジタル放送番組表予約　デジタル放送裏録予約
地上アナログ放送予約　日時指定予約

4 「地上デジタル（地上 D）放送」「ＢＳデジタル（BS）放送」「ＣＳデジタル（CS）放送」のいずれかを選んで決定します

■予約　＊＊/＊＊ [＊] 午前 ＊＊:＊＊

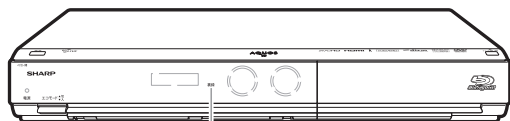
裏録予約したいデジタル放送を選んでください。

地上デジタル（地上D）放送
ＢＳデジタル（ＢＳ）放送
ＣＳデジタル（ＣＳ）放送

・62 件を超える録画予約を完了しようとするとメッセージが表示されます。不要な予約を取り消してください。

81 ページ

5 電子番組表で番組を選んで予約します

66 ページ

⇨ **設定した時刻に裏録が実行されます。同時間帯に通常の録画、予約録画が行えます。**

裏録ランプ
裏録を実行中に点灯します。

■日時指定予約で裏録予約する

1 スタートメニューを表示させます

・リモコンふた内の 予約メニュー を押すと、手順 3 の画面をすぐに表示させることができます。

2 「予約」を選んで決定します

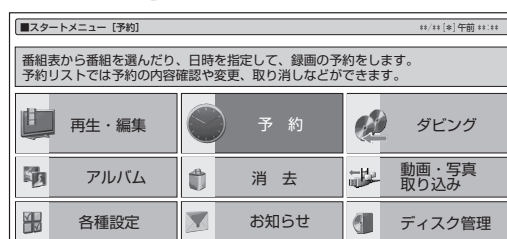
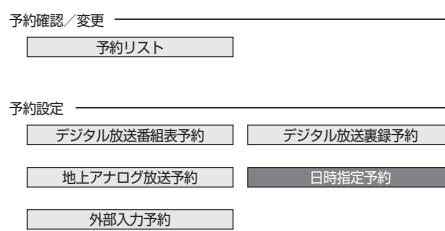
■スタートメニュー［予約］

番組表から番組を選んだり、日時を指定して、録画の予約をします。
予約リストでは予約の内容確認や変更、取り消しなどができます。

再生・編集　予　約　ダビング
アルバム　消　去　動画・写真取り込み
各種設定　お知らせ　ディスク管理

3 「日時指定予約」を選んで決定します

予約確認／変更
予約リスト

予約設定
デジタル放送番組表予約　デジタル放送裏録予約
地上アナログ放送予約　日時指定予約
外部入力予約

・62 件を超える録画予約を完了しようとするとメッセージが表示されます。不要な予約を取り消してください。

81 ページ

4 録画日、開始・終了時刻、チャンネルを設定し、「録画先」を選びます

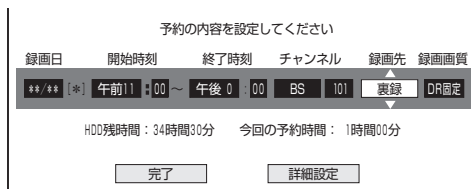
予約の内容を設定してください

録画日	開始時刻	終了時刻	チャンネル	録画先	録画画質
＊＊/＊＊ [＊]	午前11 : 00 ～	午後 0 : 00	BS 101	HDD	DR

HDD残時間：34時間30分　今回の予約時間：1時間00分

完了　詳細設定

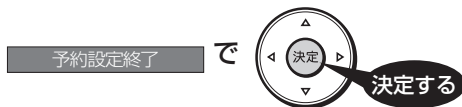
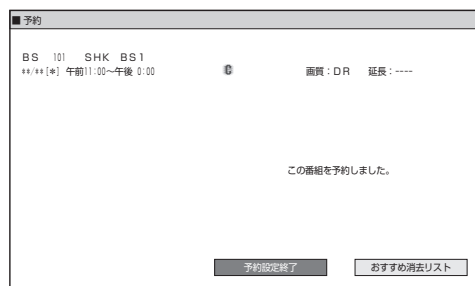
次ページへつづく

5 「裏録」を選んで決定します

- 録画先は次のように切り換わります。

※「裏録」はデジタル放送を予約するときに選択できます。（デジタル放送の予約のみ選べます。）
「裏録」を選択すると、録画画質が「DR 固定」になります。

6 設定内容を確認します

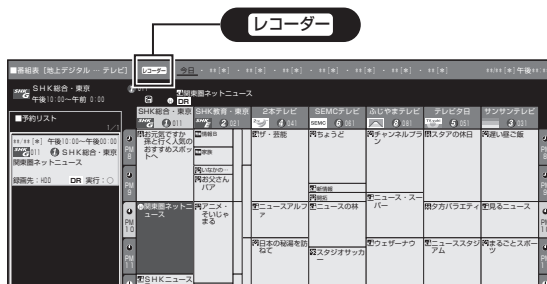
表示の内容でよければ

7 予約内容を確認します

・HDD の残量が足りないときは、「おすすめ消去リスト」を選ぶと、録画リストからタイトル（録画した番組）を選んで消せます。（→ **66** ページ）

8 予約設定を終了します

■表録画予約のデジタル放送を裏録に変える

・予約リストから選んで変更するときは（→ **81** ページ）

1 番組表を表示し、変更したい番組を選んで決定を押します

2 「変更する」を選んで、決定を押します

取り消す	予約が取り消されます。
変更する	予約内容の確認や変更ができます。
裏録予約も追加	同じ番組が裏録にも追加予約されます。
予約の書き込み	BDディスクに予約の書き込みができます。（→**84**ページ）

3 「■日時指定予約で裏録予約する」の手順 5 ～手順 7 を行います

（→このページ左上）

・手順 2 で「裏録予約も追加」を選んだときは、同じ番組が通常録画と裏録画で同時に録画されます。

詳細設定する

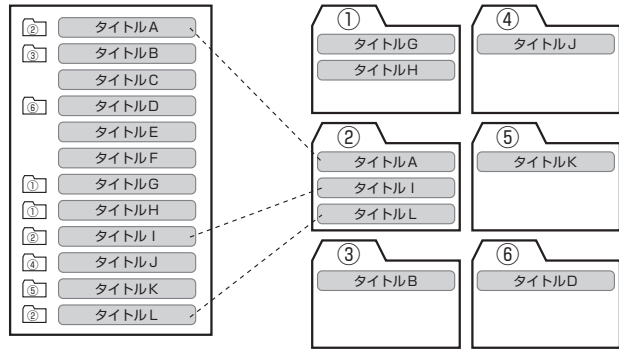
録画予約時、以下のような便利な詳細設定ができます。

設定できる項目

■予約名設定・変更（→ 79 ページ）

・番組のタイトル名などを自由に変更／入力することができます。

■グループ設定（→ 79 ページ）

・録画予約する番組を 6 つのグループに分けて分類･整理できます

■携帯電話動画記録設定（→ 79 ページ）

・予約録画した番組を携帯電話※に転送し、携帯電話で再生することができます。
・予約録画が始まると録画と同時に携帯電話用の動画が本機の HDD（ハードディスク）に記録されます。（転送のしかたは **189** ページをご覧ください。）

※ **将来発売されるシャープ製携帯電話と接続して使用するための機能です。この機能は、将来ソフトウェアのアップデートを行うまで表示されません。**

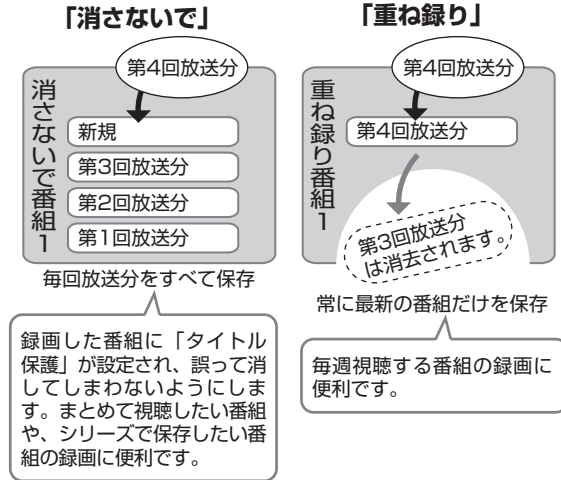
この機能は、将来ソフトウェアのアップデートを行うことで、ご使用いただけます。将来デジタル放送のダウンロードによるアップデートサービスを行うことが決定しましたら、シャープサポートホームページ
（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd）
にてご案内いたします。（2009 年 2 月現在）

■保存設定（→ 79 ページ）

・録画した番組の保存方法を設定できます。

消さないで：予約録画した番組を誤って消去しないように設定します。

重ね録り：毎日・毎週予約録画をするとき、古い番組を消去して新しい番組を上書き録画するように設定できる機能です。

※ 録画後に「消さないで」を解除したい場合は、「タイトル保護設定」（→ **116** ページ）で「保護解除」します。

・**重ね録りで録画した番組を再生中に、重ね録り設定されている予約が始まったときは再生が停止し、その番組は重ね録りされます。**

■番組詳細情報取得（→ 79 ページ）

・デジタル放送を録画画質「DR」（放送画質）「2倍」「3倍」「5倍」「7倍」「HD ○○」以外で録画予約したときは、複数の映像や音声のある番組の場合、詳細情報を取得すると、それらを選択することができます。

※ デジタル放送を録画画質「DR」（放送画質）で録画予約したときは、すべて記録しますのでこの設定はありません。
※ デジタル放送を「2 倍」「3 倍」「5 倍」「7 倍」「HD ○○」で録画予約したときは、音声はすべて記録されます。映像は主映像のみ記録されます。
（映像を選ぶことはできません。）
※ 地上アナログ放送を予約するときは、設定できません。
※ 番組詳細情報の取得には数分かかることがあります。

■映像設定（→ 79 ページ）

・複数映像のある番組の場合、映像を選択することができます。

■音声設定（→ 79 ページ）

・複数音声のある番組の場合、音声を選択することができます。

■予約設定完了

・予約の詳細設定を完了させ、予約確認画面に進みます。（おすすめ消去リスト画面で HDD（ハードディスク）に録画した番組を消去することができます。）

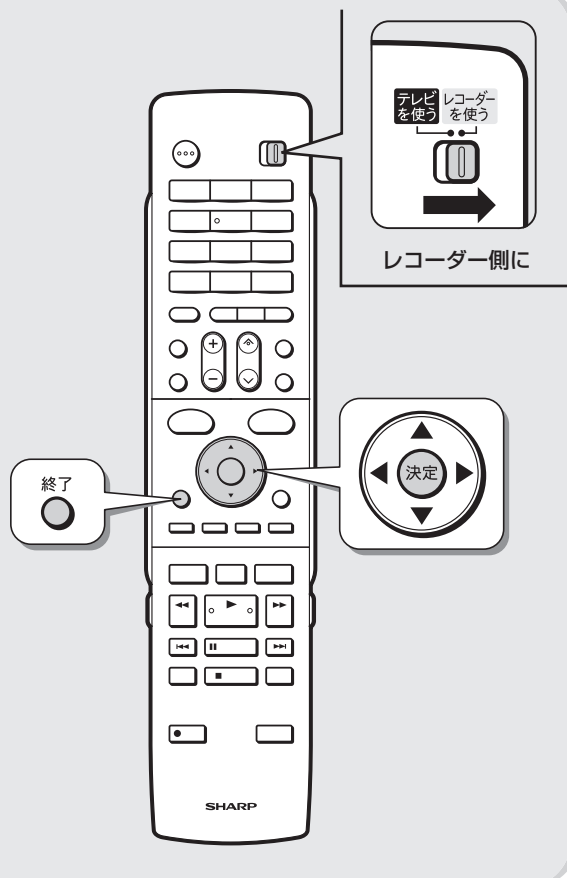
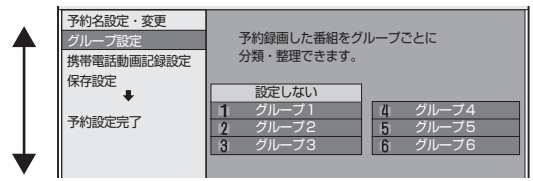
・**デジタル放送を予約するときと地上アナログ放送を予約するときでは、設定できる項目が異なります。**
・**録画画質により設定できる項目が異なります。**

次ページへつづく

詳細設定のながれ

1 各録画予約画面で「詳細設定」を選んで決定します

画面例

・予約完了後に詳細設定がしたい場合は、予約リスト画面から「変更する」を選んで決定し、行ってください。（→ **81** ページ）

2 設定項目を選んで決定します

・予約録画の条件によって選べる項目が異なります。

3 各項目を設定します 79 ページ

4 設定が終われば「予約設定完了」を選んで決定します

5 予約内容を確認します

⇨電子番組表などが表示されます。

6 詳細設定を終了します

条件別の設定可能項目一覧

■デジタル放送を予約録画する場合

- ・予約名設定・変更
- ・グループ設定
- ・携帯電話動画記録設定
- ・保存設定

録画画質「DR」（放送画質）、「2倍」、「3倍」、「5倍」、「7倍」、「HD○○」以外で予約する場合

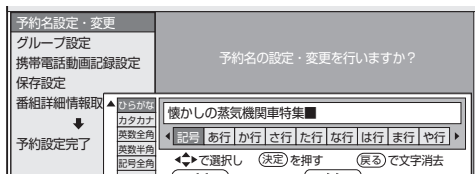
- ・番組詳細情報取得　ー 映像設定
　　　　　　　　　　ー 音声設定

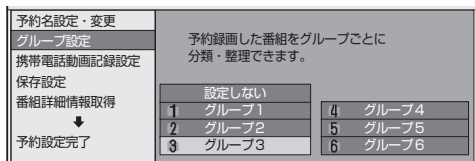
■アナログ放送を予約録画する場合

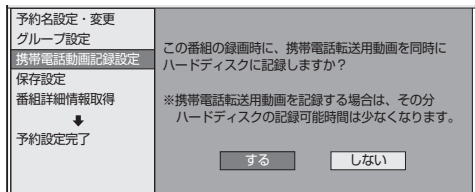
- ・予約名設定・変更
- ・グループ設定
- ・保存設定

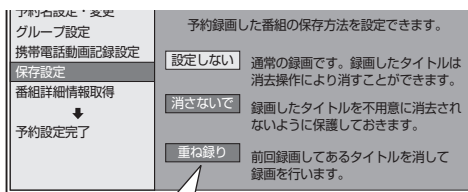
各項目の設定

■予約名設定・変更

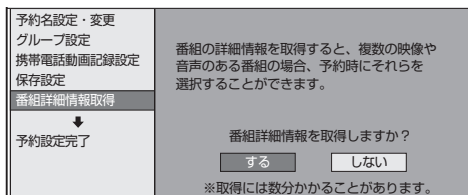
① 詳細設定画面で「予約名設定・変更」を選んで決定します
②「する」を選んで決定します
③ 文字を入力し、確定します
　・文字入力のしかたについては、**159** ページ

■グループ設定

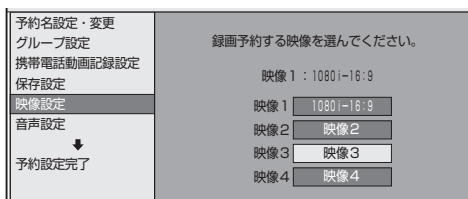
① 詳細設定画面で「グループ設定」を選んで決定します
②「グループ 1 ～ 6」のいずれかを選んで決定します

■携帯電話動画記録設定

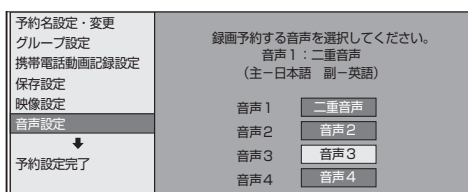
① 詳細設定画面で「携帯電話動画記録設定」を選んで決定します
②「する」を選んで決定します

■保存設定

① 詳細設定画面で「保存設定」を選んで決定します
②「消さないで」あるいは「重ね録り」※1を選んで決定します

※1「重ね録り」は、毎日・毎週予約録画をするタイトルを選んだときだけ設定できます。

■番組詳細情報取得（デジタル放送を「DR」（放送画質）、「2倍」、「3倍」、「5倍」、「7 倍」、「HD ○○」以外の録画画質で予約する場合）

① 詳細設定画面で「番組詳細情報取得」を選んで決定します
②「する」を選んで決定します

●映像設定

① 番組詳細情報を取得します
② 詳細設定画面で「映像設定」を選んで決定します
③ 映像の種類を選んで決定します

●音声設定

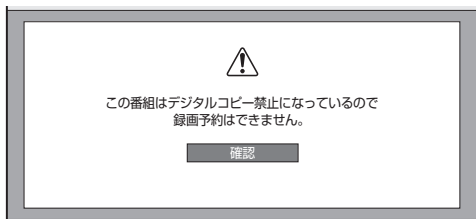
① 番組詳細情報を取得します
② 詳細設定画面で「音声設定」を選んで決定します
③ 音声の種類を選んで決定します

■設定が終われば

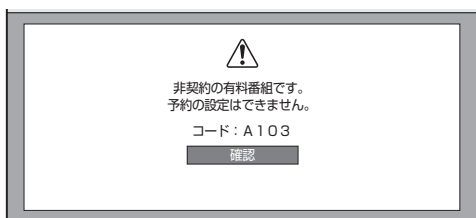
「予約設定完了」を選んで決定し、内容を確認して設定を終了してください。(→ **78**ページ)

確認 基本 視聴 録画・予約 再生・消去 編集 ダビング 管理 ファミリンク 携帯電話・カメラ 接続・設定 基本設定 各種設定 困ったときは

予約設定時のメッセージについて

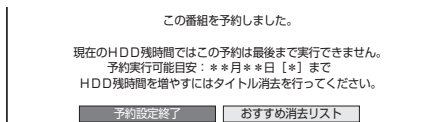
「番組詳細情報取得」（→ **79** ページ）を行うと、電子番組表でデジタル放送の番組を予約したときに、取得された番組情報に基づいてテレビ画面にメッセージが表示されることがあります。必要に応じて、以下の操作を行ってください。
・予約した番組によっては、番組情報の取得に時間がかかることがあります。

■デジタル録画禁止の番組を予約したとき

•「確認」で 決定 を押してください。

■非契約の有料番組を予約したとき

•「確認」で 決定 を押してください。

■設定した予約が他の予約と重複しているとき

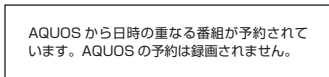
• 詳しくは **73** ページをご覧ください。

■ HDD（ハードディスク）残時間がなく設定した予約が録画できないとき

• 詳しくは **66**、**82** ページをご覧ください。

■ファミリンク［1］（標準）予約（テレビの番組表からの予約）と本機の予約が重なったとき

予約が重なっているとファミリンク［1］（標準）予約が実行できないため、お知らせメッセージが表示されます。

番組表から予約したとき

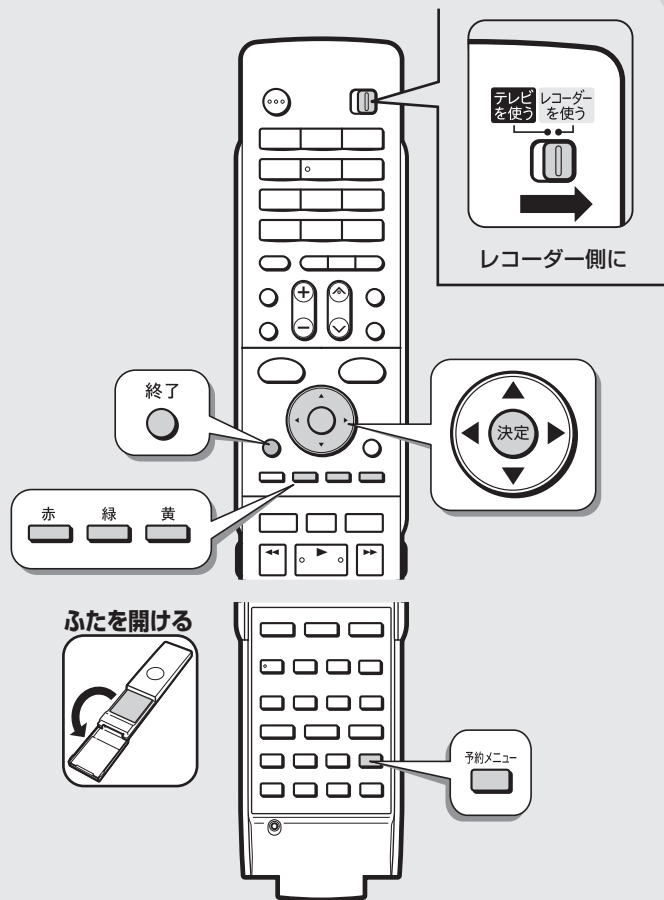
AQUOS から日時の重なる番組が予約されています。AQUOS の予約は録画されません。

日時指定予約をしたり、予約内容を変更したとき

この番組を予約しました。
AQUOSから日時の重なる番組が予約されています。
AQUOSで予約した番組は録画されません。ご確認ください。

予約設定終了　おすすめ消去リスト

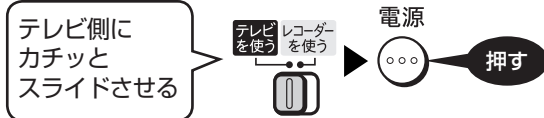
• 詳しくは **172** ページをご覧ください。

予約した内容を確認・変更・取り消す

予約内容を確認・取り消し・休止・変更できます。

お知らせ

・「スタートメニュー」－「予約」－「予約リスト」を選んでも予約リスト画面が表示されます。

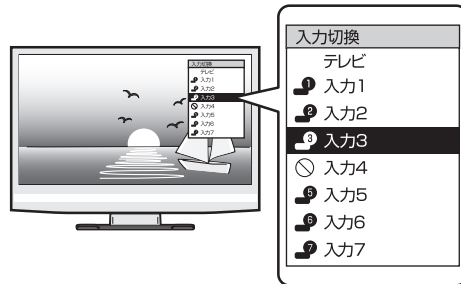
予約メニューから予約リストを表示する

準備 テレビと本機の準備をします

① B-CAS カードをセットします。

② テレビの電源を入れます。

③ 本機の電源を入れます。

④ テレビに向けリモコンの テレビ入力切換 を繰り返し押し、テレビの入力を切り換えます。

例：本機をテレビの外部入力３に接続したとき

・入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。 詳しくは 37ページ

本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

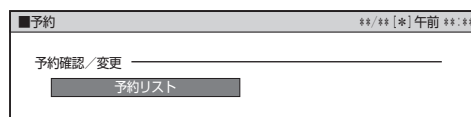
1 予約メニューを表示させます

（ふた内）

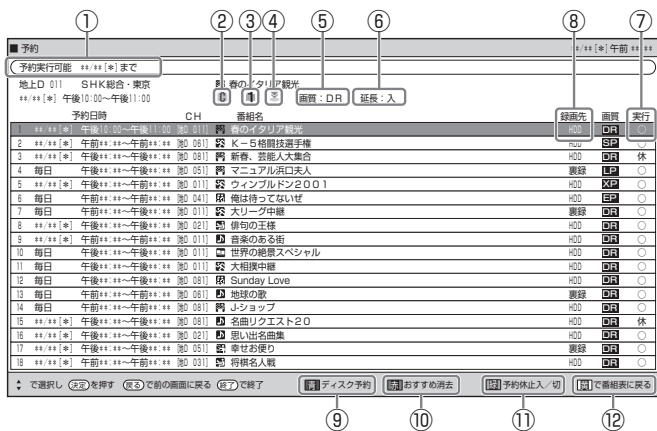
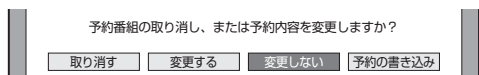
2 「予約リスト」を選んで決定します

・確認する⇨ 3 へ

・変更する⇨ 4 へ

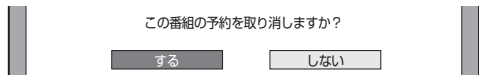
次ページへつづく

3 予約の内容を確認します

確認だけの場合

4 変更・取り消したい番組を選んで決定します

5 実行したい項目を選んで決定します

• 予約を取り消す場合

取り消す ▶確認画面で する を選ぶ

この番組の予約を取り消しますか？

する　しない

• 予約を変更する場合

変更する ⇨各予約設定画面表示へ

70 ページ手順 **4** ～ **71** ページ手順 **7** の手順で変更できます。

予約リスト画面（手順 4 の画面の説明）

予約リストに表示されるマークについて

	コピーに制限がある番組 • 1回だけ録画可能な番組 • ダビング10の番組
	予約録画の詳細設定で保存設定の「消さないで」を設定した予約
	予約録画の詳細設定で保存設定の「重ね録り」を設定した予約
	予約録画の詳細設定で「グループ設定」した予約
裏録	デジタル放送を「裏録」設定した予約
	予約情報書き込み専用ディスクでの予約時
	携帯動画が作成されているリストを選んだときに表示されます。

① **HDD（ハードディスク）に予約録画ができる日付けのめやす**

② **予約した番組がコピー制限のある番組（「1 回だけ録画可能」または「ダビング 10」）であることを表します**

③ **録画先として指定されたグループ**

④ **保存設定表示**
：消さないで予約
：重ね録り予約

⑤ **設定されている録画画質**

⑥ **予約録画延長設定表示**

⑦ **予約実行可能表示**
○：HDD（ハードディスク）の残時間を判定し、録画可能であることを表します。
×：HDD（ハードディスク）の残時間が不足しているため予約録画が実行できないことを表します。
休：予約休止状態になっていることを表します。
空白（表示なし）：録画先が「ダビング予約」のときは何も表示されません。
残時間の判定は行いません。
※「毎日予約」「毎週予約」の場合は、次回の録画が実行可能かどうかを表示します。

⑧ **録画先**
HDD：通常の予約（表録画予約）
裏録：裏録予約
：予約書き込み専用ディスク

⑨ **ディスク予約の入った BD-RE ディスクが本機に入っているときだけ、表示されます。**
ディスク予約の確認・取り消しができます。

⑩ **おすすめ消去リストを表示して、不要なタイトル（録画した番組）を消せます。（赤）**

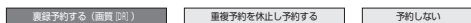
⑪ **録画予約を休止状態にしたり、休止状態になっている予約を、予約実行可能状態にします。（緑）**
同じ日時に設定された予約がある場合は、その予約が休止状態になります。
※ 休止した予約は録画開始時刻を過ぎると取り消されます。

⑫ **番組表を表示します。**

休止解除したデジタル放送と重なる予約があるときは

・休止状態になっているデジタル放送の予約を実行可能状態にしたときに、重複した予約があると、次のような画面になります。

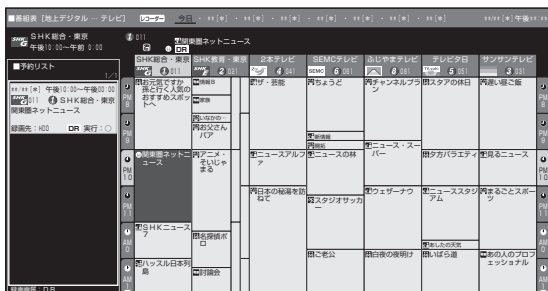
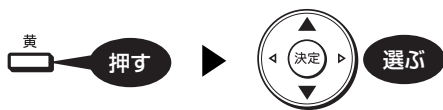
同じ時間帯に上の番組が表録画予約されています。
裏録予約すると、重なった2つの番組を同時に録画できます。
重複予約を休止し予約すると、前の予約を残したまま
（録画はされません）、新たに予約が入ります。

裏録予約する（画質 DR）　重複予約を休止し予約する　予約しない

休止解除したデジタル放送を裏録したいときは「裏録予約する」を選び、決定します。

電子番組表（モード3）の予約リストで予約情報を調べる

・電子番組表をモード3（工場出荷時設定）に設定すると、電子番組表の画面で予約リストを表示できます。

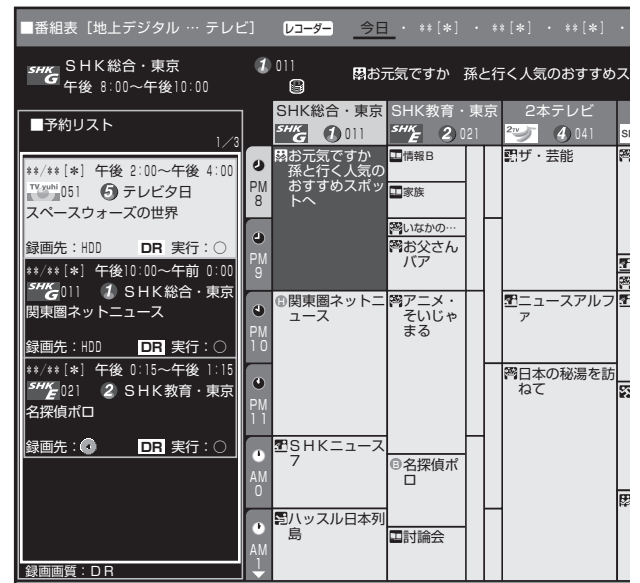
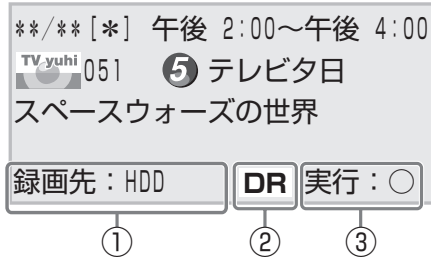
1 電子番組表で、番組を予約します

予約リストに予約が表示されます。

2 予約リストの予約情報を確認します

・もう一度 黄 を押すと、電子番組表の操作に戻ります。

・予約情報を選んで決定すると、予約の取り消し・変更などができます。操作について詳しくは、**82** ページの手順 5 をご覧ください。

電子番組表（モード3）の予約リストについて

予約リストの予約情報

① **録画先**
HDD：通常の予約（表録画予約）
裏録　：裏録予約
：予約書き込み専用ディスク

② **設定されている録画画質**

③ **予約実行可能表示**
○：録画残時間を判定し、録画可能であることを表します。
×：録画残時間が不足しているため予約録画が実行できないことを表します。
休：予約休止状態になっていることを表します。
空白（表示なし）：録画先が「ダビング予約」のときは何も表示されません。
残時間の判定は行いません。
※「毎日予約」「毎週予約」の場合は、次回の録画が実行可能かどうかを表示します。

お気に入りの番組専用のディスクを作る（予約書き込み機能）

予約書き込み機能とは

BD-RE ディスクに予約情報を書き込み、予約情報を書き込んだディスクを本機にセットするだけで予約録画からディスクへのダビングまでが自動で行える機能です。予約情報を書き込めるディスクは BD-RE のみです。
予約録画の操作に慣れているかたに予約情報を書き込んだディスクを作っていただくと、予約録画操作が不慣れなかたでも、あとは本機や予約書き込み機能に対応した機器にディスクをセットするだけで予約録画からダビングまでが自動で行えます。
予約情報を書き込んだディスクは、予約書き込み専用ディスクとなるため、誤って他の番組のダビングに使われる心配がなくなります。
お気に入りの番組だけを、予約情報を書き込んだディスクごとに録り集めて管理できるので便利です。

お知らせ

- 予約書き込み専用ディスクにできるのは、BD-RE ディスクだけです。
- 1 枚の予約書き込み専用ディスクには、1 つの番組を 1 回だけ録画予約できます。
- 番組表からの予約のみ、予約の書き込みが行えます。
  ただし、毎日・毎週などの繰り返し予約や日時変更を行った場合は、予約の書き込みができなくなります。
- 予約書き込み専用ディスクの予約と本機の予約が重なる場合は、どちらの予約を行うかを選べます。
- 「予約書き込み機能」を搭載していない機器で初期化や録画をした BD-RE ディスクには、予約情報を書き込めない場合があります。そのようなときは、本機のスタートメニューから「ディスク管理」－「ディスク初期化」－「BD 初期化」を選んで初期化を行ってください。
- 初期化を行うと、すでに録画されている内容も消去されます。消去された内容は復元できませんので初期化の際はご注意ください。

予約書き込み専用ディスクの予約録画のために一旦 HDD（ハードディスク）に録画した番組は、予約書き込み専用ディスクにダビングされたあと、HDD（ハードディスク）から消去されます。

予約書き込み専用ディスクを作る

準備 テレビと本機の準備をします

① B-CAS カードをセットします。
② テレビの電源を入れます。

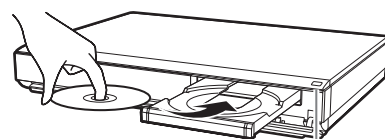
③ 本機の電源を入れます。

④ テレビに向けリモコンの テレビ入力切換 を繰り返し押し、テレビの入力を切り換えます。

例：本機をテレビの外部入力 3 に接続したとき

- 入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。 詳しくは 37 ページ

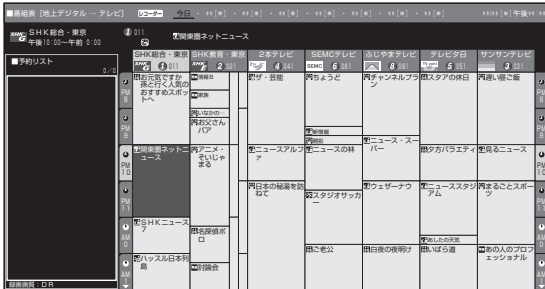
本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

1 予約書き込み専用ディスクにしたい BD-RE ディスクを、本機にセットします

新品のディスクをセットしたときは

自動的に「初期化」（→ 32 ページ）が始まります。終了するまでしばらくお待ちください。

初期化が完了したら、「ダビングしない」を選んで決定します。

2 デジタル放送を選びます

3 番組表を表示し、予約書き込み専用ディスクに予約する番組を選びます

4 決定します

⇨ 予約リストに予約が表示されます。

5 予約した番組を再度選んで、決定します

6 「予約の書き込み」を選んで、決定します

予約番組の取り消し、または予約の内容を変更しますか？

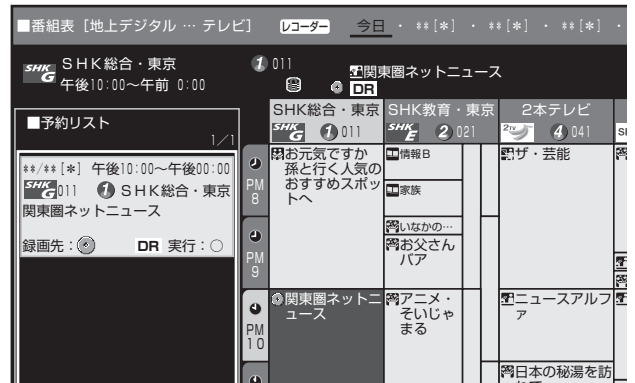
取り消す　変更する　裏録予約も追加　予約の書き込み

7 「了解」を選んで、決定します

挿入されたディスクに予約情報を書き込みます。
・タイトルをディスクのラベル面に記入することをお奨めします。
・設定ディスクは指定のタイトルのみの録画に対応します。
・ディスクの予約情報は、
　本機に入れるたびに予約リストに追加されます。
・対応機器以外にディスクを入れても
　予約情報を自動的に更新することはできません。

了解　設定をやめて戻る

8 「戻る」で決定します

・電子番組表の画面に戻ります。

・予約書き込み専用ディスクを本機から取り出した場合は、予約書き込み専用ディスクの予約開始時刻の5分前までに、本機にセットしてください。

・予約情報を書き込んだディスクのラベル面に名前や番組名を書いておくと便利です。
・予約設定しようとした番組がディスク容量が無くダビングできないときは予約情報を書き込めません。見終わったタイトルを消去し、空き容量を増やす、または別のディスクを使用してください。

予約書き込み専用ディスクで予約録画する

- 予約書き込み専用ディスクを本機にセットすると、予約書き込み専用ディスクの予約が、本機の予約リストに加わります。ただし、予約録画の時間を過ぎてからディスクをセットすると予約リストには追加されないため、録画が実行されません。

1 予約時間の開始時刻の 5 分前までに、予約書き込み専用ディスクを本機にセットします

2 「確認」で決定します

この予約を登録しました。

確認

- 予約書き込み専用ディスクの予約が、予約リストに加わります。
- 予約書き込み専用ディスクの予約と本機の予約の重なった場合は、予約重複のメッセージが表示されます。どちらの予約を行うかを選びます。

予約を完了します

- 予約書き込み専用ディスクの予約録画が完了するまで、予約書き込み専用ディスクを本機から取り出さないでください。
- 予約書き込み専用ディスクを本機から取り出した場合は、予約書き込み専用ディスクの予約開始時刻の5 分前までに、本機にセットしてください。

予約録画の開始時刻になると、録画が始まります

▼

予約録画の終了時刻になると、録画が終了します

▼

録画した番組が、予約書き込み専用ディスクに自動的に高速ダビングされます

- 高速ダビングにかかる時間など、高速ダビングについて詳しくは→ **131** ページをご覧ください。

予約書き込み専用ディスクを管理する

■予約書き込み専用ディスクに書き込んだ予約を削除する（通常の BD-RE ディスクに戻す）

1 予約書き込み専用ディスクを本機にセットします

2 「確認」で決定します

この予約を登録しました。

確認

- 予約書き込み専用ディスクの予約が、予約リストに加わります。
- 予約書き込み専用ディスクの予約と本機の予約の重なった場合は、予約重複のメッセージが表示されます。どちらの予約を行うかを選びます。

予約を完了します

予約リストを表示し 青 を押します ディスク予約画面を表示します

青 押す

3 「予約を削除する」を選んで、決定します

選んで 決定 決定する

ディスクに書き込まれている予約情報を変更します。

予約を削除する　設定をやめて戻る

専用ディスクとして設定したディスクを
通常のディスクに戻します。
ディスクに録画した内容は消去されません。

■予約書き込み専用ディスクに書き込んだ予約を変更する

- 予約書き込み専用ディスクに書き込んだ予約を削除して、変更したい予約内容で、予約を書き込んでください。

■予約開始時刻を過ぎてから予約書き込み専用ディスクを本機にセットしたときは（通常の BD-RE ディスクに戻す）

- 予約できません。画面の指示に従って操作し、表示されるメッセージを消します。
- 予約リストを表示して、青 を押します。
- ディスク情報変更画面で、「予約を削除する」を選んで決定します。

自動で録画したニュース・天気番組を見る

本機が電源切のときに HDD（ハードディスク）に自動で、地上デジタル放送または BS デジタル放送のニュース・天気番組を録画します。

録画後は、リモコンふた内の[ニュース]を押して、すぐに再生して見ることができます。

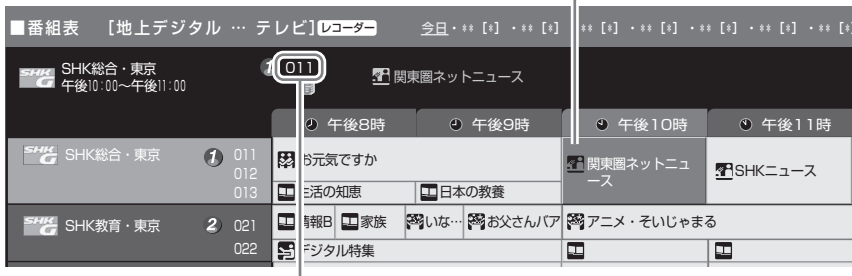
●あらかじめ、ニュース番組を録画するチャンネルの番号を確認します。

地上デジタル放送またはBSデジタル放送に切り換えます。

[番組表 予約]を押し、電子番組表を表示させます。

- 電子番組表が表示できないときは **255**ページをご覧ください。
- 電子番組表の表示や操作については **40** ～ **45**ページをご覧ください。

1 録画したいニュース番組を選びます。

▼「モード1」の場合の表示例

2 ここに表示された番号を、録画したいチャンネルとして**89**ページの設定手順 7 —ⓑ で設定します。
同じ放送局の他の番号(この例では「012」「013」)では、この番組は録画されません。

ご注意

- ニュース・天気自動録画は、本機の電源が切れた状態（待機状態）から自動で録画を開始します。夜中など動作音が気になる場合は「自動録画設定」を「しない」にしてください。
- ニュース･天気自動録画は､HDD（ハードディスク）に録画画質「DR」（放送画質）で重ね録りします。残しておきたいニュース･天気番組は､通常の録画・予約録画をしてください。
- 地上アナログ放送または CS デジタル放送や、ジャンルデータのない番組、契約していない有料番組は、自動で録画できません。
- 本機が以下の状態のときは、自動録画が開始できません。
  - 本機の電源が入っているとき。
    （ニュース・天気自動録画が開始される 3 分前までに、本機の電源が切れた状態（待機状態）になっていないとき。）
  - テレビの電子番組表で予約したファミリンク予約録画が終了後、3 分以内に開始するニュース・天気番組の自動録画。
  - 通常の予約録画（表録画）や電子番組表の番組情報取得と、実行時刻が重なるとき。
- テレビの電子番組表で予約したファミリンク予約録画が開始されると、ニュース・天気自動録画は中断されます。
- ニュース・天気自動録画中は、ファミリンクのワンタッチ録画は行えません。
- HDD（ハードディスク）に録画できる残時間が少ないとき､先にニュース・天気番組が自動録画されると、残時間不足からすでに登録されている録画予約の実行ができなくなる場合があります。
- HDD（ハードディスク）の残時間が少ないときは録画済みの番組を消去してご使用ください。（→ **118** ～ **120** ページをご覧ください。）

お知らせ

- ニュース・天気番組を自動録画するためには、電子番組表の番組情報が必要です。
  電子番組表の番組情報が取得できていない場合は、番組情報を取得してください。（→ **255** ページ）
- ジャンルデータの中で 16 分以上の「ニュース・報道」の番組を自動録画（重ね録り）します。（ジャンルデータは、放送局から送信されます。）
  ジャンルデータの「ニュース・報道」には、ニュースや天気以外の情報も含まれている場合があります。

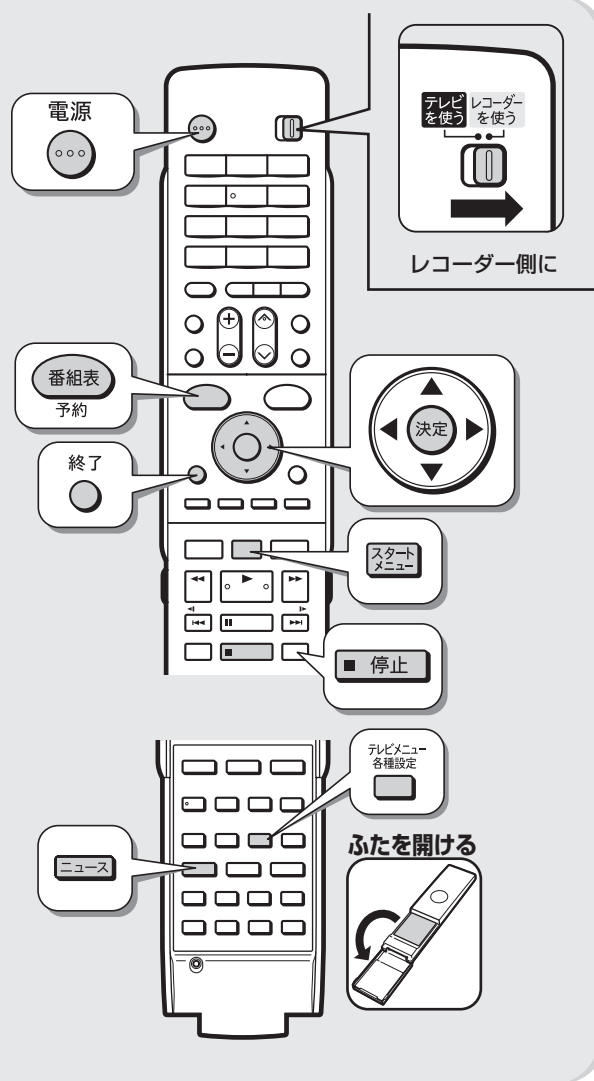
次ページへつづく

ニュース・天気番組を自動で録画するための設定をする

準備 テレビと本機の準備をします

① B-CAS カードをセットします。
② テレビの電源を入れます。
③ 本機の電源を入れます。
④ テレビに向けリモコンの テレビ入力切換 を繰り返し押し、テレビの入力を切り換えます。

・入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。　詳しくは 37 ページ

本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

1 スタートメニューを表示させます

2 「各種設定」を選んで決定します

3 「録画機能設定」－「ニュース・天気録画設定」を選んで決定します

■各種設定［録画機能設定…ニュース・天気録画設定］

録画機能設定	本体設定	機能切換	デジタル設定

携帯電話転送設定
ニュース・天気録画設定　［しない］
HD録画画質設定　［HD10］
MN録画画質設定　［MN65］

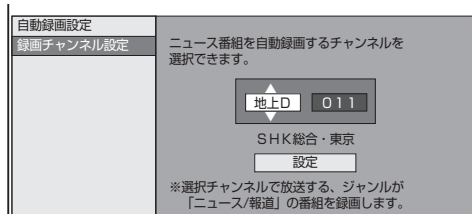
4 「自動録画設定」を選んで決定します

5 「する」を選んで決定します

6 「録画チャンネル設定」を選んで決定します

7 録画したい放送とチャンネルをそれぞれ選んで決定します

ⓐ 地上DまたはBSを

ⓑ チャンネルを

8 「設定」で決定します

9 設定を終了します

10 本機の電源を切ります

ニュース・天気番組を見る

操作の前に

・「ニュース・天気録画設定」で自動録画するチャンネルを設定し、録画しておく必要があります。

準備 テレビと本機の準備をします

① B-CAS カードをセットします。

② テレビの電源を入れます。

③ 本機の電源を入れます。

④ テレビに向けリモコンの テレビ入力切換 ◯ を繰り返し押し、テレビの入力を切り換えます。

例：本機をテレビの外部入力 3 に接続したとき

・入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。 詳しくは

本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

1 ニュース･天気番組を再生します

（ふた内）

2 再生を止めるときは

■停止 押す

• つづき再生について

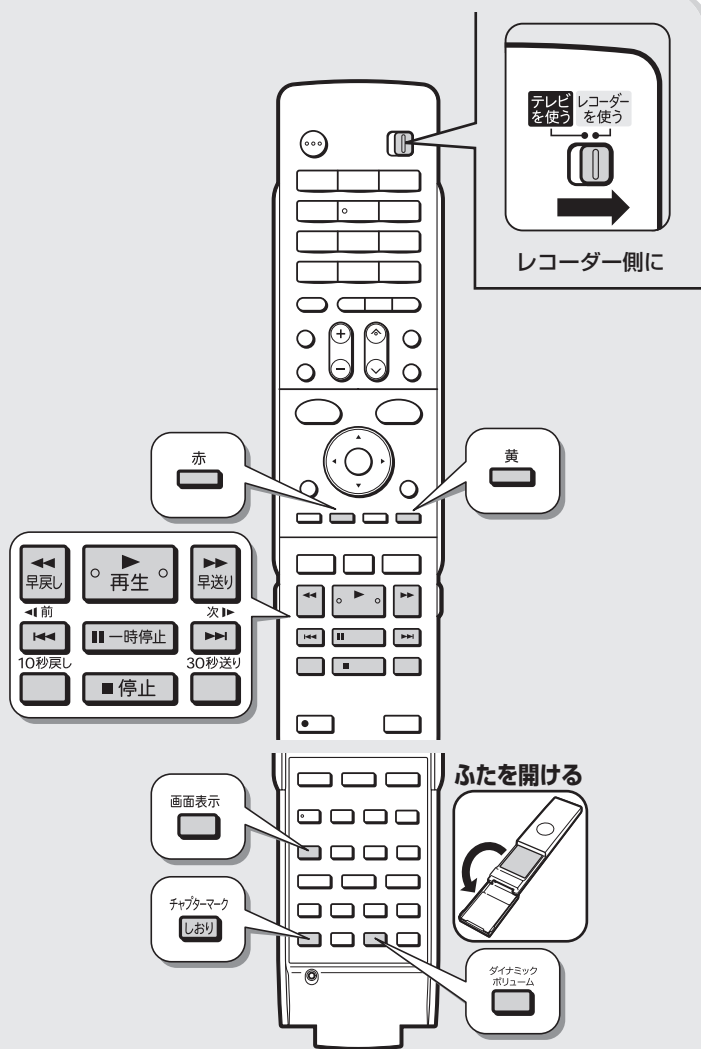
・ニュース・天気番組自動録画中にリモコンふた内の ニュース を押すと、追いかけ再生（→ **112** ページ）となります。

お知らせ

・録画リストから選んで再生することもできます。
ニュース・天気自動録画された録画リスト内の番組には N が表示されます。

・一発（クイック）起動（→ **235** ページ）で「する」に設定しておくと、本機の電源が切れた状態（待機状態）からリモコンふた内の ニュース を押すだけで本機の電源が入り、再生できます。

再生のあらまし

録画した番組や BD、DVD ディスクなどを再生する前にお読みください。

目的別再生の種類

HDD（ハードディスク）に録画した番組を再生したい	録画リストから再生する▶**94**ページ グループまたはジャンル別リストからタイトルを探して再生する▶**98**ページ ・アナログ放送は、「その他」のジャンルに分類されます。
BDやDVDディスクにダビングした番組を再生したい	録画リストから再生する▶**94**ページ
市販のBDビデオやDVDビデオ（映画など）を再生したい	市販のBDビデオやDVDビデオを再生する▶**102**ページ
他機で録画したBDやDVDディスクを再生したい	他機で録画されたBDやDVDを再生する▶**95**ページ
音楽CDを再生したい	音楽CDを再生する▶**101**ページ

■放送を見ているとき

⇨ 最後に録画または再生したタイトルが再生されます。

・前回再生を途中で停止していた場合は、その箇所から再生が始まります（つづき再生）。 **106** ページ
・最初から再生したい場合は録画リスト（→ **95** ページ）で を押し、「再生」→「最初から」を選んでください。（→ **106** ページ）

ご注意

・HDD（ハードディスク）と BD、または HDD（ハードディスク）と DVD の同時再生はできません。
・一般に BD や DVD の再生音量は小さく感じられるため、HDD と BD/DVD を切り換えたとき、突然音が大きくなったり小さくなったりする場合があります。BD や DVD 再生時にテレビやアンプの音量を上げたときは、再生後必ず音量を下げてください。
・リモコンふた内の［ダイナミックボリューム］を押すと、BD ビデオや DVD ビデオの再生音量や放送視聴時の音量を聞きやすい音声にすることができます。（→ **103** ページ）

お知らせ

・再生についてお困りのときは「故障かな？と思ったら」（→ **303** ～ **306** ページ）をご覧ください。
・デジタル放送を「録画先：裏録」以外で予約した録画開始時は、再生が停止されることがあります。（→ **303**、**305** ページ）
・HDD 再生中に、重ね録り設定されている予約が始まったときは再生が停止します。
・i.LINK 入力録画中は、再生できません。
・ビデオ CD の再生は保証しておりません。
・「携帯電話用動画」（→ **189** ページ）は、本機の HDD（ハードディスク）に入ったままだと再生できません。携帯電話に転送してお楽しみください。（→ **189** ページ）

おすすめ

本機を快適に使いこなすために

・不要な番組は消しましょう。（→ **118** ～ **120** ページ）
・残したい番組は BD または DVD へダビング（移動）しましょう。（→ **128** ページ）

再生中の便利機能

■いろいろな再生 ▶ 107 ページ

サーチやスロー再生、スキップなど、ボタンを押すだけでいろいろな再生ができます。

■追いかけ再生 ▶ 112 ページ

現在録画している番組を、最初から再生することができます。

■同時録画再生 ▶ 113 ページ

HDD(ハードディスク）へ録画中に、すでに HDD に録画されている別番組を再生することができます。

■くり返し再生する ▶ 111 ページ

番組全体、あるいは一定の範囲をくり返し再生できます。

■音声や字幕、映像 / アングルなどの切り換え ▶ 110 ページ

「視聴メニュー」を使ってもさまざまな操作ができます。（→ 114 ページ）

■チャプターマーク（しおり）をつける

好みの場所で

⇨チャプターマーク記録

（ふた内）

・あとから頭出しなどをするときに便利です。
・チャプターマークについて詳しくは、51、63 ページ

■カウンターなどの確認 ▶ 52 ページ

（ふた内）

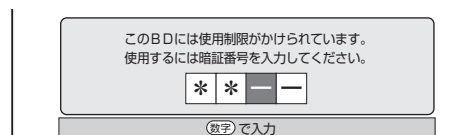
■ニュース番組や天気番組を再生する ▶ 89 ページ

HDD（ハードディスク）に自動で録画したニュース番組や天気番組を、かんたんに再生できます。

メ モ

・下記の画質で HDD（ハードディスク）に録画した番組や BD にダビングした番組は、再生時に番組情報を表示できます。
画質：DR、2 倍、3 倍、5 倍、7 倍、HD ○○
（→ 55 ページ）
・再生中にチャプターマークを記録できるのは、HDD に録画したタイトルです。

BD をセットしたとき

・他機で使用制限をかけた BD をセットすると、次のような画面になります。暗証番号を入力してください。

・暗証番号を 3 回まちがえると、ディスクトレイが開きます。ディスクトレイを閉じてから、正しい暗証番号を入力してください。

ご注意

・BD-RE Ver.1.0（カートリッジ入り）は、本機で再生できません。また、本機にセットすることもできません。
・他機で録画したディスクを本機で再生する場合は、録画した機器でファイナライズをしてください。
DVD-RW（VR フォーマット）
DVD-RW（ビデオフォーマット）
DVD-R（VR フォーマット）
DVD-R（ビデオフォーマット）
DVD+RW（ビデオフォーマット）
DVD+R（ビデオフォーマット）
DVD-RAM（VR フォーマット）

お知らせ

・デジタル放送を録画（ダビング）した DVD ディスクを再生したとき、つぎの操作はできません。
　・番組情報は表示できません。
　・連動データは表示できません。
　・字幕は表示できません。
・BD や DVD ディスクにはチャプターマークを記録できません。

・本機に録画した映像を再生したとき、録画されている録画画質により放送と見え方が違って見える場合があります。

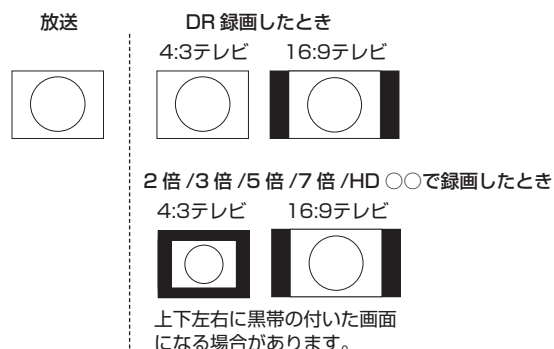
例：4:3 の映像を録画したとき

放送　　DR 録画したとき

4:3テレビ　16:9テレビ

2 倍 /3 倍 /5 倍 /7 倍 /HD ○○で録画したとき

4:3テレビ　16:9テレビ

上下左右に黒帯の付いた画面になる場合があります。

録画リスト表示について

■文字表示設定について

- 本機の録画リストは、デジタルハイビジョン対応テレビと次の接続・設定をしている場合、細かな文字で多くの情報を表示する画面となります。（18 画面）
  - ・D 映像ケーブルで接続し、「D 映像出力設定」を「D3/D4/D5」に設定しているとき
  - ・HDMI ケーブルで接続し、「HDMI 映像出力設定」を「オート」、「1080/60p 固定」または「1080i 固定」に設定しているとき
- 「スタートメニュー」－「各種設定」－「機能切換」－「文字表示設定」（→ **283** ページ）で表示のしかたを選べます。

文字表示設定「する」（18画面）の画面例

■画面リスト　■タイトル名リスト

「文字表示設定」（→ **283** ページ）で表示のしかたを選べます。

文字表示設定「しない」（6画面）の画面例

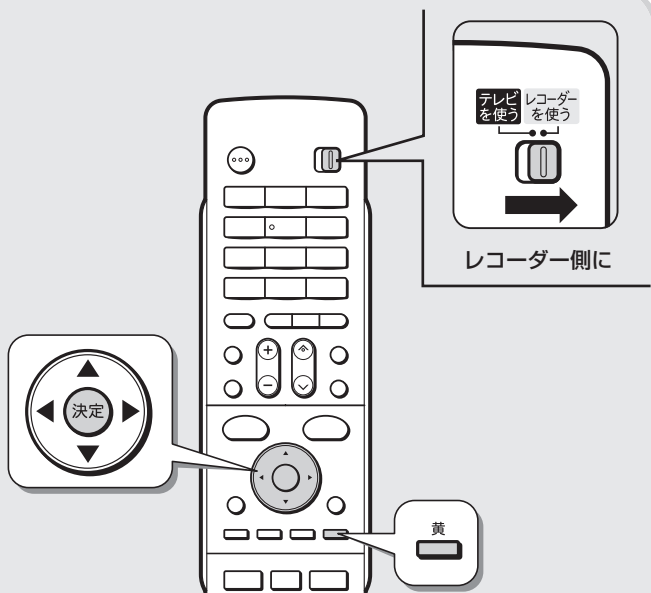
■画面リスト　■タイトル名リスト

ご注意

- **上記は HDD（ハードディスク）の画面リストの例です。BD や DVD ディスクの画面リストの場合は、表示される内容が異なります。**

■以下の場合は、18 画面／ 6 画面の表示のしかたが自動的に決まります。

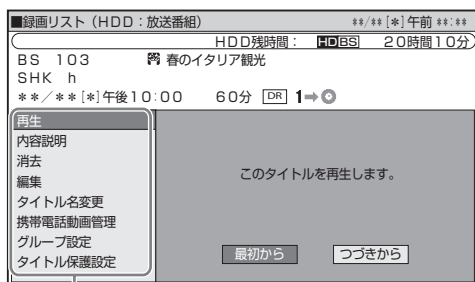
- ハイビジョン対応テレビと D 映像ケーブルで接続し、初期設定でハイビジョン対応テレビを選択・設定して「文字表示設定」を「する」に設定しているときや、HDMI ケーブルで接続して「文字表示設定」を「する」に設定したときは自動的に「18 画面」となります。
- ハイビジョン対応以外のテレビと接続したときや、S 映像ケーブル、映像ケーブルで接続したときは自動的に「6 画面」となります。

録画リストの表示の切り換えかたや、チャプター（章）、見どころ画面の表示については、**96**～**97**ページをご覧ください。

録画リストから各種機能設定をする

先にタイトル（録画した番組）を選んでから編集などを行うには、録画リストでタイトルやチャプターを選んでから機能メニューによって各種機能を呼び出す方法が便利です。

1 録画リストで「機能メニュー」を選びます

黄 押す

- 録画リストでの切り換え（タイトル名リスト／チャプターリスト、オリジナル／プレイリスト※）によって、表示される機能は異なります。
  ※ 他機でプレイリストを作成したディスクをセットした場合

機能メニュー

2 それぞれの設定をします

- 操作については、それぞれの参照ページをご覧ください。

機能メニューでは、次のような機能を呼び出すことができます。操作について詳しくは、それぞれの参照ページをご覧ください。

■再生（→ **95**、**106** ページ）

HDD　BD　DVD-RW/-R ビデオ　DVD-RW/-R VR

録画リストで選んだタイトル（またはチャプター）を再生します。一度再生し、途中で停止したタイトルをはじめから見たいときに選択します。
※DVD-RW/-R ビデオフォーマットをファイナライズすると録画リストはご覧いただけません。
タイトルメニュー画面になります。

■内容説明 HDD ※1

録画画質「DR」、「2倍」、「3倍」、「5倍」、「7倍」、「HD ○○」で録画したデジタル放送番組の内容を表示します。
（地上アナログ放送を録画したときは、内容説明の表示は出ますが空欄となります。）

■消去※2（→ **118** ページ）

HDD　BD　DVD-RW/-R ビデオ　DVD-RW/-R VR

録画リストで選んだタイトル（またはチャプター）を消去できます。BD、DVD ディスクのタイトルは、チャプター単位の消去はできません。

■編集（→ **121** ページ）

HDD

HDD（ハードディスク）に録画した番組は、編集の操作でコマーシャルなどをカットしたりすることができます。

■タイトル名変更※2（→ **158** ページ）

HDD　BD　DVD-RW/-R ビデオ　DVD-RW/-R VR

タイトル名を変更することができます。番組名など、わかりやすいタイトル名に変更しておくと再生するときに便利です。

■携帯電話動画管理 ※1 HDD

携帯電話転送用動画の消去ができます。

■グループ設定（→ **100** ページ）HDD

録画リストで選んだタイトルを、グループに分けて分類・整理できます。

■タイトル保護設定※2（→ **116** ページ）

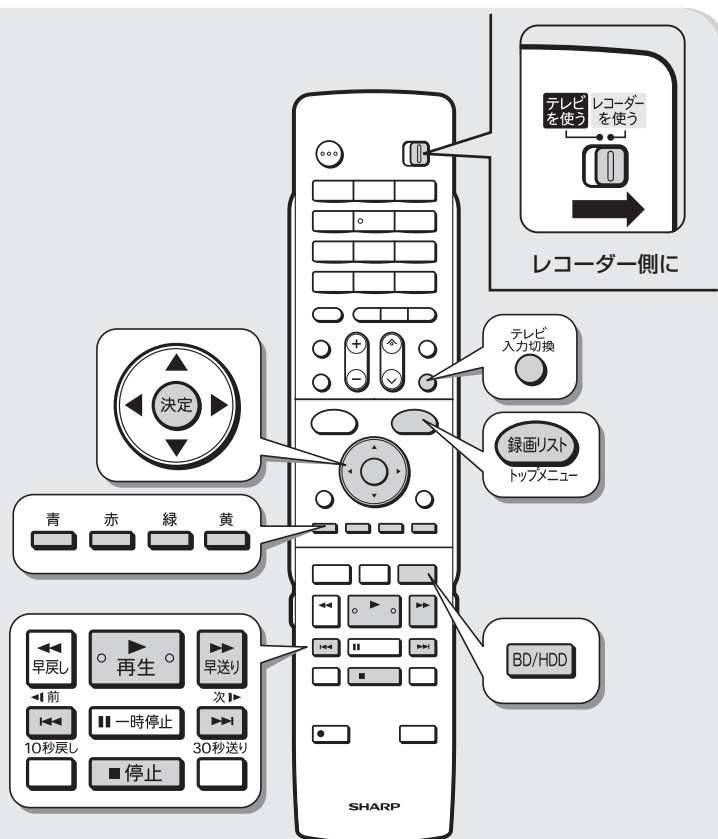
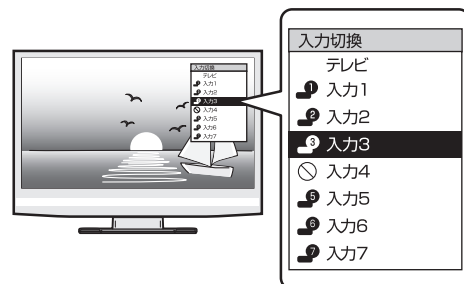
HDD　BD　DVD-RW/-R VR

タイトルを保護します。
誤って編集や消去をしないようにするときに設定します。

※1 動画アルバムの場合は、「内容説明」と「携帯電話動画管理」は表示されません。
※2 DVD-RW（ビデオフォーマット）、DVD-R ディスクは、ファイナライズを行うと再生専用ディスクとなり操作できません。

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販のBDビデオ 市販のDVDビデオ 音楽用CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

HDD に録画した番組やダビングした BD・DVD を再生する

- HDD（ハードディスク）や BD、DVD ディスクに録画された番組（タイトル）を「録画リスト」から選んで再生します。
- 他機で録画した DVD ディスクは、ファイナライズされたディスクが本機で再生できます。

ご注意

- BD-RE Ver.1.0（カートリッジ入り）は、本機で再生できません。また、本機にセットすることもできません。
- 他の BD レコーダーで録画した BD-RE/-R には、一部再生できないディスクがあります。例えば、デジタルハイビジョンカメラ（HDV 方式）で撮影した映像を録画したディスクなどは再生できません。

お知らせ

- ビデオフォーマットで録画した DVD ディスクをファイナライズ（→ **162** ページ）すると、他の DVD プレーヤーでも再生できるメニュー画面が自動的に作成されます。そのため、ファイナライズ前とファイナライズ後ではメニュー画面が異なります。
- 他機でファイナライズされたディスクは、タイトルメニューなどの画面がそれぞれ異なりますが、再生できます。
- 本機でのファイナライズ操作については、**162** ページ
- 再生専用のディスクをセットしたときは、自動で BD/DVD モードに切り換わり、再生が始まります。
- 録画リストに表示されるタイトル名は、最大で HDD 全角 40 文字（BD 全角 40 文字・DVD 全角 32 文字）です。本機以外で録画したディスクなどで本機で表示できない記号や文字があったときは「＊」表示となります。
- DVD では、ディスクを一度トレイから取り出すと、録画リストに「XP」や「SP」などの画質表示が出なくなります。
- HDD 内に録画した番組で、まだ再生していない番組には「NEW」が表示されます。
- 録画リストについてお困りの際は「故障かな？と思ったら」（→ **304** ～ **305** ページ）をご覧ください。

準備 テレビと本機の準備をします

①テレビの電源を入れます。

②本機の電源を入れます。

③テレビに向けリモコンの テレビ入力切換 を繰り返し押し、テレビの入力を切り換えます。

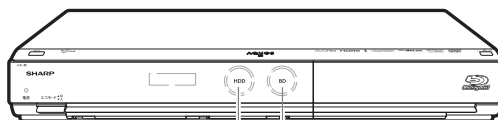
例：本機をテレビの外部入力 3 に接続したとき

- 入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。 詳しくは 37 ページ

本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

1 HDD か BD/DVD を選びます

- リモコンを本機に向けて押すたびに、HDD モードと BD/DVD モードが切り換わります。電源を入れると自動的に HDD モードになります。

HDDモード選択時に点灯します　BD/DVDモード選択時に点灯します

- HDD に録画したタイトルを見るとき、リモコンの BD/HDD を押し本機前面の HDD ランプを点灯させます。
- BD や DVD に録画したタイトルを見るとき、リモコンの BD/HDD を押し本機前面の BD/DVD ランプを点灯させます。

2 録画した複数の番組の中から選んで再生したいとき

⇨録画リストが表示されます
手順 3 に進みます

・AVCHD 記録の DVD ディスクからダビングしたタイトルを再生したいときは、青（動画アルバム）を押します。
⇨動画アルバムが表示されます。手順 3 に進みます。

録画した番組をすぐに再生したいとき

⇨最後に録画または再生したタイトルが再生されます

3 見たいタイトル（録画した番組）を選んで決定します

⇨

画面リストの画面例

番組1	番組2	番組3	番組4	番組5	番組6
番組7	番組8	番組9	番組10	番組11	番組12

・画面リストの場合、小画面を選ぶと自動的に小画面のまま再生されて内容を確認できます。
（早送りで小画面早送り）
・ページが複数あるときは：前 次 でページ切換

・再生中に録画リスト（トップメニュー）を押すと、再生を停止して、録画リストを表示できます。
・HDD（ハードディスク）の録画リストで 黄（機能メニュー）を押すと、タイトルの編集や消去ができます。

■再生が終わると

HDD（ハードディスク）　⇨ 放送中のテレビ番組映像
BD・DVD　⇨ 次のタイトルを再生

4 再生を止めるときは

・再生をタイトルの途中で止めたときは、つづきから再生することができます。
・つづき再生について 106 ページ

・前回再生を途中で停止していた場合、その箇所から再生が始まります（つづき再生）。
・最初から再生したい場合は、録画リスト（→ **96** ページ）で 黄（機能メニュー）を押し、「再生」→「最初から」を選んでください。

他機で録画した BD や DVD を再生する

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販の BD ビデオ 市販の DVD ビデオ 音楽用 CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

他機で録画した DVD ディスクはファイナライズされたディスクが本機で再生できます。

1 ディスクをセットします 30 ページ

・ファイナライズされた DVD ディスク（ビデオフォーマット）をセットすると、自動的に再生が始まります。

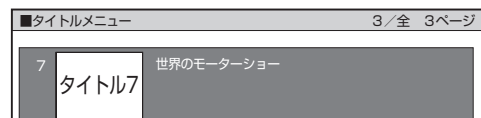
2 自動的に再生が始まらないときは、再生を始めます

⇨ 最初から再生されます。

3 再生を止めるときは

■タイトルを選んで再生するには

1 停止中にタイトルメニューを表示させます

2 タイトルを選んで決定します

タイトルメニュー例

・タイトルメニューが表示されない場合は、一度再生させて停止し、手順 1 を再度行ってください。

ご注意

・他の BD レコーダーで録画した BD には、一部再生できないディスクがあります。例えば、デジタルハイビジョンカメラ（HDV 方式）で撮影した映像を録画したディスクなどは再生できません。
・他の BD レコーダーで録画された BD ディスクが H.264 画質で長時間録画されているときは、本機では再生できない場合があります。
・本機以外でダビングした DVD-R DL（2 層）ディスクは、再生できない場合があります。
・他機で録画した DVD ディスクが再生できないときは、録画に使用した機器でファイナライズを行ってください。
・ビデオフォーマットで録画したディスクをファイナライズすると、録画リストがタイトルメニューなどの画面に変更されます。（タイトルの内容は変わりません。）
・他の DVD レコーダーで付けたタイトル名で本機で表示できない文字は、「＊＊＊＊・・・・」（最大で全角 32 文字分）の表示となります。
・他のレコーダーでフレーム単位の編集をしたディスクを再生したときは、開始地点、終了地点がずれたりインデックス画面が異なる場合があります。

録画リスト表示と切り換えについて

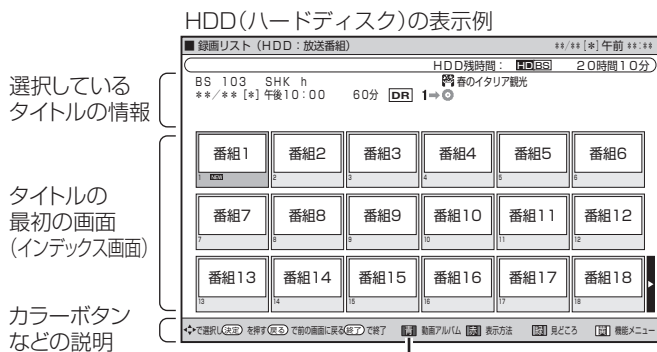
■放送番組

放送や外部入力を録画した映像は、放送番組として分類されます。

■動画アルバム

HDV 方式や AVCHD 方式のデジタルビデオカメラから録画した映像は、動画アルバムとして分類されます。

■画面リスト

HDD(ハードディスク)の表示例

青 で、放送番組←→動画アルバムの切り換えができます。

・本機からテレビへ 1080p または 1080i の解像度で映像出力している場合、「スタートメニュー」－「各種設定」－「機能切換」－「文字表示設定」を「する」にすると、画面リストを 18 画面表示にすることができます。

283 ページ

録画リストに表示されるマーク

マーク	説明
NEW	まだ再生していないタイトル(録画した番組)。 HDDのみ
(保護マーク)	「タイトル保護」が設定されているタイトル(録画した番組)。予約録画時に詳細設定で「消さないで」を設定して録画した番組。
(重ね録りマーク)	「重ね録り番組」として録画された番組。 HDDのみ
10➡◎	「ダビング10」の番組。数字「10」はダビングできる回数を示しています。ダビングするたびに数が減っていきます。 HDDのみ
1➡◎	「1回だけ録画可能」な番組、または「ダビング10」の番組で9回ダビングした番組。ダビングすると移動(ムーブ)になり、HDDからデータがなくなります。 HDDのみ
1	HDD(ハードディスク)に録画したタイトルを選択し、そのタイトルがグループ設定されているときに表示します。(グループ設定により、1 ～ 6 が表示されます。) HDDのみ
チャプター	画面リストに表示されているのがチャプター(章)であることを示します。 HDDのみ
N	ニュース･天気自動録画された番組。 HDDのみ
(携帯動画マーク)	携帯動画が作成されているリストを選んだときに表示されます。 HDDのみ

■タイトル名リスト

1 画面リストを「タイトル名リスト」に切り換えます

①

表示方法を選択してください。
並べ換え
タイトルリスト
チャプター単位

②「タイトル名リスト」を選んで決定します。
⇨タイトル名リストが表示されます。

2 タイトル名リストで選んで決定します

HDD(ハードディスク)の表示例

並べ換えたいとき

①

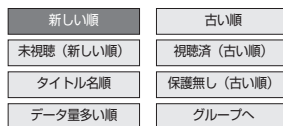
表示方法を選択してください。
並べ換え
画面リスト
チャプター単位

②「並べ換え」を選んで決定します。

③ 並べ換え方法を選びます。

HDD(ハードディスク)の表示例

並べ換えの方法を選択してください。

新しい順	古い順
未視聴（新しい順）	視聴済（古い順）
タイトル名順	保護無し（古い順）
データ量多い順	グループへ

⇨並べ換えられたタイトル名リストが表示されます。

• 各画面下に操作に使うボタンの説明が表示されますので、参考にしてください。

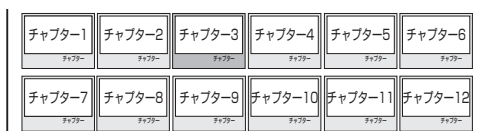
• HDD モードでは、「グループへ」を選択すると、グループリスト（→ **98** ページ）が表示されます。

■チャプター（章）単位表示

1 画面リストを「チャプター単位」に切り換えます

「チャプター単位」を選んで決定します。

2 チャプターを選び、決定します

チャプター1	チャプター2	チャプター3	チャプター4	チャプター5	チャプター6
チャプター7	チャプター8	チャプター9	チャプター10	チャプター11	チャプター12

・チャプターについて 51、63 ページ

• タイトル単位に戻すときは、赤 を押し、「タイトル単位」を選んで決定します。

お知らせ

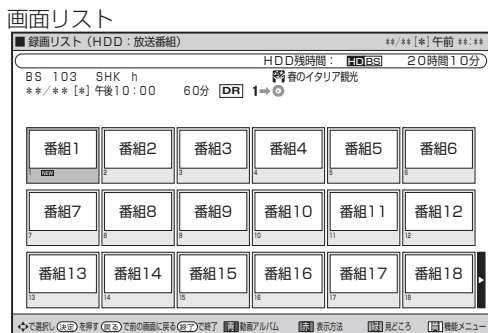
・BD、DVD ディスクの再生では、チャプター単位の表示はできません。

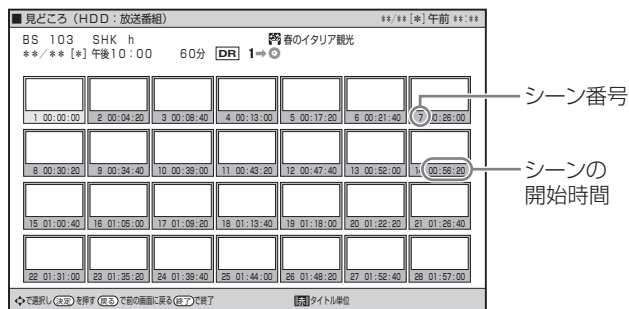
■見どころ画面

HDD（ハードディスク）に録画したタイトルから、見たい場面をすぐに探すことができます。

• 画面リストが 18 画面表示のとき（→ **92** ページ）使える機能です。

1 ＨＤＤの録画リストで見たいタイトルを選び、「見どころ」を押します

画面リスト

2 見たいシーンを選んで決定します

• 録画したタイトルを 28 の場面に分けて表示します。

• タイトル単位に戻すときは、赤（タイトル単位）を押します。

お知らせ

・BD、DVD ディスクの再生では、見どころ画面表示はできません。
・見どころ画面は、1 タイトルを 28 等分して静止画表示しています。
・28 分以下のタイトルの場合は、1 分単位で分割されたシーンが表示されます。たとえば 17 分 20 秒のタイトルの場合は、18 シーンとなります。（0 分、1 分、…、17 分の静止画が表示されます。）

■プレイリスト表示（プレイリストのあるディスクをセットしたとき）

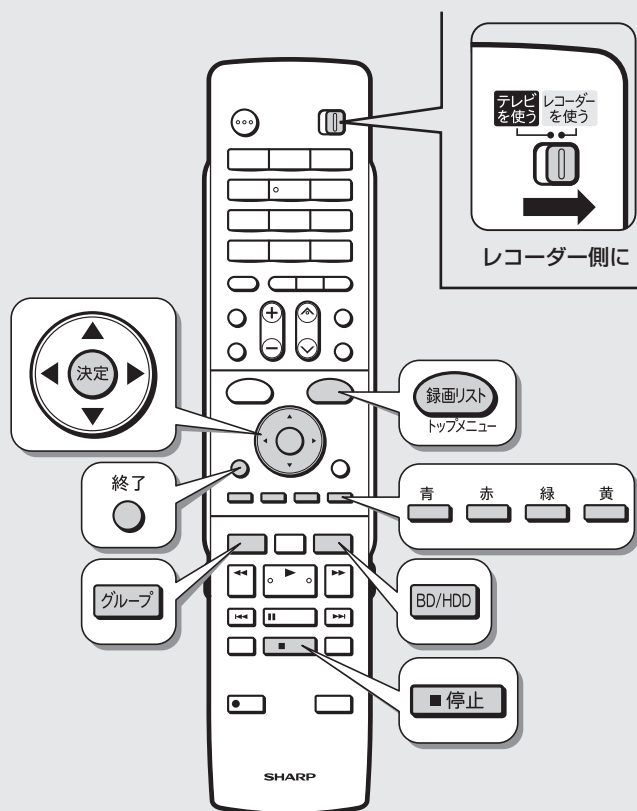
1 画面リストまたはタイトル名リストで「プレイリスト」を選びます

• 押すたびに「オリジナル」⟷「プレイリスト」表示となります。

■録画リスト（BD：プレイリスト）
BD残時間： 1時間10分
地上A 3
/ [*] 午後 9:00 60分
役立つ英会話

2 リストを選んで決定します

確認 基本 視聴 録画・予約 再生・消去 編集 ダビング 管理 ファミリンク 携帯電話・カメラ 接続・設定 基本設定 各種設定 困ったときは

グループリスト／ジャンル別リストから再生する（HDD）

お知らせ

グループに含まれないタイトル（録画した番組）を再生する

- 放送中の番組を録画した場合やグループ設定をしないで予約録画した場合は、どのグループにも含まれないタイトルになります。
- どのグループにも含まれていないタイトルは、グループリストからは選べません。リモコンの（録画リスト トップメニュー）を押し、録画リストから選んで再生してください。
- グループリストから選びたい場合は、タイトルをいずれかのグループに設定してください。

グループリストから再生するには

準備 テレビと本機の準備をします

① テレビの電源を入れます。

② 本機の電源を入れます。

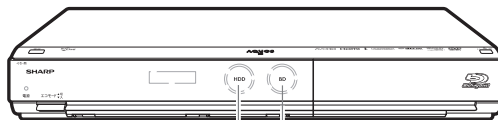
③ テレビに向けリモコンの（テレビ入力切換）を繰り返し押し、テレビの入力を切り換えます。

- 入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。 詳しくは 37 ページ

本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

1 HDD モードを選びます

BD/HDD 押す

- リモコン本機に向け押すたびに、HDD モードと BD/DVD モードが切り換わります。電源を入れると自動的に HDD モードになります。

HDDモード選択時に点灯します　BD/DVDモード選択時に点灯します

2 グループリストを表示させます

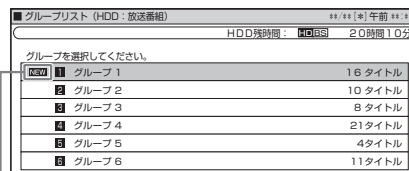
グループ 押す

- ジャンル別リストが表示された場合は （緑）（グループへ）を押します。

3 グループを選んで決定します

選んで 決定する

■ グループリスト（HDD：放送番組）
HDD残時間： HD BS 20時間10分
グループを選択してください。

NEW 1	グループ 1	16 タイトル
2	グループ 2	10 タイトル
3	グループ 3	8 タイトル
4	グループ 4	21タイトル
5	グループ 5	4タイトル
6	グループ 6	11タイトル

まだ視聴していない番組があるときに表示

- グループリストにも、放送番組と動画アルバムの２種類があります。（青）で切り換えることができます。

4 見たいタイトル（録画した番組）を選んで決定します

選んで 決定する ⇨ 再生

- グループリスト画面も録画リスト画面と同様に操作できます。 96 ページ

- 再生が終わると、放送中のテレビ番組映像になります。

5 再生を止めるときは

■停止 押す

- つづき再生について 106 ページ

ジャンル別リストから再生するには

1 ジャンル別リストを表示します

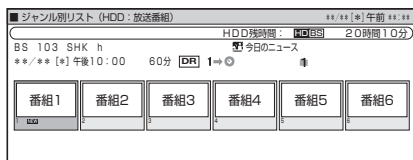
・グループ別リストが表示された場合は、放送番組のグループリストで 緑（ジャンル別へ）を押します。

2 ジャンルを選んで決定します

・アナログ放送を録画した番組は、「その他」のジャンルに分類されます。

■ ジャンル別リスト（HDD：放送番組）
HDD残時間：20時間10分
ジャンルを選択してください。

NEW	ニュース/報道	6タイトル
	スポーツ	0タイトル
NEW	情報/ワイドショー	7タイトル
	ドラマ	1タイトル
	音楽	0タイトル

3 見たいタイトル（録画した番組）を選んで決定します

・カラーボタンを押して、タイトル名リストまたは画面リストを表示させることができます。

4 再生を止めるときは

グループリスト内のタイトルを並べ換える

1 98ページの手順 2～3 を行い、グループリストからグループを選びます

2 グループリストで表示方法を押し、並べ換えを選びます

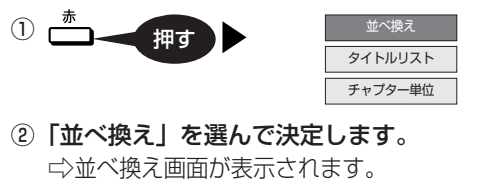
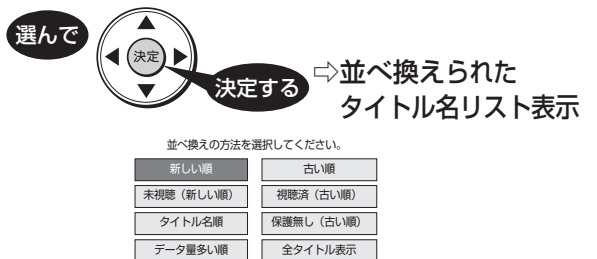
表示方法を選択してください。
並べ換え
タイトルリスト
チャプター単位

②「並べ換え」を選んで決定します。
⇨並べ換え画面が表示されます。

3 並べ換えの方法を選んで決定します

⇨並べ換えられたタイトル名リスト表示

並べ換えの方法を選択してください。

新しい順	古い順
未視聴（新しい順）	視聴済（古い順）
タイトル名順	保護無し（古い順）
データ量多い順	全タイトル表示

・「全タイトル表示」を選んだときは、グループリストが解除され、録画リストになります。

見たいタイトルをチャプター（章）単位から選ぶ

1 グループリストまたはジャンル別リストで「チャプター単位」を選びます

表示方法を選択してください。
並べ換え
タイトル名リスト
チャプター単位

②「チャプター単位」を選んで決定します。
⇨チャプター単位の画面が表示されます。

2 チャプターを選んで決定します

・チャプターについて 51、63ページ

グループ内のタイトルを他グループへ設定し直すには

1 グループリスト画面を表示させます

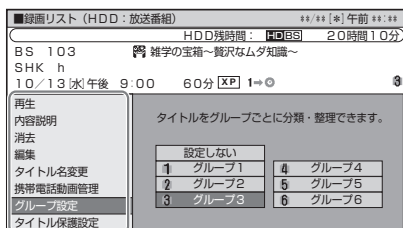
グループ — 押す

2 移動したいタイトルが入っているグループを選んで決定します

3 グループリスト画面で移動したいタイトルを選びます

4 機能メニューを表示させます

5 「グループ設定」を選んで決定します

6 移動先のグループを選んで決定します

機能メニュー

⇨選んだタイトルが移動先のグループへ

・「設定しない」を選ぶと、どのグループにも含まれなくなります。

7 設定を終了します

グループ設定していないタイトルをグループ設定するには

1 録画リストを表示させます 96 ページ

2 設定したいタイトルを選びます

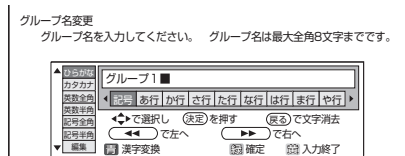
3 左記の「グループ内のタイトルを他グループへ設定し直すには」の手順 4～7 の手順で操作します

グループの名前を変えるには

1 グループリスト画面でグループ名を変えたいグループを選びます

2 文字入力画面を表示させます

3 グループ名を入力します

• 最大で全角 8 文字のグループ名が入力できます。

• 文字入力のしかた 159 ページ

音楽 CD を再生する

音楽 CD を再生することができます。

・ビデオ CD は再生できません。

準備 テレビと本機の準備をします

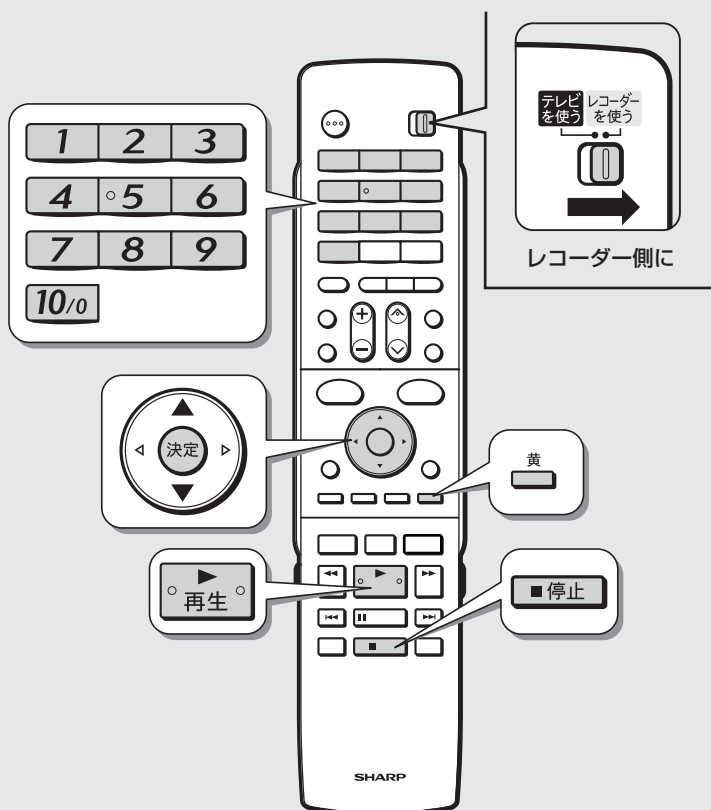
① テレビの電源を入れます。

② 本機の電源を入れます。

③ テレビに向けリモコンの テレビ入力切換 を繰り返し押し、テレビの入力を切り換えます。

例：本機をテレビの外部入力３に接続したとき

・入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。 詳しくは 37 ページ

本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

1 CD をセットします 30 ページ

・読み込みが完了すると自動的に最初から（1 曲目から）再生されます。

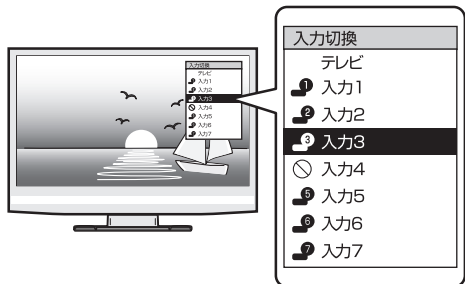
自動で再生されないときや、一時停止したときは再生ボタンを押します

▶再生 押す

視聴メニュー画面

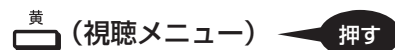
トラック選択画面

2 曲を選んで再生したいときは、再生中または停止中に、再生したい曲を選んで決定します

3 再生を止めるときは

•音楽 CD の画面が消えます。

視聴メニュー画面で曲を選んで再生するには

1 CD をセットして視聴メニュー画面を操作します

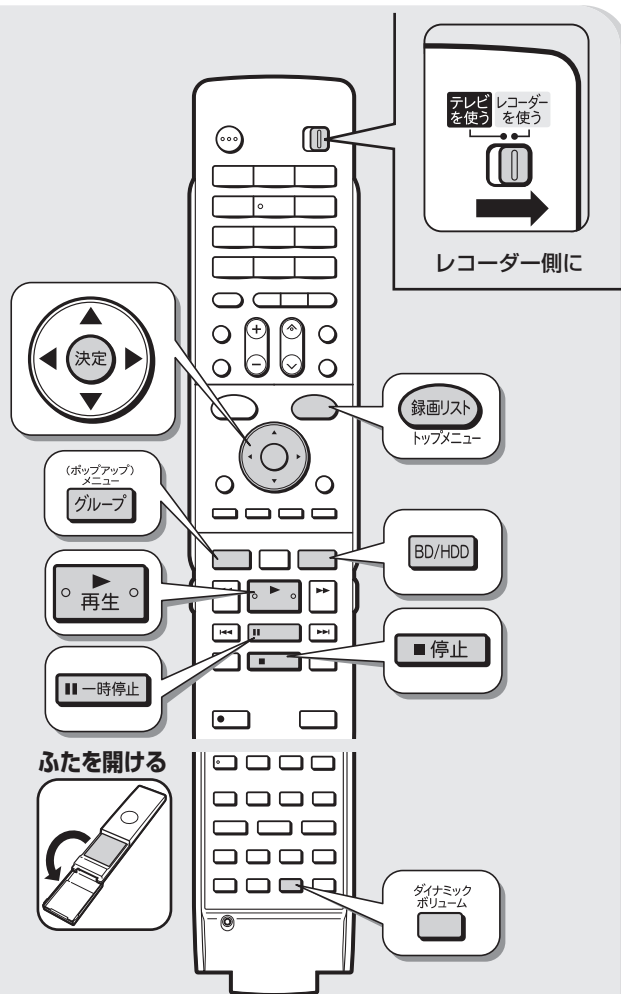
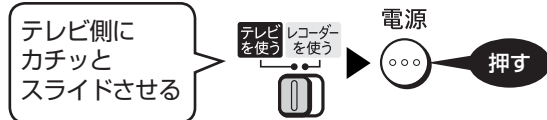
黄（視聴メニュー） 押す

2 「T」を選んで決定します

3 曲番号を選んで決定します

・リモコンの番号ボタンで指定して決定することもできます。

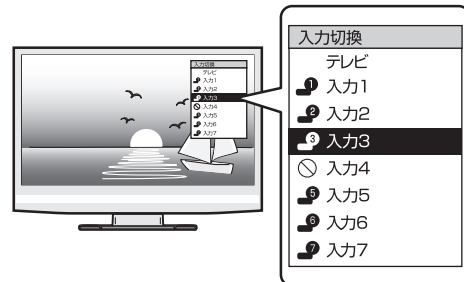
・停止状態でリモコンふた内の視聴メニューボタンを押したときに表示される視聴メニューについては、**114** ～ **115** ページをご覧ください。

市販の BD ビデオや DVD ビデオを再生する

映画などを収録した市販の BD ビデオや DVD ビデオディスクを再生します。

準備 テレビと本機の準備をします

①テレビの電源を入れます。

②本機の電源を入れます。

③テレビに向けリモコンの テレビ入力切換 を繰り返し押し、テレビの入力を切り換えます。

例：本機をテレビの外部入力 3 に接続したとき

• 入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。 詳しくは 37 ページ

本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

1 ディスクをセットします 30 ページ

・自動で BD/DVD モードに切り換わり、再生が始まります。
・この後 HDD（ハードディスク）のタイトルを見たい場合は、再生を停止し、HDD モードに切り換えてください。

・セットすると自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。画面の指示にしたがって操作してください。

① 新しい BD ビデオの中には、最新のソフトにバージョンアップデートをしないと再生ができないものがあります。
そのため、レコーダー本体ソフトのバージョンアップデートが必要な場合があります。
アップデートは、地上デジタルや BS デジタル放送で行われますので、必ずデジタル放送が受信できていることが必要です。
また、「スタートメニュー」－「各種設定」－「デジタル設定」－「ダウンロード設定」で「する」に設定（工場出荷時の設定）しておくと、デジタル放送波を利用したソフトウェアのダウンロードが自動的に行われ、常に最新のソフトウェアにアップデートされます。
② レコーダー本体ソフトのバージョンアップデートについては、シャープホームページの DVD/BD サポートステーション（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd）からご覧いただけます。

お知らせ

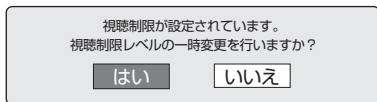
・市販の BD ビデオや DVD ビデオディスクには、自動的に再生が始まるものや、「トップメニュー」や「ディスクメニュー」が記録されているものがあります。（トップメニューを「タイトル」と呼んでいるものもあります。）
・市販の BD ビデオや DVD ビデオを再生するときは、ディスクの取扱説明書や画面の指示にしたがって操作してください。
・海外テレビ番組の DVD ビデオなどで、吹き替えの音源がない部分がオリジナル音源（外国語）になり日本語と交互に切り換わる場合があります。
・市販の BD ビデオの再生中、コンテンツによっては自動で静止画になるものもあります。このようなコンテンツを再生し、自動で静止画になったときは 一時停止 を押して静止画を解除できます。
・BD ビデオや DVD ビデオは、収録されている音声の音量レベルにより、再生時の音量が小さくなる場合があります。
ドルビーデジタルで音声を収録したディスクの場合は、「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「映像・音声設定」－「音声出力レベル」で「シフト」（→ **281** ページ）にすることで音量を大きくすることができます。（DTS、ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD で音声を収録したディスクでは働きません。）
・リモコンふた内の ダイナミックボリューム を押すと、BD ビデオや DVD ビデオの再生音量と放送視聴時の音量との差を小さくし、聞きやすい音声にすることができます。（→ **103** ページ）

メ モ

・BD-JAVA を採用した複数の BD ビデオを利用した場合、まれに、再生時の操作で動作が遅くなったり、正常に再生しなくなる場合があります。そのようなときは、「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「個人情報初期化」－「BD ビデオ用データ初期化」を行ってください。（→ **282** ページ）

2 自動的に再生が始まらないときは、再生を始めます

・視聴制限がかけられている場合

視聴制限が設定されています。
視聴制限レベルの一時変更を行いますか？
はい　いいえ

「はい」を選んだとき
暗証番号を入力して、視聴制限のかかったシーンを再生できます。暗証番号を 3 回まちがえると再生できません。（まちがえたときは、視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクトレイが開く、などディスクによって動作が異なります。）

「いいえ」を選んだとき
視聴制限のかかったシーンを再生しません。（視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクトレイが開く、などディスクによって動作が異なります。）

・BD ビデオの場合も視聴制限のため再生できない場合があります。そのようなときは、再生を止めてから BD の視聴制限の設定を変更してください。

• BD 視聴制限年齢について 284 ページ

3 再生を止めるときは

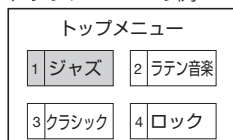
• つづき再生について 106 ページ

トップメニューを表示させるには

（トップメニューがある場合）

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販の BD ビデオ 市販の DVD ビデオ 音楽用 CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

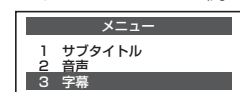
• ディスクをセットして、録画リスト（トップメニュー）を押すと、トップメニューを表示します。
• 画面の指示にしたがって操作してください。

トップメニューの例

ディスクメニューを表示させるには

（ディスクメニューがある場合）

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販の BD ビデオ 市販の DVD ビデオ 音楽用 CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

• ディスクをセットして グループ（ポップアップメニュー）を押すと、ディスクメニューを表示します。
• 画面の指示にしたがって字幕や音声を選ぶなどの操作をしてください。

ディスクメニューの例

お知らせ

・ディスクに記録されているメニュー画面などを、再生中に表示させたい場合は、録画リスト（トップメニュー）または グループ（ポップアップメニュー）を押します。
・トップメニューやディスクメニューの表示のさせかたはディスクによって異なる場合があります。詳しくは、ディスクに付属の説明書をご覧ください。

ポップアップメニューを表示させるには

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販の BD ビデオ 市販の DVD ビデオ 音楽用 CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

BD ビデオには、再生を止めることなくいろいろな操作ができる「ポップアップメニュー」があります。

1 再生中にポップアップメニューを表示させます

ポップアップメニューの例

2 項目を選んで決定します

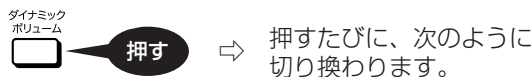
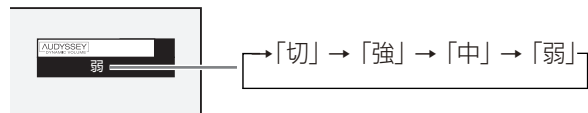
• ディスクによって表示される内容が異なります。ポップアップメニューの見かたや操作のしかたについては、ディスクに付属の説明書をご覧ください。

3 操作が終わったら、ポップアップメニューを消します

• ポップアップメニューが自動的に消えるディスクもあります。

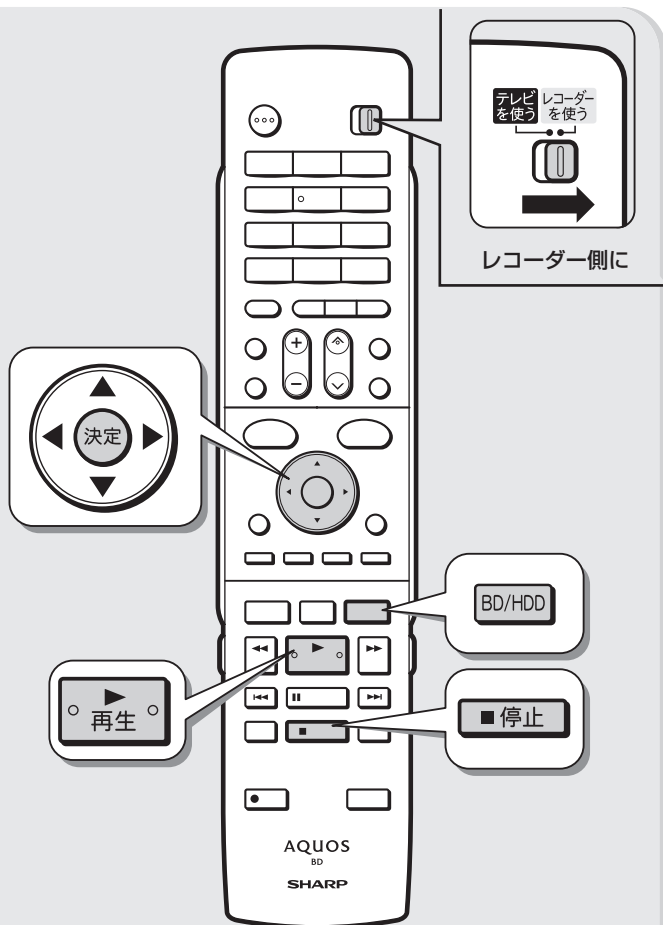
音声を聞きやすくする（ダイナミックボリューム） AUDYSSEY DYNAMIC VOLUME

再生や放送視聴時の音量の変化を少なくする機能です。爆発音などの大きな音は小さく、会話などの小さな音は大きくします。録画中は、動作しません。

1 ダイナミックボリュームボタンを押します

⇨ 押すたびに、次のように切り換わります。

お知らせ

次のような場合、ダイナミックボリュームボタンを押しても音声は変わりません。
・BD ビデオの 192kHz の音声を再生しているとき
・光／同軸デジタル音声出力からの音声を再生しているとき
・HDMI のビットストリーム出力で音声を再生しているとき

確認 基本 視聴 録画・予約 再生・消去 編集 ダビング 管理 ファミリンク 携帯電話・カメラ 接続・設定 基本設定 各種設定 困ったときは

- デジタル音声入力端子付きのオーディオ機器などと光または同軸音声出力端子で接続し、ボーナスビューのクリック音などが出ないときは、「デジタル音声出力設定」－「光／同軸デジタル音声出力」－「ドルビーデジタル」または「DTS」を、「ビットストリーム」に設定し、「する」を選んで決定しクリック音などの設定をしてください。（→ **281** ページ）

BONUS VIEW™、BD-LIVE について

BD ビデオには、BONUS VIEW ™（ボーナスビュー）や BD-LIVE（BD ライブ）という新しい再生機能に対応したものがあります。
BONUS VIEW ™（ボーナスビュー）：2 画面に対応した副映像、副音声や、字幕が同時に楽しめます。本編再生中の画面に小画面で表示されます。
BD-LIVE（BD ライブ）：本機をインターネットに接続して特典映像などのさまざまな情報をダウンロードすることができます。

- BD ビデオに記録されているデータやダウンロードしたデータは、本機に内蔵の HDD（ハードディスク）に保存されます。

BONUS VIEW™対応の BD ビデオを楽しむ

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販のBDビデオ 市販のDVDビデオ 音楽用CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

1 テレビと本機の準備をします 36 ページ

2 BD ビデオをセットします 30 ページ

- BD ビデオをセットすると、自動的に BD/DVD モードに切り換わり、再生が始まります。

3 自動的に再生が始まらないときは、再生を始めます 103 ページ

主映像／音声　　副映像／音声

- ディスクによっては、副映像／音声が自動的に再生されます。また、再生可能な領域が制限されることがあります。
- 再生方法はディスクによって異なります。
- 再生するディスクに必要なメモリー容量やコピー、再生の手順は、ディスクの説明書をご覧ください。

BD-LIVE 対応の BD ビデオを楽しむ

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販のBDビデオ 市販のDVDビデオ 音楽用CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

1 ネットワークの接続 268 ページ と設定 270 ページ をします

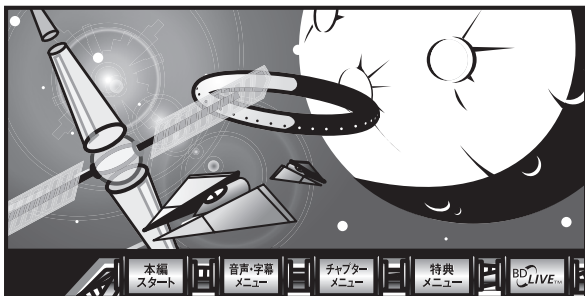
2 テレビと本機の準備をします 36 ページ

3 BD ビデオをセットします 30 ページ

- BD ビデオをセットすると、自動的に BD/DVD モードに切り換わり、再生が始まります。

4 自動的に再生が始まらないときは、再生を始めます 103 ページ

5 ディスクの取扱説明書に従い、BD-LIVE（BD ライブ）の操作をします

画面は一例です

- BD-LIVE（BD ライブ）でダウンロードされた映像情報などは、HDD（ハードディスク）に保存されます。HDD（ハードディスク）から再生するときは、ダウンロード時に視聴していたディスクを本機にセットしてください。別のディスクをセットすると、HDD（ハードディスク）に保存された情報は再生できません。
- データが HDD（ハードディスク）に保存されるまで一定の時間がかかります。（データが保存されるまでの時間は、インターネット接続速度や番組のデータ量により、変わります。）

お知らせ

HDD（ハードディスク）に保存されたデータは消去できます。

- BD-LIVE（BD ライブ）でダウンロードした情報は、不要になれば消去することができます。「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「個人情報初期化」の、「BD ビデオ用データ初期化」で初期化をしてください。

HDD（ハードディスク）の容量が足りないときは

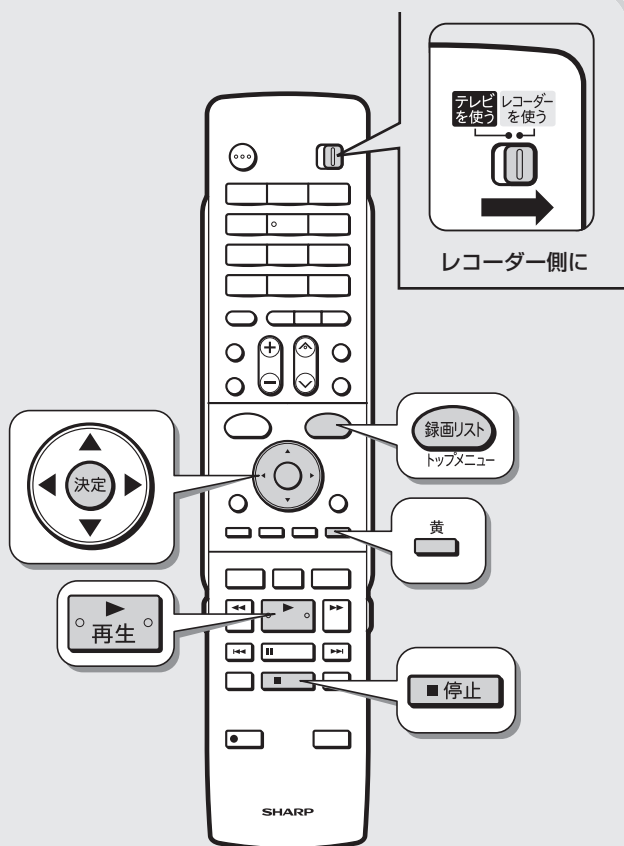
- データが保存されません。画面にメッセージが表示されます。不要なデータを削除してください。

BD-LIVE（BD ライブ）を楽しむためのソフトを更新できます。

- BD-LIVE（BD ライブ）機能は、専用のソフトを使用しています。BD-LIVE（BD ライブ）に接続すると、ソフトを最新のものに更新できます。

- BD-LIVE（BD ライブ）で楽しむために、ブロードバンドサービスに接続してお使いになることをおすすめします。
- BD-LIVE（BD ライブ）で映像などの情報を HDD（ハードディスク）に保存中は、再生の操作が制限されることがあります。
- BD-LIVE（BD ライブ）は、自動的にインターネットに接続し、楽しむ機能です。BD-LIVE（BD ライブ）対応のディスクが、本機やディスクの識別信号（ID）をインターネット経由でコンテンツプロバイダに送信することがあります。
- 本機は、自動的にインターネットに接続しないように設定することができます。設定のしかたについては、**284** ページをご覧ください。

停止した場所からつづけて再生する（つづき再生）

前回停止したところから、つづきを再生できます。

ご注意

・市販の BD ビデオ、DVD ビデオ、BD-RE/-R、ファイナライズしたビデオフォーマットの DVD-RW/-R と音楽用 CD のつづき再生は、ディスクを取り出す、ディスクの切り換え操作をする、電源を切る、などの操作を行うと働かなくなります。
・その他、ディスクや再生状態によっては、つづき再生が働かない場合があります。

再生ボタンでつづき再生するには

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販の BD ビデオ 市販の DVD ビデオ 音楽用 CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

・再生を停止した後で［再生］を押したり、録画リストから選んで再生すると、つづきを再生できます。

はじめから再生するには

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販の BD ビデオ 市販の DVD ビデオ 音楽用 CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

・［再生］を押すとつづき再生になる場合でも、「機能メニュー」 を使って、はじめから再生できます。

1 録画リストで再生したいタイトルを選びます

2 機能メニューを選びます

⇨ 機能メニュー表示

3 「再生」を選んで決定します

4 「最初から」を選んで決定します

⇨ 選んだタイトルが最初から再生されます。

BD ビデオや DVD ビデオ、音楽用 CD などの場合

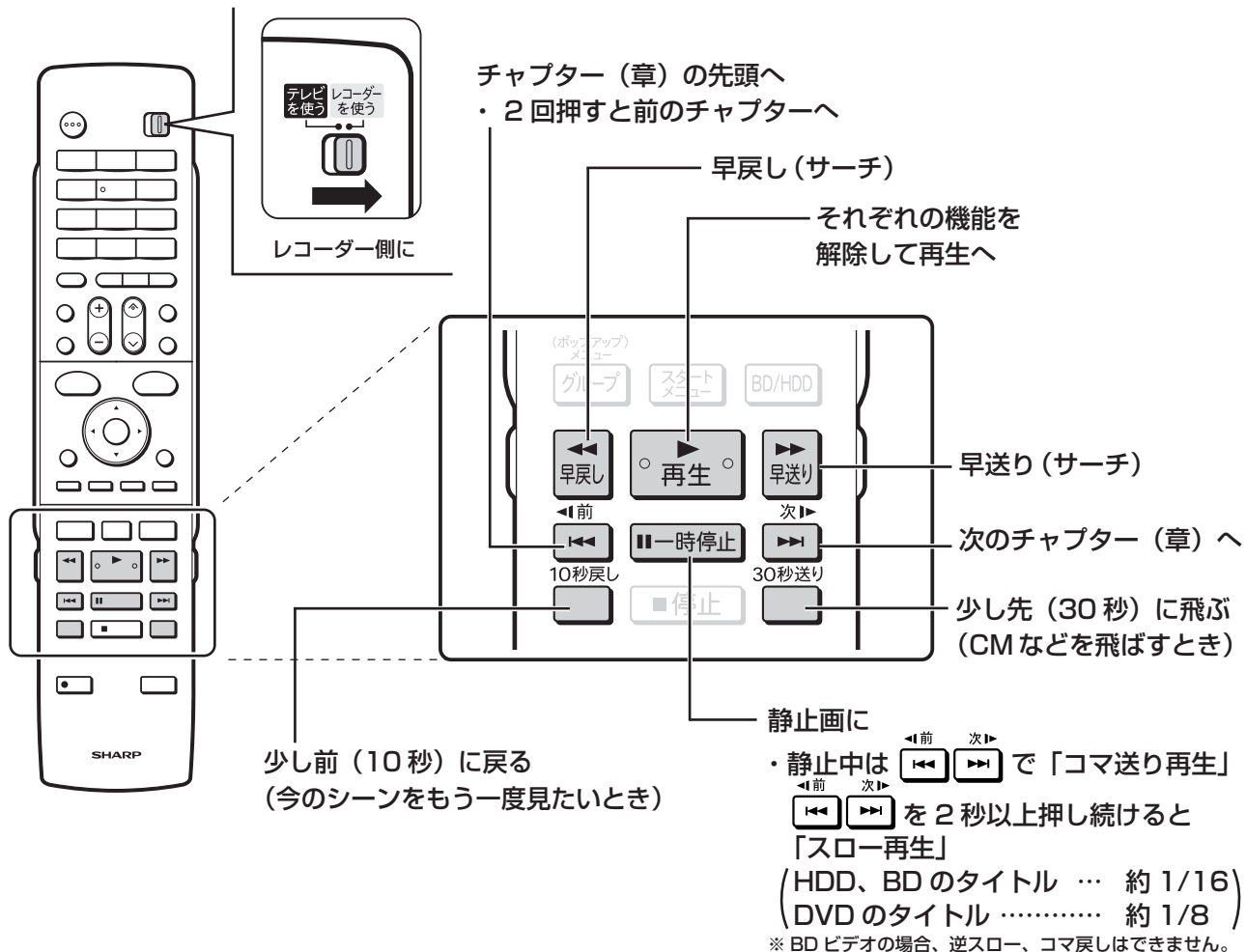
HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販の BD ビデオ 市販の DVD ビデオ 音楽用 CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

・［■停止］を 2 回押して停止した後、 を押すと、はじめから再生されます。

再生をしながら使えるボタン

ディスクの再生中に使えるいろいろな機能です。

各ボタンのおもなはたらき

静止画に
・静止中は ⏮ ⏭ で「コマ送り再生」
⏮ ⏭ を 2 秒以上押し続けると「スロー再生」
（HDD、BD のタイトル … 約 1/16
DVD のタイトル ………… 約 1/8）
※ BD ビデオの場合、逆スロー、コマ戻しはできません。

ご注意

・各機能は、ディスクによって操作が異なったり、禁止されている場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。

お知らせ

音楽用 CD の再生では、次の操作ができません。
・スロー再生／逆スロー再生・コマ送り／コマ戻し

早送り／早戻しについて
・早送り／早戻し中は、字幕は再生されません。
・ディスクや再生しているシーンによっては、早送りをしたとき、本書に記載のスピードにならない場合があります。

スロー再生について
・タイトルの最後になると、スロー再生が解除されます。

静止画再生 / コマ送り再生について
・VR フォーマットの DVD-RW/-R 以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。
※ BD ビデオや DVD ビデオでは、ディスクによって静止画再生／コマ送り再生の操作が禁止されているものもあります。
※ BD ビデオの場合、逆スロー、コマ戻しはできません。

マルチビューサービス放送などを HDD（ハードディスク）に録画して再生する場合は
・主映像以外の映像を再生した場合、連動データ放送が視聴できない、字幕などが表示できないなどの制限が出る場合があります。また、スロー再生などの特殊な再生はできません。このような制限が出る場合は、主映像でお楽しみください。

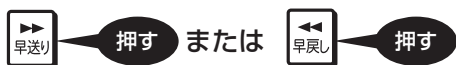
以下のときは、「故障かな？と思ったら」（→ 305 ページ）をご覧ください。
・早送り／早戻しがうまくいかないとき
・スキップ（⏮ ⏭）が働かないとき
・静止画再生／コマ送り（戻し）再生がうまくいかないとき
・スロー再生がうまくいかないとき

早送り / 早戻しするには（サーチ）

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販のBDビデオ 市販のDVDビデオ 音楽用CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

再生中の映像を早送り／早戻しして見ることができます。

• DVD-RW/-R ディスクの再生時に ▶▶1（早送り 1）にすると、早見・早聞き視聴が楽しめます。

1 再生中に

⇨ 押すたびに次のようにサーチの速さが変わります。

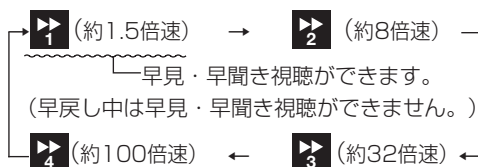
HDD（ハードディスク）または BD に録画（ダビング）した番組を再生しているとき

▶▶1（約2倍速） → ▶▶2（約10倍速） → ▶▶3（約30倍速） → ▶▶4（約100倍速） → ▶▶1
（早見・早聞き視聴はできません。）

DVD ディスクを再生しているとき

▶▶1（約1.5倍速） → ▶▶2（約8倍速） → ▶▶3（約32倍速） → ▶▶4（約100倍速） → ▶▶1
└早見・早聞き視聴ができます。
（早戻し中は早見・早聞き視聴ができません。）

音楽用 CD を再生しているとき

▶▶1（約2倍速）→ ▶▶2（約8倍速）→ ▶▶1

2 サーチを解除するときは

⇨ サーチが解除され、再生画面に戻ります。

• タイトルをまたぐサーチはできません。
• HDD（ハードディスク）の場合は、タイトルの最後までサーチすると、再生が停止します。

お知らせ

・ディスクの種類や記録状態によっては、記載のスピードにならない場合があります。

チャプター（章）の頭出しをするには（スキップ）

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販のBDビデオ 市販のDVDビデオ 音楽用CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

チャプター（章）やトラック（曲）などを飛ばして頭出しができます。

1 再生中に

• [次 ▶▶|] を押すと、次のチャプター（トラック）を頭出しします。
  [前 |◀◀] を押すと、いま見ているチャプター（トラック）の先頭に戻ります。2 回続けて押すと、前のチャプター（トラック）の先頭に戻ります。
• HDD（ハードディスク）の場合は、タイトルをまたぐ頭出しができません。最後のチャプター（トラック）まで進むと、画面に END が表示され、静止画になり、放送視聴の画面に戻ります。

静止画にするには（静止画再生）

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販のBDビデオ 市販のDVDビデオ 音楽用CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

静止画再生ができます。

1 再生中に

⇨ 静止画再生になります。

• 音楽用 CD を再生しているときは、一時停止の状態になります。

2 静止画再生を解除するときは

⇨ 静止画再生が解除され、再生画面に戻ります。

コマ送り / コマ戻しするには(コマ送り再生)

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販のBDビデオ 市販のDVDビデオ 音楽用CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

コマ送り再生できます。

1 静止画再生中に

- 次 を押すと、コマ送りされます。
- 前 を押すと、コマ戻しされます。

2 コマ送り／コマ戻し再生を解除するときは

⇨ コマ送り／コマ戻し再生が解除され、再生画面に戻ります。

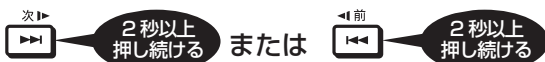
お知らせ

・ＢＤビデオの場合、コマ戻し再生は行えません。

スローモーションで見るには(スロー再生 / 逆スロー再生)

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販のBDビデオ 市販のDVDビデオ 音楽用CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

スローモーション再生できます。

1 静止画再生中に

- DVD のタイトルは約 1/8 倍速のスロー／逆スロー再生となります。
- HDD(ハードディスク）やBD のタイトルは、約 1/16 のスロー／逆スロー再生になります。

2 スロー再生を解除するときは

⇨ スロー再生が解除され、再生画面に戻ります。
- タイトルをまたぐスロー再生はできません。

お知らせ

・ＢＤビデオの場合、逆スロー再生は行えません。

少し先に飛ぶには（30 秒送り）

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販のBDビデオ 市販のDVDビデオ 音楽用CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

約 30 秒先に送ることができます。
連続して押すと、さらに先へ送ることができます。
•コマーシャルを飛ばして見たいときなどに便利です。
•連続押しは、6 回までできます。

1 再生中に

少し前に戻すには（10 秒戻し）

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販のBDビデオ 市販のDVDビデオ 音楽用CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

約 10 秒前に戻すことができます。
- ちょっと見のがしたところを見直すときなどに便利です。
- 連続押しは、6 回までできます。

1 再生中に

再生中に音声（二重音声など）や字幕を切り換える

再生中に音声や字幕、主音声や副音声を切り換えることができます。

視聴メニューでの切り換え操作については、**114**ページをご覧ください。

ご注意

- 次のような場合は、二ヶ国語放送など二重音声の番組を録画しても、音声切換ができません。（DVD ディスクの場合、「録画機能設定」の「二ヶ国語音声設定」（→ **278** ページ）で設定されている音声のみがダビングされています。）
  - ビデオフォーマットの DVD-RW/-R ディスク
  - PCM 音声を記録した DVD-RW/-R ディスク

お知らせ

マルチビューサービス放送などを HDD（ハードディスク）に録画して再生する場合は
- 主映像以外の映像を再生した場合、連動データ放送が視聴できない、字幕などが表示できないなどの制限が出る場合があります。また、スロー再生などの特殊な再生はできません。このような制限が出る場合は、主映像でお楽しみください。

BD にダビングしたタイトルの再生について
- 「DR」以外の録画画質で BD へダビングしたタイトルは、映像の切り換え操作ができません。

メ モ

各機能の切り換えについて
- 字幕、アングル（主映像／副映像）、音声は、ディスクによっては、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。

アングル表示を出したいとき
- アングルが記録されているシーンで、アングルマークを表示するように設定できます。
- 「スタートメニュー」－「各種設定」－「機能切換」－「BD/DVD 再生設定」－「アングルマーク表示」（→ **284** ページ）で設定します。

主音声と副音声を切り換えるには

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販のBDビデオ 市販のDVDビデオ 音楽用CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

1 主・副音声のあるタイトル再生中に

音声（ふた内） 押す ⇨ 押すたびに音声が切り換わります。

音声表示の例

音声 副 英語

押すたびに次のように切り換わります。

二ヶ国語（二重音声）放送を録画した場合：
・「主」、「副」、または「主　副」表示となります。

「ステレオ放送」「モノラル放送」を録画した場合：
・「ステレオ」表示となります。（音声切換はできません。）

BD ビデオ／ DVD ビデオ：
・現在再生されている音声番号、音声フォーマットが表示されます。（音声フォーマットは、ソフトによっては表示されない場合もあります。）

音楽用 CD：
・「L」→「R」→「L ＋ R」

・音声の表示は、約 3 秒後に消えます。

字幕を切り換えるには

1 字幕のあるタイトル再生中に

字幕（ふた内） 押す ⇨ 押すたびに字幕が切り換わります。

字幕表示の例

字幕 主 英語

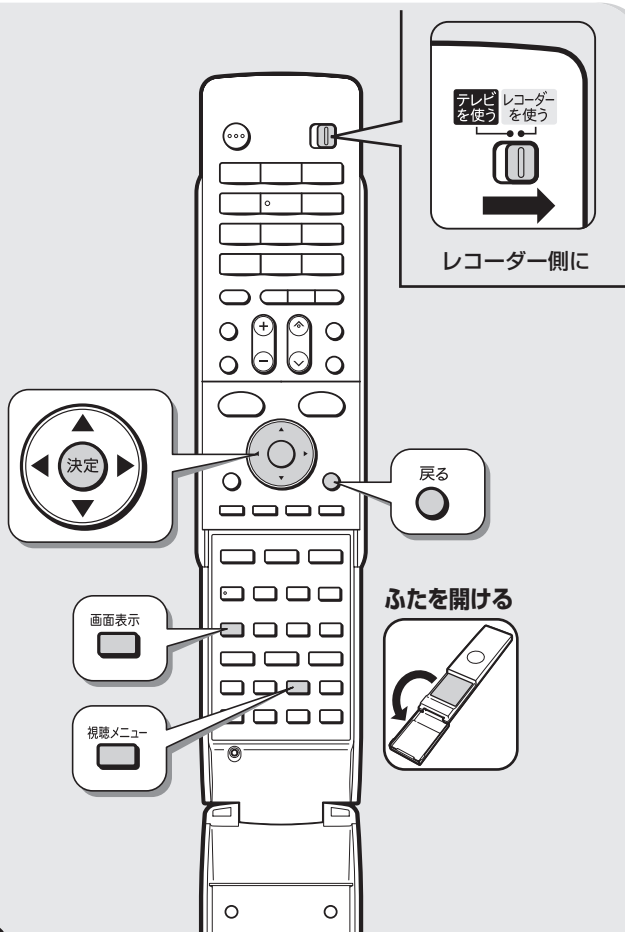
主映像と副映像（アングル）を切り換えるには

1 主・副映像のあるタイトル再生中に

映像（ふた内） 押す ⇨ 押すたびに映像が切り換わります。

映像表示の例

くり返し再生する（リピート再生）

選んだタイトルやチャプター(章)をくり返しリピート再生できます。

ご注意

・ディスクによってはリピート再生が禁止されているものもあります。
・タイトルをまたぐ部分指定リピートはできません。
・マルチアングル部分では部分指定リピートはできません。
・BDビデオの場合、部分指定リピートは行えません。

お知らせ

・以下のボタンを押すと、リピートの状況を確認することができます。

（ふた内）

・くり返し再生しているタイトルやチャプターを停止させると、リピート再生は「切」になります。

1 くり返したいタイトル（トラック）またはチャプターを選んで再生します

2 視聴メニューを表示させます

（ふた内）

3 「⊆」→「入」を選んで決定します

4 リピート再生の種類を選んで決定します

⇨ リピート再生開始

・音楽CDの場合は､「再生中のディスク」または「再生中のトラック」を選びます。

再生中のタイトル	再生中のタイトルをくり返し再生
再生中のチャプター	再生中のチャプターをくり返し再生
部分を指定	下記参照

視聴メニューを消すには

（ふた内）

・リピート再生を解除するには、視聴メニューで「⊆」→「切」を選んでください。

特定の部分をくり返すには

1 上記の手順 4 で「部分を指定」を選んで決定します

2 開始点で

3 終了点で

⇨ 設定された範囲でリピート再生開始

・リピート再生を解除するには、視聴メニューで「⊆」→「切」を選んでください。

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販のBDビデオ 市販のDVDビデオ 音楽用CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

録画中の番組をはじめから見る（追いかけ再生）

HDD（ハードディスク）に録画中の番組をはじめから再生できます。

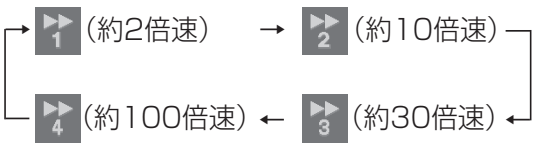
1 HDD（ハードディスク）録画中に

⇨ **録画中の番組をはじめから再生開始**

- 画面左上に緑色の再生マークが出ます。

- 追いかけ再生中に［早戻し］または［早送り］を押すたびに、次のように早戻し／早送り再生ができます。

HDD（ハードディスク）に放送を録画しているとき

▶▶1（約2倍速） → ▶▶2（約10倍速） → ▶▶3（約30倍速） → ▶▶4（約100倍速） → ▶▶1（約2倍速）

2 録画中の場面に戻るには

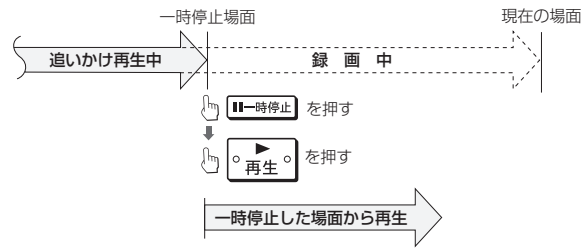
- 録画を停止するときは［録画停止］を押します。

メ モ

- 録画中に次のボタンを押しても追いかけ再生が楽しめます。

- 追いかけ再生中に録画禁止の映像になったときや録画が 12 時間以上続いたときは、追いかけ再生用の録画が停止します。続きの映像を見るときは、録画リストから「つづき再生」（→ **106** ページ）をしてください。
- 追いかけ再生中に早送りサーチをしたとき、現在放送されている場面（録画中の画面）の手前になると追いかけ再生が解除され、録画中の画面に戻ります。録画中の画面に戻るタイミングは、早送りサーチのスピードや録画画質により異なります。

追いかけ再生中に一時停止した場合

- 現在放送中の場面を追いかけながら見られます。

- 番組の途中にチャプターマークがある場合でも、最初から見られます。

ご注意

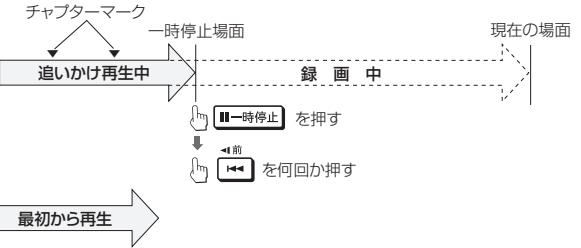
- 追いかけ再生が開始するまで、多少時間がかかることがあります。
- 番組によっては追いかけ再生ができない場合があります。

次のようなときは、追いかけ再生ができません。

- HDD（ハードディスク）にデジタル放送を「DR」（放送画質）、「2 倍」、「3 倍」、「5 倍」、「7 倍」、「HD ○○」 以外の録画画質で録画しているとき。
- HDD の残量が少ないとき。
- 裏録予約で録画中の番組。
- ダビング中。

お知らせ

- 追いかけ再生は、録画中の番組をはじめから見ることができる機能です。（録画は継続されます。）
  録画が終わるのを待たずに、録画をしながら、番組を最初から視聴できます。

現在の場面
録　画　中 → 録　画　継　続
［前］を押す
↓
最初から再生　番組の最初から再生が始まります。（録画は継続します。）

録画しながら他のタイトルを再生する（同時録画再生）

録画をしながらすでに録画されている別のタイトルの再生を行うことができます。

ご注意

- 通常録画（表録画）中は、BD ビデオの再生はできません。
- HDD（ハードディスク）にデジタル放送を「DR」（放送画質）、「2 倍」、「3 倍」、「5 倍」、「7 倍」、「HD ○○」以外の録画画質で録画しているときは、同時録画再生はできません。
- 再生中は、「DR」（放送画質）、「2 倍」、「3 倍」、「5 倍」、「7 倍」、「HD ○○」以外の録画画質の予約録画が開始されると再生は停止します。
- 6 倍速でダビング中に別のタイトルを再生すると、ダビングスピードが少し遅くなります。
- 録画画質変換ダビング中は、別タイトルを同時再生することはできません。
- 裏録以外は、BD ビデオは同時録画再生ができません。

お知らせ

- 同時録画再生を行っているとき、録画の状態によっては再生に影響が出る場合がありますが、録画は正常に行われます。
- 重ね録りで録画した番組を再生中に、重ね録り設定されている予約が始まったときは再生が停止し、重ね録りされます。

メ　モ

- 同時録画再生中に録画中の画面に戻すには再生を止めます。

HDD 録画中に BD-RE/-R/DVD/CD を再生するには

1 BD/DVD ディスク /CD をセットします

2 HDD 録画中に BD/HDD 押す

- BD/DVD モードになります。

3 録画リストを表示させます

・DVD ビデオソフト、CD の場合

4 録画リストで再生します 95 ページ

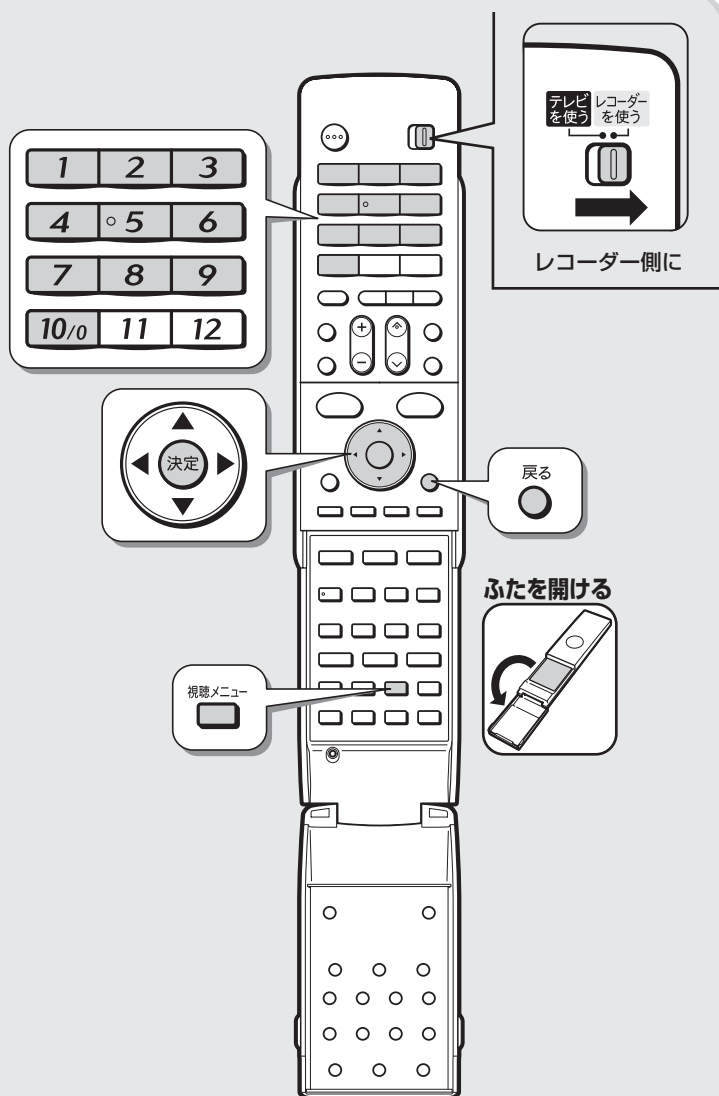
HDD 録画中に HDD の他のタイトルを再生するには

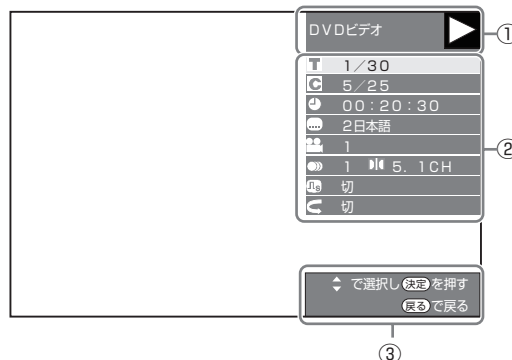
1 HDD 録画中に 録画リスト（トップメニュー） 押す

2 録画リストで再生します 95 ページ

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販のBDビデオ 市販のDVDビデオ 音楽用CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

再生中に設定をする（視聴メニュー）

再生しながら視聴メニュー画面でまとめて設定を行うことができます。

1 再生中に

2 設定項目を選んで決定します

DVD ビデオ再生時の例

① **再生状態表示**
動作状態やディスクの種類。

② **設定項目（115 ページ参照）**

③ **操作ガイド表示**

3 設定します

115ページ

・画面の「操作ガイド」に従って操作してください。

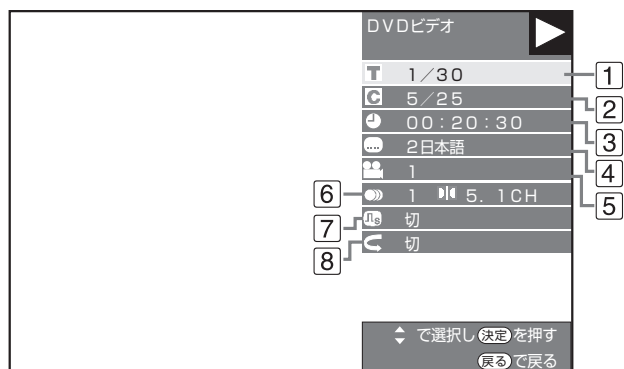
4 設定を終わるとき

ご注意

・BD ビデオや DVD ビデオ再生中に視聴メニュー画面にすると、BD ビデオや DVD ビデオ側の操作ができない場合があります。このような場合は視聴メニュー画面を消してください。

お知らせ

・市販のディスクによってはディスクメニューを使って機能を選択する場合や、視聴メニューでの機能が選択できないものがあります。ディスクの説明書をご覧ください。
・HDD（ハードディスク）に録画した番組または BD へダビングした番組で字幕の切り換えができるのは、デジタル放送を「DR」、「2倍」、「3倍」、「5倍」、「7 倍」、「HD ○○」画質で録画した場合だけです。（DVD へダビングした番組は字幕の切り換えはできません。）
・アングルや字幕などの表示が「－－」となる場合は、そのディスクに選択できるアングルや字幕が記録されていません。

■各設定項目について

- 再生しているディスクによって設定できる項目が異なります。
- 音楽用 CD の再生中は、**101** ページの画面になります。

1 タイトル（トラック）選択

- 再生中のタイトル番号（CD 再生中はトラック番号）が表示されます。番号を選択してタイトル（トラック）の頭出しができます。

2 チャプター選択

- 再生中のチャプター番号が表示されます。番号を選択してチャプターの頭出しができます。
- 音楽用 CD はチャプターがありません。

3 再生経過時間

- ディスクのはじめから現在までの経過時間が表示されます。時間を指定して頭出しができます。

①「時」「分」「秒」を選びます

② 時間を指定します

- リモコンの数字ボタン（ 1 〜 10/0 ）で時間を指定することもできます。

4 字幕言語切換

- 現在選ばれている字幕の種類が表示されます。
  他の言語でも字幕が収録されている場合は、お好みの言語に切り換えられます。

字幕を指定します

5 アングル番号／映像切換

- 現在選ばれているアングルの番号が表示されます。
  複数のアングルが収録されている映像の場合は、アングルを切り換えて楽しめます。
- 「アングルマーク表示」（→ **284** ページ）設定により、アングルが記録されているシーンで画面右下にアングルマーク「 」を表示させるように設定することができます。

映像を指定します

6 音声表示切換

- 現在選ばれている音声の種類が表示されます。
  吹き替え音声や二重音声が収録されている場合は、音声を切り換えて楽しめます。

音声を指定します

7 デジタルスーパーピクチャー入／切設定

- DVD の再生時に映像の細かな部分や輪郭を強調してくっきりとさせることができます。3 段階のレベルで設定できます。

①「入」を選びます

② レベルを設定します

- 「切」にするときは で「切」を選びます。
- 細かい映像などで、よりくっきりした映像を楽しみたいときは、 を押してシャープな映像に調整します。

8 リピート再生

- 再生中のタイトル（チャプター）を繰り返し再生したり、部分的に繰り返し再生することができます。（→ **111** ページ）
  ※ BD ビデオの場合、部分指定リピートは行えません。

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販のBDビデオ 市販のDVDビデオ 音楽用CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

タイトル（録画した番組）が誤って消されないようにする

間違って消さないよう、大切なタイトル（録画した番組）を保護できます。

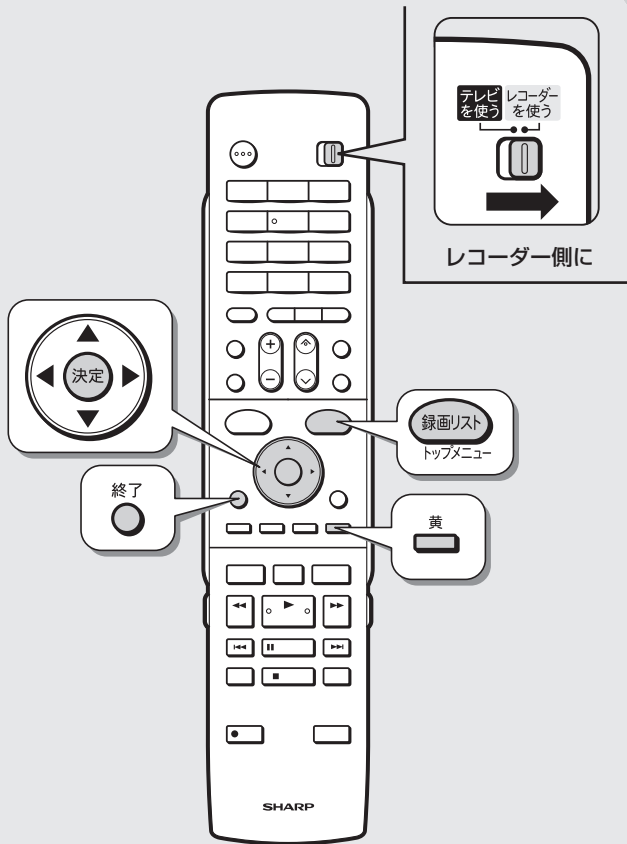
ご注意

- 次のタイトルを「保護する」に設定すると、そのタイトルはHDD（ハードディスク）からダビング（ムーブ）できなくなります。
  - 「1 回だけ録画可能」のタイトル
  - 「ダビング 10」で 9 回ダビングを終えたタイトル

お知らせ

- 予約録画時に予約の詳細設定で「消さないで」を設定したタイトルの保護設定は、録画終了後に手順 **6** で保護解除できます。

メモ

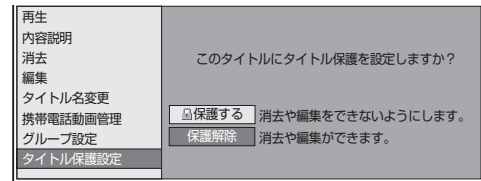
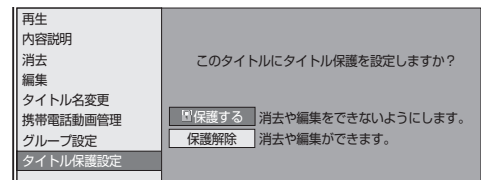
- タイトル保護を設定したタイトルには、録画リストを表示させたとき保護マーク「🔒」が付きます。

1 テレビと本機の準備をします

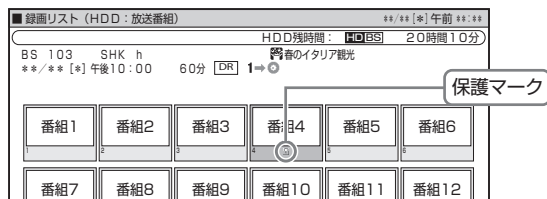
36 ページ

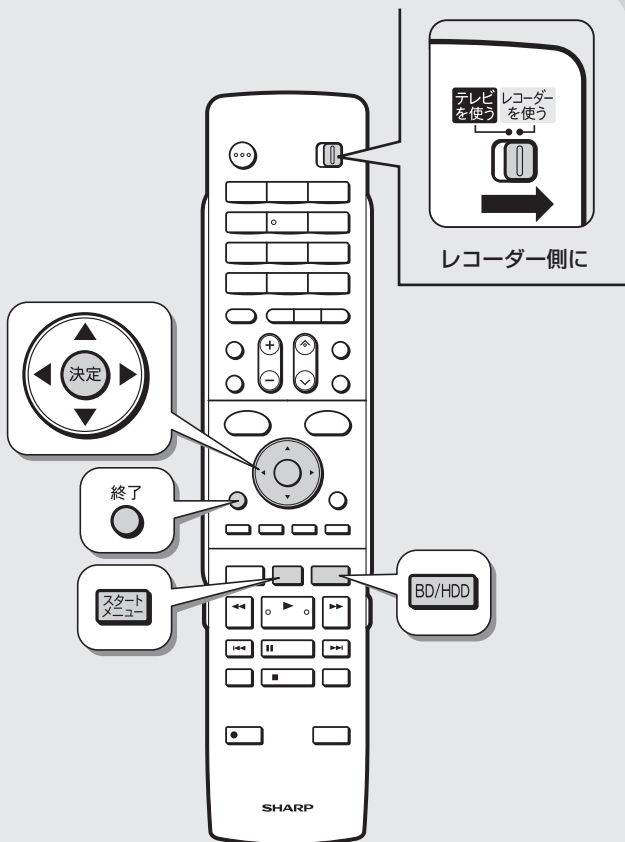
2 録画リストを表示させます

3 録画リストで保護したいタイトルを選びます

4 機能メニューを表示させます

5 「タイトル保護設定」を選んで決定します

6 「保護する」を選んで決定します

- 保護設定したタイトルを編集または消去したいときは、「保護解除」を選んで決定してください。

7 設定を終了します

ディスクに記録された内容が誤って消されないように設定をする

ディスクの録画内容を消さないよう、ディスク全体を保護できます。

・ビデオフォーマットのDVD-RW/-Rディスクはディスク保護設定ができません。

お知らせ

・VRフォーマットのDVD-Rディスクは、ファイナライズするとディスク保護や解除ができなくなります。

1 テレビと本機の準備をします

☞ 36 ページ

2 BD/DVD モードにします

・BD/HDD を押すと、HDD モードと BD/DVD モードが切り換わります。
・本体前面の BD/DVD ランプが点灯している状態で操作します。

3 保護したいディスクをセットします

30 ページ

4 スタートメニューを表示させます

5 「ディスク管理」を選んで決定し、「ディスク保護」を選んで決定します

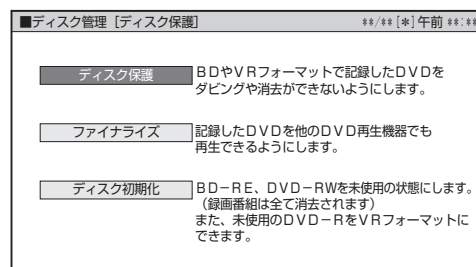
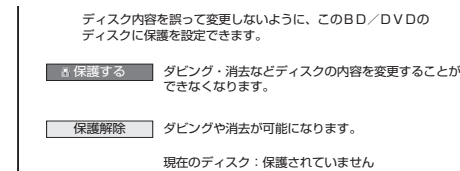
■ディスク管理［ディスク保護］ **/**［*］午前 **:**

ディスク保護	BDやVRフォーマットで記録したDVDをダビングや消去ができないようにします。
ファイナライズ	記録したDVDを他のDVD再生機器でも再生できるようにします。
ディスク初期化	BD−RE、DVD−RWを未使用の状態にします。（録画番組は全て消去されます）また、未使用のDVD−RをVRフォーマットにできます。

6 「保護する」を選んで決定します

ディスク内容を誤って変更しないように、このBD／DVDのディスクに保護を設定できます。

保護する	ダビング・消去などディスクの内容を変更することができなくなります。
保護解除	ダビングや消去が可能になります。

現在のディスク：保護されていません

・保護設定を解除してダビングやタイトル名変更を行いたいときは、「保護解除」を選んでください。

7 「確認」で決定します

8 設定を終了します

録画リストからタイトル（録画した番組）を選んで消去する

すでに見て不要なタイトル（録画した番組）あるいはチャプターを録画リストから消去することができます。

ご注意

- 消去したタイトルは復活できません。
- ビデオフォーマットの DVD-RW ディスクでは、タイトルを消去しても残量は増えません。ただし最後にダビングしたタイトルを消去した場合だけ残量が増えます。
- BD-R や DVD-R ディスクはタイトルを消去しても残量は増えません。

次のディスクはタイトルの消去ができません。

- ファイナライズを行ったビデオフォーマットの DVD-RW
- ファイナライズを行った DVD-R

お知らせ

- 保護されたタイトルは消去できません。保護されたタイトルを消去したい場合は、保護解除（→ **116** ページ）を行ってください。
- 複数のタイトルを一度に消去したい場合は、次ページをご覧ください。

1 テレビと本機の準備をします 36 ページ

2 消したいタイトルのある録画先を選びます

▶ HDD または BD/DVD を選ぶ

- BD や DVD の場合、ディスクをセット（→ **30** ページ）してください。

3 録画リストを表示させます

4 録画リストから消したいタイトルを選びます

番組1	番組2	番組3	番組4	番組5	番組6
番組7	番組8	番組9	番組10	番組11	番組12

- 選んだタイトルをチャプター単位で選ぶときは画面リストから

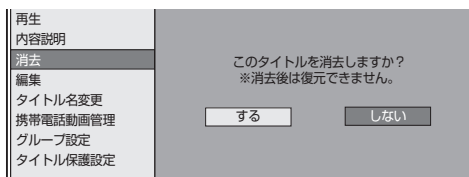
▶「チャプター単位」を選んで決定します。

お知らせ

- BD や DVD ディスクでは、チャプターの消去はできません。

5 機能メニューを表示させます

6 「消去」を選んで決定します

画面例（HDD）

- 表示される項目は HDD、B D、DVD で異なります。

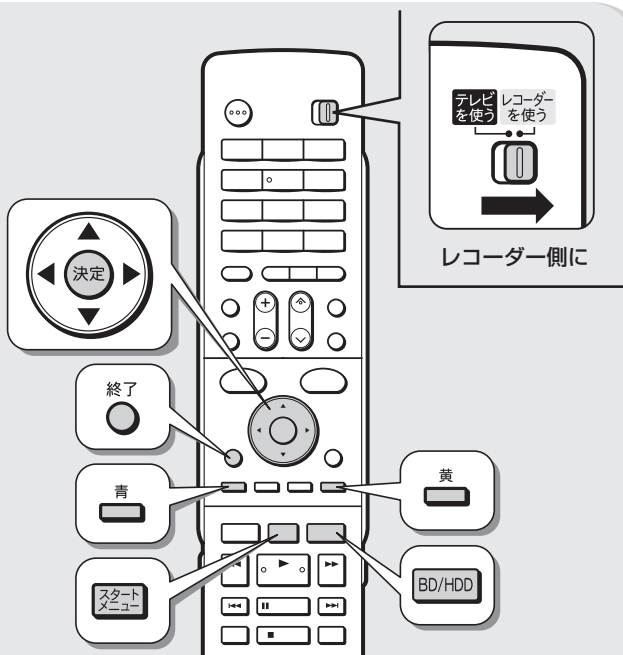
7 「する」を選んで決定します

⇨ 消去を実行して録画リストへ

8 設定を終了します

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販のBDビデオ 市販のDVDビデオ 音楽用CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

複数のタイトル（録画した番組）を選んで消去する

複数のタイトル（録画した番組）またはチャプターを選んで一度に消去することができます。

ご注意

・消去したタイトルは復活できません。
・ビデオフォーマットのDVD-RWディスクでは、タイトルを消去しても残量は増えません。ただし最後にダビングしたタイトルを消去した場合だけ残量が増えます。
・BD-RやDVD-Rディスクはタイトルを消去しても残量は増えません。
・BDやDVDディスクでは、チャプターの消去はできません。

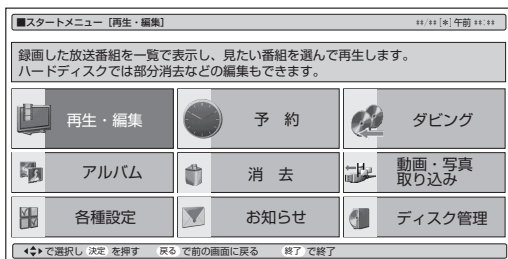
次のディスクはタイトルの消去ができません。
・ファイナライズを行ったビデオフォーマットのDVD-RW
・ファイナライズを行ったDVD-R

お知らせ

・保護されたタイトルは消去できません。保護されたタイトルを消去したい場合は、保護解除（→ **116** ページ）を行ってください。

1 テレビと本機の準備をします

☞ 36 ページ

2 スタートメニューを表示させます

3 「消去」を選んで決定し、「タイトル選択消去」を選んで決定します

4 消去を行うディスクを選んで決定します

5 消したいタイトルを選んで決定します

・「HDD」を選んだときに動画アルバムまたは放送番組を切り換えたいときは 青 ボタンを押して切り換えてください。

1つのタイトルを選んで消去する場合

複数のタイトルを一度に選んで消去する場合

①

・上記操作をくり返し、最大20タイトル（または20チャプター）まで選べます。

② 選び終わったら

番組1	番組2	番組3	番組4	番組5	番組6

・選んだタイトルに「🗑」マークが付きます。
・もう一度選ぶと、選択が解除されます。

・HDD（ハードディスク）の編集でチャプターを選ぶには

☞ 118ページ

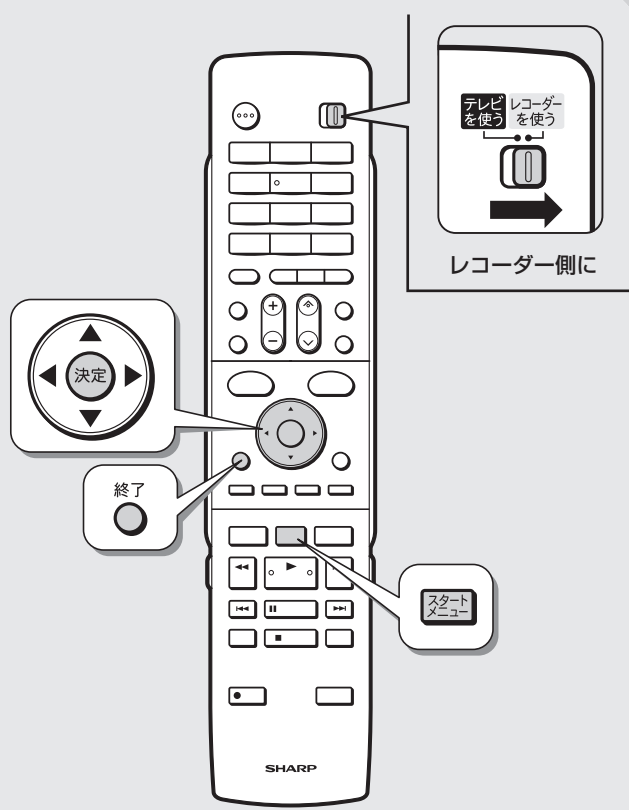
6 「する」を選んで決定します

⇨消去を実行して録画リストへ

・しない を選ぶと手順 5 の画面に戻ります。

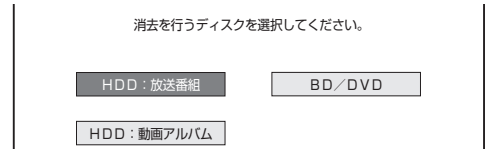
7 設定を終了します

タイトル（録画した番組）をすべて消去する

HDD（ハードディスク）やBD、DVDディスク内の全タイトルを消去します。

1 テレビと本機の準備をします 36ページ

2 スタートメニューを表示させます

3 「消去」を選んで決定し、「タイトル全消去」を選んで決定します

4 タイトルを全消去したいディスクを選んで決定します

5 「する」を選んで決定します

- 消去したタイトルは復活できません。

6 「確認」で決定します

- 消去確認が終わると、手順 4 に戻ります。

7 終了します

ご注意

- 消去したタイトルは復活できません。

次のディスクはタイトルの消去ができません。

- ファイナライズを行ったビデオフォーマットのDVD-RW
- ファイナライズを行ったDVD-R

お知らせ

- 保護されたタイトルは消去されません。保護されたタイトルも消去したい場合は、保護解除（→ **116** ページ）を行ってください。

編集のあらまし

HDD（ハードディスク）に録画した番組を編集できます。

録画した番組を編集する

録画した番組を「タイトル」と呼びます。タイトルを編集すると、編集後は録画した映像そのものが変化します。

編集後のタイトル

録画した映像が変化します
（録画した映像から「C」が消えます。）

いらないシーンを消したい
（コマーシャルを消すなど）

シーン（部分）消去

指定の場面で区切りたい
（頭出しをしやすくするなど）

チャプター（章）分割

場面をつなぎたい

チャプター（章）結合

画面リストの画面を変えたい
（録画リストに一覧表示される小画面を、お好みのシーンに変更できます。）

インデックス画面変更

重要

次のタイトルは、編集できません。

- タイトル保護（→ **116** ページ）を設定したタイトル
- ダビング予約を設定したタイトル
- 電波状態や停電などで録画が停止した番組は、正常に録画終了できていないため編集やダビングができません。そのような番組は録画リストを表示させたとき、「正常に録画できませんでした。」のメッセージを表示します。

本機でプレイリストを作ることはできません。

- 本機では、お気に入りのタイトルやシーンを集めたプレイリストを作ることができません。
- 他機でプレイリストを作ったディスクであれば、プレイリストの再生を楽しむことができます。ただし、プレイリストの編集はできません。

編集したあとに、次のようなことがあります。

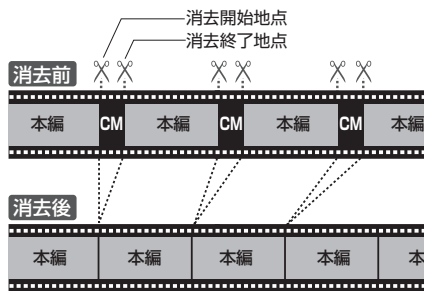
- チャプターマークの追加やシーン（部分）消去などの編集を行った場合、編集画面と実際に編集された画面では、多少のズレが発生する場合があります。

BD や DVD ディスクの編集には、制限があります。

- BD-RE、BD-R、DVD-RW、DVD-R ディスクは、タイトル名の変更のみ行えます。
- DVD-RW（ビデオフォーマット）、DVD-R ディスクはファイナライズを行うとタイトル名の変更ができなくなります。

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販のBDビデオ 市販のDVDビデオ 音楽用CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

必要のないシーン(CM など)を消去する(シーン消去)

コマーシャルなど、いらないシーンを消去します。

ご注意

- タイトル保護（→ **116** ページ）を設定したタイトルまたはダビング予約を設定したタイトルは編集できません。
- BD と DVD ディスクのタイトルは、シーン消去ができません。
- タイトルの先頭・最後を除き、3秒以内のシーンを消去することはできません。
- 消したシーンは復活できませんので、消す内容を確認し十分に注意して操作してください。
- 編集画面と実際に編集された画面では、多少のズレが発生する場合があります。
- 編集した映像のつなぎ目が 1 秒程度ずれたり、静止画となる場合があります。
- i.LINK 入力録画が始まると、編集が中断します。

お知らせ

- シーン消去は、1 タイトルあたり 50 回まで行えます。
- シーン消去ができない場合について詳しくは、「故障かな？と思ったら」（→ **306** ページ）をご覧ください。

1 テレビと本機の準備をします

36 ページ

2 HDD モードを選びます

- BD/HDD を押すと、HDD モードと BD/DVD モードが切り換わります。
- 本体前面の HDD ランプが点灯している状態で操作します。

3 録画リスト画面を表示させます

4 編集したいタイトル（録画した番組）を選びます

95 ページ

5 機能メニューを表示させます

6 「編集」を選んで決定します

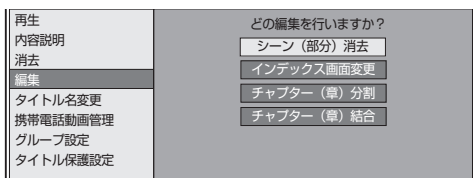
7 「シーン（部分）消去」を選んで決定します

8 再生を始めます

・シーンを探すときに便利なボタン

早戻し、早送り、10秒戻し、30秒送り／前または次／

（チャプター移動）

青（10 分戻し）／黄（10 分送り）

9 編集シーンの開始地点で一時停止させます

・早送り中、早戻し中は 再生 を押してから 一時停止 を押します。
開始地点がずれたときは、前（コマ戻し）または、次（コマ送り）を押して設定します。

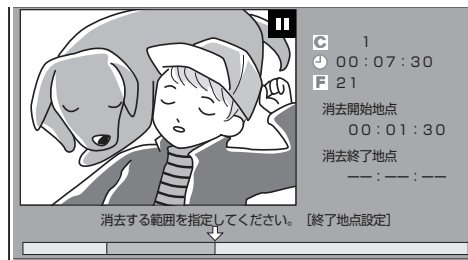
・一時停止状態のまま 次 または 前 を 2 秒以上押し続けると、スロー再生または逆スロー再生となります。

・細かく設定したい場合 127 ページ「メモ」

10 開始地点を決定します

編集開始線

・戻る を押すと選び直せます。

11 8 9 10と同様の操作で終了地点を選んで決定します

⇨ 再生中のタイトルが一時停止します。

・戻る を押すと選び直せます。

12 事前に編集結果を確認できます

13 「する」を選んで決定します

⇨ 指定範囲の消去実行

・「しない」を選ぶと終了地点を選び直せます。

14 「終了」を選んで決定します

⇨ 編集選択画面に戻る

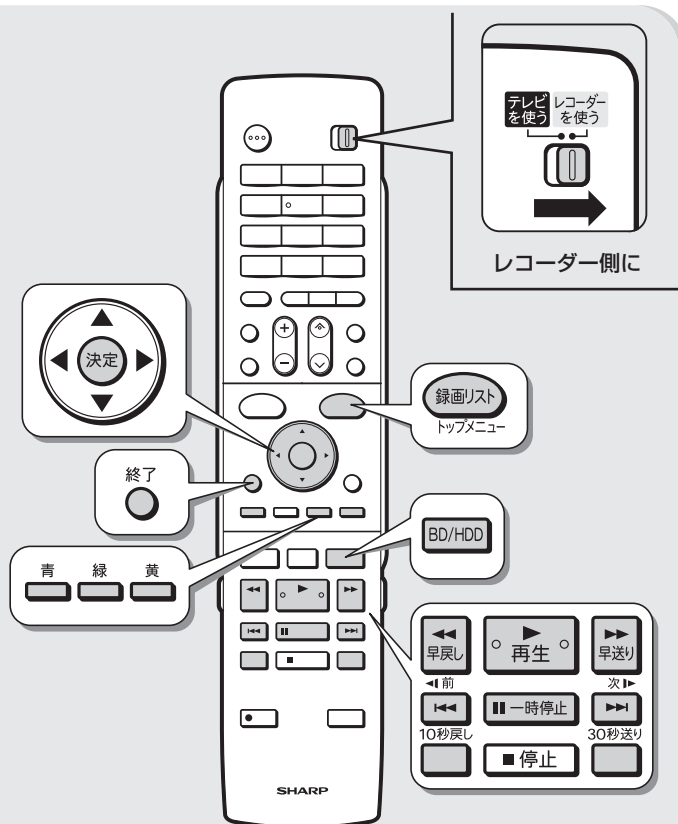
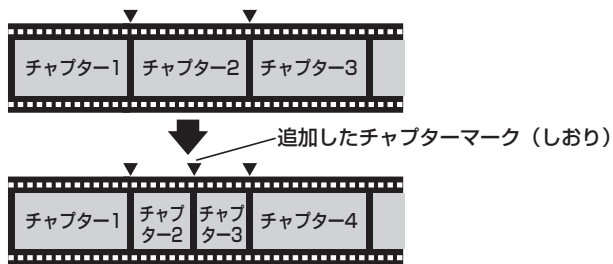
・同じタイトル内でさらに消去を行う場合は 継続 を選んでください。

15 編集を終了します

メモ

・「 緑 編集取消」が表示されているときは、緑 を押すと直前に行った操作が取り消せます。画面のメッセージに従って操作してください。
・編集範囲を細かく設定したい場合は、127 ページ「メモ」

タイトルを途中で区切る（チャプター分割）

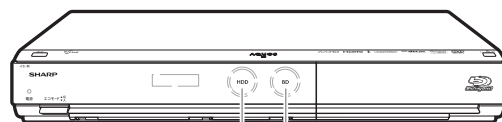
検索や編集に便利なようにチャプター(章)マークを追加して分割することができます。

お知らせ

- チャプター分割で追加されるチャプターマークは、再生・録画中に追加するチャプターマークと同じものです。
- チャプターとチャプターの間隔は 3 秒以上あけてください。3 秒以内の場合は分割できません。
- チャプター（章）分割ができない場合について詳しくは、「故障かな？と思ったら」（→ **306** ページ）をご覧ください。

1 テレビと本機の準備をします

36 ページ

2 HDD モードを選びます

- BD/HDD を押すと、HDD モードと BD/DVD モードが切り換わります。
- 本体前面の HDD ランプが点灯している状態で操作します。

HDDモード選択時に点灯します　BD/DVDモード選択時に点灯します

3 録画リスト画面を表示させます

4 編集したいタイトル（録画した番組）を選びます

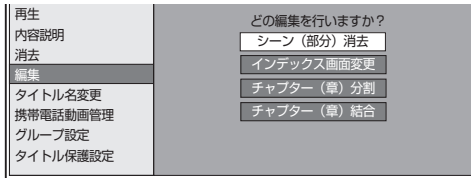
HDD のタイトルを選んでいるときの画面例

5 機能メニューを表示させます

6 「編集」を選んで決定します

HDD のタイトルを編集しているときの画面例

再生
内容説明
消去
編集
タイトル名変更
携帯電話動画管理
グループ設定
タイトル保護設定

どの編集を行いますか？
シーン（部分）消去
インデックス画面変更
チャプター（章）分割
チャプター（章）結合

7 「チャプター（章）分割」を選んで決定します

HDD のタイトルを編集しているときの画面例

再生
内容説明
消去
編集
タイトル名変更
携帯電話動画管理
グループ設定
タイトル保護設定

どの編集を行いますか？
シーン（部分）消去
インデックス画面変更
チャプター（章）分割
チャプター（章）結合

ご注意

- BD と DVD ディスクのタイトルは、チャプター分割ができません。
- 以下の数を超えてチャプターを追加することはできません。
  HDD(ハードディスク）に作成できるチャプターマークは、最大 4000 チャプターです。
- 編集画面と実際に編集された画面では、多少のズレが発生する場合があります。
- i.LINK 入力録画が始まると、編集が中断します。

メモ

- 「緑 編集取消」が表示されているときは、緑を押すと直前に行った操作が取り消せます。画面のメッセージに従って操作してください。
- この操作で行ったチャプター分割は、126 ページ「チャプター（章）をつなぐ」で取り消すことができます。
- 編集範囲を細かく設定したい場合は、127 ページ「メモ」

8 再生を始めます

・シーンを探すときに便利なボタン

（チャプター移動）

青（10 分戻し）／黄（10 分送り）

9 分割地点で一時停止させます

- 早送り中、早戻し中は 再生 を押してから 一時停止 を押します。
  開始地点がずれたときは、前（コマ戻し）または、次（コマ送り）を押して設定します。

10 チャプター分割を実行します

11 「終了」を選んで決定します

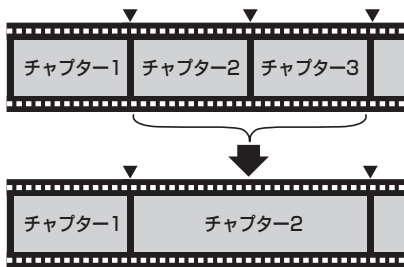
⇨ 編集選択画面に戻る

・同じタイトル内でさらにチャプター分割を行う場合は 継続 を選んでください。

12 編集を終了します

チャプター（章）をつなぐ（チャプター結合）

検索や編集に便利なように連続したチャプター（章）をつなぐことができます。

ご注意

- BD と DVD ディスクのタイトルは、チャプター結合ができません。
- タイトル保護（→ **116** ページ）を設定したタイトルまたはダビング予約を設定したタイトルは編集できません。
- HDD に録画したタイトルでも、シーン消去（→ **122** ページ）によって区切られたチャプターは結合できません。
- i.LINK 入力録画が始まると、編集が中断します。

お知らせ

- 結合できるチャプターは、録画・再生中にリモコンボタンによって分割したチャプター、オートチャプター設定（→ **278** ページ）によって分割したチャプター、チャプター（章）分割（→ **124** ページ）により分割したチャプターです。

メモ

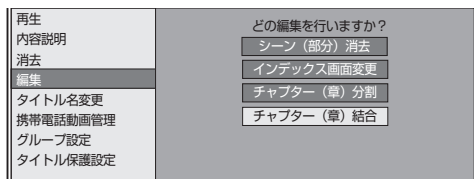
- 「緑 編集取消」が表示されているときは、緑を押すと直前に行った操作が取り消せます。画面のメッセージに従って操作してください。

1 122 ページの手順 1 ～ 6 を行います

2 「チャプター（章）結合」を選んで決定します

HDD のタイトルを編集しているときの画面例

再生
内容説明
消去
編集
タイトル名変更
携帯電話動画管理
グループ設定
タイトル保護設定

どの編集を行いますか？
シーン（部分）消去
インデックス画面変更
チャプター（章）分割
チャプター（章）結合

3 つなぎたいチャプターの 1 つ目を選んで決定します

4 同じように 2 つ目以降を選んで決定します（10 個まで）

- 選択したチャプターには、❶❷❸…と番号が付きます。
- キャンセルするときは、もう一度 黄 を押します。

5 チャプター結合を実行します

6 編集を終了します

画面リストを好みの画像に変える（インデックス画面変更）

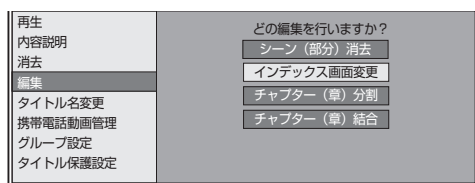
インデックス画面は録画リスト（画面リスト）に表示される小画面です。
タイトルの内容がわかりやすいように、インデックス画面を変更できます。

インデックス画面

- タイトル保護（→ 116 ページ）を設定したタイトルまたはダビング予約を設定したタイトルは編集できません。
- BD と DVD ディスクのタイトルは、インデックス画面を変更できません。
- インデックス画面を変更したタイトルをダビングしたときは、インデックス画面がズレてダビングされる場合があります。
- i.LINK 入力録画が始まると、編集が中断します。

- 「緑 編集取消」が表示されているときは、緑を押すと直前に行った操作が取り消せます。画面のメッセージに従って操作してください。
- 編集範囲を細かく設定したい場合は、右下の「メモ」

1 122 ページの手順 1 ～ 6 を行います

2 「インデックス画面変更」を選んで決定します

3 再生を始めます

・シーンを探すときに便利なボタン

（チャプター移動）

青（10 分戻し）／黄（10 分送り）

4 インデックス画面にしたいシーンで一時停止させます

- 早送り中、早戻し中は 再生 を押してから 一時停止 を押します。
  開始地点がずれたときは、前（コマ戻し）または、次（コマ送り）を押して設定します。
- 細かく設定したい場合 ☞ 下の「メモ」

5 インデックス画面を決定します

6 「終了」を選んで決定します

・シーンを選び直すときは 再設定 を選んでください。

7 編集を終了します

■編集範囲を細かく設定したい場合（コマ送り）

映像は 1 秒当たり 30 フレーム（コマ）で記録されています。より細かく設定したいときは、範囲指定時にコマ送りによってフレーム単位で開始地点、終了地点のシーンを選んでください。

①開始地点 / 終了地点の手前で 一時停止 を押す

②

次 または 前 を使ってコマ送り／コマ戻しでシーンを呼び出す
- 押すとコマ送りされます。
- 2 秒以上押すとスロー再生になります。

- チャプターの先頭付近に開始地点を指定しようとすると、先頭が開始地点に選ばれます。あるいは最後付近を終了地点に指定しようとすると最後が終了地点に選ばれます。

ダビングのあらまし

ダビングしてタイトル（録画した番組）を残すことができます。操作をする前にお読みください。

・あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
・本機以外で録画したディスクはダビングできない場合があります。
・本機では BD や AVCHD 記録方式以外の DVD ディスクから HDD（ハードディスク）へのダビングはできません。

ダビング操作の種類

ダビングできるディスクについては⇒136、290 ～ 293 ページ

HDD(ハードディスク)から BD／DVDディスクに、かんたんな操作でダビングしたい

・HDD（ハードディスク）に録画した番組を、BD や DVD ディスクにダビングできます。
・タイトルの録画画質・ディスクの種類・フォーマットによって、実行できるダビングは異なります。

ダビング予約について
・指定した時刻にダビングを開始できます。就寝中など、本機を使わない時間にダビングを済ませられます。
（ダビング予約→**156** ページ）

タイトル名の変更について
・録画した番組のタイトル名を、ご自分がわかりやすい名前に変更できます。
（タイトル名変更→**158** ページ）

「録画可能」のタイトル	高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
HDD（ハードディスク）→ダビング→BD	○	○	136
HDD（ハードディスク）→ダビング→DVD VRフォーマット	×	○	136
HDD（ハードディスク）→ダビング→DVD ビデオフォーマット	×	○	136

「1 回だけ録画可能」または「ダビング 10」のタイトル	高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
HDD（ハードディスク）→ダビング→BD	○	○	136
HDD（ハードディスク）→ダビング→CPRM対応 DVD VRフォーマット	×	○	136
HDD（ハードディスク）→×ダビングできません→DVD ビデオフォーマット	×	×	－

携帯電話に、携帯用の動画(番組)をダビング(転送)したい

・HDD（ハードディスク）に録画した携帯用の動画（番組）を、携帯電話にダビング（転送）できます。
・好きなときに好きな場所で、携帯電話にダビングした動画を楽しめます。
・携帯電話にダビングできるのは、デジタル放送の番組だけです。

USB 接続で、ダビング（転送）	高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
HDD（ハードディスク）携帯用動画→ダビング※→携帯電話※（携帯電話転送に対応したシャープ製の携帯電話）	○	×	195

HDD(ハードディスク)には、録画した番組のオリジナルデータと転送用のデータが別々に保存されます。

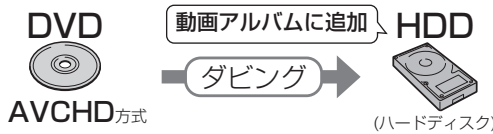
※ **将来発売されるシャープ製携帯電話と接続して使用するための機能です。この機能は、将来ソフトウェアのアップデートを行うまで表示されません。**
この機能は、将来ソフトウェアのアップデートを行うことで、ご使用いただけます。将来デジタル放送のダウンロードによるアップデートサービスを行うことが決定しましたら、シャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd）にてご案内いたします。（2009 年 2 月現在）

AVCHD 方式の映像をダビングしたい

- USB 端子のある AVCHD 方式のデジタルビデオカメラ※から、HDD（ハードディスク）にダビングできます。
- AVCHD 方式のデジタルビデオカメラで撮影した DVD ディスクから、HDD(ハードディスク)にダビングできます。
- ダビングした映像を、本機で編集して､BD や DVD に残せます。

※接続動作の確認を行ったビデオカメラの機種は、シャープサポートホームページ(http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd) でご確認ください。

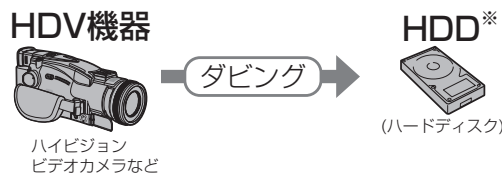
USB 接続で、ダビング（取り込み）	高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
デジタルビデオカメラ※（AVCHD方式）→ 動画アルバムに追加 ダビング → HDD（ハードディスク）	○	×	187

撮影した DVD ディスクから、ダビング（取り込み）	高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
DVD（AVCHD方式）→ 動画アルバムに追加 ダビング → HDD（ハードディスク）	○	×	142

動画アルバムの映像を、ダビング	高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
HDD（ハードディスク）動画アルバム → ダビング → BD/DVD	○（BD のみ）	○	144

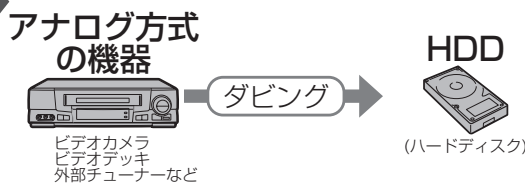
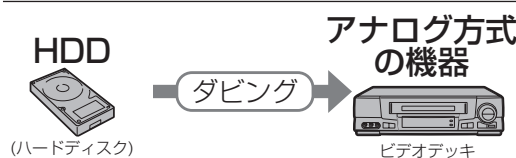
i.LINK 機器と接続してダビングしたい

- HDD（ハードディスク）に録画した番組を、i.LINK 機器にダビングできます。
- シャープ製のハイビジョンレコーダー・BD レコーダーと i.LINK(TS)接続して、HDD(ハードディスク)にダビングできます。
- HDV 機器（ハイビジョンビデオカメラなど）から HDD（ハードディスク）にダビングできます。

※動画アルバムにダビングされます。

i.LINK（TS）接続で、ダビング	高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
HDD（ハードディスク）放送番組 → ダビング → i.LINK機器（シャープ製の BDプレーヤー BDレコーダー）	×	○ 録画画質「DR」のみ	147
i.LINK機器（シャープ製の ハイビジョンレコーダー BDレコーダー）→ ダビング → HDD（ハードディスク）	×	○ 録画画質「DR」のみ	149
HDV機器（ハイビジョン ビデオカメラなど）→ ダビング → HDD※（ハードディスク）	×	○ 録画画質「DR」のみ	150

アナログ方式の機器からダビングしたい

- アナログ方式の、ビデオカメラ・ビデオデッキ・外部チューナーなどの映像を HDD（ハードディスク）にダビングできます。
- HDD（ハードディスク）に録画した番組を、アナログ方式のビデオデッキにダビングできます。

「入力 1」または「入力 2」に接続して、ダビング	高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
アナログ方式の機器（ビデオカメラ ビデオデッキ 外部チューナーなど）→ ダビング → HDD（ハードディスク）	×	○	152
HDD（ハードディスク）→ ダビング → アナログ方式の機器（ビデオデッキ）	×	○ アナログ機器によります。	154

ダビング用として購入する（使用できる）ディスク

ダビングには、下記の BD-RE、BD-R、DVD-RW、DVD-R ディスクをお使いください。

BD（ブルーレイディスク）（SL/1 層・DL/2 層）

- HDDに録画した番組をダビングできます。（BD にデジタル放送を直接録画することはできません。）
- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「**録画用**」の表記があるディスクをご使用ください。

BD-RE（12cm盤）

ビーディー･アールイー
Ver.2.1 SL（片面1層）
Ver.2.1 DL（片面2層）

消せない
ディスクです。

BD-R（12cm盤）

ビーディー･アール
Ver.1.1/1.2/1.3※ SL（片面1層）
Ver.1.2 LTH TYPE
Ver.1.1/1.2/1.3※ DL（片面2層）

※本機では、BD-R Ver.1.3 LTH TYPE はご使用になれません。2009 年 2 月現在は発売されておりません。

お知らせ

・カートリッジ付きのディスクは使えません。

BD へのダビング可能時間（25GB）

（詳しくは、**55** ～ **59** ページをご覧ください。）

録画画質	ダビング可能時間
DR	約 2 時間 10 分（BS ハイビジョン放送）
2 倍	約 4 時間 20 分
3 倍	約 6 時間 30 分
5 倍	約 10 時間 50 分
7 倍	約 15 時間 10 分

DVD ディスク

- HDDに録画した番組をダビングできます。（DVD ディスクにデジタル放送を直接録画することはできません。）
- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「**録画用**」の表記があるディスクをご使用ください。

DVD-RW

ディーブイディー･
マイナス･アールダブリュー
Ver.1.1 CPRM対応（VRフォーマット）
Ver.1.2 CPRM対応（VRフォーマット）

DVD-R

ディーブイディー･
マイナス･アール
Ver.2.0 CPRM対応（VRフォーマット）
Ver.2.1 CPRM対応（VRフォーマット）
DL Ver.3.0 CPRM対応（VRフォーマット）

お知らせ

- 「1 回だけ録画可能」または「ダビング 10」の番組を HDD（ハードディスク）から DVD にダビングするときは次のディスクをお使いください。
  - VR フォーマットの DVD-RW
    [Ver.1.1/1.1 以降（CPRM 対応）]
  - VR フォーマットの DVD-R
    [Ver.2.0/2.0 以降（CPRM 対応）]
- デジタル放送のダビングには、CPRM 対応のディスクが必要です。
  「CPRM」または「デジタル放送」のロゴマーク（デジタル放送など）が付いています。

DVD ディスクへのダビング可能時間

（詳しくは、**55** ～ **60** ページをご覧ください。）

録画画質	ダビング可能時間
XP	約 60 分
EP	約 360 分
MN01	約 480 分

ダビングに使えないDVD

- DVD+RW、DVD+R、DVD-RAMはダビングには使えません。
  DVDをご購入の前に必ずご確認ください。

DVD+RW
ディーブイディー･
プラス･アールダブリュー

DVD+R
ディーブイディー･
プラス･アール

DVD-RAM
ディーブイディー･
ラム

ダビングの種類とダビングにかかる時間

高速ダビング（きれいな画質のままでダビングできます）

・HDD（ハードディスク）から BD にダビングできます。
・ダビング元の録画画質を落とさずにダビングできます。
・元の映像よりも短い時間でダビングできます。

高速ダビングにかかる時間の目安

・右記の表は、BS デジタルハイビジョン（HD）1 時間番組を「BD-R Ver.1.3/6 倍速」に高速ダビングしたときの時間の目安です。

録画画質	2 倍速（静音モード）時		6 倍速（最高速モード）時	
	所要時間	倍速	所要時間	倍速
DR	約 22 分	約 3 倍速	約 8 分	約 7 倍速
2 倍	約 11 分	約 5 倍速	約 4 分	約 15 倍速
3 倍	約 8 分	約 8 倍速	約 3 分	約 20 倍速
5 倍	約 5 分	約 13 倍速	約 2 分	約 30 倍速
7 倍	約 3 分 30 秒	約 17 倍速	約 1 分 30 秒	約 40 倍速

お知らせ

・BD-R Ver.1.3/6x を使い 6 倍速（最高速モード）ダビング中に別タイトルを再生するとダビングスピードが少し遅くなります。
・BD-R Ver.1.3/6x を使い 6 倍速（最高速モード）ダビングを行ったとき、ディスクや番組の記録状態によっては上記の時間よりダビングにかかる時間が遅くなる場合があります。
・録画するときに設定した録画画質、番組の長さ、ディスクの種類によって、かかる時間が異なります。
・DVD へダビングしたときは高速ダビングは行えません。1 倍速となります。

録画画質変換ダビング（記録時間を優先してダビングできます）

・HDD（ハードディスク）から BD や DVD ディスクにダビングできます。
・長時間のタイトル（録画した番組）などを 1 枚のディスクに入れたいときにおすすめです。
・録画時間（録画画質）を変えてダビングできます。
・ハイビジョン画質で録画した番組を DR、2 倍、3 倍、5 倍、7 倍、HD10 ～ HD01 以外の録画画質で録画画質変換ダビングしたときは、標準画質となります。（ハイビジョン画質にはなりません。）
・画質の選択に迷ったときは、「**ジャストダビング**」がおすすめです。

録画画質変換ダビングにかかる時間

・元の映像と同じ時間がかかります。

ジャストダビング（→ 138 ページ）

・BD や DVD へダビングするときに働く機能です。
・ディスクの残量を調べて録画画質を自動で設定します。

録画画質変換ダビングで選択できる録画画質

・HDD（ハードディスク）に録画した番組を録画画質変換ダビングするときは、HDD 内の番組の録画画質により、選択できる録画画質が変わります。

お知らせ

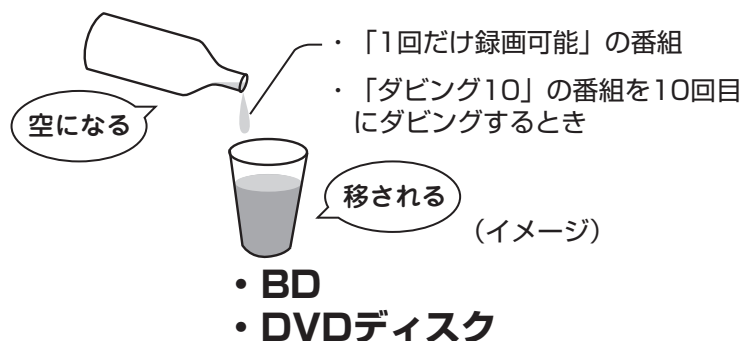
・HDD（ハードディスク）からビデオフォーマットの DVD-RW/-R ディスクに 16：9（ワイド）の番組をダビングすると、映像が縦長に見えることがあります。このようなときは、再生時にテレビ側の設定を変更してください。設定のしかたはテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
・「音声出力レベル」（→ **281** ページ）は「ノーマル」の状態でダビングされます。
・ダビング元の番組とダビング先の番組は、チャプターマークの位置が少しずれることがあります。
・元の映像より高画質にはなりません。

HDD 内の番組の録画画質			録画画質変換ダビングで選択できる録画画質
DR	⇒	BD へダビング	「DR」※以外の録画画質を選べます。
2 倍、3 倍、5 倍、7 倍、HD10 ～ HD01、AVCHD（H.264）	⇒	BD へダビング	SXP、XP、SP、LP、EP、MN68 ～ MN01 の録画画質が選べます。（HDD 内の番組の録画画質より高い画質を選択しても、元の映像より高画質にはなりません。）
SXP、XP、SP、LP、EP、MN68 ～ MN01	⇒	BD へダビング	SXP、XP、SP、LP、EP、MN68 ～ MN01 の録画画質が選べます。（HDD 内の番組の録画画質より高い画質を選択しても、元の映像より高画質にはなりません。）
すべての録画画質	⇒	DVD へダビング	XP、SP、LP、EP、MN65 ～ MN01 の録画画質が選べます。（HDD 内の番組の録画画質より高い画質を選択しても、元の映像より高画質にはなりません。）

録画画質と録画可能時間については、**58** ～ **60** ページをご覧ください。
※ HDD に 480p の信号を DR 録画したとき、HDV カメラから HDD に録画したときは、2 倍、3 倍、5 倍、7 倍、HD10 ～ HD01 の録画画質は選べません。

ダビングと移動（ムーブ）について

移動（ムーブ）について

・「1回だけ録画可能」の番組を本機のHDD（ハードディスク）からBD・DVDディスクやi.LINK機器、携帯電話へダビングしたとき、HDDのタイトルはBD・DVDディスクやi.LINK機器への移動（ムーブ）となり、HDDからは消去されます。「ダビング10」の番組を10回目にダビングしたときも移動（ムーブ）になります。

・移動（ムーブ）を途中で停止すると、停止したところまでがHDDから消去されます。再度ダビングを始めたときは、残りの部分が別タイトルとしてダビングされます。（ただし、中断した地点と再度ダビングを始めた部分は、多少ずれることがあります。）
・「1回だけ録画可能」または「ダビング10」の番組を本機で録画・ダビングしたDVDディスクは、CPRMに対応していないDVDプレーヤーでは再生できません。DVD-Rに録画・ダビングしたディスクを再生できるのは、DVD-R（VRフォーマット）に対応したDVDプレーヤーです。
・本機ではBDやDVDディスク（AVCHD記録方式のDVDディスクは除く）からHDD（ハードディスク）へのダビングはできません。

「ダビング 10」番組の、ダビングと移動（ムーブ）について

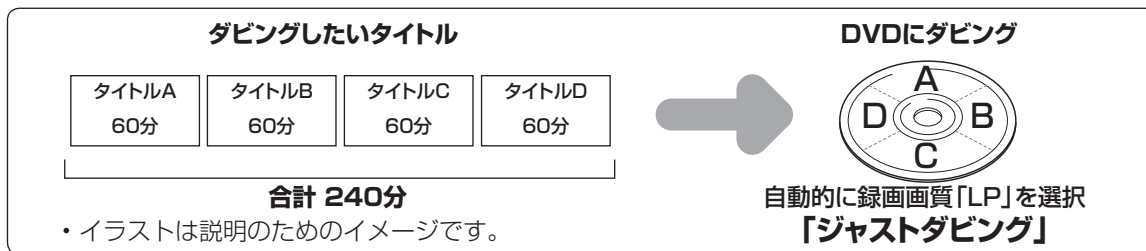
・本機のHDD（ハードディスク）に録画された「ダビング10」番組は、BDやDVDへ10回までのダビングが可能です。ただし、10回目は移動（ムーブ）となり、ダビングするとハードディスクから番組が消去されます。
・チャプターをダビングした場合、途中で停止したときなどでも1回のダビングとしてカウントされ、ダビング可能回数が1回減ります。
・「携帯電話転送」で携帯電話に転送したときも、ダビング可能回数が1回減ります。
・すべてのデジタル放送が「ダビング10」に対応しているわけではありません。

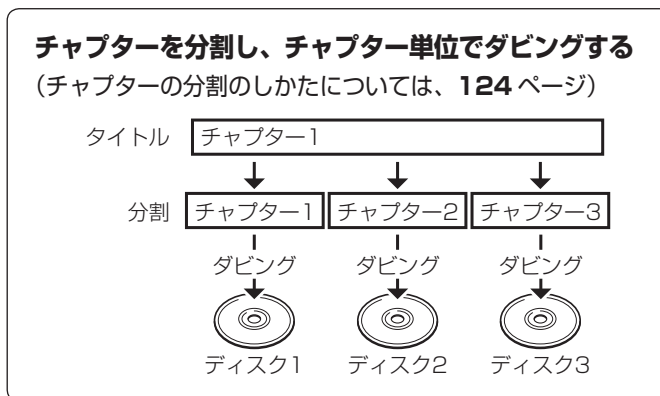
お知らせ

・推奨ディスクなど BD・DVD ディスクについて詳しくは、**291 ～ 293** ページをご覧ください。
・デジタル放送の「 1回だけ録画可能」「ダビング 10」の番組を DVD ディスクにダビングするには、CPRM 対応のディスクを VR フォーマットしてお使いください。

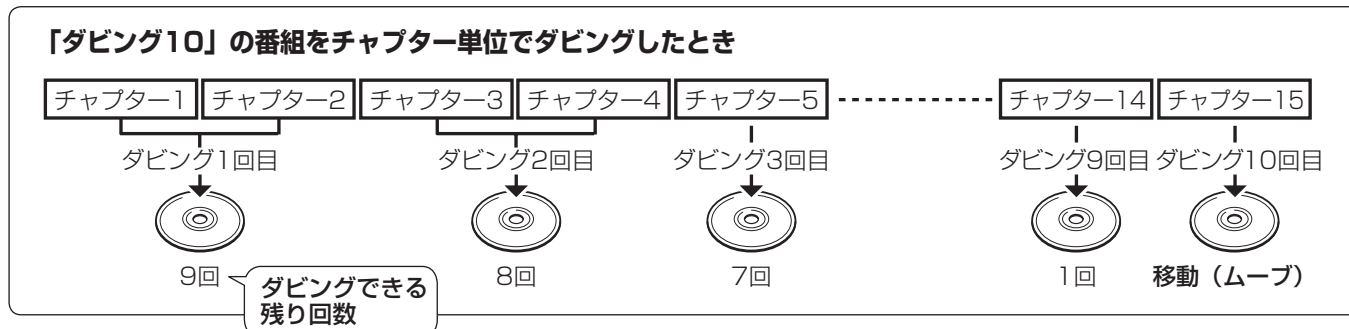
1 枚にまとめる／複数枚に分けるダビングについて

複数のタイトルを 1 枚のディスクに収めてダビングする

- 複数のタイトルを選択してダビングしようとした場合に、選択されている画質では 1 枚のディスクに入りきらないときは、自動的に 1 枚のディスクに収まるように「ジャストダビング」が選択されます。（→ **138** ページ）

HDD に録画したタイトルを何枚かの BD や DVD ディスクに分けてダビングする場合

- 長時間のタイトル（録画した番組）や高画質で録画した番組を HDD（ハードディスク）から BD や DVD ディスクにダビングする場合、1 枚のディスクに記録しきれないことがあります。そのときは、何枚かのディスクに分けてダビングします。
- 何枚かのディスクに分けてダビングするためには、1 つのタイトルを 1 枚のディスクに記録できる長さに分割する必要があります。次の方法でタイトルを分割し、ダビングしてください。

- 録画画質を設定してダビングしたいときは、ジャストダビング以外の録画画質に設定してください。

「ダビング 10」の番組をチャプター単位でダビングしたとき

- チャプター単位でダビングしたときは、1 タイトルすべてがダビングできていなくても、1 回のダビング操作で 1 回ずつダビング回数がカウントされます。10 回目のダビングは 1 回だけ録画可能番組となり、移動（ムーブ）となります。（1 回のダビング操作で複数のチャプターを選ぶこともできます。）

ダビングの制限事項

ダビング画質とダビングされる内容

ダビング後の映像と音声 ＼ ダビング元の映像・音声	BD ディスク				DVD ディスク	
	DR(高速ダビング)	2 倍 /3 倍 HD ○○	5 倍 /7 倍	SXP/XP/SP/ LP/EP/MN	VR フォーマット	ビデオ フォーマット
マルチビュー放送 (ステレオ二重音声)	○	主映像 (音声は主・副両方ダビングされます)	主映像 (音声は主・副両方ダビングされます)	主映像 / 主音声	主映像 / 主音声	主映像 / 主音声
連動データ放送	○	○	×	×	×	×
二重音声	○	○	○	○	○	二ヶ国語音声設定で設定されている音声
5.1ch 音声	○	○	○	2ch 音声	2ch 音声	2ch 音声
字幕	○	○	○	×	×	×
番組情報	○	○	○	×	×	×
チャプター	○	○	○	○	○	オートチャプターで設定されている時間単位で記録

ダビング時の映像や音声について

- 録画画質「DR」で録画した番組を BD に高速ダビングしたときは、HDD（ハードディスク）に記録されている全ての映像・音声がダビングされます。
- 録画画質変換ダビングやジャストダビング中は、ダビング画面になります。ダビング中の映像、放送はご覧になれません。（高速ダビング中は、放送をご覧になれます。）
- HDD に録画したマルチビューサービス放送（マルチ音声やステレオ二ヶ国語放送）を DVD ディスクにダビングする、または BD へダビング画質「SXP/XP/SP/LP/EP/MN」でダビングすると、主の放送（主音声）がダビングされます。

■ DVD-R DL（2 層）ディスクについて

- ビデオフォーマットの DVD-R DL（2 層）ディスクで、1 層から 2 層にまたがるダビングをした場合、それぞれが別タイトルとして記録されます。
- VR フォーマットの DVD-R DL（2 層）ディスクの場合、連続でダビングできる時間は最大 9 時間です。

■二重音声放送のダビングについて

- ビデオフォーマットの DVD ディスクにダビングすると、1 つの音声しか記録できません。主音声・副音声のどちらを記録するかを「二ヶ国語音声設定」で選んでください。（→ **278** ページ）
- VR フォーマットの DVD ディスクには主音声・副音声の両方が記録できますが、「音声記録方式設定」が「リニア PCM」設定で（→ **278** ページ）録画画質「XP」でダビングする場合には、1 つの音声しか記録できません。どちらを記録するかを「二ヶ国語音声設定」で選んでください。（→ **278** ページ）

タイトルといっしょにダビングされる内容

- ダビングすると、「タイトル名※」「チャプターマーク※」が記録されます。ダビング元の録画した日時はダビングした日時に変わります。
- ビデオフォーマットの DVD ディスクにダビングする場合、ダビング元の「インデックス画面」は記録されません。番組の先頭がインデックス画面となります。
- 「編集」の「インデックス画面変更」でインデックス画面を変更した番組をダビングしたときは、インデックス画面がズレてダビングされる場合があります。

※タイトル名について

- DVD ディスクにダビングしたとき、コピーされるタイトル名は最大で全角 32 文字までです。

※チャプターマークについて

- HDD から DVD（ビデオフォーマット）への録画画質変換ダビングでは、ダビング元のチャプターマークはコピーされません。

お知らせ

- 電子番組表を使って HDD（ハードディスク）に録画した番組を DVD ディスクにダビングしたとき、[二][又][文][II]などの表示がタイトル名の欄に表示されませんが、故障ではありません。（「＊」表示となります。）

次のようなときはダビングできません

- BD、DVD、CD の再生中は、ダビングができません。（詳しくは、下記「ダビングできる組み合わせ」をご覧ください。）
- BD に 200 タイトル（または 1000 チャプター）が録画またはダビングされている場合、その BD にはダビングできません。
- 本機以外で録画された BD ディスクは、録画用ディスクとして使用できなくなる（再生専用ディスクとして判別される）場合があります。
- DVD ディスクに 99 タイトル（または 999 チャプター）が録画またはダビングされている場合、その DVD ディスクにはダビングできません。
- 「ディスク保護」（→ **117** ページ）が「保護する」に設定されているディスクにはダビングできません。
- 外部チューナーから録画したデジタル放送番組は「ダビング 10」の番組でも「1 回だけ録画可能」番組としてハードディスクに録画されます。また、著作権保護技術（AACS）の規定により BD にダビング（ムーブ）できません。ダビングして残したいときは、CPRM 対応の DVD ディスクをご使用ください。
- **本機は、BD・DVD ディスクから HDD にはダビングできません。ただし、AVCHD 方式のハイビジョンカメラで撮影した DVD ディスクからは、ハードディスク（HDD）にダビングできます。**
- 電波状態や停電などで録画が停止した番組は、正常に録画終了できていないため編集やダビングができません。そのような番組は録画リストを表示させたとき、「正常に録画できませんでした。」のメッセージを表示します。

ダビング中の制限事項

録画画質変換ダビング（等速）中、i.LINK ダビング中、AVCHD 記録 DVD からのダビング中は他の操作が行えません。

ダビングできる組み合わせ

動作状態		BD へのダビング		DVD へのダビング	AVCHD 方式で撮影した DVD からのダビング	i.LINK	USB
		高速ダビング	録画画質変換ダビング				
放送視聴中		○	○	○	○	○	○
表録画中	「DR」録画中	○	×	×	○	×	○
	「2 倍」～「7 倍」録画中	○※1	×	×	○	×	○
	SXP 以下の録画中	○※1	×	×	×	×	×
裏録中		○	○	○	○	○	○
予約録画		○※1 ※2	×	×	×	×	×
2 番組同時録画中		○※1 ※2	×	×	×	×	×
再生中	HDD 再生中	○※3	×	×	×	×	×
	ディスク再生中	×	×	×	×	×	×
	写真再生中	○	×	×	×	×	×
追いかけ再生中		○※2 ※3	×	×	×	×	×
HDD 同時録画再生中		○※2 ※3	×	×	×	×	×

※ 1　録画画質「DR」以外で録画中は、6 倍速ディスクを使用しても 4 倍速のダビングスピードとなります。
※ 2　録画画質「2 倍」～「7 倍」「HD ○○」または「地上アナログ放送」を録画中にダビングを行ったときは、追いかけ再生や同時録画再生は行えません。
※ 3　再生しながらダビングしたいときは、一度再生を停止し、ダビングを開始したあとで再生の操作をしてください。
ダビング予約は再生中でも実行されます。

HDD から BD や DVD へダビングする

ダビングに使えるディスク（詳しくは⇒**130**ページ「ダビング用として購入する（使用できる）ディスク」または**291**ページ「本機でダビング・再生できるディスク」）

ハイビジョンで残す または 標準画質で残す	**BD-RE/-R**	BD-RE（繰り返しダビングできる） BD-R（1回だけダビングできる）	▶ DR、2倍、3倍、5倍、7倍、HD○○の画質でダビングしてください。
標準画質で残す	**DVD-RW/-R**	DVD-RW（繰り返しダビングできる） DVD-R（1回だけダビングできる）	▶ デジタル放送をダビングするときは、「CPRM対応」のディスクをお使いください。（DVD-RW/-Rにはハイビジョンで残せません。）

ダビングができる組み合わせ

ダビングできる種類	ダビングスピード	デジタル放送ダビング
HDD から → BD	高速ダビング ○ 録画画質変換ダビング ○	○ ※1
HDD から → DVD VRフォーマット	高速ダビング × 録画画質変換ダビング ○	○ CPRM 対応ディスク
HDD から → DVD ビデオフォーマット	高速ダビング × 録画画質変換ダビング ○	×

※ 1 外部チューナーや CATV ボックスなどを経由し、外部入力で HDD（ハードディスク）に録画したデジタル放送は BD（ブルーレイディスク）へはダビングできません。VR フォーマットのデジタル放送録画用（CPRM 対応）DVD を使用しダビングしてください。

ご注意

・本機では、BD や DVD ディスク（AVCHD 記録の DVD ディスクは除く）から HDD（ハードディスク）へのダビングはできません。
・DVD への高速ダビングはできません。

お知らせ

・HDD（動画アルバム）から BD/DVD のダビングについては、**144** ページをご覧ください。

おすすめのダビング方法

■高画質（元の映像のまま）でダビングしたいとき

⇒ BD を使用し、高速ダビングをします。（**140** ページ）

■ディスク残量が不足しているが、複数の番組や長時間番組をハイビジョン画質のままダビングしたいとき

⇒ BD を使用し、録画画質変換ダビングをします。（**140** ページ）
ポイント：録画画質は「2 倍」「3 倍」「5 倍」「7 倍」「HD ○○」を選択します。

■複数の番組や長時間番組を 1 枚のディスクに収めたいとき

⇒ BD または DVD を使用し、録画画質変換ダビングをします。（**133**、**138**、**140** ページ）
ポイント：ジャストダビングを選択すると自動で最適な録画画質が選ばれます。

■長時間番組を何枚かのディスクに分けてダビングしたいとき

⇒ ダビングできる長さにチャプター分割し、チャプター単位でダビングします。（**133**、**140** ページ）
⇒ チャプター分割操作は **124** ページをご覧ください。

準備 テレビと本機の準備をします

①テレビと本機の電源を入れます。

②テレビに向けリモコンの テレビ入力切換 を繰り返し押し、テレビの入力を切り換えます。

例：本機をテレビの外部入力 3 に接続したとき

・入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。 詳しくは 37 ページ

本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

1 録画用の BD または DVD ディスクをセットします

新品のディスクをセットしたときは

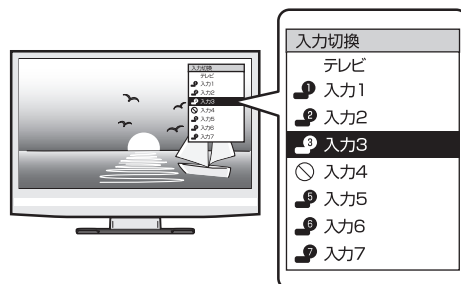
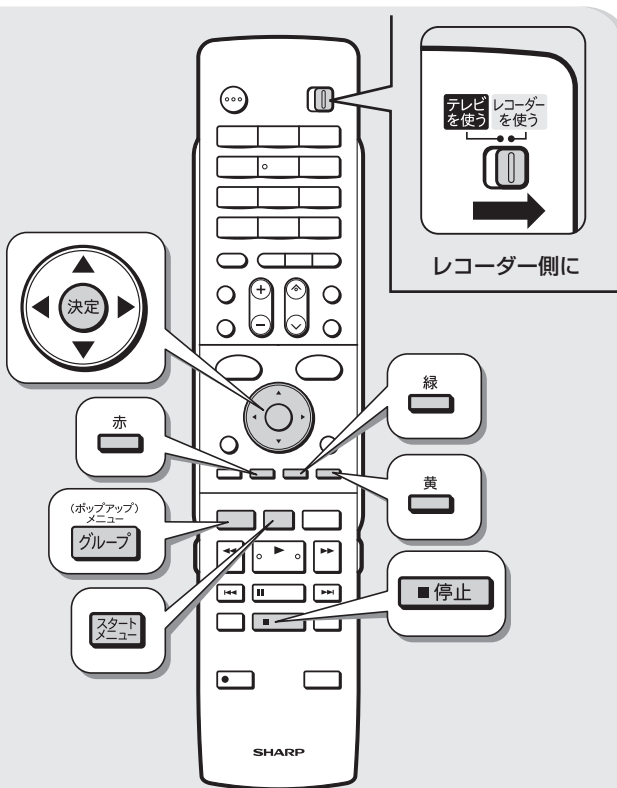
自動的に「初期化」（→ 32 ページ）が始まります。終了するまでしばらくお待ちください。

CPRM 対応の DVD-R ディスクをセットしたときは
・「初期化する」を選ぶと VR フォーマットで初期化されます。
・「初期化しない」を選ぶとビデオフォーマットとなります。

CPRM 非対応の DVD-R ディスクをセットしたときは
・ビデオフォーマットでダビングされます。VR フォーマットでダビングしたい場合は、あらかじめ初期化の操作を行ってください。

初期化について
・新品の DVD-RW ディスクをセットしたときに行われる自動初期化は、工場出荷時は「VR フォーマット」に設定されています。「スタートメニュー」-「各種設定」-「録画機能設定」-「DVD 自動初期化設定」で「ビデオフォーマット」に変更できます。（→ **278** ページ）

■ 録画されていないディスクをセットしたとき ⇨ へ

■ すでに録画されているディスクに追加でダビングするとき ⇨ へ

メ モ

ディスクの残量を確認したいときは→ **52** ページ

お知らせ

・映像信号とは別に放送されている字幕のある番組を、HDD（ハードディスク）から BD や DVD ディスクへ録画画質変換ダビングした場合、字幕はダビングされません。（BD へ2倍 / 3倍 / 5倍 / 7倍 / HD ○○でダビングしたときは、字幕もダビングされます。）
・HDD（ハードディスク）と BD では全角 40 字までのタイトル名が付けられますが、DVD ディスクへダビングしたときは全角 32 文字までとなります。

メ モ

・HDD（ハードディスク）から BD や DVD ディスクにダビングするとき、「1 回だけ録画可能」の番組と「ダビング 10」の番組を 10 回目にダビングするときは、ダビングされた部分がダビング元から消去されます。

ダビングを途中で止めるとき

ダビング中にディスクがいっぱいになったときは
・ダビングしている途中でダビング先がいっぱいになったときは、ダビングが停止します。

ダビングを途中で止めたとき、ディスク残量がなくなり停止したときは
・「ダビング 10」の番組の場合、ダビング回数が 1 回減ります。
・「1 回だけ録画可能」の番組の場合、停止したところまでがダビングされ、HDD（ハードディスク）のタイトルはダビングされたところまでが消去されます。

2 「ダビングする」を選びます

ダビングする　ダビングしない

⇨ダビング方向選択 5 へ

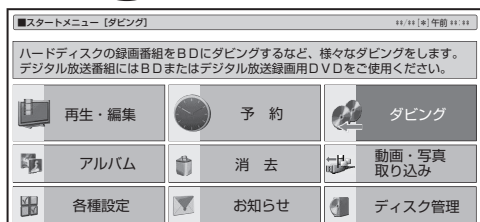
3 スタートメニューを表示させます

スタートメニュー　押す

4 「ダビング」を選んで決定します

■スタートメニュー［ダビング］

ハードディスクの録画番組をＢＤにダビングするなど、様々なダビングをします。
デジタル放送番組にはＢＤまたはデジタル放送録画用ＤＶＤをご使用ください。

再生・編集	予　約	ダビング
アルバム	消　去	動画・写真取り込み
各種設定	お知らせ	ディスク管理

5 「HDD（放送番組）→ BD/DVD」を選んで決定します

ダビング方向を選択してください。

HDD（放送番組）	➡	BD／DVD
HDD（動画アルバム）	⇨	BD／DVD
HDD（放送番組）	⇨	携帯電話
HDD（放送番組）	⇨	i.LINK
AVCHD記録DVD	⇨	HDD

- 録画リストが表示されます。
- 動画アルバムからダビングしたいときは､「HDD（動画アルバム）→ BD/DVD」を選びます。

6 ダビングしたいタイトルを選びます

- 複数のタイトルを選んだり、チャプターを選んだりすることができます。次ページをご覧ください。

1 つのタイトルをダビングしたいとき

ダビングしたいタイトルを選んで決定します。

タイトル選択の操作例

番組1	番組2	番組3	番組4	番組5	番組6
番組7	番組8	番組9	番組10	番組11	番組12

7

■選んだタイトルがそのままの画質でダビングできるとき

⇨ 9 の画面になります。

■選んだタイトルがそのままの画質でダビングできないときはジャストダビングになります

⇨ 8 の画面になります。

ジャストダビングとは

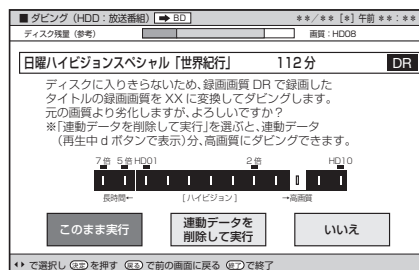
・選んだタイトルをダビングする際、ディスクの残時間が足りないときに、1 枚のディスクに記録できる録画画質を選択しダビングする機能です。

ハイビジョン画質が変換されるとき

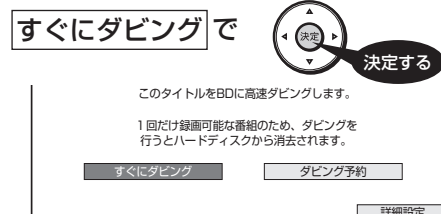
・ジャストダビングにより録画画質「DR」のタイトルが圧縮されたハイビジョン画質(HD)に変換される場合は、次の 12 段階の中からダビングするディスクの残量に合わせて画質が最高となるものが選ばれます。
HD10、HD09、HD08、HD07、HD06（2倍)、HD05、HD04、HD03、HD02（3倍)、HD01、5 倍、7 倍
(HD に続く数字が大きいほうが高画質となります。)

・ディスク残量によってはハイビジョン画質でなくなる場合もあります。その場合、MN68 ～ MN01 から画質が最高となるものが選ばれます。

8 選んだタイトルがジャストダビングとなるとき

- 確認画面が表示されます。

- 「このまま実行」「連動データを削除して実行」を選ぶと 9 のダビング開始画面になります。連動データを削除すると、より高画質でダビングできます。
- 「いいえ」を選ぶとタイトル選択画面に戻ります。
- 高画質のまま何枚かのディスクに分けてダビングするときは、9 で「詳細設定」を選びます。

9 「すぐにダビング」を選んで決定します

すぐにダビング で

- ダビングが開始されます。
- 表示されるメッセージはダビングされる状態によって変わります。
- 等速ダビング中は「ダビングしています」の画面が表示されます。高速ダビング以外では、停止しないと他の操作はできません。
- 「ダビング予約」を選んだときの操作について 156 ページ

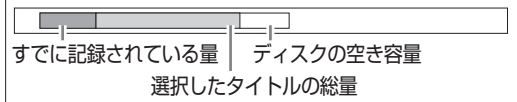
タイトルの選びかた

複数のタイトルを一度にダビングしたいとき

1. ダビングしたいタイトルを選び、黄 を押します。
   • これを繰り返して 15 タイトルまで選べます。（選んだ順にダビングされます。）

（1 タイトル決定）

タイトル選択の操作例

選んだタイトルには、番号とダビングマーク「①」が付きます。

• 黄 を押すたびにダビング選択←→ダビング解除となります。

2. 複数のタイトルの選択が終わったら、決定 を押します。

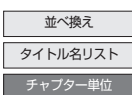
チャプターを選んでダビングしたいとき

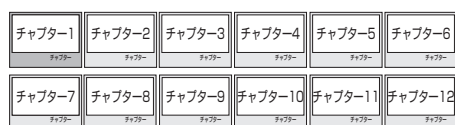
• ダビングしたいタイトルを選んで 赤（表示方法）を押し、「チャプター単位」を選んで決定します。

タイトル選択画面

番組1	番組2	番組3	番組4	番組5	番組6
番組7	番組8	番組9	番組10	番組11	番組12

表示方法を選択してください。

並べ換え
タイトル名リスト
チャプター単位

「チャプター単位」を選んで決定します。

チャプター選択画面

• チャプターは、同一タイトル内のみ選べます。（他のタイトルのチャプターは選べません。）
• ダビング 10 の番組をチャプター単位でダビングした場合でも、タイトル全体のダビング回数が 1 回減ります。

グループまたはジャンル別リストからタイトルを選びダビングしたいとき

1. タイトル選択の画面で、リモコンの グループ（ポップアップメニュー）を押します。

• グループ一覧画面になります。

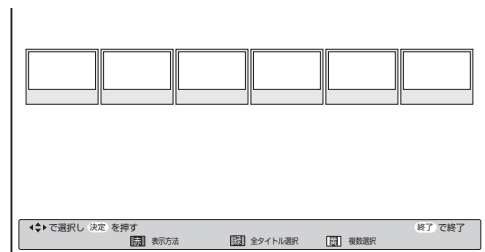
2. ダビングしたいグループを選び、決定します。

グループを選択してください。

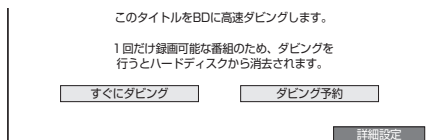
NEW 1	グループ 1	16 タイトル
2	グループ 2	10 タイトル
3	グループ 3	8 タイトル
4	グループ 4	21タイトル
5	グループ 5	4タイトル
6	グループ 6	11タイトル

• ジャンル別で選びたいときは、緑（ジャンル別へ）を押します。
（ダビング方向が「HDD（動画アルバム）→ BD ／ DVD」のときは、ジャンル別リストに切り換えられません。）

3. ダビングしたいタイトルを選んで決定します。
   • グループ内の全タイトルを選ぶとき
   ⇨ 緑（全タイトル選択）を押す。
   • 1 つだけタイトルを選ぶとき ⇨ **138** ページ「1 つのタイトルをダビングしたいとき」
   • 複数のタイトルを選ぶとき ⇨ このページの左上「複数のタイトルを一度にダビングしたいとき」

確認 基本 視聴 録画・予約 再生・消去 編集 ダビング 管理 ファミリンク 携帯電話・カメラ 接続・設定 基本設定 各種設定 困ったときは

ダビングの種類を手動選択する場合

・「詳細設定」を選択すると、ダビングの種類やダビング画質をご自身で設定できます。

1 138 ページの手順 9 で「詳細設定」を選んで決定します

2 ダビングの種類を選んで決定します

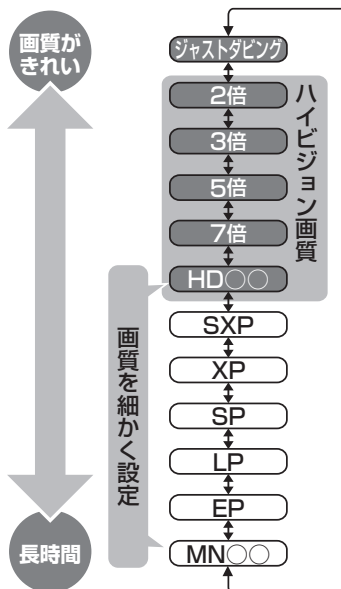
高速ダビング（最高速モード）
ディスクで対応している最大の速度でダビングを行います。
録画画質は元のままで、画質・音質の劣化がほとんどありません。
高速ダビング（静音モード）
深夜など動作音が気になる場合のダビングにご使用いただけます。
録画画質は元のままで、画質・音質の劣化がほとんどありません。
録画画質変換ダビング（等速）
ディスクの残量などに合わせ録画画質を選択し、ダビングできます。
ダビング時間は選択したタイトルの録画時間ぶんかかります。

「高速ダビング（最高速モード）」
- BD がセットされているときに選べます。

「高速ダビング（静音モード）」
- BD がセットされているときに選べます。
- ダビングの動作音が気になる場合（深夜など）に選びます。

「録画画質変換ダビング（等速）」
- BD や DVD にぴったり入れたいときなど、ダビング録画画質を選びたい場合のほか、以下のような場合に選びます。
  - ・DVD ディスクがセットされているとき。
  - ・「高速ダビング（静音モード）」でもダビングの動作音が気になる場合。
  - ・番組といっしょに記録された連動データを削除してダビングしたいとき。

お知らせ
- HDV 機器（ハイビジョンビデオカメラなど）から HDD（ハードディスク）に録画（ダビング）したタイトルを BD にダビングするとき、HD ○○ /2 倍 /3 倍 /5 倍 /7 倍の録画画質は選べません。

3 画質を選んで決定します

- 「ジャストダビング」を選んだときは、セットしたディスクの残時間に合わせて自動で録画画質が設定されます。
- DR 以外のハイビジョン画質（2 倍 /3 倍 /5 倍 /7 倍 /HD ○○（H.264 含む））から他のハイビジョン画質への変更はできません。
  （例：「2倍」で録画したタイトルを「3倍」にすることはできません。）

■連動データのある番組をダビングするとき
- **連動データを削除すると、より高画質でダビングできます。**
- **「ジャストダビング」「2 倍」「3 倍」「HD ○○」を選ぶと、連動データを削除「する」「しない」を選択できます。**
  これ以外の画質を選んだ場合は、連動データは削除されます。

⇨次ページの手順 4 へ

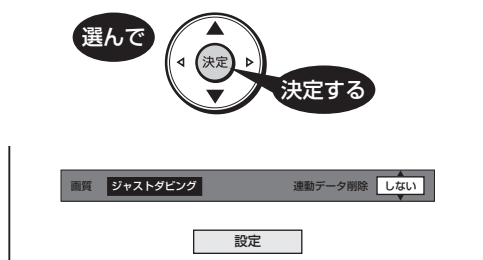
■連動データのない番組をダビングするとき

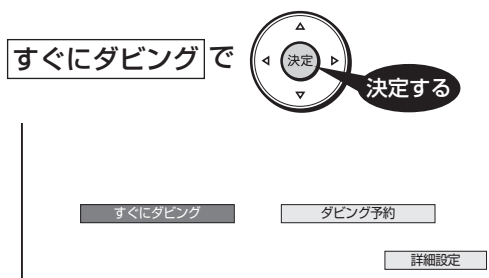
⇨次ページの手順 5 へ

■「ジャストダビング」「2 倍」「3 倍」「HD ○○」以外を選んだとき

⇨次ページの手順 5 へ

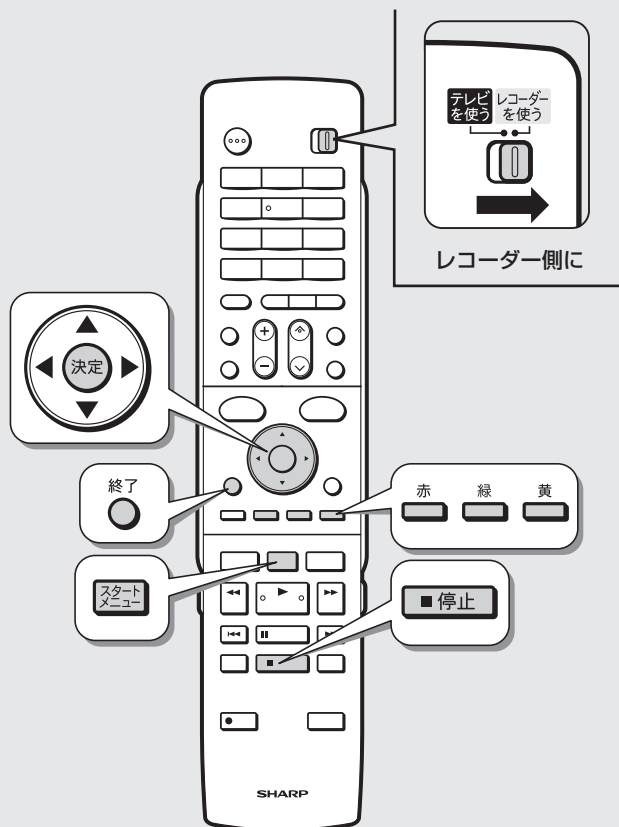
4 画質を「ジャストダビング」「2 倍」「3 倍」「HD ○○」に設定したときは、連動データを削除するかどうかを選びます

- 連動データを削除すると、より高画質でダビングできます。
- 「する」または「しない」を選んで決定します。

5 「設定」で決定します

6 「すぐにダビング」を選んで決定します

・ダビング中は「ダビングしています」の画面が表示されます。停止しないと他の操作はできません。

- 「ダビング予約」を選んだときの操作について 156 ページ
- 残時間が不足しているときは、お知らせ画面が表示されます。「する」を選んだときは、ディスクの空き時間がなくなるまでダビングします。

AVCHD方式のデジタルビデオカメラで撮影したDVDのダビング

- AVCHD 方式のデジタルビデオカメラで撮影した DVD ディスクを本機にセットして、本機の HDD（ハードディスク）にダビングすることができます。
- ダビングした映像は、本機で編集（→ **121** ページ）したり、バックアップ用として別の BD や DVD ディスクにダビング（→ **136** ページ）することができます。

ご注意

- HDD（ハードディスク）にダビングできるのは、AVCHD 方式で記録された DVD ディスクです。
- AVCHD 記録方式の DVD ディスクから HDD（ハードディスク）へのダビングは、データコピーとなるため、画質の設定は行えません。

お知らせ

- デジタルビデオカメラ本体を本機と USB 接続して映像を取り込む方法については、**187** ページをご覧ください。

準備 テレビと本機の準備をします

① テレビと本機の電源を入れます。

② テレビに向けリモコンの テレビ入力切換 を繰り返し押し、テレビの入力を切り換えます。

例：本機をテレビの外部入力 3 に接続したとき

- 入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。 詳しくは 37 ページ

本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

1 AVCHD 方式の DVD ディスク（AVCHD 方式のデジタルビデオカメラで撮影した DVD ディスク）を本機にセットします

- DVD ディスクをセットするとき、8cmCD 用のアダプターなどは使わないでください。

2 スタートメニューを表示させます

3 「ダビング」を選んで決定します

■スタートメニュー［ダビング］

ハードディスクの録画番組をＢＤにダビングするなど、様々なダビングをします。
デジタル放送番組にはＢＤまたはデジタル放送録画用ＤＶＤをご使用ください。

再生・編集	予 約	ダビング
アルバム	消 去	動画・写真取り込み
各種設定	お知らせ	ディスク管理

4 「AVCHD 記録 DVD → HDD」を選んで決定します

ダビング方向を選択してください。

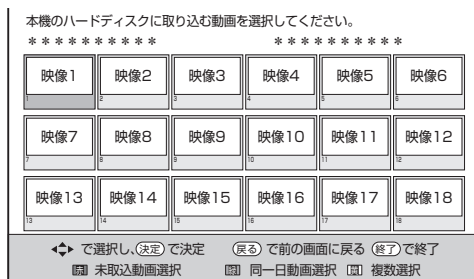
HDD（放送番組）	⇨	BD／DVD
HDD（動画アルバム）	⇨	BD／DVD
HDD（放送番組）	⇨	携帯電話
HDD（放送番組）	⇨	i.LINK
AVCHD記録DVD	➡	HDD

5 ダビングしたい映像を選びます

- DVD ディスクに記録されている映像の一覧が表示されます（古い順に並びます）。
- 「録画日」「録画開始時刻」が映像の名前になっています。
- 一度に 30 件まで選べます。

本機のハードディスクに取り込む動画を選択してください。

映像1	映像2	映像3	映像4	映像5	映像6
映像7	映像8	映像9	映像10	映像11	映像12
映像13	映像14	映像15	映像16	映像17	映像18

で選択し、決定で決定　戻るで前の画面に戻る　終了で終了
未取込動画選択　同一日動画選択　複数選択

取り込み操作で取り込んでいない映像をすべて選ぶとき

赤（未取込動画選択）を押します。

- 取り込んでいない映像（済マークの付いていない映像）が自動ですべて選択されます。
- もう一度 赤 を押すと、選択が解除されます。

同じ日に撮った映像をすべて選ぶとき

ダビングしたいタイトルを選び、緑（同一日動画選択）を押します。

- 選んだ映像と同じ日に撮影した映像が、自動ですべて選択されます。
- 選択された映像のどれか一つを再び選び、緑 を押すと、すべての選択が解除されます。
- 1 回の操作で複数の映像を取り込んだ場合、HDD（ハードディスク）の動画アルバムに、1 つのタイトルとして取り込まれます。（各 AVCHD のファイルは、チャプターで分割された状態になります。）

複数のタイトルを一度にダビングしたいとき

1. ダビングしたいタイトルを選び、黄 を押します。
   - これを繰り返して 30 タイトルまで選べます。（選んだ順にダビングされます。）

（1 タイトル決定）

タイトル選択の操作例

映像1	映像2	映像3	映像4	映像5	映像6
映像7	映像8	映像9	映像10	映像11	映像12

選んだタイトルには、番号とダビングマーク「① 」が付きます。

   - 黄 を押すたびにダビング選択←→ダビング解除となります。
2. 複数のタイトルの選択が終わったら、決定 を押します。

6 「はい」を選んで、決定します

はい　いいえ

- ダビングが始まります。

ダビング中の表示

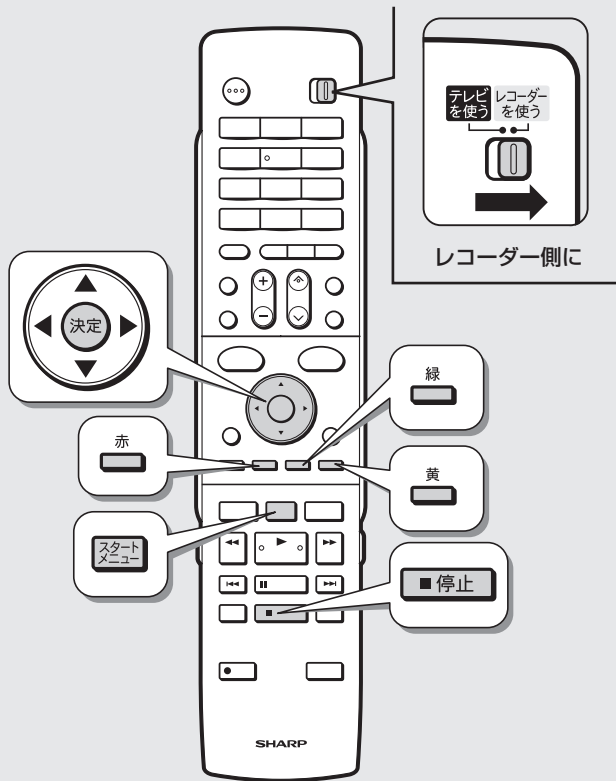
7 ダビングが終了したら、手順 5 の画面で取り込んだ動画には、済 マークが表示されます

- 電源を切ったり、ディスクを取り出したりすると、済 マークは表示されません。

8 終了ボタンを押し、終了します

・ダビングしたタイトルを見るときは、録画リストを表示させ、青（動画アルバム）を押し、動画アルバムに切り換えてください。

HDDに取り込んだデジタルビデオカメラの映像をBD/DVDにダビングする

• 本機のHDD（ハードディスク）に取り込んだデジタルビデオカメラの映像は、「動画アルバム」として管理されています。動画アルバムから、BDまたはDVDディスクにダビングできます。

準備 テレビと本機の準備をします

① テレビと本機の電源を入れます。

② テレビに向けリモコンの テレビ入力切換 を繰り返し押し、テレビの入力を切り換えます。

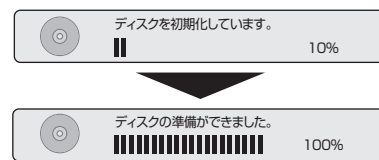
例：本機をテレビの外部入力3に接続したとき

• 入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。 詳しくは 37ページ

本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

1 録画用のBDまたはDVDディスクをセットします

新品のディスクをセットしたときは

自動的に「初期化」（→32ページ）が始まります。終了するまでしばらくお待ちください。

CPRM対応のDVD-Rディスクをセットしたときは
•「初期化する」を選ぶとVRフォーマットで初期化されます。
•「初期化しない」を選ぶとビデオフォーマットとなります。

CPRM非対応のDVD-Rディスクをセットしたときは
• ビデオフォーマットでダビングされます。VRフォーマットでダビングしたい場合は、あらかじめ初期化の操作を行ってください。

初期化について
• 新品のDVD-RWディスクをセットしたときに行われる自動初期化は、工場出荷時は「VRフォーマット」に設定されています。「スタートメニュー」-「各種設定」-「録画機能設定」-「DVD自動初期化設定」で「ビデオフォーマット」に変更できます。（→**278**ページ）

■ 録画されていないディスクをセットしたとき ⇨ **2** へ

■ すでに録画されているディスクに追加でダビングするとき ⇨ **3** へ

2 「ダビングする」を選びます

ダビングする　ダビングしない

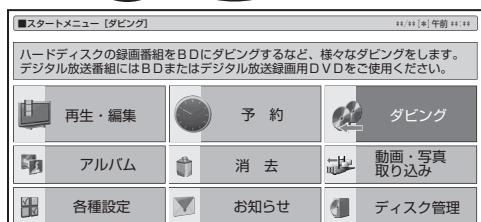
⇨ダビング方向選択 **5** へ

3 スタートメニューを表示させます

4 「ダビング」を選んで決定します

■スタートメニュー［ダビング］　＊＊/＊＊［＊］午前 ＊＊:＊＊

ハードディスクの録画番組をＢＤにダビングするなど、様々なダビングをします。
デジタル放送番組にはＢＤまたはデジタル放送録画用ＤＶＤをご使用ください。

再生・編集	予　約	ダビング
アルバム	消　去	動画・写真取り込み
各種設定	お知らせ	ディスク管理

5 「HDD（動画アルバム）→ BD/DVD」を選んで決定します

ダビング方向を選択してください。

HDD（放送番組）	⇨	BD／DVD
HDD（動画アルバム）	➡	BD／DVD
HDD（放送番組）	⇨	携帯電話
HDD（放送番組）	⇨	i.LINK
AVCHD記録DVD	⇨	HDD

• 録画リストが表示されます。

6 ダビングしたい映像を選びます

タイトル選択の操作例

■ ダビング（HDD：動画アルバム）➡ BD　＊＊/＊＊［＊］午前 ＊＊:＊＊
ディスク残量（参考）
＊＊/＊＊［＊］午後10：00

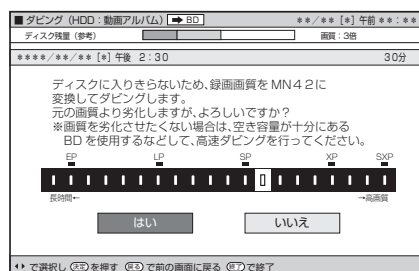
映像1	映像2	映像3	映像4	映像5	映像6
映像7	映像8	映像9	映像10	映像11	映像12

• 映像の選びかたについては、以下のページをご覧ください。
「1つのタイトルをダビングしたいとき」→ **138** ページ
「複数のタイトルを一度にダビングしたいとき」→ **139** ページ
「グループリストからタイトルを選びダビングしたいとき」→ **139** ページ

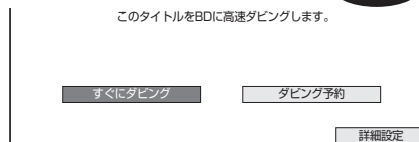
7

■選んだタイトルがそのままの画質でダビングできるとき
⇨ **9** の画面になります。

■選んだタイトルがそのままの画質でダビングできないときはジャストダビングになります
⇨ **8** の画面になります。

8 選んだタイトルがジャストダビングとなるとき

• 確認画面が表示されます。

• 「はい」を選ぶと **9** のダビング開始画面になります。
• 「いいえ」を選ぶとタイトル選択画面に戻ります。
• 高画質のまま何枚かのディスクに分けてダビングするときは、**9** で「詳細設定」を選びます。

9 「すぐにダビング」を選んで決定します

• ダビングが開始されます。
• 表示されるメッセージはダビングされる状態によって変わります。
• 高速ダビング以外では、ダビング中は「ダビングしています」の画面が表示されます。停止しないと他の操作はできません。
• 「ダビング予約」を選んだときの操作について

156 ページ

・手順 **9** の画面で「詳細設定」を選ぶと、ダビングの種類を選んだり、録画画質を選んでダビングすることができます。操作方法については、**140** ページをご覧ください。選択できる録画画質は、「SXP」以下の録画画質となります。

HDD と i.LINK 機器とのダビング

● i.LINK（アイリンク）について

・i.LINK とは、i.LINK 端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINK ケーブル 1 本で接続することができます。
i.LINK は、IEEE1394 の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbps の転送速度があり、それぞれ S100/S200/S400 と表示されます。本機では最大 400Mbps の転送速度が可能です。

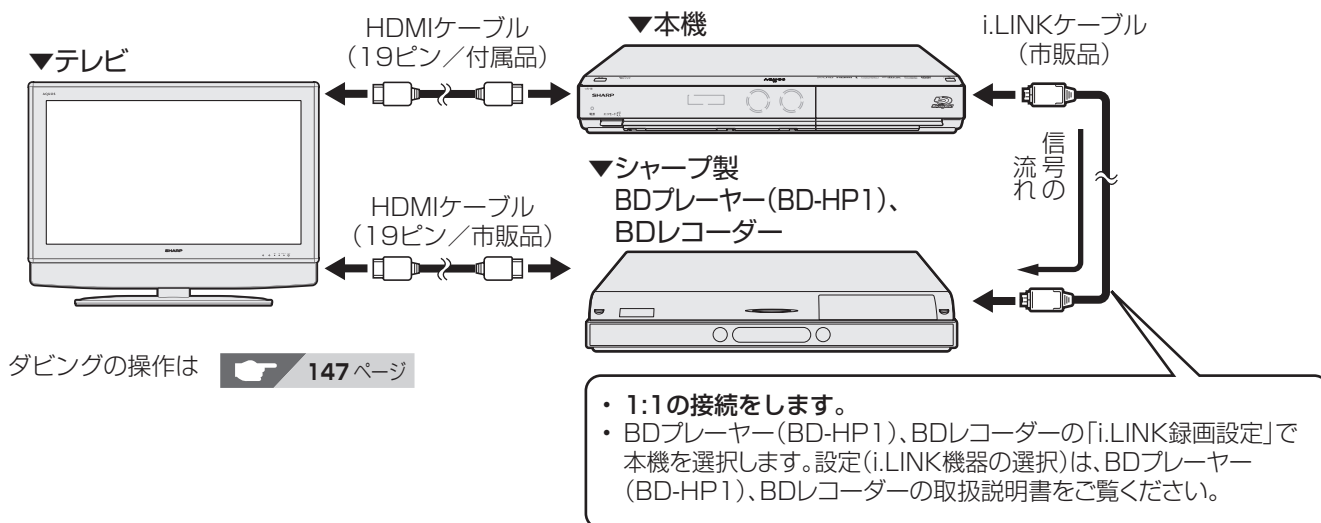
本機に i.LINK（TS）接続できる機器について

i.LINK（TS）接続で本機から信号を出力できる機器

・本機の HDD（ハードディスク）に録画した番組は、ダビング操作で i.LINK 機器に出力できます。（本機のチューナーの信号は出力できません。）

・接続できる機器は、シャープ製 BD プレーヤー（BD-HP1）、BD レコーダーです。それ以外の機器は正しく動作しない場合があります。

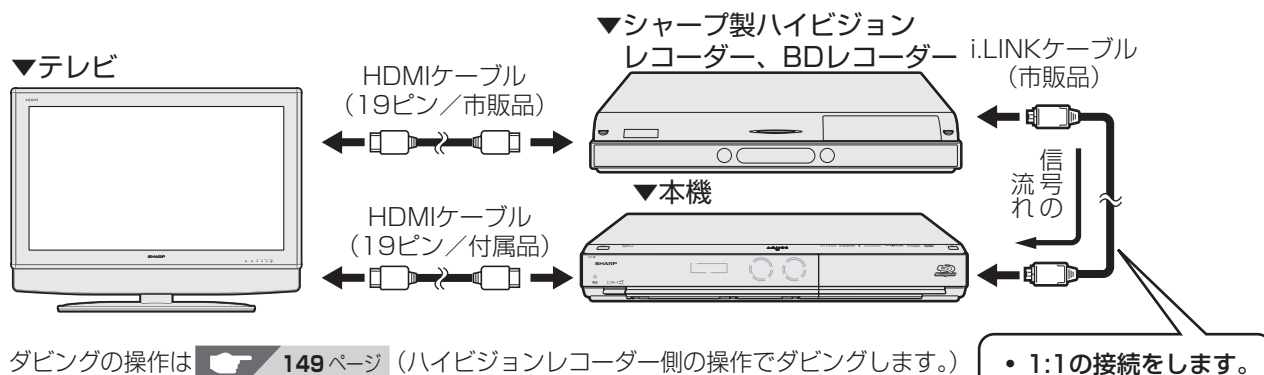
ダビング機器を使用する場合の接続例（本機から i.LINK 信号を出力）

ダビングの操作は 147 ページ

i.LINK（TS）接続で本機へ信号を入力できる機器

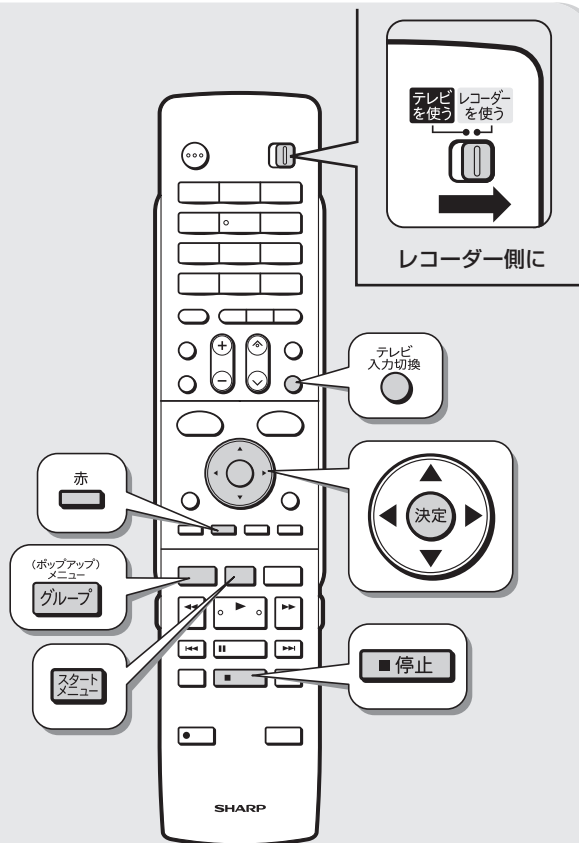
・i.LINK（TS）接続し、本機の HDD（ハードディスク）に録画できる映像は TS 出力される映像です。
・接続できる機器は、i.LINK（TS）出力機能があるシャープ製ハイビジョンレコーダー、BD レコーダー、HDV 機器（デジタルハイビジョンカメラなど）です。それ以外の機器は正しく動作しない場合があります。

i.LINK（TS）接続で本機へ信号を入力（録画）する場合の接続例

ダビングの操作は 149 ページ（ハイビジョンレコーダー側の操作でダビングします。）

・ 1:1の接続をします。

お知らせ

録画リストについて
・本機が i.LINK 入力の状態になっているとき（本体表示部に「TS- in」と表示されているとき）は、録画リストを表示することはできません。通常の放送に切り換えてから操作してください。

• 本機の HDD（ハードディスク）に録画した番組を、シャープ製 BD プレーヤー（BD-HP1）、BD レコーダー（i.LINK 機器）にダビングできます。
• シャープ製ハイビジョンレコーダーの HDD に録画した番組を、ハイビジョン画質のまま本機の HDD にダビングできます。

本機から i.LINK 機器へダビングする

準備 テレビと本機の準備をします

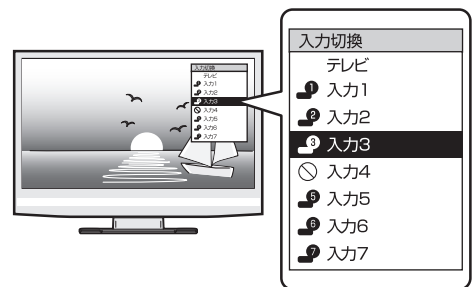
① テレビと本機の電源を入れます。

② テレビに向けリモコンの テレビ入力切換 を繰り返し押し、テレビの入力を切り換えます。

例：本機をテレビの外部入力 3 に接続したとき

• 入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。 詳しくは 37 ページ

本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

1 接続した機器の電源を入れ、録画用ディスクをセットします

• あらかじめ、i.LINK ケーブル（市販品）で本機と i.LINK 機器が接続されているか確認します。
• 接続した機器側で「i.LINK 機器選択」ができているか確認します。

ご注意

・本機と i.LINK 機器は、1 対 1 で接続してください。デイジーチェーン接続やツリー接続をしないでください。本機や i.LINK 機器がその他の機器と i.LINK 接続されているときは、その他の機器から i.LINK ケーブルを抜いてください。
・「1 回だけ録画可能」の番組をダビングしたとき、または「ダビング 10」の番組を 10 回目にダビングしたときは、ムーブ（移動）となり、ダビング元の HDD 内の映像は消去されます。
ダビングを途中で停止したときは、ダビングしたところまでが HDD から消去されます。
・接続する機器によっては i.LINK ダビングする際、複数のタイトル（番組）を一度に選択しダビングできますが、同じチャンネルのタイトルを連続して i.LINK ダビングすると、内容によっては、ダビング後に 1 つのタイトルとして結合されてしまうことがあります。同じチャンネルのタイトルは、1 タイトルずつダビングすることをおすすめします。

お知らせ

・i.LINK ダビングの操作以外では、本機の i.LINK 端子から信号は出力されません。
・番組によってはダビングできないことがあります。
・i.LINK ダビングできるのは、本機の HDD に録画画質「DR」で録画したタイトルです。
他の録画画質で録画したタイトルや、BD や DVD に録画（ダビング）したタイトルは、i.LINK ダビングできません。

確認 基本 視聴 録画・予約 再生・消去 編集 ダビング 管理 ファミリンク 携帯電話・カメラ 接続・設定 基本設定 各種設定 困ったときは

次ページへつづく

2 スタートメニューを表示させます

スタートメニュー 押す

3 「ダビング」を選んで決定します

再生・編集	予　約	ダビング
アルバム	消　去	動画・写真取り込み
各種設定	お知らせ	ディスク管理

4 「HDD（放送番組）→ i.LINK」を選んで決定します

ダビング方向を選択してください。

- HDD（放送番組） ⇨ BD／DVD
- HDD（動画アルバム）⇨ BD／DVD
- HDD（放送番組） ⇨ 携帯電話
- HDD（放送番組） ➡ i.LINK
- AVCHD記録DVD ⇨ HDD

5 ダビング先の機器を選びます

• 過去に接続した機器も表示されます。現在接続している機器を選んでください。

録画する機器を選択してください。

▲前へ 機器名	メーカー	形名
D−VHS01	●●●	●●●
D−VHS02	●●●	●●●
D−VHS03	●●●	●●●
D−VHS04	●●●	●●●
D−VHS05	●●●	●●●
D−VHS06	●●●	●●●
▼次へ		

6 ダビングしたいタイトルを選びます

• ダビングしたいタイトルを選んで決定します。

タイトル選択の操作例

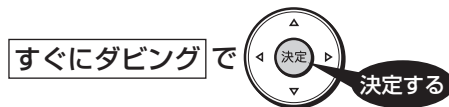
番組1	番組2	番組3	番組4	番組5	番組6
番組7	番組8	番組9	番組10	番組11	番組12

グループまたはジャンル別リストからタイトルを選びダビングしたいとき

・リモコンの グループ（ポップアップメニュー） を押してグループリストからダビングするタイトルのあるグループを選び決定したあと、タイトルを選びます。グループリストから、タイトルをジャンル別に表示させ、ダビングするタイトルを探すこともできます。

重要

- シャープ製ＢＤプレーヤー、ＢＤレコーダー（HDD 非搭載）へダビングするとき、選択できるタイトルは 1 タイトルのみです。
- HDV 機器からダビングした信号は i.LINK 出力できません。

7 ダビングをいつ開始するかを決定します

このタイトルをi. LINK「XXXX」にダビングします。

すぐにダビング　　ダビング予約

•「ダビング予約」を選んだときの操作について

156 ページ

i.LINK 機器から本機へダビングする

1 本機の電源を「入」にします

- あらかじめ、i.LINK ケーブル（市販品）で本機とハイビジョンレコーダーが接続されているか確認します。
- i.LINK 機器から本機へダビングまたは、ダビング予約するときは、必ず本機の電源を入れた状態にしてください。電源が切れた状態ではダビングが実行されません。

2 テレビの入力をハイビジョンレコーダーを接続した入力に切り換えます

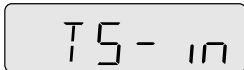
- テレビに付属のリモコンで操作します。

3 ハイビジョンレコーダーでダビングの操作「HDD →(から) i.LINK（TS)」をします

- ハイビジョンレコーダーに付属のリモコンで、HDD から i.LINK 機器へのダビングの操作を行ってください。
- ダビングの操作については、ハイビジョンレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

⇨ **ハイビジョンレコーダーから本機へのダビングを開始します**

▼ダビング中の本機の表示部

TS- in

- i.LINK 機器からダビングしたとき、録画される画質は、選択している録画画質に関係なく、DR 画質でダビングされます。

4 ダビングを止めるときは、ハイビジョンレコーダー側の [■停止] を押し、再生を停止します

- 本機の放送受信画面または、テレビの放送受信画面をご覧いただくには、本機に付属のリモコンをテレビに向け（テレビ入力切換）を押し、それぞれがテレビに接続された入力を選んでください。

取り込み中に下記のような状態になると、録画を停止します。また、異常な映像が記録されることがあります。

- 接続した機器が無信号部分を再生したとき
- 途中で i.LINK ケーブルを抜いたり、相手機器の電源を切ったりしたとき
- 相手機器の再生を中止したとき
- 相手機器で再生している映像が乱れたとき
- 相手機器で再生している番組によっては、番組の切り替わり地点で録画が停止する場合があります。

▼ i.LINK（TS）入力ダビング時のエラー表示

- **録画が開始されるまで、数秒かかります。そのため、ダビングする番組のはじめの数秒は、ダビングされません。**

ご注意

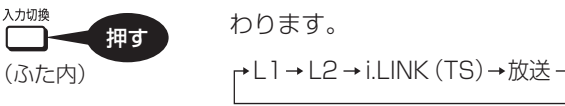
- チャプターはダビングされません。
- タイトル名は録画開始時の番組名となります。
- 録画日は、ダビングした日時となります。
- 本機へダビングできるのは、シャープ製ハイビジョンレコーダー／BD レコーダーの HDD に録画画質「HD/SD」や「DR」で録画されているタイトルです。

HDV 機器を i.LINK（TS）接続して操作する

- 本機と HDV 機器（ハイビジョンビデオカメラなど）とを i.LINK（TS）接続できます。
- HDV 機器（ハイビジョンビデオカメラなど）と i.LINK（TS）接続して楽しめる機能は、HDV 機器に録画されているタイトルの再生とダビングです。ハイビジョンビデオカメラの場合はハイビジョン映像をそのままの画質で、本機の HDD（ハードディスク）へダビングまたは録画ができます。
（本機の映像を i.LINK（TS）接続で HDV 機器（ハイビジョンビデオカメラなど）にダビング／録画することはできません。）
- HDV（ハイビジョンビデオカメラなど）と i.LINK（TS）接続したときは HDV 専用の i.LINK 操作パネルが表示されます。

本機に接続した HDV 機器の操作パネル（デジタルハイビジョンカメラを接続した場合）

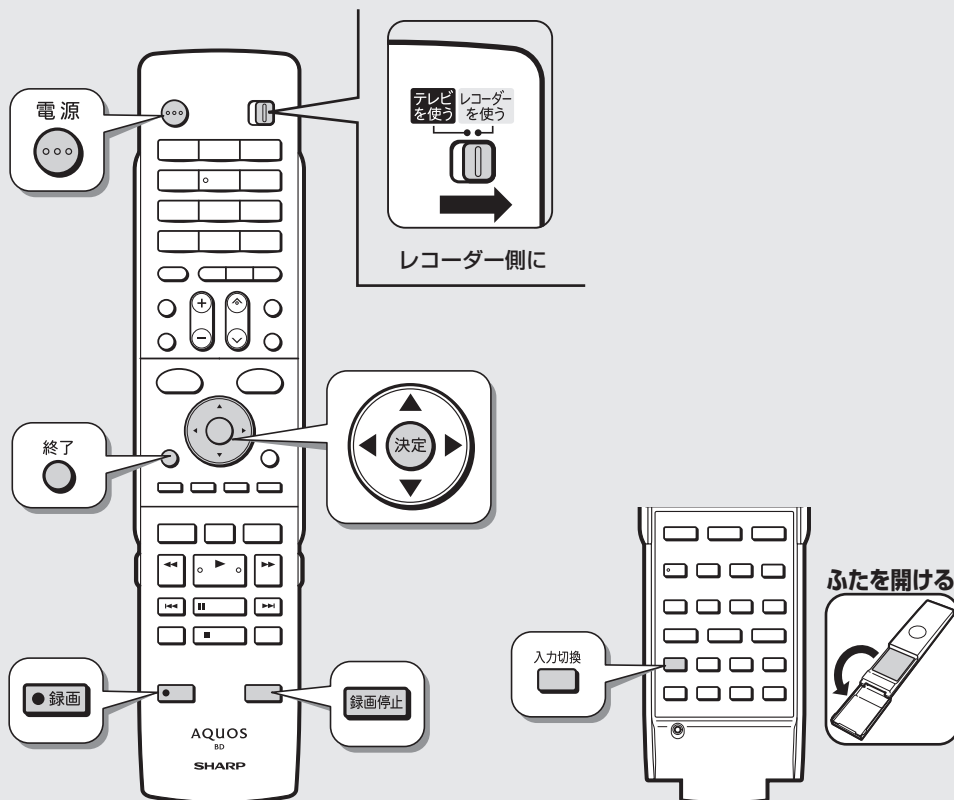
- 操作できるボタンは接続している機器により異なります。表示されていても操作できない場合があります。

HDV 機器を選ぶ

1 ①本機の i.LINK（HDV 入力／ TS）端子に HDV 機器を接続し、HDV 機器の電源を入れます
②本機の電源を入れます

2 i.LINK（TS）に切り換えます

入力切換 押す
（ふた内）

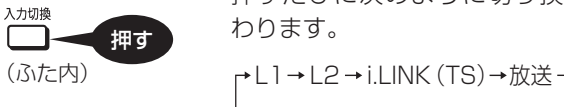
- 押すたびに次のように切り換わります。

→L1→L2→i.LINK（TS）→放送

- i.LINK 操作パネルが表示されます。

3 i.LINK 操作パネルの機器選択ボタンを選び決定します

機器選択ボタン

- i.LINK 機器選択画面に切り換わります。

4 接続した機器を選択します

- i.LINK 操作パネル画面に戻ります。

5 i.LINK 操作パネルでボタンを選び、HDV 機器を操作します

HDV 機器に録画されているタイトルを本機の HDD に録画する

1 **準備**

①本機の i.LINK（HDV 入力／ TS）端子に HDV 機器を接続し、HDV 機器の電源を入れます
②本機の電源を入れます

2 i.LINK（TS）に切り換えます

入力切換 押す
（ふた内）

- 押すたびに次のように切り換わります。

→L1→L2→i.LINK（TS）→放送

- i.LINK 操作パネルが表示されます。

3 **HDV 機器の操作**

i.LINK 操作パネルで HDV 機器を操作し、HDV 機器を再生します

デジタルハイビジョンカメラの映像を直接録画したいときは

- デジタルハイビジョンカメラをカメラモードにします。

4 **本機の操作**

録画したいシーンで [●録画] を押す

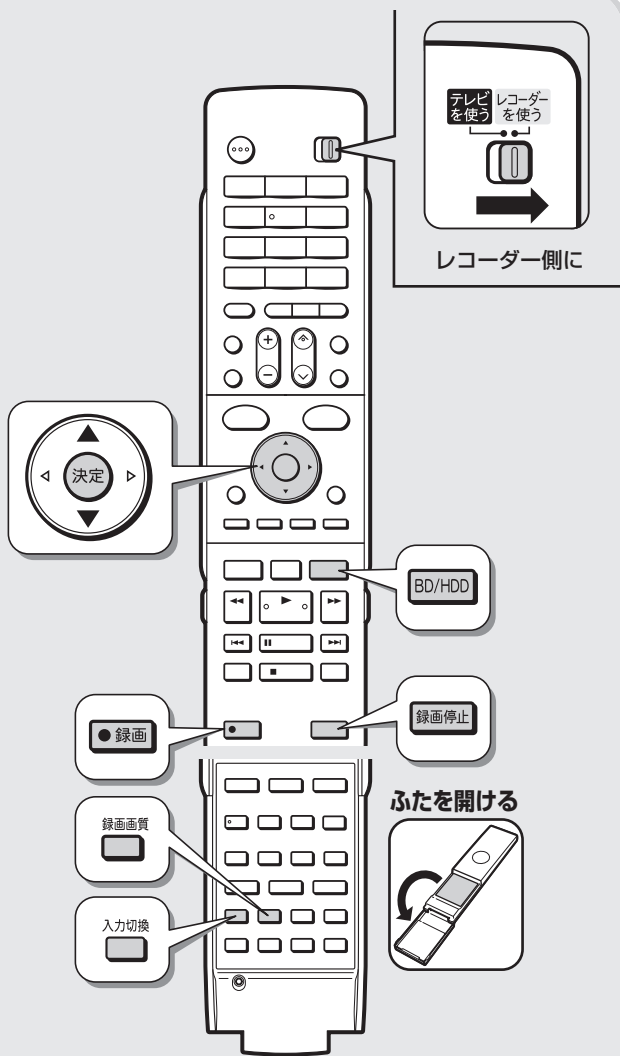
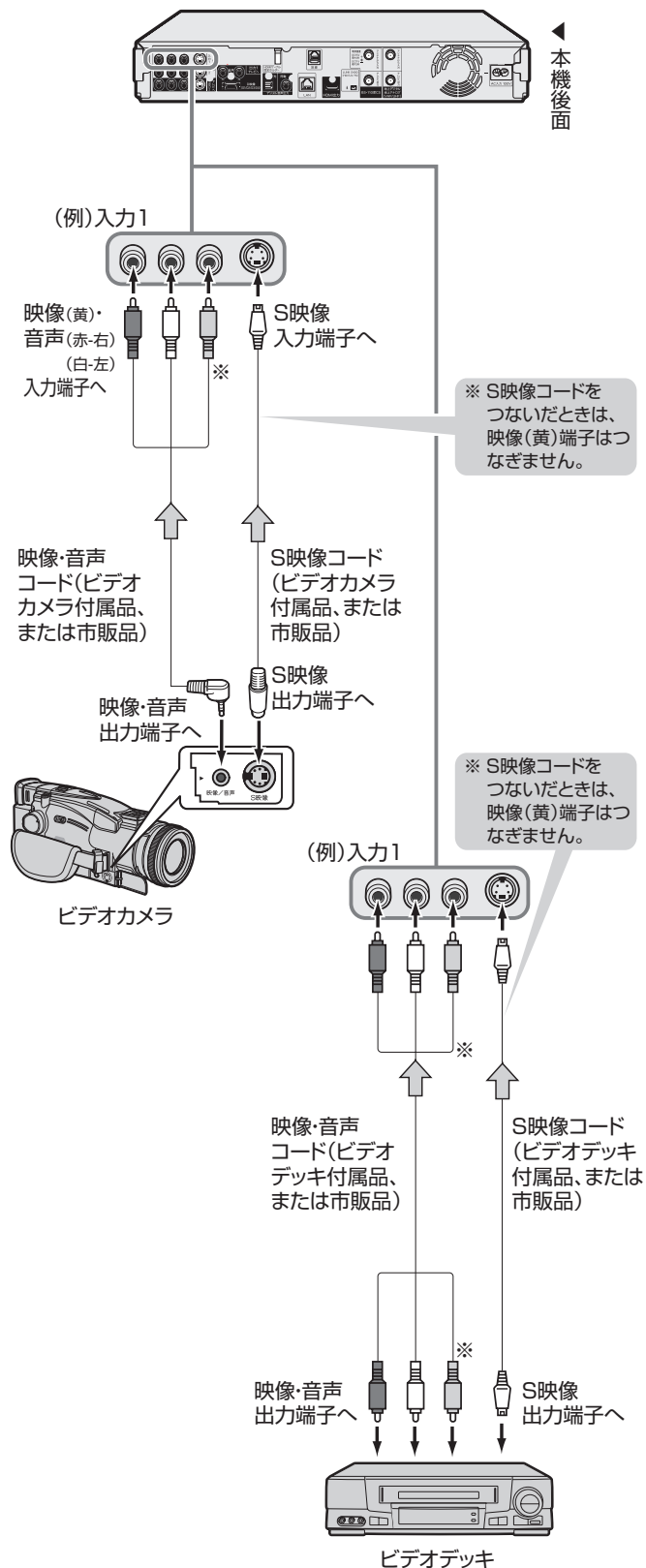
- 本機側で録画が始まります。
- HDV 機器から i.LINK 接続してダビングしたとき、録画される画質は、選択している録画画質に関係なく DR 画質でダビングされます。
- i.LINK 操作パネルを消すときは、[終了] を押します。

5 録画を終了するときは [録画停止] を押す

- i.LINK 機器からのダビングが終了したときは、入力をテレビ放送に切り換えてください。

- HDV 機器（ハイビジョンビデオカメラなど）から HDD（ハードディスク）に録画（ダビング）したタイトルは、i.LINK（TS）機器に出力できません。
- HDV 機器（ハイビジョンビデオカメラなど）から HDD（ハードディスク）に録画（ダビング）したタイトルを BD にダビングするとき、HD ○○ / 2倍 / 3倍/ 5倍/ 7倍の録画画質は選べません。

ビデオカメラやビデオデッキからダビングする

アナログ方式のビデオカメラや VHS ビデオ、外部チューナーなどの映像を本機の HDD（ハードディスク）に録画できます。

1 本機の「入力 1」または「入力 2」端子にビデオカメラなどを接続します

ご注意

- 「コピー禁止（コピーガード）」信号が入っている映像は録画できません。視聴のみ行う場合でも、正しい映像にならない場合があります。
- 著作権保護された番組をビデオデッキを介してテレビに出力すると、ビデオデッキの著作権保護機能が働いて画質劣化することがありますが機器の問題ではありません。このような場合は本機とテレビを直接接続してください。
- ビデオカメラやビデオデッキとの接続の方法は、接続する機器によって異なります。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

お知らせ

- 本機を介して見た外部機器の映像と、直接テレビに入力した映像は、画質が多少異なります。
- ビデオカメラなどの日付表示などを入れて録画したい場合は、ビデオカメラ側で表示させておいてください。

2 テレビと本機の準備をします

36 ページ

3 ビデオカメラなどの準備をします

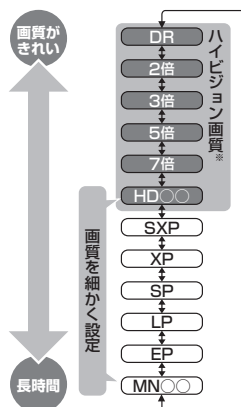
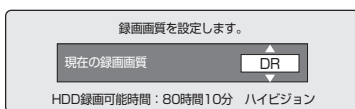
4 HDD モードを選択します

・ BD/HDD を押すと、HDD モードと BD/DVD モードが切り換わります。
・ 本体前面の HDD ランプが点灯している状態で操作します。

5 外部入力を選びます

外部機器をつないだ入力（「L1」（入力 1）または「L2」（入力 2））を選ぶ

6 録画画質設定画面を表示させます

7 録画画質を選んで決定します

※外部入力 1「L1」または外部入力 2「L2」に接続した機器から録画する場合、録画画質をハイビジョン画質に設定しても、実際に録画される画質は「SXP」となります。

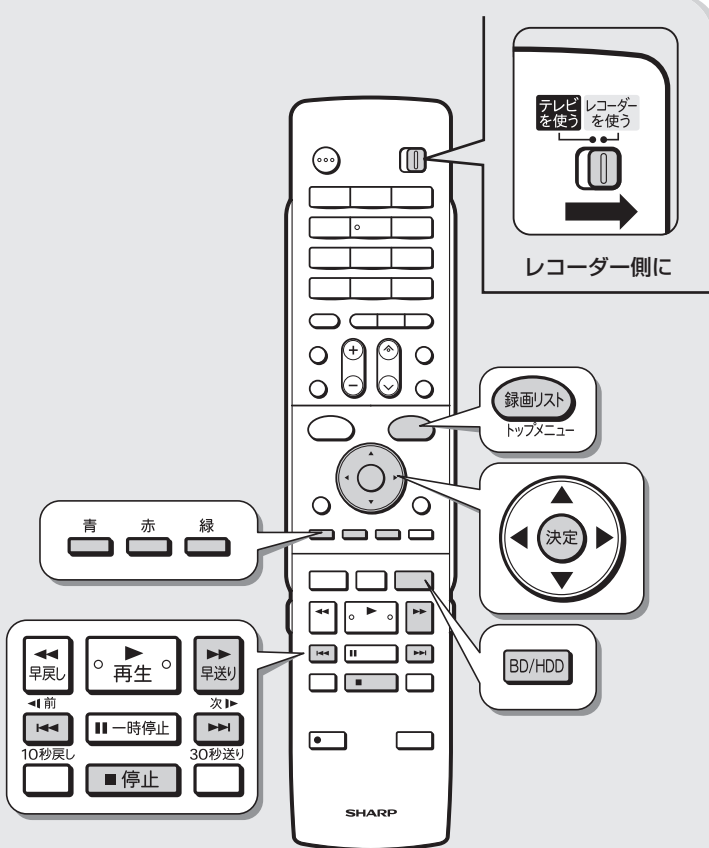
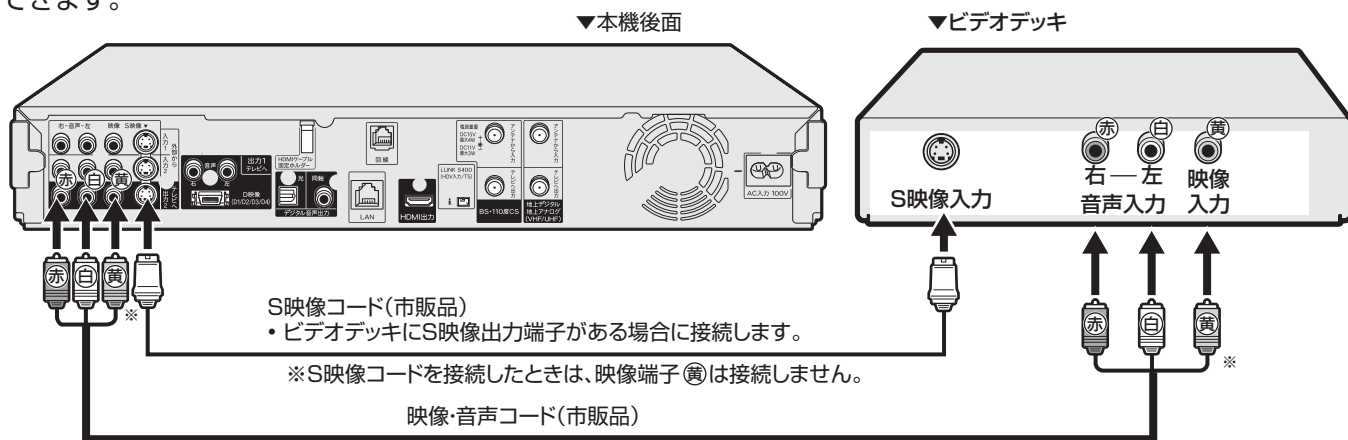
・録画画質について 55 ページ

8 接続した機器を再生します

9 録画したい場面で録画を始めます

10 録画を終了するには

本機に録画した番組をビデオテープにダビングする

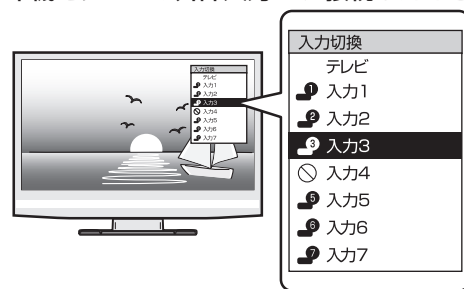
本機の HDD（ハードディスク）に録画した番組や BD、DVD ディスクにダビングした番組を、ビデオデッキで録画できます。

準備 テレビと本機の準備をします

① B-CAS カードをセットします。

② テレビの電源を入れます。

③ 本機の電源を入れます。

④ テレビに向けリモコンの テレビ入力切換 を繰り返し押し、テレビの入力を切り換えます。

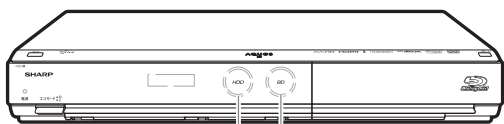
例：本機をテレビの外部入力 3 に接続したとき

• 入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。 詳しくは 37 ページ

本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

・HDD 内の 1 回だけ録画可能のタイトルや BD/DVD ディスクのタイトルをビデオテープに録画したとき、そのタイトルは HDD にダビングできません。

1 ビデオデッキの電源を入れます

2 ビデオデッキの外部入力を、本機を接続した入力に切り換えます

3 ビデオデッキに録画するタイトル(録画した番組)の録画元を、本機で選びます

- リモコンを本機に向けて押すたびに HDD モードと BD/DVD モードが切り換わります。

- HDD・BD・DVD のいずれかを選びます。
- BD や DVD ディスク内のタイトルを録画するときは、録画したいタイトルの入ったディスクをセットします。(→ **30** ページ)

4 録画リストを表示させます

5 録画したいタイトル(録画した番組)を選んで決定し再生します

画面リストの画面例

番組1	番組2	番組3	番組4	番組5	番組6
番組7	番組8	番組9	番組10	番組11	番組12

6 録画したい場面でビデオデッキの録画を始めます

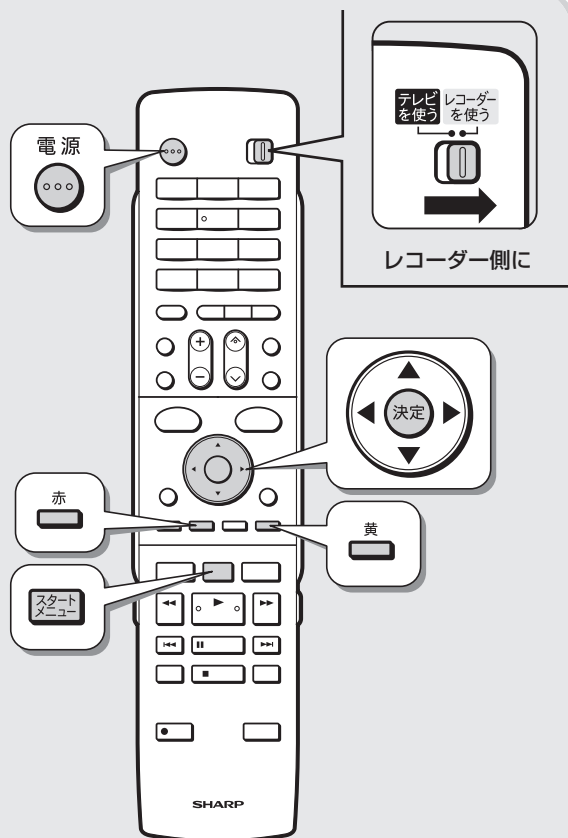
- 操作はビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

7 本機の再生を止めるときは

確認
基本
視聴
録画・予約
再生・消去
編集
ダビング
管理
ファミリンク
携帯電話・カメラ
接続・設定
基本設定
各種設定
困ったときは

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ   音楽用CD

ダビング予約する

ダビング予約をして、本機を使わない時間にダビングすることができます。

1 「HDD から BD や DVD へダビングする」の手順を行います

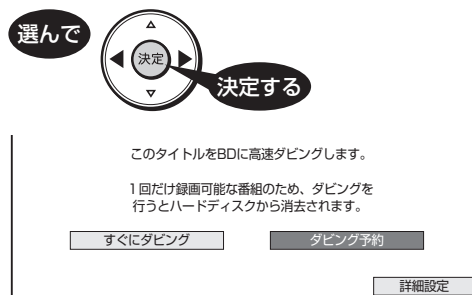
137 ～ 138 ページ 1 ～ 7

2 「ダビング予約」を選んで決定します

このタイトルをBDに高速ダビングします。

1回だけ録画可能な番組のため、ダビングを行うとハードディスクから消去されます。

すぐにダビング　ダビング予約

詳細設定

3 ダビング開始時刻（時・分）を入力します

指定した時刻に自動的にダビングを開始することができます。

ダビングを開始する時刻と自動ファイナライズの実行について設定してください。

ダビング開始時刻 午前 2 :00　自動ファイナライズ しない

設定　取消し

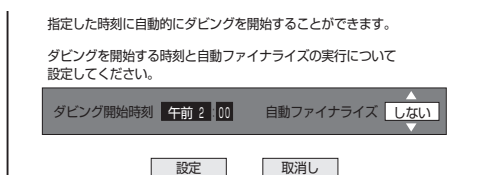
- 設定できる時刻は、現在時刻から 24 時間以内の時刻です。

ご注意

- ダビング予約ができるのは 1 件だけです。
- ファミリンク（HDMI）予約をお使いの場合は、ファミリンク予約録画の終了から、5 分以上遅らせて「ダビング開始時刻」を設定してください。
- BD や DVD ディスクから HDD（ハードディスク）へはダビングできません。ただし、AVCHD 方式のハイビジョンカメラで撮影した DVD ディスクからは、ハードディスク（HDD）にダビングできます。
- 録画予約とダビング予約が重複しているときは、メッセージが表示されます。
  重複している録画予約を取り消すか、ダビング予約の時間を変えて、再度設定してください。
- 62 件（件数には電子番組表予約、裏録予約、日時指定予約、休止中の予約が含まれます。予約書き込み機能を使った予約は含みません。）を超えての予約はできません。予約を取り消してください。（→**81** ページ）
- ダビング予約待機中は、ダビング元の消去や初期化、編集操作ができません。
- 予約録画の「重ね録り」を設定したタイトルをダビング予約する場合、ダビング予約の待機中に上書き番組が録画されると、正しくダビングできない場合があります。

お知らせ

- ダビング予約を解除したいときは、予約リストから取り消してください。
- ダビング予約が完了するまで、他のダビングはできません。
- ダビング予約では「高速ダビング」を選んでもダビング元と同じ時間分の予約時間が必要です。
- ダビング予約ができない場合について詳しくは、「故障かな？と思ったら」（→ **308**、**309** ページ）をご覧ください。

4 DVD ディスクにダビングする場合は、自動ファイナライズの「する／しない」を選んで決定します

指定した時刻に自動的にダビングを開始することができます。

ダビングを開始する時刻と自動ファイナライズの実行について
設定してください。

ダビング開始時刻　午前 2 : 00　　自動ファイナライズ　しない

設定　　取消し

- ファイナライズとは、本機でダビングしたDVDディスクを他機器で再生するために必要な処理です。「自動ファイナライズ」を「する」に設定するとダビング終了後に自動的に行われます。（数分～約1時間以上：ディスクにより異なります。）
- ダビング予約では、「自動ファイナライズ」を「する」に設定すると、ダビング元の録画時間とファイナライズのための時間の合計がダビング予約時間となります。

5 「設定」を選んで決定します

- 取消し を選ぶと手順 3 の画面に戻ります。

6 予約を確認します

確認 で

⇨ ダビング予約設定完了

メ モ

ダビング終了後に自動的に本機の電源が切れるよう設定できます。

- 本機のHDDからBDやDVDディスクへダビングする場合は、予約設定完了後に本機の電源を切るか、ダビング予約実行中に 電源 を1回押してください。
- DVD-R DL（2層）ディスクの場合は、さらにファイナライズに時間を要します。

i.LINK ダビング「HDD → i.LINK」でシャープ製のＢＤプレーヤー（BD-HP1）へダビング予約するとき

- シャープ製のＢＤプレーヤー（BD-HP1）へのダビング予約をするときは、ＢＤプレーヤー（BD-HP1）の「クイック起動設定」を「する」に設定しておいてください。電源を切っていても、ダビング予約で設定した開始時刻になると、ダビングが開始されます。
- シャープ製のＢＤプレーヤー（BD-HP1）の「クイック起動設定」を「する」に設定していても、ダビング予約開始時刻の直前（5分以内）に電源を切ったときは、ダビングができない場合があります。そのときは、電源を入れた状態にしてください。
- シャープ製のＢＤプレーヤー（BD-HP1）の「クイック起動設定」を「しない」に設定しているときは、ＢＤプレーヤーの電源は入れた状態にしてください。

タイトル名を好みの名前に変える

録画した番組のタイトル名を、ご自分がわかりやすい名前に変更できます。

ご注意

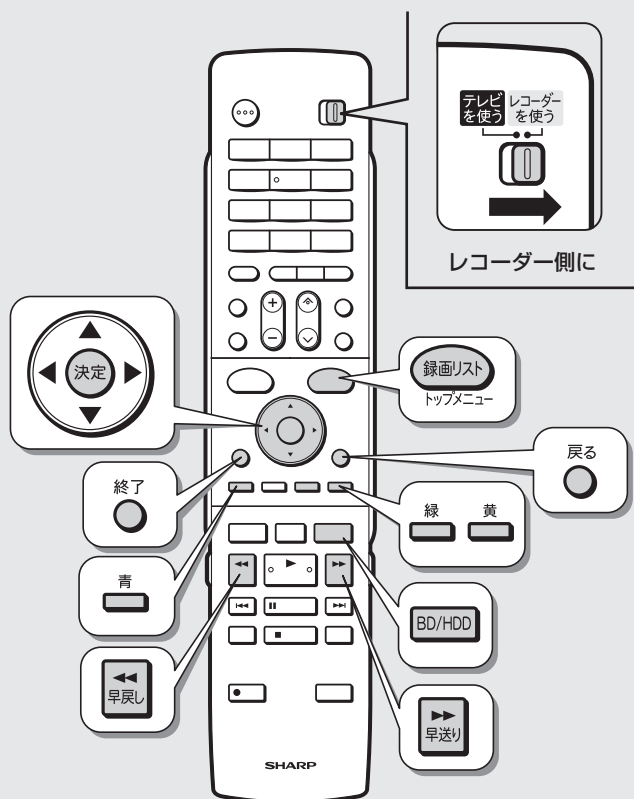
次のディスクはタイトル名の変更ができません。
- ファイナライズを行った DVD-R
- ファイナライズを行ったビデオフォーマットの DVD-RW

お知らせ

- 電子番組表のデータが取得できているときは、その番組表の番組名が自動的に付けられています。
- 地上アナログ放送または外部入力で録画したときは、「チャンネル・画質」がタイトル名として自動的に付けられています。
- HDD（ハードディスク）と BD では全角 40 字まで、DVD では全角 32 文字までのタイトル名を付けられます。

1 テレビと本機の準備をします 36 ページ

2 名前を変えたいタイトルのある録画先を選びます

- BD や DVD の場合、ディスクをセット（→ **30** ページ）してください。

3 録画リストを表示させます

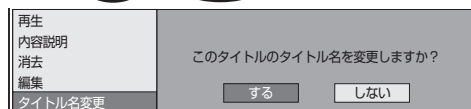
4 録画リストから名前を変えたいタイトルを選び、機能メニューを表示させます

- やリモコンのカラーボタンなどで、名前を変えたいタイトルを選びます。

5 「タイトル名変更」を選んで決定します

選んで 決定 決定する

6 「する」を選んで決定します

選んで 決定 決定する

⇨文字入力画面表示

7 タイトル名を変えます

① 文字を入力します（→ **159** ページ）

② 入力が終了したら 黄（入力終了）を押します

- 入力した文字を確認する画面になります。

8 「変更して終了」を選んで決定します

9 操作を終了します

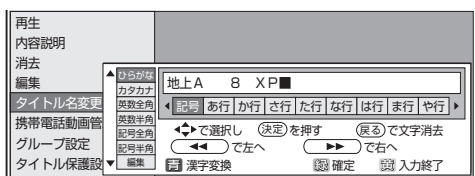
文字入力のしかた

・ 文字入力画面での文字入力の基本操作を説明します。

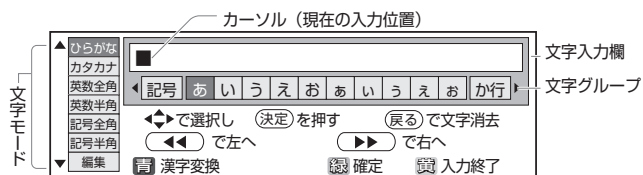
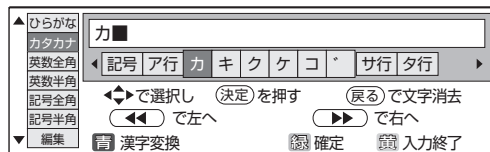
お知らせ

・文字入力画面が表示されるのは、予約名、グループ名、タイトル名などの操作です。
・漢字に変換できるのは「ひらがな」で入力したときだけです。

1 文字入力画面を表示させます

・タイトル名の場合
158 ページ

 ・現在のタイトル文字を消すには

（押すごとに 1 文字消去）

2 文字モードと文字グループを選んで決定します

3 入力文字を選んで決定します

文字入力欄に、決定した文字が表示されます。

・文字グループを変えるには（文字候補の先頭／最後で）

・文字モードを変えるには

・入力中に文字を消すには

（カーソル移動）

4 手順 2 ～手順 3 をくり返します

・漢字に変換したいときは
160 ページ

5 文字入力を終了します

⇨文字入力画面が消えて、完成した文字列を表示

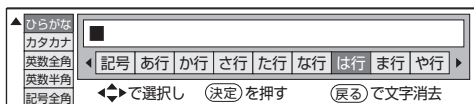
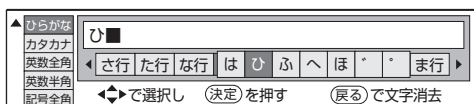
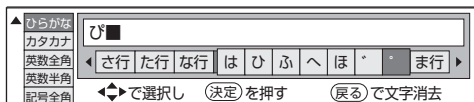
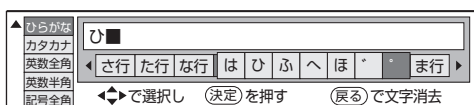
スペースを入れるには

文字グループから「空白」を選んで決定します

 ・ 選んでいる文字モードによって、半角スペースか全角スペースか決まります。

「゛」や「゜」を付けるには

[例]「ぴ」

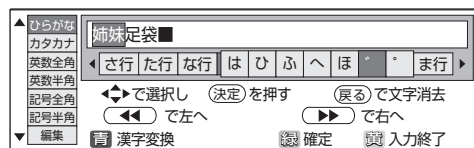
1 「ひらがな」－「は行」を選んで決定します

2 「ひ」を選んで決定します

3 「゜」を選んで決定します

・「゜」を選ぶと「ぴ」になります。

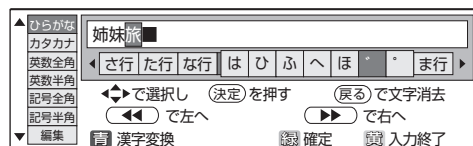
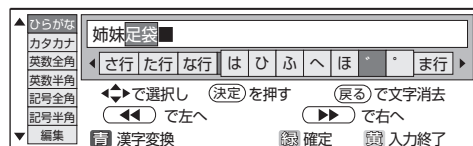
漢字に変換するには

[例]「しまいたび」⇨「姉妹旅」

1 ひらがなモードで「しまいたび」と入力して決定します

2 漢字変換を選びます

⇨変換候補表示

3 変換候補を選んで決定します

・青（漢字変換）を押して候補を選ぶこともできます。

・最初に正しい変換がされた場合はそのまま決定してください。

4 入力文字を確定します

5 文字入力を終了します

⇨文字入力画面が消えて、完成した文字列を表示

6 入力した文字に変更します

変更して終了 を

7 文字編集を終了します

入力文字一覧表

文字モード	文字グループ（展開表示）

ひらがな

記号 / あ行 / か行 / さ行 / た行 / な行 / は行 / ま行 / や行 / ら行 / わ行 / 空白

記号	ー、。・「」ー(全角ハイフン)	あ行	あいうえおぁぃぅぇぉ	か行	かきくけこ゛
さ行	さしすせそ゛	た行	たちつてとっ゛	な行	なにぬねの
は行	はひふへほ゛゜	ま行	まみむめも	や行	やゆよゃゅょ
ら行	らりるれろ	わ行	わをんゎ	空白	（全角スペース）

カタカナ

記号 / ア行 / カ行 / サ行 / タ行 / ナ行 / ハ行 / マ行 / ヤ行 / ラ行 / ワ行 / 空白

記号	ー、。・「」ー(全角ハイフン)	ア行	アイウエオァィゥェォ゛	カ行	カキクケコ゛
サ行	サシスセソ゛	タ行	タチツテトッ゛	ナ行	ナニヌネノ
ハ行	ハヒフヘホ゛゜	マ行	マミムメモ	ヤ行	ヤユヨャュョ
ラ行	ラリルレロ	ワ行	ワヲンヮ	空白	（全角スペース）

英数全角

数字 / ABC / DEF / GHI / JKL / MNO / PQRS / TUV / WXYZ / 空白

数字	１２３４５６７８９０	ABC	ＡＢＣａｂｃ	DEF	ＤＥＦｄｅｆ
GHI	ＧＨＩｇｈｉ	JKL	ＪＫＬｊｋｌ	MNO	ＭＮＯｍｎｏ
PQRS	ＰＱＲＳｐｑｒｓ	TUV	ＴＵＶｔｕｖ	WXYZ	ＷＸＹＺｗｘｙｚ
空白	（全角スペース）				

英数半角

数字 / ABC / DEF / GHI / JKL / MNO / PQRS / TUV / WXYZ / 空白

数字	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	ABC	A B C a b c	DEF	D E F d e f
GHI	G H I g h i	JKL	J K L j k l	MNO	M N O m n o
PQRS	P Q R S p q r s	TUV	T U V t u v	WXYZ	W X Y Z w x y z
空白	（半角スペース）				

記号全角

@.,: / ;_−¥ / $%!? / &#+* / =/|‾ / ”’^‘ / ()<> / []{} / 空白

<table>
<tr><td>@.,:</td><td>＠ ． ， ：</td><td>;_−¥</td><td>；＿ー￥</td><td>$%!?</td><td>＄％！？</td></tr>
<tr><td>&#+*</td><td>＆＃＋＊</td><td>=/|‾</td><td>＝／｜￣</td><td>”’^‘</td><td>”’＾‘</td></tr>
<tr><td>()<></td><td>（）＜＞</td><td>[]{}</td><td>［］｛｝</td><td>空白</td><td>（全角スペース）</td></tr>
</table>

記号半角

@.,: / ;_−¥ / $%!? / &#+* / =/|~ / "'^` / ()<> / []{} / 空白

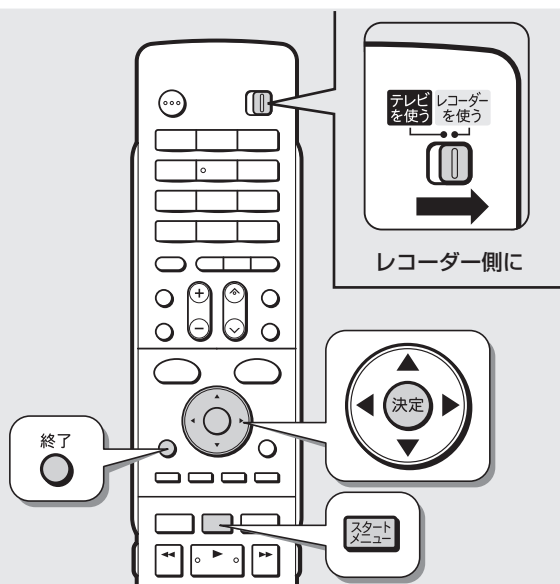
<table>
<tr><td>@.,:</td><td>@ . , :</td><td>;_−¥</td><td>; _ - ¥</td><td>$%!?</td><td>$ % ! ?</td></tr>
<tr><td>&#+*</td><td>& # + *</td><td>=/|~</td><td>= / | ~</td><td>"'^`</td><td>" ' ^ `</td></tr>
<tr><td>()<></td><td>( ) < ></td><td>[]{}</td><td>[ ] { }</td><td>空白</td><td>（半角スペース）</td></tr>
</table>

編集

漢字変換 / 左へ / 右へ / 終了 / 文字削除

※入力文字ではありません。各キーを選び決定ボタンを押すと、カラーボタン、戻るボタンの操作と同じ働きをします。

DVDディスクを他の機器で再生できるようにする(ファイナライズ)

本機でダビングしたDVDディスクを他の機器で再生できるようにします(ファイナライズ)。

ご注意

- ファイナライズ中は、電源を切る、ディスクを取り出すなどすべての操作ができなくなります。このとき電源プラグをコンセントから抜かないでください。(ディスクが使えなくなる場合があります。)
- 本機でダビングしたディスクを他社のレコーダーやパソコンでファイナライズしたり、他社のレコーダーやパソコンで記録したディスクを本機でファイナライズすると、不具合が生じることがあります。
- DVD-Rはファイナライズすると、再生専用ディスクとなりタイトル名変更、追加ダビングやファイナライズ解除はできません。
- 写真用のDVD-RWは、ファイナライズすると追加で写真のコピーができなくなります。ファイナライズ解除はできません。
- ビデオフォーマットのDVD-RWをファイナライズすると追加ダビングはできませんが、解除すると追加ダビングできるようになります。(VRフォーマットのDVD-RWではファイナライズをしても追加ダビングができます。その後のファイナライズは必要ありません。)

お知らせ

- ビデオフォーマットのDVDディスクをファイナライズすると、録画リストは表示されずタイトルメニュー(→**95**ページ)となります。
- ファイナライズには数分~約1時間以上かかります。(録画タイトル数やディスクにより異なります。)
- ファイナライズ中に予約録画開始時刻となった予約録画は、実行されません。

1 テレビと本機の準備をします

36ページ

2 ファイナライズしたいディスクをセットします

30ページ

3 スタートメニューを表示させ、「ディスク管理」を選んで決定します

スタートメニュー 押す ▶ 選んで 決定する

4 「ファイナライズ」を選んで決定します

ディスク保護	BDやVRフォーマットで記録したDVDをダビングや消去ができないようにします。
ファイナライズ	記録したDVDを他のDVD再生機器でも再生できるようにします。
ディスク初期化	BD−RE、DVD−RWを未使用の状態にします。(録画番組は全て消去されます)また、未使用のDVD−RをVRフォーマットにできます。

5 「ファイナライズ実行」を選んで決定します

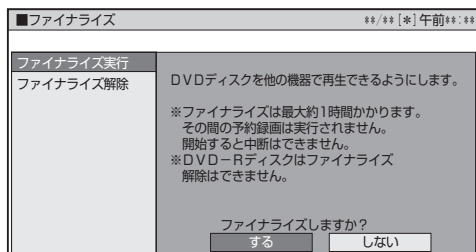
6 「する」を選んで決定します

■ファイナライズ　**/** [*] 午前**:**

ファイナライズ実行
ファイナライズ解除

DVDディスクを他の機器で再生できるようにします。

※ファイナライズは最大約1時間かかります。
その間の予約録画は実行されません。
開始すると中断はできません。
※DVD−Rディスクはファイナライズ解除はできません。

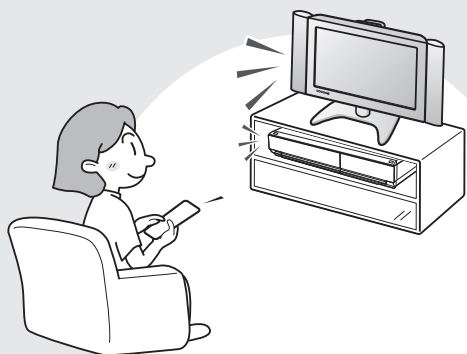
ファイナライズしますか?
する　しない

⇨ファイナライズ実行

ファイナライズしています。

7 「確認」で決定します

8 操作を終了します

ファミリンクで便利に使う

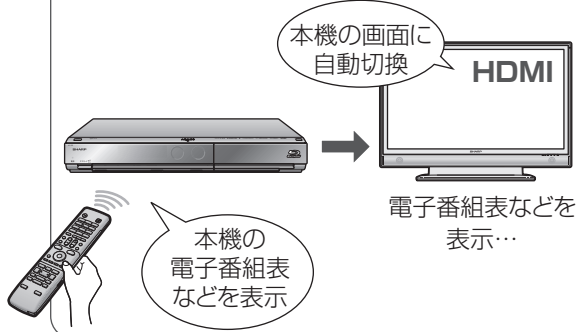
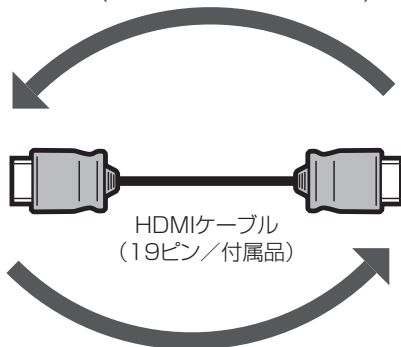
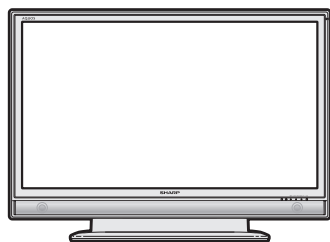
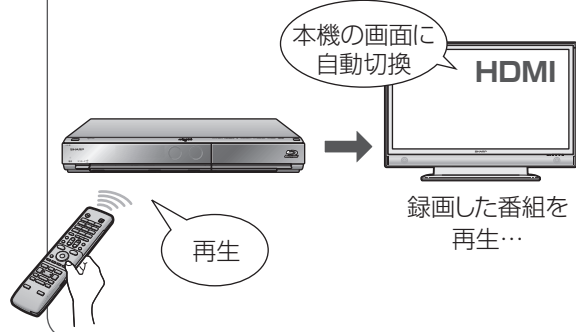
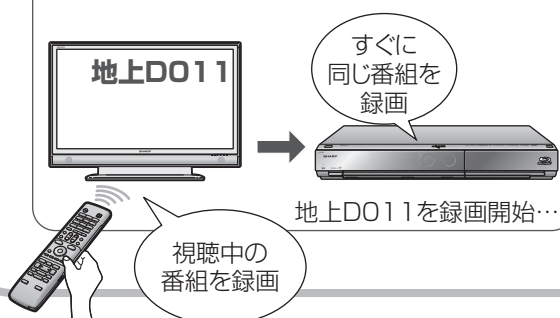
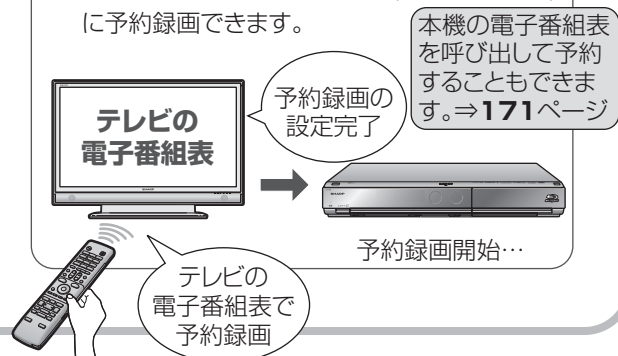
ファミリンク機能

この章では、本機とシャープ製デジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」をHDMI ケーブルで接続して行える連動操作（ファミリンク機能※）について説明しています。

※ファミリンク機能は、ファミリンク機能に対応したテレビと HDMI ケーブルで接続して操作できる機能です。

ファミリンクのための設定

ファミリンクのための接続

ファミリンクでできること

- シャープ製のファミリンク対応テレビ「アクオス」をお持ちの場合は、本機とHDMIケーブルで接続すると、ファミリンクならではの便利な連動機能で操作を楽しめます。
- ハードディスクに録画した番組は、BDまたはDVDディスクにダビングして保存できます。

ファミリンクのための設定をする

• ファミリンク対応テレビとHDMIケーブルで接続し必要な設定を行うと、ファミリンク機能をお楽しみいただけます。

設定のながれ

• 本機の再生などの操作にあわせて、テレビの電源を入れ、テレビの画面を本機の画面に切り換えたり、テレビで見ている番組をHDD（ハードディスク）に録画するなど、ファミリンクを楽しむための設定をします。
下記のながれに沿って、テレビと本機の設定を行ってください。

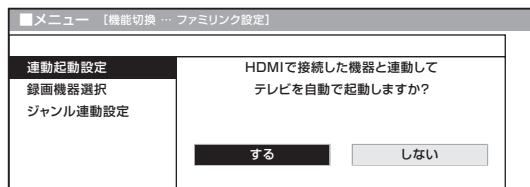
テレビと本機の電源を入れます。 ⇒ 36ページ

テレビ側の設定をします。 ⇒166ページ

テレビ側の設定です。

• 設定の説明では、ファミリンク対応のテレビを「テレビ」と表現しています。
• テレビの設定は製品により異なります。テレビの設定について詳しくは、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

① 連動起動設定（ファミリンクのための設定）⇒166ページ

• 本機の再生などの操作にあわせて、テレビの電源を入れ、テレビの画面を本機の画面に自動的に切り換えるための設定です。

工場出荷状態は「しない」に設定されています。
設定が必要です。

② 録画機器選択（ファミリンクのための設定）⇒167ページ

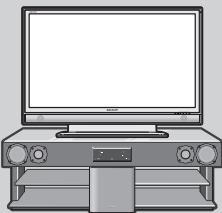
• テレビで見ている番組を、本機に内蔵のHDD（ハードディスク）に録画するための設定です。

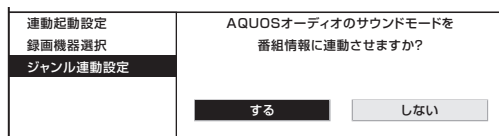
設定が必要です。

設定完了

本機の「ファミリンク設定」が必要なときやアクオスオーディオ（アクオスサラウンド）を接続しているときは、次の設定へ進みます。

アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）を接続しているときは、テレビ側の設定をします。 ⇒ 167ページ

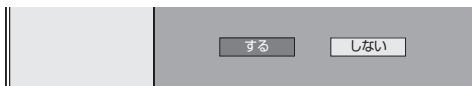
テレビ側の設定です。

ジャンル連動設定（ファミリンクのための設定）

• ファミリンク対応のアクオスオーディオ（アクオスサラウンド）を接続している場合に必要な設定です。

工場出荷状態は「しない」に設定されています。
アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）をお使いになる場合は、設定が必要です。

本機側の設定をします。（工場出荷状態では、設定する必要はありません。） ⇒ 168ページ

本機側の設定です。

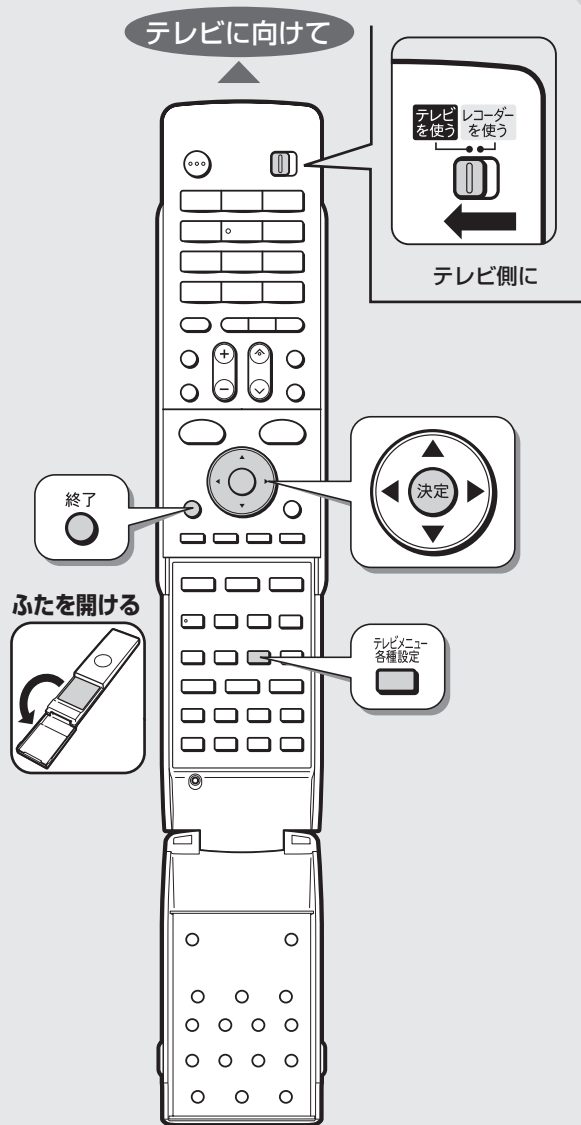
連動設定（ファミリンクのための設定）

• テレビの操作で本機の電源を入れる／切る、本機の操作にあわせてテレビの画面を本機の画面に自動的に切り換えるなどの動作をさせるための設定です。
• 本機の連動設定が「しない」に変更されているときは、「する」に設定します。

工場出荷状態は「する」に設定されています。

ファミリンク機能を使うため、ファミリンク対応テレビ側の設定を行ってください。

連動起動設定
（ファミリンクのための設定）

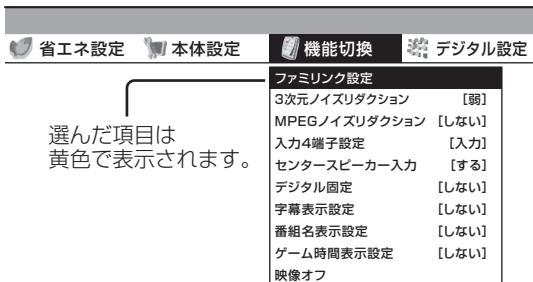
- レコーダー（本機）の操作に連動してテレビの入力を自動で切り換えるための設定です。

1 リモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチを「テレビを使う」に切り換えます

2 テレビのメニュー画面を表示します

- リモコンをテレビに向けて操作します。

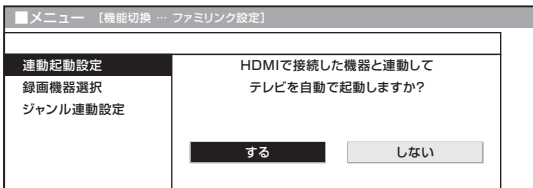
テレビメニュー 各種設定
押す
（ふた内）

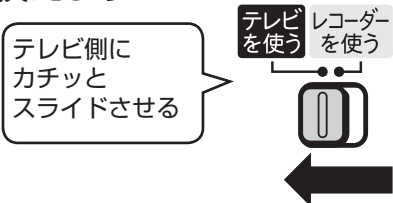
画面は一例です。

3 「機能切換」－「ファミリンク設定」を選んで決定します

画面は一例です。

- 「HDMI コントロール設定」と表示するテレビもあります。

4 「連動起動設定」を選んで決定します

画面は一例です。

5 「する」を選んで決定します

- 続いて録画機器選択を行います。
→ 167 ページの手順 6 へ進みます。

録画機器選択
（ファミリンクのための設定）

- ●録画 を押したときに録画するレコーダーを本機に決めるための設定です。

6 「録画機器選択」を選んで決定します

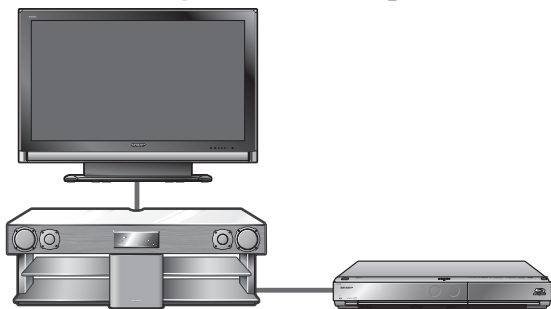
画面は一例です。

連動起動設定	リモコンの録画ボタンで録画する機器を設定します。
録画機器選択	
ジャンル連動設定	
	入力端子 / 接続位置
	入力5 / [1.0.0.0]
	入力6 / [2.0.0.0]

- 本機とHDMIケーブルで接続した、テレビの入力を選びます。

7 レコーダー（本機）を接続した入力を選び、決定します

- レコーダー（本機）を接続した「入力端子」を選んで決定してください。
- 下図のように、テレビとレコーダー（本機）の間にアクオスオーディオ（アクオスサラウンド）を接続した場合は、「入力端子」の後ろに「サブ」と表示されます。

▼ファミリンク対応テレビ「アクオス」

▲アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）　▲レコーダー（本機）

- **アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）を接続していない場合は、ジャンル連動の設定を飛ばします。→ 手順 10 へ進みます。**

アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）と接続したときの設定

ジャンル連動設定
（ファミリンクのための設定）

- ジャンル連動設定とは、デジタル放送のジャンル情報「音楽」「映画」「ニュース」などに応じて、アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）のサウンドモードを自動で適切なサウンドモードに切り換えるための設定です。（デジタル放送視聴中や、レコーダー（本機）のハードディスクに録画したデジタル放送番組の再生中に働く機能です。）

8 「ジャンル連動設定」を選んで決定します

画面は一例です。

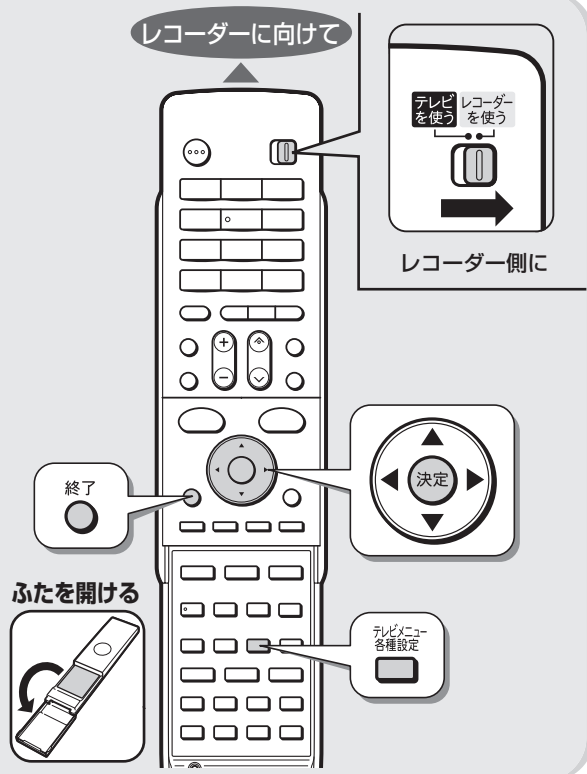
9 「する」を選んで決定します

お知らせ

- 地上アナログ放送・BDビデオ・DVDビデオにはジャンル情報がありません。
- ジャンル情報がない場合はサウンドモードが自動で切り替わりません。「サウンドモード切換」（別冊の「かんたん!!ガイド」**49**ページ）で、手動で切り換えてください。

10 設定を終了します

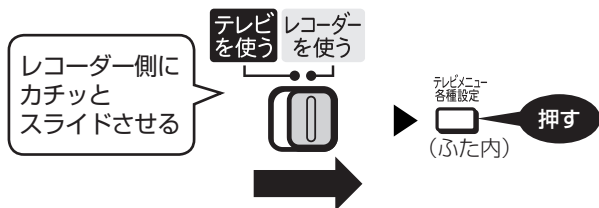
ファミリンク機能を使うため、本機側の設定を行ってください。

ファミリンク機能で本機を動作させるには、「ファミリンク設定」の「連動設定」を「する」に設定します。
（工場出荷時は「連動設定」が「する」に設定されています。）

1 HDMI ケーブルで接続します

215 ～ 220 ページ

2 テレビと本機の準備をします

36 ページ

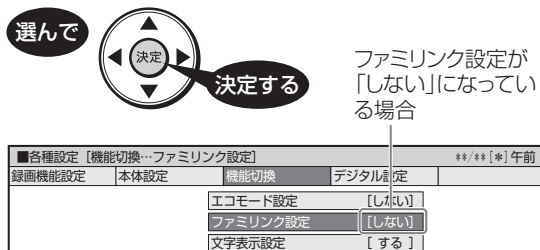
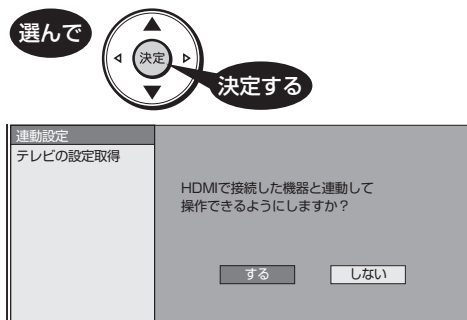
3 各種設定画面を表示させます

・「スタートメニュー」－「各種設定」でも表示させることができます。

4 「機能切換」－「ファミリンク設定」を選んで決定します

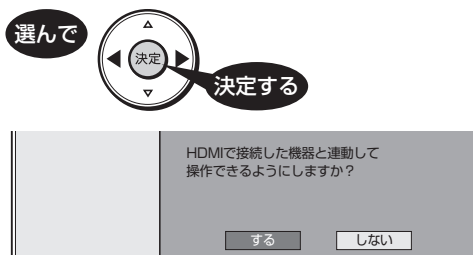
選んで　決定する

ファミリンク設定が「しない」になっている場合

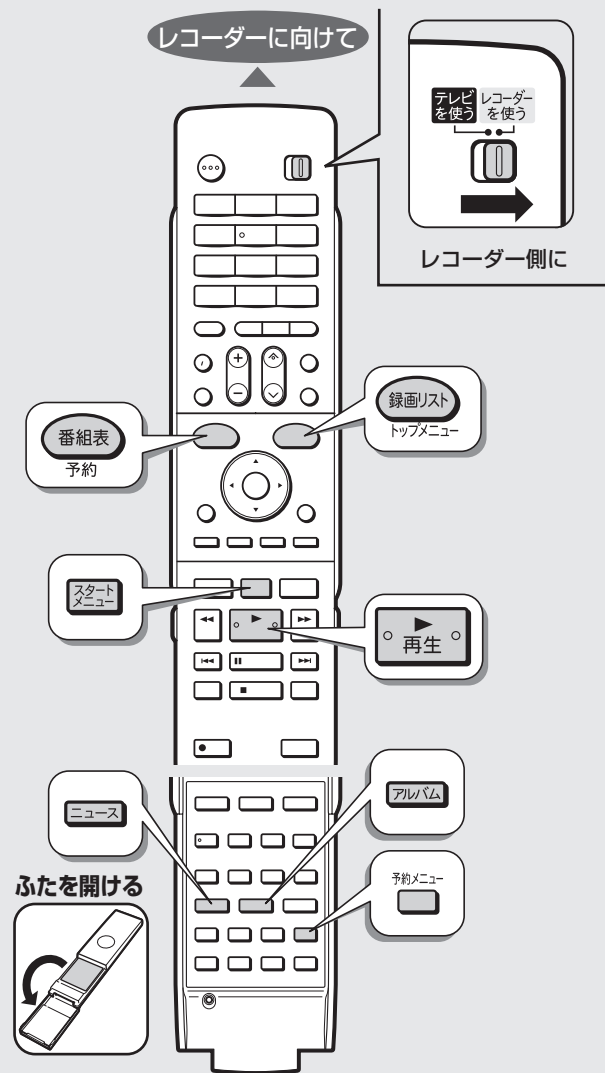
5 「連動設定」を選んで決定します

選んで　決定する

初期設定で、本機のチャンネル設定をテレビと同じにしていない場合
テレビの設定を取得する必要があります。
「テレビの設定取得」を選んで（決定）を押し、画面の指示に従って設定します。
その後、改めて「連動設定」を選んで決定してください。

6 「する」を選んで決定します

選んで　決定する

7 設定を終了します

ワンタッチ操作をする（ファミリンク）

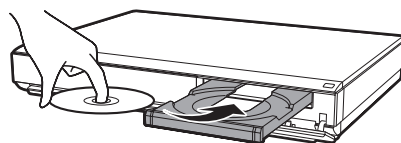
リモコンを切り換えることなく本機とテレビを連動操作できます。

本機のリモコンで テレビの入力も自動で切換 （レコーダーに向けて操作します）

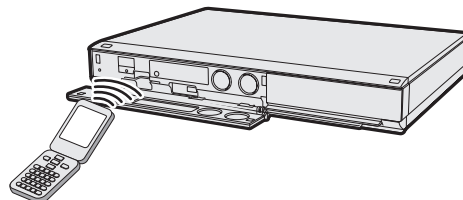
本機リモコンの下記のボタンを押すだけで、自動的にテレビがレコーダーからの入力（HDMI 入力）に切り換わり、本機の画面が表示されます。

- 番組表 ▶ 本機の電子番組表を表示
  - 本機のチューナーが、あらかじめデジタルチューナー（地上デジタル・BS デジタル・110 度 CS デジタル）に切り換えられている場合に有効です。
- 録画リスト ▶ 録画リストを表示
- アルバム ▶ アルバム（本機に保存された写真または動画データ）を表示
- スタートメニュー ▶ スタートメニューを表示
- 予約メニュー ▶ 予約メニューを表示
- 再生 ▶ 本機の再生画面を表示
- ニュース ▶ ニュース画面を表示
  自動で録画したニュース・天気番組があるとき（→ **87** ページ）

電源入からの操作でテレビの入力が切り換わります。

■ BD ビデオまたは DVD ビデオのオートプレイ

再生専用ディスクの BD ビデオまたは DVD ビデオなどをセットすると、自動的に再生が始まりテレビに映ります。

■携帯電話またはデジタルスチルカメラから写真データを HDD（ハードディスク）に取り込んだとき

自動的にテレビ画面が本機を接続した入力に切り換わり、取り込んだ写真またはアルバムが表示されます。

ご注意

- エコモードスイッチを「入」にしているときは、ファミリンクによる操作が行えません。
- 本機が動作中（再生中、録画中など）は、ワンタッチ録画やテレビの電子番組表からの予約録画が行えません。
- テレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。（ただし、録画中は録画が継続します。）

次ページへつづく

テレビで見ている番組をワンタッチ録画（テレビに向けて操作します）

本機の電源が待機状態でも自動的に電源が入り、テレビで見ている番組が録画できます。（本機のチャンネルが正しく切り換わらない場合は、**168** ページ「テレビの設定取得」を行ってください。）

●録画 ▶ **本機で録画開始**

- デジタル放送を録画したときは、本体表示部に録画終了予定時刻が、約 10 秒間表示されます。

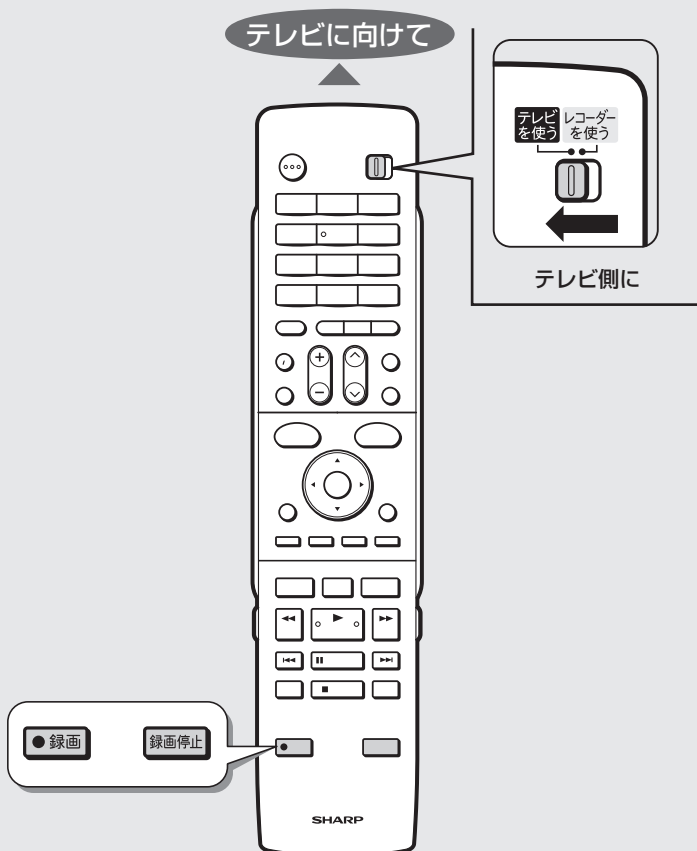
表示例

録画終了予定時刻が 10 時の場合

EN 10:00

本体表示部

- デジタル放送の録画時は、番組終了時刻になると自動で録画が停止します。

録画停止 ▶ **録画を停止**

ご注意

- エコモードスイッチを「入」にしているときは、ファミリンクによる操作が行えません。
- 本機が動作中（再生中、録画中など）は、ワンタッチ録画やテレビの電子番組表からの予約録画が行えません。
- テレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。（ただし、録画中は録画が継続します。）

テレビを見ながら録画予約する（ファミリンク）

本機またはテレビの電子番組表から録画予約ができます。

ご注意

- エコモードスイッチを「入」にしているときは、テレビの電子番組表で予約したファミリンク予約は働きません。
- テレビの番組表からの予約と本機の予約が重複しているときは、本機の予約録画が優先されます。
- テレビの番組表からの予約開始時刻に本機で再生や録画動作をしていると、予約が実行されません。予約開始時刻の５分前までに本機の電源を切ってください。
- テレビの電子番組表で予約するときは、「毎週録画」または「毎日録画」などの設定はできません。

お知らせ

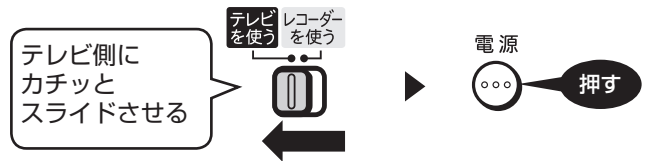
- 「AQUOS レコーダーで予約する」を選んだときに表示されるレコーダーの番組表は、現在テレビ側で見ている放送の番組表となります。
- 有料放送を録画するときは、契約されている B-CAS カードを本機にセットしてください。

予約の変更について

- 本機の電子番組表からの予約を変更する場合は、本機側で行ってください。（→ **67** ページ）
- ファミリンク予約［1］（標準）の予約を変更する場合は、テレビ側で行ってください。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をお読みください。

本機の電子番組表を表示させて予約する（ファミリンク機能選択）

1 テレビの電源を入れます

テレビ側にカチッとスライドさせる

2 予約したいデジタル放送を選びます

3 ファミリンク機能選択画面を表示させます

ファミリンク機能選択　押す
（ふた内）

4 「AQUOS レコーダーで予約する」を選んで決定します（液晶テレビ「アクオス」の画面例）

- レコーダーの電子番組表が表示されます。

5 本機の電子番組表で予約します

- 予約について詳しくは 65 ページ

開始時刻になると、録画が始まります。

テレビの電子番組表で予約する

HDD DR 2倍 3倍 5倍 7倍 SXP XP SP LP EP 市販のBDビデオ 市販のDVDビデオ 音楽用CD
BD-RE BD-R DVD-RW VR ビデオ DVD-R VR ビデオ

•本機の HDD（ハードディスク）への録画になります。

1 テレビの電源を入れます

2 予約したいデジタル放送を選びます

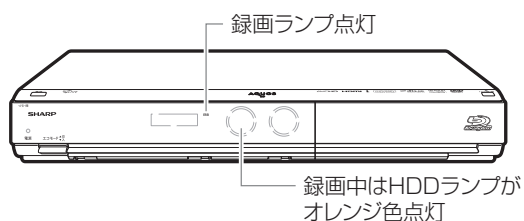
3 テレビの電子番組表を表示させせます

4 テレビの電子番組表で予約します

• テレビに付属の取扱説明書もお読みください。

5 「ファミリンク予約[1]（標準）」をします

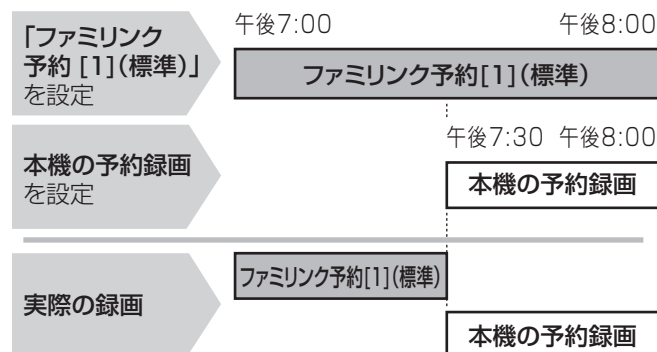
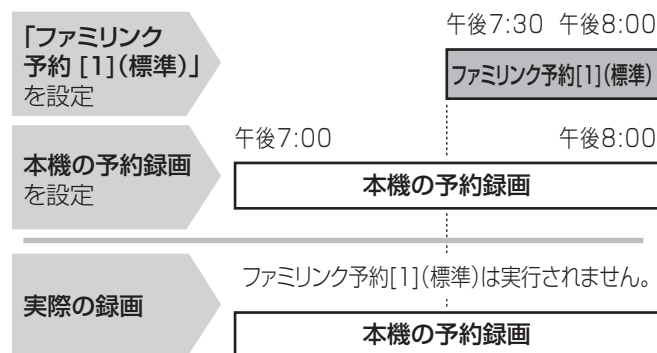
• テレビに付属の取扱説明書もお読みください。

開始時刻になると、録画が始まります。

ファミリンク予約と本機の予約録画の、予約時刻が重なる場合のご注意

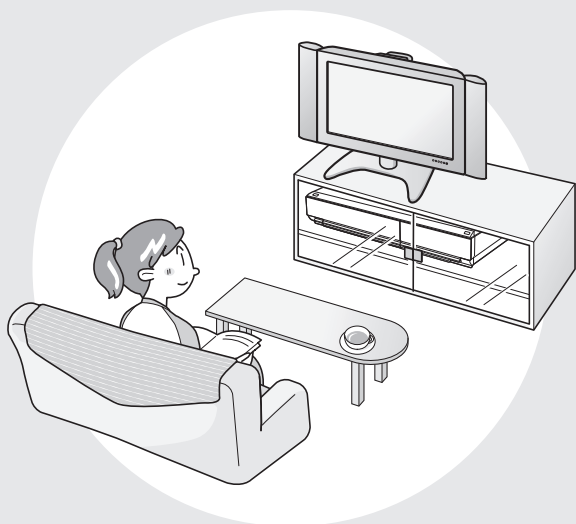
- 設定した予約時刻が、テレビの予約リストと本機の予約リストで重複しないことをご確認ください。
- 放送時間が重複している番組を録画したい場合は、本機の番組表で裏録予約してください。操作については、**72** ～ **76** ページをご覧ください。
- 「ファミリンク予約[1]（標準）※」と本機の「予約録画」が重複しているときは、本機の予約録画が優先されます。そのため、「ファミリンク予約[1]（標準）※」で予約した番組が途中で終わる、または録画されていない場合があります。

※ テレビの種類によっては「HDMI コントロール予約」と表示されるものがあります。

ファミリンク予約が正しく働かない組み合わせの例

「ファミリンク予約 [1]（標準）」録画が途中で終わる組み合わせ

「ファミリンク予約 [1]（標準）」録画が実行されない組み合わせ

「ファミリンク予約 [1]（標準）」録画開始時刻と本機の動作について

「ファミリンク予約 [1]（標準）」録画開始時刻に、録画（ダビング）中・再生中・編集中など本機が動作しているときは、「ファミリンク予約 [1]（標準）」録画が実行されません。
「ファミリンク予約 [1]（標準）」録画開始時刻の **5 分前**までに、本機の操作を停止してください。

デジタルスチルカメラ、ビデオカメラ、携帯電話を使って楽しむ

この章では、IrSS（高速赤外線通信）機能に対応している携帯電話やデジタルスチルカメラの静止画（写真データ）をハードディスクに保存、再生して見るなどの方法について説明します。

また、AVCHD 方式のデジタルビデオカメラを USB ケーブルで接続して本機に動画を取り込む方法や、携帯電話を USB ケーブルで接続して本機で録画した番組を携帯電話に転送する方法についても説明します。

本機の HDD（ハードディスク）に取り込める静止画（写真データ）について

- ファイル形式：JPEG ベースライン DCT 準拠
JPEG（Exif2.2 ／ DCF 準拠）
（プログレッシブ JPEG ／モーション JPEG は非対応）
- ファイルサイズ：IrSS 受信時最大 3.5MB
データ送受信端子受信時最大 20MB
- 画像サイズ：最大縦 4320 ×最大横 7680
（最小縦 32 ×最小横 32）
- 保存可能な枚数：最大 4000 枚
- 本機が認識できるフォルダ階層：8 階層

お知らせ

- 本機で IrSS 受信できるのは、写真データだけです。
- 携帯電話からの出力が禁止されている写真データは、携帯電話から送信できません。
- IrSS（高速赤外線通信）機能は一方向通信です。そのため、本機が受信できない場合でも、携帯電話の送信は正常に終了します。
- メニュー画面表示中などで写真を保存できないときは、画面表示を終了してから操作してください。
- 赤外線を利用したゲーム機やノート型パソコンなど周辺機器を使用しているときや直射日光が当たるような場所で使用したときは、IrSS 機能による写真取り込みができない場合があります。赤外線を利用したゲーム機やパソコンを使用しているときは使用を止めてから操作してください。
- 本機からは写真を送信できません。
- 携帯電話の機種によっては、携帯電話本体に挿入して使うメモリーカード（SD、mini SD、micro SD カードなど）に記録された写真データを IrSS 機能で送信できないことがあります。この場合は、携帯電話の本体メモリーにいったんコピーまたは移動してから送信してください。なお、画像のサイズ制限でコピーや移動ができなかったり、携帯電話側でデータ管理情報の更新をしないと携帯電話から送信できないことがあります。詳しくは携帯電話に付属の取扱説明書をご覧ください。
- IrSS 機能とは、IrSimple 1.0 準拠の一方向通信機能 Home Appliance Profile です。
- IrSS™ または IrSimpleShot™ は、Infrared Data Association® の商標です。
- IrSimple 対応と記されている機器でも IrSS 機能には対応していない場合があります。本機が HDD に高速赤外線通信で取り込める写真データは IrSS 機能に対応した機種です。
- IrSS 機能とデータ送受信端子接続を同時に行うと、先に接続した方が優先されます。データ送受信端子に接続した場合、再接続するときは、デジタルスチルカメラなど接続している機器の電源を入れ直す、または電源を入れた状態で USB ケーブルを接続し直してください。
- IrSS 機能で写真を取り込むときは、本機が停止状態（放送視聴）で行ってください。本機が動作しているとき（データ通信中、再生中、録画中など）は写真データの取り込みができない場合があります。（一発（クイック）起動が「する」に設定されているときは電源が待機状態でも取り込めます。（→ **281** ページ））

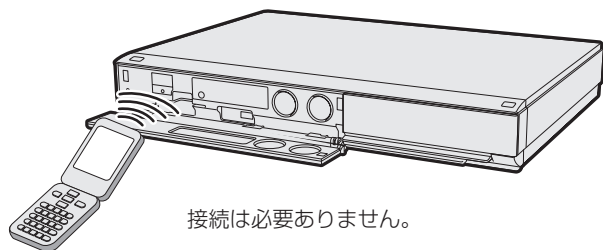
本機で写真を取り込む（フォトシステム）

携帯電話（IrSS（高速赤外線通信）機能対応）またはデジタルスチルカメラ（USB 端子搭載）から、静止画（写真データ）を本機の HDD（ハードディスク）に保存して、テレビ画面で見ることができます。
HDD（ハードディスク）に保存した静止画（写真データ）を DVD-RW ディスクにコピーすることもできます。
（BD や DVD-R ディスクにはコピーできません。）

携帯電話に記録されている静止画（写真データ）を取り込む

⇒175 ページ

- IrSS（高速赤外線通信）機能を搭載している携帯電話から、本機の HDD（ハードディスク）に写真を 1 枚ずつ取り込めます。
- 赤外線通信で取り込むので、接続は不要です。

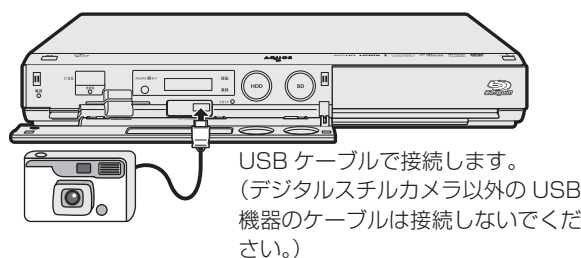
接続は必要ありません。

- 取り込んだ写真は、すぐに表示されます。

- 写真アルバムは、自動で表示されません。

デジタルスチルカメラに記録されている静止画（写真データ）を取り込む

⇒176 ページ

- USB 端子を搭載しているデジタルスチルカメラから、本機の HDD（ハードディスク）に静止画（写真データ）を一括で取り込めます。
- USB ケーブルを使って、デジタルスチルカメラと本機のデータ送受信端子を接続します。

USB ケーブルで接続します。
（デジタルスチルカメラ以外の USB 機器のケーブルは接続しないでください。）

- 取り込んだ写真は、自動で表示されません。
- 取り込みが完了すると、写真アルバムが表示されます。

・ファミリンク対応のシャープ製デジタルチューナー内蔵テレビと HDMI ケーブルで接続したときは、写真データを HDD（ハードディスク）に取り込むと自動的にテレビの入力が本機を接続した入力に切り換わります。

HDD（ハードディスク）に取り込んだ静止画（写真データ）を写真アルバムから選んで、見る

⇒178 ページ

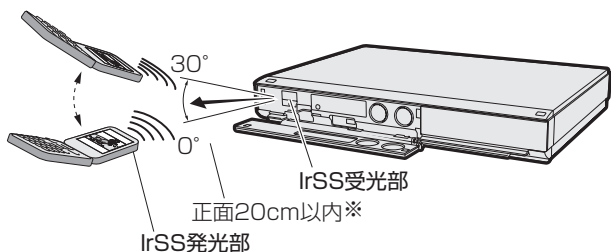
- 写真アルバムで、写真を選んで見られます。
- 写真アルバムで、写真の並べ換え・消去・スライドショー再生・グループ分け・保護などの、管理ができます。
- 写真用フォーマットで初期化した DVD-RW ディスクに、写真をコピーすることもできます。

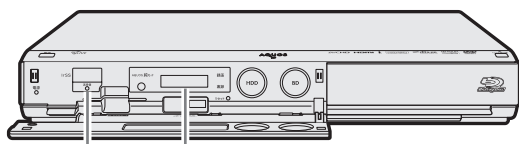
IrSS（高速赤外線通信）機能対応の携帯電話などから写真を取り込む

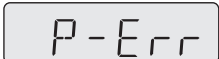
1 電源を入れます

① 本機の電源を入れます。
② テレビの電源を入れ、本機を接続した外部入力に切り換えます。
③ BD/HDDを押し、HDD モードに切り換えます。
④ 本体前面の扉を開きます。

・クイック起動（→ **281** ページ）が「する」に設定されているときは、本機の電源が切れていても写真を受信できます。（自動的に電源が入ります。）

2 IrSS（高速赤外線通信）機能対応の携帯電話で送信したい写真を選び、本機の IrSS 受光部にまっすぐに向けて送信操作します

※写真の取り込みに失敗したときは、携帯電話をIrSS受光部に近づけて送信し直してください。

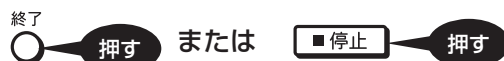
テレビ画面例

・取り込みに失敗したときは、「受光部に近づけて再度送信してしてください。（他の機器からは離してご使用ください）」などのメッセージが表示されます。取り込みに失敗したときは、送信し直してください。（赤外線を利用したゲーム機やパソコンを使用しているときは使用を止めてから送信し直してください。）

本体表示部（通信エラー）

3 受信が完了すると、取り込んだ写真が表示されます

本体表示部

Photo

・表示中の写真は、回転等の操作はできますが写真消去、他の写真への切り換えなどはできません。
・取り込んだ写真は自動的に HDD（ハードディスク）の写真アルバムに保存され、回転などの操作ができます。（→ **178** ページ）
・画像サイズによっては表示されるまで多少時間（数十秒）がかかる場合があります。
・引き続き別の写真を取り込むときは、再度手順 **2** を行います。

4 表示を終了するときは

・■停止 は、1 度押すとテレビ画面に戻ります。
・リモコンふた内のアルバムを押すとアルバムを表示することができます。（→ **178** ページ）
・ガイド表示しているときは、終了 を 2 度押すとテレビ画面に戻ります。

お知らせ

・IrSS（高速赤外線通信）機能での写真取り込みは本機が停止状態（放送視聴）のときに行ってください。
・USB ケーブルを使いデジタルスチルカメラと本機のデータ送受信端子を接続して写真を取り込んでいるときは、IrSS（高速赤外線通信）機能による写真の取り込みは行えません。

ご注意

・写真取り込み中は、録画やダビング操作、選局などの操作ができません。
・赤外線を利用したゲーム機など周辺機器を使用しているときや直射日光が当たるような場所で使用したときは、IrSS 機能による写真取り込みができない場合があります。

メモ

・IrSS（高速赤外線通信）とは、赤外線を利用してデータを高速に転送することができる規格のことです。

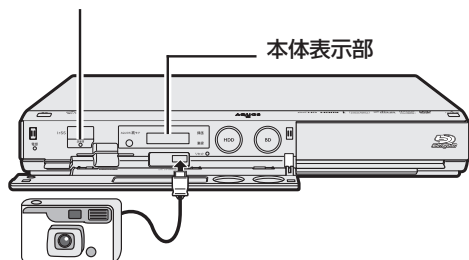
デジタルスチルカメラと本機を USB ケーブルで接続し、写真を取り込む

1 電源を入れます

① 本機の電源を入れます。
② テレビの電源を入れ、本機を接続した外部入力に切り換えます。
③ BD/HDD を押し、HDD モードに切り換えます。
④ 本体前面の扉を開きます。

・クイック起動（→ **281** ページ）が「する」に設定されているときは、本機の電源が切れていても写真を取り込めます。（自動的に電源が入ります。）

2 デジタルスチルカメラと本機のデータ送受信端子を USB ケーブルで接続します

写真取り込み中は
送受信ランプが緑点灯

3 デジタルスチルカメラの電源を入れます

・デジタルスチルカメラに写真（JPEG）しかないときは、自動で取り込みます。

4 「写真（JPEG)」を選んで決定します

・写真を取り込むときは、「写真（JPEG)」を選んで決定します。

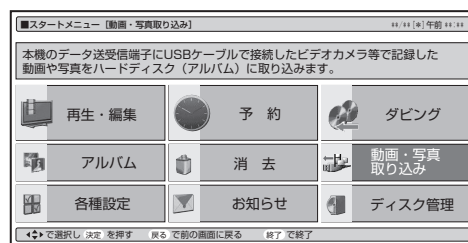
本機のハードディスクに取り込むデータを選択してください。

動画（AVCHD）　写真（JPEG）

・「写真（JPEG)」を選んで決定すると、まだ HDD（ハードディスク）に取り込んでいない写真を、自動的に取り込みます。
・AVCHD 方式のデジタルビデオカメラから HDD（ハードディスク）に取り込むときは、「動画（AVCHD)」を選びます。（→ **188** ページ）

■デジタルスチルカメラに動画と写真がある場合に、動画を取り込みたいときや、動画しかないときは（→ 187 ページ）
■動画を取り込んだあとに写真を取り込みたいときは

1 本機のスタートメニューを表示させます

2 「動画・写真取り込み」を選んで決定します

左記の手順 4 へ進みます。

お知らせ

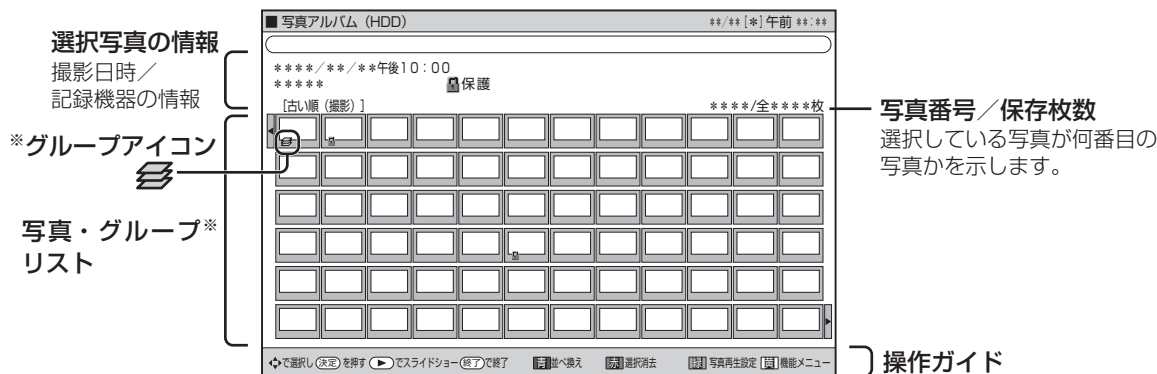
・デジタルスチルカメラ内にある本機に取り込み済みの写真は取り込まれません。
・USB ケーブルで接続しデジタルスチルカメラの電源を入れたとき、「接続された機器は対応しておりません」のメッセージが表示されたときは、写真の取り込みができません。接続したデジタルスチルカメラが「マスストレージクラス」の USB に対応しているかご確認ください。詳しくは、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。
・動作確認済のデジタルスチルカメラについては、シャープサポートページでご確認ください。（http://www.sharp.co.jp/support/）
・本機のアルバムに取り込める写真は、最大 4000 枚です。4000 枚を超えた写真は取り込めません。
・接続した機器内に 4000 枚以上のファイルがある場合は、ファイル数を減らしてから再接続してください。
・写真（JPEG）以外のファイルは取り込めません。
・写真入力中、予約録画が始まると写真入力は中断します。
・ファイル数または容量により取り込みに時間を多く要する場合（数時間要する場合）があります。途中で止めたいときは、■停止 を押します。
・メニュー画面、番組表を表示させる、再生中など本機が動作中は、写真取り込みができません。

ご注意

・写真取り込み中は、録画やダビング操作、選局などの操作ができません。

HDD に保存した写真を見る

- 携帯電話や、デジタルスチルカメラから HDD（ハードディスク）に取り込んだ静止画（写真）は、「スタートメニュー」ー「アルバム」で一覧表示させて確認することができます。

■ 72 画面の表示例

※グループはアルバムの先頭に表示されます。

- 本機の写真アルバム（HDD）は、デジタルハイビジョンテレビと HDMI ケーブル（付属品）または D 映像ケーブル（市販品）を使って接続しているときは 72 画面表示となります。
- 本機からテレビへ 1080i、1080p の解像度で映像出力している場合、メニューの「機能切換」-「文字表示設定」を「する」にすることで、写真アルバム（HDD）を 72 画面表示にすることができます。（設定については **283** ページをご覧ください。）
- ファミリンク対応のシャープ製デジタルチューナー内蔵テレビと HDMI ケーブルで接続したときは、リモコンのアルバムボタンを押すと自動的にテレビの入力が本機を接続した入力に切り換わります。

写真リストや再生時に表示されるマークについて

マーク	説明
NEW	まだ再生していない写真です。
（保護マーク）	写真保護が設定されているときに表示されます。
（消去マーク）	選択消去で選択した写真に表示されます。
（DVDマーク）	DVD への書き込みを選択した写真に表示されます。
（グループ作成マーク）	グループ作成で選択された写真に表示されます。
（グループマーク）	グループ化された写真に表示されます。

カラーボタンについて

カラーボタン	選択項目	できること	ページ
青 並べ換え	新しい順（撮影）	撮影日時の新しい順番に並べ換えます。	−
	古い順（撮影）	撮影日時の古い順番に並べ換えます。	−
	新しい順（再生）	再生または取り込み日時の新しい順番に並べ換えます。	−
	古い順（再生）	再生または取り込み日時の古い順番に並べ換えます。	−
赤 選択消去		保存されている写真を消去したいときに選択します。	181
緑 写真再生設定	スライドショー速度	スライドショー再生時の写真表示の速さを設定します。	182
	リピート再生設定	スライドショーのリピート再生の設定をします。	182
	ガイド表示設定	写真を再生したときの、操作ガイドや写真の情報を表示させるかを設定します。	181
黄 機能メニュー	スライドショー	再生する写真（「先頭の写真から」「この写真から」）を選択して、再生を開始します。	182
	消去	今選ばれている写真を消去できます。	183
	写真グループ設定	お気に入りの写真をグループ設定し管理することができます。 グループ内の写真を選んだときは、「写真グループ解除」になります。	180
	写真保護設定	今選ばれている写真を誤って消去しないように保護設定します。 グループのときは「写真グループ保護設定」になります。	183
	写真コピー	HDD に保存されている写真を、DVD-RW（写真用フォーマット）ディスクにコピーして保存できます。	184

HDD（ハードディスク）に保存された写真を一覧表示し、各写真の再生や消去を行うことができます。

写真を見るための基本操作

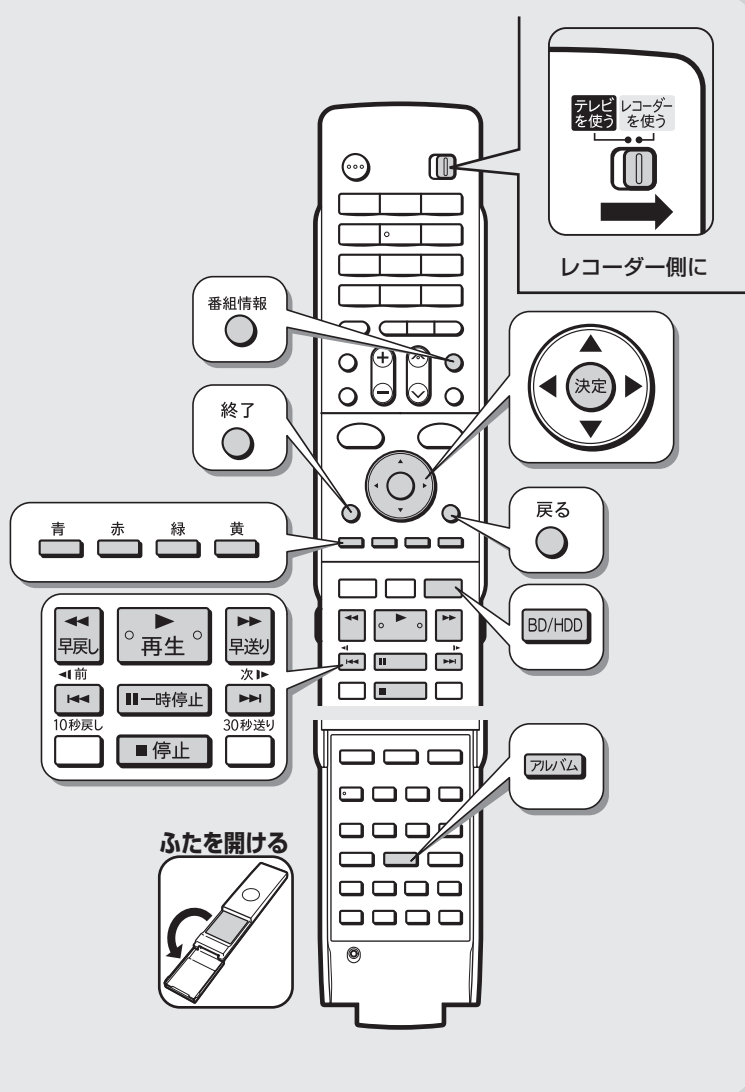
1 電源を入れます

① 本機の電源を入れます。
② テレビの電源を入れ、本機を接続した外部入力に切り換えます。
③ BD/HDD を押し、HDD モードに切り換えます。

2 写真アルバム（HDD）を表示させます

① アルバム 押す
（ふた内）

・「スタートメニュー」の「アルバム」から表示させることもできます。

② 写真アルバム を 選んで 決定する

3 見たい写真またはグループを選んで決定します

- 写真アルバム（HDD）に戻るときは 戻る を押します。
- グループを選んで決定したときは、グループ設定した写真一覧画面となります。

グループには マークが付いています。

- 写真アルバム（HDD）に取り込んだ写真を見るとき、初めて見る写真は表示されるまで多少時間（数十秒間）がかかることがあります。一度見た写真は早く表示されます。
- 写真アルバム（HDD）で 前 または 次 を押すと、ページを戻す、または送ることができます。
- 再生 を押すと、選んだ写真からスライドショー再生が始まります。最初から再生するには、黄（機能メニュー）を押します。「スライドショー」を選んで決定し、「先頭の写真から」を選び決定します。（→ **182**ページ）

再生中の操作

■ 写真を回転させる

緑 押す ⇨左へ 90 度回転します。

黄 押す ⇨右へ 90 度回転します。

- スライドショー中でも静止画面でも回転させることができます。

■ 写真を消去する

赤 押す ⇨表示中の写真を消去します。
（「する」を選んで決定します）

■ 操作ガイドの表示

青 押す ⇨操作ガイド表示の入／切をします。

- 画面の左上に「動作アイコン」、下側に操作できる機能とボタン（「操作ガイド」）を表示します。

■ 写真切り換え

⇨前後の写真に移動します。

4 写真を見終わったら

■停止 押す

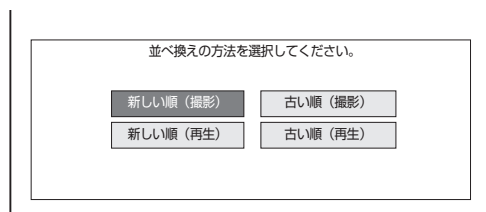
- 戻る を押すと写真アルバム（HDD）画面に戻ります。

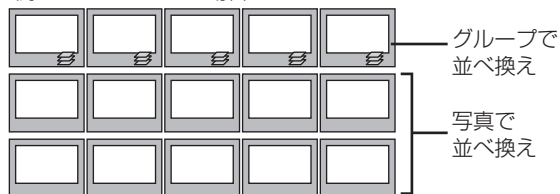
写真・グループを並べ換える

写真アルバム（HDD）の写真表示順序を並べ換え（ソート）します。

1 写真アルバム（HDD）で、「並べ換え」を選びます

⇨並べ換え画面表示

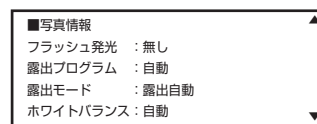
2 並べ換え方法を選びます

- 初期値は、古い順（撮影）に表示されます。
- 選択した並べ換え方法は保存され、次回も同様の順序で表示されます。
- グループは写真アルバム（HDD）の先頭に表示されます。
  グループと写真は、それぞれ選択された並べ換え順に表示されます。

例：グループがある場合

写真情報を表示する

写真再生中に、写真の情報を見ることができます。

1 写真を再生します

178 ページ

2 写真情報を表示します

- 写真情報の無い項目は空欄となります。

3 操作を終了します

写真をグループにまとめる

HDD に取り込んだ写真をグループに分けて整理します。

■写真を選択してグループにする

1 写真アルバム(HDD)を表示させます

① アルバム 押す
（ふた内）

- グループも選択できます。
- 最大 100 枚の写真を 1 つのグループにまとめることができます。グループは最大 40 個まで作成できます。

② 写真アルバム を 選んで 決定する

2 機能メニューを表示させ、「写真グループ設定」を選んで決定します

3「グループ作成」を選んで決定します

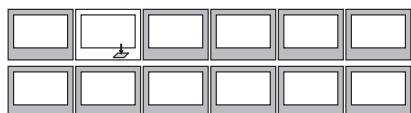
- グループ化した写真を選択した場合、「グループ解除」が行えます。グループ解除するときは、「グループ解除」を選び、決定 を押します。

4 ■新しくグループを作るとき

⇨グループにしたい写真を選び 黄 で決定します

■すでにあるグループに写真を追加したいとき

⇨先にグループ「」を選択したあと、追加したい写真を選び 黄 で決定します。

選ぶ ▶ 黄 決定する

⇨選択した写真には「」マークが付きます。

5 グループ化を実行します

- グループ化が完了したら、写真アルバム（HDD）に戻ります。
- グループには「」マークが付きます。

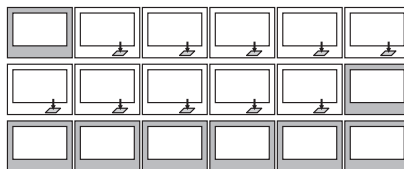
■範囲を指定してグループ化する

1 左記の「■写真を選択してグループにする」手順の 1 ～ 3 を行います

2 範囲指定を選びます

⇨範囲指定画面表示

3 開始する写真を選び 黄 で決定します

4 終了する写真を選び 黄 で決定します

- 選択された写真には「」マークが付きます。
- 緑 (選択全解除) を押すと全ての選択が解除されます。
- 個々の写真を選択解除したいときは、青（個別指定）を押し、個別指定画面に戻してから 決定 で解除したい写真を選び 黄 を押します。押すたびに選択⇔解除となります。

5 グループ化を実行します

- グループ化が完了したら、写真アルバム（HDD）に戻ります。
- グループには「」マークが付きます。

写真を選んで消去する

1 写真アルバム（HDD）で「選択消去」を選びます

⇨選択消去画面表示

2 消去したい写真を選んで 黄 で決定します

・複数の写真を選択できます。

⇨消去選択された写真には「🗑」マークが付きます。
- 保護設定した写真は、消去できません。消去したい場合は保護解除してください。（→ **183** ページ）
- グループを選択したときは、グループ設定したすべての写真を消去します。（保護設定した写真はのぞく）
- 黄 を押すたびに消去選択⇔消去選択解除となります。
- 青（全写真選択）を押すとすべての写真が選択されます。
- 緑（選択全解除）を押すとすべての選択が解除されます。
- 操作を中止したい場合は 赤（選択消去終了）を押してください。

3 消去を実行します

⇨確認画面表示

4 「する」を選んで決定します

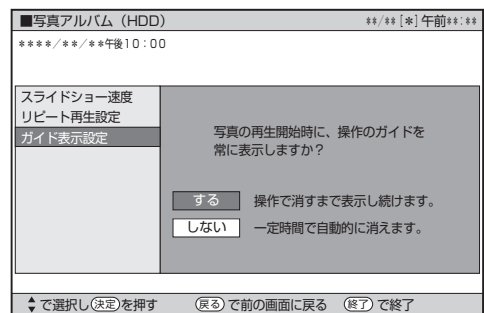
5 操作を終了します

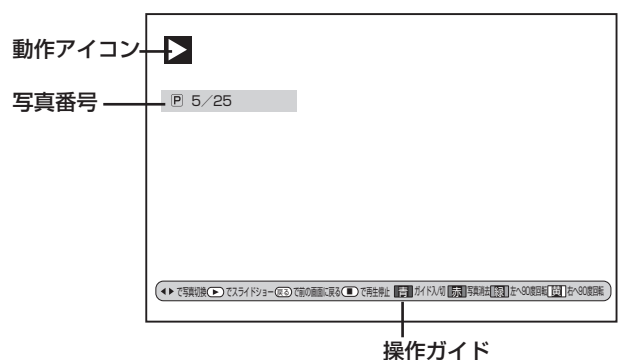
- 「機能メニュー」から写真を消去することもできます。（→ **183** ページ）
- 写真保護、グループ保護されている写真は、保護解除しないと消去できません。（→ **183** ページ）

操作ガイドを自動表示させる

1 写真アルバム（HDD）で「写真再生設定」を選びます

⇨写真再生設定画面表示

2 「ガイド表示設定」を選んで決定します

3 「する」を選んで決定します

- 「する」に設定すると、再生中に「操作ガイド」が常に表示されます。
- 「しない」に設定すると、再生開始後約 10 秒間「操作ガイド」が表示され、自動的に消えます。

4 設定を終了します

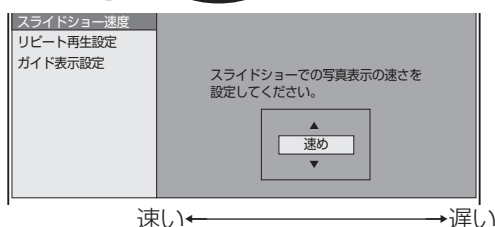
スライドショーの表示間隔、リピートを設定する

1 写真アルバム（HDD）で「写真再生設定」を選びます

⇨写真再生設定画面表示

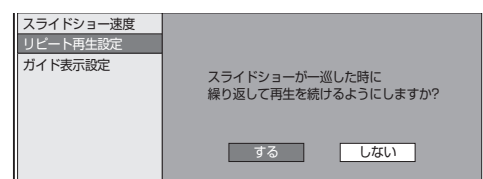
2 「スライドショー速度」を選んで決定します

スライドショー速度
リピート再生設定
ガイド表示設定
スライドショーでの写真表示の速さを設定してください。
速め

速い←→遅い

・表示間隔は、「速め」「普通」「遅め」「ゆっくり」から選べます。
・写真によっては、表示に時間がかかる場合があります。

3 スライドショーの写真表示のスピードを選んで決定します

4 「リピート再生設定」を選んで決定します

スライドショー速度
リピート再生設定
ガイド表示設定
スライドショーが一巡した時に繰り返して再生を続けるようにしますか?
する　しない

5 スライドショーのリピート再生をするかしないか選んで決定します

6 設定を終了します

・戻る を押すと写真アルバム（HDD）に戻ります。

写真を選択してスライドショーを見る

1 テレビと本機の準備をします 36 ページ

2 写真アルバム(HDD)を表示させます

② 写真アルバム を

・写真アルバム（HDD）に取り込んだ写真を見るとき、初めて見る写真は表示されるまで多少時間がかかることがあります。一度見た写真は早く表示されます。

3 写真を選択して「機能メニュー」を選びます

4 「スライドショー」を選んで決定します

5 「先頭の写真から」または「この写真から」を選んで決定します

・スライドショー再生となります。
・写真アルバム（HDD）で写真を選択して ▶再生 を押すと、選択した写真からスライドショー再生が始まります。
・リピート再生が設定されている場合、繰り返し再生します。
・一時停止するときは II一時停止 を押します。
・▶再生 を押すと一時停止が解除されます。
・■停止 を押すと写真アルバム（HDD）が終了し、放送視聴画面に戻ります。
・戻る を押すと写真アルバム（HDD）に戻ります。

選ばれている写真を消去する

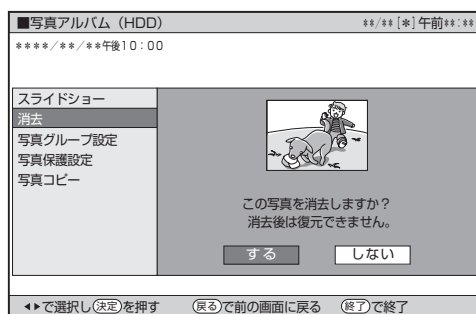
1 写真アルバム（HDD）で「機能メニュー」を選びます

⇨機能メニュー表示

2 「消去」を選んで決定します

⇨消去画面表示

3 「する」を選んで決定します

選んで 決定する

- グループ化した写真を選択した場合は、選択したグループ内の写真をすべて消去します。
- 選ばれている写真が消去され、写真アルバム（HDD）に戻ります。
- 消去した写真は復元できません。

誤消去を防ぐために保護設定する

1 写真アルバム（HDD）を表示させます

①

（ふた内）

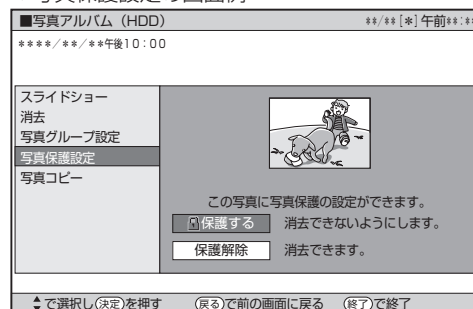
② 写真アルバム を 選んで

2 保護したい写真、またはグループ化した写真を選びます

3 「機能メニュー」を選びます

⇨機能メニュー表示

4 「写真保護設定」または「写真グループ保護設定」を選んで決定します

▼写真保護設定の画面例

- 「写真グループ保護設定」では、グループ化した写真の消去や変更をできないようにします。

5 「保護する」を選んで決定します

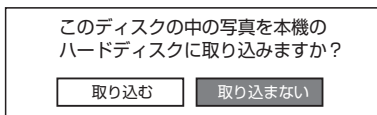
- 選ばれている写真が保護設定されます。
- 保護設定された写真には マークが付きます。
- **保護解除したいときは「保護解除」を選び 決定 を押します。**

写真データを DVD にコピーする

写真用フォーマットで初期化した DVD-RW ディスクを用意します。(→ **32** ページ)

1 DVD-RW(写真用フォーマット)ディスクをセットします

・すでに写真が記録されているディスクをセットしたときは、次のメッセージが表示されます。

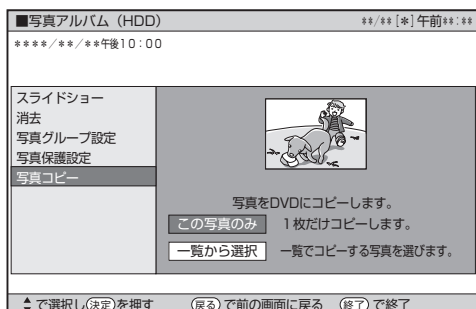
このディスクの中の写真を本機の
ハードディスクに取り込みますか?
取り込む　取り込まない

・「取り込まない」を選んで決定してから操作してください。

2 写真アルバム(HDD)を表示させ、コピーしたい写真またはグループを選びます

① アルバム 押す
(ふた内)

② 写真アルバム を 選んで 決定する

・グループ内の写真をコピーしたいときは、グループを選び決定します。グループ内の写真一覧画面になります。

3 機能メニューを表示させ、「写真コピー」を選んで決定します

・手順 **2** でグループを選んだときは、「この写真のみ」が「グループのみ」の表示に変わります。

お知らせ

・BD や DVD-R ディスクには写真データをコピーできません。

4 「この写真のみ」または「一覧から選択」を選んで決定します

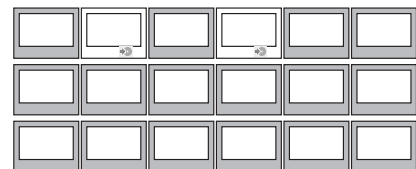
⇨写真選択画面表示

選ばれている写真またはグループのみコピーしたいとき

「この写真のみ」または「グループのみ」を選んで 決定 を押します。コピーが実行されます。

複数の写真を選択してコピーするとき

「一覧から選択」を選び 決定 を押し、手順 **5** へ進みます。

5 写真を選び 黄 で決定します

・選択された写真には「 」マークが付きます。
・複数の写真、グループ化した写真を選択することができます。
・黄 を押すたびに選択⇔解除となります。
・緑 (選択全解除)を押すと全ての選択が解除されます。

6 写真コピーを実行します

・写真コピーを中断するには、 ■停止 を押します。

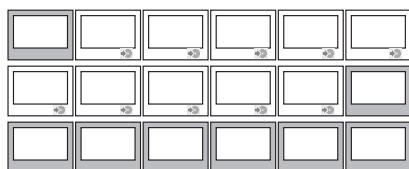
■範囲を指定して写真をコピーする

1 184 ページ「写真データを DVD にコピーする」の 1 ～ 4 を行います

2 範囲指定を選びます

青 押す ⇨範囲指定画面表示

3 開始する写真を選び 黄 で決定します

4 終了する写真を選び 黄 で決定します

・選択された写真には「 」マークが付きます。

・緑（選択全解除）を押すとすべての選択が解除されます。

・個々の写真を選択して解除したいときは、青（個別指定）を押し、個別指定画面に戻してから決定で解除したい写真を選び 黄 を押します。押すたびに選択⇔解除となります。

5 写真コピーを実行します

・写真コピーを中断するには、■停止 を押します。

■DVD-RW ディスクにコピーした写真を HDD にコピーし直す

DVD-RW にコピーした写真を HDD（ハードディスク）にコピーし、戻すことができます。

・HDD（ハードディスク）にコピーできる写真は、本機から DVD-RW にコピーした写真のみです。（HDD（ハードディスク）に保存されている写真と同じ写真は、コピーされません。）
・DVD-RW のフォルダ構成は HDD（ハードディスク）にコピーされません。

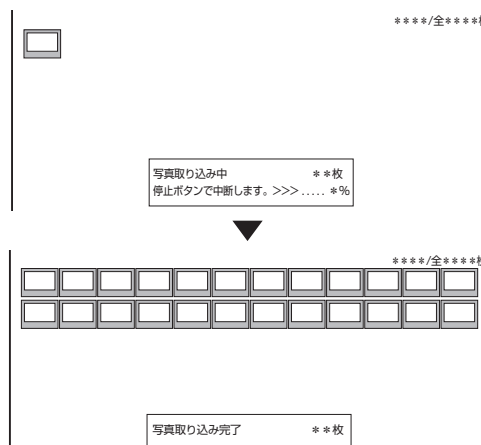
1 DVD ディスクをセットします

・HDD（ハードディスク）へ取り込むかどうかをたずねるメッセージが表示されます。

このディスクの中の写真を本機の
ハードディスクに取り込みますか？
取り込む　取り込まない

・「取り込まない」を選んだときは、HDD（ハードディスク）にコピーし直す操作は中止となります。取り込みを再開したいときは、ディスクを入れ直してください。

2 「取り込む」を選んで決定します

・写真の取り込みが開始され、表示部に取り込み枚数が表示されます。完了すると写真アルバム（HDD）が表示されます。

・取り込んだ写真はグループ化されます。

お知らせ

・写真取り込みの際、次の場合はメッセージが表示されます。
  ・DVD に取り込む写真がない場合
    →新しい写真はありません
  ・取り込みによって HDD（ハードディスク）が一杯になる場合
    → HDD（ハードディスク）内の不要な写真を削除してください
  ・番組予約、ダビング予約の開始2分前
    →写真の取込を中断しました

次ページへつづく

本機で DVD に保存できる静止画（JPEG ファイル）について

静止画（JPEG）ファイルについて

本機が保存できる静止画ファイルは JPEG 形式の静止画ファイルです。

- 本機が保存できる JPEG ファイルは「DCF」* 準拠のファイルです。
- 「DCF」* 準拠の JPEG ファイルには、「.JPG」という拡張子が付いています。
  - *「DCF」とは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の規格「Design rule for Camera File system」の略称です。主としてデジタルスチルカメラの画像ファイルを関連機器間で簡便に利用しあうことを目的として制定された規格です。ただし、「DCF」規格は機器間の完全な互換性を保証するものではありません。

本ロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。

DVDフォルダの構造

本機で静止画をDVD-RWに保存した場合、次のようなフォルダ構造になります。

お知らせ

- DVD にコピーできる写真数は最大 4000 枚です。
- JPEG 形式でもファイルによっては保存できない場合があります。
- フォルダ数やファイル数、データの容量によっては、コピーに時間がかかることがあります。
- DVD-RW 写真用フォーマットディスクは静止画と動画を混在させて記録することはできません。
- 本機で JPEG を記録した DVD-RW ディスクをパソコンで再生する場合は、ファイナライズを行う必要があります。
  ファイナライズを行ったディスクは、空き容量があっても写真の追加は行えません。ファイナライズは最後に行ってください。
- ファイナライズを行ったディスクはファイナライズ解除できません。

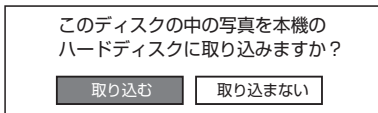
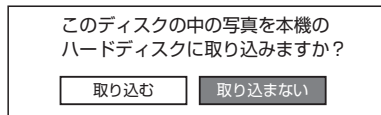
■ 本機で写真を記録した DVD-RW や、写真が記録された CD-R/-RW を再生する

1 DVD-RW や CD-R/-RW をセットします

- DVD-RW の場合は、HDD（ハードディスク）へ取り込むかどうかをたずねるメッセージが表示されます。

このディスクの中の写真を本機の
ハードディスクに取り込みますか？
［取り込む］［取り込まない］

2 「取り込まない」を選んで決定します

このディスクの中の写真を本機の
ハードディスクに取り込みますか？
［取り込む］［取り込まない］

3 BD/DVD モードにします

4 DVD-RW や CD-R/-RW の写真アルバムを表示させます

⇨各フォルダ単位で
1 枚目の写真が
表示されます。

- 緑（写真再生設定）を押し、スライドショーやリピート再生設定を行うことができます。

■本機で再生できないファイル形式について

- JPEG 以外の静止画（TIFF など）は再生できません。
- JPEG 形式でもファイルによっては再生できない場合があります。
- プログレッシブ JPEG は再生できません。
- 動画ファイルや音声ファイル、また JPEG ファイルであっても MOTION JPEG は再生できません。

■静止画を再生するとき、次のような場合があります。

- フォルダ数やファイル数、データの容量によっては、再生に時間がかかることがあります。
- EXIF 情報は表示されません。EXIF（Exchangeable Image File Format）とは、主に JPEG 圧縮で用いられる、画像ファイルに含まれる様々な情報を格納するための規格です。（詳しくは http://exif.org をご覧ください。）

■静止画を保存した CD-R/-RW ディスクの再生について

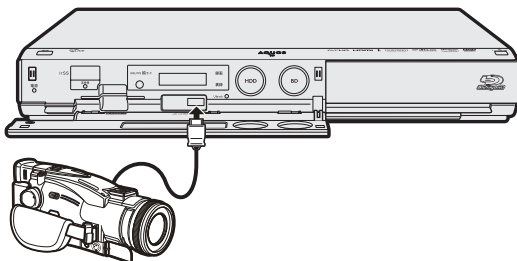
- CD-R/-RW の場合、音楽や映画などと静止画が混在したディスクは静止画しか再生することができません。ディスクによっては再生できない場合があります。
- マルチセッション・ディスクは再生することができません。
- お手持ちのコンピュータで作成や修正、コピーなど、編集された静止画や、インターネット、メールなどから取り込んだ静止画は、再生できない場合があります。
- ファイル名やフォルダ名が半角英数字以外のときは、そのファイルやフォルダは認識できません。
- 本機は、次のようなデータが保存された CD-R/-RW が再生できます。
  - EXIF 情報を含んだ画像ファイル（「DCF」準拠のファイル）
  - 画像サイズ：最小縦 32 ×最小横 32 〜最大縦 4320 ×最大横 7680 ピクセル
  - フォルダ数：最大 256
  - ファイル数：1 フォルダ内最大 256
  - ファイルサイズ：20MB 以下
  - フォルダ階層：8 階層のみ

AVCHD 方式のデジタルビデオカメラから HDD に取り込む

- AVCHD 方式のデジタルビデオカメラと本機を USB ケーブルで接続すると、デジタルビデオカメラに保存される映像（動画）を本機の HDD（ハードディスク）にダビングすることができます。また、デジタルビデオカメラで撮影した写真（静止画）を本機の HDD（ハードディスク）に取り込むこともできます。
- ダビングした映像は、本機で再生(→ **90** ページ)や編集(→ **121** ページ)をしたり、BD にダビング(→ **136** ページ）することができます。

■ USB ケーブルを接続し、本機の HDD（ハードディスク）に取り込めるデータについて

- 取り込める動画フォーマット：AVCHD 方式の動画（MPEG2 や HDV 方式の動画は、USB 接続で取り込めません。）
- 取り込める静止画フォーマット：JPEG
- 接続動作の確認を行ったビデオカメラの機種は、シャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd）でご確認ください。

■デジタルビデオカメラを本機に接続する

※ USB ケーブルは、デジタルビデオカメラに付属のケーブルをお使いください。

動画・静止画を取り込む

1 電源を入れます

① 本機の電源を入れます。
② テレビの電源を入れ、本機を接続した外部入力に切り換えます。
③ BD/HDD を押し、HDD モードに切り換えます。
④ 本体前面の扉を開きます。

2 デジタルビデオカメラと本機のデータ送受信端子を USB ケーブルで接続します。

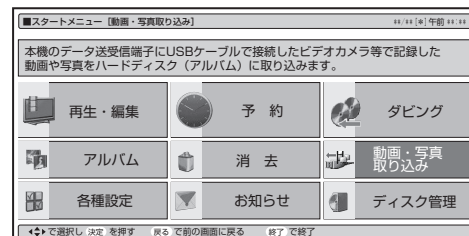
上記

3 デジタルビデオカメラの電源を入れます

- しばらくすると、自動的に次ページの手順 6 の画面が表示されます。

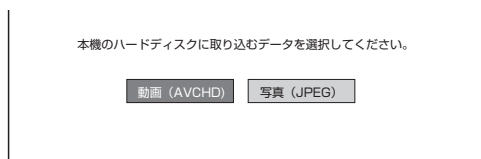
4 一度取り込んだあとに再度取り込むときは、本機のスタートメニューを表示させます

5 「動画・写真取り込み」を選んで決定します

次ページへつづく

6 「動画（AVCHD)」を選んで決定します

・動画を取り込むときは「動画（AVCHD)」を選んで決定します。

本機のハードディスクに取り込むデータを選択してください。

動画（AVCHD）　写真（JPEG）

7 動画の一覧から、取り込みたいデータを選びます

・デジタルビデオカメラに記録されている映像の一覧が表示されます。（古い順に並びます）
・「録画日」「録画開始時刻」が映像または静止画の名前になっています。
・一度に 30 件まで選べます。

取り込み操作で取り込んでいないデータをすべて選ぶとき

赤（未取込動画選択）を押します。
・すべて選択します。
ただし、済マークの付いている映像があるときは、それ以外を選択します。
・もう一度 赤 を押すと、選択が解除されます。

同じ日に撮ったデータをすべて選ぶとき

1. ダビングしたいタイトルを選びます。

2. 緑（同一日動画選択）を押します。
・選んだ映像と同じ日に撮影した映像が、自動ですべて選択されます。
・選択された映像のどれか一つを再び選び、緑 を押すと、すべての選択が解除されます。

・1 回の操作で複数の映像を取り込んだ場合、HDD（ハードディスク）の動画アルバムに、1 つのタイトルとして取り込まれます。（各 AVCHD のファイルは、チャプターで分割された状態になります。）

一度に複数の映像を任意に選ぶとき

1. 取り込みたい映像を選び、黄 を押します。
 • これを繰り返して 30 映像まで選べます。（選んだ順に取り込まれます。）

（1 タイトル決定）

映像選択の操作例

映像1	映像2	映像3	映像4	映像5	映像6
映像7	映像8	映像9	映像10	映像11	映像12

選んだタイトルには、番号とダビングマーク「① 」が付きます。

• 黄 を押すたびに選択⟷選択解除となります。

2. 複数の映像の選択が終わったら、決定を押します。

8 「はい」を選んで、決定します

はい　いいえ

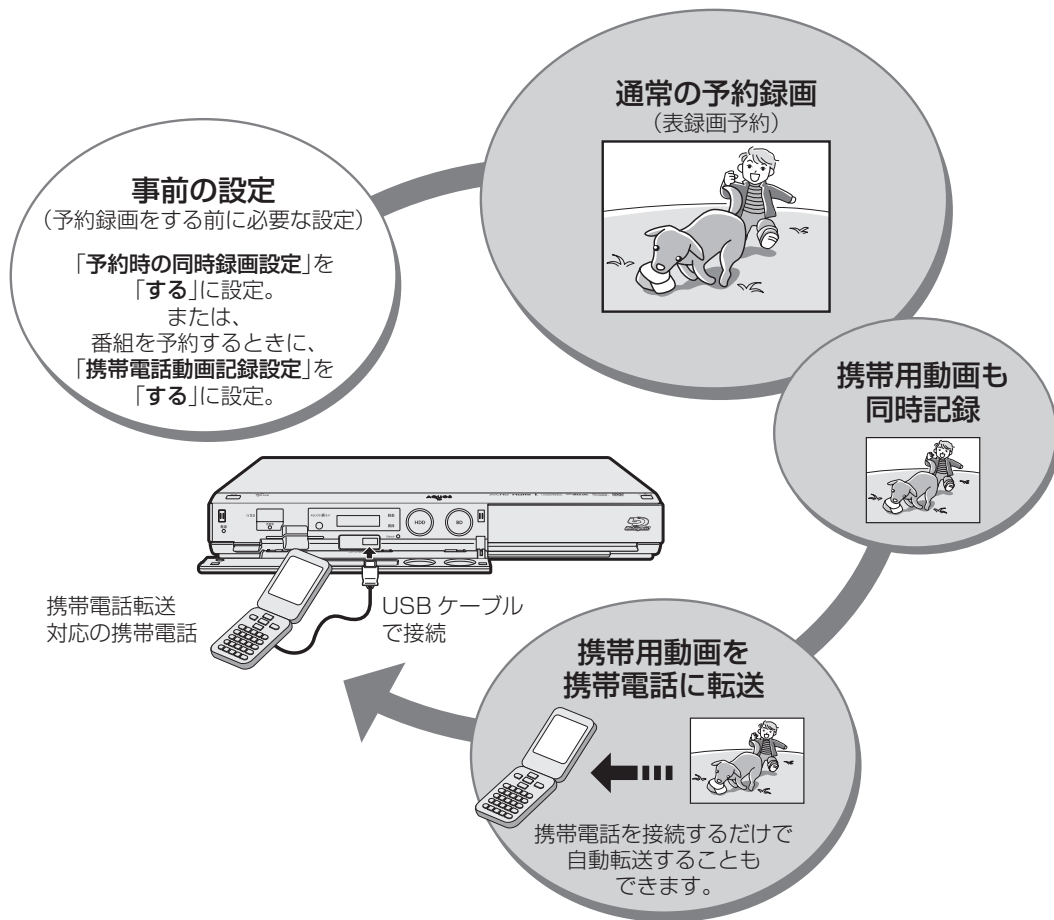
・取り込みが始まります。

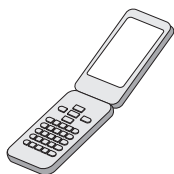
取り込み中の表示

・取り込み中は、本体前面の送受信ランプが緑点灯します。
・ダビングが終了したら、手順 7 の画面に戻ります。
・一度取り込んだ動画には、済 マークが表示されます。
・電源を切ったり、USB ケーブルを抜いたりすると、済 マークは表示されません。
・終了するときは、終了 を押します。

携帯電話に動画を転送する（携帯電話転送）

・本機のHDD（ハードディスク）に録画したデジタル放送の番組をお手持ちの携帯電話に転送し、いつでも好きな場所で再生できます。※
・予約録画をした番組は、携帯電話をUSBケーブルで本機に接続するだけで自動的に携帯電話に転送することができます（事前に **191** ページの設定が必要です）。

※将来発売されるシャープ製携帯電話と接続して使用するための機能です。
この機能は、将来ソフトウェアのアップデートを行うまで表示されません。
この機能は、将来ソフトウェアのアップデートを行うことで、ご使用いただけます。
将来デジタル放送のダウンロードによるアップデートサービスを行うことや対応機種などの条件が決定しましたら、シャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd）にてご案内いたします。（2009年2月現在）

転送できる携帯用動画の画質と、再生時の画面サイズについて

画面サイズ	選択項目	ワイド（16：9）の番組を見るとき	4：3の番組を見るとき
ワイド（16：9）	**高画質** ・転送した番組を高画質で見たい場合に選択します。 ・640 × 360 画素 ／ 30フレームで記録します。		
	長時間 ・画質よりも、転送できる量を優先したい場合に選択します。 ・320 × 180 画素 ／ 30フレームで記録します。		

お知らせ

携帯用動画について
・携帯用動画を作れるのは、デジタル放送のみです。
・「ダビング10」の番組は、携帯電話に転送するとダビング可能回数が1回減ります。
・「1回だけ録画可能」の番組は、携帯電話に転送するとオリジナルのタイトルと携帯用動画の両方が本機のHDD（ハードディスク）から削除されます。
・携帯電話に転送した番組は、録画リストから「NEW」のアイコンが消えます（視聴済みとなります）。
・オリジナルの映像を編集（→ **121** ページ）すると、その番組の携帯用動画がHDD（ハードディスク）から削除されます。

携帯電話に入れて使うSDカードの、容量について
・SDカードの容量が足りないときは、容量が一杯になるまで転送します。
・携帯用動画の容量が2GBを超える場合は、本機が自動的に動画データを分割します（1つの番組が分割されます）。

基本設定から、携帯用動画の転送までのながれ

「携帯電話転送設定」(基本の設定)をします。 ⇒191ページ

スタートメニューの「各種設定」－「録画機能設定」－「**携帯電話転送設定**」で設定します。
ここで設定した値は、携帯電話転送機能の初期値になります。

① 予約時の同時録画設定

- 予約録画時に、同時に携帯用動画を記録するかどうかの設定です。
- 「する」に設定しておくと、携帯電話に動画を高速で転送できます。

工場出荷状態は、「しない」に設定されています。

② 携帯電話動画画質設定

- 携帯電話の画面サイズと、動画の画質を決めるための設定です。

設定が必要です。
工場出荷状態は、「高画質」に設定されています。

③ 自動転送設定

- 本機にシャープ製の携帯電話を接続したときに、携帯用動画を自動転送するかどうかの設定です。
- 携帯用動画を選んで転送したい場合は、「しない」に設定します。

工場出荷状態は、「しない」に設定されています。

携帯電話に転送したい番組を、予約録画をします。

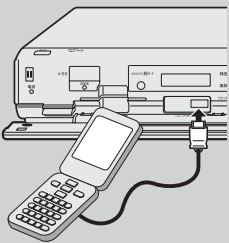
通常の予約録画をします。

携帯電話動画記録設定 ⇒193ページ

- 予約録画時に、同時に携帯用動画を記録しておくかどうかの設定です。1つの予約ごとに設定できます。
- 「日時指定予約」の予約設定時に、「詳細設定」から設定できます。
- 電子番組表から予約した場合は、もう一度同じ予約を選ぶか、予約リストから予約の変更をして、「詳細設定」から設定できます。

「携帯電話動画記録設定」の初期値は、「各種設定」－「録画機能設定」－「携帯電話転送設定」－「予約時の同時動画設定」によります。

本機に携帯電話を接続して、携帯用動画を転送します。 ⇒195ページ

本機と携帯電話を、**USBケーブル**で接続します。

自動的に転送される場合

- 「携帯電話転送設定」－「自動転送設定」を「する」に設定している場合は、本機にシャープ製の携帯電話を接続すると、自動的に転送が始まります。
- 未視聴の番組（携帯用動画のある番組）を順番に、最大10番組までが転送されます。

自動転送か手動転送かは、「各種設定」－「録画機能設定」－「携帯電話転送設定」－「自動転送設定」によります。

手動で転送する場合

- スタートメニューの「ダビング」－「HDD → 携帯電話」を選んで決定し、一覧表示の中から転送したい番組を選びます。（一覧表示の中から録画された番組を選ぶと、録画リストの画面に マークが出るものがあります。これは、携帯用動画を記録してあるタイトルです。）
- 「画質設定」で、携帯電話の画面サイズと、動画の画質を決めることもできます。

「画質設定」の初期値は、「各種設定」－「録画機能設定」－「携帯電話転送設定」－「携帯電話動画画質設定」によります。

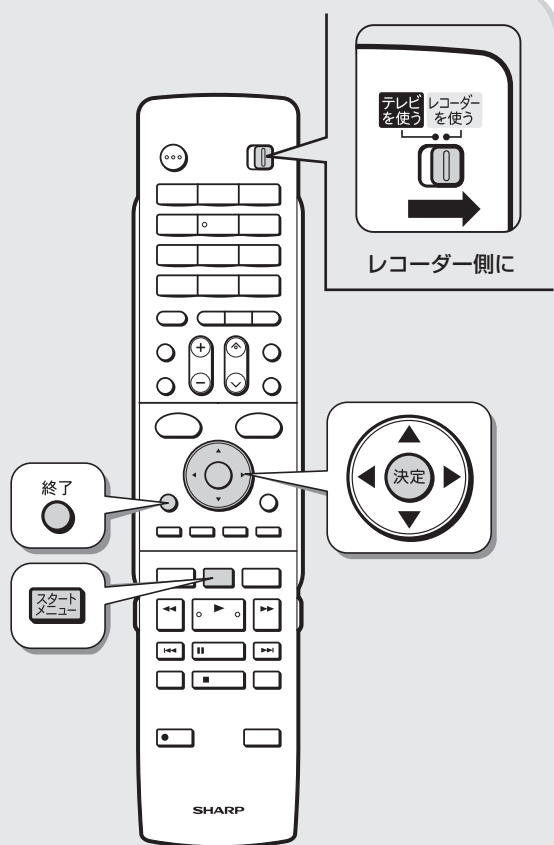
転送完了です。携帯電話で携帯用動画をお楽しみください。

携帯電話転送を使うための準備をする

- 携帯用の動画を作成するための設定を行います。
- 動画の作成は、すべての予約録画時に自動的に作成する方法と、携帯用動画を作成したい番組だけ自動的に作成する方法があります。

お知らせ

本機のHDD（ハードディスク）に記録した携帯電話用動画を携帯電話へ転送しているときや、AVCHD方式のデジタルビデオカメラから動画を取り込んでいるときは、以下の動作となります。

- 裏録以外の録画操作は行えません。
  転送中は、転送画面となります。取り込み中は、取り込み中の表示となります。
- 予約録画が開始されると、転送や取り込みは中止されます。

■「各種設定」で携帯用動画の自動作成を設定する

- 「各種設定」で自動作成を設定しておくと、予約録画した番組すべてに携帯用動画が作成されます。
- USBケーブルで携帯電話を接続するだけで自動的に転送されるように設定することもできます。

1 スタートメニューを表示させます

2 「各種設定」を選んで決定します

3 「録画機能設定」－「携帯電話転送設定」を選んで決定します

■各種設定［録画機能設定…携帯電話転送設定］ **/**

録画機能設定	本体設定	機能切換	デジタル設定

項目	設定
携帯電話転送設定	
ニュース・天気録画設定	
HD録画画質設定	［HD10］
MN録画画質設定	［MN65］
音声記録方式設定	［DD 2ch］
外部入力音声設定	［ｽﾃﾚｵ］
二ヶ国語音声設定	［主音声］
オートチャプター設定	［ - - ］
DVD自動初期化設定	［ＶＲ］

4 「予約時の同時録画設定」を選んで決定します

次ページへつづく

5 「する」を選んで決定します

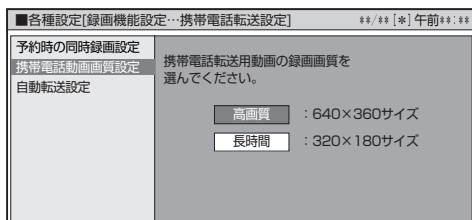
・お買い上げ時の設定は「しない」です。

6 「携帯電話動画画質設定」を選んで決定します

■各種設定[録画機能設定…携帯電話転送設定]　**/** [*] 午前**:**

予約時の同時録画設定
携帯電話動画画質設定
自動転送設定

携帯電話転送用動画の録画画質を
選んでください。

高画質　：640×360サイズ
長時間　：320×180サイズ

7 画質を選んで決定します

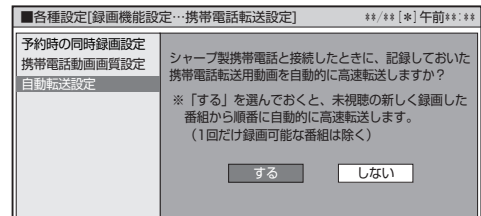
・「高画質」
　→ 640 × 360/30 フレームで記録
・「長時間」
　→ 320 × 180/30 フレームで記録

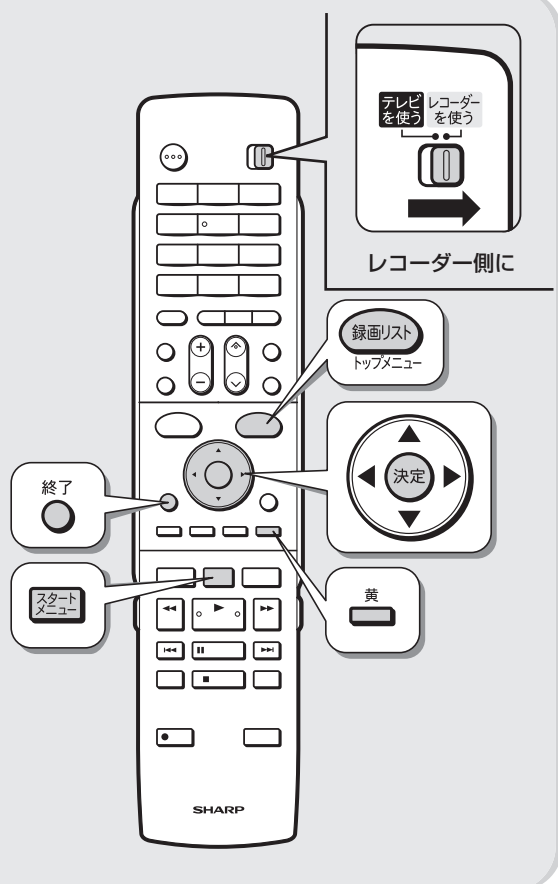
8 「自動転送設定」を選んで決定します

■各種設定[録画機能設定…携帯電話転送設定]　**/** [*] 午前**:**

予約時の同時録画設定
携帯電話動画画質設定
自動転送設定

シャープ製携帯電話と接続したときに、記録しておいた
携帯電話転送用動画を自動的に高速転送しますか？
※「する」を選んでおくと、未視聴の新しく録画した
　番組から順番に自動的に高速転送します。
　（1回だけ録画可能な番組は除く）

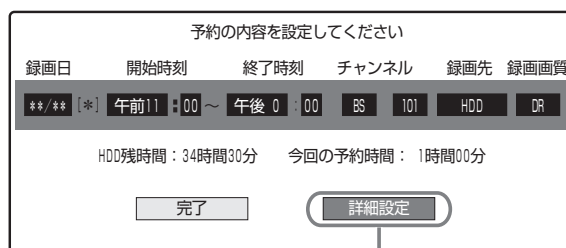
する　しない

9 「する」を選んで決定します

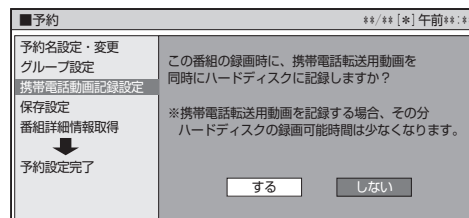
・ お買い上げ時の設定は「しない」です。

■録画予約時に携帯用動画の自動作成を設定する

・HDD（ハードディスク）の容量を節約したいときなどは、転送したい番組だけ携帯用動画を作成することができます。

1 電子番組表や日時指定で録画予約の設定をします

・ 予約の操作については、**65** ～ **71** ページをご覧ください。

2 予約の「詳細設定」画面を表示させます

予約変更画面で「詳細設定」を選んで決定します。

3 「携帯電話動画記録設定」を選んで決定します

4 「する」を選んで決定します

・ 録画画質や自動転送の設定をしたいときは、**191** ページ「■「各種設定」で携帯用動画の自動作成を設定する」の手順で行ってください。

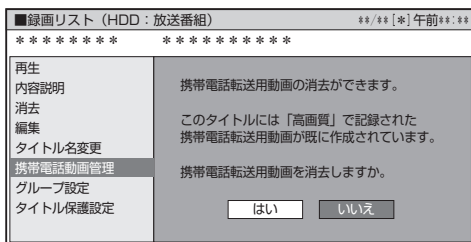
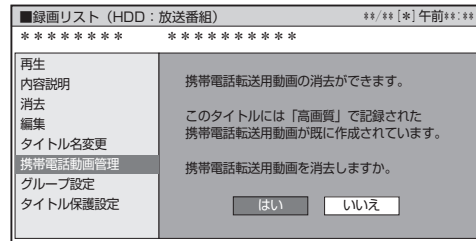
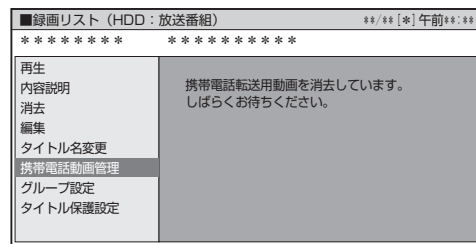
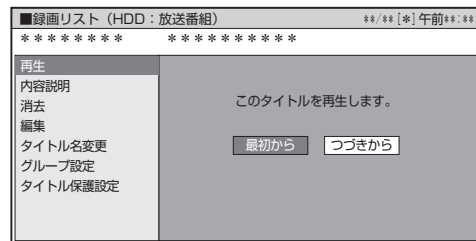
携帯用動画を消去する

携帯用動画をたくさん作成すると、その分 HDD（ハードディスク）の録画可能時間が減ります。いらなくなった携帯用動画は次の手順で削除できます。

1 HDD モードにして録画リストを表示させせます

2 消したい番組を選びます

3 「機能メニュー」を表示させせます

4 「携帯電話動画管理」を選んで決定します

5 「はい」を選んで決定します

消去が始まります

6 消去が終了すると、メニューに「携帯電話動画管理」が表示されなくなります

動画を携帯電話に転送する

- 作成した携帯用動画を携帯電話に転送してみましょう。
- 携帯電話に SD カードが入っていることをお確かめください。
- 携帯電話転送に対応した携帯電話を、USB ケーブルで接続してください（→ **189** ページ）。

重要

- 動画転送中（本体前面の送受信ランプ点灯中）は、絶対に USB ケーブルを抜いたり、携帯電話から SD カードを抜いたりしないでください。
  SD カードが使えなくなったり、初期化が必要になってしまう場合があります。

■ 自動で転送する

- 自動転送（→ **191** ～ **192** ページ）が設定されている場合は、シャープ製携帯電話を USB ケーブルで本機につなぐだけで、自動的に転送が始まります。
- 新しく録画された番組から順番に転送されます。
- 1 回の転送で最大 10 番組までが転送されます。

1 携帯電話に付属の USB ケーブルで、携帯電話を本機に接続します

189 ページ

2 自動的に転送が始まります

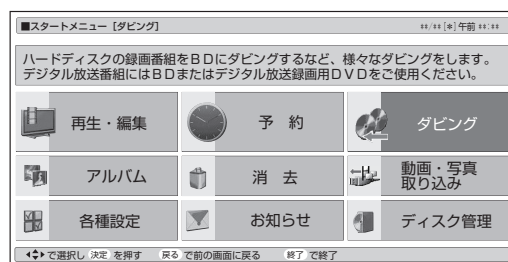
- 転送中は、本体前面の送受信ランプが緑点灯します。

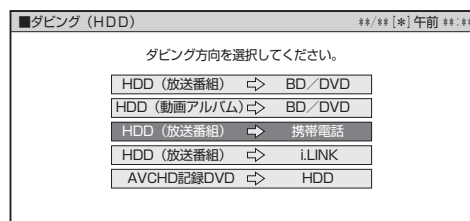
■ 番組を選んで転送する

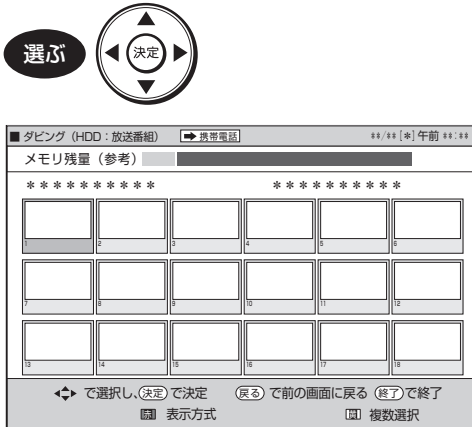
- 自動転送（→ **191** ～ **192** ページ）を設定していない場合は、番組を選んで転送することができます。

1 スタートメニューを表示させます

スタートメニュー 押す

2 「ダビング」を選んで決定します

3 「HDD（放送番組）→携帯電話」を選んで決定します

次ページへつづく

4 転送したい番組を選びます

- 本機の HDD（ハードディスク）に保存されている番組の一覧が表示されます。

1 つの番組を転送したいとき

転送したいタイトルを選んで決定します。

複数のタイトルを転送したいとき

1. 転送したいタイトルを選び、黄を押して決定します。
   - これを繰り返して 15 タイトルまで選べます。（選んだ順に転送されます。）

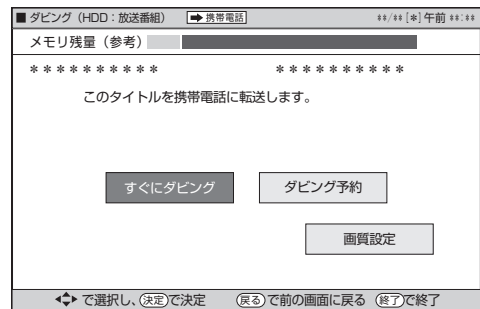
（1 タイトル決定）

   - 黄を押すたびに選択←→選択解除となります。

2. 複数のタイトルの選択が終わったら、決定を押します。

5 番組を選んだら、決定します

6 「すぐにダビング」を選んで決定します

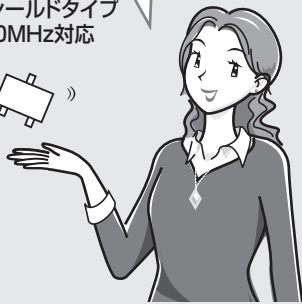
- ダビングするときのように、転送の開始時刻を予約設定することができます。設定のしかたについては **156** ページをご覧ください。

- 転送が始まります。

転送中の画面

- 転送が終了すると、放送視聴の画面に戻ります。

※ 携帯電話転送用動画を記録していないタイトルを転送（ダビング）する場合は、携帯電話転送用動画を作成しながら転送（ダビング）を行います。そのため、タイトルの録画時間以上の時間がかかります。

接続と設定

この章では、本機へのアンテナ接続、
他の機器との接続やチャンネル設定など
について説明しています。

接続をする前に

本機をお使いになる場所のアンテナの設置状況によって、接続方法が異なります。まずは、アンテナ（放送）環境を確認してから、本機に接続するアンテナケーブルを準備します。

- アンテナ（放送）環境により､以下の市販品などが必要です。
  - ･アンテナケーブル（市販品）
  - ･衛星放送用同軸ケーブル（市販品）
  - ･分配器（市販品）
  - ･分波器（市販品）
- BS・110度CS共用アンテナとの接続には「衛星放送用同軸ケーブル（市販品）」をお使いください。
  「衛星放送用同軸ケーブル（市販品）」は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応しているもの（S-5C-FBなど）をお使いください。

BSアンテナと接続するときは

F型コネクターの取り付けについて

- アンテナ線は、同軸ケーブルにF型コネクターを接続してご使用ください。
- F型コネクターを取り付けるときは、工具で強く締めつけないでください。
  内部の結線が切れ、故障する場合があります。

BSアンテナの電源について

- 本機の「BS・110度CSデジタル　アンテナから入力」端子は、BS・110度CSアンテナに電源を供給するはたらきをもっています。
- 初期設定でBS･110度CSアンテナ線接続（→ **226** ページ）を「する」に設定したときや「BS･CSアンテナ電源」（→ **252** ページ）を「オート」または「入」に設定したときは、本機からBS・110度CSアンテナに電源が供給されます。
- 本機のアンテナ電源が「オート」に設定されているときは、本機の電源とアンテナ電源が連動します。

本機の電源	接続しているテレビのBSアンテナ電源	本機のアンテナ電源
「切」	「切」	「切」
	「入」	「入」
「入」	「切」	「入」
	「入」	

- BS･110度CSアンテナを接続するときは、必ず電源を「切」にしてください。

放送局との自動通信について

- 本機は電源「切」（待機状態）のとき、放送局との通信（契約情報など）のため、自動的に電源が入り動作することがあります。
- 通信中は、電源を「切」にしないでください。通信が終了すると、自動的に電源「切」（待機状態）に戻ります。

アンテナ接続時のご注意

VHF/UHF/BS/CSの信号が混合されているアンテナ端子から本機へアンテナ線を接続するときは、必ずBS/UV分波器を使用して接続してください。（199ページ B または 201ページ E をご覧ください。）

分波器と分配器について

分波器（市販品）

- VHF/UHF信号とBS・110度CSデジタル信号を分けます。
- 金属シールドタイプをご使用ください。
- **地上デジタル放送だけを見る場合や、BS・110度CSデジタル放送だけを見る場合は必要ありません。**

分配器（市販品）

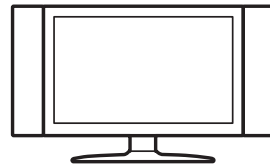
- 地上デジタル放送と地上アナログ放送の両方を見る場合に接続します。
- 金属シールドタイプをご使用ください。
- **地上デジタル放送だけを見る場合は必要ありません。**

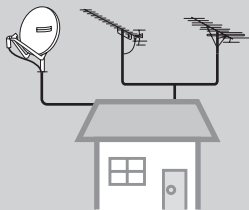
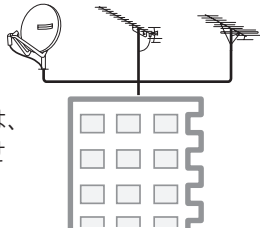
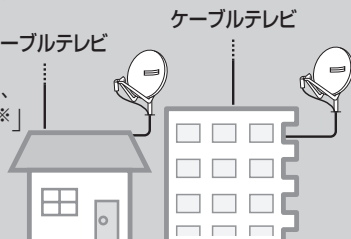
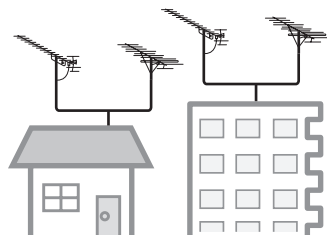
重要

- **本機のアンテナ出力「テレビへ出力」端子を経由してテレビや他の録画機器（DVDレコーダーやビデオなど）へアンテナ線を接続している場合は、エコモードスイッチを入／切すると一瞬ノイズが入ります。ノイズが気になるときは、分配器を使用し、直接アンテナ線を接続してください。**

アンテナを接続する

ご自宅のアンテナの状況に応じて、本機とアンテナ線を接続してください。

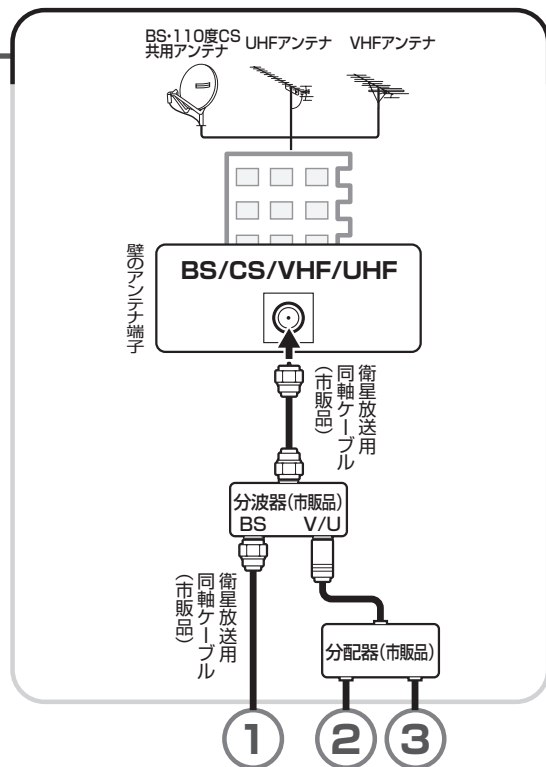
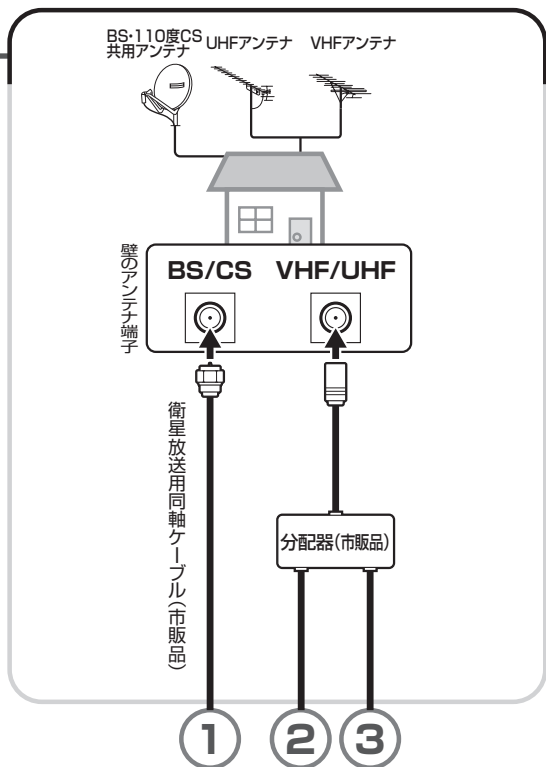
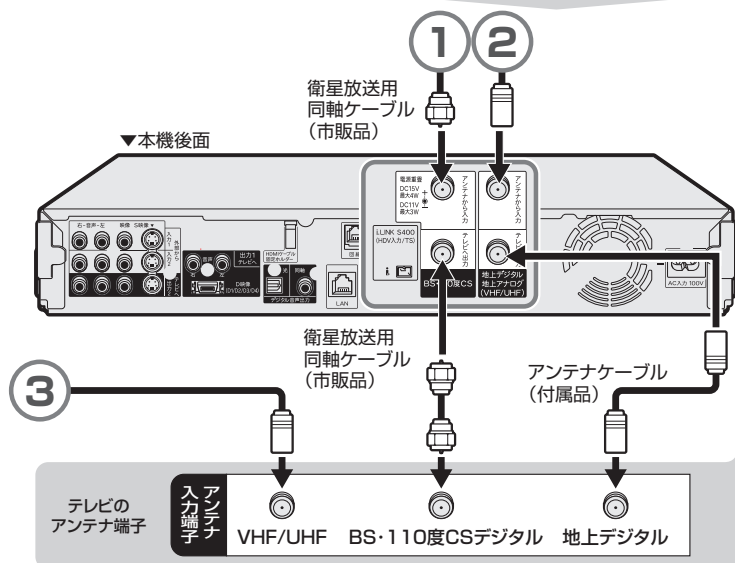
- 安全のためテレビと本機の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- アンテナケーブルの端子は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- BS・110度CSデジタル放送を見るためには、BS・110度CS共用アンテナをお使いください。
- 本機にアンテナを接続する前に、「アンテナ接続時のご注意」（→ **197** ページ）を必ずお読みください。
- すべての接続が終わったあとは、本機の電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 本機の電源プラグをコンセントから外しておいたり、エコモードスイッチを「入」にすると、テレビの映りが悪くなったり、テレビ放送が映らなくなる場合があります。

接続するテレビのアンテナ入力端子が…

	VHF/UHFと地上デジタルに分かれている場合 （VHF/UHF　地上デジタル）	VHF/UHFと地上デジタルが同じ端子の場合 （VHF/UHF/地上デジタル）
個別にVHF/UHFとBSアンテナを設置している場合 • 地上デジタル放送の受信に必要なUHF アンテナ、BS･110度CSデジタル放送の受信に必要な衛星アンテナの設置をお確かめください。	接続 A 199ページへ	接続 D 201ページへ
マンションなどの共聴システムで受信している場合 • 地上デジタル放送やBS･110度CSデジタル放送の信号が配信されているかどうかは、マンション管理者にお問い合わせください。	接続 B 199ページへ	接続 E 201ページへ
ケーブルテレビ(CATV)ボックスをご使用の場合 • 本機で地上デジタル放送が受信できるケーブルテレビの方式は、「CATVパススルー方式※」です。「トランスモジュレーション方式」には対応していません。	接続 C 200ページへ	接続 F 202ページへ
BS･110度CSデジタル放送用アンテナを設置していない場合	接続 G 203ページへ	接続 H 203ページへ

※ CATVパススルー方式とは…
CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままでCATV網に渡す放送方式です。
この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。
本機で受信できるのは、「UHF帯」、「VHF帯」、「ミッドバンド（MID:C13～C22）帯」、「スーパーハイバンド（SHB:C23～C63）帯」です。

接続するテレビのアンテナ入力端子が…

VHF/UHF と地上デジタルに分かれている場合

A 個別に VHF/UHF と BS アンテナを設置している場合

B マンションなどの共聴システムで受信している場合

接続が済んだら、「テレビと接続する」に進みます。

☞ **204** ページへ

C ケーブルテレビ（CATV）ボックスをご使用の場合

- 接続図は一例です。ケーブルテレビ（CATV）ボックスによりつなぎかたは異なります。
  詳しくはケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

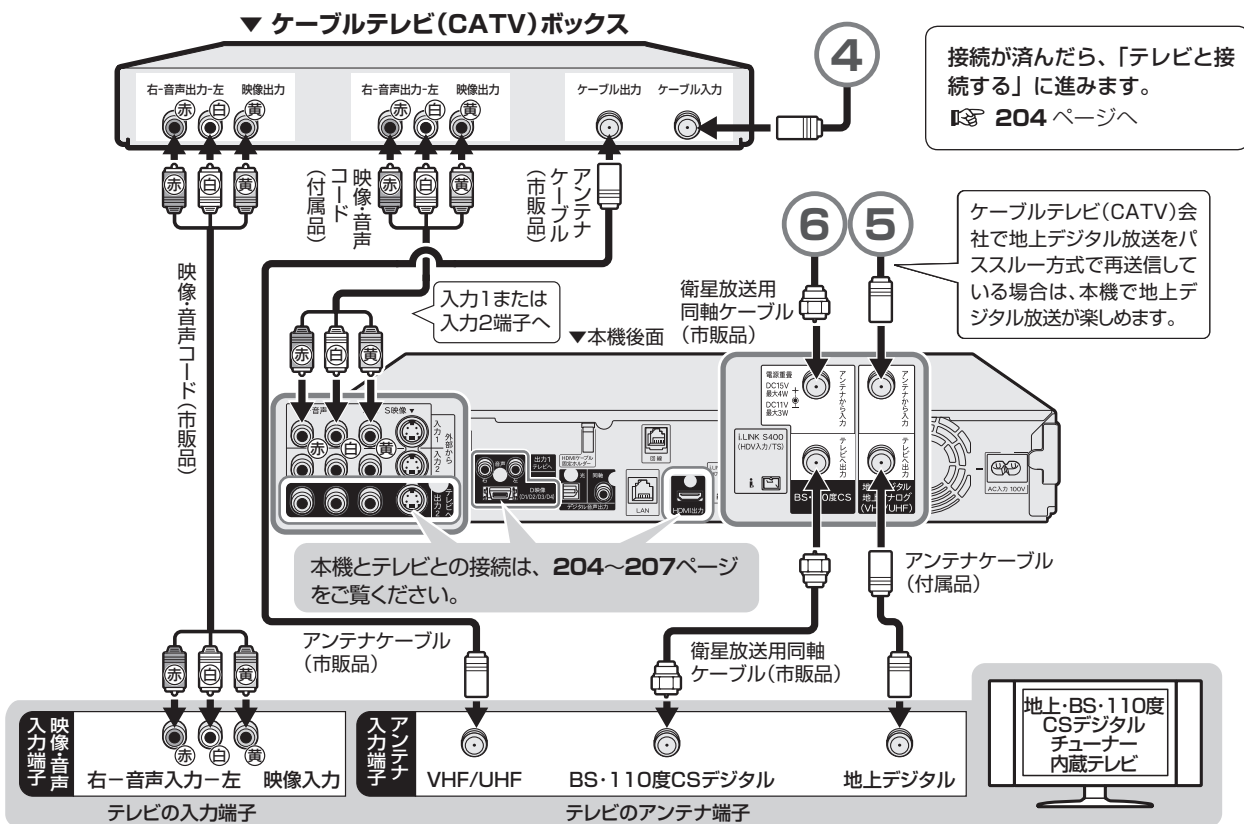
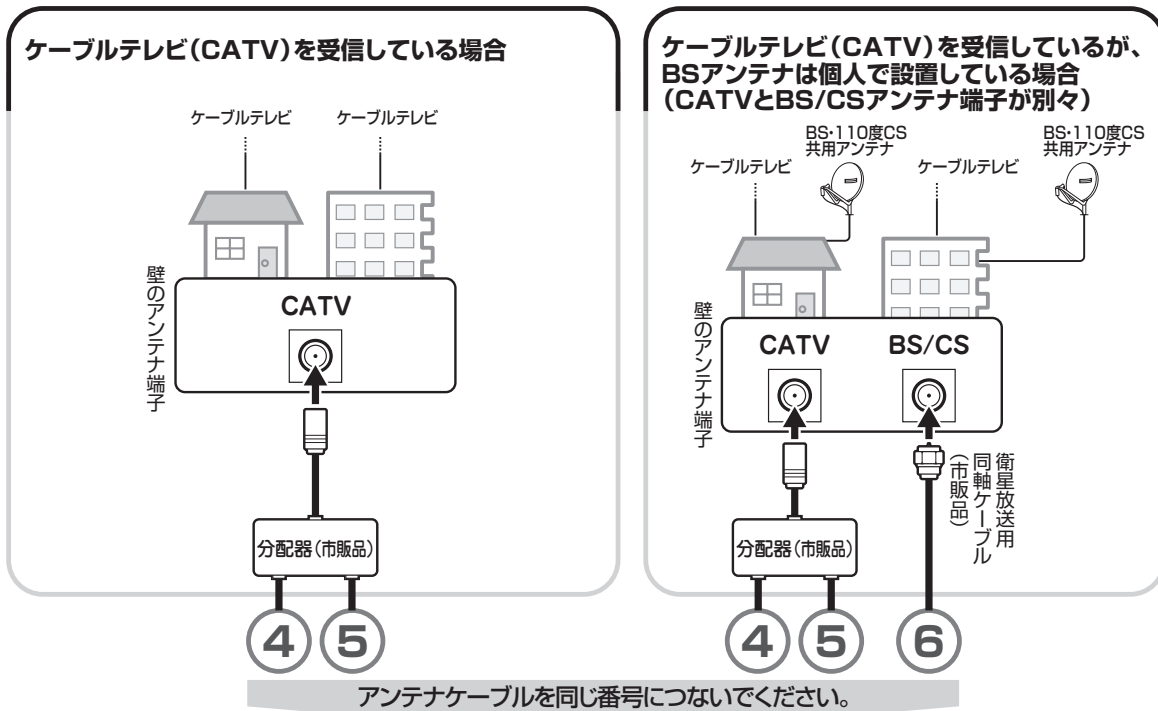
接続が済んだら、「テレビと接続する」に進みます。
☞ 204 ページへ

ケーブルテレビ(CATV)会社で地上デジタル放送をパススルー方式で再送信している場合は、本機で地上デジタル放送が楽しめます。

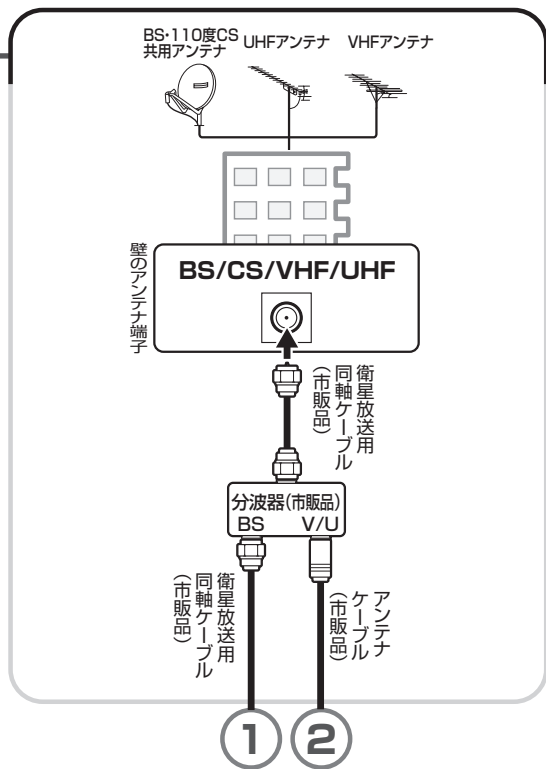
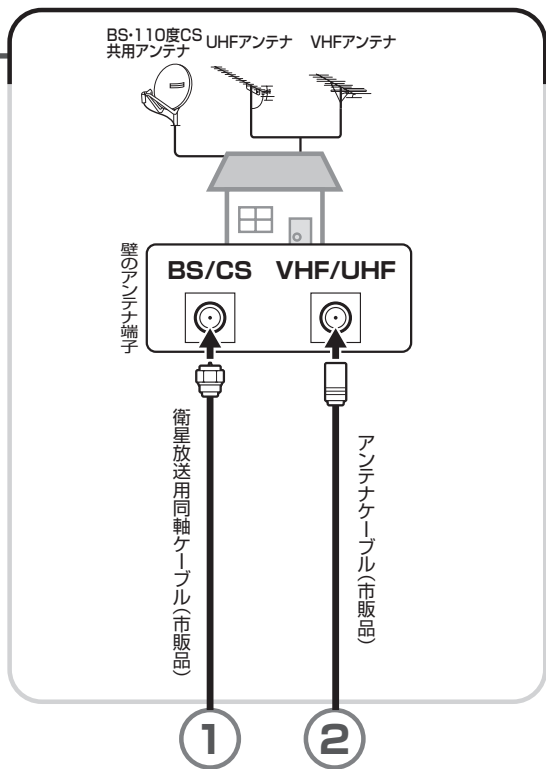
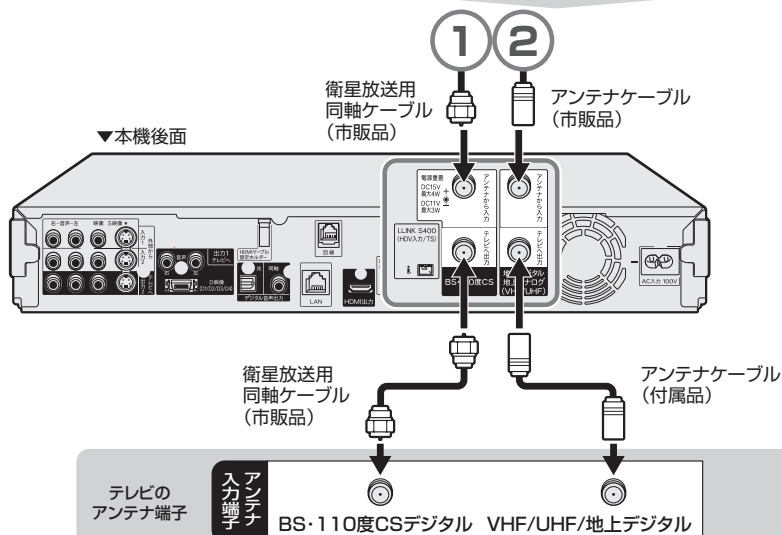
本機とテレビとの接続は、204〜207ページをご覧ください。

ご注意

・ 安全のためテレビと本機の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
・ ケーブルテレビ（CATV）を受信するときは、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ケーブルテレビ専用のホームターミナル（アダプター）が必要です。詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。
・ アンテナケーブルや映像・音声コードの端子は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
・ ケーブルテレビボックスを経由して、BS･110 度 CS･地上デジタル放送を録画したときは、ハイビジョン放送でもハイビジョン画質で録画はされません。

接続するテレビのアンテナ入力端子が…

VHF/UHF と地上デジタルが同じ端子の場合

D 個別に VHF/UHF と BS アンテナを設置している場合

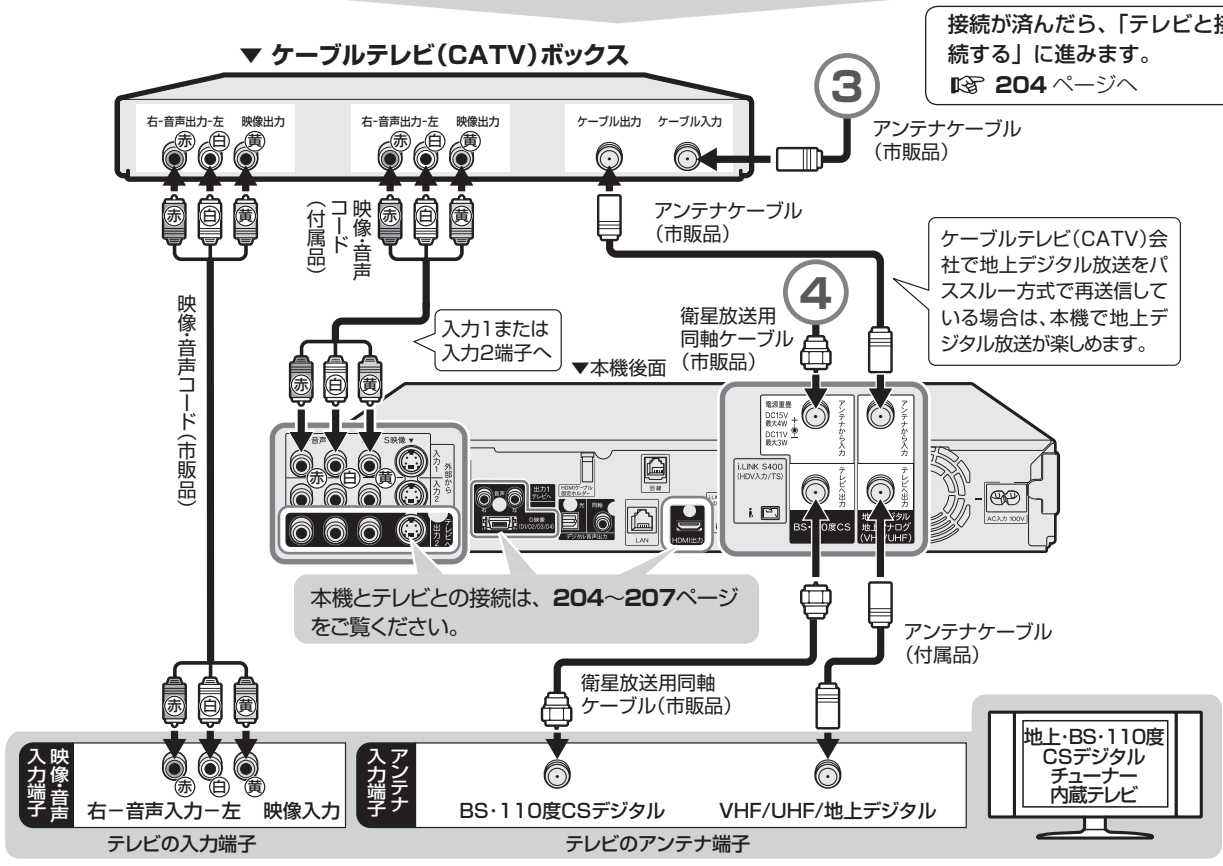
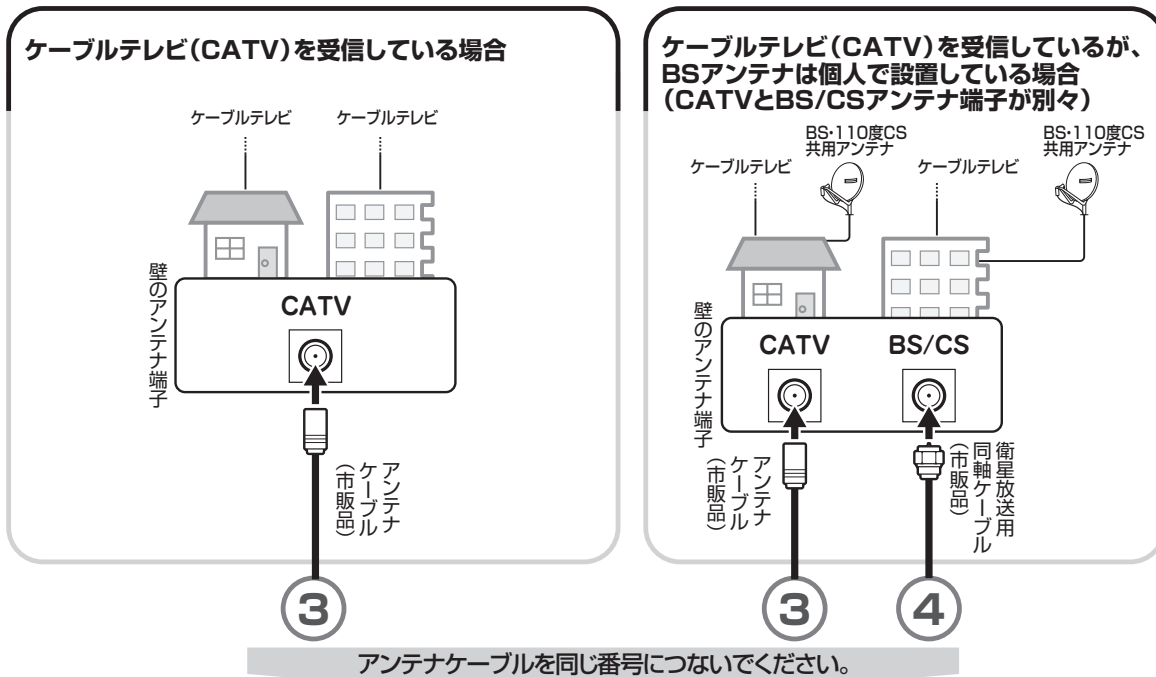
E マンションなどの共聴システムで受信している場合

接続が済んだら、「テレビと接続する」に進みます。

☞ **204** ページへ

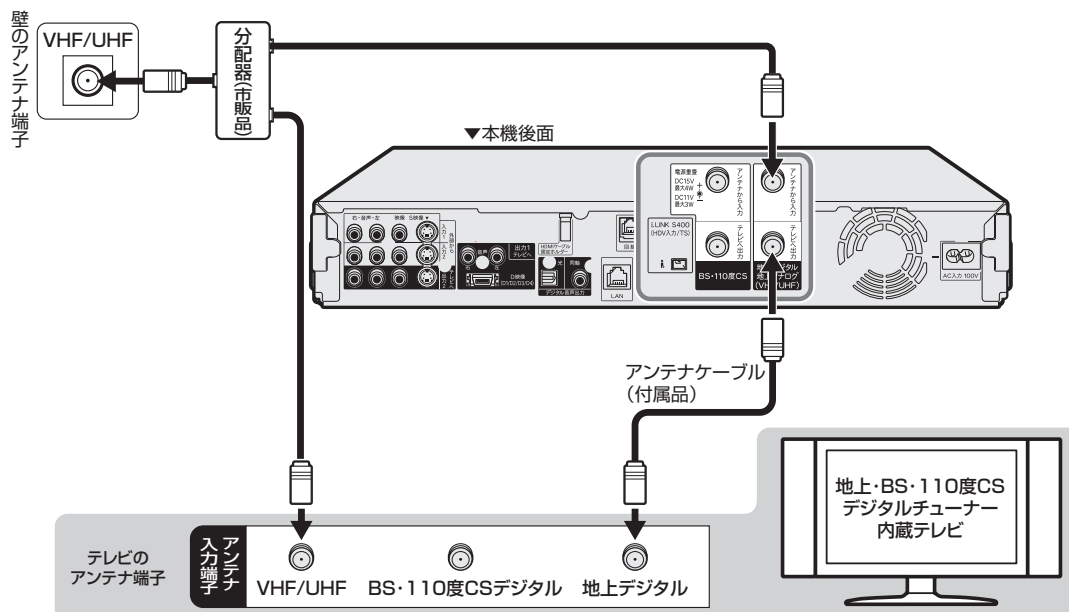
F ケーブルテレビ（CATV）ボックスをご使用の場合

- 接続図は一例です。ケーブルテレビ（CATV）ボックスによりつなぎかたは異なります。
詳しくはケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

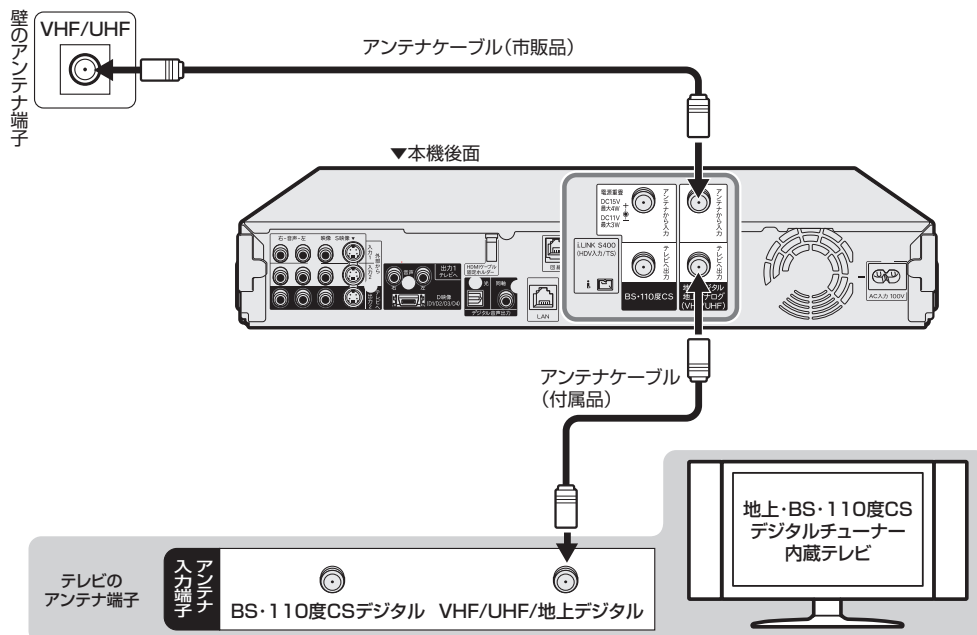
接続が済んだら、「テレビと接続する」に進みます。
☞ **204** ページへ

ご注意

- 安全のためテレビと本機の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- ケーブルテレビ（CATV）を受信するときは、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ケーブルテレビ専用のホームターミナル（アダプター）が必要です。詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。
- アンテナケーブルや映像・音声コードの端子は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- ケーブルテレビボックスを経由して、BS・110 度 CS・地上デジタル放送を録画したときは、ハイビジョン放送でもハイビジョン画質で録画はされません。

接続するテレビのアンテナ入力端子が…
VHF/UHF と地上デジタルに分かれている場合

G BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナを設置していない場合

接続が済んだら、「テレビと接続する」に進みます。☞ **204** ページへ

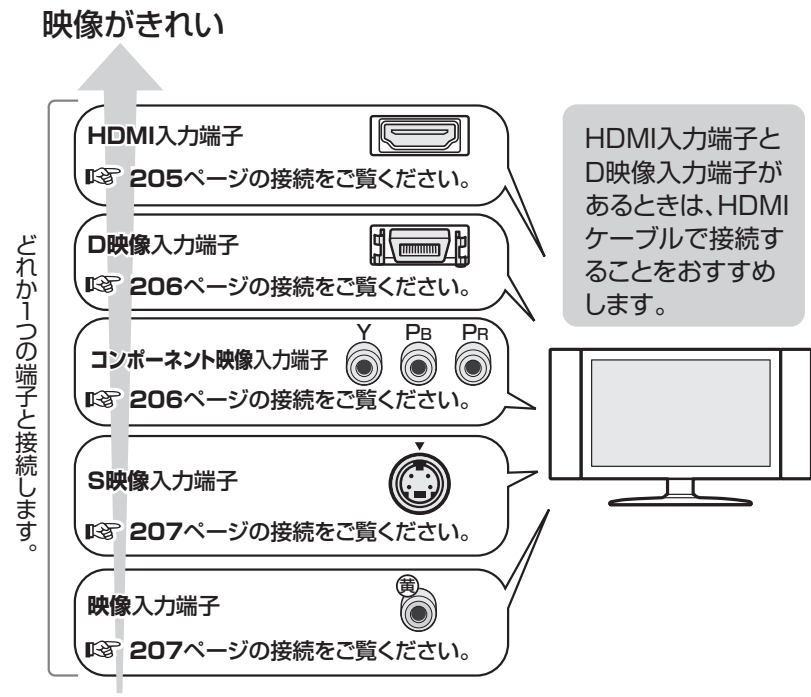
接続するテレビのアンテナ入力端子が…
VHF/UHF と地上デジタルが同じ端子の場合

H BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナを設置していない場合

接続が済んだら、「テレビと接続する」に進みます。☞ **204** ページへ

テレビと接続する

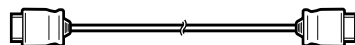
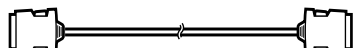
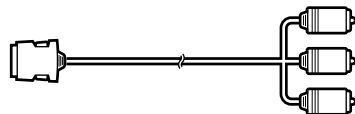
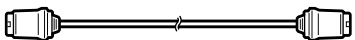
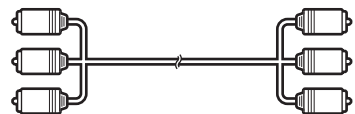
テレビの入力端子をお調べになり、できる限り高画質に対応している端子とおつなぎください。

テレビ入力端子の種類

接続する端子により、お楽しみいただける画質が異なります。

・HDMI ケーブルで接続する場合、ファミリンク機能を搭載したテレビ（シャープ製）と接続すると、本機とテレビを連動して操作できます。

214 ～ 220 ページ

テレビとつなぐときに使う映像ケーブルについて

- HDMI 入力端子付きテレビと接続するときは、付属の HDMI ケーブル（19 ピン）をお使いください。
- ファミリンク機能をお楽しみいただくためには、付属の HDMI ケーブル（19 ピン）でファミリンク対応テレビと接続してください。（→ **214** ～ **220** ページ）

- D 映像入力端子付きテレビと接続するときは、市販の D 映像ケーブル（D-D）をお使いください。

- コンポーネント入力端子付きテレビと接続するときは、市販の D －コンポーネント変換ケーブル（D-3 ピン）をお使いください。

- S 映像入力端子付きテレビと接続するときは、市販の S 映像コードをお使いください。

- 映像・音声入力端子付きテレビと接続するときは、付属の映像・音声コードをお使いください。

ハイビジョン映像をご覧いただくには

テレビのタイプは

- ハイビジョン映像をご覧いただくには、次のうち、いずれかの端子の付いているテレビ（モニター）が必要です。
  - ・HDMI 入力端子
  - ・D3 映像入力端子
  - ・D4 映像入力端子
  - ・D5 映像入力端子
  - ・コンポーネント（Y, PB, PR）映像入力端子
- ハイビジョンタイプのテレビ（モニター）以外では、ハイビジョン画質の映像が楽しめません。

テレビとの接続は

- 本機とテレビを、HDMI ケーブル（19 ピン／付属品）または D 映像ケーブル（市販品）で接続します。
- コンポーネント（Y, PB, PR）映像入力端子付きテレビ（モニター）と接続するときは、D －コンポーネント変換ケーブル（市販品）で接続します。

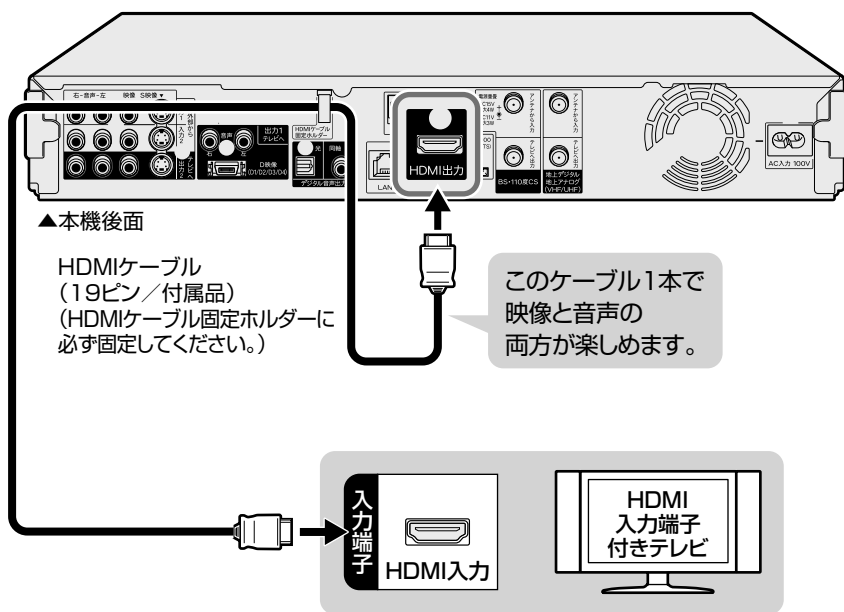
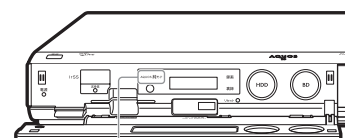
D 映像ケーブルで接続したときは

- 「初期設定」でテレビ側の端子名を次のいずれかに設定します。（→ **229** ページ）
  - ・「D3 映像入力端子」
  - ・「D4 映像入力端子」
  - ・「D5 映像入力端子」
  - ・「コンポーネント映像入力端子」

HDMI 入力端子付きテレビと接続する場合

HDMI 出力端子は、映像と音声のデジタル信号を 1 本のケーブルでつなぐことができる新しい規格のデジタル専用端子です。HDMI ケーブル（19 ピン／付属品）を使うと、他の映像コード・音声コードを接続する必要はありません。

重要

- 安全のためテレビと本機の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- テレビの接続端子の種類に合ったコード類を使って、テレビと接続してください。
- コード類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- テレビ側の接続は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
- HDMI ケーブルを接続して電源を入れるときは、テレビの電源を入れたあとに本機の電源を入れてください。

- 「**ファミリンク機能**」を搭載したシャープ製のテレビ「アクオス」と HDMI ケーブルで接続すると、テレビのリモコンまたは本機のリモコンで、テレビと本機の操作が行えます。
（→ **214** ～ **220** ページ）
「ファミリンク機能」を使用する設定をしているとき、本機の HDMI 端子からは「アクオス」に最適な画質に調整された映像が出力されます。本体表示部の「AQUOS 純モード」ランプが緑点灯します。※

「AQUOS純モード」ランプ

- HDMI ケーブルのみ接続している場合、接続したテレビの電源が入っているときは自動的に HDMI 出力に切り換わります。

重要

- 本機に接続した HDMI ケーブルが誤って強く引かれた場合、端子部が破損するおそれがあります。端子部の負荷を軽減し、破損防止を図るため、HDMI ケーブルは「HDMI ケーブル固定ホルダー」に必ず固定してください。

お知らせ

- HDMI 出力端子を使って接続したときは、「HDMI 映像出力設定」（解像度）は「オート」に設定されます。
「オート」設定状態で正常な映像が得られないときは、**208** ページの「付属の HDMI ケーブル（19 ピン）を使って HDMI 入力端子付きテレビと接続したとき」の表を参考に出力解像度を変更してください。
- DVI デジタル入力端子付きの機器と DVI-HDMI 変換ケーブル（市販品）を使用して接続したときは、正常な映像にならない、または映らない場合があります。（本機の HDMI 出力端子は、HDMI 機器との接続を目的に設計されています。また、DVI-HDMI 変換ケーブルを使い DVI 機器と接続したときは、DVI 機器に音声が入力されません。）

「HDMI 映像出力設定」（→ 280 ページ）と「デジタル音声出力設定」（→ 281 ページ）が必要な場合は、スタートメニューの「各種設定」－「本体設定」－「映像・音声設定」で設定を行ってください。

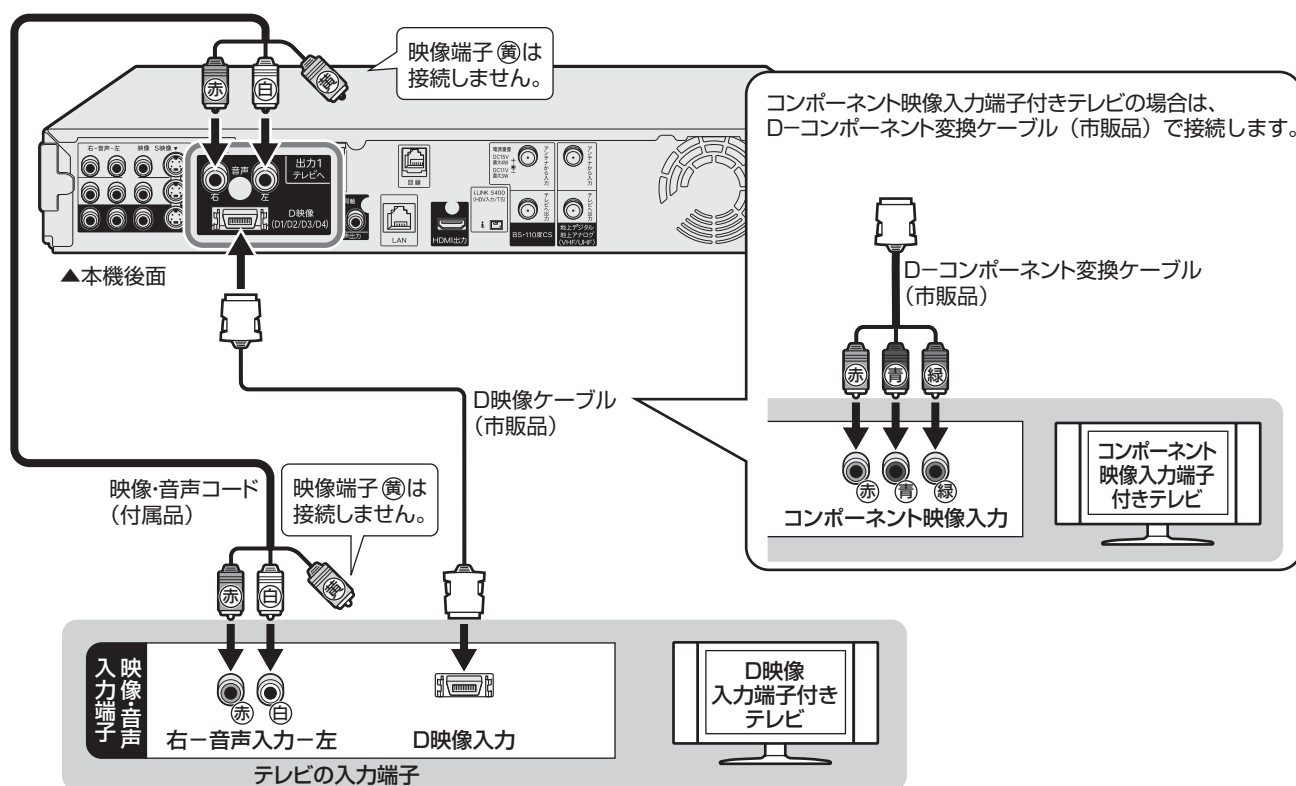
また、D 映像ケーブルで別のテレビにも接続する場合は、「映像同時出力設定」（→ 280 ページ）が必要です。スタートメニューの「各種設定」－「本体設定」－「映像・音声設定」で設定を行ってください。

※将来発売される「アクオス」と接続すると、BD ビデオ /DVD ビデオ再生時や、メニュー操作時、写真再生時に、自動的に「アクオス」で画面サイズ調整や映像調整が行われ、最適な映像を楽しむことができます。
AQUOS 純モード対応のアクオスについては、シャープホームページの DVD/BD サポートステーション（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/index.html）にて順次ご案内いたします。（2009 年 2 月現在）

D 映像入力端子付きテレビ／コンポーネント映像入力端子付きテレビと接続する場合

重要

- 安全のためテレビと本機の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- テレビの接続端子の種類に合ったコード類を使って、テレビと接続してください。
- コード類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- テレビ側の接続は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本機の電源が「入」の状態で、本機に D 映像ケーブルを差し込まないでください。必ず、本機の電源が「切」の状態で、D 映像ケーブルを差し込んでください。
- 本機の電源が「入」の状態で、本機に D －コンポーネント変換ケーブルを差し込まないでください。必ず、本機の電源が「切」の状態で、D －コンポーネント変換ケーブルを差し込んでください。
- テレビのコンポーネント映像入力端子に接続したときは、テレビのオートワイド機能は働きません。
- テレビによってはコンポーネント映像入力端子の切換え（メニュー設定やスイッチの切換えなど）が必要なものがあります。お使いのテレビの取扱説明書に従って操作してください。
- ハイビジョン専用のコンポーネント映像入力端子（Y, P_B, P_R）に接続したときは、DVD の再生映像は楽しめません。DVD の再生映像は 480i または 480p の信号が出力されます。
- 電源「入」や一発（クイック）起動を「する」にしているとき、電子番組表の取得中に D 映像ケーブルを抜き差しすると「D 映像出力設定」（→ **280** ページ）が D1 に戻ります。

お知らせ

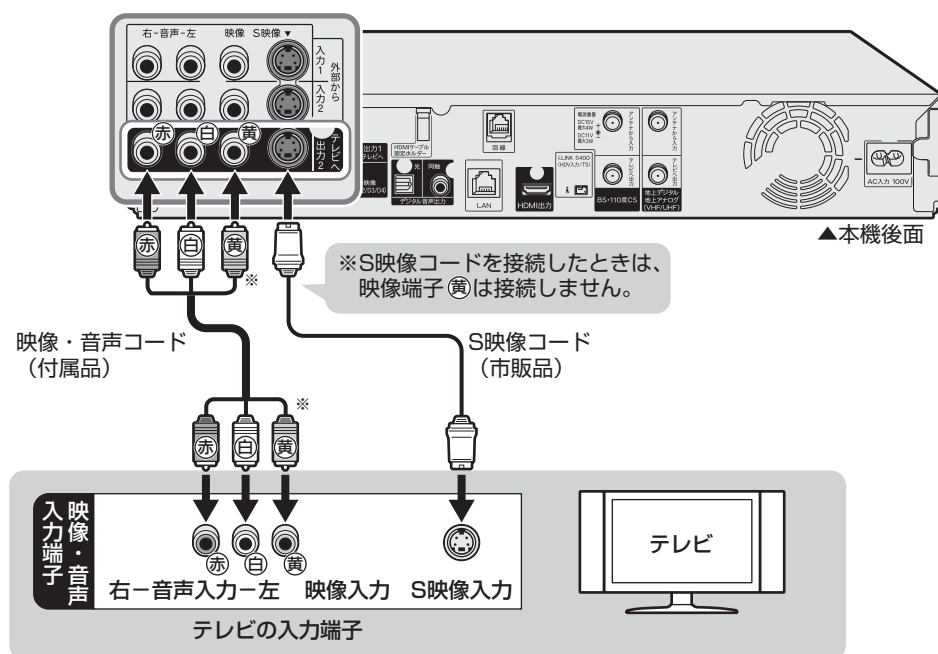
- お持ちのオーディオ機器で音声を楽しむ場合は、音声コード赤白をオーディオ機器に接続してください。この接続の場合、テレビからは音声が出ません。
- 映像が乱れる、正常に映らない、映らないときは、**295** 〜 **299**、**325** ページをご覧ください。

メ モ

- テレビに HDMI 入力端子、D 映像入力端子、コンポーネント映像入力端子などが付いているときは、HDMI 入力端子と接続することをおすすめします。
- テレビに D 映像入力端子とコンポーネント映像入力端子の両方が付いているときは、D 映像入力端子と接続することをおすすめします。
- テレビの D 映像入力端子が D3、D4 または D5 映像入力端子の場合は、ハイビジョン放送が楽しめます。初期設定でテレビの D 映像入力端子に合わせて、ハイビジョン対応テレビの映像端子名（→ **229** ページ）を「D3 映像入力端子」、「D4 映像入力端子」または「D5 映像入力端子」に設定してください。
- HDMI ケーブルで別のテレビにも接続する場合は、「映像同時出力設定」（→ **280** ページ）を行ってください。

S 映像・映像・音声入力端子付きテレビと接続する場合

重要

- 安全のためテレビと本機の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- テレビの接続端子の種類に合ったコード類を使って、テレビと接続してください。
- コード類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- テレビ側の接続は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本機とテレビを接続しているコード類をアンテナ線と一緒に束ねないでください。テレビ放送を見るときに画面にノイズが出るなど、電波妨害の原因となることがあります。
- 機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音などを避けるため、電源コードや他の接続コード類をアンテナ線からできる限り離してご使用ください。

お知らせ

- お持ちのオーディオ機器で音声を楽しむ場合は、音声コード㊙㊐をオーディオ機器に接続してください。この接続の場合、テレビからは音声が出ません。
- 映像が乱れるときは、**295** ～ **299**、**325** ページをご覧ください。

テレビとの接続設定について

初期設定（→ 225 ページ）をしたあとで設定し直したい場合は

「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「映像･音声設定」（→ **280** ページ）で、次の設定を行ってください。

■付属の HDMI ケーブル（19 ピン）を使って HDMI 入力端子付きテレビと接続したとき

設定する項目	選ぶ内容
解像度の設定 「スタートメニュー」－「各種設定」－ 「本体設定」－「映像･音声設定」－ 「HDMI 映像出力設定」	「HDMI 映像出力設定」－ 「オート」「1080/60p 固定」「1080i 固定」「720p 固定」「480p 固定」 • 通常は「オート」に設定します。
デジタル音声出力の設定 「スタートメニュー」－「各種設定」－ 「本体設定」－「映像･音声設定」－ 「デジタル音声出力設定」	「デジタル音声出力設定」－「HDMI 出力」－ 「オート」「ビットストリーム」「PCM（サラウンド）」 • 通常は「オート」に設定します。

•「HDMI 映像出力設定」を「オート」以外に設定するとき、接続先で対応していない解像度は選択できません。（HDMI ケーブルが接続されていない、または接続先機器の電源が入っていないときも選択できません。）

■市販の D 映像ケーブルを使って D 映像入力端子付きテレビと接続したとき

設定する項目		選ぶ内容
映像端子名 （接続したテレビの端子名）	D1、D2 端子 （ハイビジョン非対応テレビ）	「D 映像出力設定」－「D1」「D2」 接続したテレビの端子名を選びます。
	D3、D4、D5 端子 （ハイビジョン非対応テレビ／ ハイビジョン対応のテレビ）	「D 映像出力設定」－「D3 ／ D4 ／ D5」 接続したテレビの端子名を選びます。
テレビのタイプ設定	16：9 ワイドテレビ	「画面サイズ設定」－「16：9（ワイド）」
	4：3 サイズのテレビ	「画面サイズ設定」－「4：3（ノーマル）」

■市販の D －コンポーネント変換ケーブル（RCA ピンタイプ）を使ってコンポーネント映像入力端子付きテレビと接続したとき

各種設定では設定できません。
「設定リセット」（→ **282** ページ）または「個人情報初期化」（→ **282** ページ）を行ってください。設定がリセットされ、自動的に電源が「切」になります。その後、電源を「入」にすると、初期設定画面（→ **226** ページ）が表示されますので、次の設定を行ってください。

設定する項目		選ぶ内容
映像端子名 （接続したテレビの端子名）	DVD 入力用 Y, CB, CR 端子	「ハイビジョン非対応テレビ」－ 「コンポーネント映像入力端子（Y, CB, CR）」
	ハイビジョン対応 Y, PB, PR 端子 Y, PB/CB, PR/CR 端子	「ハイビジョン対応テレビ」－ 「コンポーネント映像入力端子（Y, PB, PR）」 「コンポーネント映像入力端子（Y, PB/CB, PR/CR）」
テレビのタイプ設定	16：9 ワイドテレビ	ワイド（16：9）
	4：3 サイズのテレビ	通常（4：3）

■付属の映像・音声コードまたは市販の S 映像コードを使用してテレビと接続したとき

設定する項目		選ぶ内容
テレビのタイプ設定	16：9 ワイドテレビ	「画面サイズ設定」－「16：9（ワイド）」
	4：3 サイズのテレビ	「画面サイズ設定」－「4：3（ノーマル）」

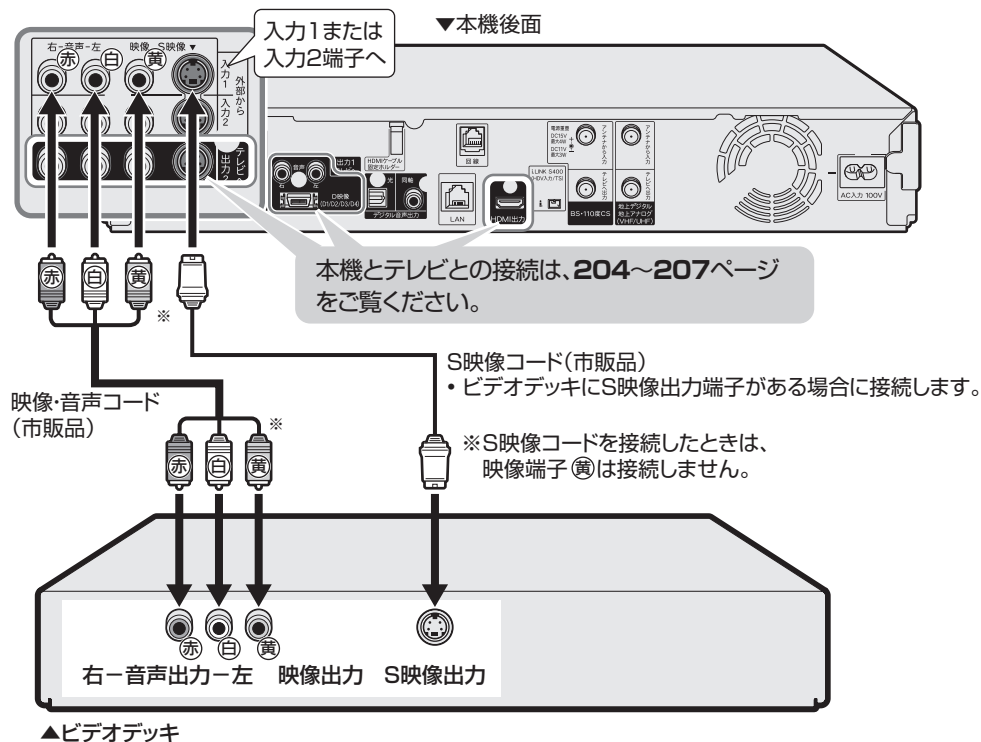
その他の機器を接続する

本機をさらに楽しむために、必要に応じてその他の機器と接続しましょう。

- 安全のため本機・テレビ・接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- 接続する端子に合ったケーブル類を使って、接続してください。
- ケーブル類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- 接続する機器側の接続については、接続する機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

・映像が映らないとき、テレビの映りが悪いとき、正常な録画ができないときは、**325** ページをご覧ください。

ビデオデッキを接続する場合

ご注意

・本機とテレビは直接接続してください。ビデオデッキを経由して本機の映像をテレビに映した場合、コピー防止機能の働きにより映像が乱れることがあります。
・著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本機とモニターを直接接続してお楽しみください。

ビデオデッキでも番組を録画するときは

分配器（市販品）

本機へのアンテナ接続は、
199～**203**ページをご覧ください。

BS・110度CS

地上デジタル
地上アナログ
(VHF/UHF)

LAN

▲本機後面

アンテナケーブル（付属品）

この接続でテレビのVHF/UHF放送の映りが悪いときは、分配器（市販品）から直接テレビのVHF/UHFアンテナ入力端子にアンテナケーブルを接続してください。

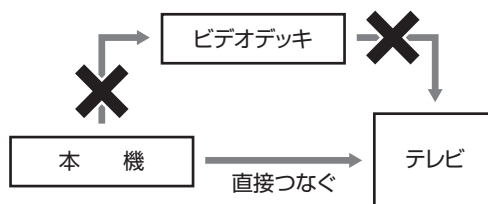
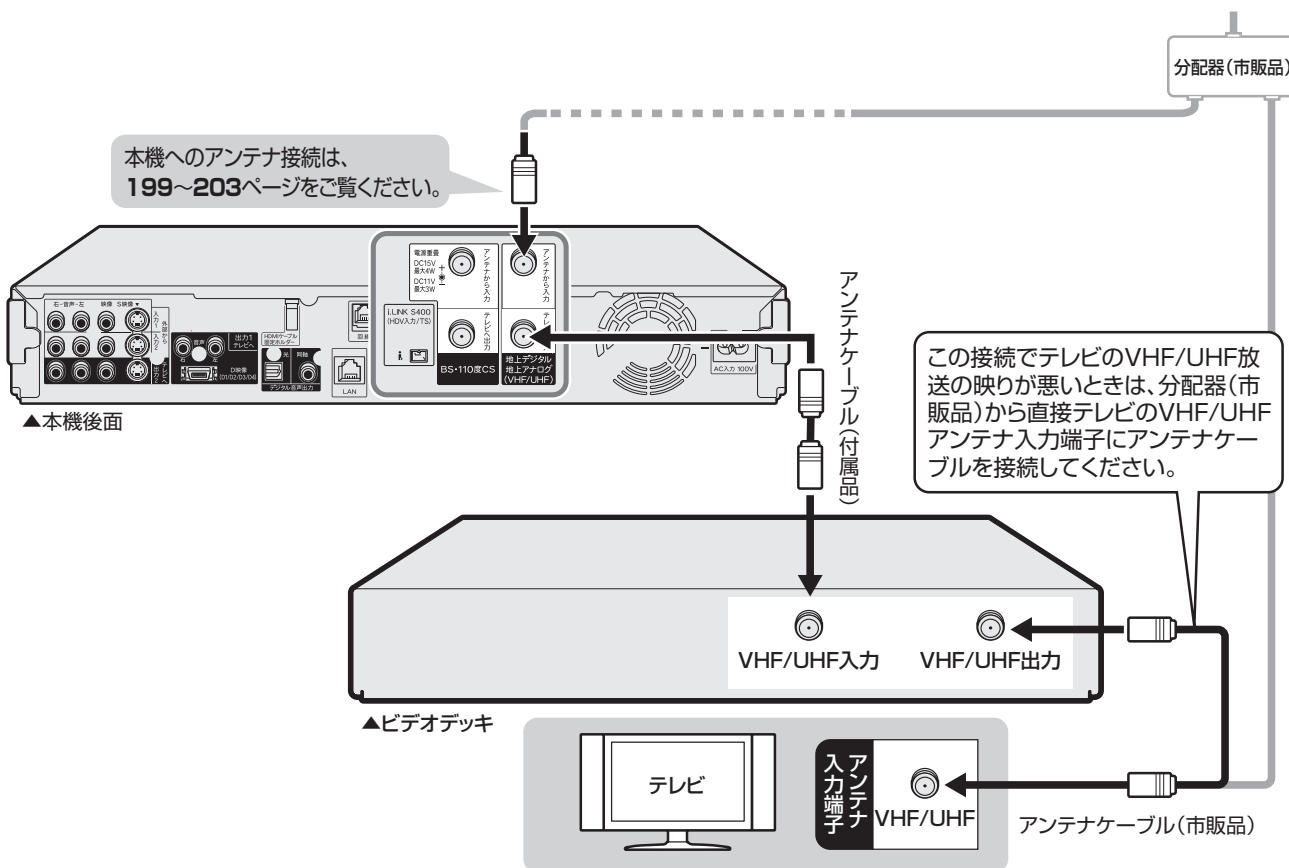
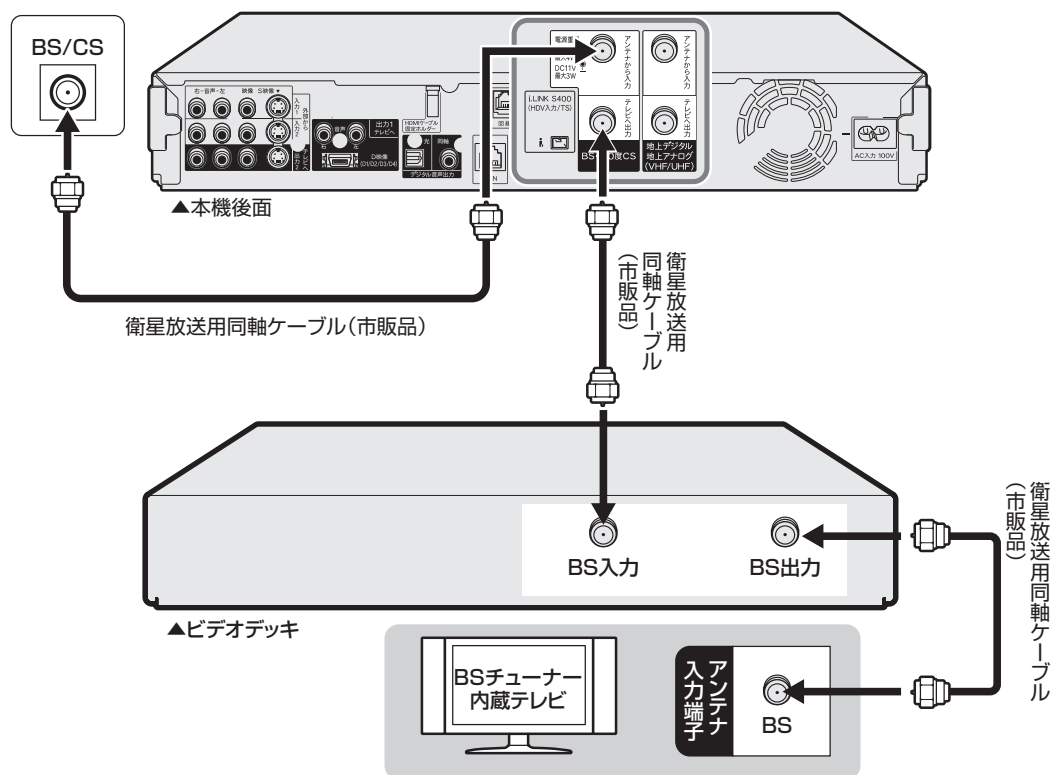
VHF/UHF入力　VHF/UHF出力

▲ビデオデッキ

テレビ

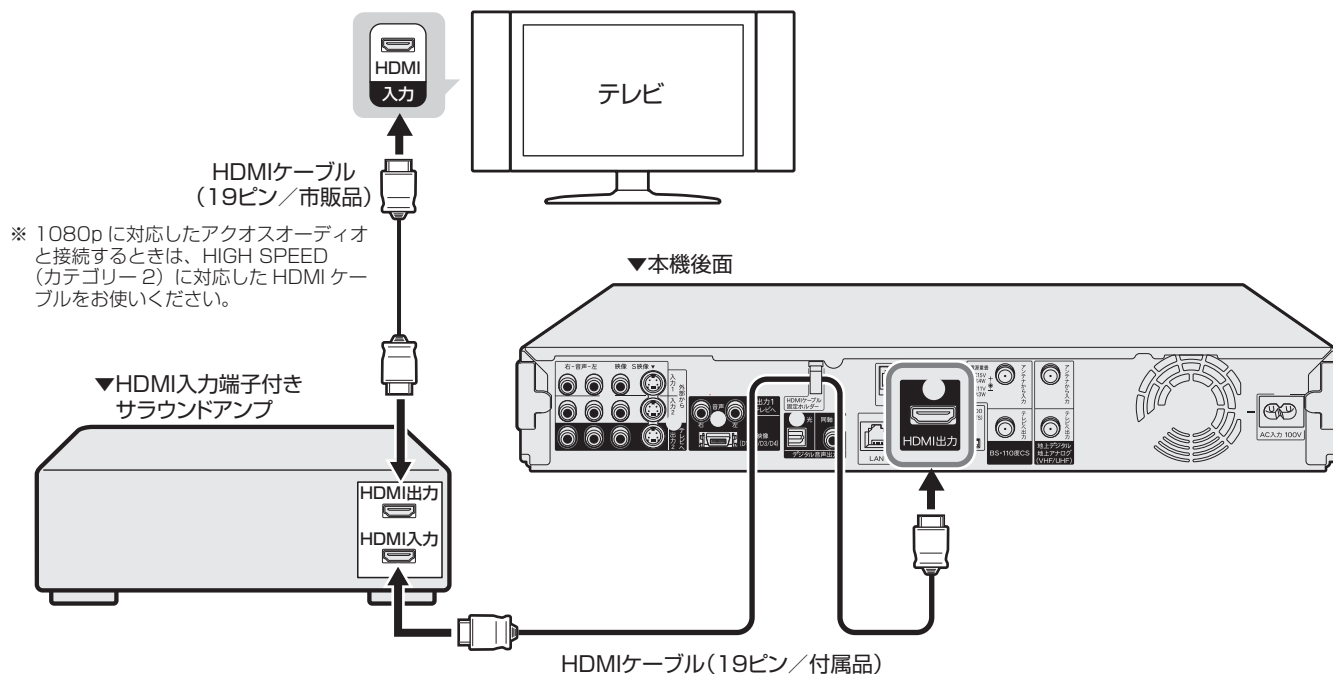
アンテナ入力端子

VHF/UHF

アンテナケーブル（市販品）

ビデオデッキでも BS 放送を録画するときは

オーディオ機器を接続する場合

HDMI 接続で音声を楽しむときは

本機の音声をHDMI入力端子付きオーディオ機器で楽しむための接続です。

- ブルーレイディスクに収録されているPCM音声をHDMI出力端子から最大7.1chで出力できる他、ロスレスオーディオの「DTS-HD Master Audio」や「ドルビー TrueHD」音声なども、最大7.1chで出力し、次世代オーディオフォーマットのデコードに対応したAVアンプなどとHDMI接続することにより、大迫力の高音質サラウンド音声が楽しめます。
- オーディオ機器側の接続については、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- HDMIケーブルを使ってオーディオ機器と接続したときは、接続した機器に合わせて以下の設定を行ってください。
  ①「デジタル音声出力設定」（→ **281** ページ）の「1. サラウンド機器と接続した端子の設定をします。」で「HDMI出力」を選択します。
  ② 接続した機器に合わせ、「オート」「ビットストリーム」または「PCM（サラウンド）」に設定します。

オートに設定したとき
接続した機器に合わせて出力します。
ドルビー TrueHD、DTS-HD Master Audioはコアストリーム（5.1ch）のみ出力されます。

ビットストリームに設定したとき
ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、DTS-HD Master Audioのビットストリーム出力を優先します。これらの音声形式に対応したオーディオ機器に接続した場合、ビットストリーム出力します。ビットストリーム出力中は、デジタル音声出力端子、または音声出力端子からは信号が出力されません。またBDビデオ再生中の操作音（インタラクティブオーディオ）、P in Pなどのセカンダリー音声も出力されません。

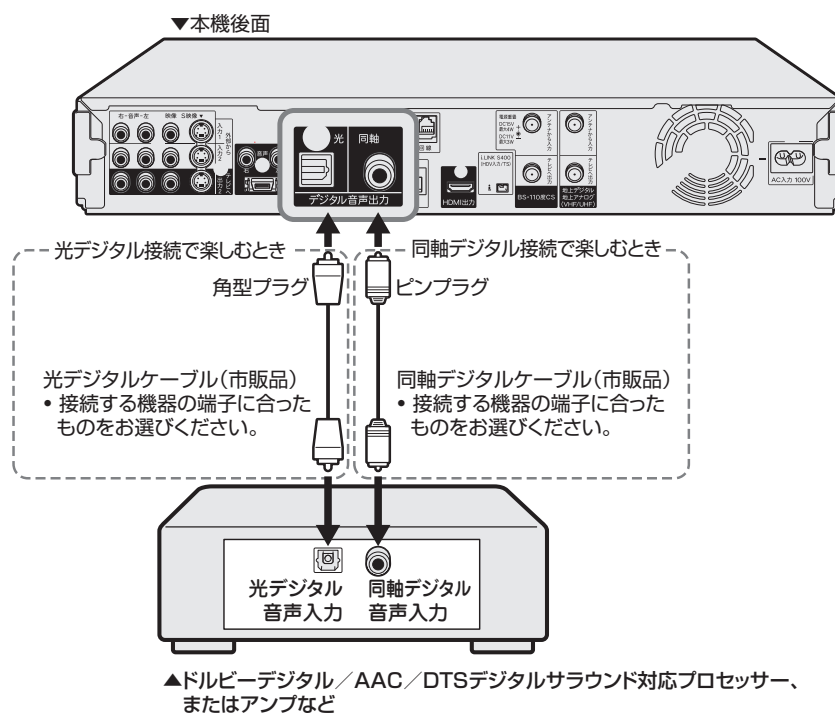
PCM（サラウンド）に設定したとき
すべて、LPCM（リニアPCM）で出力します。ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、DTS-HD Master Audioはコアストリーム（5.1ch）のみPCMにデコードして出力します。

- アナログ接続で2chオーディオ機器などで音声を楽しむときは、市販の音声コードを使い、本機の音声出力端子（テレビへ出力）で本機とオーディオ機器を接続します。
- オーディオ機器の接続について詳しくは、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

デジタル接続で音声を楽しむときは

本機の音声を光デジタル音声入力端子付きオーディオ機器で楽しむときの接続です。

• 通常のステレオ音声に加えドルビーデジタル（5.1ch）や DTS などの迫力ある音響効果を楽しめます。
  ・ドルビーデジタル /AAC/DTS デジタルサラウンドプロセッサーまたはドルビーデジタル /AAC/DTS デジタルサラウンドデコーダー内蔵アンプと本機を光デジタル接続することにより、大迫力の臨場感あふれるサラウンド音声を楽しむことができます。
  ・DTS 音声を楽しむには、DTS デジタルサラウンドデコード機能搭載のプロセッサーまたはアンプが必要です。
  ・DTS デジタルサラウンド音声を楽しむときは、DVD 再生時にディスクメニューで DTS 音声を選ぶか、リモコンふた内の 音声 で DTS 音声を選んでください。音声の選びかたについては、**110** ページをご覧ください。
  ・DTS デジタルサラウンドデコード機能搭載の機器と接続したときは、「光 / 同軸デジタル音声出力」（**281** ページ）で「DTS」ー「ビットストリーム」に設定します。

• オーディオ機器側の接続について詳しくは、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

・ 光デジタルケーブル（市販品）または同軸デジタルケーブル（市販品）は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
・ 市販の光デジタルケーブル、同軸デジタルケーブルを使ってオーディオ機器と接続したときは「デジタル音声出力設定」（**281** ページ）の各項目の設定をしてください。
・「光 / 同軸デジタル音声出力」で「ビットストリーム」の操作音・セカンダリーオーディオの出力設定を「する」に設定しているときは、市販の BD ビデオの「ドルビーデジタル EX6.1ch」音声や「DTS・ES6.1ch」音声など 6.1ch 以上の音声は出力されません。5.1ch 音声となります。「DTS-HD Master Audio」や「ドルビー TrueHD」音声は「コアストリーム（5.1ch）」音声のみ出力されます。また、HDMI 出力端子から出力される信号は LPCM ステレオ音声となります。

お知らせ

デジタル音声出力について
・ 二ヶ国語放送や二ヶ国語放送を録画した番組の再生では、音声の切り換えはできません。（プロセッサーまたはアンプに音声切換機能があるときは、オーディオ機器側で切り換えてください。）
・ 音楽用 CD を再生したとき、音声の切り換えはできません。
・ 96kHz/24bit（LPCM）音声を楽しむときは、96kHz に対応しているプロセッサーまたはアンプが必要です。

MD とデジタル接続し、録音して楽しむとき
・ 本機と MD をデジタル接続し CD を MD に録音したときに、CD と MD の曲番（トラック番号）が一致しないことがあります。

DTS デコーダーを内蔵していないデジタル入力付きのオーディオ機器や MD プレーヤーとデジタル接続したとき
・ DTS で記録されているディスクは正常な音声がでません。

「デジタル音声出力設定」の各項目の設定について

- 付属の HDMI ケーブルや市販の光または同軸デジタルケーブルを使ってオーディオ機器と接続したときは、接続するプロセッサーやアンプ、オーディオ機器の種類に応じて、「スタートメニュー」―「各種設定」―「本体設定」―「映像・音声設定」で次の設定を行ってください。

設定する項目	接続する機器			選ぶ内容
「デジタル音声出力設定」－「サラウンド機器を使用しない」	2ch オーディオ機器	―	―	―
「デジタル音声出力設定」－「HDMI 出力」	サラウンド機器	「ドルビーデジタルデコーダー」	内蔵している	「オート」または「ビットストリーム」
			内蔵していない	「オート」または「PCM（サラウンド）」※
		「DTS デコーダー」	内蔵している	「オート」または「ビットストリーム」
			内蔵していない	「オート」または「PCM（サラウンド）」※
		「AAC デコーダー」	内蔵している	「オート」または「ビットストリーム」
			内蔵していない	「オート」または「PCM（サラウンド）」※
「デジタル音声出力設定」－「光/同軸デジタル音声出力」	サラウンド機器	「ドルビーデジタルデコーダー」	内蔵している	「ドルビーデジタル」－「ビットストリーム」
			内蔵していない	「ドルビーデジタル」－「PCM（ステレオ）」
		「DTS デコーダー」	内蔵している	「DTS」―「ビットストリーム」
			内蔵していない	「DTS」―「PCM（ステレオ）」
		「AAC デコーダー」	内蔵している	「AAC」―「ビットストリーム」
			内蔵していない	「AAC」―「PCM（ステレオ）」

※マルチチャンネル PCM 対応の HDMI 機器と接続しているときに選択します。

- 次世代オーディオフォーマットのデコードに対応したオーディオ機器とHDMIケーブルで接続したときは「ビットストリーム」を選択してください。

ファミリンクを楽しむための接続

ファミリンク対応テレビ・アクオスオーディオと接続

ファミリンクのための接続をしましょう 215〜220ページ

ファミリンクのための設定をしましょう 165〜168ページ

お持ちの機器に合わせて接続しましょう

お持ちの機器（本機と接続する機器）

ファミリンク対応テレビ	アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）※		ハイビジョンレコーダー（または本機以外のBDレコーダー）をお持ちのとき	ご覧いただくページ
	AN-ACX1/AN-ACY1/AN-ACR1/AN-ACS1/AN-ACD2をお持ちのとき	AN-ACX2/AN-AR300/AN-AR600/AN-AR700をお持ちのとき		
○	—	—	—	**215**ページ
○	—	—	○	**216**ページ
○	○	—	—	**217**ページ
○	—	○	—	**219**ページ
○	○	—	○	**218**ページ
○	—	○	○	**220**ページ

※ AN-ACX1/AN-ACY1/AN-ACR1/AN-ACS1 は、1080p 信号には対応していません。

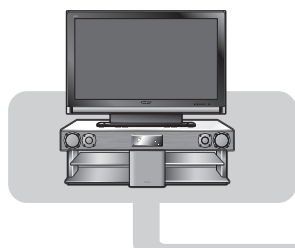
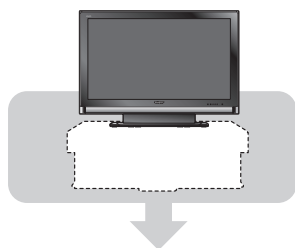
- ファミリンク機能を使うために、テレビとレコーダー（本機）を、HDMI ケーブルで接続します。

アンテナの接続について

・アンテナ線などの接続については、**199** ～ **203** ページをご覧ください。

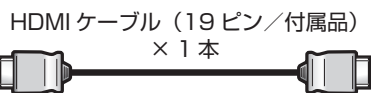
ファミリンク対応機種は？

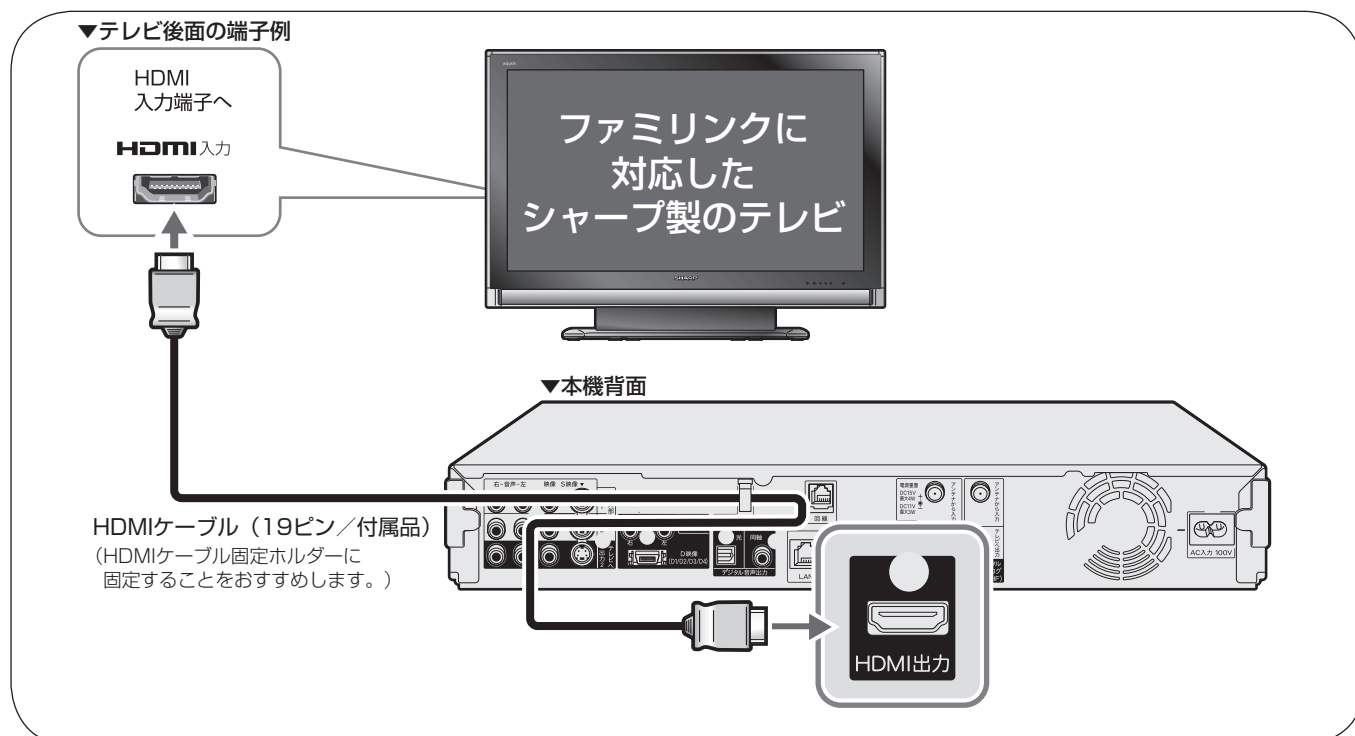
・以下の手順でファミリンク対応機種がご確認いただけます。

① DVD/BDサポートステーション http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/index.htmlにアクセスします。
② 「■使い方が分からないときは」の「?Q&A情報」をクリックします。
③ 「::「Q&A」ピックアップ情報（よくあるご質問）」の「▶AQUOSファミリンクとは？　対応している機種は？」をクリックします。
④ 確認したい製品（「液晶テレビ AQUOS」、「AQUOSハイビジョンレコーダー／AQUOSブルーレイ」、「AQUOSオーディオ／AQUOSサラウンド(BD1ビットシアターシステム／1ビットシアターラックシステム)」)をクリックします。

テレビと本機のみの接続

安全のため、本機・テレビなど、接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。

準備するもの

HDMI ケーブル（19 ピン／付属品）
× 1 本

接続のしかた

本機以外にシャープ製ハイビジョンレコーダー（BD レコーダー）などをお持ちのときは、**216** ページの接続をします。

ファミリンクの設定については **165** ～ **168** ページ

ハイビジョンレコーダー（BD レコーダー）などを追加接続

安全のため、本機･テレビ･ハイビジョンレコーダーなど、接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- i.LINK 出力機能のあるハイビジョンレコーダー（BD レコーダー）と i.LINK ケーブルを使い接続すると、ハイビジョンレコーダーから本機にダビングができます。

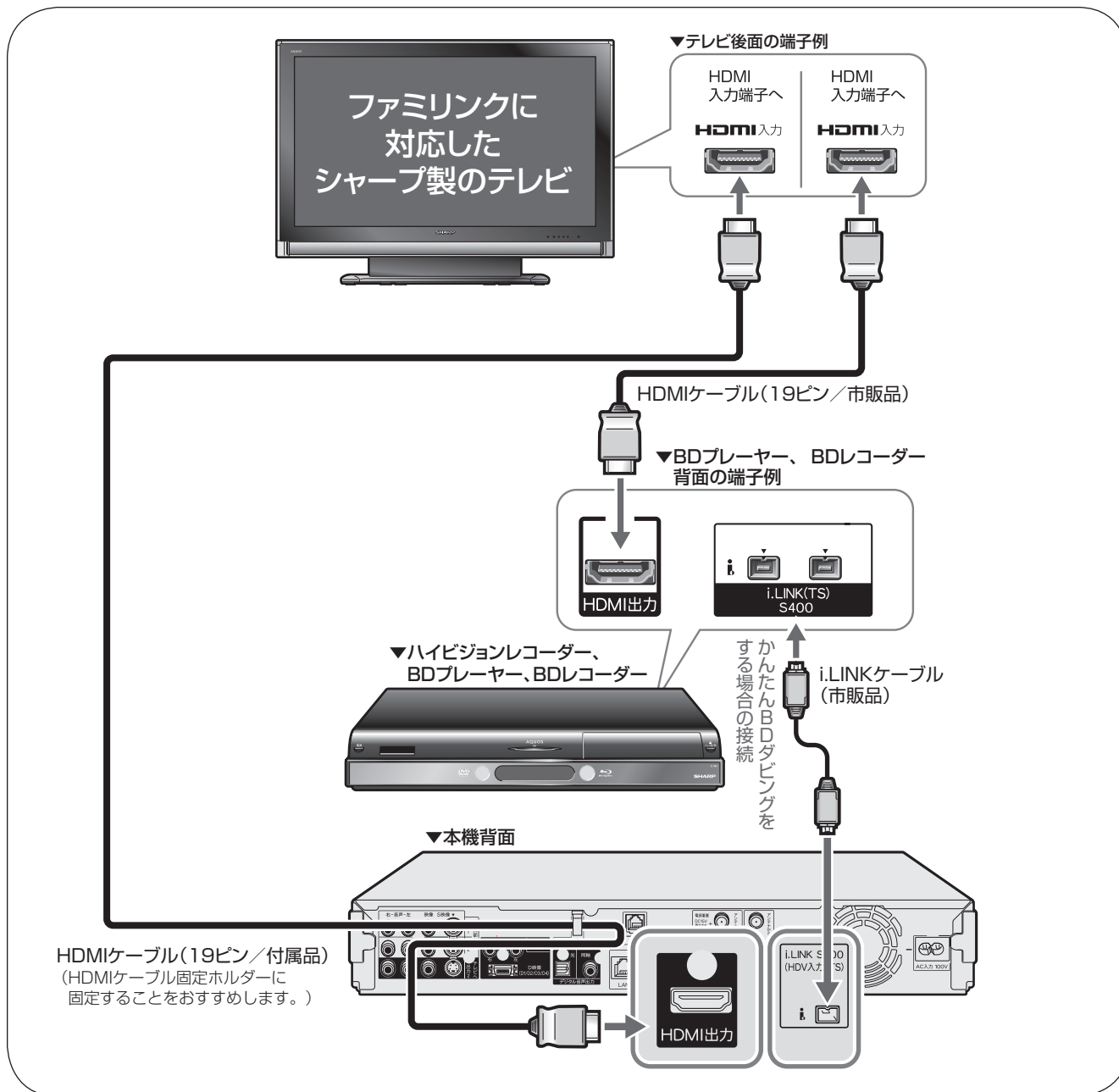
準備するもの

HDMI ケーブル（19 ピン／付属品）
× 1 本

HDMI ケーブル（19 ピン／市販品）※
× 1 本

i.LINK ケーブル（市販品）
× 1 本

※ 1080p に対応したアクオスオーディオと接続するときは、HIGH SPEED（カテゴリー 2）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。

接続のしかた

ファミリンクの設定については **165** ～ **168** ページ

テレビと本機とアクオスオーディオ（アクオスサラウンド）の接続

アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）
AN-ACX1 ／ AN-ACY1 ／ AN-ACR1 ／ AN-ACS1 ／ AN-ACD2 の場合

安全のため、本機・テレビ・アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）など、接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。

準備するもの

接続のしかた

本機以外にシャープ製ハイビジョンレコーダー（BD レコーダー）などをお持ちのときは、**218** ページの接続をします。

▼テレビ後面の端子例
デジタル音声出力端子へ
デジタル音声出力(光)
HDMI入力端子へ
HDMI入力
ファミリンクに対応したシャープ製のテレビ
HDMIケーブル（アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）付属品）
光デジタル音声ケーブル（アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）付属品）
HDMI出力（テレビへ）
HDMI入力（レコーダー/プレーヤーから）
デジタル音声入力(光)
入力1（テレビから）
入力2
HDMIケーブル（19ピン／付属品）
（HDMIケーブル固定ホルダーに固定することをおすすめします。）
▲アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）後面の端子例
必ず入力1に接続してください。
▼本機背面
HDMI出力
◀ファミリンクに対応したアクオスオーディオ（アクオスサラウンド）

ファミリンクの設定については **165** ～ **168** ページ

ハイビジョンレコーダー（BD レコーダー）などを追加接続

アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）
AN-ACX1 ／ AN-ACY1 ／ AN-ACR1 ／ AN-ACS1 ／ AN-ACD2 の場合

安全のため、本機・テレビ・ハイビジョンレコーダー・アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）など、接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。

- i.LINK 出力機能のあるハイビジョンレコーダー（BD レコーダー）と i.LINK ケーブルを使い接続すると、ハイビジョンレコーダーから本機にダビングができます。

準備するもの

※ 1080p に対応したアクオスオーディオと接続するときは、HIGH SPEED（カテゴリー 2）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。

接続のしかた

▼テレビ後面の端子例
デジタル音声出力端子へ
HDMI入力端子へ
HDMI入力端子へ
デジタル音声出力(光)
HDMI入力
HDMI入力
ファミリンクに対応したシャープ製のテレビ
HDMIケーブル（アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）付属品）
光デジタル音声ケーブル（アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）付属品）
HDMI 入力（レコーダー/プレーヤーから）
HDMI 出力（テレビへ）
デジタル音声入力(光)
入力1（テレビから）
入力2
▲アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）後面の端子例
必ず入力1に接続してください。
HDMIケーブル（19ピン/市販品）
HDMIケーブル（19ピン/付属品）（HDMIケーブル固定ホルダーに固定することをおすすめします。）
▼本機後面
HDMI出力
i.LINK S400 (HDV入力/TS)
▲ファミリンクに対応したアクオスオーディオ(アクオスサラウンド)
光デジタル音声ケーブル(市販品)
他機からかんたんBDダビングをする場合の接続
i.LINKケーブル(市販品)
HDMI出力
光デジタル音声出力端子
i.LINK(TS)入力 S400
▲ハイビジョンレコーダー、BDプレーヤー、BDレコーダー
▲ハイビジョンレコーダー、BDプレーヤー、BDレコーダー後面の端子例

重要

- ディスクに記録されている音声によっては、本機を再生したときにアクオスオーディオ（アクオスサラウンド）から音声が出力されない場合があります。そのような場合は、アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）に付属のリモコンの入力切換ボタンを押し、**光デジタル音声入力2**を選んでください。

ファミリンクの設定については **165** ～ **168** ページ

テレビと本機とアクオスオーディオの接続

アクオスオーディオ AN-ACX2/AN-AR300/AN-AR600/AN-AR700 の場合

安全のため、本機・テレビ・アクオスオーディオなど、接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。

準備するもの

接続のしかた

本機以外のシャープ製ハイビジョンレコーダー（BD レコーダー）などをお持ちのときは、**220** ページの接続をします。

▼テレビ後面の端子例
デジタル音声出力端子へ
HDMI入力端子へ
デジタル音声出力(光)
HDMI入力
ファミリンクに対応したシャープ製のテレビ
HDMIケーブル（アクオスオーディオ付属品）
光デジタル音声ケーブル（アクオスオーディオ付属品）
HDMIケーブル（19ピン／付属品）（HDMIケーブル固定ホルダーに固定することをおすすめします。）
HDMI 出力（テレビへ）
HDMI 1
HDMI 2
HDMI 入力（レコーダー/プレーヤーから）
デジタル音声入力(光)
入力1
入力2
▲アクオスオーディオ後面の端子例
必ず入力1に接続してください。
▲本機後面
HDMI出力
◀アクオスオーディオ

ファミリンクの設定については **165** ～ **168** ページ

ハイビジョンレコーダー（BD レコーダー）などを追加接続

アクオスオーディオ AN-ACX2/AN-AR300/AN-AR600/AN-AR700 の場合

安全のため、本機・テレビ・ハイビジョンレコーダー・アクオスオーディオなど、接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。

• i.LINK 出力機能のあるハイビジョンレコーダー（BD レコーダー）と i.LINK ケーブルを使い接続すると、ハイビジョンレコーダーから本機にダビングができます。

準備するもの

※ 1080p に対応したアクオスオーディオと接続するときは、HIGH SPEED（カテゴリー 2）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。

接続のしかた

▼テレビ後面の端子例
デジタル音声出力端子へ
HDMI入力端子へ
デジタル音声出力(光)
HDMI入力
ファミリンクに対応したシャープ製のテレビ
HDMIケーブル（アクオスオーディオ付属品）
光デジタル音声ケーブル（アクオスオーディオ付属品）
HDMI出力（テレビへ）
HDMI1
HDMI2
HDMI入力（レコーダー/プレーヤーから）
デジタル音声入力(光)
入力1　入力2
▲アクオスオーディオ後面の端子例
必ず入力1に接続してください。
▲アクオスオーディオ
HDMIケーブル（19ピン/付属品）（HDMIケーブル固定ホルダーに固定することをおすすめします。）
▼本機後面
HDMI出力
i.LINK S400（HDV入力/TS）
他機からかんたんBDダビングをする場合の接続
HDMIケーブル（19ピン/市販品）
i.LINKケーブル（市販品）
HDMI出力
i.LINK(TS)入力 S400
▲ハイビジョンレコーダー、BDプレーヤー、BDレコーダー
▲ハイビジョンレコーダー、BDプレーヤー、BDレコーダー後面の端子例

重要

• ディスクに記載されている音声によっては、本機を再生したときにアクオスオーディオから音声が出力されない場合があります。そのような場合は、アクオスオーディオに付属のリモコンの入力切換ボタンを押し、**HDMI 2** を選んでください。

ファミリンクの設定については **165** ～ **168** ページ

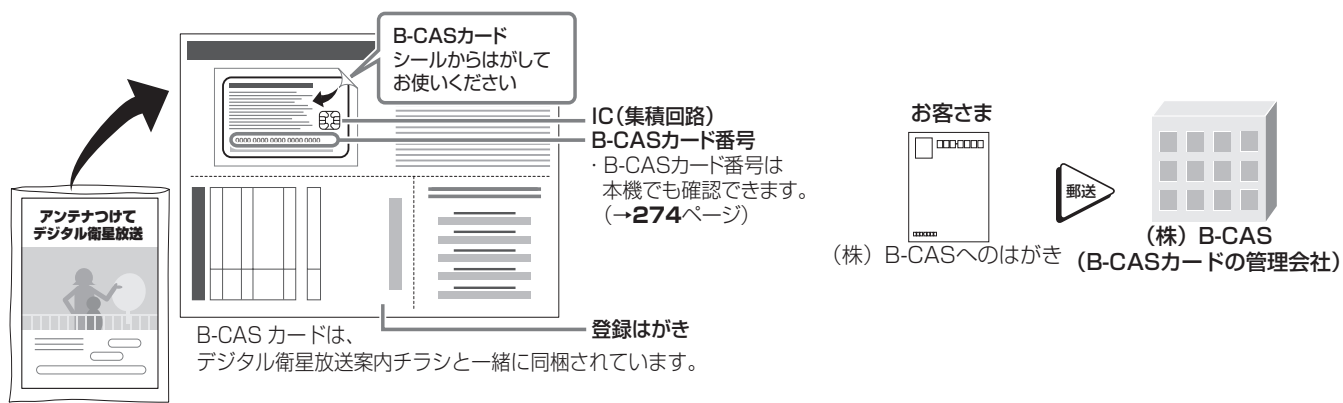
B-CAS（ビーキャス）カードをセットする

デジタル放送を視聴するために、本機に B-CAS カードを必ず挿入してください。
B-CAS カードは、デジタル放送を受信する機器それぞれにセットすることが必要です。

デジタル放送と B-CAS（ビーキャス）カードについて

- B-CAS カードを挿入していただくことで、NHK や無料民放も、これまでどおり番組をお楽しみいただけます。
  B-CAS カードを挿入しないと、地上デジタル放送や BS デジタル放送が映りません。
- 地上デジタル放送、BS・110 度 CS デジタル放送は、B-CAS カードを利用した限定受信システムを採用しています。2004 年 4 月より、有料放送だけでなく、無料放送も B-CAS カードが必要です。
- B-CAS カードの登録をおすすめします。（任意登録で無料）

<ユーザー登録について>

- 「ユーザー登録はがき」または B-CAS 社ホームページ [http://www.b-cas.co.jp] のどちらか一方で、必要事項を記入の上、登録してください。

B-CAS カードの取り扱い

- 折り曲げたり変形させない。
- 重いものをおいたり、踏みつけない。
- 水をかけたり、ぬれた手で触らない。
- IC（集積回路）部には、手を触れない。
- 分解や加工をしない。

B-CAS カードのお問い合わせは（紛失時など）

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
TEL 0570-000-250

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズに B-CAS カードの登録をするには

（（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して（株）B-CAS と呼びます。）

- B-CAS カードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。
  詳しくは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

地上デジタル放送を見るには

地上デジタル放送の受信には UHF 対応のアンテナを使用します。現在お使いのアンテナが UHF 対応であれば、そのままご使用になれます。（※一部取り替えや調整が必要な場合もあります。）

VHF アンテナでは受信できません。

- ご使用のアンテナが VHF アンテナのみの場合は、UHF アンテナの設置が必要になります。

お知らせ

- アンテナ工事は技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
- 地上デジタル放送は、2003 年 12 月から開始された放送です。各都道府県の県庁所在地は、2006 年末までに放送が開始されました。今後も受信エリアは順次拡大されます。
- お住まいの地域でデジタル放送が開始されていない場合は視聴できません。

次ページへつづく

BS・110度CSデジタル放送を見るには

BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の有料放送を視聴するには放送局への申し込みが必要です。

・お客さまが視聴したい番組を放送している放送局の契約申込書に、必要事項をご記入のうえ、投函してください。
詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

[有料放送の視聴・録画について]

・WOWOWなどの有料放送を本機で視聴・録画をするには、契約済みB-CASカードを本機にセットしておく必要があります。
（有料放送は、未契約のB-CASカードでは視聴･録画が行えません。）

・本機は、契約データの受信のために、電源「切」（待機状態＝電源ランプ赤色点灯）のときでも動作することがあります。
・通信中は、本体表示部に「ACCESS」と表示されます。

B-CAS（ビーキャス）カードを本機にセットする

地上デジタル・BS・110度CSデジタル放送をご覧いただくには、B-CASカードを本機にセットする必要があります。

1 本機前面の扉を開けます

▲本機前面

扉に指をかけ、手前に引きます。

2 B-CAS（ビーキャス）カードを表面の矢印の方向に差し込みます

奥まで確実に差し込んでください。

3 本機前面の扉を閉めます

・差し込みが不完全な状態で本機前面の扉を閉めると、カードの破損や本機の故障の原因となります。

B-CAS（ビーキャス）カードを取り出すときはまっすぐに手で引き抜いてください。

ご注意

B-CASカードの取扱い上のご注意
・本機使用中は、B-CASカードに触れないでください。
・差し込み口にB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
・本機使用中は、B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
・B-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
・B-CASカードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
・B-CASカードの金属部には手を触れないでください。
・B-CASカードを分解、加工しないでください。

B-CASカードは大切に保管してください
・仮に他人があなたのB-CASカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。

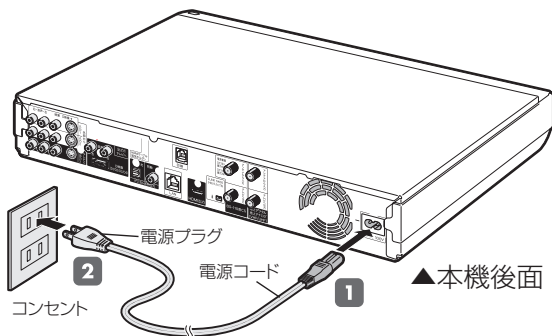
B-CASカードを破損した場合は
・破損等によりB-CASカードの再発行を依頼される場合は費用がかかります。（2009年2月現在）
詳しくは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
カスタマーセンターまでご連絡ください。
（連絡先：0570-000-250）

電源プラグを差し込む

必要な接続と B-CAS カードのセットが済んだら、本機の電源プラグをコンセントに差し込みます。

- 電源コードは、束ねずに伸ばしてご使用ください。
- 機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音などを避けるために、電源コードや他のケーブル類をアンテナ線からできる限り離してご使用ください。

1 電源コードを本体に接続します

2 電源プラグをコンセントに差し込みます

ご注意

- 本機の電源プラグは、アンプなどの電源スイッチに連動した電源コンセントにつながないでください。アンプの電源を切ったときに、本機の設定内容が消去されてしまうことがあります。
- 本機の電源が切れているときは、本体の電源ランプ（赤色）が点灯します。電源プラグを差し込んだときは、自動的に HDD（ハードディスク）の信頼性を確認するため、電源ランプが点灯するまでに多少時間がかかります。電源ランプが点灯するまでお待ちください。（電源ランプ点滅中はシステム準備中のため、電源「入」にできません。）

赤点滅中ーシステム準備中
（赤点灯するまでお待ちください）
赤点灯中ー待機中
（電源「入」にできます）
緑点灯中ー電源入

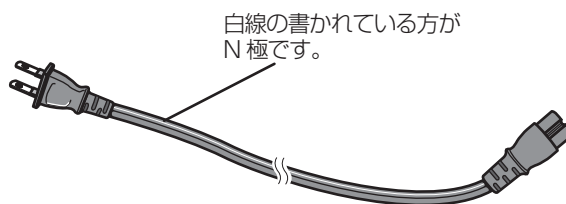
お知らせ

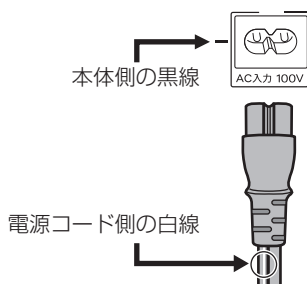
- コンセントから電源プラグを抜いたあと再び接続して電源を入れた場合、あるいはリセット操作（→ **294** ページ）を行うと以下の表示が出ることがあります。表示が消えるまでお待ちください。

ディスクを確認しています。
完了まで10分以上かかる場合があります。

BD-HDW40 の電源コードについて

BD-HDW40 の電源コードは、より良い音質でお楽しみいただけるように、次のような仕様になっています。

●BD-HDW40 の電源コードには極性があります。

これは、よりよい音質でお楽しみいただけるように壁のコンセントの差し込み口と極性を合わせるためです。壁のコンセントの差し込み口に長短がある場合は、長い穴が N 極側です。長短がない場合は、極性がわかる市販の検電ドライバーで調べます。

●本機に接続するときは向きを合わせてください。

本体の電源コード接続部の横に黒線のある方が N 極です。電源コードの白線側を、本体の電源コード接続部の黒線側に、向きを合わせて差し込んでください。

設定のながれ

以下のような場合はそれぞれの設定を行ってください。

本機を箱から出して初めて電源を入れたとき
設定をやり直したい

→ **初期設定** 225 ページ
らくらくセットアップ
・本機にアンテナ線を接続後、ファミリンクを搭載したシャープ製テレビ「アクオス」と本機を HDMI ケーブルで接続をすると、テレビのチャンネル設定を取得することができ、かんたんに初期設定が行えます。

地上アナログ放送がうまく受信できない

→ **地上アナログ放送設定** 242 ページ
・チャンネル個別設定

リモコンの設定

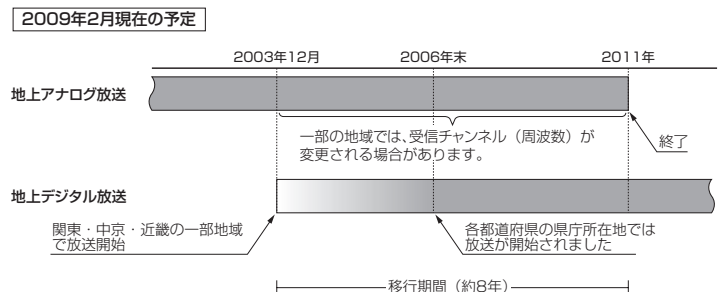
→
- **本機のリモコンでお使いのテレビを操作する** 236 ページ
- **リモコンのテレビ自動入力切換について** 237 ページ
- **リモコンを使うと他機が同時に動作する場合に設定を変える** 240 ページ

デジタル放送がうまく受信できない
双方向番組に参加したい
有料放送の契約がしたい

→ **デジタル放送設定**

・チャンネル個別設定
・電子番組表の取得
・双方向通信設定　など

現行の地上アナログ放送は 2011 年 7 月までに終了します。
・2011 年 7 月までに地上アナログ放送は終了する予定です（2009 年 2 月現在）。
（※地上アナログ放送と地上デジタル放送では、放送内容が異なる場合があります。）

2009年2月現在の予定

お知らせ
・ARIB 放送規格の変更により、メニューなどの仕様が変わる場合があります。

初期設定する（らくらくセットアップ）

接続後、初めて電源を入れたときはセットアップのための初期設定画面が表示されます。

ご注意

- 接続後、初めて電源を入れたときに「初期設定」画面が表示されない場合については、**325** ページ
- リモコンでお使いのテレビを操作するには、「メーカー指定」の設定を行う必要があります。（→ **236** ページ）
- リモコン操作をすると他のシャープ製 DVD レコーダーや DVD プレーヤーも動作してしまうときは、「リモコン番号」を設定してください。（→ **240** ページ）

お知らせ

- 設定したあとで初期設定をやり直したいときは、リモコンふた内の 接続設定リセット を初期設定画面が表示されるまで押すか、「設定リセット」（→ **233**、**282** ページ）または「個人情報初期化」（→ **282** ページ）を行ってください。「設定リセット」と「個人情報初期化」を行った場合、自動的に電源が「切」になった後で電源を「入」にすると、初期設定画面が表示されます。

お知らせ

テレビの入力を HDMI ケーブルで接続した入力に切り換えても初期設定画面が出ないときは

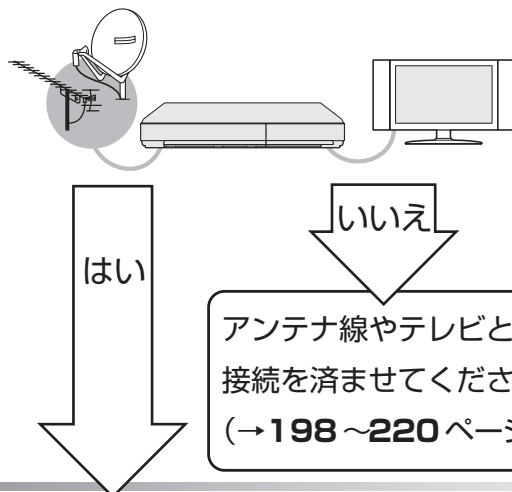
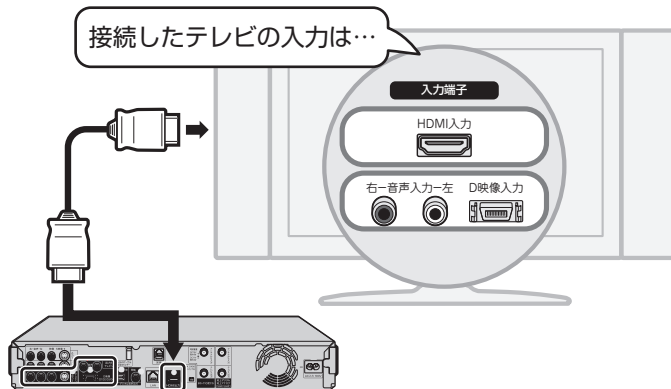
- 本機とテレビを HDMI ケーブルで接続していますか。ケーブルが抜けかかっていませんか。

つぎの手順で設定しましょう

1 アンテナ線、テレビとの接続はお済みですか？

はい

いいえ

アンテナ線やテレビとの接続を済ませてください（→**198**～**220** ページ）

2 レコーダー（本機）を接続したテレビの入力を確認します

- ここで確認したテレビの入力の番号（「入力 1」など）を、手順 **5** で選択します。

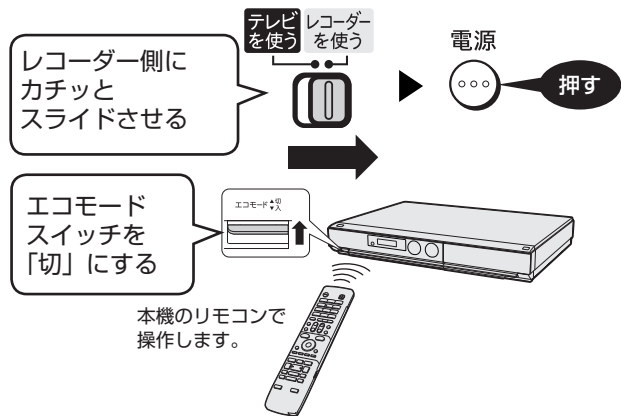
3 レコーダー（本機）に B-CAS カードをセットします

▼本機前面

- B-CAS カードを挿入しないと、地上デジタル放送や BS デジタル放送が映りません。

次ページへつづく

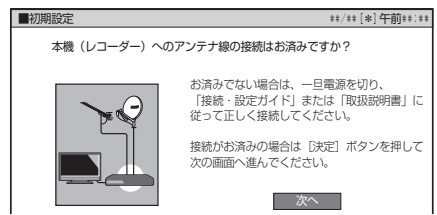
4 テレビと本機の電源を入れます

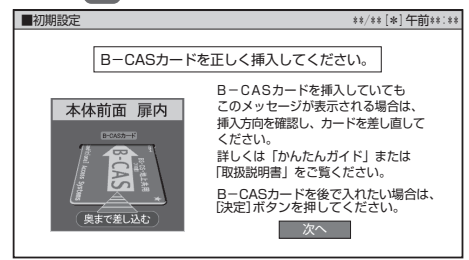
- テレビの電源はテレビのリモコンで入れます。
- 本機の電源は本機のリモコンにあるテレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側に切り換えてから入れます。

5 テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます

- テレビのリモコンで入力切換ボタンを押し、テレビの入力を切り換えます。

例：手順 2 でテレビの入力 1 に接続した場合

- 入力が正しく切り換わると、「初期設定」画面が表示されます。

6 初期設定を始めましょう

お知らせ

- こんな画面が出たら「B-CAS カード」を入れ直してください。正しくセットすると、7 の画面になります。

7 BS・110 度 CS アンテナを接続しているかどうかを選びます

- 「する」または「しない」を選んで決定します。

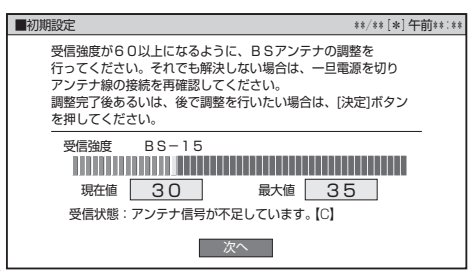
BS・110度CSデジタルアンテナを接続しますか？

する　　しない

する	BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナ線を接続している場合 BS･CS アンテナ電源の供給は、自動的に「オート」に設定されます。（→ **252** ページ） BS 受信強度が低い（60 未満）場合は下記の「お知らせ」 の画面になります。
しない	BS･110度CS デジタル放送用アンテナ線を接続していない場合 BS･CS アンテナ電源は「切」に設定されます。

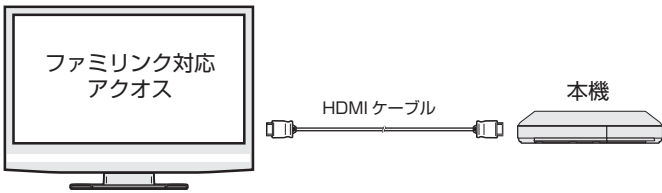
すでに放送受信設定が完了しているファミリンク対応テレビ「アクオス」と、HDMI ケーブルで接続しているときは

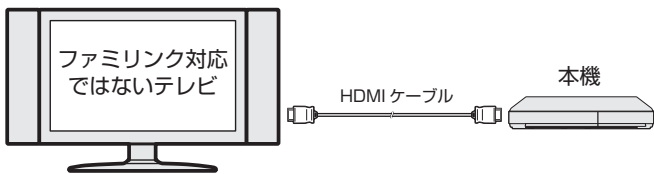
- 「テレビ設定情報取得」画面に進み、チャンネル設定が自動的に始まります。（→**227**ページの手順 9 ）

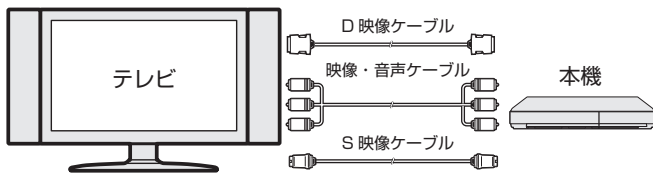
- 下記の画面が表示されたときはアンテナ線の接続を確認してください。

- （決定）を押すとテレビに合わせた設定画面に進みます。

8 レコーダー（本機）を接続したテレビに合わせた設定を行います

・ここからの設定手順は、接続したテレビや接続に使用しているケーブルによって異なります。
下記をご覧の上、必要な設定を行ってください。

A ファミリンク対応の液晶テレビ「アクオス」とHDMIケーブルで接続したとき

このページの手順 9 へ進む

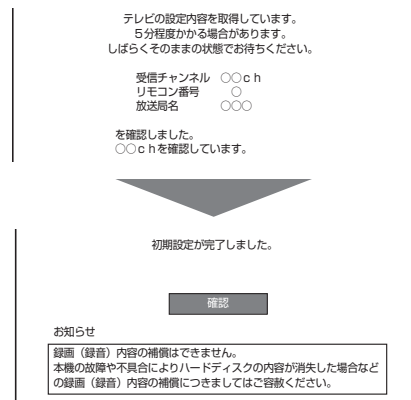
B ファミリンク対応ではないテレビとHDMIケーブルで接続したとき

228 ページの手順 9 へ進む

C テレビとHDMIケーブル以外(D映像ケーブルや、S映像、映像・音声ケーブル)で接続したとき

229 ページの手順 9 へ進む

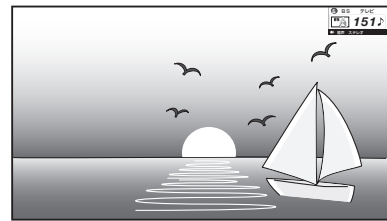
A ファミリンク対応の液晶テレビ「アクオス」とHDMIケーブルで接続したとき

左からのつづき

9 テレビのチャンネル情報が自動的に取得されます

・テレビのチャンネル情報取得は 5 分程度かかる場合があります。設定が完了するまでお待ちください。

設定が完了したら決定ボタンを押します

完了

テレビ放送画面になります

テレビ放送がすべて映るか確認します (→ 38 ページ)

設定情報取得中に「決定」を押し中止したときは

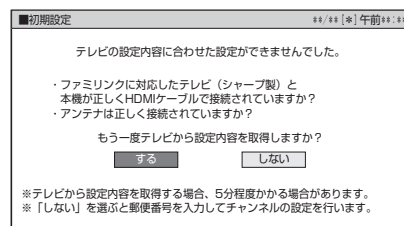
■初期設定　**/** [*] 午前**:**

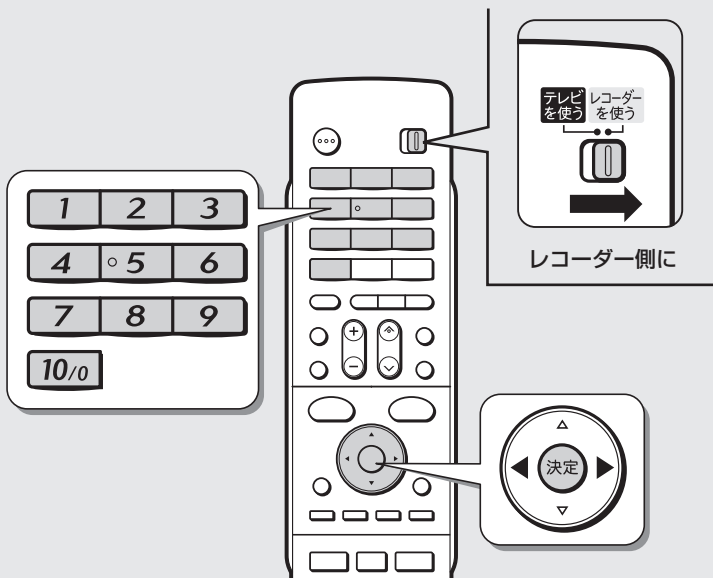
テレビの設定内容に合わせた設定ができませんでした。

・ファミリンクに対応したテレビ（シャープ製）と本機が正しくHDMIケーブルで接続されていますか？
・アンテナは正しく接続されていますか？

もう一度テレビから設定内容を取得しますか？

する　しない

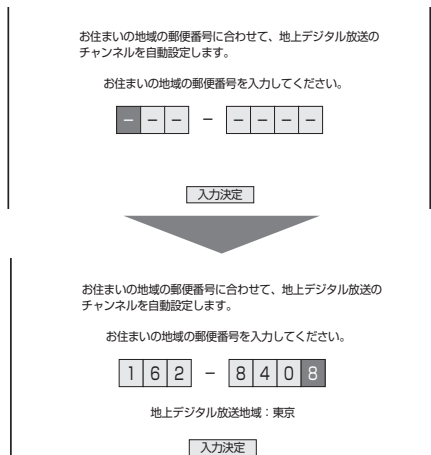
※テレビから設定内容を取得する場合、5分程度かかる場合があります。
※「しない」を選ぶと郵便番号を入力してチャンネルの設定を行います。

・（◀）を押し、「する」で（決定）を押すと再度「チャンネル情報取得」画面になります。
・（▶）を押し、「しない」で（決定）を押したときは「郵便番号」設定画面となります。(→ 228 ページ)

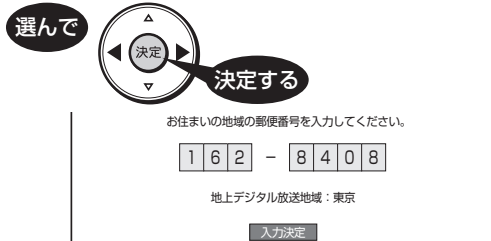
B ファミリンク対応ではないテレビとHDMIケーブルで接続したとき

お知らせ

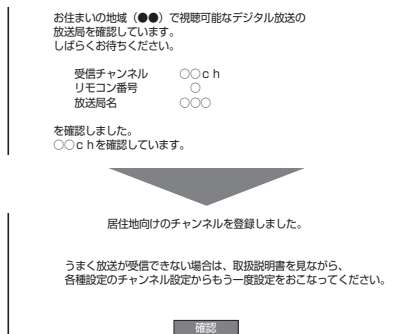
・郵便番号によるチャンネル設定で地上アナログ放送が受信できないときは、「地上アナログ放送のチャンネル設定をする」（→ **242** ページ）でチャンネルを設定してください。

227 ページからのつづき

9 お住まいの場所の郵便番号を設定します

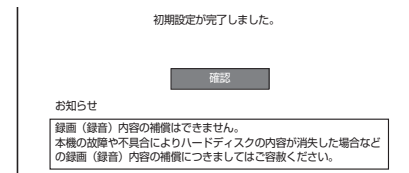
・数字ボタンで郵便番号を入力します。
・「0」は 10/0 で入力します。
・入力を間違えたときは◀または▶を押し、間違えたところから再度入力します。

・存在しない郵便番号を入力すると、「後でチャンネル設定を行う」が表示されます。
郵便番号がわからないときに選んで決定します。
初期設定が終了したら、郵便番号をお調べになり、**251**、**254** ページの手順でチャンネル設定を行ってください。

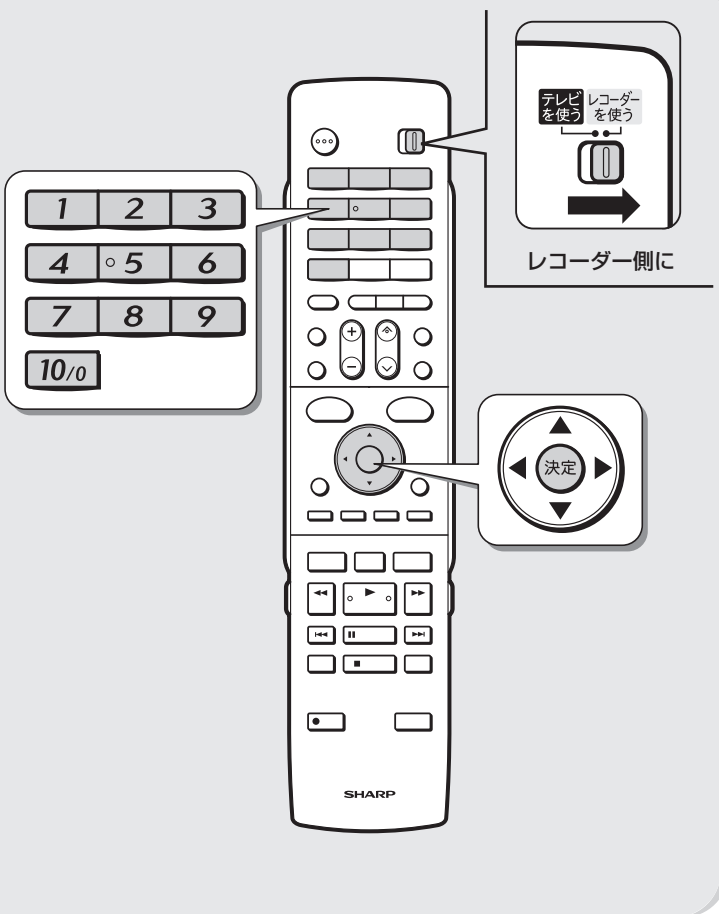
10 「入力決定」を選び、郵便番号を決定します

11 チャンネル設定が自動的に始まります

・チャンネル設定は 5 分程度かかる場合があります。
設定が完了するまでお待ちください。

設定が完了したら決定ボタンを押します

12 初期設定を終了します

「確認」で決定します

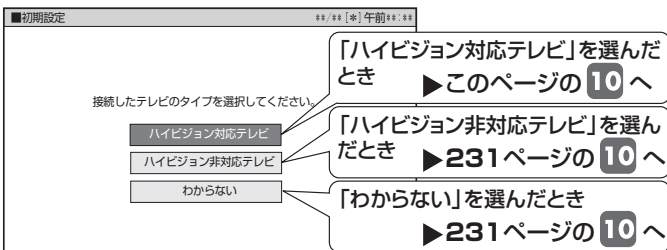
完了

テレビ放送画面になります
テレビ放送がすべて映るか確認します
（→ **38** ページ）

C テレビとHDMIケーブル以外 (D映像ケーブルや、S映像、映像・音声ケーブル) で接続したとき

227 ページからのつづき

9 接続したテレビの種類を設定します

「ハイビジョン対応テレビ」を選んだとき ▶このページの 10 へ

「ハイビジョン非対応テレビ」を選んだとき ▶231ページの 10 へ

「わからない」を選んだとき ▶231ページの 10 へ

「ハイビジョン対応テレビ」の場合

10 接続したテレビの端子を選択します

- 「その他の入力端子」「わからない」を選んだときは、手順 12 へ進みます。D 映像出力 [D1]、プログレッシブ出力 [しない] となります。

11 選択したテレビの端子を決定します

はい を

選ばれた映像端子向けにD映像出力の設定を
D3/D4/D5に変更します。よろしいですか？

はい　いいえ

変更後に映像が正しく表示されない場合は
そのまま操作せずにお待ちください。
自動的に現在の設定に戻ります。

- 「いいえ」を選んだときは、手順 10 に戻ります。

D映像出力の設定を変更しました。
現在の設定はD3/D4/D5です。

確認　再設定

- 「再設定」を選んだときは、手順 10 に戻ります。

設定が完了したら決定ボタンを押します

確認 を

12 設定された内容を確認し、決定します

例：手順 10 で「D5 映像入力端子」を選んだとき

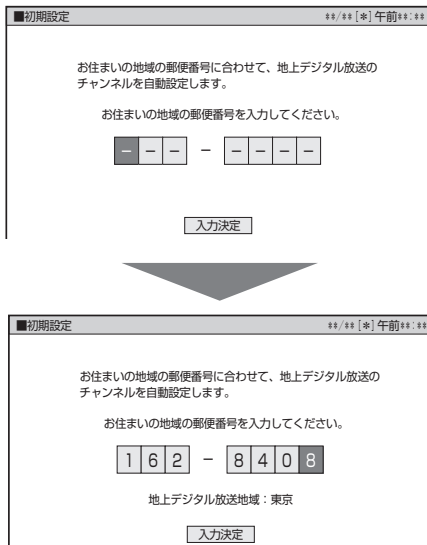
接続機器にあわせ映像出力を以下のように設定しました。
D映像出力　[D3／D4／D5]

また、次の項目をハイビジョン対応テレビに適したものに
自動設定しました。
画面サイズ　[ワイド（16：9）]

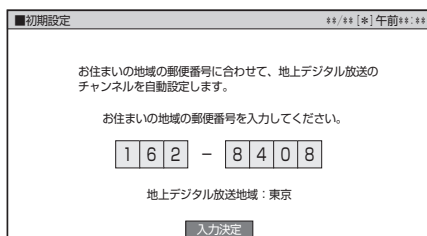
確認
※ HDMI出力時、この設定は無効です。

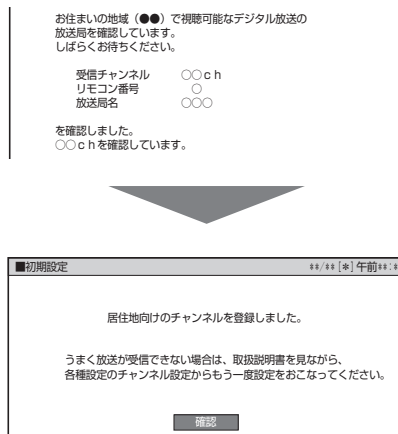
- 次に、地上デジタル放送のチャンネル設定に進みます。

13 お住まいの場所の郵便番号を設定します

- 数字ボタンで郵便番号を入力します。
- 「0」は 10/0 で入力します。
- 入力を間違えたときは ◀ または ▶ を押し、間違えたところから再度入力します。

・存在しない郵便番号を入力すると、「後でチャンネル設定を行う」が表示されます。
郵便番号がわからないときに選んで決定します。
初期設定が終了したら、郵便番号をお調べになり、**251**、**254** ページの手順でチャンネル設定を行ってください。

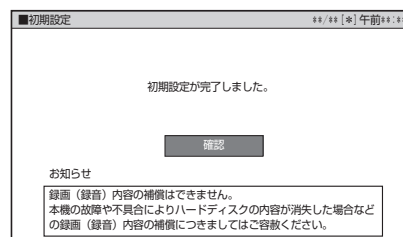
手順 16 へ進みます。

14 「入力決定」を選び、郵便番号を決定します

15 チャンネル設定が自動的に始まります

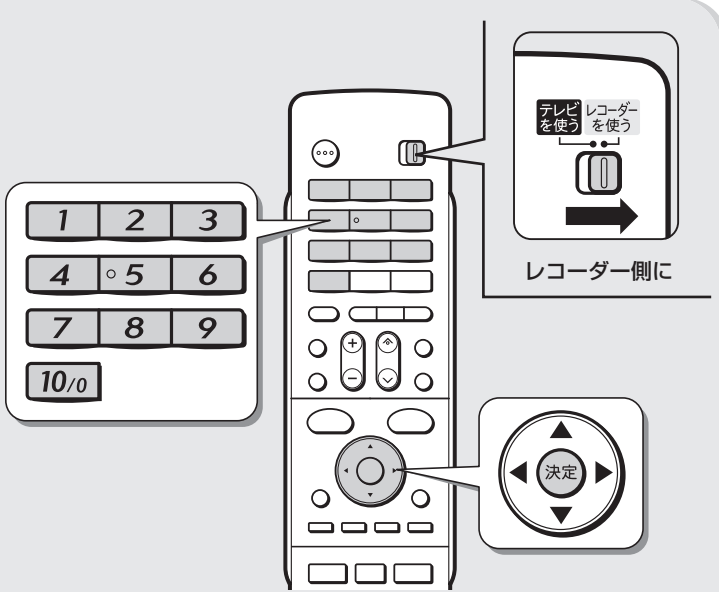
- チャンネル設定は 5 分程度かかる場合があります。設定が完了するまでお待ちください。

設定が完了したら決定ボタンを押します

16 初期設定を終了します

「確認」で決定します

完了

テレビ放送画面になります
テレビ放送がすべて映るか確認します（→ **38** ページ）

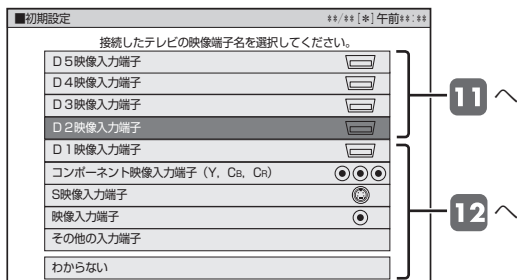
お知らせ

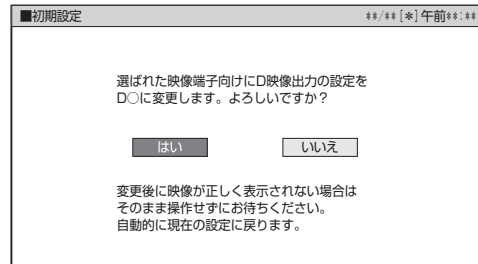
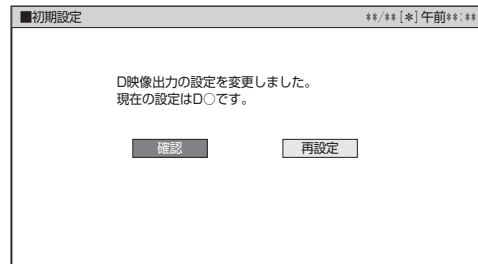
- 初期設定後、本機から D 映像ケーブルを取り外すと、設定は「D1」になります。
  テレビ側の映像端子を「D2」～「D5」または「コンポーネント映像入力端子」に設定していたときは、「各種設定」の「本体設定」－「映像・音声設定」で「D 映像出力設定」をやり直してください。
- 郵便番号によるチャンネル設定で地上アナログ放送が受信できないときは、「地上アナログ放送のチャンネル設定をする」（→ **242** ページ）でチャンネルを設定してください。

お知らせ

・テレビ側の映像端子を「D2」～「D5」または「コンポーネント映像入力端子」に設定した後、本機から D 映像ケーブルを取り外すと、設定は「D1」になります。その場合は、再度初期設定をやり直してください。

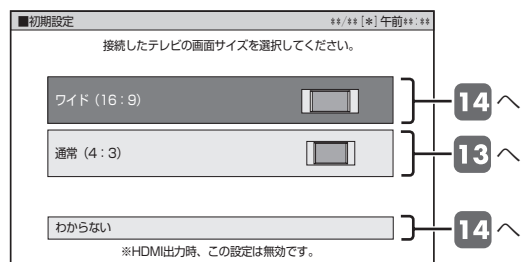
「ハイビジョン非対応テレビ」の場合

229 ページからのつづき

10 接続したテレビの端子を選択します

- 「D5/D4/D3/D2 映像入力端子」を選んだときは、手順 11 に進みます。
- 「D1 映像入力端子」「コンポーネント映像入力端子（Y,CB,CR）」「S 映像／映像入力端子」を選んだとき、あるいは「その他の入力端子」「わからない」を選んだときは、手順 12 に進みます。

11 選択したテレビの端子を決定します

- 「いいえ」を選んだときは、手順 10 に戻ります。

- 「再設定」を選んだときは、手順 10 に戻ります。

「確認」で決定ボタンを押します

12 接続したテレビの画面サイズを選択します

- 「ワイド（16：9）」を選んだときは、手順 14 に進みます。
- 「通常（4：3）」を選んだときは、手順 13 に進みます。
- 「わからない」を選んだときは、手順 14 に進みます。

13 ワイド映像を視聴したときの画面サイズを選択します

14 設定された内容を確認します

画面例

接続機器にあわせ映像出力を以下のように設定しました。
D映像出力　[D○]
画面サイズ　[○○（○：○）]

また、次の項目を通常のテレビに適したものに自動設定しました。

確認
※ HDMI出力時、この設定は無効です。

「確認」で決定します

- 次に、地上デジタル放送のチャンネル設定に進みます。

15 お住まいの場所の郵便番号を設定します

- 数字ボタンで郵便番号を入力します。
- 「0」は 10/0 で入力します。
- 入力を間違えたときは◀または▶を押し、間違えたところから再度入力します。

・存在しない郵便番号を入力すると、「後でチャンネル設定を行う」が表示されます。
郵便番号がわからないときに選んで決定します。
初期設定が終了したら、郵便番号をお調べになり、**251**、**254** ページの手順でチャンネル設定を行ってください。

手順 **18** へ進みます。

16 「入力決定」を選び、郵便番号を決定します

選んで
決定する

お住まいの地域の郵便番号を入力してください。
1 6 2 － 8 4 0 8
地上デジタル放送地域：東京
入力決定

17 チャンネル設定が自動的に始まります

- チャンネル設定は 5 分程度かかる場合があります。設定が完了するまでお待ちください。

居住地向けのチャンネルを登録しました。

うまく放送が受信できない場合は、取扱説明書を見ながら、各種設定のチャンネル設定からもう一度設定をおこなってください。

確認

設定が完了したら決定ボタンを押します

18 初期設定を終了します

「確認」で決定します

完了

テレビ放送画面になります
テレビ放送がすべて映るか確認します
（→ **38** ページ）

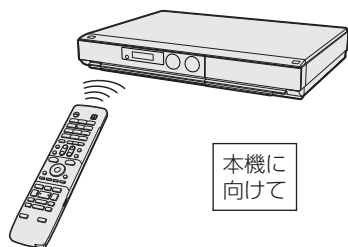
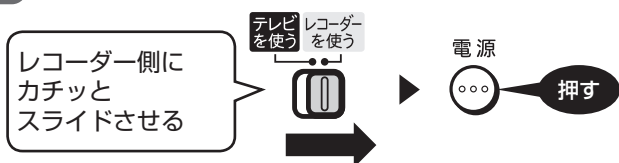
初期設定をやり直す

引越しやテレビの買い換えなどで初期設定をやり直す場合は、次のように行ってください。

1 「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「設定リセット」を選んで決定します 282 ページ

2 「する」を選んで決定します

・自動的に電源が切れます。

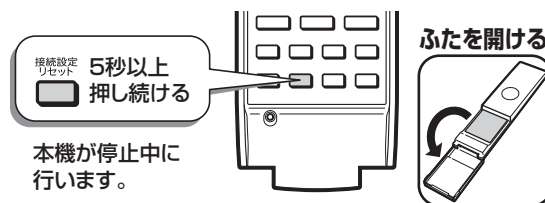
3 本機の電源を入れます

・初期設定画面が表示されます。

4 初期設定をやり直します 226 ページ 5

映像端子とテレビのタイプの設定

「初期設定」で設定できる各項目のうち、次の項目については「初期設定」をやり直さなくても再設定することができます。

設定する項目		選ぶ内容
映像端子設定（接続したテレビの端子名）	D1 端子	「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「映像･音声設定」－「D 映像出力設定」で、接続したテレビの端子名を選びます。
	D2 端子	
	D3 端子	
	D4 端子	
	D5 端子	
テレビのタイプ設定	16：9 ワイドテレビ	「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「映像・音声設定」－「画面サイズ設定」－「16：9（ワイド）」
	4：3 サイズのテレビ	「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「映像・音声設定」－「画面サイズ設定」－「4：3（ノーマル）」

テレビとの接続設定を工場出荷時の状態に戻したいときは

時計を合わせる（地上アナログ放送）

地上アナログ放送のみ受信する場合は、時計合わせを行う必要があります。

ご注意

- デジタル放送を受信している場合は自動的に時計合わせが行われますので、この操作は必要ありません。
- 日付･時刻設定がされていない場合は、録画予約やダビングができません。

1 テレビと本機の準備をします

36 ページ

2 スタートメニューを表示させます

4へ

3 「各種設定」を選んで決定します

選んで 決定する

■スタートメニュー［各種設定］

本機の様々な設定項目を表示します。
チャンネルの設定や録画・再生をするときに便利な設定ができます。

再生・編集	予 約	ダビング
アルバム	消 去	動画・写真取り込み
各種設定	お知らせ	ディスク管理

で選択し 決定 を押す 戻る で前の画面に戻る 終了 で終了

4 「本体設定」－「日付・時刻設定」を選んで決定します

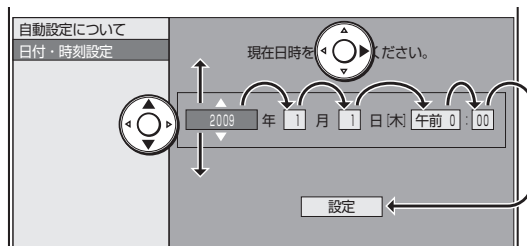
■各種設定［本体設定…日付・時刻設定］

録画機能設定 | 本体設定 | 機能切換 | デジタル設定

- 地域設定
- チャンネル設定
- アンテナ設定
- 映像・音声設定
- 日付・時刻設定
- クイック起動設定 ［しない］
- 無操作オフ設定 ［しない］
- リモコン番号設定 ［ 1 ］
- 設定リセット
- ハードディスク初期化
- 個人情報初期化

- 日付･時刻設定には「自動設定について」と「日付･時刻設定」の２つの項目があります。「日付・時刻設定」を選んで決定してください。

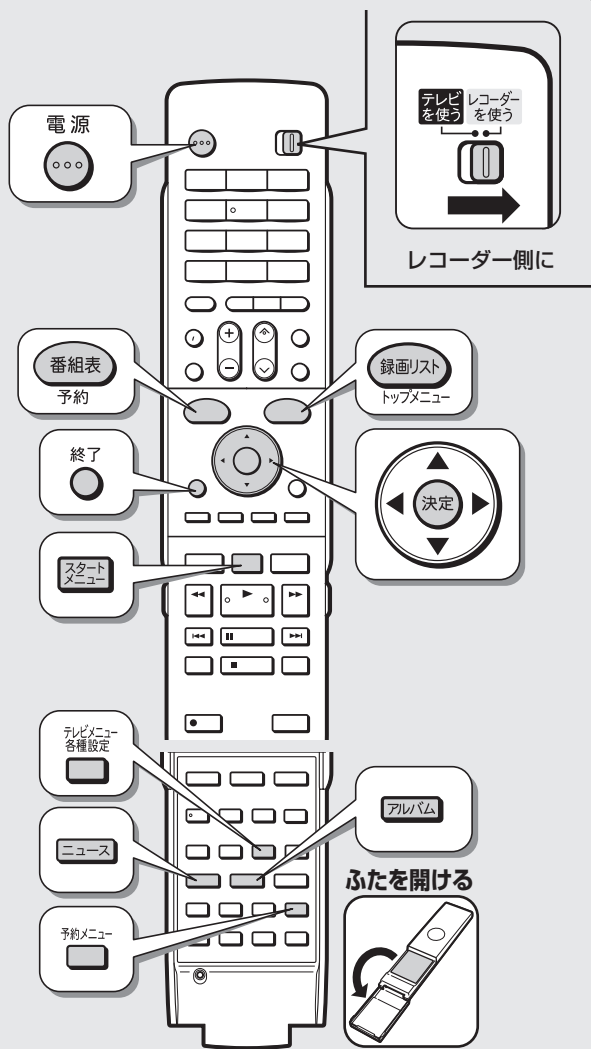
5 「日付・時刻設定」を選んで決定します

6 年→月→日→時→分をそれぞれ選んで設定します

7 「設定」で決定します

8 時計合わせを終了します

一発（クイック）起動を設定する

待機状態からおもなボタンを押すだけで、すぐに起動するように設定できます。

電源　テレビを使う　レコーダーを使う　レコーダー側に　番組表　予約　録画リスト　トップメニュー　終了　決定　スタートメニュー　テレビメニュー 各種設定　アルバム　ニュース　予約メニュー　ふたを開ける

ご注意

- 電源プラグを抜くときは、一発（クイック）起動を「しない」に設定してください。
- 一発（クイック）起動の待機中は本体内部の回路がはたらいているため、後面の冷却ファンが回転するなどして、通常の待機（電源切）状態より消費電力が増加します。
- ダウンロードサービス時は開始５分前になると一時的に一発（クイック）起動が解除され、すぐに電源が入らない場合があります。

お知らせ

- 工場出荷時は一発（クイック）起動は「しない」に設定されています。
- 録画や再生操作は、一発（クイック）起動はできません。電源を入れてから操作してください。
- 接続するモニターや端子によっては一発（クイック）起動に多少時間がかかる場合があります。
- エコモード時は一発（クイック）起動は働きません。

1 テレビと本機の準備をします 36 ページ

2 スタートメニューを表示させます

スタートメニュー 押す　または　テレビメニュー 各種設定 押す（ふた内）

4へ

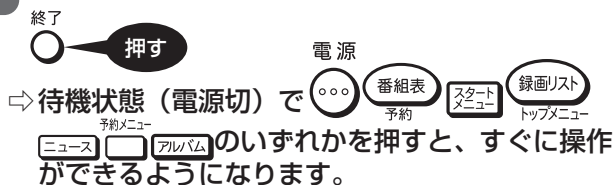
3 「各種設定」を選んで決定します

4 「本体設定」−「クイック起動設定」を選びます

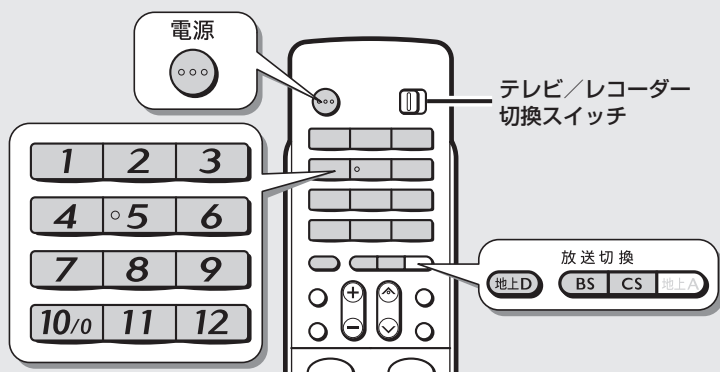
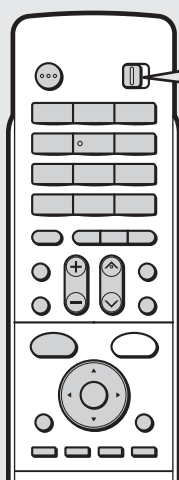
5 クイック起動を設定します

① 電源が切れている状態から、「電源を入れる」「電子番組表を表示させる」「スタートメニューを表示させる」「録画リストを表示させる」などの操作がすぐに行えます。また、電源が入ったあと「録画」「再生」の操作がすぐに行えます。
② 電源を切ったあと、２時間は①「する（設定 1）」と同じ操作が行えます。２時間後からは、待機時の消費電力を抑えるため「しない」と同じ状態で待機します。
③ 一発（クイック）起動しません。

6 設定を終了します

⇨待機状態（電源切）で 電源 番組表 スタートメニュー 録画リスト ニュース 予約メニュー アルバム のいずれかを押すと、すぐに操作ができるようになります。

本機のリモコンでテレビを操作する

本機のリモコンでお使いのテレビを操作することができるようになります。

テレビメーカー指定ボタン

テレビ操作ボタン

お知らせ

- 「シャープ C1」または「シャープ C2」（デジタルチューナーを内蔵したシャープ製のテレビ「アクオス」に対応）の場合は、リモコンのテレビ操作ボタンのすべてが操作できます。
  「シャープ A」および手順 1 で設定した他メーカーのテレビでは、「電源」、「音量」、「選局」、「入力切換」のみが操作できます。
- 「シャープ C1」「シャープ C2」設定時のみ、テレビ自動入力切換機能がご使用になれます（→ **237** ページ）。

ご注意

- テレビの種類や機種によっては、リモコンで操作できないものや、特定のボタンが操作できないものがあります。
- 本機のリモコンのテレビ操作は、メモリーできるマルチタイプのリモコンに転送できない場合があります。
  メモリーする場合は、テレビのリモコンで転送してください。
- 長時間（約 1 日）リモコンに電池がない状態が続いたときは、メーカーの設定は「シャープC1」に戻ります。メーカー指定をやり直してください。

重要

シャープ製テレビをお使いのときは

- **本機のリモコンは、工場出荷時「シャープ C1」に設定されています。そのまま操作できるかご確認ください。**
- 操作できないときは「シャープ C2」→「シャープ A」の順番で設定し、テレビが操作できるか確認します。

1 メーカー指定ボタンを押したまま、電源を 6 秒以上押します（下表参照）

例： シャープ C2 に変更する場合 ： 2 ＋ 電源

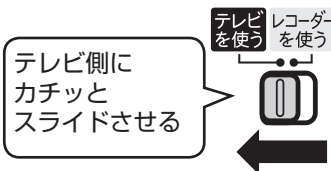
- 手順 1 の設定はテレビ／レコーダー切換スイッチがどちら側でも設定できます。

対応メーカーと指定ボタン一覧表

メーカー	指定ボタン	メーカー	指定ボタン
シャープ C1※	1 ＋ 電源	日立	9 ＋ 電源
シャープ C2	2 ＋ 電源	東芝	10/0 ＋ 電源
シャープ A	3 ＋ 電源	パイオニア	11 ＋ 電源
パナソニック 1	4 ＋ 電源	三洋 1	12 ＋ 電源
パナソニック 2	5 ＋ 電源	三洋 2	地上D ＋ 電源
日本ビクター	6 ＋ 電源	フナイ	BS ＋ 電源
ソニー	7 ＋ 電源	アイワ	CS ＋ 電源
三菱	8 ＋ 電源		

※工場出荷時

- 同じメーカーで指定番号が 2 つ以上あるものは、順番に試して、手順 3 でテレビの操作ができるものを選んで設定してください。

2 テレビ／レコーダー切換スイッチをテレビ側にします

3 リモコンをテレビに向けてテレビが操作できるか確認します

電源 … テレビの電源を入／切する

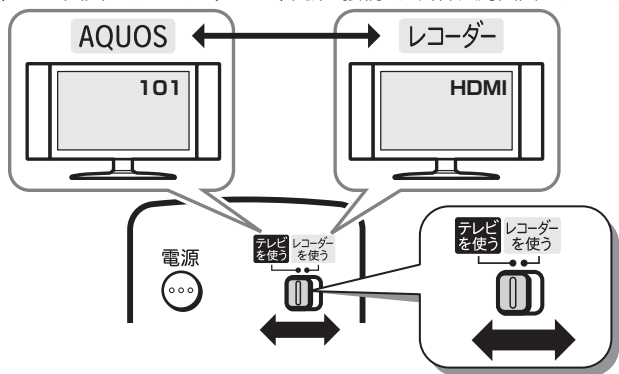
… テレビの入力を切り換える

… テレビのチャンネルを選局する

… テレビの音量を調整する

テレビの入力を自動で切り換えるには（テレビ自動入力切換）

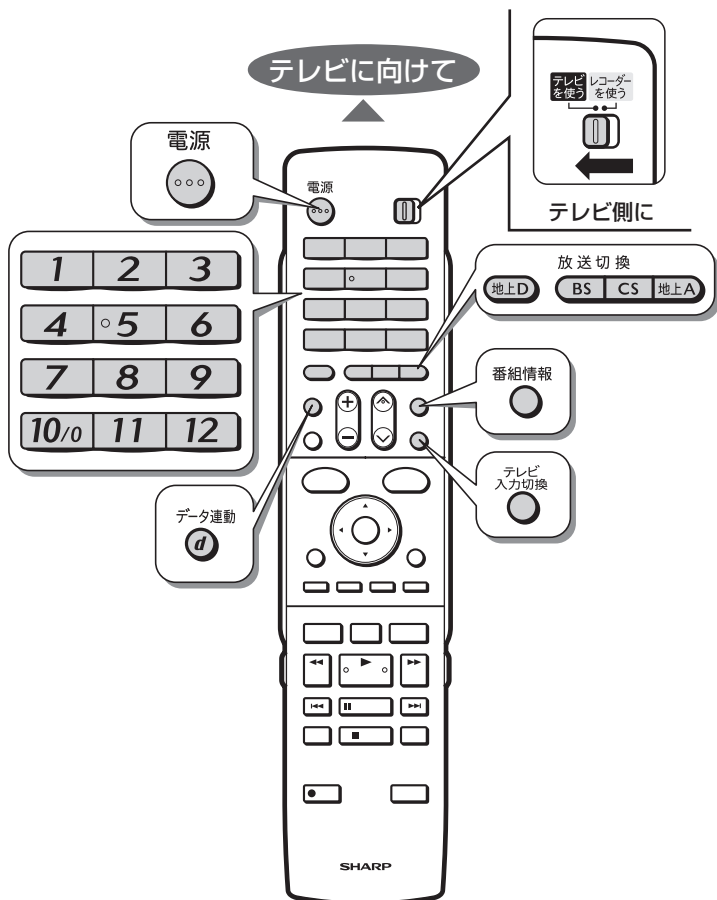
本機のリモコンは、シャープ製のデジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」の外部入力を自動的に切り換える機能を持っています。

自動入力切換とは

工場出荷状態では

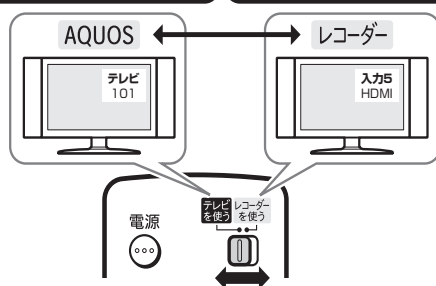
テレビメーカー指定　→　「シャープ C1」
自動入力切換　→　「しない」
になっています。

- 本機のリモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチは、テレビメーカー指定を「シャープ C1」（工場出荷状態）または「シャープ C2」に設定しているとき、テレビの入力切換ボタンを何回か押したときと同じ動作をします。
- リモコンをテレビに向けてテレビ／レコーダー切換スイッチをレコーダー側に切り換えるだけで、テレビの入力を、自動的に本機を接続した入力に切り換えることができる便利な機能です。（工場出荷状態では働かない設定になっています。）
- テレビメーカー設定「シャープ C1」または「シャープ C2」で操作できるテレビは、デジタルチューナー内蔵のシャープ製テレビ「アクオス」です。

自動入力切換の設定をする

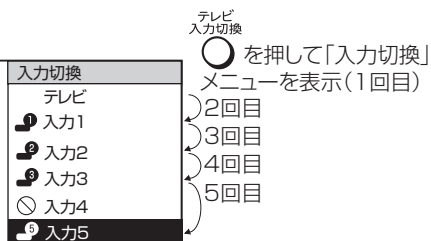
- 自動入力切換は、工場出荷状態では働かない設定になっています。テレビの外部入力を、本機を接続した入力に自動的に切り換わるように設定するには、**238** ページまたは **239** ページの設定を行ってください。

こんな使いかたが便利です

たとえば、本機をテレビの入力５（HDMI 端子）に接続している場合

- テレビの「入力」が、自動的に入力５（HDMI 端子）に切り換わるよう設定できます。

設定について

- 設定はテレビのタイプに合わせて行います。

〔タイプ 1〕
テレビの入力切換をダイレクトに選べるテレビ（→ **238** ページ）
〔タイプ 2〕
テレビの入力切換を何回か押して選ぶテレビ（→ **239** ページ）

▼テレビの画面例

〔タイプ 1〕の設定
テレビの外部入力を、本機を接続した入力にダイレクトに切り換わるようにします

〔タイプ 1〕（ダイレクト入力切換対応）のテレビは、ファミリンク対応の「アクオス」と、LC-45BE1W/LC-45BE2W/LC-37BE1W/LC-37BE2W/LC-37BE10/LC-37BD1W/LC-37BD2W です。設定しても切り換わらないときは〔タイプ 2〕の設定を行ってください。（→ **239** ページ）
ファミリンク対応の「アクオス」については、シャープホームページの DVD/BD サポートステーション（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/index.html）⇒「■使い方が分からないときは」－「? Q&A 情報」⇒「∷「Q&A」ピックアップ情報（よくあるご質問）」－「▶ AQUOS ファミリンクとは？　対応している機種は？」をご覧ください。

- リモコンをテレビの真正面に向けて、リモコンの信号が届く範囲で操作を行ってください。
- リモコンのテレビメーカー指定が「シャープ C1」（工場出荷時）または「シャープ C2」のとき設定できます。

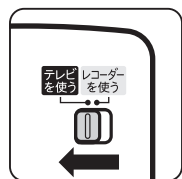
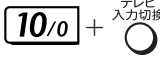
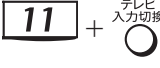
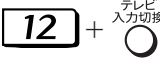
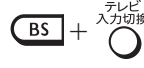
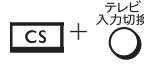
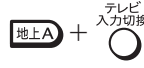
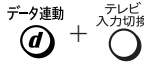
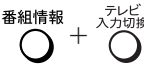
1 テレビメーカー指定を「シャープ C1」または「シャープ C2」にします（→ 236 ページ）

「シャープ C1」または「シャープ C2」で操作できないテレビでは、自動入力切換は働きません。

2 本機を接続したテレビ側の入力端子（入力 1、入力 2 など）を調べます

- 調べたらメモしておきます。

3 テレビ／レコーダー切換スイッチをテレビ側にして、電源を押してテレビの電源を入れます

テレビを操作

テレビ／レコーダー切換スイッチをテレビ側にする

- テレビ放送が映ることを確認します。

4 設定ボタンを押しながら、テレビ入力切換を 6 秒以上押し続けます

- 右記の表を見て、手順 2 で調べた入力に合わせて設定してください。

自動入力切換	設定ボタン
しない（工場出荷時）	10/0 ＋ テレビ入力切換
入力 1	11 ＋ テレビ入力切換
入力 2	12 ＋ テレビ入力切換
入力 3	地上D ＋ テレビ入力切換
入力 4	BS ＋ テレビ入力切換
入力 5	CS ＋ テレビ入力切換
入力 6	地上A ＋ テレビ入力切換
入力 7	データ連動 d ＋ テレビ入力切換
入力 8	番組情報 ＋ テレビ入力切換

5 リモコンをテレビに向けたまま、テレビ／レコーダー切換スイッチをレコーダー側にします

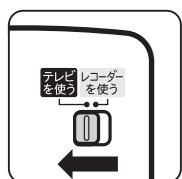
本機を操作

テレビ／レコーダー切換スイッチをレコーダー側にする

- 切り換わるまでリモコンの発光部をテレビに向けて操作してください。
- 切り換わらないときは、「〔タイプ 2〕の設定」（→ **239** ページ）の手順に従って設定し直してください。

〔タイプ 2〕の設定
入力切換ボタンを何回か押して選ぶタイプのテレビを設定します

1 テレビ／レコーダー切換スイッチをテレビ側にして、電源○を押して テレビの電源を入れテレビに放送が映るようにします

テレビを操作

テレビ／レコーダー切換スイッチをテレビ側にする

・テレビ放送が映ることを確認します。

2 リモコンを使わずに、本機の本体電源ボタンを押して電源を入れます

・テレビに本機以外の機器（ビデオなど）が接続されている場合、本機以外の機器の電源は切っておきます。

3 テレビ入力切換○を押し、入力画面が切り換わるのを確認しながら繰り返し押します

・レコーダー（本機）の画面が何回目に映ったかを確認します。（下の枠内に記入しておきます。）

メモ	回目	− 1 ＝	設定に使う数字ボタン

・ただし、「1回目」とメモしたときは、数字ボタン 7 を使います。

手順 5 で設定に使用する数字ボタン

入力切換ボタンを押した回数	手順 5 で使用する数字ボタン
1回	7
2回	1
3回	2
4回	3
5回	4
6回	5
7回	6

4 数字ボタン 1 〜 12 を押し、テレビ画面に戻します

5 手順 3 でメモした値で設定を行います

設定例
手順 3 で「5回目」とメモしたとき
数字ボタン 4 を先に押したまま、テレビ入力切換○を6秒以上押し続けます。

・手順 3 でメモした値から、1を引いた値が設定に使う数字ボタンです。
・ただし、手順 3 で「1回目」とメモしたときは、数字ボタン 7 を使います。
・数字ボタンは必ず先に押してください。
・工場出荷時は、数字ボタン 10/0（切り換わらない）となっています。

6 リモコンをテレビに向けたまま、テレビ／レコーダー切換スイッチをレコーダー側にします

本機を操作

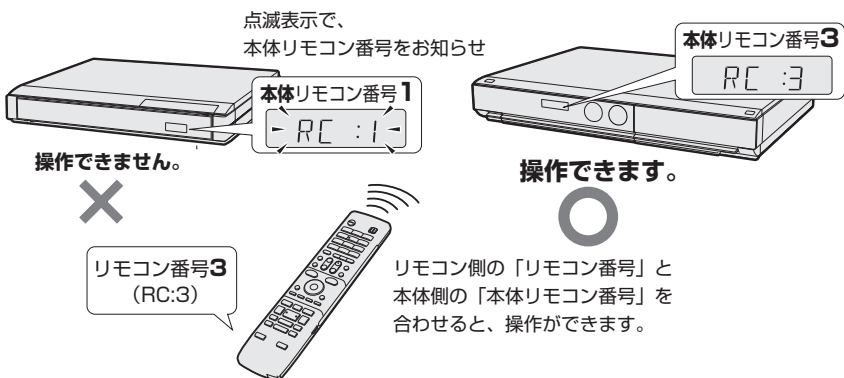
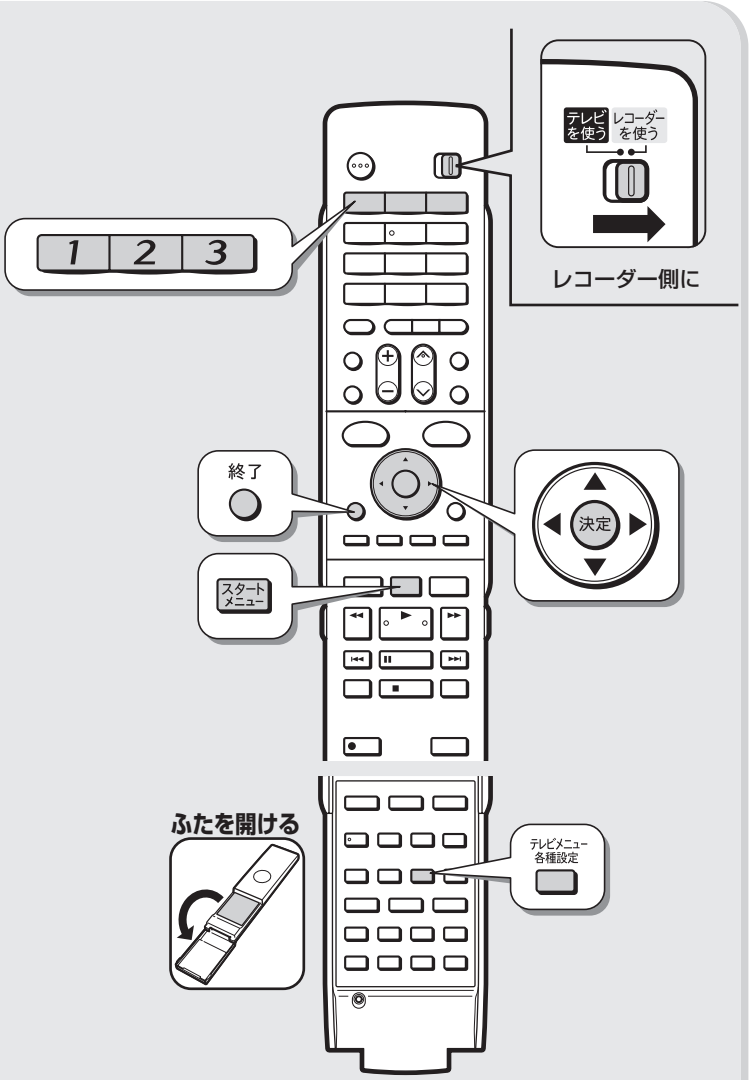
テレビ／レコーダー切換スイッチをレコーダー側にする

・切り換わるまでリモコンの発光部をテレビに向けて操作してください。
・テレビ／レコーダー切換スイッチを切り換えたあと約3秒以上たってもテレビの入力が切り換わらないときは、スイッチをテレビ側に切り換え、再度手順 4 〜 6 の操作を行い、設定し直してください。
・入力が切り換わるようすを見ながら操作を行うと、再設定がしやすくなります。

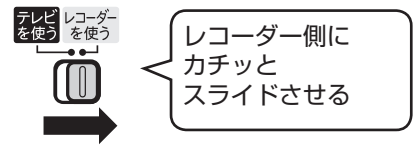
・テレビ／レコーダー切換スイッチを切り換えてもテレビの入力を切り換えたくない場合は

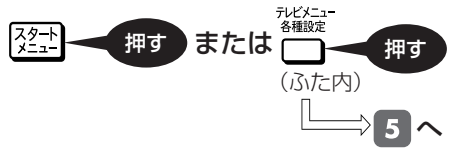
確認 基本 視聴 録画・予約 再生・消去 編集 ダビング 管理 ファミリンク 携帯電話・カメラ 接続・設定 基本設定 各種設定 困ったときは

リモコンで操作すると他の機器まで動作してしまうとき（リモコン番号変更）

リモコンで本機を操作する信号には、リモコン番号 1、2、3 の 3 種類があります。
シャープ製 BD･DVD 機器（工場出荷時：リモコン番号 1）をお持ちで、リモコンを使うとシャープ製 BD･DVD 機器と本機が同時に動作してしまう場合は、別のリモコン番号に設定することで、本機のみ動作させるようにできます。

- リモコン番号は、本体側とリモコン側で同じ番号に設定します。
- 本体側のリモコン番号を設定した後で、リモコン側のリモコン番号を設定します。

例）リモコン番号を「3」に変更する場合

はじめに本機側の設定をします

1 テレビ／レコーダー切換スイッチをレコーダー側にします

2 テレビと本機の準備をします 36 ページ

3 スタートメニューを表示させます

4 「各種設定」を選んで決定します

お知らせ

- リモコン番号の初期設定は「1」です。
- リモコンで本機を操作しようとしてできない、あるいは他機が動作してしまう場合は、リモコン番号を変更してください。
- 長時間（約 1 日）リモコンに電池がない状態が続いたときは、リモコン側のリモコン番号が「1」に戻ります。

5 「本体設定」－「リモコン番号設定」を選んで決定します

■各種設定［本体設定…リモコン番号設定］

録画機能設定	本体設定	機能切換	デジタル設定

- 地域設定
- チャンネル設定
- アンテナ設定
- 映像・音声設定
- 日付・時刻設定
- クイック起動設定［しない］
- 無操作オフ設定［しない］
- リモコン番号設定［ 1 ］
- 設定リセット
- ハードディスク初期化
- 個人情報初期化

6 「リモコン番号 3」を選んで決定します

本体とリモコンそれぞれを同じリモコン番号に合わせます。
まず、本体側の番号を設定してください。
現在のリモコン番号は「1」です。

リモコン番号1　リモコン番号2　リモコン番号3

7 「はい」を選んで決定します

本体側のリモコン番号を「3」に変更します。
よろしいですか？

はい　いいえ

つづけてリモコン側の設定をします

続いて、リモコン側の番号を本体と同じ番号に設定してください。
現在、本体側のリモコン番号は「3」です。

1．リモコンを本体に向けてください。

2．次にリモコンの[3]を先に押したまま、リモコンの[決定]ボタンを6秒以上押し続けてください。

8 リモコン側のリモコン番号を設定します

決定ボタンを 6 秒以上押し続けます

続いて、リモコン側の番号を本体と同じ番号に設定してください。
現在、本体側のリモコン番号は「3」です。

1．リモコンを本体に向けてください。

2．次にリモコンの[3]を先に押したまま、リモコンの[決定]ボタンを6秒以上押し続けてください。

※リモコン側の番号が「3」に切換わりました。
リモコンの［終了］ボタンを押して、設定画面が消えたら完了です。

終了　を押してください。

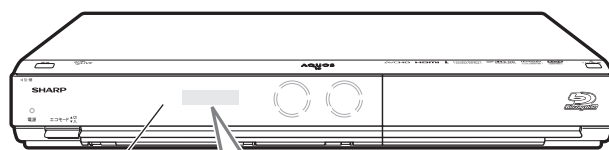
9 終了 を押して設定を終了します

ご注意

- 設定中に予約録画開始時刻になったり、電源を切ったりすると、正常に設定が完了しません。

お知らせ

- 「設定リセット」（→ **282** ページ）または「個人情報初期化」（→ **282** ページ）を行うと、本体側のリモコン番号が「本体リモコン番号：1」に戻ります。

リモコンで操作した場合、本体表示部にこんな表示が出たときは

- リモコンで操作したとき本体表示部に「RC:1」、「RC:2」、「RC:3」の表示が点滅する場合は、本体側とリモコン側でリモコン番号が違っています。
  本体表示部に表示されている数字のリモコン数字ボタンを押しながら、決定ボタンを 6 秒以上押し続け、本体側とリモコン側のリモコン番号を合わせます。

リモコン番号表示が点滅しないのに操作できない場合は、以下のことを確認してください。

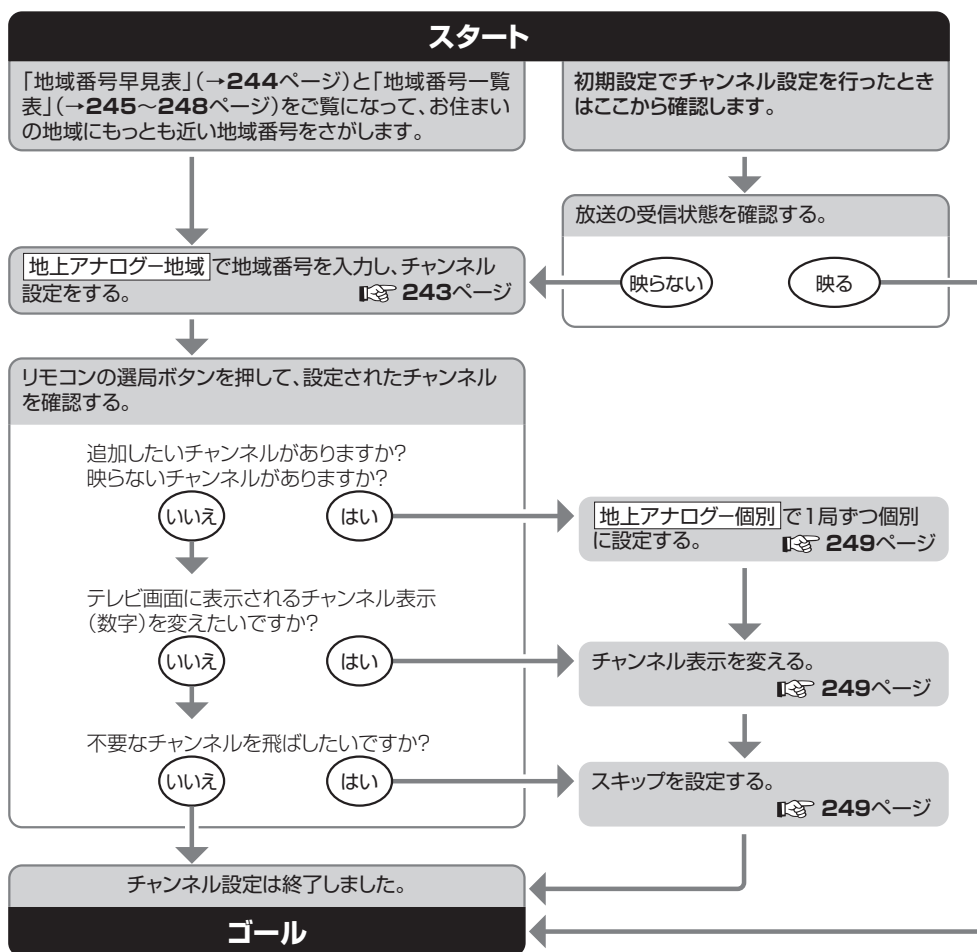
- 乾電池が正しくセットされていますか？
- 乾電池が古く寿命がきていませんか？新しい乾電池と交換してください。
- 本体のリモコン受光部前に障害物がありませんか？
- 他の機種のリモコンを使っていませんか？
- エコモードスイッチは「切」になっていますか？

地上アナログ放送のチャンネル設定をする

引越しなどで本機をお使いになる地域が変わった場合、チャンネル設定が必要です。

チャンネル設定のながれ

初期設定で郵便番号によるチャンネル設定を行ったときは、「地上アナログ−地域」によるチャンネル設定の必要はありません。
初期設定で郵便番号によるチャンネル設定をしたときに設定された地域と、地上アナログ放送の地域番号で設定した地域は異なる場合があります。

- チャンネル設定には「地上アナログ−地域」と「地上アナログ−個別」（1 局ずつ個別にチャンネルを設定）の 2 つの方法があります。まず「地上アナログ−地域」でチャンネルを自動設定し、さらに設定が必要なときに「地上アナログ−個別」をします。
- 工場出荷時（地域番号「−−−」）は、VHF1 〜 12 チャンネルが受信できるように設定されています。

「地上アナログ−地域」とは

- 本機をお使いになる場所にもっとも近い場所（電波を送信している都市）を地域番号表から選び、「地域番号」で設定する方法です。
- 地域ごとに受信チャンネルが設定されます。
- 地域番号で設定しても受信できない場合は、「地上アナログ−個別」で設定してください。

「地上アナログ−個別」とは

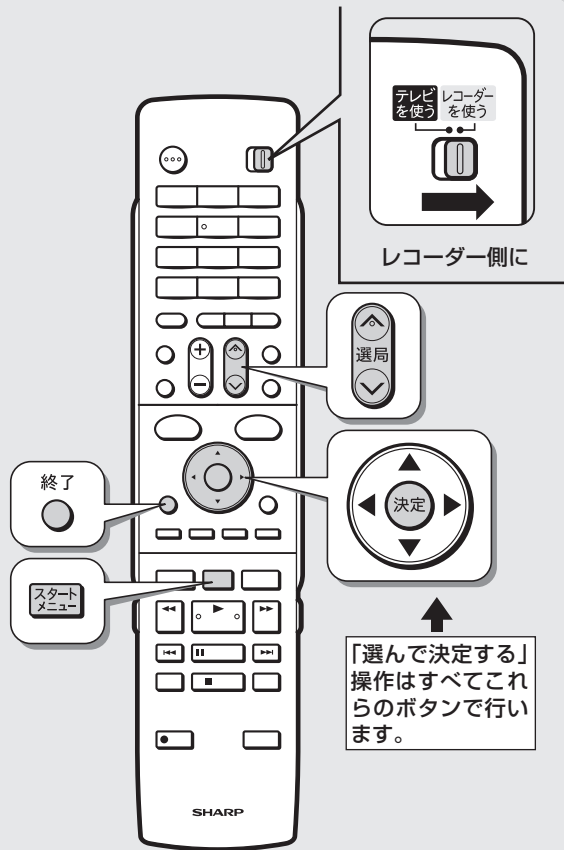
- 地域番号表に当てはまらない地域のチャンネル設定や、チャンネル設定後に他のチャンネルを追加したり削除するときに行う設定です。
- チャンネルを 1 局ずつ個別に設定できます。

ケーブルテレビ（CATV）をご覧になるときは

- ケーブルテレビの受信は、サービスが行われている地域に限ります。
- ケーブルテレビを受信するときは、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。
  また、スクランブルのかかった有料放送の視聴や録画には、ケーブルテレビ専用のホームターミナル（アダプター）が必要になります。
  詳しくは、ケーブルテレビ会社にご相談ください。

ファミリンク対応のテレビと HDMI 接続したとき

- テレビ側で先にチャンネル設定をした後、本機のチャンネル設定は「スタートメニュー」-「各種設定」-「機能切換」-「ファミリンク設定」-「テレビの設定取得」でテレビのチャンネル設定を取得することをおすすめします。

地域番号による自動設定

・初期設定で地上アナログ放送の受信設定を行ったときは、この設定は必要ありません。

1 テレビと本機の準備をします

☞ 36 ページ

2 スタートメニューから「各種設定」を選びます

☞ 276 ページ

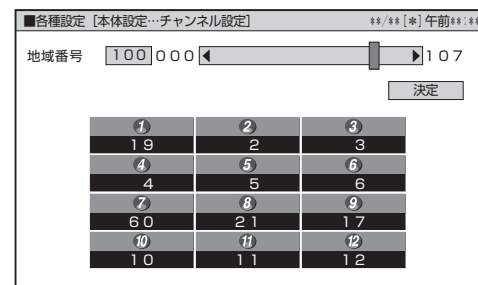
3 「本体設定」－「チャンネル設定」を選んで決定します

4 「地上アナログ」を選んで決定します

5 「地上アナログ－地域」を選んで決定します

6 「する」を選んで決定します

7 地域番号を選んで決定します

• 地域番号早見表（→ **244** ページ）または **245** ～ **248** ページの一覧表でお住まいの地域番号をお調べください。

⇨チャンネルが自動設定されます。

8 終了 を押して設定を終了します

• 地上アナログ放送を選局して各放送局が受信できるか確認してください。

• 放送が映らないとき、または追加したいチャンネルや映りの悪いチャンネルがある場合は「一局ずつ手動で個別設定」を行ってください。（→ **249** ページ）

地域番号早見表

地上デジタル放送の開始にともなう受信チャンネルの変更について

・地域によっては受信チャンネルが変更されるところもありますので、地域番号を設定しても映らない放送局は「一局ずつ手動で個別設定」（→ **249** ページ）で受信チャンネルを変更してください。

五十音	都市名	地域番号
あ	会津若松	021
	青森	010
	明石	063
	秋田	015
	阿久根	095
	旭川	002
い	飯田	045
	石巻	014
	今治	081
	いわき	020
	岩国	077
う	宇都宮	101
	宇部	076
お	大分	091
	大阪	061
	大館	016
	大津	058
	大牟田	086
	岡山	070
	小樽	007
	小田原	035
	帯広	005
か	各務原	106
	鹿児島	094
	金沢	041
	川西	064
き	北九州	084
	北見	009
	岐阜	047
	京都 1	060
	京都 2	098
	桐生	102
く	釧路	004
	熊谷	103
	熊本	090
	久留米	085
	呉	073
こ	高知	082
	甲府	043
	神戸	061
さ	さいたま	027
	佐賀	087
	佐世保	089
	札幌	001
し	静岡	049
	下関	075
し	上越	038
せ	仙台	013
た	高岡	040
	高松	078
	多摩	105
ち	茅ヶ崎	034
	千葉	029
つ	津	057
	鶴岡	018
と	東京23区	030
	徳島	097
	鳥取	067
	苫小牧	006
	富山	039
	豊田	056
	豊橋	055
な	長崎	088
	長野	044
	名古屋	054
	那覇	096
	奈良	065
に	新潟	037
	新居浜	080
ぬ	沼津	052
の	延岡	093
は	函館	003
	秦野	036
	八王子	104
	八戸	011
	浜田	069
	浜松	050
ひ	彦根	059
	日立	023
	姫路	062
	広島	071
ふ	福井	042
	福岡	083
	福島	019
	福山	072
	富士	051
	藤枝	053
ま	前橋	025
	松江	068
	松本	046
	松山	079
み	水戸	022
み	宮崎	092
む	室蘭	008
も	盛岡	012
や	矢板	100
	山形	017
	山口	074
よ	横浜	033
わ	和歌山 1	107
	和歌山 2	099

お知らせ

工場出荷時の設定は、---です。

・地域番号を設定したときに、地域番号一覧表（→ **245** ～ **248** ページ）に放送局名が記載されていないチャンネルは、自動的にスキップされます（地域番号「000」は除く）。

・地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。
受信できないときは「地上アナログー個別」で 1 局ずつ個別に設定してください。

・同じ地域名が 2 つある場合（例：京都 1、京都 2 など）は、どちらか片方の地域番号を入力してみてください。
映らない場合は、もう一方の地域番号を入力してください。それでも映らない場合は、「地上アナログー個別」で 1 局ずつ個別に設定してください。

地域番号一覧表

都道府県	都市名	地域番号	選局番号（ポジション）1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			受信チャンネル 表示チャンネル 放送局名											
工場出荷指定		---	1 1	2 2	3 3	4 4	5 5	6 6	7 7	8 8	9 9	10 10	11 11	12 12
北海道	札幌	001	1 1 HBC		3 3 NHK総合	17 4 TV h	5 5 STV		27 7 UHB		35 9 HTB			12 12 NHK教育
	旭川	002		2 2 NHK教育	33 3 TV h	37 4 UHB	39 5 HTB		7 7 STV		9 9 NHK総合		11 11 HBC	
	函館	003	21 1 TV h	27 2 UHB	35 3 HTB	4 4 NHK総合		6 6 HBC				10 10 NHK教育		12 12 STV
	釧路	004		2 2 NHK教育	39 3 HTB	41 4 UHB			7 7 STV		9 9 NHK総合		11 11 HBC	
	帯広	005	32 1 UHB		34 3 HTB	4 4 NHK総合		6 6 HBC				10 10 STV		12 12 NHK教育
	苫小牧	006	47 1 TV h	49 2 NHK教育	51 3 NHK総合	53 4 UHB	55 5 HBC	57 6 STV	61 7 HTB					
	小樽	007	24 1 TV h	2 2 NHK教育	26 3 UHB	4 4 HTB			7 7 STV		9 9 HBC		11 11 NHK総合	
	室蘭	008		2 2 NHK教育	29 3 TV h	37 4 UHB	39 5 HTB		7 7 STV		9 9 NHK総合		11 11 HBC	
	北見	009		2 2 NHK教育			59 5 UHB	61 6 HTB	7 7 STV		9 9 NHK総合		53 11 HBC	
青森	青森	010	1 1 青森放送		3 3 NHK総合		5 5 NHK教育		38 7 青森テレビ		34 9 青森朝日			
	八戸	011			33 3 青森テレビ		31 5 青森朝日		7 7 NHK教育		9 9 NHK総合		11 11 青森放送	
岩手	盛岡	012				4 4 NHK総合		6 6 IBC		8 8 NHK教育	31 9 IAT	35 10 テレビ岩手		33 12 めんこい
宮城	仙台	013	1 1 TBC		3 3 NHK総合		5 5 NHK教育		32 7 東日本放送		34 9 宮城テレビ			12 12 仙台放送
	石巻	014	59 1 TBC		51 3 NHK総合		49 5 NHK教育		61 7 東日本放送		55 9 宮城テレビ			57 12 仙台放送
秋田	秋田	015		2 2 NHK教育							9 9 NHK総合	31 10 秋田朝日	11 11 秋田放送	37 12 秋田テレビ
	大館	016		2 2 (NHK教育)		4 4 NHK総合		6 6 秋田放送		8 8 NHK教育	9 9 (NHK総合)	59 10 秋田朝日	11 11 (秋田放送)	57 12 秋田テレビ
山形	山形	017				4 4 NHK教育		36 6 TUY	30 7 SAY	8 8 NHK総合		10 10 山形放送		38 12 山形テレビ
	鶴岡	018	1 1 山形放送		3 3 NHK総合			6 6 NHK教育		39 8 山形テレビ		22 10 TUY		24 12 SAY
福島	福島	019		2 2 NHK教育	31 3 TUF		33 5 福島中央TV		35 7 福島放送		9 9 NHK総合		11 11 福島テレビ	
	いわき	020		62 2 TUF		4 4 NHK総合		58 6 福島中央TV		8 8 福島テレビ		10 10 NHK教育		60 12 福島放送
	会津若松	021	1 1 NHK総合		3 3 NHK教育			6 6 福島テレビ		47 8 TUF		37 10 福島中央TV		41 12 福島放送
茨城	水戸	022	44 1 NHK総合		46 3 NHK教育	42 4 日本テレビ		40 6 TBS		38 8 フジテレビ		36 10 テレビ朝日		32 12 テレビ東京
	日立	023	52 1 NHK総合		50 3 NHK教育	54 4 日本テレビ		56 6 TBS		58 8 フジテレビ		60 10 テレビ朝日		62 12 テレビ東京
栃木	宇都宮	101	51 1 NHK総合		49 3 NHK教育	53 4 日本テレビ		55 6 TBS		57 8 フジテレビ	31 9 とちぎTV	41 10 テレビ朝日		44 12 テレビ東京
	矢板	100	40 1 NHK総合		30 3 NHK教育	36 4 日本テレビ	33 5 とちぎTV	42 6 TBS		45 8 フジテレビ		59 10 テレビ朝日		61 12 テレビ東京

- 地域番号別に設定された選局番号と受信チャンネル・放送局名は、当社が 2007 年 2 月に調査した結果によるものです。
- 地域番号一覧表に記載されている（　）内の放送局はチャンネルスキップが設定されています。

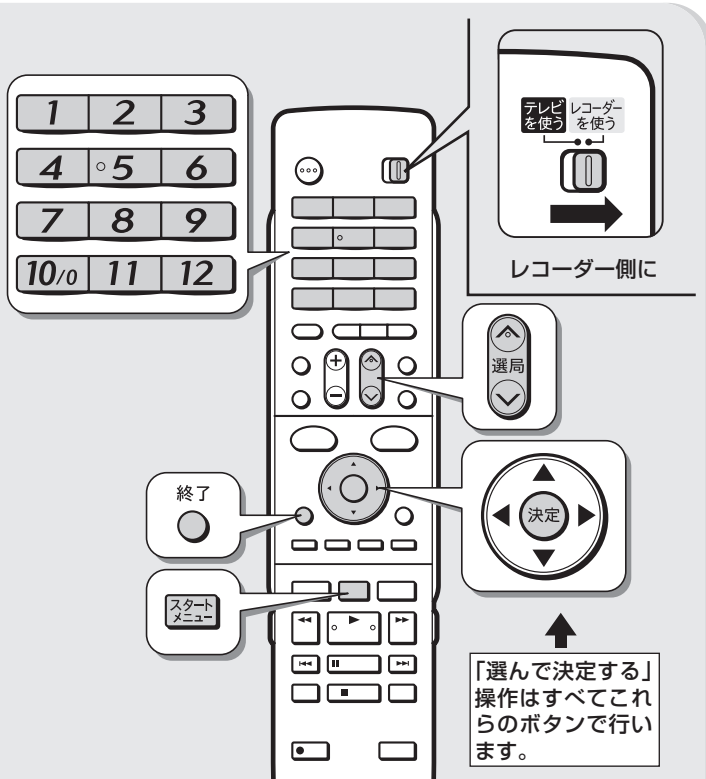
地上アナログ放送のチャンネル設定をする

都道府県	選局番号（ポジション）		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	都市名	地域番号	受信チャンネル 表示チャンネル 放送局名											
群馬	前橋	025	52 1 ＮＨＫ総合		50 3 ＮＨＫ教育	54 4 日本テレビ	40 5 放送大学	56 6 ＴＢＳ		58 8 フジテレビ		60 10 テレビ朝日	48 11 群馬テレビ	62 12 テレビ東京
	桐生	102	51 1 ＮＨＫ総合		57 3 ＮＨＫ教育	53 4 日本テレビ	40 5 放送大学	55 6 ＴＢＳ		35 8 フジテレビ		59 10 テレビ朝日	41 11 群馬テレビ	61 12 テレビ東京
埼玉	さいたま	027	1 1 ＮＨＫ総合		3 3 ＮＨＫ教育	4 4 日本テレビ	16 5 放送大学	6 6 ＴＢＳ		8 8 フジテレビ	38 9 テレビ埼玉	10 10 テレビ朝日		12 12 テレビ東京
	熊谷	103	51 1 ＮＨＫ総合		35 3 ＮＨＫ教育	53 4 日本テレビ		55 6 ＴＢＳ	16 7 放送大学	57 8 フジテレビ	30 9 テレビ埼玉	59 10 テレビ朝日		61 12 テレビ東京
千葉	千葉	029	1 1 ＮＨＫ総合		3 3 ＮＨＫ教育	4 4 日本テレビ	16 5 放送大学	6 6 ＴＢＳ		8 8 フジテレビ	42 9 ｔｖｋ	10 10 テレビ朝日	46 11 ちばテレビ	12 12 テレビ東京
東京	２３区	030	1 1 ＮＨＫ総合		3 3 ＮＨＫ教育	4 4 日本テレビ	14 5 ＭＸＴＶ	6 6 ＴＢＳ	38 7 テレビ埼玉	8 8 フジテレビ	42 9 ｔｖｋ	10 10 テレビ朝日	46 11 ちばテレビ	12 12 テレビ東京
	八王子	104	33 1 ＮＨＫ総合		29 3 ＮＨＫ教育	35 4 日本テレビ	40 5 ＭＸＴＶ	37 6 ＴＢＳ		31 8 フジテレビ		45 10 テレビ朝日		62 12 テレビ東京
	多摩	105	49 1 ＮＨＫ総合		47 3 ＮＨＫ教育	51 4 日本テレビ	61 5 ＭＸＴＶ	53 6 ＴＢＳ		55 8 フジテレビ		57 10 テレビ朝日		59 12 テレビ東京
神奈川	横浜	033	1 1 ＮＨＫ総合		3 3 ＮＨＫ教育	4 4 日本テレビ	16 5 放送大学	6 6 ＴＢＳ		8 8 フジテレビ	42 9 ｔｖｋ	10 10 テレビ朝日		12 12 テレビ東京
	茅ヶ崎	034	33 1 ＮＨＫ総合		29 3 ＮＨＫ教育	35 4 日本テレビ		37 6 ＴＢＳ		39 8 フジテレビ	31 9 ｔｖｋ	41 10 テレビ朝日		43 12 テレビ東京
	小田原	035	52 1 ＮＨＫ総合		50 3 ＮＨＫ教育	54 4 日本テレビ		56 6 ＴＢＳ		58 8 フジテレビ	46 9 ｔｖｋ	60 10 テレビ朝日		62 12 テレビ東京
	秦野	036	47 1 ＮＨＫ総合		49 3 ＮＨＫ教育	51 4 日本テレビ		53 6 ＴＢＳ		55 8 フジテレビ	61 9 ｔｖｋ	57 10 テレビ朝日		59 12 テレビ東京
山梨	甲府	043	1 1 ＮＨＫ総合		3 3 ＮＨＫ教育		5 5 山梨放送		37 7 ＵＴＹ					
長野	長野	044		44 2 ＮＨＫ総合	50 3 長野朝日		40 5 テレビ信州		42 7 長野放送		46 9 ＮＨＫ教育		48 11 ＳＢＣ	
	飯田	045	44 1 長野朝日		3 3 ＮＨＫ教育	4 4 ＮＨＫ総合		6 6 ＳＢＣ		42 8 テレビ信州		40 10 長野放送		
	松本	046		44 2 ＮＨＫ総合	50 3 長野朝日		48 5 テレビ信州		42 7 長野放送		46 9 ＮＨＫ教育		40 11 ＳＢＣ	
新潟	新潟	037	21 1 テレビ２１		29 3 テレビ新潟		5 5 ＢＳＮ			8 8 ＮＨＫ総合		35 10 新潟総合TV		12 12 ＮＨＫ教育
	上越	038	1 1 ＮＨＫ教育		3 3 ＮＨＫ総合			37 6 テレビ２１		27 8 テレビ新潟		10 10 ＢＳＮ		33 12 新潟総合TV
富山	富山	039	1 1 北日本放送		3 3 ＮＨＫ総合							10 10 ＮＨＫ教育	32 11 チュリップ	34 12 富山テレビ
	高岡	040	50 1 北日本放送		48 3 ＮＨＫ総合							46 10 ＮＨＫ教育	42 11 チュリップ	44 12 富山テレビ
石川	金沢	041				4 4 ＮＨＫ総合		6 6 北陸放送	25 7 北陸朝日	8 8 ＮＨＫ教育		33 10 テレビ金沢		37 12 石川テレビ
福井	福井	042	39 1 福井テレビ		3 3 ＮＨＫ教育			6 6 北陸放送			9 9 ＮＨＫ総合		11 11 福井放送	
岐阜	岐阜	047	1 1 東海テレビ		39 3 ＮＨＫ総合		5 5 ＣＢＣ		35 7 中京テレビ		9 9 ＮＨＫ教育		11 11 メ~テレ	37 12 ぎふチャン
	各務原	106	1 1 東海テレビ		3 3 ＮＨＫ総合		5 5 ＣＢＣ		35 7 中京テレビ		9 9 ＮＨＫ教育		11 11 メ~テレ	41 12 ぎふチャン
静岡	静岡	049		2 2 ＮＨＫ教育	31 3 静岡第一		33 5 朝日テレビ		35 7 テレビ静岡		9 9 ＮＨＫ総合		11 11 静岡放送	
	浜松	050		30 2 静岡第一		4 4 ＮＨＫ総合		6 6 静岡放送		8 8 ＮＨＫ教育		28 10 朝日テレビ		34 12 テレビ静岡
	富士	051		54 2 ＮＨＫ教育	27 3 静岡第一		29 5 朝日テレビ		39 7 テレビ静岡		52 9 ＮＨＫ総合		41 11 静岡放送	
	沼津	052		51 2 ＮＨＫ教育	61 3 静岡第一		57 5 朝日テレビ		59 7 テレビ静岡		53 9 ＮＨＫ総合		55 11 静岡放送	
	藤枝	053		44 2 ＮＨＫ教育	24 3 静岡第一		26 5 朝日テレビ		38 7 テレビ静岡		42 9 ＮＨＫ総合		40 11 静岡放送	

都道府県	選局番号（ポジション）		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	都市名	地域番号	受信チャンネル 表示チャンネル 放送局名											
愛知	名古屋	054	1 1 東海テレビ		3 3 ＮＨＫ総合		5 5 ＣＢＣ		35 7 中京テレビ		9 9 ＮＨＫ教育		11 11 メ～テレ	25 12 テレビ愛知
	豊橋	055	56 1 東海テレビ		54 3 ＮＨＫ総合		62 5 ＣＢＣ		58 7 中京テレビ		50 9 ＮＨＫ教育		60 11 メ～テレ	52 12 テレビ愛知
	豊田	056	57 1 東海テレビ		53 3 ＮＨＫ総合		55 5 ＣＢＣ		59 7 中京テレビ		51 9 ＮＨＫ教育		61 11 メ～テレ	49 12 テレビ愛知
三重	津	057	1 1 東海テレビ		3 3 ＮＨＫ総合		5 5 ＣＢＣ		35 7 中京テレビ		9 9 ＮＨＫ教育	33 10 三重テレビ	11 11 メ～テレ	25 12 テレビ愛知
滋賀	大津	058		28 2 ＮＨＫ総合		36 4 毎日放送		38 6 朝日放送		40 8 関西テレビ		42 10 読売テレビ	30 11 びわ湖放送	46 12 ＮＨＫ教育
	彦根	059		52 2 ＮＨＫ総合		54 4 毎日放送	56 5 びわ湖放送	58 6 朝日放送		60 8 関西テレビ		62 10 読売テレビ		50 12 ＮＨＫ教育
京都	京都 1	060		2 2 ＮＨＫ総合	36 3 サンテレビ	4 4 毎日放送	19 5 テレビ大阪	6 6 朝日放送	34 7 京都テレビ	8 8 関西テレビ	26 9 奈良テレビ	10 10 読売テレビ		12 12 ＮＨＫ教育
	京都 2	098	32 1 ＮＨＫ総合	2 2 ＮＨＫ総合	34 3 京都テレビ	4 4 毎日放送	21 5 テレビ大阪	6 6 朝日放送		8 8 関西テレビ		10 10 読売テレビ		12 12 ＮＨＫ教育
大阪	大阪	061		2 2 ＮＨＫ総合	36 3 サンテレビ	4 4 毎日放送	19 5 テレビ大阪	6 6 朝日放送	34 7 京都テレビ	8 8 関西テレビ		10 10 読売テレビ	30 11 TV 和歌山	12 12 ＮＨＫ教育
兵庫	神戸	061		2 2 ＮＨＫ総合	36 3 サンテレビ	4 4 毎日放送	19 5 テレビ大阪	6 6 朝日放送	34 7 京都テレビ	8 8 関西テレビ		10 10 読売テレビ	30 11 TV 和歌山	12 12 ＮＨＫ教育
	姫路	062		50 2 ＮＨＫ総合	56 3 サンテレビ	54 4 毎日放送		58 6 朝日放送		60 8 関西テレビ		62 10 読売テレビ		52 12 ＮＨＫ教育
	明石	063		51 2 ＮＨＫ総合	55 3 サンテレビ	53 4 毎日放送	19 5 テレビ大阪	57 6 朝日放送		59 8 関西テレビ		61 10 読売テレビ	30 11 TV 和歌山	49 12 ＮＨＫ教育
	川西	064		29 2 ＮＨＫ総合	33 3 サンテレビ	35 4 毎日放送		37 6 朝日放送		39 8 関西テレビ		41 10 読売テレビ		31 12 ＮＨＫ教育
奈良	奈良	065	51 1 （ＮＨＫ総合）	2 2 ＮＨＫ総合	36 3 サンテレビ	4 4 毎日放送	19 5 テレビ大阪	6 6 朝日放送	62 7 （奈良テレビ）	8 8 関西テレビ	55 9 奈良テレビ	10 10 読売テレビ		12 12 ＮＨＫ教育
和歌山	和歌山 1	107		32 2 ＮＨＫ総合		42 4 毎日放送		44 6 朝日放送		46 8 関西テレビ		48 10 読売テレビ	30 11 TV 和歌山	25 12 ＮＨＫ教育
	和歌山 2	099		50 2 ＮＨＫ総合		54 4 毎日放送		58 6 朝日放送		60 8 関西テレビ		62 10 読売テレビ	56 11 TV 和歌山	52 12 ＮＨＫ教育
鳥取	鳥取	067	1 1 日本海 TV		3 3 ＮＨＫ総合	4 4 ＮＨＫ教育				24 8 山陰中央		22 10 ＢＳＳ		
島根	松江	068	30 1 日本海 TV		34 3 山陰中央			6 6 ＮＨＫ総合				10 10 ＢＳＳ		12 12 ＮＨＫ教育
	浜田	069		2 2 ＮＨＫ総合	54 3 日本海 TV		5 5 ＢＳＳ			58 8 山陰中央	9 9 ＮＨＫ教育			
岡山	岡山	070	23 1 TV せとうち		3 3 ＮＨＫ教育		5 5 ＮＨＫ総合	25 6 KSB	35 7 ＯＨＫ		9 9 西日本放送		11 11 ＲＳＫ	
広島	広島	071	31 1 TSS		3 3 ＮＨＫ総合	4 4 ＲＣＣ			7 7 ＮＨＫ教育			35 10 広島ホーム		12 12 広島テレビ
	福山	072	5 1 ＮＨＫ総合		57 3 広島ホーム		54 5 TSS		3 7 ＮＨＫ教育			7 10 ＲＣＣ		11 12 広島テレビ
	呉	073	1 1 ＮＨＫ教育		24 3 広島ホーム		5 5 広島テレビ		26 7 TSS		9 9 ＲＣＣ		11 11 ＮＨＫ総合	
山口	山口	074	1 1 ＮＨＫ教育				28 5 山口朝日		38 7 テレビ山口		9 9 ＮＨＫ総合		11 11 山口放送	
	下関	075	41 1 ＮＨＫ教育	2 2 KBC	23 3 TVQ	4 4 山口放送	21 5 山口朝日	6 6 （NHK 総合）	33 7 テレビ山口	8 8 RKB 毎日	39 9 ＮＨＫ総合	10 10 TNC	35 11 FBS	12 12 （NHK 教育）
	宇部	076	55 1 ＮＨＫ教育	2 2 KBC			24 5 山口朝日	6 6 （NHK 総合）	44 7 テレビ山口	8 8 RKB 毎日	58 9 ＮＨＫ総合	10 10 TNC	61 11 山口放送	
	岩国	077	1 1 ＮＨＫ教育			4 4 RCC	62 5 テレビ山口		28 7 山口朝日		9 9 ＮＨＫ総合	10 10 南海放送	11 11 山口放送	12 12 広島テレビ
徳島	徳島	097	1 1 四国放送		3 3 ＮＨＫ総合	4 4 毎日放送		6 6 朝日放送		8 8 関西テレビ		10 10 読売テレビ		38 12 ＮＨＫ教育
香川	高松	078	33 1 KSB		39 3 ＮＨＫ教育		37 5 ＮＨＫ総合		31 7 ＯＨＫ		41 9 西日本放送		29 11 ＲＳＫ	19 12 TV せとうち

地上アナログ放送のチャンネル設定をする

都道府県	選局番号（ポジション） 都市名	 地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			受信チャンネル 表示チャンネル 放送局名											
愛媛	松山	079		2 2 NHK教育		29 4 あいテレビ	25 5 愛媛朝日	6 6 NHK総合		37 8 テレビ愛媛		10 10 南海放送		35 12 広島ホーム
	新居浜	080		2 2 NHK総合		4 4 NHK教育	14 5 愛媛朝日	6 6 南海放送		36 8 テレビ愛媛			27 11 あいテレビ	
	今治	081		30 2 NHK教育		27 4 あいテレビ	14 5 愛媛朝日	32 6 NHK総合		36 8 テレビ愛媛		34 10 南海放送		38 12 広島ホーム
高知	高知	082				4 4 NHK総合		6 6 NHK教育		8 8 高知放送		38 10 KUTV		40 12 KSS
福岡	福岡	083	1 1 KBC		3 3 NHK総合	4 4 RKB毎日		6 6 NHK教育			9 9 TNC		19 11 TVQ	37 12 FBS
	北九州	084		2 2 KBC	23 3 TVQ	35 4 FBS		6 6 NHK総合		8 8 RKB毎日		10 10 TNC		12 12 NHK教育
	久留米	085	57 1 KBC		46 3 NHK総合	48 4 RKB毎日		54 6 NHK教育			60 9 TNC		14 11 TVQ	52 12 FBS
	大牟田	086	58 1 KBC	19 2 TVQ	53 3 NHK総合	61 4 RKB毎日		50 6 NHK教育			55 9 TNC		43 11 FBS	
佐賀	佐賀	087	19 1 TVQ	36 2 STS	40 3 NHK教育	38 4 NHK総合	48 5 RKB毎日	52 6 FBS	57 7 KBC	60 8 TNC	9 9 (NHK総合)		11 11 熊本放送	
長崎	長崎	088	1 1 NHK教育		3 3 NHK総合		5 5 NBC		37 7 テレビ長崎		27 9 長崎文化		25 11 長崎国際	
	佐世保	089		2 2 NHK教育		17 4 長崎国際		31 6 長崎文化		8 8 NHK総合		10 10 NBC		35 12 テレビ長崎
熊本	熊本	090		2 2 NHK教育	16 3 熊本朝日		22 5 KKT		34 7 TKU		9 9 NHK総合		11 11 熊本放送	
大分	大分	091	1 1 (NHK教育)		3 3 NHK総合	34 4 あいテレビ	5 5 OBS	6 6 (NHK総合)	36 7 TOS	32 8 テレビ愛媛	24 9 OAB	10 10 南海放送		12 12 NHK教育
宮崎	宮崎	092						35 6 テレビ宮崎		8 8 NHK総合		10 10 宮崎放送		12 12 NHK教育
	延岡	093		2 2 NHK教育		4 4 NHK総合		6 6 宮崎放送		39 8 テレビ宮崎				
鹿児島	鹿児島	094	1 1 MBC		3 3 NHK総合		5 5 NHK教育		32 7 鹿児島放送		38 9 KTS		30 11 鹿児島読売	
	阿久根	095		17 2 鹿児島読売		23 4 鹿児島放送		35 6 KTS		8 8 NHK総合		10 10 MBC		12 12 NHK教育
沖縄	那覇	096		2 2 NHK総合						8 8 OTV	28 9 QAB	10 10 RBC		12 12 NHK教育

一局ずつ手動で個別設定

お知らせ

一局ずつ手動で受信チャンネルを個別設定する必要があるのは、次の場合です。
・ 地域番号で自動設定できないとき（ケーブルテレビ放送を受信しているとき）
・ 地域番号で自動設定後に、受信チャンネルを追加したいとき
・ 地域番号で自動設定したチャンネルがきれいに映らないとき
・ 放送のないチャンネルを飛ばしたい（スキップさせたい）とき
・ お住まいの地域で受信できる放送を個別に探したいとき

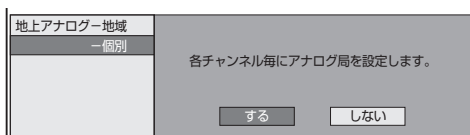
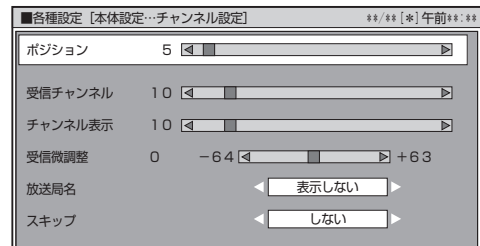
1 テレビと本機の準備をします ☞ 36 ページ

2 スタートメニューから「各種設定」を選びます ☞ 276 ページ

3 「本体設定」－「チャンネル設定」を選んで決定します

4 「地上アナログ」を選んで決定します

5 「地上アナログ－個別」を選んで決定します

6 「する」を選んで決定します

7 各項目を設定します

ポジション

ご使用の地域で受信できる放送を入れる場所のことで、選局する順番を表します。
- 地上アナログ放送（VHF/UHF）で 1 ～ 20 と C13 ～ C63 ポジションがあります。
- 1 ～ 12 ポジションは、リモコンの 1 ～ 12 で選局できます。
- 13 ～ 20 と C13 ～ C63 ポジションは、 で選びます。
- 出荷時の設定では 13 ～ 20 と C13 ～ C63 ポジションは、スキップが設定されています。
- C13 ～ C63 ポジションを選んだ場合、受信チャンネルは C13 ～ C63 に設定されます。

受信チャンネル

放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルです。
- 地上アナログ放送(VHFは 1～ 12チャンネル、UHFは 13～ 62チャンネル)、ケーブルテレビ(CATV)放送(C13～ C63チャンネル) を受信できます。
- ケーブルテレビ放送を受信するときは、ここでケーブルテレビ放送の受信チャンネルを設定します。

チャンネル表示

テレビ画面に表示されるチャンネル（数字）のことです。（予約録画時の選局は、この表示で行います。）
- 使い慣れたチャンネル番号にしておくと便利です。

受信微調整

映像の色がうすく見づらいときなどに調整します。

放送局名

放送局名は、地域番号一覧表で選んだ地域の放送局名しか選択できません。

スキップ

「する」に設定したチャンネルは、選局を押したときに、飛び越して選局されます。
放送のないチャンネルを飛ばしたいときに便利な機能です。
- 工場出荷時、本機の 13 ～ 20 と C13 ～ C63 ポジションは、スキップ「する」に設定されています。

8 終了 を押して設定を終了します

デジタル放送の視聴設定をする

引越しなどで本機をお使いになる地域が変わった場合、チャンネル設定が必要です。

デジタル放送設定のながれ

設定をする前にご確認ください。

デジタル放送用アンテナの接続と B-CAS カードの準備はお済みですか？

- デジタル放送を視聴するときの接続をする ☞ 199 ～ 203 ページ
- B-CAS カードを本機にセットする ☞ 222 ページ
  - 地上･BS･110 度 CS デジタル放送は､B-CAS カードをセットしないとご覧になれません。
  - 同梱のはがきまたはホームページでユーザー登録を行ってください。（登録は無料です。）

1. 地域と郵便番号を設定する ☞ 251 ページ

- デジタル放送では、地域ごとに特有の放送が行われている場合があります。
  お住まいの地域特有の放送が受信できるように、地域と郵便番号を設定してください。
- **この設定は、地上デジタル放送のチャンネルを自動設定する前に必ず設定してください。**

2. BS・110 度 CS デジタル放送を楽しむとき
BS・110 度 CS 共用アンテナの設定をする ☞ 252 ページ

- BS・CS アンテナ電源の設定をします。
- 受信強度を確認し、アンテナの向きを調整します。

3. 地上デジタル放送を楽しむとき
地上デジタル放送のチャンネル設定をして、電子番組表を受信する

- 地上デジタル放送のチャンネルを自動で設定します。 ☞ 254 ページ
- 電子番組表データを受信します。 ☞ 255 ページ
- 地上デジタル放送のチャンネルを個別に設定します。 ☞ 257 ～ 259 ページ

4. BS・110 度 CS デジタル放送を楽しむとき
BS・110 度 CS デジタル放送のチャンネル設定をする ☞ 260 ページ

5. リモコンに登録されているチャンネルを確認する ☞ 261 ページ

- リモコンに登録されているデジタル放送のチャンネルを確認できます。
  チャンネルの追加登録もできます。

双方向番組に参加したい場合は

- デジタル放送の双方向番組に参加する場合は、電話回線を使います。
- デジタル放送では、テレビ上でのショッピングや、視聴者が参加できるクイズ番組なども放送されています。これらは、双方向通信を利用した番組です。
- 一部の双方向番組は LAN 接続で利用できます。プロバイダを利用した LAN 環境を設定すれば通信速度が向上し、データ放送などをさらに快適に楽しめます。

電話回線の設定をする

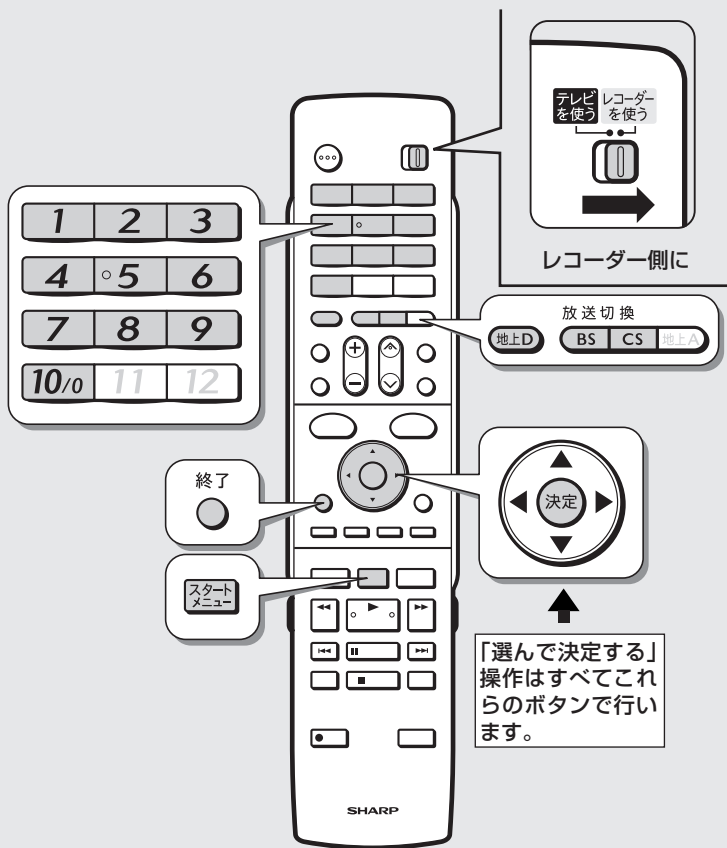
- 電話回線に接続します。 ☞ 263 ページ
- 電話回線の設定をします。 ☞ 264 ページ
- 電話会社の設定をします。 ☞ 265 ページ
- プロバイダの設定をします。 ☞ 266 ページ

文字入力のしかた ☞ 159 ページ

LAN の設定をする

- LAN 接続をします。 ☞ 268 ページ
- LAN 設定をします。 ☞ 270 ページ

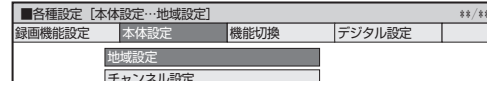
- 通常のデジタル放送は、電話回線接続や LAN 接続を行わなくても楽しめます。

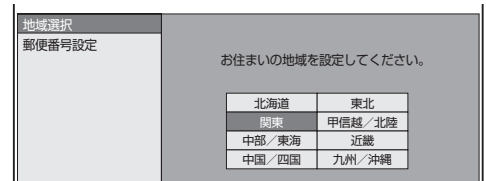
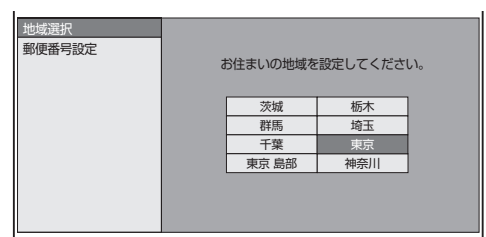
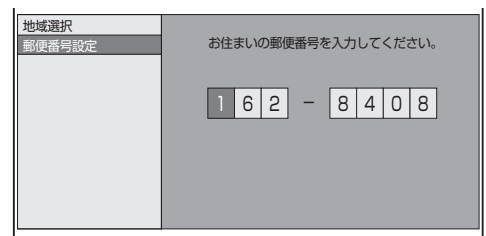
地域と郵便番号設定

お知らせ

・地域と郵便番号の設定は、チャンネル設定前に必要な設定です。
・緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送などは、地域によって放送内容が異なることがありますので、必ず地域設定を行ってください。

1 テレビと本機の準備をします 36 ページ

2 スタートメニューから「各種設定」を選びます 276 ページ

3 「本体設定」－「地域設定」を選んで決定します

4 「地域選択」を選んで決定します

5 本機を使う地域を選んで決定します

6 本機を使う都道府県を選んで決定します

7 「郵便番号設定」を選んで決定します

8 数字ボタンで郵便番号を入力して決定します

・入力を間違えたときは修正したい欄を選んで入力し直してください。

9 終了 を押して設定を終了します

BS・110度CS共用アンテナ設定

お知らせ

・BS・110度CS共用アンテナをはじめて設定した場合や引越しなどでアンテナを移動した場合は以下の設定が必要になります。
・「電源・受信強度表示」や「信号テスト」を選択しているときに表示される受信強度は、アンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な信号強度などを示すものではありません。

1 テレビと本機の準備をします 36ページ

2 「BSデジタル放送」を選局します

BS 押す

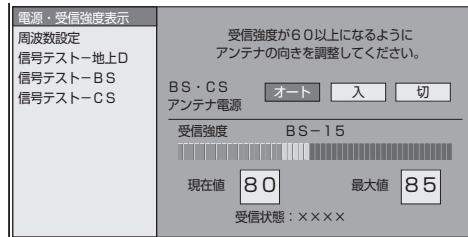
・110度CSデジタル放送の場合は CS を押してください。
・画面に「放送が受信できません」と表示されても設定は行えます。

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます 276ページ

4 「本体設定」－「アンテナ設定」を選んで決定します

5 「電源・受信強度表示」を選んで決定します

・初期設定でBS・110度CS用アンテナ線の接続（→**226**ページ）が設定済みの場合は、このページの手順 7 に進んでください。

6 BS･CSアンテナへの電源供給を設定します「オート」または「入」、「切」を選んで決定します（工場出荷時は「オート」に設定されています）

「オート」
・本体の電源が切れているときはアンテナ電源を「切」にします。電源が「切」でも、他の機器（テレビなど）からのアンテナ電源が供給されているときはアンテナ電源を「入」にします。電源入時は常にアンテナ電源を「入」にします。（工場出荷時の設定）

「入」
・電源入／切にかかわらず常に電源を供給します。

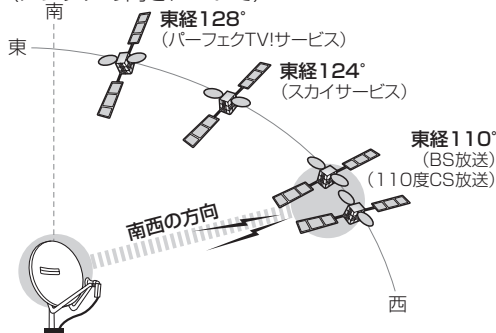
「切」
・共聴アンテナに接続している場合など、BS・110度CSアンテナへのアンテナ電源を供給する必要がないときに選びます。

お知らせ

・「受信状態」の「××××」は、以下の状態を示しています。
・良好です。【A】
・受信強度が60以下です。【B】
・アンテナ信号が強すぎます。【C】
・アンテナ信号が不足しています。【C】
・アンテナ信号が良くありません。【D】
・受信できません。【E】

7 受信強度が最大値になるようにアンテナの向きを調整します

・共聴タイプのアンテナの場合はこの操作は必要ありません。
・受信強度が60以上になるように、アンテナの向きを調整してください。

〈アンテナの向きについて〉

受信強度が60以上になるように、アンテナの方向と角度を調整してください。

8 終了 を押して設定を終了します

■アンテナの信号テストをするには

BS・110度CS共用アンテナ、地上デジタル放送用アンテナ（UHF）の信号テストをします。

1 テレビと本機の準備をします ☞ 36ページ

2 「BSデジタル放送」を選局します

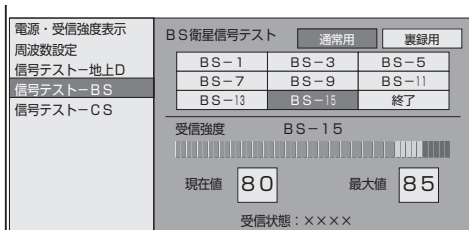
BS 押す

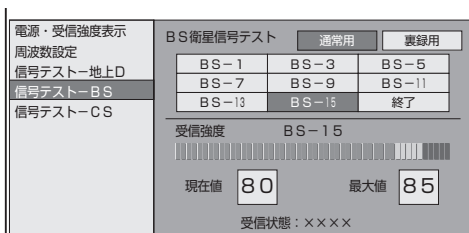
- 110度CSデジタル放送の場合は CS を押してください。
- 地上デジタル放送の場合は 地上D を押してください。
- 画面に「放送が受信できません」と表示されてもテストは行えます。

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます ☞ 276ページ

4 「本体設定」－「アンテナ設定」を選んで決定します

5 「信号テストーBS」を選んで決定します

電源・受信強度表示
周波数設定
信号テストー地上D
信号テストーBS
信号テストーCS
BS衛星信号テスト　通常用　裏録用
BS−1　BS−3　BS−5
BS−7　BS−9　BS−11
BS−13　BS−15　終了
受信強度　BS−15
現在値 80　最大値 85
受信状態：××××

- 110度CSデジタル放送の場合は「信号テストーCS」を選んで決定してください。
- 地上デジタル放送の場合は「信号テストー地上D」を選んで決定してください。

6 確認したいチャンネルを選んで決定します

- 受信強度が60以上であることを確認してください。
- それよりも低い場合は、正常に受信できないことがあります。

7 「終了」を選んで決定します

8 終了 を押して設定を終了します

メモ

裏録用チューナーの信号テストについて

- 手順 6 で、◀▲▼▶で「裏録用」を選び、決定を押すと、裏録用チューナーの信号テスト画面になります。
  通常チューナーと同様の手順で信号テストをしてください。
- 裏録用チューナーの信号テスト画面で、◀▲▼▶で「通常用」を選び、決定を押すと、通常チューナーの信号テスト画面に戻ります。

地上デジタル放送のチャンネル自動設定

地上デジタル放送の受信には UHF アンテナが必要です。

1 UHF アンテナを接続します

197～199、201、203ページ

・CATV 放送をご利用の場合は、**200**、**202** ページ

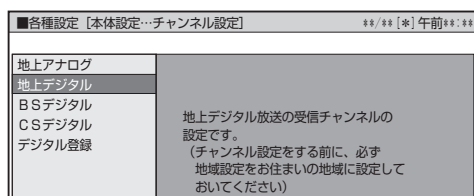
2 テレビと本機の準備をします 36 ページ

3 リモコンの 地上D を押し「地上デジタル放送」を選局します

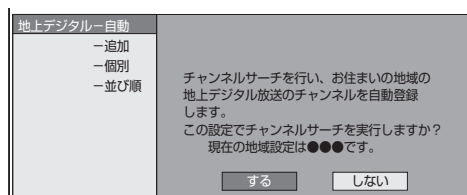
4 地域と郵便番号の設定をします 251 ページ

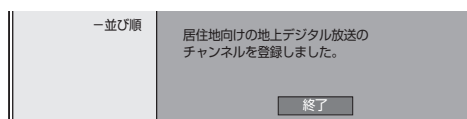
5 スタートメニューから「各種設定」を選びます 276 ページ

6 「本体設定」－「チャンネル設定」を選んで決定します

■各種設定［本体設定…チャンネル設定］
録画機能設定 本体設定 機能切換 デジタル設定
地域設定
チャンネル設定
アンテナ設定

7 「地上デジタル」を選んで決定します

8 「地上デジタルー自動」を選んで決定します

9 「する」を選んで決定します

• 自動設定開始

・自動設定が終了すると以下の画面になります。

10 「終了」で決定します

11 終了 を押して設定を終了します

■地上デジタル放送のケーブルテレビ（CATV）放送対応について

本機で地上デジタル放送が受信できるケーブルテレビの方式は、「CATV パススルー方式」です。（「トランスモジュレーション方式」には対応していません。）

CATV パススルー方式とは

・ケーブルテレビ配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままで CATV 網に流す放送方式です。
この方式では、地上デジタル放送が本来使っている UHF 帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。
本機で受信できるのは次の周波数帯です。
・UHF 帯
・VHF 帯
・ミッドバンド（MID：C13 ～ C22）帯
・スーパーハイバンド（SHB：C23 ～ C63）帯

地上デジタル放送の電子番組表データを受信する

お知らせ

- 「番組表取得設定」を「する」に設定し、設定した時刻に本機の電源が切のとき地上デジタル放送の電子番組表データを取得します。（約 40 分かかります。）
- 地上デジタル放送の各チャンネルを選局している間も、選んでいる放送局からそのチャンネルの番組表データが送られてきます。
- 電波状態（受信状態）によっては、電子番組表のデータを取得できない場合があります。

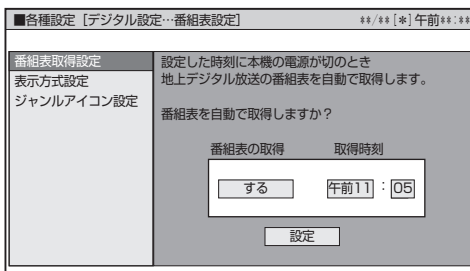
1 テレビと本機の準備をします 36 ページ

2 「地上デジタル放送」を選局します

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます 276 ページ

4 「デジタル設定」－「番組表設定」を選んで決定します

ジタル設定…番組表設定］ **/** [*] 午前 **:**
本体設定 機能切換 デジタル設定
ダウンロード設定 ［ する ］
番組表設定
通信設定
暗証番号設定
視聴年齢制限設定 ［無制限］
双方向サービス設定 ［禁止しない］
字幕表示設定 ［しない］
文字スーパー設定 ［ 第 1 言語 ］
システム動作テスト

5 「番組表取得設定」を選んで決定します

6 「する」または「しない」を選んで決定します

「する」
- 設定した時刻に電源が切であれば電子番組表データを取得します。

「しない」
- 視聴している放送局の電子番組表データだけを取得します。

7 手順 6 で「する」にした場合、時刻を設定します

8 「設定」を選んで決定します

9 終了 を押して設定を終了します

10 本機の電源を切ります

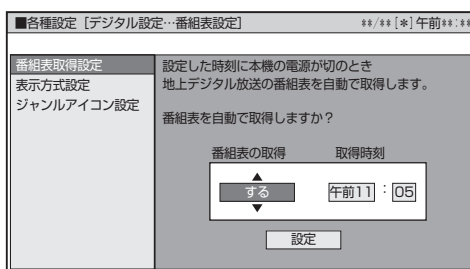
⇨「する」に設定した場合、指定した時刻にデータを自動受信します。

- 受信中は本機から動作音がして本体表示部に以下の表示が出ます。

工場出荷時の設定ではバックライトを消灯しています。
- 「電源オフ時計表示設定」（→**284**ページ）が「する」に設定されているときはバックライトが点灯します。

⇨表示が消えるとデータ取得終了です。

- 電子番組表データを取得しおわると、本体内部の電源は自動的に切れます。（約 40 分かかります。）

- 指定した時刻に電源が入っているとき（または番組表取得中に電源を入れたとき）は、番組表取得ができません。この場合、次に電源を切った後、自動的に番組表を取得します。

電子番組表の表示方式を切り換える

電子番組表の表示方法を、次の 3 つの方式から切り換えることができます。

モード 1	チャンネルが縦方向に並びます。(時間は横方向に送ります)
モード 2	新聞のテレビ欄のようにチャンネルが横に並びます。
モード 3	番組表と予約リストが同時に表示されます。

電子番組表について詳しくは、**40** ～ **41** ページをご覧ください。

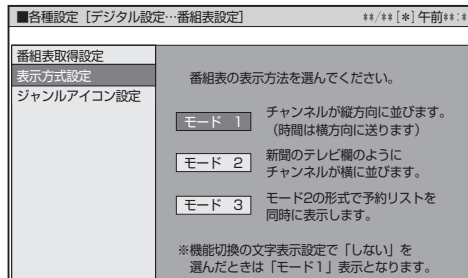
1 テレビと本機の準備をします ☞ 36 ページ

2 「地上デジタル放送」を選局します

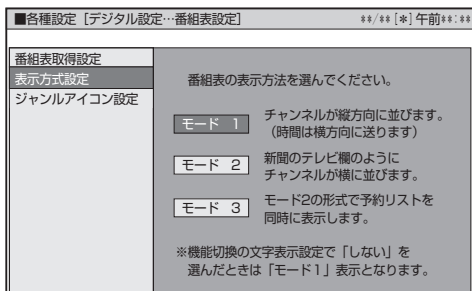
3 スタートメニューから「各種設定」を選びます ☞ 276 ページ

4 「デジタル設定」－「番組表設定」を選んで決定します

5 「表示方式設定」を選んで決定します

6 「モード 1」「モード 2」「モード 3」のいずれかを選んで決定します

7 終了 ○ を押して設定を終了します

ご注意

- 「モード 2」「モード 3」は、デジタルハイビジョン対応テレビと次のいずれかの接続・設定をし、かつ「文字表示設定」(→ **283** ページ)を「する」にしているとき表示されます。
  - D 映像ケーブルで接続し、「D 映像出力設定」を「D3/D4/D5」にしているとき(→ **280** ページ)
  - HDMI ケーブルで接続し、「HDMI 映像出力設定」を「オート」、「1080/60p 固定」または「1080i 固定」にしているとき(→ **280** ページ)

チャンネルの個別設定

登録された地上デジタル放送のチャンネルを確認し、登録先のリモコンの数字ボタンを変更したり、選局ボタンでの選局時にスキップするかどうか、あるいはチャンネルに４桁目（枝番）がある場合の設定を行います。

地上デジタル放送チャンネル（工場出荷時）

チャンネルボタン	放送局名	チャンネル番号
1	NHK総合	011
2	NHK教育	021
3	―	―
4	日本テレビ	041
5	テレビ朝日	051
6	TBS	061
7	テレビ東京	071
8	フジテレビジョン	081
9	TOKYO MX	091
10/0	―	―
11	―	―
12	放送大学	121

※2009年2月現在

1 テレビと本機の準備をします 36ページ

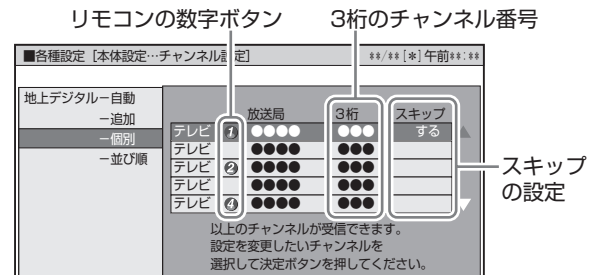
2 「地上デジタル放送」を選局します

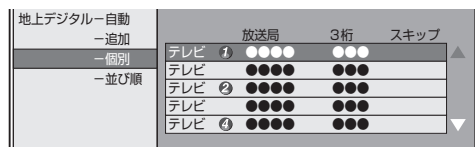
3 スタートメニューから「各種設定」を選びます 276ページ

4 「本体設定」－「チャンネル設定」を選んで決定します

■各種設定［本体設定…チャンネル設定］
録画機能設定　本体設定　機能切換　デジタル設定
地域設定
チャンネル設定
アンテナ設定

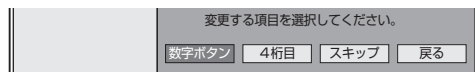
5 「地上デジタル」を選んで決定します

6 「地上デジタル－個別」を選んで決定します

• 確認だけの場合は 終了 を押して設定を終わってください。

7 変更したいチャンネルを選んで決定します

■登録先の数字ボタン変更

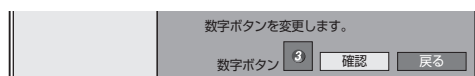
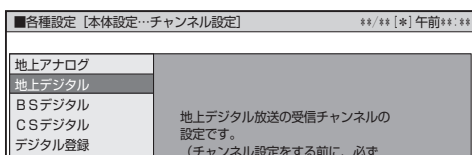
ここで選んだチャンネルを、お好きなリモコン番号に割り当てることができます。

8 「数字ボタン」を選んで決定します

変更する項目を選択してください。
数字ボタン　4桁目　スキップ　戻る

• 「スキップ」を選んで決定した場合→「■視聴しないチャンネルのスキップ設定」（→ **258** ページ）8 へ
• 「４桁目」を選んで決定した場合→「■４桁目（枝番）の変更」（→ **258** ページ）8 へ

9 変更したい番号をリモコンの数字ボタン（1 ～ 12）で入力して決定します

• 他のチャンネルの数字ボタンと重複した場合は「数字ボタンが重複しています。数字ボタンを置き換えますか」画面が表示されます。置き換える場合は「確認」で決定してください。

10 「確認」を選んで決定します

⇨数字ボタンの登録内容が変更されます。

• 設定を終わる場合は 終了 を押します。

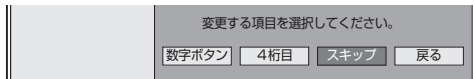
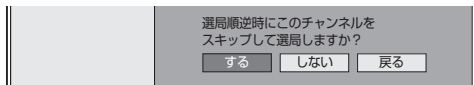
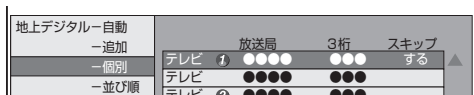
■視聴しないチャンネルのスキップ設定

257 ページ手順 **7** で選んだチャンネルを、 での選局時にスキップさせることができます。

8 「スキップ」を選んで決定します

変更する項目を選択してください。
数字ボタン　4桁目　スキップ　戻る

9 「する」を選んで決定します

選局順逆時にこのチャンネルを
スキップして選局しますか？
する　しない　戻る

⇨放送チャンネル一覧表のスキップ欄に「する」が表示されます。

・設定を終わる場合は 終了 を押します。

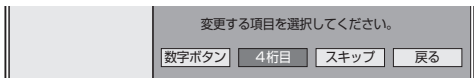
10 「番組表の表示時にも、このチャンネルをスキップしますか？」が表示されたら、「する」を選んで決定します

・スキップ設定した地上デジタル放送のチャンネルが、番組表に表示されなくなります。
ただしスキップ設定したチャンネルでも、視聴中の場合は番組表に表示されます。

■ 4 桁目（枝番）の変更

3 桁チャンネル番号が重複している場合は 4 桁目 (枝番) を変えて区別ができます。

8 「4桁目」を選んで決定します

変更する項目を選択してください。
数字ボタン　4桁目　スキップ　戻る

9 変更する4桁目の数字をリモコンの数字ボタン（ 1 ～ 10/0 ）で入力して決定します

4桁目の枝番

・4 桁目（枝番）が重複した場合は「4 桁目（枝番）を置き換えますか」画面が表示されます。置き換える 4 桁目（枝番）を入力して決定してください。

・はじめから 4 桁目（枝番）が「0」になっている場合は変更できません。

10 「確認」を選んで決定します

⇨チャンネルの 4 桁目が変更されます。

・設定を終わる場合は 終了 を押します。

地上デジタル放送のチャンネル番号と枝番について

・地上デジタル放送では、チャンネルボタン（リモコンの 1 ～ 12 ）のチャンネル番号のほかに、3 桁のチャンネル番号が付けられています。1 つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3 桁のチャンネル番号で区別することになります。

・3 桁のチャンネル番号は、放送地域内（都府県、北海道は 7 地域）ではそれぞれ別番号になっています。したがって、通常は 3 桁で放送番組を特定できます。
ただし、本機をお使いになる地域によっては、隣接する地域の放送も同じチャンネル番号で受信できることがあります。この場合は、さらにもう 1 桁を入力して選局することになります。その 1 桁の番号を「4 桁目（枝番）」といいます。

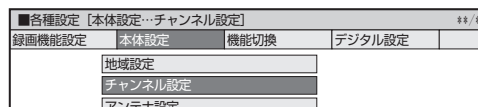
チャンネルの追加

自動設定で登録した後に新たに開局した放送局を受信したい場合など、チャンネルを追加する場合の設定です。

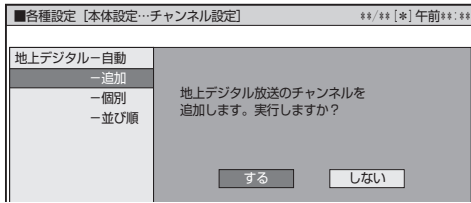
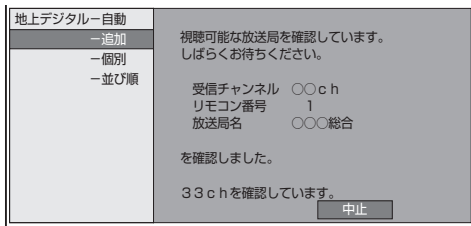
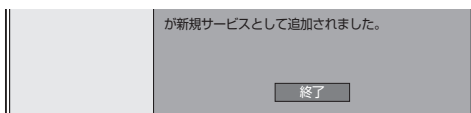
1 テレビと本機の準備をします 36 ページ

2 リモコンの 地上D を押し、「地上デジタル放送」を選局します

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます 276 ページ

4 「本体設定」−「チャンネル設定」を選んで決定します

5 「地上デジタル」を選んで決定します

6 「地上デジタル−追加」を選んで決定します

7 「する」を選んで決定します

⇨追加設定が始まります。

• 追加設定が終わると以下の画面が表示されます。

8 「終了」で決定します

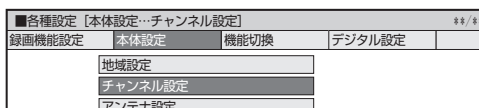
9 終了 を押して設定を終了します

リモコン番号とチャンネルの並び順変更

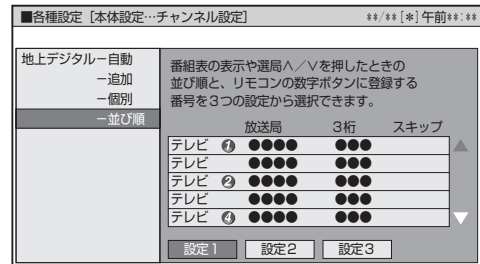
1 テレビと本機の準備をします 36 ページ

2 「地上デジタル放送」を選局します

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます 276 ページ

4 「本体設定」－「チャンネル設定」を選んで決定します

5 「地上デジタル」を選んで決定します

6 「地上デジタルー並び順」を選んで決定します

7 「設定 1」「 設定 2」「 設定 3」のいずれかを選んで決定します

「設定 1」
• リモコン番号　：放送局推奨の番号。
• 並び順　：放送局推奨の並び順。

「設定 2」
• リモコン番号　：地上アナログ放送と同等。
• 並び順　：地上アナログ放送と同等。

「設定 3」
• リモコン番号　：放送局推奨の番号。
• 並び順　：リモコン番号の若い順。

⇨リモコン番号と並び順が変わります。

8 終了 を押して設定を終了します

確認 基本 視聴 録画・予約 再生・消去 編集 ダビング 管理 ファミリンク 携帯電話・カメラ 接続・設定 基本設定 各種設定 困ったときは

BS・110 度 CS デジタル放送のチャンネル設定

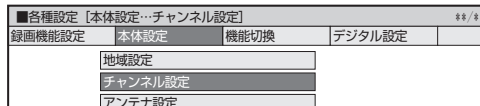
登録された放送のチャンネルを確認し、登録先のリモコンの数字ボタンを変更したり、選局ボタンでの選局時にスキップするかどうかの設定を行います。

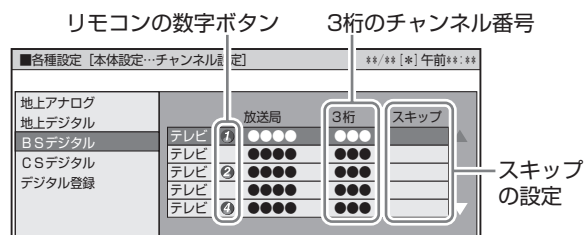
- 工場出荷時、110 度 CS デジタル放送、データ放送（ラジオ放送）はリモコンの数字ボタンには登録されていません。

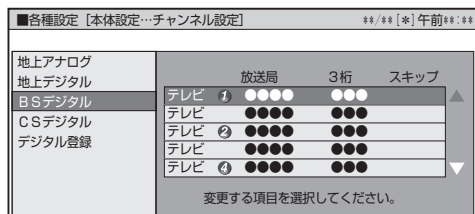
1 テレビと本機の準備をします 36 ページ

2 「BS デジタル放送」または「110 度 CS デジタル放送」を選局します

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます 276 ページ

4 「本体設定」－「チャンネル設定」を選んで決定します

5 「BS デジタル」または「CS デジタル」を選んで決定します

リモコンの数字ボタン　3桁のチャンネル番号

- 確認だけの場合は 終了 を押して設定を終わってください。

6 変更したいチャンネルを選んで決定します

■登録先の数字ボタン変更

手順 6 で選んだチャンネルを、お好きなリモコン番号に割り当てることができます。

7 「数字ボタン」を選んで決定します

8 変更したい番号をリモコンの数字ボタン（ 1 ～ 12 ）で入力して決定します

- 他のチャンネルの数字ボタンと重複した場合は「数字ボタンが重複しています。数字ボタンを置き換えますか」画面が表示されます。置き換える場合は「確認」で決定してください。

9 「確認」を選んで決定します

⇨数字ボタンの登録内容が変更されます。

- 設定を終わる場合は 終了 を押します。

■視聴しないチャンネルのスキップ設定

260 ページ手順 **6** で選んだチャンネルを、 での選局時にスキップさせることができます。

7 「スキップ」を選んで決定します

地上アナログ
地上デジタル
BSデジタル
CSデジタル
デジタル登録

	放送局	3桁	スキップ
テレビ ①	●●●●	●●●	
テレビ	●●●●	●●●	
テレビ ②	●●●●	●●●	
テレビ	●●●●	●●●	
テレビ ④	●●●●	●●●	

変更する項目を選択してください。

数字ボタン　スキップ　戻る

8 「する」を選んで決定します

地上アナログ
地上デジタル
BSデジタル
CSデジタル
デジタル登録

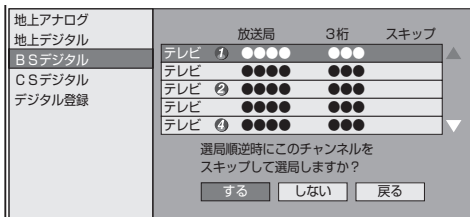
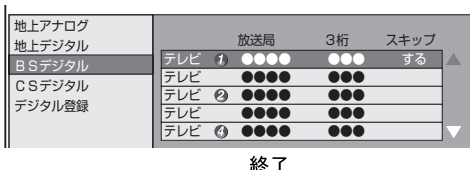
	放送局	3桁	スキップ
テレビ ①	●●●●	●●●	
テレビ	●●●●	●●●	
テレビ ②	●●●●	●●●	
テレビ	●●●●	●●●	
テレビ ④	●●●●	●●●	

選局順逆時にこのチャンネルを
スキップして選局しますか？

する　しない　戻る

⇨放送チャンネル一覧表のスキップ欄に「する」が表示されます。

地上アナログ
地上デジタル
BSデジタル
CSデジタル
デジタル登録

	放送局	3桁	スキップ
テレビ ①	●●●●	●●●	する
テレビ	●●●●	●●●	
テレビ ②	●●●●	●●●	
テレビ	●●●●	●●●	
テレビ ④	●●●●	●●●	

- 設定を終わる場合は 終了 ◯ を押します。

リモコンに登録されているチャンネルの確認

リモコンの数字ボタンに登録されているデジタル放送のチャンネルを確認できます。また、追加登録することもできます。

1 テレビと本機の準備をします 36 ページ

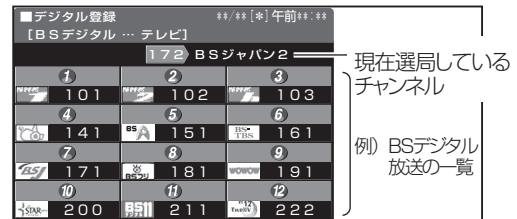
2 確認したい放送を選局します

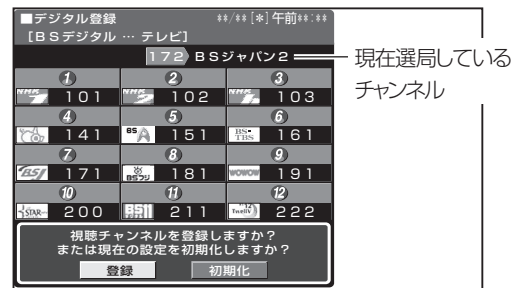
- 登録するときは、登録したいチャンネルを選局します。

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます 276 ページ

4 「本体設定」－「チャンネル設定」を選んで決定します

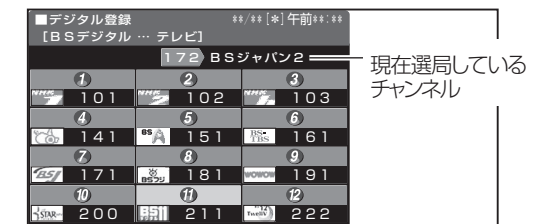
5 「デジタル登録」を選んで決定します

⇨登録されているチャンネルの一覧が表示されます。

- テレビ/データ を押すと、放送の種類が切り換わります。
- 確認だけの場合は 終了 ◯ を押して設定を終わってください。

6 登録する場合は「登録」を選んで決定します

- 「初期化」を選んで決定すると、工場出荷時の設定に戻ります。

7 登録したいチャンネルボタンを選んで決定します

- リモコンの数字ボタン（1～12）を押すことによっても選択・決定できます。

［例］「BS ジャパン 2」（172 チャンネル）を選局している場合で、そのチャンネルを 11 に登録するときはチャンネルボタン 11 を押します。

8 「する」を選んで決定します

9 終了 ◯ を押して設定を終了します

デジタル放送の双方向通信の設定をする（電話回線）

双方向番組に参加する場合に電話回線を使います。

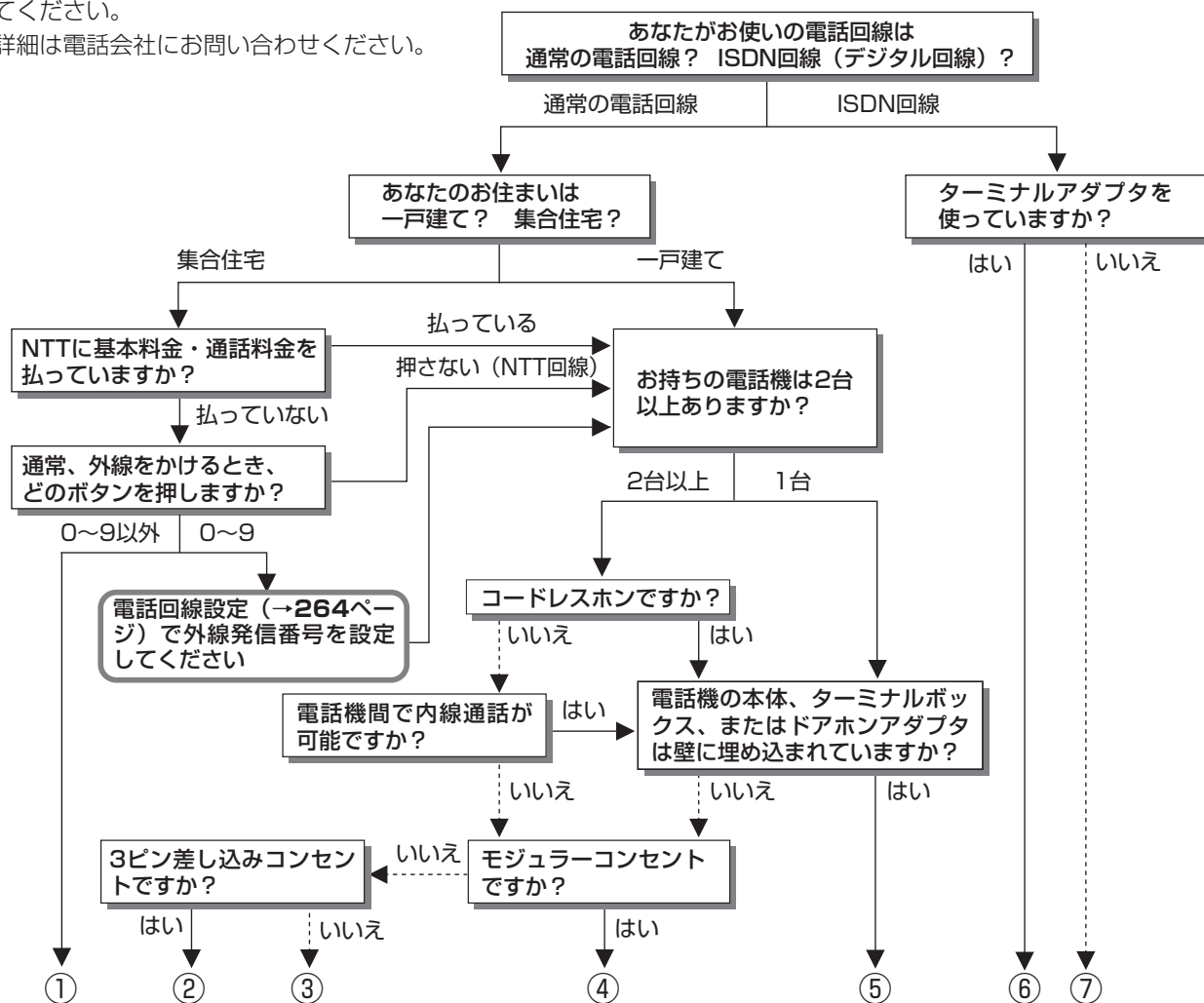
ご注意

- デジタル放送の双方向番組に参加する場合は、必ず電話回線または、LAN ケーブルに本機を接続してください。
- IP 電話をご利用の場合は、電話回線がご使用になれません。

お知らせ

- 通常のデジタル放送は、電話線を接続しなくても視聴できます。
- WOWOW などの有料放送は、受信契約も必要です。
- デジタルチューナー内蔵テレビをお使いの場合は、双方向通信番組などをお楽しみになりたい機器（テレビまたは本機のいずれか片方）に電話線を接続してください。
  （通常はテレビに接続してください。その場合、本機への接続は不要です。）

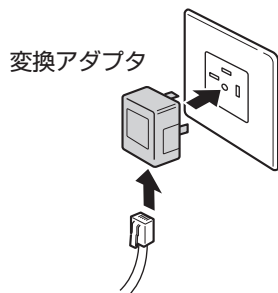
接続形態確認チャート

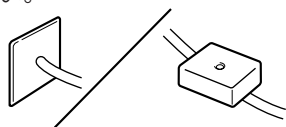
- 下の確認チャートで電話回線の状態を確認した後、接続してください。
  また、詳細は電話会社にお問い合わせください。

①マンション交換機（PBX）を使用している可能性が高いので、交換機を通さない電話回線につないでください。
②市販の 3 ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプタをお求めください。
③専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
④電話線（市販品）とモジュラー分配器（市販品）で接続可能です。（→ **263** ページ）
⑤専門業者による分岐工事が必要です。
⑥本機をターミナルアダプタに直接つないでください。
⑦ターミナルアダプタ（市販品）を使用し、本機をターミナルアダプタに直接つないでください。
　詳しくは、お使いのターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。
※③、⑤についての詳細は、お近くの NTT 営業窓口にお問い合わせください。

つぎの電話回線では注意が必要です。

■ 電話回線がモジュラージャックでない場合は

3 ピンプラグの場合

市販の 3 ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプタをお求めください。

直結配線方式の場合

簡単な工事が必要です。
詳細はお近くの NTT 営業窓口にお問い合わせください。

■ 構内電話（ビジネスホン／ホームテレホン）では

そのままでご利用になれないこともあります。その場合は単独の回線でのご利用をおすすめします。
詳細は電話設置会社にご相談ください。

■ キャッチホンでは

通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンⅡへのご加入をおすすめします。
詳細は NTT 営業窓口にお問い合わせください。

■ 直接、デジタル回線に接続することはできません

会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線（アナログ）であることをご確認のうえご利用ください。ISDN などのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプタ（TA）等の端末器を介して接続してください。

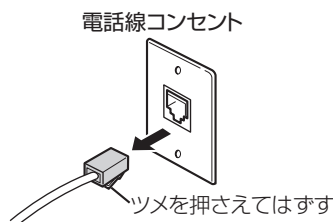
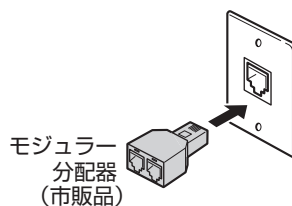
お知らせ

- 視聴記録データの自動送信中は電話機を使用しないでください。
  視聴記録データの自動送信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音（ピーヒョロヒョロ…）が聞こえますので、その間は電話をしないでください。
- 本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機やファクシミリが鳴る場合がありますが、異常ではありません。

接続のしかた

- 電話線のプラグは奥まで完全に差し込んでください。
- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
- 電話線のプラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。

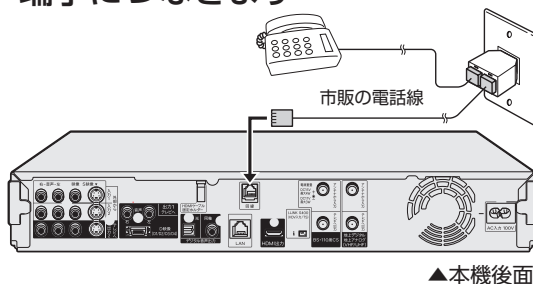
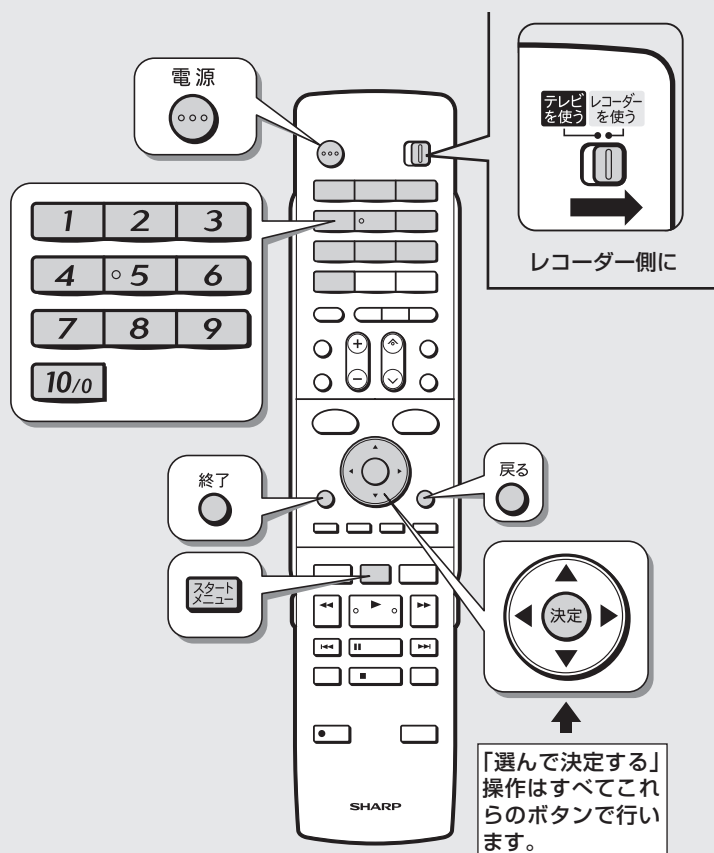
1 本機と電話機の電源を切ります

2 電話機の接続線（モジュラー線）を電話線コンセントからはずします

3 モジュラー分配器（市販品）を電話線コンセントに差し込みます

4 電話機の接続線（モジュラー線）をモジュラー分配器の一方に差し込みます

5 電話線（市販品）をモジュラー分配器のもう一方と本機後面の電話回線端子につなぎます

▲本機後面

電話回線設定

「選んで決定する」操作はすべてこれらのボタンで行います。

お知らせ

・はじめて受信登録するとき、引越しなどで本機を使う地域が変わった場合に設定します。
・電話回線のテスト実行には、回線接続料（通話料）がかかります。
・IP 電話をご利用の場合は、電話回線を接続しても設定ができません。
・「双方向サービス設定」（→ **285** ページ）で電話回線への接続を禁止することもできます。

1 テレビと本機の準備をします ☞ **36** ページ

2 スタートメニューから「各種設定」を選びます ☞ **276** ページ

3 「デジタル設定」－「通信設定」を選んで決定します

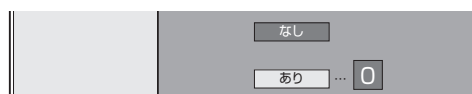
4 「電話回線設定・自動」を選んで決定します

5 「テスト実行」で決定します

⇨**自動設定が始まります。**

•「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば完了です。「テスト終了」で決定してください。
•自動設定できなかった場合は、外線発信番号の設定画面が表示されます。以下の操作を続けてください。

■外線発信番号設定

1 外線発信番号の「なし」または「あり」を選んで決定します

「なし」
• 外線交換機を使用しない場合（主な一般家庭）

「あり」
• 電話交換機などをご使用の場合

•「あり」を選んだ場合はリモコンの数字ボタンで外線発信番号を入力して決定してください。

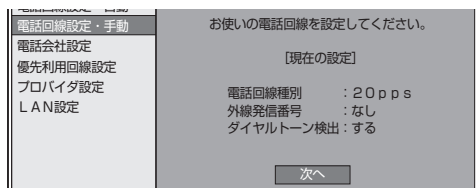
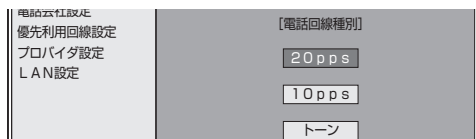
2 「テスト実行」で決定します

⇨**自動設定が始まります。**

•「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば完了です。
•設定できずに元の画面に戻った場合は、戻る を押して **265** ページの「電話回線の手動設定」を行ってください。

電話回線の手動設定

1 「電話回線設定・手動」を選んで決定します

2 現在の設定を確認し「次へ」で決定します

3 ご契約の電話回線種別を選んで決定します

- 契約している電話回線種別 (ダイヤル方式）がわからない場合は、お近くの NTT 営業窓口にお問い合わせください。

4 外線発信番号の「なし」または「あり」を選んで決定します

- 「あり」を選んだ場合はリモコンの数字ボタンで外線発信番号を入力して決定してください。

5 ダイヤルトーン検出を「する」または「しない」を選んで決定します

- NTT 回線に直結している場合は「する」を選んでください。
- 交換機を中継する場合は、交換機の機種により「する」または「しない」を選んでください。

6 終了 を押して設定を終了します

利用する電話会社設定

電話会社の選択や発信者番号通知に関する設定です。

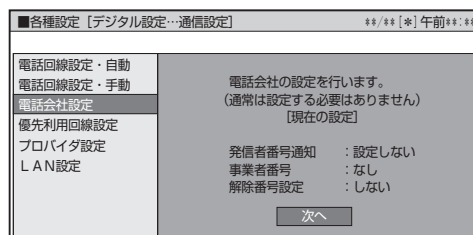
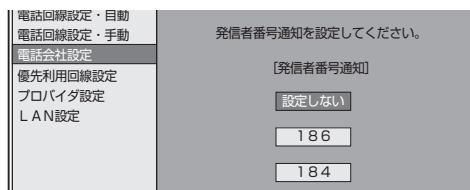
- 通常は設定する必要はありません。

1 テレビと本機の準備をします 36 ページ

2 スタートメニューから「各種設定」を選びます 276 ページ

3 「デジタル設定」－「通信設定」を選んで決定します

4 「電話会社設定」を選んで決定します

5 現在の設定を確認して「次へ」で決定します

6 発信者番号通知設定を選んで決定します

「設定しない」
- 「186」「184」のどちらにも設定しません。

「186」
- 相手先に番号を通知します。

「184」
- 相手先に番号を通知しません。

7 利用している電話会社の「事業者番号」を選んで決定します

- 事業者番号がわからないときは、電話会社にお問い合わせください。

8 マイラインプラスの解除番号設定を「する」または「しない」を選んで決定します

「する」
- マイラインプラスを解除するための番号「122」を付けて発信します。

「しない」
- マイラインプラスを解除しないで発信します。

9 終了 ◯ を押して設定を終了します

プロバイダ設定

パソコンなどで契約しているプロバイダを使って、インターネット経由でデジタル放送の双方向サービスを利用する場合に必要な設定です。

■用語解説

IP アドレス：TCP/IP ネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に振り割られた識別番号です。

ネットマスク：TCP/IP ネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別するしくみです。

ゲートウェイ：ネットワーク上で、異なるネットワークへの通信を可能にする機器の識別番号です。

DNS：DNS とは、Domain Name System の略です。文字列（名前）で表されるインターネット上の場所の（Domain Name）を数字で表される実アドレス（IP アドレス）に変換する仕組みです。

3 桁の数字 4 組で表された番号です。

「プライマリ」：1 番目の番号

「セカンダリ」：2 番目の番号

プロキシ：プロキシとは、「代理」の意味で、この機能が提供されている場合、プロキシを設定すると、インターネットの閲覧（ブラウジング）を行うときに、プロキシサーバーと呼ばれる機器を経由して閲覧が行われます。サーバーの種類により、セキュリティの向上や、閲覧スピードが改善されるなどの効果があります。

ご注意

- デジタル放送の双方向サービスを行っているかどうかは、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダと契約していない場合は、双方向サービスが楽しめません。

お知らせ

この設定では、プロバイダから提供される情報を入力します。設定の前に、次の情報がそろっているか、ご確認ください。

- アクセスポイントの電話番号
- ユーザー名
- パスワード
- DNS の IP アドレス
- ヘッダ圧縮機能に対応しているか
- ソフトウェア圧縮に対応しているか

1 テレビと本機の準備をします 36 ページ

2 スタートメニューから「各種設定」を選びます 276 ページ

3 「デジタル設定」－「通信設定」を選んで決定します

4 「プロバイダ設定」を選んで決定します

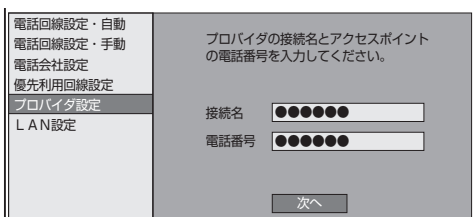
5 現在の設定を確認して「次へ」で決定します

6 決定を押して文字入力画面を表示し、接続名を入力します

- 文字入力方法については、**159** ページ
- 通常は契約しているプロバイダの事業者名を入力します。

7 決定を押して文字入力画面を表示し、アクセスポイントの電話番号を入力します

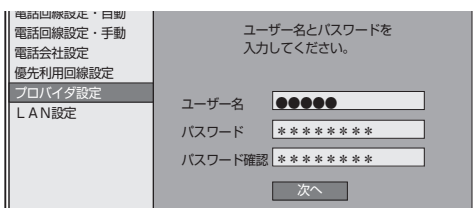
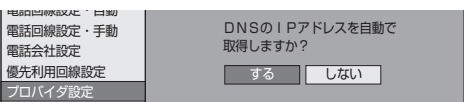
- 契約しているプロバイダの電話番号を入力します。

8 「次へ」で決定します

9 決定を押して文字入力画面を表示し、ユーザー名を入力します

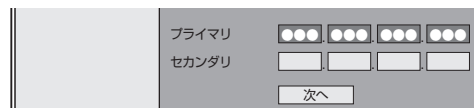
- 文字入力方法については、**159** ページ
- プロバイダと契約時に提供されたものを入力します。

10 決定を押して文字入力画面を表示し、パスワードを入力します

- プロバイダと契約時に提供されたものを入力します。
- 決定を押し、パスワード確認欄に同じパスワードをもう一度入力します。

11 「次へ」で決定します

12 DNS の IP アドレス自動取得の「する」「しない」を選んで決定します

「する」
- 「次へ」で決定して手順 15 に進みます。

「しない」
- 手順 13 に進みます。
- プロバイダと契約した際に提供された DNS の IP アドレスを入力します。

13 決定を押して文字入力画面を表示し、DNS のプライマリの IP アドレスを入力します

- 操作をくり返して各入力欄に 3 桁の数字を入力します。

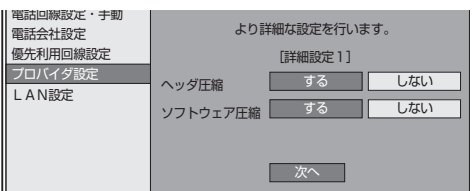
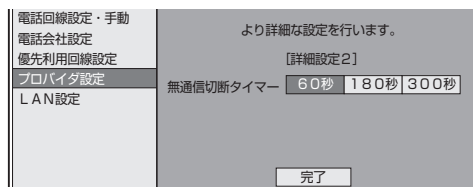
14 同様にセカンダリの IP アドレスを入力し、「次へ」で決定します

15 詳細設定を「する」または「しない」を選んで決定します

- 手順 16 ～ 18 では通信速度を向上させるかさせないかの設定をします。契約しているプロバイダがこれに対応していない場合は、「しない」に設定してください。
- 手順 19 は、一定時間無通信だった場合に回線を切断する無通信切断タイマー設定です。

16 ヘッダ圧縮を「する」または「しない」を選んで決定します

17 ソフトウェア圧縮を「する」または「しない」を選んで決定します

18 「次へ」で決定します

19 無通信の場合切断されるまでの時間を選んで決定します

20 「完了」で決定します

21 終了を押して設定を終了します

デジタル放送の双方向通信の設定をする（LAN）

LAN に接続する

BD ビデオの「BD-LIVE 機能」で楽しむときや、デジタル放送の双方向通信を楽しむために、以下の LAN 接続と **270** ページの LAN 設定を行います。

- プロバイダの提供するブロードバンドサービスなどを利用すれば、電話回線を使う場合よりも通信速度が向上するので、双方向サービスがさらに快適に楽しめます。
  この場合、LAN（Local Area Network）接続と LAN の設定が必要となります。（プロバイダとの契約も必要です。また、サービス内容の詳しい情報は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。）
- 下記の接続機器などが必要です。

LAN 接続のしかた

（ADSL での接続の一例です）
回線業者やプロバイダにより、必要な機器や接続方法が異なります。

- ADSL など、ブロードバンドサービスの接続には専門知識が必要です。詳しくは、ADSL 事業者にお問い合わせください。
- LAN 接続した場合でも、放送事業者から提供されるデータ放送によっては電話回線で通信が行われることがあります。必ず電話回線端子にも接続してください。

LAN ケーブルの種類について

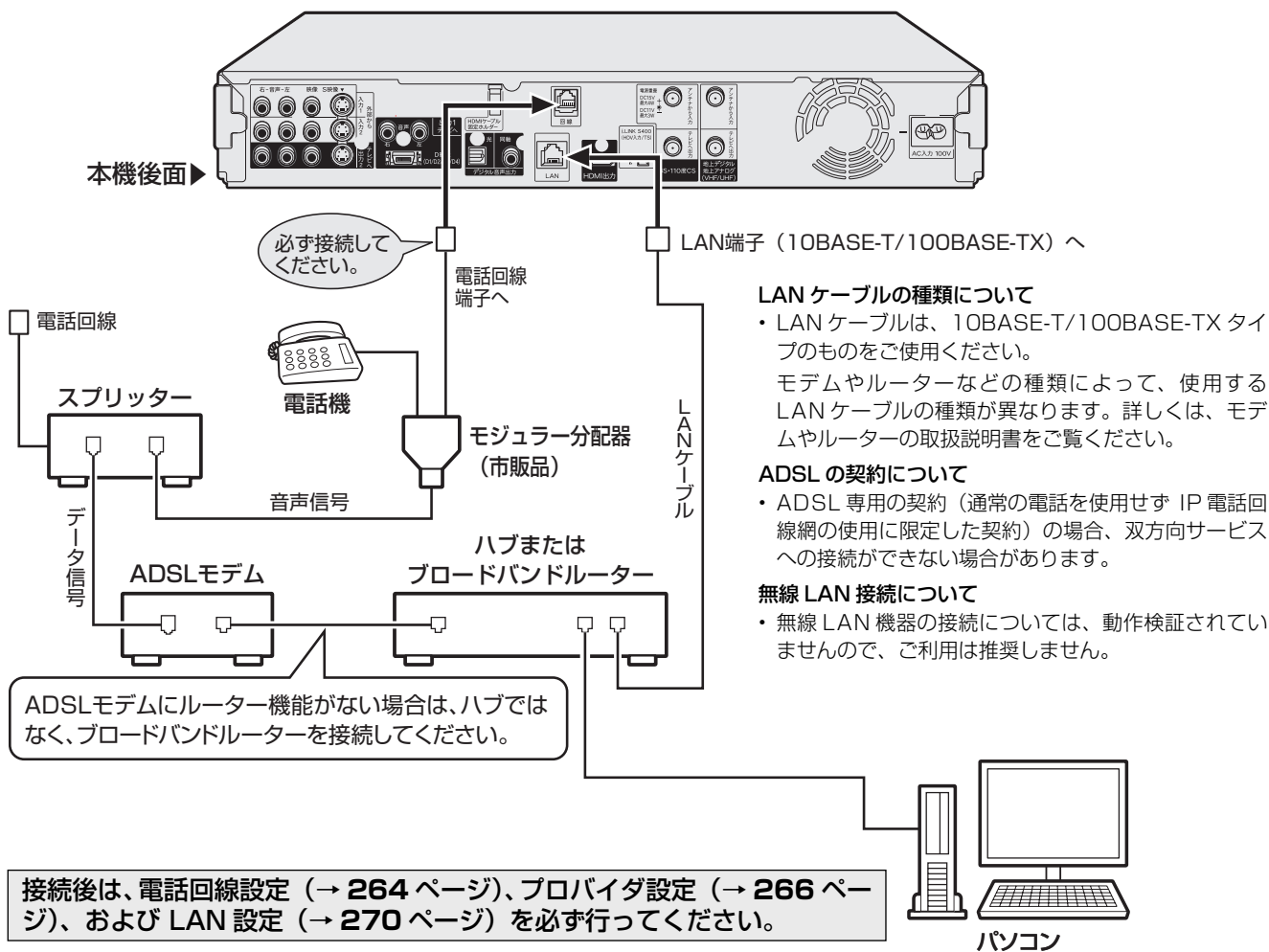
- LAN ケーブルは、10BASE-T/100BASE-TX タイプのものをご使用ください。
  モデムやルーターなどの種類によって、使用する LAN ケーブルの種類が異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。

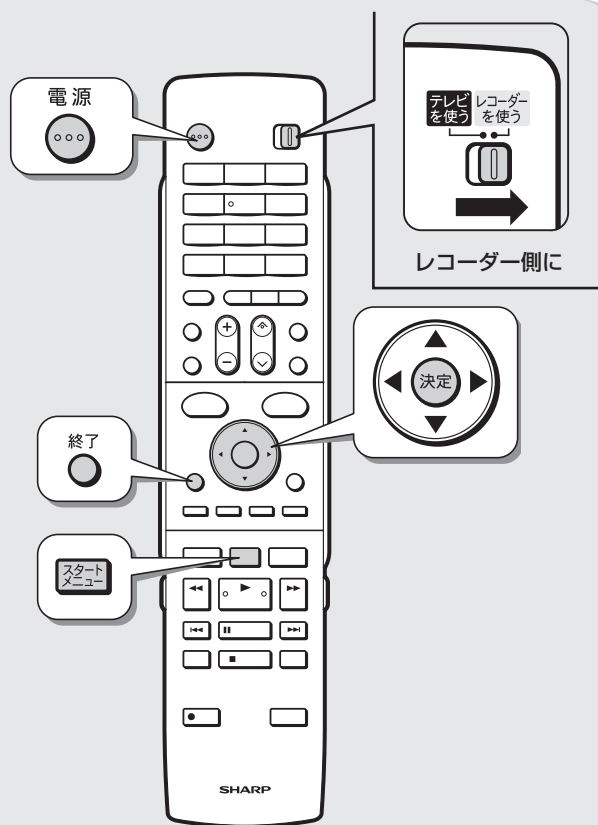
ADSL の契約について

- ADSL 専用の契約（通常の電話を使用せず IP 電話回線網の使用に限定した契約）の場合、双方向サービスへの接続ができない場合があります。

無線 LAN 接続について

- 無線 LAN 機器の接続については、動作検証されていませんので、ご利用は推奨しません。

接続後は、電話回線設定（→ **264** ページ）、プロバイダ設定（→ **266** ページ）、および LAN 設定（→ **270** ページ）を必ず行ってください。

優先的に使う回線を選ぶ

双方向通信を行うとき、電話回線、LANのどちらを優先して使うかを設定します。

ご注意

・LANを優先にしても、有料放送の受信情報をやりとりする場合や、LANで通信できない双方向番組に参加するときは、電話回線で接続されます。
・LANを優先にしたときはLANの接続（→ **268** ページ）と設定（→ **270** ページ）をしてください。

1 テレビと本機の準備をします **36** ページ

2 スタートメニューから「各種設定」を選びます **276** ページ

3 「デジタル設定」－「通信設定」を選んで決定します

4 「優先利用回線設定」を選んで決定します

5 「電話回線」または「LAN接続」を選んで決定します

選んで　決定する

・どちらを選んでも、電話回線の接続と設定は必要です。次の設定をしてください。
・電話回線の接続（→ **263** ページ）
・電話回線の設定（→ **264** ページ）
・プロバイダ設定（→ **266** ページ）
・「LAN接続」を選んだ場合は、続けて次の設定をしてください。
・LANの接続（→ **268** ページ）
・LANの設定（→ **270** ページ）

6 終了 を押して設定を終了します

LAN 設定を行う

- LAN に接続してデジタル放送の双方向サービスを利用する場合に必要な設定です。
- 「LAN 設定」を行うと、BD-LIVE 対応の BD ビデオを楽しむことができます。
- DHCP サーバー機能のない（使用していない）モデムまたはルーターをお使いの場合は、本機の情報を入力します。設定の前に、次の情報がそろっているか、ご確認ください。確認後、メモ欄にメモしておくことをおすすめします。

	メモ欄
IP アドレス	
ネットマスク	
ゲートウェイ	
DNS のアドレス	プライマリ
	セカンダリ

- またプロバイダの情報も必要です。設定の前に、次の情報がそろっているか、ご確認ください。

プロキシサーバーのアドレス
プロキシサーバーのポート番号

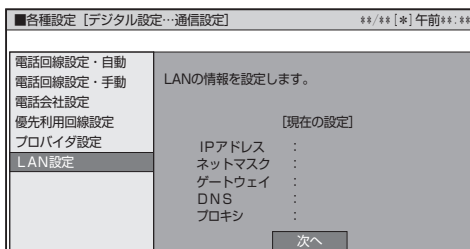
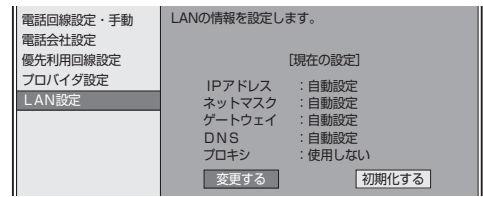
ご注意

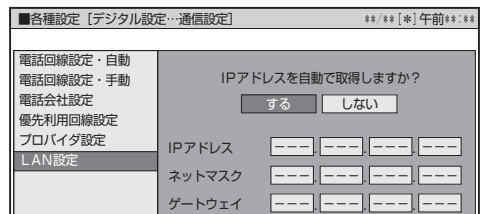
- プロバイダと LAN 接続の契約をしていない場合は、LAN 接続での双方向サービスが楽しめません。

1 テレビと本機の準備をします 36 ページ

2 スタートメニューから「各種設定」を選びます 276 ページ

3 「デジタル設定」－「通信設定」を選んで決定します

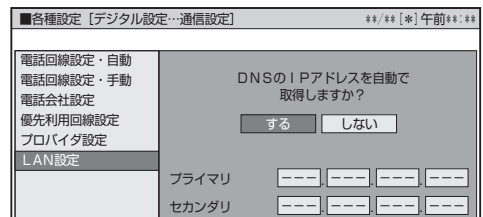
4 ①「LAN 設定」を選んで決定します
②「次へ」で決定します

5 「変更する」を選んで決定します

■ IP アドレスを設定する

6 「する」または「しない」を選んで決定します

「する」
- IP アドレスを自動で取得します。（モデムまたはルーターの DHCP サーバー機能を利用します。）

「しない」
- 「IP アドレス」、「ネットマスク」、「ゲートウェイ」を、文字入力画面を使って入力します。それぞれの欄の設定値は、ブロードバンドルーターの仕様を確認してください。

7 「次へ」で決定します

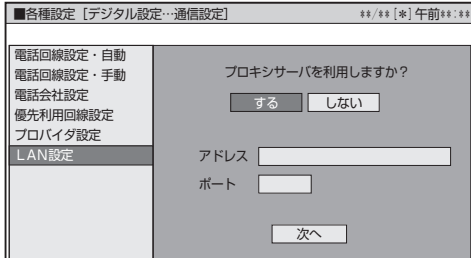
■ DNS の IP アドレスを設定する

8 「する」または「しない」を選んで決定します

「する」
- DNS の IP アドレスを自動で取得します。（モデムまたはルーターの DHCP サーバー機能を利用します。）

「しない」
- 「プライマリ」と「セカンダリ」の IP アドレスを、文字入力画面を使って入力します。それぞれの欄の設定値は、ブロードバンドルーターの仕様を確認してください。

9 「次へ」で決定します

■プロキシサーバーのアドレスを設定する

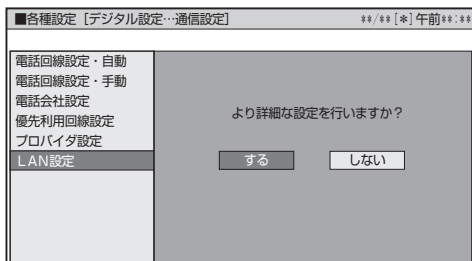
10 「する」または「しない」を選んで決定します

「する」
・プロバイダから指定されているプロキシサーバーの「アドレス（IP アドレス）」と「ポート（番号）」を、文字入力画面を使って入力してください。

「しない」
・次の手順に進みます。

11 「次へ」で決定します

■詳細な設定をする

12 「する」または「しない」を選んで決定します

・通常は「しない」に設定してください。

「する」 ☞ 手順 **13** へ

「しない」 ☞ 手順 **14** へ

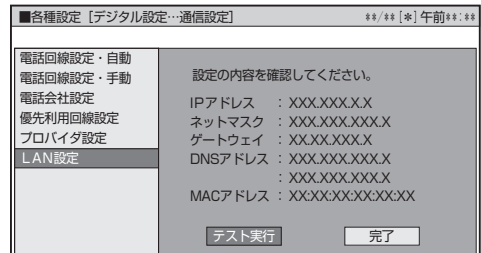
■ LAN 接続スピードを設定する

13 「自動検出」を選んで決定します

・通常は設定の必要がありません。通信がうまくいかないときなどに、設定を変更して確認します。

■ LAN に接続するためのテストをする

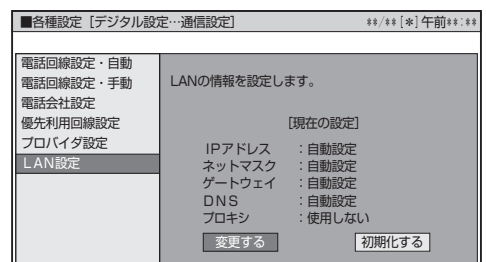
14 設定内容を確認し、「テスト実行」を選んで決定します

・テスト実行は、IP アドレスを自動で取得する設定のときのみです。IP アドレスを自動で取得しない場合は、「テスト実行」は選べません。

■ LAN 設定の内容を確認（再設定）する

15 テレビと本機の準備をします ☞ 36 ページ

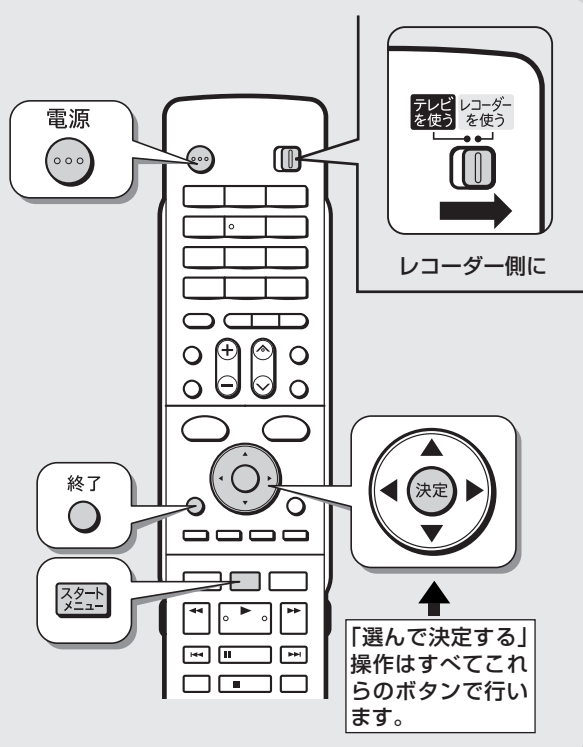
16 スタートメニューから「各種設定」を選びます ☞ 276 ページ

17 「デジタル設定」－「通信設定」を選んで決定します

18 「LAN 設定」を選んで決定します

・「初期化する」を選んで決定すると、LAN 設定の内容が工場出荷時の状態に戻ります。

19 270 ページ手順 **6** 〜このページの手順 **14** を行い、再設定します

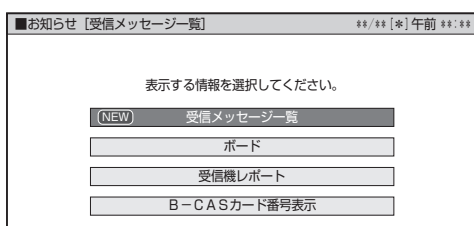
放送局から送られてくるメッセージや情報を見る

放送局からのメッセージや情報を見ることができます。

受信メッセージ確認

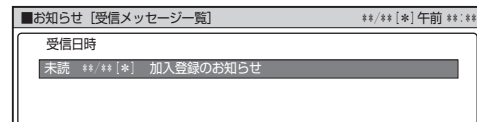
1 テレビと本機の準備をします 36 ページ

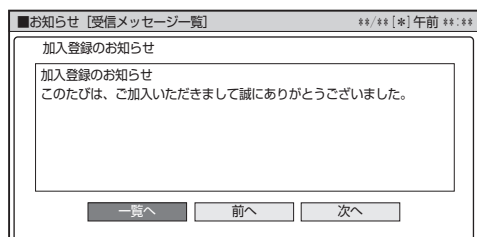
2 スタートメニューから「お知らせ」を選んで決定します

- 常時更新されていますので、「 NEW 」のマークが表示され「新しいお知らせがあります。受信したお知らせを確認してください。」の表示が出ているときは、メッセージをお読みください。

3 「受信メッセージ一覧」を選んで決定します

- 各種設定画面とお知らせ画面は、接続と設定によって大きな画面と小さな画面に切り換えることができます。（「文字表示設定」→ **283** ページ）

4 見たいメッセージを選んで決定します

（例：加入登録のお知らせを見る）

5 メッセージの内容を確認します

6 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを選んで決定します

「一覧へ」
- 受信メッセージが一覧表示されます。

「前へ」
- 前のメッセージが見られます。

「次へ」
- 次のメッセージが見られます。

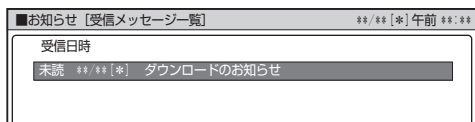
7 終了 を押して設定を終了します

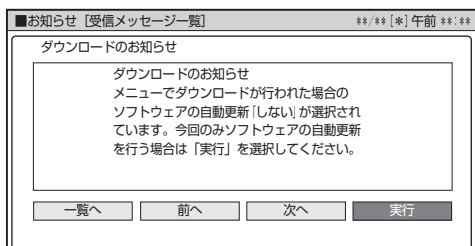
ダウンロードの手動実行

ダウンロードのお知らせメッセージが来ている場合、受信メッセージ一覧でソフトウェアを更新できます。

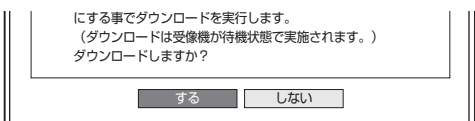
- 「デジタル設定」の「ダウンロード設定」（→ **285** ページ）が「する」の場合は自動で更新されます。「しない」に設定している場合は、「お知らせ」の「受信メッセージ一覧」でソフトウェアを更新することができます。

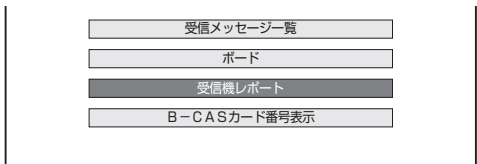
1 「受信メッセージ確認」の手順 **1** ～ **3** までを行います

2 「ダウンロードのお知らせ」を選んで決定します

3 メッセージの内容を確認します

4 「実行」を選んで決定します

5 メッセージの内容を確認します

6 「する」を選んで決定します

にする事でダウンロードを実行します。
（ダウンロードは受像機が待機状態で実施されます。）
ダウンロードしますか？
する　しない

7 ディスクが本機にセットされている場合は取り出し、リモコンの 電源 で本機の電源を切ります（電源待機状態にします）

⇨ダウンロード中は本体表示部に「DL」と表示されます。

- 「一発起動（クイック起動）」機能は、ダウンロードを始める 5 分前になると一時的に解除されます。そのため、電源がすぐに入らない場合があります。

ボード（掲示板）確認（CS 放送）

CS 各ネットワークから送られてくるボード（掲示板）の情報を見ることができます。

•ボード情報は消去することはできません。

1 「受信メッセージ確認」の手順 1 ～ 2 までを行います 272 ページ

2 「ボード」を選んで決定します

3 情報を見たいネットワークを選んで決定します

4 メッセージの内容を確認します

5 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを選んで決定します

6 終了 を押して設定を終了します

受信機レポート確認

B-CAS カードが壊れたときや、有料放送の課金情報のアップロード（視聴履歴の送信）に失敗したとき、予約を実行できなかったときなど、受信機に関係したレポートを読むことができます。

1 「受信メッセージ確認」の手順 **1** 〜 **2** までを行います 272 ページ

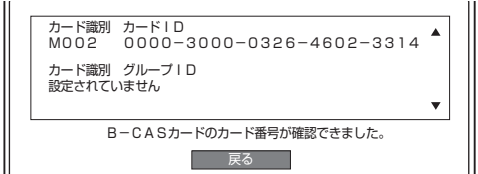
2 「受信機レポート」を選んで決定します

3 見たいレポートを選んで決定します

- アップロードに失敗したときは「再発信」を選んで決定してください。アップロードし直すことができます。

4 レポートの内容を確認します

5 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを選んで決定します

6 終了 を押して設定を終了します

B-CAS カード番号表示

受信機レポートで報告された不具合に関して放送事業者のカスタマーセンターに連絡する場合には、B-CAS カード番号が必要です。本機にセットされている B-CAS カード番号を表示します。

1 「受信メッセージ確認」の手順 **1** 〜 **2** までを行います 272 ページ

2 「B-CAS カード番号表示」を選んで決定します

3 「実行」で決定します

4 B-CAS カード番号を確認します

「カード識別」
メーカー識別用のアルファベット 1 文字と 3 文字の数字からなります。

「カード ID」
カード固有の番号です。

「グループ ID」
複数セットで同一契約が可能になります。このときに同一のグループ ID が、異なる B-CAS カードに書き込まれます。

5 「戻る」で決定します

6 終了 を押して設定を終了します

スタートメニューの「各種設定」について

- 「各種設定」には、録画や再生、本機の設置など、本機をより活用していただくための設定項目があります。本機の使用状況に応じて各項目を設定してください。
- 各項目の説明や操作のしかたは、それぞれのページをご覧ください。

各種設定

お知らせ

- スタートメニューは、約 1 分間何も操作しないと解除され、放送の画面に戻ります。

スタートメニューの「各種設定」で設定できること

- 「各種設定」の中には、設定の目的別に 4 つのグループがあります。各グループの中に、各設定項目があります。
- 各項目の内容と設定のしかたについては、それぞれの説明ページをご覧ください。

録画機能設定（→ **278** ページ）

番組を録画するときに必要な設定をします。

■各種設定［録画機能設定］ **/** [*] 午前 **:**
録画機能設定 本体設定 機能切換 デジタル設定

- 携帯電話転送設定
- ニュース・天気録画設定 ［しない］
- HD録画画質設定 ［HD10］
- MN録画画質設定 ［MN65］
- 音声記録方式設定 ［DD 2ch］
- 外部入力音声設定 ［ステレオ］
- 二ヶ国語音声設定 ［主音声］
- オートチャプター設定 ［ - - ］
- DVD自動初期化設定 ［ＶＲ］

機能切換（→ **283** ページ）

本機をより便利に活用していただくための設定をします。

本体設定（→ **280** ページ）

放送を受信するための設定や、映像や音声など本機を楽しむための設定をします。

デジタル設定（→ **285** ページ）

本機内蔵のデジタルチューナーに関する設定をします。

お知らせ

- 各種設定画面とお知らせ画面は、接続と設定によって大きな画面と小さな画面に切り換えることができます。（「文字表示設定」→ **283** ページ）

各種設定の基本操作

「各種設定」では本機をより活用していただくための設定ができます。

・以下の設定項目グループに分かれています。
　「録画機能設定」：番組を録画するときに必要な設定（→ **278** ページ）
　「本体設定」　　：本体の動作に関する設定（→ **280** ページ）
　「機能切換」　　：さまざまな機能に関する設定（→ **283** ページ）
　「デジタル設定」：デジタル放送の受信に関する設定（→ **285** ページ）
・スタートメニューは何も操作しない状態が約 1 分間続くと解除され、放送画面に戻ります。
・操作中、間違ったときや設定し直したいときは

⇨前の画面に戻る

準備 テレビと本機の準備をします

① B-CAS カードをセットします。

② テレビの電源を入れます。

③ 本機の電源を入れます。

④ テレビに向けリモコンの テレビ入力切換 を繰り返し押し、テレビの入力を切り換えます。

例：本機をテレビの外部入力 3 に接続したとき

・入力が正しく切り換わると、本機の映像がテレビに映ります。　詳しくは 37 ページ

本機の映像がテレビに映れば準備完了です。

1 スタートメニューを表示させます

2 「各種設定」を選んで決定します

3 設定したい項目を選んで決定します

（「本体設定」－「映像・音声設定」を選ぶ場合）

■各種設定［本体設定］　＊＊/＊＊［＊］午前 ＊＊:＊＊

録画機能設定　本体設定　機能切換　デジタル設定

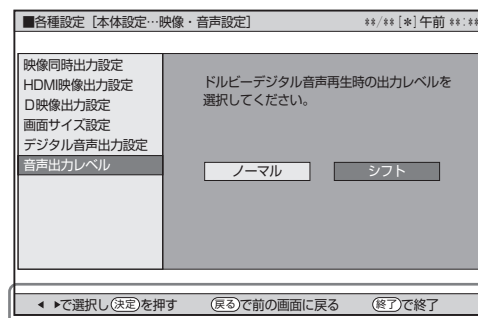
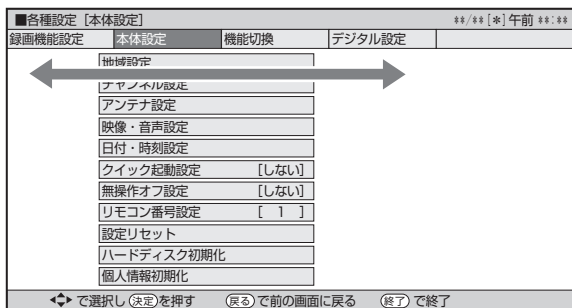
地域設定
チャンネル設定
アンテナ設定
映像・音声設定
日付・時刻設定
クイック起動設定　［しない］
無操作オフ設定　［しない］
リモコン番号設定　［　1　］
設定リセット
ハードディスク初期化
個人情報初期化

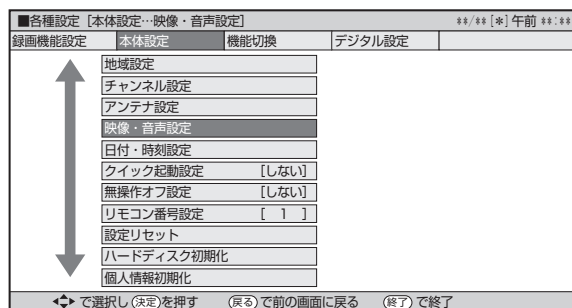
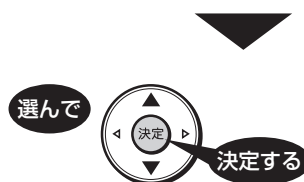
で選択し 決定 を押す　戻る で前の画面に戻る　終了 で終了

4 画面下のガイド表示に従って設定を進めます

〈例：「音声出力レベル」で「シフト」を選ぶ場合の設定操作〉

①「音声出力レベル」を選んで決定します

②「シフト」を選んで決定します

ガイド表示

5 設定を終了します

録画に関する設定をする

番組を録画するときに必要な設定をします。（☆の付いた項目は、工場出荷時の設定／設定リセットをした後の設定です。）

■各種設定［録画機能設定］

録画機能設定	本体設定	機能切換	デジタル設定

①携帯電話転送設定
②ニュース・天気録画設定 ［しない］
③ＨＤ録画画質設定 ［HD10］
④ＭＮ録画画質設定 ［MN65］
⑤音声記録方式設定 ［DD 2ch］
⑥外部入力音声設定 ［ｽﾃﾚｵ］
⑦ニヶ国語音声設定 ［主音声］
⑧オートチャプター設定 ［ - - ］
⑨ＤＶＤ自動初期化設定 ［ＶＲ］

① 携帯電話転送設定

HDD（ハードディスク）に予約録画した番組を「携帯電話転送」に対応した携帯電話に転送するための設定です。
操作方法については、**191** ページをご覧ください。

※ 将来発売されるシャープ製携帯電話と接続して使用するための機能です。この機能は、将来ソフトウェアのアップデートを行うまで表示されません。
この機能は、将来ソフトウェアのアップデートを行うことで、ご使用いただけます。将来デジタル放送のダウンロードによるアップデートサービスを行うことが決定しましたら、シャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd）にてご案内いたします。（2009 年 2 月現在）

② ニュース・天気録画設定

自動録画するニュースや天気番組を設定します。
詳しくは **87** ページをご覧ください。

③ HD 録画画質設定

リモコンふた内の［録画画質］を押して「HD ○○」（ハイビジョン画質のマニュアル録画画質）を選んだときの、画質の数値の設定です。
詳しくは **55** ～ **59** ページをご覧ください。

設定項目	設定内容
10 段階	「HD」の数値を 10 段階で選択。 数値：大→高画質録画 数値：小→長時間録画

④ MN 録画画質設定

リモコンふた内の［録画画質］を押して「MN ○○」（マニュアル録画画質）を選んだときの、画質の数値の設定です。
詳しくは **55** ～ **60** ページをご覧ください。

設定項目	設定内容
20 段階	「MN」の数値を 20 段階で選択。 数値：大→高画質録画 数値：小→長時間録画

⑤ 音声記録方式設定

DVD-RW/-R ディスクに録画画質「XP（高画質）」でダビングするときの音声記録方式を選びます。

設定項目	設定内容
ドルビーデジタル 2ch☆ [DD　2ch]	音声をドルビーデジタル 2 チャンネル音声にして記録します。
リニア PCM※ [リニア　PCM]	録画画質を「XP」（高画質）に設定してダビングしたときに、高音質な PCM（非圧縮）音声にして記録します。

- 二重音声をリニア PCM 記録するときは、VR フォーマットの DVD-RW ディスクでも、「ニヶ国語音声設定」で選んだ音声のみ記録されます。

※ 録画画質「XP」（高画質）以外に設定してダビングしたときは機能しません。

※ 録画画質「XP」（高画質）でドルビーデジタル 2ch に設定して録画した画質よりも、少し画質が落ちます。

⑥ 外部入力音声設定

本機につないだ外部機器から入力される音声を選びます。

設定項目	設定内容
ステレオ☆	ステレオ音声を記録します。
ニヶ国語	ニヶ国語放送などの二重音声（主音声・副音声）を記録します。

- 二重音声付きの映像を録画するときは、必ず「ニヶ国語」を選んでください。「ステレオ」を選んで録画すると、再生時に主音声と副音声が重なって聞こえます。

⑦ ニヶ国語音声設定

DVD-RW/-R ディスクにビデオフォーマットでニヶ国語放送をダビングするときに、主音声を記録するか副音声を記録するかを選びます。

設定項目	設定内容
主音声☆	主音声が記録されます。
副音声	副音声が記録されます。

⑧ オートチャプター設定

録画するときに、自動的に入るチャプターの間隔を設定します。

設定項目	設定内容
10	10 分間隔
15	15 分間隔
30	30 分間隔
- -☆	切

- BD や DVD ディスクに記録されているチャプターマークは、結合できません。

⑨ DVD 自動初期化設定

未使用の DVD-RW ディスクを本機にセットすると、自動的に初期化されます。その際の録画フォーマットを設定できます。

設定項目	設定内容
VR フォーマット☆	VR フォーマットで自動初期化されます。
ビデオフォーマット	ビデオフォーマットで自動初期化されます。

- VR フォーマット、ビデオフォーマットのいずれかで初期化します。

二重音声放送を録画するとき

- 二重音声放送を録画したときは、放送されている音声の種類と録画の種類（記録フォーマットや本機の設定）で記録される音声が異なります。

HDD（ハードディスク）に録画するとき／ BD にダビングするとき

本機の録画画質設定		DR/2 倍 /3 倍 /5 倍 /7 倍 /HD ○○	DR/2 倍 /3 倍 /5 倍 /7 倍 /HD ○○ 以外
放送の種類	マルチ音声＊1 （ステレオ二重音声など）	すべての音声を記録します。	視聴中の音声を記録します。＊4 ダビング時は音声 1 を記録します。
	モノラル二重音声＊2	主／副両方の音声を記録します。	主／副両方の音声を記録します。

DVD にダビングするとき

HDD（ハードディスク）の録画状態		VR フォーマット	ビデオフォーマット
放送の種類	マルチ音声＊1（ステレオ二重音声など）を「DR」、「2 倍」、「3 倍」、「5 倍」、「7 倍」、「HD ○○」録画	音声 1 を記録します。	録画制限のあるデジタル放送はダビングできません。
	マルチ音声（ステレオ二重音声など）を「DR」、「2 倍」、「3 倍」、「5 倍」、「7 倍」、「HD ○○」以外で録画＊4	HDD に記録された音声を記録します。	録画制限のあるデジタル放送はダビングできません。
	モノラル二重音声	主／副両方の音声を記録します。リニア PCM 記録するときは、二ヶ国語音声設定で設定されている音声を記録します。	二ヶ国語音声設定＊3 で設定されている音声を記録します。

＊1：デジタル放送で放送される場合があります。番組情報で「音声 1」「音声 2」などと表示されます。
例：「音声 1 は日本語のステレオ放送、音声 2 は外国語でステレオ放送を行っている番組」などをマルチ音声といいます。
＊2：デジタル放送やアナログ放送で放送される場合があります。番組情報で「主」「副」などと表示されます。
＊3：「スタートメニュー」－「各種設定」－「録画機能設定」－「二ヶ国語音声設定」で設定します。
＊4：HDD（ハードディスク）に「DR」、「2 倍」、「3 倍」、「5 倍」、「7 倍」、「HD ○○」以外の録画画質でマルチ音声（ステレオ二重音声など）を録画したときは、視聴中の音声が記録されます。
予約録画時に詳細設定で「番組詳細情報取得」を行うと、「音声設定」で記録する音声を設定できます。（→ **79** ページ）

本体の動作に関する設定をする

本体の動作に関する設定をします。（☆の付いた項目は、工場出荷時の設定／設定リセットをした後の設定です。）

■各種設定［本体設定］
録画機能設定 本体設定 機能切換 デジタル設定

⑩ 地域設定
⑪ チャンネル設定
⑫ アンテナ設定
⑬ 映像・音声設定
⑭ 日付・時刻設定
⑮ クイック起動設定 ［しない］
⑯ 無操作オフ設定 ［しない］
⑰ リモコン番号設定 ［ 1 ］
⑱ 設定リセット
⑲ ハードディスク初期化
⑳ 個人情報初期化

⑩ 地域設定

各項目について詳しくは **251** ページをご覧ください。

⑪ チャンネル設定

各項目について詳しくは **243** ～ **249**、**254**、**257** ～ **261** ページをご覧ください。

⑫ アンテナ設定

各項目について詳しくは **252** ～ **253** ページをご覧ください。

⑬ 映像・音声設定

映像同時出力設定

HDMI 端子と D 映像端子から映像を同時に出力するときの信号を設定します。

設定項目	設定内容
HDMI 端子優先☆	D 映像端子から出力される信号を、「HDMI 映像出力設定」で設定した信号に合わせます。
D 映像端子優先	HDMI 端子から出力される信号を、「D 映像出力設定」で設定した信号に合わせます。

※「HDMI 端子優先」に設定した場合、BD ビデオの 1080p 24p 映像を出力しているときは、D 映像端子から映像が出力されません。
※「D 映像出力設定」が「D1」のときに「映像同時出力設定」を「D 映像端子優先」にすると、HDMI 端子から 480i 信号が出力されます。HDMI 端子からの 480i 出力信号に対応していない機器では、HDMI ケーブルでつないでも、映像や音声は出力されません。
※「D 映像端子優先」にすると、ファミリンク機能は動かなくなります。

HDMI 映像出力設定

付属の HDMI ケーブル（19 ピン）を使って本機とテレビを接続したときの設定です。本機の HDMI 端子から出力される映像の解像度を設定します。
通常は「オート」に設定してください。

設定項目	設定内容
※**オート☆**	接続した機器に合わせて自動的に出力します。
1080/60p 固定	1080p の映像を出力します。
1080i 固定	1080i の映像を出力します。
720p 固定	720p の映像を出力します。
480p 固定	480p の映像を出力します。

・ 1080p 24p 対応のテレビと接続しているときは、「オート」に設定してください。

※BD ビデオなどの 1080p 24p 映像を再生しているとき
・ HDMI 出力端子と S 映像・映像出力端子の両方を接続しているときは、S 映像・映像出力端子から映像が出力されません。
・ HDMI 出力端子と S 映像・映像出力端子の両方から映像を出力したいときは「オート」以外に設定してください。

D 映像出力設定

D 映像ケーブルを使って接続するときは、接続するテレビの端子の種類に合った「D 映像出力設定」が必要です。

設定項目	出力される信号	設定内容
D1 ☆	480i	テレビの D1 映像入力端子と接続するとき。
D2	480p	テレビの D2 映像入力端子と接続するとき。
D3/D4/ D5※	1080i	テレビの D3、D4、D5 映像入力端子と接続するとき。

※「D3/D4/D5」に設定していても、DVD の再生映像は「480i」または「480p」で出力されます。
※ D5/D4/D3/D2 映像入力端子付きテレビと D 映像ケーブルを使って接続したとき、再生映像やテレビとの相性により、再生した映像が乱れて見える場合があります。そのようなときは、「D 映像出力設定」を「D1」に設定してください。
・ 設定後、D 映像ケーブルを抜き差しすると、設定は D1 に戻ります。

画面サイズ設定

テレビを買い換えたときなど、接続するテレビの画面サイズが変わったときは、「画面サイズ設定」の変更が必要です。
接続するテレビの画面サイズ（横縦比）、映像出力を設定します。

設定項目	設定内容
16：9（ワイド）☆	16：9 画面サイズのテレビと接続するときに設定します。
4：3（ノーマル）	4：3 画面サイズのテレビと接続するときに設定します。

「4：3（ノーマル）」選択時に表示

設定項目	設定内容
レターボックス☆	画面サイズが 4：3 のテレビと接続して 16：9 映像を再生するとき、16：9 の比率を保ったまま上下に黒い帯を入れて再生します。
パンスキャン	画面サイズが 4：3 のテレビと接続して 16：9 映像を再生するとき、映像の左右をカットして 4：3 のサイズで再生します。（4：3PS 指定の表示がある DVD ビデオで動作する機能です。）

デジタル音声出力設定

サラウンド対応のオーディオ機器と接続したときの設定をします。

- 設定は下記の「1. サラウンド機器と接続した端子の設定をします。」で、項目のいずれか 1 つだけ設定してください。

1. サラウンド機器と接続した端子の設定をします。

設定項目	設定内容
HDMI 出力※1 ☆	HDMI 出力端子を使って接続したとき。
光／同軸デジタル音声出力※2	光／同軸デジタル音声出力端子を使って接続したとき。
サラウンド機器を使用しない	サラウンド機器を使用しないとき。

2. 上記の「1.」で選択した端子の音声出力方式を設定します。

※ 1「HDMI 出力」を選択したとき

設定項目	設定内容
オート☆	• ドルビーデジタルなどのデコーダーを内蔵した HDMI 機器と本機を接続しているときに選択します。 • 接続されている機器に適した音声方式で音声を出力します。
ビットストリーム	ドルビーデジタル、DTS、AAC デコーダーを内蔵したサラウンド機器を接続しているときに選択します。 それぞれの音声をビットストリームで出力します。
PCM（サラウンド）	• マルチチャンネル PCM 対応の HDMI 機器と本機を接続しているときに選択します。 • ドルビーデジタル、DTS、AAC などの各種音声方式で記録された音声をデコードし、PCM で出力します。

- 設定が完了すると設定確認画面になります。

※ 2「光／同軸デジタル音声出力」を選択したとき

光／同軸デジタル音声出力端子から出力する音声方式を設定します。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>選択項目※3</th><th>設定内容</th></tr>
<tr><td>ドルビーデジタル</td><td rowspan="2">ビットストリーム※4</td><td rowspan="2">ドルビーデジタル、DTS、AAC デコーダーを内蔵したサラウンド機器を接続しているときに選択します。
それぞれの音声をビットストリームで出力します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DTS</td></tr>
<tr><td rowspan="2">PCM（ステレオ）</td><td rowspan="2">ステレオ（2ch 音声）タイプのオーディオ機器と接続するときに選択します。
それぞれの音声を PCM 2ch 音声に変換して出力します。</td></tr>
<tr><td>AAC</td></tr>
</table>

- 設定が完了すると設定確認画面になります。

※ 3　ドルビーデジタル、DTS、AAC それぞれの選択項目です。

※ 4 **「ビットストリーム」に設定したときは、BD ビデオソフトを再生しているときの、操作音（インタラクティブオーディオ）やセカンダリーオーディオを出力させるかどうかを選びます。**

- 操作音（インタラクティブオーディオ）やセカンダリーオーディオを出力させたい場合は、「する」に設定します。「する」に設定すると、市販の BD ビデオの「ドルビーデジタル EX 6.1ch」音声や「DTS・ES6.1ch」音声など 6.1ch 以上の音声は、5.1ch 音声になります。
- 6.1ch 以上の音声を出力したい場合は、「しない」に設定します。「しない」に設定すると、操作音（インタラクティブオーディオ）やセカンダリーオーディオは出力されません。

音声出力レベル

音の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調整し、平均的な音量で再生します。セリフが聞きづらいときに調整します。

設定項目	設定内容
ノーマル	記録されている音声をそのまま出力します。
※**シフト**☆	ドルビーデジタル音声を再生したとき、ダイナミックレンジを調整し、セリフの部分を聞こえやすいように調整します。（音声が正常に聞こえないときはノーマルにしてください。）

※設定する際は、音量を下げてください。大きな音が出たり、スピーカーに過大な入力が入る場合があります。

⑭ 日付・時刻設定

自動設定について

デジタル放送を受信している場合、日付・時刻の設定は自動的に行われます。受信していない場合は設定を行ってください。

日付・時刻設定

予約設定の前に時計が合っていることを確認し、合っていない場合は時計を合わせてください。
デジタル放送を受信すると自動的に日付・時刻が設定されますので、この設定は不要です。
詳しくは **234** ページをご覧ください。（設定方法が、基本操作と少し異なります。）

⑮ クイック起動設定

素早く電源を入にして、番組表などを表示することができます。

設定項目	設定内容
する（設定 1）	「電源を入れる」「電子番組表を表示させる」「スタートメニューを表示させる」などの操作や、「録画」「再生」の操作がすぐにできる設定です。
する（設定 2）	電源を切ったあとの 2 時間は、「する（設定 1）」と同じ操作ができます。 電源を切ったあと 2 時間を過ぎると、「しない」の設定と同じになります。
しない☆	クイック起動設定を「切」にします。

- 「クイック起動」が設定されている状態で「ダウンロードサービス」を行うとき、ダウンロードサービスを開始する 5 分前になると、一時的に「クイック起動」設定を解除します。そのため、すぐに電源が入らない場合があります。
- 操作方法は **235** ページをご覧ください。

⑯ 無操作オフ設定

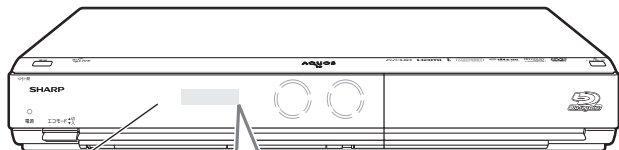
操作をしない状態が約 3 時間続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

設定項目	設定内容
する	操作をしない状態が約 3 時間続くと、自動的に電源を切ります。
しない☆	電源は自動的に切れません。

- 無操作オフ機能は、再生や録画（ダビング）を行っているときは働きません。

⑰ リモコン番号設定

リモコン番号を設定できます。
・ 詳しくは **240** ページをご覧ください。

リモコンで操作したとき、本体表示部にこんな表示が出たときは

・**リモコンで操作したとき本体表示部に「RC:1」、「RC:2」、「RC:3」の表示が点滅する場合は、本体側とリモコン側でリモコン番号が違っています。**
本体表示部に表示されている数字のリモコン数字ボタンを押しながら、決定ボタンを 6 秒以上押し続け、本体側とリモコン側のリモコン番号を合わせます。

⑱ 設定リセット

システムに保存している情報を初期状態（工場出荷時の状態）に戻します。

設定項目	設定内容
リセットする	リセットして、本機に保存している情報を、初期状態に戻します。
リセットしない☆	リセットしません。

・ リセットを実行すると、予約内容、番組表データは消去されますが、HDD（ハードディスク）内の録画番組は消去されません。また、暗証番号の設定はリセットされません。
・ 設定リセットを行うと、自動的に電源は「切」となります。
・ 操作方法は **325** ページをご覧ください。
・ リモコン番号は 1 に戻ります。
（リモコンで操作ができなくなったら、当ページ「⑰リモコン番号設定」の お知らせ をご確認ください。）

⑲ ハードディスク初期化

HDD（ハードディスク）に録画した番組などをすべて消去し、HDD をお買い上げ時の状態に戻します。
お買い上げ時、HDD は初期化された状態ですので、初期化の必要はありません。
以下のようなときに初期化をします。

・ HDD 内の番組を消去しても空き容量（残量時間）が増えないとき。
・ 本機のエラーが発生し、リセット操作をしても改善されないとき。
・ HDD 内のタイトル（録画した番組）をすべて消去し、リフレッシュさせたいとき。

ご注意

・**初期化により消去されたタイトルは元に戻せません。大切なタイトルは、BD または DVD ディスクにダビングしてから初期化してください。**

設定項目	設定内容
する	HDD を初期化します。 HDD に録画済みの番組などが、全て消去されます。
しない☆	初期化しません。

⑳ 個人情報初期化

本機には、放送局とデータの送受信をするために入力した、お客様の個人情報が記憶されています。
本機を他人に譲渡したり、廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行い、情報を消去してください。

個人情報初期化

設定項目	設定内容
する	個人情報が初期化されます。
しない☆	個人情報が残ります。

・ 個人情報初期化を行うと、設定が工場出荷時の状態に戻り、自動的に本機の電源が切れます。
・ リモコン番号は 1 に戻ります。
（リモコンで操作ができなくなったら、当ページ「⑰リモコン番号設定」の お知らせ をご確認ください。）

BD ビデオ用データ初期化

BD ビデオ再生時の操作で動作が遅くなったり正常に再生しなくなる場合に、BD ビデオデータの初期化を行います。

設定項目	設定内容
初期化する	HDD（ハードディスク）に記録された BD ビデオ用データをすべて消去し、初期状態にします。
初期化しない☆	BD ビデオ用データを初期化せず残します。

ご注意

・**「BD ビデオ用データ初期化」を実行すると、BD ビデオで個別に設定したブックマークや、ゲームのスコアなどが消去されます。**

本機の機能に関する設定をする

さまざまな機能に関する設定をします。（☆の付いた項目は、工場出荷時の設定／設定リセットをした後の設定です。）

■各種設定［機能切換］

録画機能設定	本体設定	機能切換	デジタル設定

- ㉑ エコモード設定［しない］
- ㉒ ファミリンク設定［する］
- ㉓ 文字表示設定［する］
- ㉔ メッセージ表示設定［する］
- ㉕ ＢＤ／ＤＶＤ再生設定
- ㉖ 画質調整
- ㉗ 液晶設定［点灯］
- ㉘ 電源オフ時計表示設定［しない］
- ㉙ タイムシフト視聴設定［ - - ］

㉑ エコモード設定

電源切のときの待機電力を抑えるためのエコモードを使用するか、しないかを設定します。エコモードにするには、この設定を「使用する」にしてから本体前面にあるエコモードスイッチを「入」にしてください。

設定項目	設定内容
使用する	エコモードスイッチを「入」にするとエコモードとなり、待機時の消費電力が削減されます。
使用しない☆	エコモードを使用しません。

- エコモードにすると、リモコン／本体ボタン／ファミリンクでの本機の操作や、クイック起動ができません。テレビで予約録画したファミリンク予約録画は働きませんのでご注意ください。
- エコモードにしても、本機での予約録画やデジタル放送のダウンロード、電子番組表のデータ取得などは行われます。
- 予約録画やダビング中にエコモードにした場合、その動作終了後にエコモードが有効となります。
- エコモードにすると、本機を経由してテレビへアンテナ接続をしている場合、テレビの映りが悪くなったり、テレビが映らなくなる場合があります。この場合、アンテナ分配器を使って本機とテレビそれぞれに直接アンテナ接続することをおすすめします。
- エコモードにすると、電源ランプを除く、本体の表示・ランプが消えます。

㉒ ファミリンク設定

連動設定

「ファミリンク」を搭載したシャープ製のテレビとHDMIケーブルで接続したとき、テレビから本機を操作できるようにするか、しないかを設定します。

設定項目	設定内容
する☆	HDMIで接続した機器から操作できるようにします。
しない	HDMIで接続した機器から操作できないようにします。

- その他のテレビの場合は設定が無効となります。

テレビの設定取得

ファミリンクに対応したテレビ（シャープ製）の設定情報を取得し、チャンネルをテレビと同じ設定にすることができます。

㉓ 文字表示設定

本機からテレビへ 1080p または 1080i の解像度で映像出力している場合、電子番組表やスタートメニュー、録画リスト、写真アルバムをきめ細かく表示することができます。

設定項目	設定内容					
	電子番組表	各種設定	お知らせ	録画リスト	見どころ画面	写真アルバム
する☆	6時間表示	小さな画面		18画面	○	72画面
しない	3時間表示	大きな画面		6画面	×	6画面

- きめ細かく表示するには、デジタルハイビジョンテレビと本機を次のどちらかの方法で接続、設定してください。
  - D映像ケーブルで接続し､「D映像出力設定」（→ **280** ページ）を「D3/D4/D5」に設定する。
  - HDMIケーブルで接続し、「HDMI映像出力設定」（→ **280** ページ）を「オート」､「1080/60p固定」または「1080i固定」に設定する。

㉔ メッセージ表示設定

本機の再生中に、本機の動作に関するメッセージが表示されることがあります。
再生中のタイトルの字幕にメッセージが重なるのを避けるなど、メッセージを表示したくない場合は、「しない」に設定すると、メッセージのいくつかを非表示にできます。

設定項目	設定内容
する☆	HDDやBD/DVD/CDの再生中に、本機の動作に関するメッセージを表示します。
しない	HDDやBD/DVD/CDの再生中は、予約開始またはディスク挿入 / 取り出しに関するメッセージを表示しません。

- 「しない」に設定しても、メッセージが表示される場合があります。

㉕ BD/DVD 再生設定

視聴制限レベル

ディスクの内容により、視聴制限を設定できます。操作方法については **287** ページをご覧ください。

DVD 視聴制限レベル

- 視聴制限は、「暗証番号」を設定した場合のみ設定できます。

設定項目	設定内容
1	子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向けディスク（R指定含む）は再生できません。
2～3	一般向けディスク（R指定を除く）と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向け制限付き（R指定）ディスクは再生できません。
4～7	一般向けディスク（R指定を含む）と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクは再生できません。
8	すべてのディスクを制限無しで再生できます。
切☆	視聴制限を「切」にします。

次ページへつづく

BD 視聴制限年齢

• BD ビデオの視聴制限年齢を設定できます。

設定項目	設定内容
無制限☆	年齢制限をしません。
0 歳を制限 ～ 99 歳以下を制限	0 歳～ 99 歳の間で年齢制限をします。

国コード（国コード一覧 **287** ページを参照）

設定項目	設定内容
（国コード）	国コードを選びます。

ディスク優先言語

画面に表示するメニューや、音声の言語を選択できます。
操作方法については **287** ページをご覧ください。

字幕言語（言語コード一覧 **287** ページを参照）

設定項目	設定内容
（言語コード）	字幕の言語コードを選びます。

音声言語（言語コード一覧 **287** ページを参照）

設定項目	設定内容
（言語コード）	音声の言語コードを選びます。

メニュー言語（言語コード一覧 **287** ページを参照）

設定項目	設定内容
（言語コード）	メニューの言語コードを選びます。

• 画面に表示されるメニューや音声の言語はディスクによって異なります。上記の設定を行っても、ディスクによっては自動的に言語が切り換わったり、字幕の表示／非表示や切り換えを禁止している場合があります。また、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

アングルマーク表示

BD · DVD ビデオのタイトルで、マルチアングルで録画されたシーンを再生中に、アングルマーク「🎥」を画面に表示します。

設定項目	設定内容
する	アングルマークを表示します。
しない☆	アングルマークを表示しません。

BD-LIVE 設定

• BD-LIVE 対応の BD ビデオには、インターネット経由（LAN 経由）で追加の映像や字幕、通信対応のゲームなどができるものがあります。
  BD-LIVE 設定で、インターネットへの接続の許可や禁止の設定ができます。
• BD-LIVE 設定は、「暗証番号」を設定した場合のみ設定できます。

設定項目	設定内容
許可する	全てのディスクを許可します。
制限付許可☆	不正に作られたディスクなど、BD-LIVE 番組制作者の証明書が含まれていないディスクのインターネットへの接続を制限します。
禁止する	全てのディスクを禁止します。

㉖ 画質調整

DNR（デジタルノイズリダクション）設定

映像のノイズを低減して見やすい映像にすることができます。

設定項目	設定内容
弱	映像のノイズを少し低減します。
中	映像のノイズを低減します。
強	映像のノイズを大きく低減します。
切☆	DNR 機能を使いません。

クロマディレイ設定

輝度信号と色信号のズレを調整できます。

設定項目	設定内容
－２ －１ ＋１ ＋２	輝度信号と色信号のズレを調整します。
切☆	クロマディレイ機能を使いません。

ブロック NR（ノイズリダクション）設定

動きの激しい映像などで生じるブロック状のノイズを低減します。

設定項目	設定内容
入	ブロック状のノイズを低減します。
切☆	ブロックノイズリダクション機能を使いません。

モスキート NR（ノイズリダクション）設定

画像の輪郭部分で生じる、ちらつきノイズを低減します。

設定項目	設定内容
入	ちらつきノイズを低減します。
切☆	モスキートノイズリダクション機能を使いません。

㉗ 液晶設定

液晶バックライト

液晶バックライトを点灯させるか消灯させるかを設定します。

設定項目	設定内容
点灯☆	電源が入っているときに液晶バックライトを点灯させます。
予約実行時のみ消灯	電源切（待機）状態で予約録画が始まった場合、液晶バックライトは点灯しません。就寝中の明かりが気になるときに設定すると便利です。
消灯	液晶バックライトは消灯します。

㉘ 電源オフ時計表示設定

本機の電源を切ったときに、本体表示部に時計を表示できます。

設定項目	設定内容
する	時計を表示します。
しない☆	時計を表示しません。

㉙ タイムシフト視聴設定

放送視聴時にタイムシフト視聴をするための設定です。タイムシフトする時間を選びます。

設定項目	設定内容
－－（しない）☆	タイムシフト視聴しません。
30分、60分、90分	設定した時間ぶんタイムシフト視聴します。

• タイムシフト視聴設定を行うと、電源が自動的に「切」になります。再度電源を入れ直すと、設定が有効になります。
• タイムシフトについて詳しくは、**48** ページをご覧ください。

デジタル放送の設定をする

デジタル放送の受信に関する設定をします。（☆の付いた項目は、工場出荷時の設定／設定リセットをした後の設定です。）

ル設定] **/** [*] 午前 **:**
体設定 | 機能切換 | デジタル設定

㉚ ダウンロード設定 [する]
㉛ 番組表設定
㉜ 通信設定
㉝ 暗証番号設定
㉞ 視聴年齢制限設定 [無制限]
㉟ 双方向サービス設定 [禁止しない]
㊱ 字幕表示設定 [しない]
㊲ 文字スーパー設定 [第1言語]
㊳ システム動作テスト

㉚ ダウンロード設定

電源「切」のとき自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行うかどうかを設定します。（ソフトウェアを自動更新することで本機の機能改善などに対応することができます。）

設定項目	設定内容
する☆	自動ダウンロードを行います。
しない	自動ダウンロードを行いません。

• ダウンロード中は、本体表示部に「 DL 」と表示されます。

㉛ 番組表設定

番組表取得設定

地上デジタル放送の電子番組表情報を自動で取得するための時間を設定します。取得するための設定については **255** ページをご覧ください。

表示方式設定

電子番組表をきめ細かい文字で表示するときの表示のしかたを設定することができます。電子番組表については**40**～**41** ページをご覧ください。

設定項目	設定内容
モード 1	チャンネルを縦方向に、6 時間分の番組を表示します。
モード 2	新聞のテレビ欄のように、チャンネルを横方向に表示します。
モード 3☆	番組表の横に「予約リスト」を表示します。

きめ細かい文字の番組を表示するには、ハイビジョンテレビと次の接続・設定が必要です。
• D 映像ケーブルで接続し、「D 映像出力設定」を「D3/D4/D5」に設定します。
• HDMI 入力端子付テレビと接続するときは、HDMI ケーブルでテレビと接続します。（HDMI 出力端子より、1080p または 1080i 出力しているときにきめ細かい文字となります。）

ジャンルアイコン設定

番組表のジャンルを示すアイコン（マーク）をお好みにあわせて表示させることができます。（マークについては **40** ページ参照。）

設定項目	設定内容
標準☆	標準の設定です。
薄く	アイコン（マーク）を薄く表示します。
注目	アイコン（マーク）を赤で表示します。

㉜ 通信設定

各項目について詳しくは **264** ～ **267**、**269** ～ **271** ページをご覧ください。

㉝ 暗証番号設定

本機は視聴年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。これらの制限を通過するときなどに、暗証番号を使います。
操作方法については、**286** ページをご覧ください。

㉞ 視聴年齢制限設定※

年齢制限のある番組の視聴を制限するための設定です。年齢制限は 4 ～ 20 歳の範囲で設定できます。

設定項目	設定内容
数字ボタンで年齢を入力	視聴年齢を制限します。
無制限☆	視聴年齢を制限しません。

※あらかじめ暗証番号の設定（→ **286** ページ）をしておくことが必要です。

㉟ 双方向サービス設定※

電話回線または LAN への接続を禁止します。

設定項目	設定内容
電話回線を禁止する	電話回線への接続を禁止します。
電話回線と LAN 接続を禁止する	電話回線への接続と LAN 接続を禁止します。
禁止しない☆	電話回線に接続できます。

※あらかじめ暗証番号の設定（→ **286** ページ）をしておくことが必要です。

㊱ 字幕表示設定

デジタル放送で字幕のある番組を視聴しているときに、常に字幕を表示させるかさせないかを設定することができます。

設定項目	設定内容
する	字幕を常に表示します。
しない☆	字幕を表示させません。

㊲ 文字スーパー設定

デジタル放送では、災害が発生すると画面に文字情報を表示する場合があります。
本機で受信した放送の視聴中や再生中に、災害発生時の文字情報を表示させるかどうかを、文字スーパー設定で設定できます。

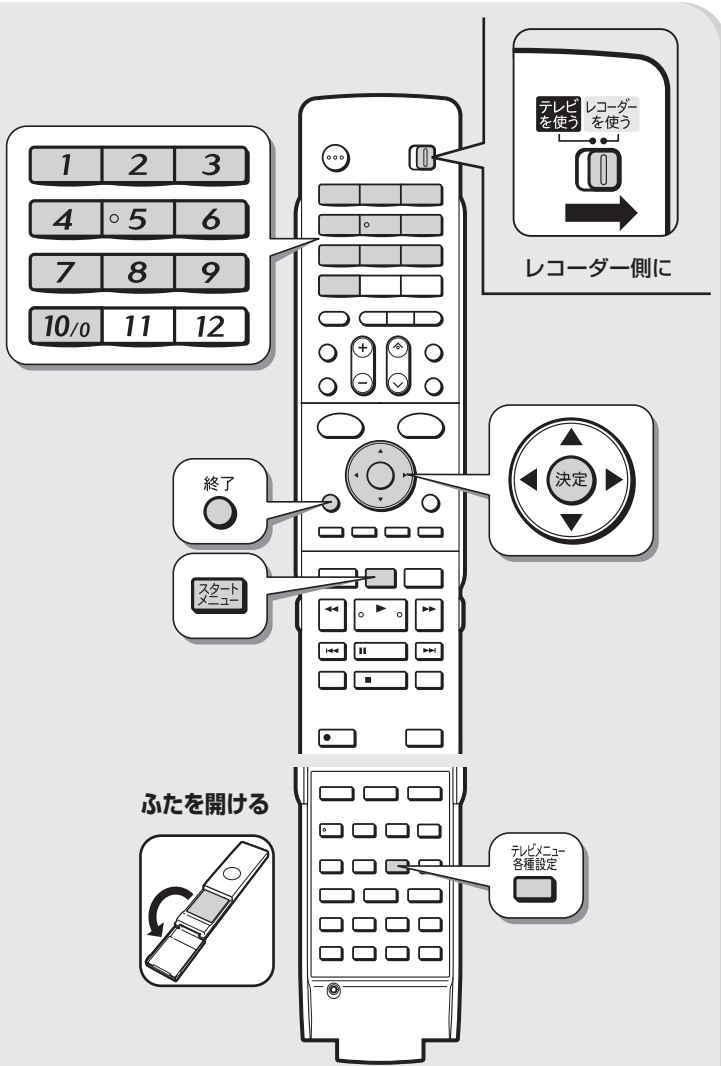
設定項目	設定内容
第 1 言語を表示☆	デジタル放送で送られてくる第 1 言語※1 の文字スーパーを表示します。
第 2 言語を表示	デジタル放送で送られてくる第 2 言語※1 の文字スーパーを表示します。
表示しない	文字スーパーを表示しません。※2

※ 1 第 1 言語や第 2 言語は、放送局や番組によって指定されます。
※ 2 文字スーパーによっては、強制的に表示するものもあります。

㊳ システム動作テスト

アンテナや電話回線が正しく接続されているか、また、B-CAS カードが正しく装着されているかなどをテストすることができます。
• テストに失敗したときは、「アンテナを接続する」（→ **198** ～ **203** ページ）、「B-CAS（ビーキャス）カードを本機にセットする」（→ **222** ページ）、電話回線の接続（→ **262** ～ **263** ページ）が正しく行われているかどうか、ご確認ください。
• 本機のソフトウェアのバージョン情報を確認することもできます。

暗証番号を設定する

視聴制限のための暗証番号を設定します。

・初期化したときは、データ放送などで、再度情報の入力が必要となります。また、ポイント情報なども初期化されます。

・**暗証番号は忘れないように必ずメモしてください。**

暗証番号を忘れたときは

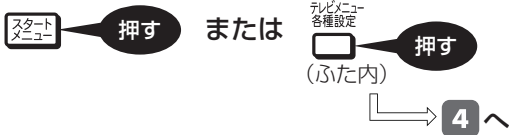
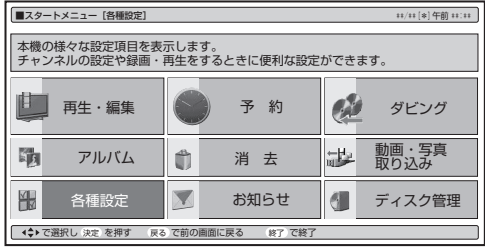
・「各種設定」－「本体設定」－「個人情報初期化」で個人情報を初期化することでリセットされます。
他の設定項目もリセットされ、工場出荷状態に戻ります。

暗証番号は以下の設定で使います

デジタル設定
- 視聴年齢制限設定
- 双方向サービス設定

・「機能切換」－「BD/DVD 再生設定」－「視聴制限レベル」の暗証番号としても使います。

1 テレビと本機の準備をします

2 スタートメニューを表示させます

3 「各種設定」を選んで決定します

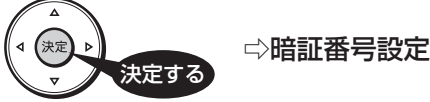
4 「デジタル設定」を選んで決定し、「暗証番号設定」を選んで決定します

5 「する」を選んで決定します

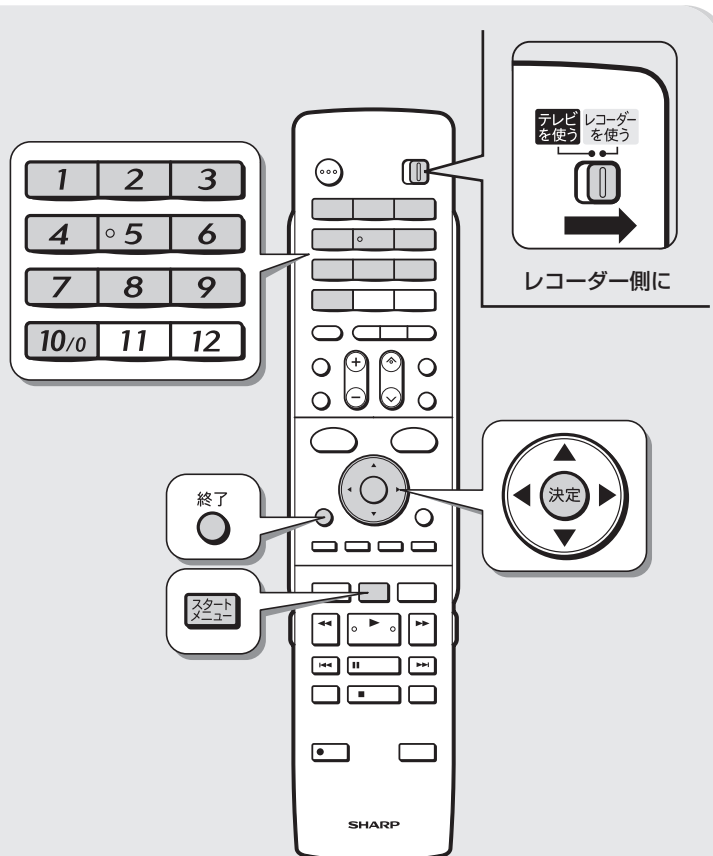
6 数字ボタンで 4 桁の暗証番号を入力します

7 確認のためもう一度入力します

8 「確認」で決定します

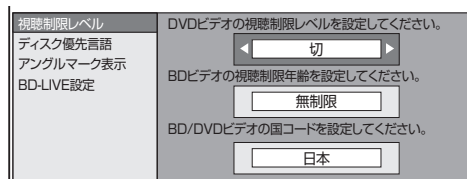
⇨暗証番号設定

9 設定を終了します

視聴制限とディスク優先言語を設定する

視聴制限で国コード、ディスク優先言語で言語コードを設定します。

1 「スタートメニュー」−「各種設定」−「機能切換」−「BD/DVD 再生設定」を選んで決定します

2 「視聴制限レベル」を選んで決定します

3 暗証番号 286ページ を入力します

286ページ

4 それぞれ選んで決定します

- 視聴制限レベルについては **283** ページをご覧ください。
- 国コードについては下記をご覧ください。

5 「ディスク優先言語」を選んで決定します

6 それぞれの項目の言語を選んで決定します

7 設定を終了します

終了 押す

お知らせ

- 「ディスク優先言語」で選ぶ言語コードについては下記をご覧ください。

国コードの一覧表

国
アメリカ
カナダ
日本
ドイツ
フランス
イギリス
イタリア
スペイン
スイス
スウェーデン
オランダ
ノルウェー
デンマーク
フィンランド
ベルギー
香港
シンガポール
タイ
マレーシア
インドネシア
台湾
フィリピン
オーストラリア
ロシア
中国

言語コードの一覧表

コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語
AA	アファル語	FY	フリジア語	LV	ラトビア語、レット語	SL	スロベニア語
AB	アブバジア語	GA	アイルランド語	MG	マダガスカル語	SM	サモア語
AF	アフリカーンス語	GD	スコットランドゲール語	MI	マオリ語	SN	ショナ語
AM	アムハラ語	GL	ガルシア語	MK	マケドニア語	SO	ソマリ語
AR	アラビア語	GN	グアラニ語	ML	マラヤーラム語	SQ	アルバニア語
AS	アッサム語	GU	グジャラート語	MN	モンゴル語	SR	セルビア語
AY	アイマラ語	HA	ハウサ語	MO	モルダビア語	SS	シスワティ語
AZ	アゼルバイジャン語	HI	ヒンディ語	MR	マラータ語	ST	セストゥ語
BA	バジキール語	HR	クロアチア語	MS	マレー語	SU	スンダ語
BE	ベラルーシ語	HU	ハンガリー語	MT	マルタ語	SV	スウェーデン語
BG	ブルガリア語	HY	アルメニア語	MY	ミャンマー語	SW	スワヒリ語
BH	ビハーリー語	IA	国際語	NA	ナウル語	TA	タミール語
BI	ビスラマ語	IE	国際語	NE	ネパール語	TE	テルグ語
BN	ベンガル語、バングラ語	IK	イヌピック語	NL	オランダ語	TG	タジク語
BO	チベット語	IN	インドネシア語	NO	ノルウエー語	TH	タイ語
BR	ブルトン語	IS	アイスランド語	OC	プロバンス語	TI	ティグリニャ語
CA	カタロニア語	IT	イタリア語	OM	アファン語（オロモ語）	TK	トゥルクメン語
CO	コルシカ語	IW	ヘブライ語	OR	オリヤー語	TL	タガログ語
CS	チェコ語	JA	日本語	PA	パンジャブ語	TN	セツワナ語
CY	ウェールズ語	JI	イディッシュ語	PL	ポーランド語	TO	トンガ語
DA	デンマーク語	JW	ジャワ語	PS	パシュトー語	TR	トルコ語
DE	ドイツ語	KA	グルジア語	PT	ポルトガル語	TS	ツォンガ語
DZ	ブータン語	KK	カザフ語	QU	ケチュア語	TT	タタール語
EL	ギリシャ語	KL	グリーンランド語	RM	ラエティ＝ロマン語	TW	トウィ語
EN	英語	KM	カンボジア語	RN	キルンディ語	UK	ウクライナ語
EO	エスペラント語	KN	カンナダ語	RO	ルーマニア語	UR	ウルドゥ語
ES	スペイン語	KO	韓国語	RU	ロシア語	UZ	ウズベク語
ET	エストニア語	KS	カシミール語	RW	キニャルワンダ語	VI	ベトナム語
EU	バスク語	KU	クルド語	SA	サンスクリット語	VO	ボラピュク語
FA	ペルシャ語	KY	キルギス語	SD	シンド語	WO	ウォロフ語
FI	フィンランド語	LA	ラテン語	SG	サンゴ語	XH	コーサ語
FJ	フィジー語	LN	リンガラ語	SH	セルビアクロアチア語	YO	ヨルバ語
FO	フェロー語	LO	ラオス語	SI	シンハラ語	ZH	中国語
FR	フランス語	LT	リトアニア語	SK	スロバキア語	ZU	ズール語

困ったときは

この章では、録画や再生ができないときなど、困ったときに確認していただきたいことを説明しています。

ページ

ディスクの種類とおもにできること

● HDD（ハードディスク）にデジタル放送をそのままの画質（ハイビジョン画質）で録画

デジタル放送から送られてくる信号をそのまま録画できます。
ハイビジョン画質や 5.1ch 音声をそのまま録画できます。
録画画質は、デジタル放送の番組に合わせ HD（ハイビジョン）または SD（標準）となります。

● HDD（ハードディスク）に録画画質を選んで録画

任意の録画画質（2倍、3倍、5倍、7倍、HD ○○、SXP、XP、SP、LP、EP、MN）で録画できます。
2倍、3倍、5倍、7倍、HD ○○では放送データを圧縮したハイビジョン画質で 5.1ch 音声をそのまま録画できます。
それ以外の画質では、ハイビジョン画質や 5.1ch 音声などデジタル放送をそのままのクオリティで録画することはできません。

● BD ディスクにダビング

HDD に録画したハイビジョン番組を、ハイビジョンのままダビングできます。
任意の録画画質でダビングすることもできます。

● DVD ディスクへ「VR フォーマット」でダビング

任意の録画画質でダビングできます。
記録したディスクは VR フォーマット対応の DVD プレーヤーでのみ再生できます。
また、デジタル放送の「1 回だけ録画可能」「ダビング 10」の番組を DVD-RW/-R（CPRM 対応）ディスクに記録することができます。

● DVD ディスクへ「ビデオフォーマット」でダビング

任意の録画画質でダビングできます。
デジタル放送の「録画禁止」や「1 回だけ録画可能」「ダビング 10」の番組を記録することはできません。
市販の DVD プレーヤーや DVD-ROM ドライブのほとんどで再生できる方式です。

おもにできること／できないこと

	HDD（ハードディスク）				BD-RE(SL/DL) BD-R(SL/DL)		DVD ディスク			
	DR 録画	2倍 3倍 5倍 7倍	HD ○○	SXP・XP・SP・ LP・EP・MN			VR フォーマット		ビデオフォーマット	
デジタル放送録画	○	○	○	○	HDDからのダビング	○	HDDからのダビング	○※1	HDDからのダビング	×
裏録予約	○※2	×	×	×		—		—		—
アナログ放送録画（外部入力録画）	×	×	×	○		○		○		○※3
ハイビジョン画質での録画	○	○	○	×		○		×		×
デジタル放送 5.1ch 音声記録	○	○	○	×		○		×		×
字幕記録	○	○	○	×※4		○		×※4		×※4
連動データ記録	○	○※5	○	×		○※6		×		×
ステレオ二ヶ国語音声記録（マルチ音声）	○	○	○	×		○		×		×
モノラル二ヶ国語音声記録	○	○	○	○		○		○		×
高速ダビング	○	○	○	○		○		×		×
追いかけ再生	○	○	○	○※7	—		—		—	
同時録画再生	○	○	○	○※7	—		—		—	
i.LINK（TS）出力 ※8	○	×	×	×	×		×		×	
任意のチャプター設定	○	○	○	○	×		×		×	
シーン消去	○	○	○	○	×		×		×	
チャプター消去	○	○	○	○	×		×		×	
フレーム単位編集	○	○	○	○	×		×		×	

※ 1 DVD-RW/-R（CPRM 対応）ディスクでのダビングのみ可能。
※ 2 裏録予約は、デジタル放送（地上デジタル放送／ BS デジタル放送／ 110 度 CS デジタル放送）のみ HDD（ハードディスク）に録画できる機能です。裏録の録画画質は「DR」（放送画質）に固定されます。
※ 3 ファイナライズ後はダビングできません。
※ 4 字幕が映像として送られてきている場合のみ可能です。（字幕の入／切の切換ができない映像のみ録画されます。）
※ 5 録画画質「5 倍」「7 倍」は除く。
※ 6 録画画質「DR ／2倍／3倍／ HD ○○」以外ではダビングされません。
※ 7 デジタル放送録画時は不可。
※ 8 本機から i.LINK（TS）機器へ出力できる映像は、HDD（ハードディスク）に録画画質「DR」（放送画質）で録画した番組です。スタートメニューから「ダビング」－「HDD（放送番組）→ i.LINK」を選んだときのみ出力します。本機のチューナーで受信した映像をそのまま出力したり、録画画質「DR」（放送画質）以外で録画した番組を出力することはできません。

本機で使えるディスクについて

本機で再生できるディスク（以下のディスク以外は再生できません。）

ディスクの種類	再生できる条件	ディスクの大きさ	録画方式（フォーマット）	再生できる内容
Blu-ray Disc BDビデオ	リージョンコード Ⓐ または、「All Region（オールリージョン）」のディスク	12cm盤	BDMVフォーマット	音声+映像（動画）
BD-RE	Ver. 2.1、SL（1層）／DL（2層）	12cm盤	BDAVフォーマット HDVフォーマット※1	音声+映像（動画）
BD-R	Ver.1.1／1.2／1.2 LTH TYPE／1.3※2、SL（1層）／DL（2層）	12cm盤	BDAVフォーマット HDVフォーマット※1	音声+映像（動画）
DVDビデオ	リージョンコード ALL または 2 の含まれるディスク	12cm盤 8cm盤	ビデオフォーマット	音声+映像（動画）
DVD-RW、DVD-R、DVD-R DL		12cm盤 8cm盤	VRフォーマット ビデオフォーマット（ファイナライズ済ディスク） AVCHDフォーマット	音声+映像（動画）
DVD-RW、DVD-R、DVD-R DL		12cm盤 8cm盤	写真フォーマット	JPEGファイル
DVD+RW, DVD+R, DVD+R DL		12cm盤 8cm盤	ビデオフォーマット（ファイナライズ済ディスク）	音声+映像（動画）
DVD-RAM［カートリッジからディスクを取り出せるタイプ］	4.7/9.4 GB	12cm盤 8cm盤	VRフォーマット	音声+映像（動画）
音楽用CD		12cm盤 8cm盤	音楽用CDフォーマット	音声
CD-R、CD-RW		12cm盤 8cm盤	音楽用CDフォーマット	音声
CD-R、CD-RW		12cm盤 8cm盤	JPEGファイルを記録したディスク	JPEGファイル

※ 1 HDV 方式のディスクは、再生できない場合があります。

※ 2 BD-R Ver.1.3 LTH TYPE は、本機ではご使用になれません。（2009 年 2 月現在、発売はされていません。）

本機で再生できないディスク

• 本機で再生できるディスクでも、次のような場合はまったく再生できないか、正常な再生ができないことがあります。

ディスク	内容
BD ビデオ	• リージョンコード「A」または「All Region」以外のディスク（正式な販売地域以外のディスク）リージョンコードの記載がないディスクは、NTSC 方式のディスクであれば再生できることもあります。 • PAL 方式、SECAM 方式のディスク
BD-RE BD-R	• BD-RE Ver.1.0 は本機で再生できません。 • カートリッジタイプのディスクは再生できません。 • 上記の再生できる条件以外のディスク
DVD ビデオ	• リージョンコード「ALL」、「2」が含まれていないディスク（正式な販売地域以外のディスク） • PAL 方式、SECAM 方式のディスク（海外で製造されたディスク） • 無許諾のディスク（海賊版のディスク） • 業務用のディスク
DVD-RW DVD+RW DVD-RAM DVD-R DVD+R	• データが記録されていないディスク • 記録に使用したレコーダーやパソコンによっては再生できない、または正常な再生映像とならない場合があります。 • ファイナライズされていないディスク **次のディスクは再生できない場合があります。** • DVD-R（VR フォーマット）ディスク • DVD-R DL（2 層）ディスク • DVD+R DL（2 層）ディスク
CD-R CD-RW	• データが記録されていないディスク • ファイナライズされていないディスク • 音楽 CD フォーマット、JPEG ファイル以外のフォーマットで記録されたディスク • 音楽や映画などと静止画（JPEG ファイル）が混在したディスクは、静止画（JPEG ファイル）を再生できません。 または、ディスクによってはまったく再生できません。 • ディスクの記録状態／ディスク自体の状態によっては、再生できません。 • ディスクと本機の相性、または記録に使用したレコーダーによっては再生できません。
音楽用 CD	• 著作権保護を目的とした信号（コピーコントロール信号）の入った CD は再生できない場合があります。 • DTS 音声とリニア PCM 音声が混在しているディスクは再生できない場合があります。 **本製品は、CD（コンパクトディスク）規格に準拠した音楽用 CD の再生を前提として設計されています。**
ビデオ CD	• ビデオ CD は本機で再生できません。
DTS CD	• リニア PCM 音声のトラックが混在するなど、一部のディスクによっては、正常に再生できないことがあります。

本機でダビング・再生できるディスク

- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
- ダビングするときには、12cm 盤のディスクをご使用ください。

ディスクの特長 ＼ ディスクの種類		Blu-ray Disc BD-RE SL(1層) BD-RE DL(2層)	Blu-ray Disc BD-R SL(1層) BD-R DL(2層)	DVD RW DVD-RW※1		DVD R4.7 DVD-R※1/DVD-R DL※1	
				VR フォーマット	ビデオフォーマット	VR フォーマット	ビデオフォーマット
ディスクのバージョン		Ver.2.1, Ver.2.1/2x	Ver.1.1, Ver.1.1/2x Ver.1.2, Ver.1.2/4x/LTH Ver.1.3/6x※ ※ LTH TYPE を除く	Ver.1.1, Ver.1.1/2x Ver.1.2/4x, Ver.1.2/6x		Ver.2.0, Ver.2.0/4x Ver.2.0/8x, Ver.2.1/4x Ver.2.1/8x, Ver.2.1/16x Ver.3.0/ 8x	
新品のディスクを使うときに初期化が必要		○	○	○	○	○※2	必要ありません
ダビングしたあとで再初期化ができる		○	×	○	○	×	×
HDD に録画したデジタル放送のダビング	録画可能	○ （コピー）	○ （コピー）	○ （コピー）	○ （コピー）	○ （コピー）	○ （コピー）
	ダビング 10	○※3 （コピー／ムーブ）	○※3 （コピー／ムーブ）	○※3 （コピー／ムーブ）	×	○※3 （コピー／ムーブ）	×
	1 回だけ録画可能	○※4 （ムーブ）	○※4 （ムーブ）	○※4 （ムーブ）	×	○※4 （ムーブ）	×
	録画禁止	×	×	×	×	×	×
HDD からのダビングスピード	高速	○	○	×	×	×	×
	1 倍速	○	○	○	○	○	○
ダビングしたあと他の機器で再生できる		○	○	DVD-RW 対応の DVD プレーヤーでのみ再生できます。※5	ファイナライズすると再生できます。	VR フォーマットの DVD-R 対応機器で再生できます。※6	ファイナライズすると再生できます。
繰り返し録画		○	×	○	○※7	×	×
追加録画		○	○	○	○※7	○※8	○※8

上記ロゴマークがディスクレーベル面に入った、JIS 規格に合格したディスクをご使用ください。
規格外のディスクを使用された場合には、再生の保証はいたしかねます。また、再生できても、画質・音質の保証はいたしかねます。

※１ • デジタル放送を DVD ディスクにダビングするときは、CPRM 対応のディスクをお使いください。
※２ • VR フォーマットで初期化せずに録画をすると、ビデオフォーマットで録画されます。（デジタル放送は録画できません。）
※３ • HDD に録画した「ダビング 10」の番組は、BD や DVD に 9 回コピーできます。10 回目にダビングすると移動（ムーブ）になり、ダビングした番組は HDD から消去されます。
※４ • HDD に録画した「1 回だけ録画可能」の番組を BD や DVD へダビングする場合は、移動（ムーブ）となり、ダビングした番組は HDD から消去されます。
※５ • ファイナライズ処理が必要な場合もあります。
• DVD-RW 対応の DVD プレーヤーには、右記の表示が付いています。
• DVD-RW（CPRM 対応）に録画した「1 回だけ録画可能」「ダビング 10」の番組は、CPRM 対応の DVD プレーヤーで再生できます。
• DVD プレーヤーによっては再生できないものもあります。

これは、DVD レコーダーで VR（ビデオレコーディング）フォーマット記録された DVD-RW が再生できる機能を示しています。

※６ • DVD-R を VR フォーマットで初期化してダビングしたディスクは、DVD-R VR フォーマット対応の DVD プレーヤーで再生できます。DVD-R VR フォーマット対応の DVD プレーヤーでも再生できないときは、ファイナライズをしてください。
• DVD-R（CPRM 対応）にダビングした「1 回だけ録画可能」「ダビング 10」の番組は、CPRM 対応の DVD プレーヤーで再生できます。（再生できない機器もあります。）
※７ • ファイナライズ処理をすると、ダビングができなくなります。（ファイナライズ解除をすると、再びダビングができるようになります。）
※８ • ディスクに残量がある限り、ダビングができます。ただし、ファイナライズ処理をすると以降のダビングができなくなります。（ファイナライズ解除はできません。）

DVD-R DL（2 層）ディスクについて

- 本機以外でダビングした DVD-R DL(2 層）ディスクは、記録状態によっては再生できない場合があります。
- 本機以外で録画したディスクは、ファイナライズされていなくても本機での追加録画は行えません。

ファイナライズ後のディスクについて

DVD-RW（VR フォーマット）をファイナライズしても…	➡	**ダビング（追加記録）が行えます。**
DVD-RW（ビデオフォーマット）、DVD-R をファイナライズすると…	➡	**再生専用のディスク**になります。（ダビングは行えません。）

本機でダビング・再生できないディスク

- 次のディスクは、本機でダビング・再生はできません。再生できても正常に再生されないことがあります。誤って再生すると、大音量によってスピーカーを破損する原因となる場合がありますので、絶対に再生しないでください。

CDG、フォト CD、ビデオ CD、CD-ROM、CD-TEXT、CD-EXTRA、SVCD、SACD、PD、CDV、CVD、DVD-ROM、DVD オーディオ、HD DVD など

その他、特殊な形のディスク（♡ハート型や⬡六角形のディスクなど）

BDについて

推奨ディスク

・必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
・ディスクによっては本機との相性により、性能を十分に発揮できない（使用できない）場合がありますので、弊社で確認済みの下記メーカー製ディスクの使用をおすすめします。

BD-RE（Ver.2.1/1x-2x）に準拠したディスク

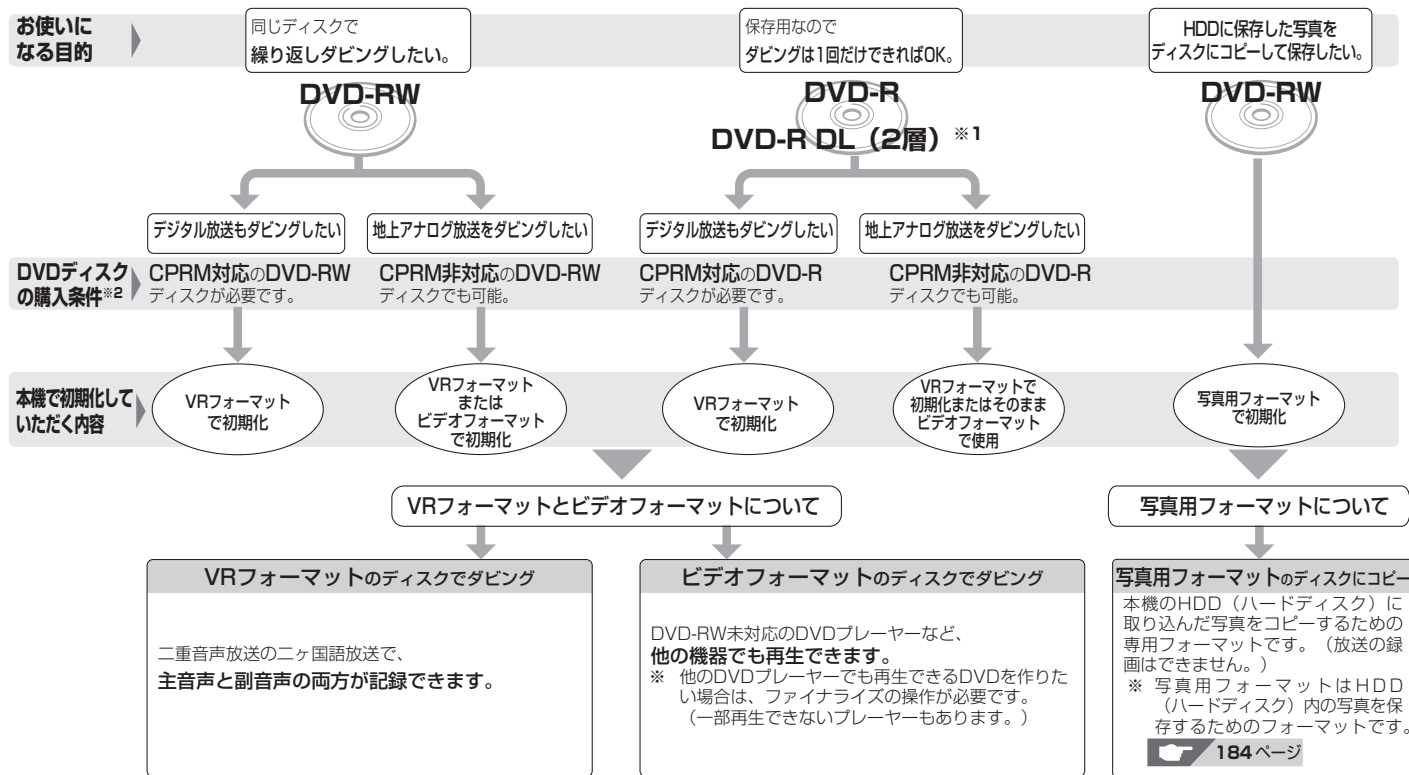
ディスクのバージョン	メーカー			
Ver.2.1	ソニー	パナソニック	TDK	三菱化学メディア

BD-R（Ver.1.1/1x-2x、Ver.1.2/1x-4x、Ver.1.2 LTH TYPE、Ver.1.3/1x-6x）に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー			
Ver.1.1	ソニー	パナソニック	TDK	三菱化学メディア
Ver.1.2	ソニー	パナソニック	TDK	三菱化学メディア
Ver.1.2 LTH TYPE	太陽誘電（That' s）			
Ver.1.3（LTH TYPEを除く）	ソニー	パナソニック	TDK	

DVDディスクについて

ディスクの種類とフォーマットについて

・DVD-RW/-R ディスクとフォーマットの種類を、お使いになる目的に合わせてお選びください。

※1 DVD-R DL（2層）ディスクは、2005年2月にDVDフォーラムで承認された新しい規格です。そのため、機器によっては、ファイナライズを行ったディスクでも再生できない場合があります。
※2 DVD-RWまたはDVD-Rディスクを購入するときは、デジタル放送も地上アナログ放送もダビングできるCPRM（デジタル放送）対応のディスク購入をおすすめします。

DVD-RWを使うとき

・本機をお買いあげの時点では、新品のDVD-RWをセットすると自動的にVRフォーマットで初期化されます。
・ビデオフォーマットでご使用になるときは、「初期化」という操作を行い、ダビングをするための準備をします。初期化をするときに、ダビングフォーマット（ビデオフォーマット）を選びます。初期化のしかたについては、**32**ページをご覧ください。
・DVD-RWをおもにビデオフォーマットで使いたいときは、セットしたDVD-RWを自動的にビデオフォーマットで初期化するように設定できます。設定のしかたは、「DVD自動初期化設定」（→**278**ページ）をご覧ください。
・ダビングしたDVD-RWディスクを新品同様に使いたいときは、もう一度初期化します。

※ 初期化すると、ダビングした内容はすべて消去されます。

DVD-Rを使うとき

・新品のDVD-Rをビデオフォーマットで使うときは、「初期化」の操作は必要ありません。販売時からビデオフォーマットで初期化されています。

DVD-R VRフォーマットについて

・新品のDVD-Rは、VRフォーマットで初期化できます。
・DVD-RをVRフォーマットで初期化できるのは、未使用の状態で、1回だけです。（ビデオフォーマットに初期化し直すことはできません。）
・不要なタイトルを削除できますが、削除した分のデータ容量は復帰しません。

写真用フォーマットについて

・DVD-RWを写真保存用として使用するための専用フォーマットです。

推奨ディスク

・必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
・ディスクによっては本機との相性により、性能を十分に発揮できない（使用できない）場合がありますので、弊社で確認済みの下記メーカー製ディスクの使用をおすすめします。

DVD-R（for General Ver.2.0/1x- 8x、Ver.2.1/16x）に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー		
Ver.2.0/4 ×	太陽誘電（That' s）	三菱化学メディア	日立マクセル
Ver.2.0/8 ×	太陽誘電（That' s）	三菱化学メディア	日立マクセル
Ver.2.1/16 ×	太陽誘電（That' s）	三菱化学メディア	

DVD-R DL（2 層 /for General Ver.3.0/4x-8x）に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー
Ver.3.0	三菱化学メディア
Ver.3.0/4 ×	三菱化学メディア
Ver.3.0/8 ×	三菱化学メディア

DVD-RW（Ver.1.1/1x-2x、Ver.1.2/4x-6x）に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー		
Ver.1.1/2 ×	三菱化学メディア	日本ビクター（JVC）	TDK
Ver.1.2/4 ×	三菱化学メディア	日本ビクター（JVC）	

お知らせ

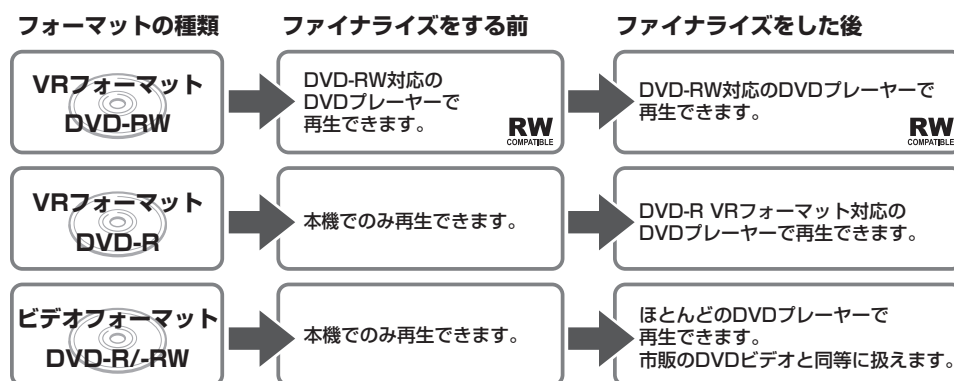
・左記推奨メーカー製のディスクにつきましては、実際にテストを行い、動作の確認ができたものですが、ディスクごとの相性に対して動作を保証するものではありません。
・デジタル放送などのコピー制御信号の含まれた番組をダビングするときは、CPRM 対応の DVD-RW/-R ディスクを VR フォーマットで使用してください。

本機で記録(ダビング)したBDディスクが再生可能なBDレコーダー/BDプレーヤーについて

・記録方式や記録に使用したディスクにより、他機での再生が制限されます。
※下記の表に該当していても、ディスクの状態や記録内容によっては、再生できない場合があります。
他機での再生を保証するものではありません。

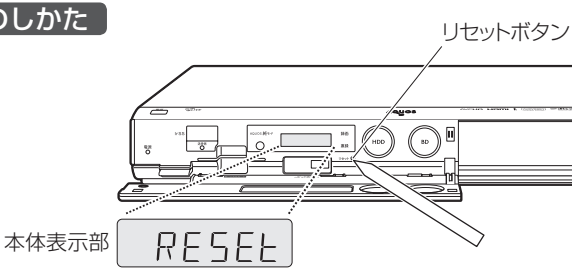
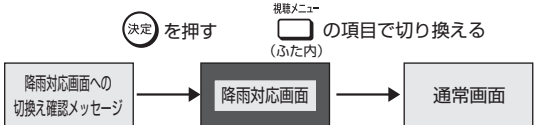
	記録方式 / ディスクの種類	再生可能な BD レコーダー /BD プレーヤー
記録方式	DR(MPEG2-TS) 記録	ほとんどの BD レコーダー /BD プレーヤーで再生が可能です。
記録方式	2倍/3倍/5倍/7倍/HD○○(MPEG4 AVC/H.264)記録	MPEG4 AVC/H.264 に対応した BD レコーダー /BD プレーヤーで再生が可能です。
ディスクの種類	BD-R Ver.1.2 LTH TYPE ディスクに記録	BD-R Ver.1.2 LTH TYPE ディスクに対応した BD レコーダー /BD プレーヤーで再生が可能です。

他の DVD プレーヤーで再生するときは（ファイナライズ）

・ダビングした後に「ファイナライズ」という操作をすると、他の DVD プレーヤーでも再生できる（互換性のある）ディスクができあがります。（ファイナライズのしかたについては **162** ページをご覧ください。）

DVD-RW にダビングしたとき

・DVD-RW にビデオフォーマットでダビングしたときは、「ファイナライズ」という操作を行います。ファイナライズをすることによって、本機でダビングしたディスクを他の DVD プレーヤーで再生できるようになります。（再生できない機器もあります。）
・DVD-RW に VR フォーマットでダビングしたときは、DVD-RW 対応の DVD プレーヤーで再生してください。ファイナライズをしなくても再生できます。DVD-RW 対応の DVD プレーヤーでも再生できないときは、ファイナライズをしてください。
DVD-RW（CPRM 対応）にダビングした「1 回だけ録画可能」「ダビング 10」の番組は、CPRM 対応の DVD プレーヤーで再生できます。

DVD-R にダビングしたとき

・DVD-R を初期化しないでダビングしたディスクは、ファイナライズをすると、市販の DVD ビデオと同じように扱うことができ、ほとんどの DVD プレーヤーで再生できます。（再生できない機器もあります。）
・DVD-R を VR フォーマットで初期化してダビングしたディスクは、DVD-R VR フォーマット対応の DVD プレーヤーで再生できます。DVD-R VR フォーマット対応の DVD プレーヤーでも再生できないときはファイナライズをしてください。DVD-R（CPRM 対応）にダビングした「1 回だけ録画可能」「ダビング 10」の番組は CPRM 対応の DVD プレーヤーで再生できます。（再生できない機器もあります。）

故障かな？と思ったら

次のような現象は故障ではない場合がありますので、修理をお申しつけになる前にお確かめください。

操作ができないときは、まず次のことをお確かめください。
- 電源プラグはコンセントから抜けていませんか？
- エコモードスイッチが「入」になっていませんか？
- リモコンの乾電池は消耗していませんか？／リモコンの乾電池は正しくセットされていますか？
- ディスクは正しくセットされていますか？／ディスクに傷や汚れはありませんか？

それでも操作できないときは、294 ～ 312 ページをご覧ください。

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
操作ができない	操作ボタンを受けつけない	• リモコンの操作範囲内で使用してください。 • リモコン番号の設定が合っているか確認してください。 • i.LINK入力にしていませんか。i.LINK入力にしているときは、録画、再生、選局などの操作が行えません。 • エコモードスイッチを「入」にしていませんか。	24 240 – 35
	初期設定画面が表示される	• 接続後、初めて電源を入れたときは、初期設定画面が表示されます。 設定を行って設定画面を終了させないと、本機の操作が行えません。	225
	極端に寒い場所でお使いのとき	• 使用温度範囲内でお使いですか。 極端に寒い場所で本機を使用するときは、HDD（ハードディスク）保護のため（暖機のため）HDDの準備が必要です。電源を入れてから使用できるまで、時間がかかりますのでしばらくお待ちください。	328
	HDDの空き容量がなくなったとき	• HDDの空き容量がなくなるまでたくさんの番組を録画したときは、本機の操作ができなくなる場合があります。 見終わった番組やダビング済みの番組などの中から、不要な番組を消去してください。（「1回だけ録画可能」の番組や、「ダビング10」の番組で9回コピー済みのものは、ダビングするとHDD（ハードディスク）から消去されます。）	118～119、132
	操作の途中で画面が止まり、操作ボタンを受けつけない	• 一度電源を「切」にし、再度電源を入れ直してください。 • 電源が切れない、または症状が改善しない場合は、本体のリセットボタンを先の細いもので押してください。本体表示部に「RESEt」が表示されます。 **リセットのしかた** リセットボタン 本体表示部 RESEt リセットボタンを押すと電源が「切」になります。電源を入れ直してください。 ※ リセットしても、録画したタイトルや予約情報などはそのまま保存されています。ただし、録画途中や保存前の情報は、残らない場合があります。 • 本体のリセットボタンを押しても改善されない場合は、電源を「切」にします。その後、電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んでください。 • 電源を入れるとシステムの確認のため「ディスクを確認しています。完了まで10分以上かかる場合があります。」のメッセージが表示されることがあります。このようなときは、表示が消えるまでお待ちください。 ※ 状況が改善されない場合は、販売店またはシャープお客様相談センターにご相談ください。	– – 314 327

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
電源が入らない	**電源が入らない**	• 本体のボタンで電源が入るか確認してください。リモコンでのみ電源が入らないときは ・リモコン番号の設定が合っているか確認してください。 ・リモコンの乾電池を新しいものと交換してください。 • 電源ボタンは、電源ランプが赤点灯してから押してください。 • エコモードスイッチを「入」にしていませんか。 • 電源プラグをコンセントに正しく接続してください。それでも直らない場合は、本機をリセット(→**294**ページ)してください。 • 電源プラグがコンセントに差し込まれている場合は、いったん電源プラグを抜き、約1分後にもう一度電源プラグを差し込んでから、電源を「入」にしてください。	 **240**、**311** **24** **223** **35** **223** –
	電源が勝手に入る	• 本機の機能を向上させるためのソフトウェアの更新(ダウンロードサービス)を電波を通して実行しているときは、本機の電源が入りファンが回転します。本体表示部に「dL」の表示が出ます。 • B-CASカード通信中／電話回線使用中は本機の電源が入りファンが回転します。本体表示部に「ACCESS」の表示が出ます。 • 電子番組表データの取得中は本機の電源が入りファンが回転します。本体表示部に「EPG」の表示が出ます。	**25** **25** **25**
	電源が切れる	• 「無操作オフ設定」が「する」に設定されていませんか。「する」に設定されている場合、何も操作していない状態(放送視聴状態)が3時間続くと自動的に電源が切れます。 • 本機で「機能切換」－「ファミリンク設定」－「連動設定」を「する」にしている場合、ファミリンク対応のテレビの電源を切ると、本機の電源も切れます。	**281** **283**
	一発起動(クイック起動)が設定されているのに電源がすぐに入らない	• 一発起動(クイック起動)が設定されている状態でダウンロードサービスを行うとき、ダウンロードサービスを開始する5分前になると、一時的にクイック起動設定を解除します。そのため、すぐに電源が入らない場合があります。 • クイック起動設定を「する(設定2)」にしているときは、電源を切ったあと2時間を過ぎるとクイック起動が解除されます。 • エコモードスイッチを「入」にしていませんか。	– **235**、**281** **35**
強い雨や雪、雷の日に映像が映らない	**積雪や豪雨などによる一時的な映像障害**	• 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。	–
	BS・CSデジタル放送の電波障害	• 雷が発生するとBS・CSデジタル放送の電波が乱れ、画面にブロックノイズが出たり映像・音声が途切れることがあります。	–
	BSデジタル放送の降雨対応放送について	• BSデジタル放送衛星から送られてくる電波が、激しい降雨によって弱められ、放送を受信できないことがあります。これに対応するため、送るデータを少なくすることで映像・音声を途切れなく提供するサービスが「降雨対応放送」です。 (決定)を押す　視聴メニュー(ふた内)の項目で切り換える 降雨対応画面への切換え確認メッセージ → 降雨対応画面 → 通常画面 ※ 降雨対応放送は、放送局側でサービスを行っているときのみ可能です。 ※ 降雨等によって受信しにくくなった場合、自動的に録画が停止することがあります。 ※ 通常画面に戻したいときは、リモコンふた内の 視聴メニュー の項目「アングル番号／映像切換」で切り換えます。	–

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
放送が映らない	デジタル放送の画面が映らない	• B-CASカードが正しくセットされているか確認してください。 •「BS･CSアンテナ電源」が「切」になっていませんか。 • 映像、音声のない放送ではありませんか。 • 有料チャンネルは、契約済みのB-CASカードを本機にセットしないと映像･音声が映りません。	222 252 – 222
	110度CSデジタル放送を受信できない	• 受信契約をしたB-CASカードを本機にセットしていますか。未契約のカードでは有料番組は受信（録画）できません。 • 放送各社と受信契約をしてください。本機は110度CSデジタルチューナーを内蔵していますので、受信契約をすれば、110度CSデジタル放送をお楽しみいただけます。	222 222
	BSアンテナを接続したが、BS･110度CS放送が映らない	• BSアンテナは110度CS放送に対応したアンテナですか。 • 衛星放送用アンテナケーブルが正しく接続されているか、抜けかかっていないかなどをご確認ください。 • アンテナケーブルは「衛星放送用同軸ケーブル」（市販品）をお使いください。 •「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「アンテナ設定」－「電源･受信強度表示」で下記①②を行ってください。 ① ご自宅にアンテナを単独で設置された場合は、「BS･CSアンテナ電源」を「入」または「オート」に設定してください。 ② アンテナ受信強度が最高レベル（60以上）になるように、アンテナの向きを調整してください。 • ご家庭のアンテナ端子がBS･UV信号（地上アナログ･地上デジタル）が混合されている端子の場合、BS･UV分波器を使用して正しくアンテナを接続していますか。 VHF/UHF/BS/CS 分波器 BS V/U ▼本機後面 BS･110度CS 地上デジタル 地上アナログ (VHF/UHF) このような接続はしないでください。	– – – 252 197～199、201
	テレビのBS･110度CS放送が映らない	• 本機のBS･CSアンテナ電源を「オート」に設定しているときは、本機の電源を切るとアンテナの電源も「切」になります。テレビのアンテナ電源を「オート」または「入」に設定してください。 • アンテナ線はテレビにも接続されていますか。	252 198～203

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
放送が映らない（つづき）	地上デジタル放送が映らない、映りが悪い	• お使いのアンテナはUHFアンテナですか。 地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。 • 地上デジタル放送を視聴するための準備（アンテナ接続、地域選択、チャンネル設定など）ができているか、ご確認ください。 • VHF/UHF用アンテナケーブルが正しく接続されているか、抜けかかっていないかなどをご確認ください。 • アンテナケーブルは「VHF/UHF用アンテナケーブル」（付属品または市販品）をお使いください。 • 「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「アンテナ設定」－「電源・受信強度表示」で下記を行ってください。 アンテナ受信強度が最高レベル（60以上）になるように、アンテナの向きを調整してください。 • ケーブルテレビ（CATV）会社で地上デジタル放送を配信していても、トランスモジュレーション方式の地上デジタル放送には対応していません。 ※ 状況が改善されない場合は、販売店にご相談ください。	－ 198～203、250～261 － － 252 －
	ケーブルテレビ（CATV）で地上デジタル放送を受信できない	• 本機はトランスモジュレーション方式に対応しておりません。CATVパススルー方式であれば、次の帯域を受信できます：UHF、VHF、ミッドバンド（MID：C13～C22）帯、スーパーハイバンド（SHB：C23～C63）帯 詳しくはCATV会社にご確認ください。	－
	地上アナログ放送が映らない、映りが悪い	• 地上アナログ放送のチャンネル設定ができているか、ご確認ください。 • VHF/UHF用アンテナケーブルが正しく接続されているか、抜けかかっていないかなどをご確認ください。 • アンテナケーブルは「VHF/UHF用アンテナケーブル」（付属品または市販品）をお使いください。 ※ 状況が改善されない場合は、販売店にご相談ください。	242～249 － －
	地上アナログ放送のチャンネル設定を地域番号を使って設定したが、放送が受信できない	• 「地上アナログ－個別」で、個別に設定をしてください。	249
	今まで視聴できていた放送が、受信できない	• はじめてB-CASカードをセットしたときは、有料放送番組でも、一定期間だけ視聴できる自動仮視聴サービスを行っている放送局があります。そのため、自動仮視聴期間が過ぎたあとに受信契約を行わないと受信できなくなる放送があります。	19
	ケーブルテレビ（CATV）へ加入した場合に、C13ch、C14ch、C15chなどを見るには？	• 「地上アナログ－個別」で「受信チャンネル」をケーブルテレビ放送の受信チャンネルに設定します。	249
電子番組表が表示されない	地上デジタル放送の電子番組表が表示されない	• 「番組表取得設定」を「する」に設定し、取得したい時刻を設定してください。その後電源「切」の状態で、設定した時刻から40分程度取得動作をします。 • 電子番組表が表示されない放送局があるときは、その放送局を一度、受信してください。しばらくすると電子番組表が表示されます。 • CATV（ケーブルテレビ）放送環境でご使用のときは、表示できない場合があります。	255、285 41 －
	地上アナログ放送の電子番組表が表示されない	• 本機は地上アナログ放送の電子番組表には対応していません。	－
	BS・110度CSデジタル放送の電子番組表が表示されない	• 番組表データが取得できていないチャンネルは、電子番組表を表示させたときに番組表内が何もない状態となります。 • 電子番組表が表示されない放送局があるときは、その放送局を一度、受信してください。しばらくすると電子番組表が表示されます。 • CATV（ケーブルテレビ）放送環境でご使用のときは、表示できない場合があります。	－ 41 －

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
画面が映らない／音が出ない	画面が映らない	• 電源「切」の状態になっていませんか。 • B-CAS（ビーキャス）カードが入っていますか。 • 接続が正しいか確認してください。 • エコモードスイッチを「入」にしていませんか。 • テレビまたはAVアンプ側で、本機をつないだ入力端子を選択してください。 • HDCPに対応していないDVI機器には映像が映らない場合があります。（本機のHDMI出力端子は、HDMI機器との接続を目的に設計されています。） • 映像出力端子の設定を間違えて画面が映らなくなったときは、リモコンふた内の［接続設定リセット］を5秒以上押し続けて設定をリセットしてください。	－ 222 197～220 35 － － 233
	放送の映像も音声も出ない	• 外部入力が選択されていませんか。本体表示部の表示を確認してください。 • テレビとの接続は正しいですか。 • 映像、音声のない放送ではありませんか。 • エコモードスイッチを「入」にしていませんか。 **D映像出力端子/HDMI出力端子でテレビと接続している場合は** • D端子でハイビジョン対応テレビと接続しているときは、「初期設定をやり直す」を行い、「ハイビジョン対応テレビ」でテレビ側の端子の設定をしてください。 • テレビに装備されているD映像入力端子には「D1/D2/D3/D4/D5」の種類があります。本機のD端子と接続したテレビの入力端子に合わせて、本機の「D映像出力設定」を変更してください。	25、39 204～208 － 35 208、229、233 280
	放送の映像が出ず、音だけ出る	• 映像出力の接続ケーブルがはずれていませんか。	200、202、206、207
	テレビの1chまたは2chで本機の映像が見られない	• AV入力端子付きテレビでお楽しみください。	－
	スピーカーから音が出ない、音が歪む	• 一時停止またはスロー再生/早送り/早戻し中は、音声が出ません。 • テレビまたはAVアンプなどの音量が「MIN（最小）」になっていませんか。 • 接続プラグの差し込みかたが不十分、または外れていないか確認してください。 • DTS収録のDVD音声は、光デジタル音声出力端子またはHDMI出力端子から出力されます。本機の光デジタル音声出力端子またはHDMI出力端子をDTS対応アンプまたはデコーダーとデジタル接続してください。 • デジタル音声ケーブルを使ってオーディオ機器と接続したとき、デジタル音声出力設定を「ビットストリーム」に設定しているときは、「DTS-HD Master Audio」や「ドルビーTrueHD」など7.1ch音声は出力されません。「コアストリーム（5.1ch）」音声のみ出力されます。 • 市販のBDビデオの「ドルビーデジタルEX6.1ch」音声や「DTS･ES6.1ch」音声など6.1ch以上の音声は光デジタル音声出力端子から出力されません。5.1ch音声となります。 • BDまたはDVDディスクに記録されている音声にオーディオ信号以外の音声や規格外の音声が記録されているなど、音声の記録状態によっては音声が出ない場合があります。	108～109 － － 211、212 213、281 212 －
	音が左右逆になる／片方しか音が出ない	• 音声ケーブルが左右逆に接続されたり、片方がはずれたりしていませんか。	200、202、206、207、209
	2つの音が混ざって聞こえる	• 音声切換が間違っていませんか。リモコンふた内の［音声］を押し、音声を切り換えます。ただし、ダビング時は、デジタル音声出力は音声切換できません。	46、110

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
映像が正常に映らない	ハイビジョン対応テレビとD映像ケーブルで接続したが、映りが悪い	•テレビ側のD端子の種類を確認し、「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「映像・音声設定」－「D映像出力設定」でテレビ側のD端子に合わせた設定を行ってください。	**280**
	横長の映像や縦長の映像になる／画面の上下に黒い帯が出る	•「画面サイズ設定」は、接続されているテレビに合っていますか。 •ワイドテレビの場合、「画面サイズ設定」が「16:9(ワイド)」に設定されていますか。 ただし、「16:9(ワイド)」に設定しても、「録画画質をLP～EP(またはMN25～MN01)に設定し、HDD(ハードディスク)に録画したタイトル」はレターボックスやパンスキャンの表示ができません。 •D映像出力端子またはHDMI出力端子を接続している場合、画面サイズを16:9に設定していると、S映像出力／映像出力端子からは16:9(スクイーズ)の縦長の映像が出力される場合があります。	**280** **280** – –
	画面の左右に黒い帯が出る(D映像端子でテレビと接続している場合)	•D映像出力設定を「D3/D4/D5」に設定したときは、4:3映像は左右に黒帯をつけて出力します。 •地上デジタル放送やBS・110度CS放送では、番組によっては16:9サイズの映像に4:3の映像を入れ、左右に黒帯の付いた映像で放送されていることがあります。	– –
	4:3テレビでデジタル放送の映像を画面いっぱいにできない	•現在放送されているデジタル放送などを受信すると4:3テレビでは、上下や上下左右に黒帯の付いた映像になるものと、画面いっぱいになる映像があります。これらの映像は、放送局側からの信号によるもので、本機で変更することはできません。	–
	画面に四角のノイズ(モザイク)が出る	•デジタル画像圧縮技術の特性上、動きの速い場面などでブロック状の画像が目立つことがあります。	–
	電波状態が悪く、映像が乱れる(正常に見えない)	•BS・110度CS放送用アンテナの向きを調整してください。 •アンテナケーブルがきちんと接続されているか確認してください。	**252** **198～203**
	映像が停止する	•本機に衝撃や振動を与えませんでしたか。不安定な場所で使用していませんか。衝撃や振動を感知すると停止します。 •HDD(ハードディスク)の特性上、ごくまれに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。 •電波状態が悪くなっていませんか。	– – **323**
	外部入力の映像が乱れる(正常に見えない)	•コピーガード入りの映像(信号)をご覧になるときは、本機を通さず、外部機器を直接テレビに接続してください。	–
	外部入力の映像がワイド画面に切り換わらない	•本機のS映像入力端子は、アスペクト信号(ID-1)に対応してワイド切換えを行います。そのため接続されている機器がID-1に対応していない場合は、ワイドにならないことがあります。テレビ側で表示のしかたを切り換えてください。	–
	HDMIケーブルでテレビと接続しているが映像が映らない、正常な映像が映らない	•電源を入れた状態でHDMIケーブルを抜き差ししていませんか。電源を入れた状態でHDMIケーブルを抜き差しすると、映像が映らなくなったり、正しく映らない場合があります。 電源を入れた状態で誤ってHDMIケーブルを抜いたときは、電源を切ってからHDMIケーブルを接続し直し、電源を入れてください。	–

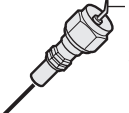
	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
録画	録画が中断されている	• HDDの録画中に電波状態が悪くなったり、停電などで録画が中断された場合は、その番組は正常に保存されません。録画リスト画面に「正常に録画できませんでした」と表示されます。	－
	録画したが何も録画されていない	• 放送のない（放送が終了している）チャンネルを録画しているときは、映像のない状態で録画されます。電波状態の悪いチャンネルを録画したときも、映像のない状態で録画される場合があります。	－
	録画ができない、録画が途中で止まる	• HDDの残量は足りていますか。 • HDD内に記録できるタイトル数やチャプター数は下記のとおりです。それ以上HDDへ録画することはできません。 タイトル数：999タイトル※ チャプター数：1タイトルにつき99チャプター 合計4000チャプター※ ※ 動画アルバムと放送番組の合計 • 録画を始めた状態、録画中の状態をご確認ください。 ・再生中は、録画の操作ができません。 ・本機がHDDを判別し終える前に、録画の操作を始めませんでしたか。HDDランプが白色点灯するまで、操作はお待ちください。 ・録画中に電源プラグを抜いてしまったり、停電になったりしませんでしたか。 • 録画が禁止された映像は録画できません。 • デジタル放送は、電波状態が悪い場合は録画できません。	25､52､53､58 － － 54 －
	録画中の番組が視聴できない	• 裏録予約実行中の番組は視聴できません。 • エコモードスイッチを「入」にしていませんか。	－ 35
	外部機器から録画中、別の放送が視聴できない	• 録画中は、録画中の映像（放送）のみ視聴できます。チャンネルや入力は切り換えられません。	－
	ワンタッチ録画ができない／ファミリンク機能で録画しようとしたが録画されない	•「ワンタッチ録画」とは、今テレビで見ている番組をファミリンク機能を使って録画する機能です。ワンタッチ録画は本機が停止状態のときに働きます。 • 本機が録画中、予約録画中、ダビング中、再生中などの動作中は、ワンタッチ録画が行えません。テレビ画面には「録画が失敗しました。」と表示されます。 • エコモードスイッチを「入」にしていませんか。エコモードスイッチが「入」のときは働きません。	－ － 35
	ファミリンクの録画停止が働かない（テレビのリモコン、または本機のリモコンで録画停止ができない）	• ファミリンクを使った録画停止は、ワンタッチ録画、ファミリンク［1］（標準）予約録画など、ファミリンク機能を使った録画を停止するものです。 • ファミリンクを使った録画（予約録画）が停止しないときは、本機のリモコンの、テレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダーを使う」側にして［録画停止］を押します。	－ －
	外部機器やケーブルテレビ（CATV）ボックスから録画できない	• リモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダーを使う」側にしてからリモコンふた内の［入力切換］を押し、外部機器やケーブルテレビ（CATV）ボックスを接続した外部入力に切り換えてください。	39、64
	デジタル放送の5.1chの音声が記録できない	• HDD（ハードディスク）に録画画質「DR」「２倍」「３倍」「５倍」「7倍」「HD○○」で録画してください。	－

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
予約録画	予約ができない	• 62番組まで予約できます。（電子番組表予約、裏録予約、日時指定予約、ダビング予約、休止中の予約の合計。予約書き込み機能を使った予約は除く。）	–
		• 通常の予約または裏録予約が実行中（録画中）の場合は、実行中の予約と時刻の重なる新たな予約は設定できません。 ・通常の予約が実行中の場合は、裏録予約のみ設定できます。 ・裏録予約が実行中の場合は、通常の予約のみ設定できます。 ・通常の予約と裏録予約が両方とも実行中の場合は、予約は設定できません。すぐに予約を設定したいときは、通常の予約録画を停止させてから設定してください。	–
	予約録画の開始・終了時刻が微妙にずれる	• 連続した予約の設定をしている場合、次の番組の先頭から録画を開始するため、前の番組は予約録画終了時刻よりも早く録画が終了します。	–
	予約したのに録画されていない、途中で切れている	• 録画先の状態を確認してください。「録画ができない、録画が途中で止まる」をご確認ください。	300
		• 録画開始時刻に下記の状態であった場合は、録画されません。 ・ダビング中（録画開始時刻の5分前までに、操作を終えてください。） ・BDやDVDディスクのタイトル名変更中など（録画開始時刻の5分前までに、操作を終えてください。） ・予約待機中/録画中に停電がありませんでしたか。HDDの録画中に電波状態が悪くなったり停電などで録画が中断された場合は、その番組が正常に録画できません。	–
		・録画先の残量は十分でしたか。残量が少ない場合、不要なタイトル（録画した番組）を消去してください。 ・録画予約を「休止」にしていませんでしたか。 ・放送時間が変更されていませんか。 ・番組が延長されていませんでしたか。 ・温度の低い場所で使用すると、HDD（ハードディスク）が準備状態になることがあります。予約実行前しばらくの間、電源を「入」のままにしておきます。	52、118、119
		・スタートメニューの「お知らせ」の「受信機レポート」を確認してください。 ・途中から録画禁止の番組が始まったときなどは、録画は中断されます。 ・予約した番組の前の番組が時間延長になりませんでしたか。予約を開始しようとしたときに、放送局から送られてくる番組の開始時刻の情報が正しく更新されていない場合があります。この場合は予約が失敗となります。日時指定予約の場合、前の番組が延長しそうなときは最大延長時間を加味し、予約することをおすすめします。	274
	「番組延長設定」をしたのに、途中で番組が終わっている	• デジタル放送の場合、放送局から番組延長の情報が送られてこないと番組延長機能が働きません。	–
	録画予約した番組が消されている	• 毎週・毎日録画予約した番組を詳細設定の「保存設定」で「重ね録り」に設定しませんでしたか。「重ね録り」に設定した番組は、自動的に上書き録画されます。	77、79
	BSデジタル放送のデータ放送が記録されていない	• データ放送（ラジオ放送）は記録できません。	–

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
予約録画(つづき)	「アクオス」の電子番組表から(ファミリンク[1](標準)予約)をしたが予約録画が働かない	• テレビの主電源を切りませんでしたか。	–
		• 「アクオス」の電子番組表を使った(ファミリンク[1](標準)予約)は、本機が停止状態のときに働く機能です。	–
		• 本機が録画中、予約録画中、ダビング中、再生中などの動作中は、(ファミリンク[1](標準)予約)が行えません。テレビ画面には「録画に失敗しました。」と表示されます。	–
		• 予約が重なったときは、本機の予約が優先されます。	–
		• エコモードスイッチを「入」にしていませんか。エコモードスイッチが「入」のときは働きません。	35
		• 録画日を「毎日」や「毎週」などにして繰り返し予約とした番組の放送開始時刻が変わり、「アクオス」のファミリンク予約と時刻が重なった場合、ファミリンク予約は実行されません。	70
	番組録画予約で、時刻の重なる別のチャンネルの番組を録画予約できない	• デジタル放送は、時刻の重なる番組を「裏録予約」してください。2つの番組を同時に録画できます。 • 地上アナログ放送とデジタル放送の番組が同時刻に重なったときは、デジタル放送の番組を「裏録予約」してください。2つの番組を同時に録画できます。 • 地上アナログ放送の番組を2つ同時に録画することはできません。(地上アナログ放送は裏録予約できません。)	72
フォトシステムで楽しむ	写真の取り込みができない	• 本機は、IrSS(高速赤外線通信)機能に対応していない携帯電話から写真の取り込みができません。	174～175
		• データ送受信端子にUSBケーブルを接続して写真の取り込みが行えるのは、マスストレージクラスに対応したデジタルスチルカメラです。	174、176
	DVDディスクにコピーができない	• HDD(ハードディスク)に取り込んだ写真をDVDにコピーする場合は、写真用フォーマットでDVD-RWディスクを初期化してください。	292
	写真をコピーしたDVDディスクがパソコンで再生できない	• パソコンで確認するためには、ディスクのファイナライズが必要です。	162
ファミリンク機能	ファミリンク機能が使えない	• HDMIケーブルでシャープ製のファミリンク対応液晶テレビ「アクオス」と本機を接続してください。本機で再生を開始すると自動でテレビの入力が切り換わるワンタッチ再生や、テレビの電源を切ると本機の電源も自動で切れるなどの連動操作が行えます。	164
		• エコモードスイッチを「入」にしていませんか。エコモードスイッチが「入」のときは働きません。	35
	映像が映らない、正常な映像が映らない	• HDMIケーブルをお使いの場合は、電源を入れた状態でHDMIケーブルを抜き差ししないでください。映像が映らなくなったり、正しく映らない場合があります。	–
	ファミリンク機能が正常に働かない	• 電源を入れた状態でHDMIケーブルを抜くと、ファミリンク機能が正常に働かない、正しく動作しない、などの場合があります。電源の入／切は、HDMIケーブルの接続が済んでから行ってください。	–
		• テレビのファミリンク設定はお済みですか。	165～167
		• ファミリンク機能が正常に働かなくなったときは、次の手順で接続と設定を確認してください。	
		· 本機の電源を「切」にする	
		· HDMIケーブルの接続を確認する	214～220
		· 本機の電源を「入」にする	
		· 「ファミリンク設定」の「連動設定」を確認する	168
		• エコモードスイッチを「入」にしていませんか。エコモードスイッチが「入」のときは働きません。	35

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
再生	BDやDVDディスクが再生できない	• BD/HDD で BD/DVD モードに切り換えていますか。	94
		• BDビデオまたはDVDビデオの場合、リージョンコードが一致しているか確認してください。 ・BDビデオの場合、リージョンコードが「A」、「All Region（オールリージョン）」またはリージョンコードの記載がない（リージョンコードが設定されていない）ディスクが再生できます。 ・DVDビデオの場合、リージョン番号が「ALL」または、「２」を含むディスクが再生できます。	290
		• 他のBDレコーダーでH.264長時間録画されたBDディスクは再生できない場合があります。	–
		• BD-RE Ver.1.0は再生できません。	–
		• PAL、SECAM方式のディスクは再生できません。	–
		• HDDへの録画中は、BDビデオの再生ができません。	–
		• BDまたはDVDディスクへダビングしながら、そのディスクを再生することはできません。	–
		• デジタル放送をHDD（ハードディスク）に「SXP」以下の録画画質で録画しているときは、同時録画再生ができません。	113
		• ダビング中、再生中、録画中（裏録を除く）は、BDビデオは再生できません。	–
		• DVDディスクの場合は、録画した機器でファイナライズを行ってください。	–
		• 本機内部の結露（つゆつき）を除去してください。	14
		• ディスクの記録状態、傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な再生ができない場合があります。	–
		• ディスクを取り出して表裏を確認してください。	30
	BDビデオが正常に再生できない／再生動作が遅い	• BD-JAVAを採用したBDビデオを利用したときは、ソフトに記録されているデータをHDD（ハードディスク）に記録しておくことで映像を見ながらゲームなどを楽しむことができます。BD-JAVAを採用した複数のBDビデオを利用した場合、まれに、再生時の操作で動作が遅くなったり、正常に再生しなくなる場合があります。そのようなときは、「BDビデオ用データ初期化」を行ってください。	102、282
		• 「BDビデオ用データ初期化」を実行すると、BDビデオで個別に設定したブックマークや、ゲームのスコアなどが消去されます。	–
	BD ビデオの再生が止まる	• 予約録画（通常録画）が開始しませんでしたか。BDビデオの再生中に予約録画（通常録画）が開始すると、再生が停止します。	–
	市販のDVDビデオが再生できない	• テレビやプロジェクターが1080i/720p専用の場合は、市販のDVDビデオの再生映像が楽しめません。	–
	本機でダビングしたDVD-RW/-Rディスクを他のDVDプレーヤーで再生できない	• ビデオフォーマットのDVD-RW/-Rディスクの場合は、ファイナライズを行ってください。	162
		• 再生できないDVDプレーヤーがあります。	291
		• VRフォーマットのDVD-RWディスクは、RW対応のDVDプレーヤー以外では再生できません。ファイナライズが必要なこともあります。	162、291～293
		• 「1回だけ録画可能」「ダビング10」のタイトルは、CPRM対応のDVDプレーヤーで再生してください。	–

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
再生（つづき）	市販のBDビデオまたはDVDビデオをセットしたが再生が自動的に始まらない	• 録画画質SXP以下で録画中、再生中、ダビング中、編集中、消去中は、DVDビデオの自動再生はできません。 • 裏録中、ライブ中以外の動作中ではBDビデオは再生できません。 • ディスクが自動再生に対応しているか確認してください。	– – 102
	他のDVDレコーダーで録画・編集したDVDディスクが途中で再生されなくなる	• 他のDVDレコーダーで編集したディスクのプレイリストは、12時間以上再生できません。 •「ダビングのあらまし」をお読みください。DVD-R DL（2層）ディスクは再生できない場合があります。	– 128
	つづき再生が働かない	• 市販のBDビデオ、DVDビデオ、BD-RE/-R、DVD-RW/-Rディスク、音楽用CDは、ディスクを取り出す、HDD（ハードディスク）/BD・DVDディスクの切り換え操作をする、電源を切る、などの操作を行うと、つづき再生されません。 • その他、ディスクや再生状態によっては、つづき再生が働かない場合があります。	106
	二重音声（二ヶ国語など）の音声が切り換えられない	• 下記のタイトル（録画した番組）は、録画時に「主音声」または「副音声」のいずれか1つのみが記録されているので、音声を切り換えることはできません。なお、どちらの音声が記録されているかは、録画時の「二ヶ国語音声設定」によります。 ・ビデオフォーマットで録画されたタイトル ・録画画質が「XP」（高画質）で、「音声記録方式設定」が「リニアPCM」で記録されたタイトル ・外部機器から「外部入力音声設定」が「ステレオ」でダビングされた二重音声のタイトル • オーディオ機器とデジタル接続して使用している場合は、アンプ側で音声切換の操作を行ってください。アンプ側に音声切換機能がないときは、アナログ接続して本機側で切り換えてください。	278 278 278 –
	BDやDVDの映像を、ビデオデッキなどに録画したりビデオデッキなどを通して再生すると、再生画面が乱れる	• 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。コピー禁止信号が入っているディスクの場合、ビデオデッキなどを経由して再生したり、ビデオデッキなどに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。	–
	市販のBDビデオまたはDVDビデオを再生中、吹き替え音声が切り替わってしまう	• 市販のBDビデオまたはDVDビデオによっては、テレビ放映当時の音声をそのまま収録しているものがあります。そのため、吹き替えの音源がない部分は、オリジナルの音源になりますので、日本語と外国語が交互に切り換わる動作をする場合があります。	–
	市販のBDビデオやDVDビデオを再生すると音量が小さくなる	• BDビデオやDVDビデオは、収録されている音声の音量レベルにより、再生時の音量が小さくなる場合があります。 ドルビーデジタルで音声を収録したディスクの場合は、各種設定の「本体設定」−「映像・音声設定」−「音声出力レベル」で「シフト」にすることで音量を大きくすることができます。 （DTS、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHDで音声を収録したディスクでは働きません。）	281
	録画リスト（録画番組一覧）が表示されない	• タイムシフト視聴中や追いかけ再生中は、録画リストを表示できません。 ［■停止］を押し、現在放送中の画面に戻ってから操作してください。 • 温度の低い場所で使用すると、HDD（ハードディスク）が準備状態になることがあります。しばらくお待ちください。 • 本機をリセットしてください。 • 上記を確認しても表示されない場合は、HDD（ハードディスク）の異常が考えられます。お買い上げの販売店、またはシャープお客様相談センターにご連絡ください。	– – 294 327

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
再生（つづき）	録画リストのタイトル名に「＊」が表示される	• 他機で付けたタイトル名で本機で表示できない文字は、「＊＊＊＊‥‥」と表示されます。	－
	録画リストに「XP」や「SP」などの画質表示が出ない	• DVDディスクの場合、ディスクをトレイから取り出すと画質表示は出なくなります。 • BDに高速ダビングしたタイトルの場合、画質表示は出ません。	－ －
	録画した最後の数秒間が再生されない	• 他機で録画（ダビング）したディスクの場合、録画を停止した位置と番組の終了位置が多少ずれることがあります。 • 連続した予約設定で先に録画した番組は番組の終了が数秒早くなるため、番組の最後が録画されません。	－ －
	スキップ（前 次）が働かない	• タイムシフト視聴中は働きません。 • HDD（ハードディスク）の場合は、タイトルをまたぐ頭出しはできません。最後のチャプター（トラック）まで進むと画面に END が表示されます。	－ －
	静止画再生／コマ送り再生がうまくいかない	• DVD-RW/-Rディスク（VRフォーマット）以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。 • 市販のBDビデオやDVDビデオでは、ディスクによって静止画再生／コマ送りの操作が禁止されているものがあります。 • BDビデオの場合、コマ戻し再生はできません。	－ － －
	字幕が表示されない	• 早送り／早戻し中は、字幕は再生されません。（音楽用CDを除く）	－
	早送り／早戻し（サーチ）がうまくいかない	• ディスクや再生しているシーンによっては、早送りサーチをしたとき、本書に記載のスピードにならない場合があります。 • HDD（ハードディスク）の場合は、タイトルの最後までサーチされると、再生が停止します。 • タイトルをまたぐサーチはできません。（音楽用CDは除く）BD･DVDディスクの場合は、再生状態になります。	－ － －
	スロー再生がうまくいかない	• タイトルの最後になると、スロー再生が解除されます。 • タイトルをまたぐスロー再生はできません。 • 逆スロー再生またはスロー再生をするときは、一時停止をした後、前 または 次 を2秒以上押し続けます。 • BDビデオの場合、逆スロー再生はできません。	－ － － －
	再生できない／再生が中断される	• HDD（ハードディスク）にデジタル放送を「SXP」以下の録画画質で録画予約しているときに再生している場合は、録画開始時刻になると自動的に再生が停止し録画が実行されます。 • HDD（ハードディスク）にデジタル放送を「SXP」以下の録画画質で録画しているときは、再生ができません。 • HDD（ハードディスク）とBDやDVDディスクの同時再生はできません。 • BDビデオの再生中に通常の予約録画（表）が始まると、再生は停止します。 • 重ね録りで録画した番組を再生中に、重ね録り設定されている予約が始まったときは再生が停止し、重ね録りされます。（番組は消去されます。）	－ － － － 77、79
	録画中に再生すると、画像や音声が乱れる	• 録画の状態によっては再生に影響が出る場合がありますが、録画は正常に行われます。	－

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
再生(つづき)	再生できないタイトルがある	• 正常に録画されなかった映像は再生できません。 • 録画時間が短い場合は、再生できないことがあります。	ー
	連動データ放送が視聴できない、字幕などが表示できない、スロー再生などの特殊再生ができない	• マルチビューサービス放送をHDD(ハードディスク)に録画して主映像以外の映像を再生すると、連動データ放送が視聴できない、字幕などが表示できないなどの制限が出る場合があります。また、スロー再生などの特殊な再生はできません。	ー
	DVDビデオを挿入すると起動画面(背景)やスタートメニュー画面が粗く見える	• DVDビデオを挿入したときは、D映像出力が480p出力に固定されるためで、故障ではありません。	ー
追いかけ再生／タイムシフト視聴	追いかけ再生が自動的に解除された	• 追いかけ再生時に早送り視聴（早送りサーチ）をしたとき、現在録画されている番組の手前になると自動的に追いかけ再生が解除され、現在放送中の画面に戻ります。自動的に現在放送中の画面に戻るタイミングは、早送りスピードや録画画質により異なります。	ー
	追いかけ再生ができない	•「SXP」以下の録画画質で録画中の番組は、追いかけ再生ができません。	ー
	タイムシフト視聴ができない	• タイムシフト視聴中に、予約録画の開始5分前になると、メッセージが表示されます。予約録画開始の2分前になるとタイムシフト視聴が解除されます。 • 番組によっては、著作権保護により、タイムシフト視聴ができないものがあります。 • タイムシフト視聴ができるようになるまで、多少時間がかかることがあります。 • タイムシフト視聴中に放送が録画禁止になったときは、タイムシフト視聴のための録画を停止します。 • BD/DVDモードでは、タイムシフト視聴はできません。	ー ー ー ー ー
編集	消去や編集ができない	• ダビング予約待機中は、ダビング元の編集操作はできません。 • i.LINK入力録画中は、消去や編集操作はできません。 • 電波状態や停電などで録画が停止した番組は、正常に録画終了できていないため編集やダビングができません。そのような番組は録画リストを表示させたとき、「正常に録画できませんでした。」のメッセージを表示します。	156 ー ー
	シーン(部分)消去ができない	• タイトルの先頭や最後を除き、3秒より短い範囲は設定できません。 • 1タイトル(番組)あたりシーン(部分)消去できる回数は50回までです。 • 1度の操作で「シーン(部分)消去」ができるのは、1シーンだけです。2つ以上のシーンを1度の操作で消去することはできません。 • i.LINK入力録画中は、「シーン(部分)消去」ができません。 • BDやDVDディスクの「シーン(部分)消去」はできません。	ー ー ー ー ー
	シーン(部分)追加ができない	• 本機ではシーン(部分)追加は行えません。	ー
	チャプター(章)分割ができない	• 3秒より短い間隔では分割できません。 • HDD(ハードディスク)に録画画質「DR」(放送画質)で録画したタイトルと「DR」(放送画質)以外の録画画質で録画したタイトルそれぞれにチャプター(章)が4000あるときは、それ以上分割することはできません。 • i.LINK入力録画中は、「チャプター(章)分割」ができません。 • BDやDVDディスクの「チャプター(章)分割」はできません。	ー ー ー ー

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
編集（つづき）	チャプター(章)結合ができない	•「シーン（部分）消去」で自動的に記録されたチャプターは結合できません。	122
		• i.LINK入力録画中は、「チャプター（章）結合」ができません。	–
		• BDやDVDディスクの「チャプター（章）結合」はできません。	–
	シーン(部分)消去でコマーシャルを削除したのに、早戻しすると削除した映像の一部が一瞬映る	• 消去終了地点を設定した箇所によっては、早戻しした際にシーン消去した映像の一部が一瞬映ることがあります。これは、映像データを特定の単位で処理するために起こるもので、故障ではありません。	–
	編集が中断される	• HDD（ハードディスク）の編集中に録画予約開始時刻になると、編集を中断し、録画予約が実行されます。	–
		• i.LINK入力録画中は編集操作ができません。	–
	DVD-R DL(2層)ディスクの編集ができない	• DVD-R DL（2層）ディスクの編集はできません。	–
	編集ができない	• 電波状態や停電などで録画が停止した番組は、正常に録画終了できていないため編集やダビングができません。そのような番組は録画リストを表示させたとき、「正常に録画できませんでした。」のメッセージを表示します。	–
ダビング	HDDからBD・DVDディスクにダビングしたら、HDDからタイトルが消えてしまった	• ダビングしたタイトルが①「1回だけ録画可能」、②「ダビング10」の番組で9回までコピー済みではありませんか。 このような場合は、複製が禁止されているので、BD・DVDディスクへダビングすると複製ではなく移動（ムーブ）となり、HDDからは消去されます。	**54**、**132**
		• 移動（ムーブ）となるタイトルは、ダビングを途中で止めると、ダビングしたところまでがHDDから消去されます。	**132**、**137**
	HDDから、BD・DVDディスクへダビングできない	•「1回だけ録画可能」または「ダビング10」のタイトルをDVDディスクにダビングする場合は、CPRM対応のDVD-RW/-RディスクにVRフォーマットでダビングしてください。 なお、「1回だけ録画可能」のタイトルまたは「ダビング10」の10回目のダビングは複製が禁止されているので、BD・DVDディスクへダビングすると複製ではなく移動（ムーブ）となり、HDDからは消去されます。	**32**、**54**、**130**、**132**、**291**
		• 外部チューナーから録画した番組は、AACS規定によりBDディスクへはダビングできません。	–
		• HDDが録画中や再生中の場合またはBD・DVDディスクが再生中の場合は、ダビングできません。	–
		• 本機でダビングできるBD・DVDディスクをセットしてありますか。	130
		・本機でダビングできるディスクについては→**130**、**291**、**292**ページ	
		・ディスクの残量は足りていますか。	53
		・ディスクが保護されていませんか。	117
		・デジタル放送をDVDディスクにダビングするときは、CPRM対応のDVD-RW/-Rディスクを使用してVRフォーマットで初期化してからダビングしてください。DVD-RディスクをVRフォーマットで使用するには、初期化が必要です。	**32**、**292**
		・CPRM Ver.1.0のDVD-RWディスクにはビデオフォーマットでのダビングはできません。Ver.1.1以降のDVDディスクを使用してください。（バージョンはDVDディスクのジャケットの裏面などに表示されています。）	–
		・ファイナライズされたDVD-R、DVD-RWビデオフォーマットのディスクにダビングしようとしていませんか。残量があるDVD-RWビデオフォーマットの場合、ファイナライズを解除すればダビングをすることができます。	162
		• ダビングを始めた状態、ダビング中の状態をご確認ください。 ・本機がディスクを判別し終える前に、ダビングの操作を始めませんでしたか。BD/DVDランプが白色点灯するまで、操作はお待ちください。 ・ダビング中に電源プラグを抜いてしまったり、停電になったりしませんでしたか。	–
		• 予約書き込み専用ディスクにはダビングできません。	–

<table>
<tr><th colspan="2">こんなときは</th><th>ここを確かめてください</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="14">ダビング(つづき)</td><td rowspan="10">HDDから、BD･DVDディスクへダビングできない(つづき)</td><td>・1枚のディスクに記録できるタイトルやチャプターの限界は下記のとおりです。下記の限界に1つでも当てはまる場合、それ以上そのディスクへダビングすることはできません。
<table>
<tr><th colspan="2">BDの場合</th></tr>
<tr><td>タイトル</td><td>1枚のディスクに200まで</td></tr>
<tr><td rowspan="2">チャプター</td><td>1枚のディスクに1000まで</td></tr>
<tr><td>1つのタイトルに98まで</td></tr>
</table>
<table>
<tr><th colspan="2">DVDディスクの場合</th></tr>
<tr><td>タイトル</td><td>1枚のディスクに99まで</td></tr>
<tr><td rowspan="2">チャプター</td><td>1枚のディスクに999まで</td></tr>
<tr><td>1つのタイトルに99まで</td></tr>
</table></td><td>－</td></tr>
<tr><td>・傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な録画ができない場合があります。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>・他の BD レコーダーや DVD レコーダーでシーンの追加やシーンの消去をたくさん行ったディスク (51 回以上) では、ダビングができない場合があります。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>・本機以外で録画されたディスクへはダビングできない場合があります。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>・他機で長時間録画したディスクは、ダビングができない場合があります。「次のようなときはダビングできません」をお読みください。</td><td>135</td></tr>
<tr><td>・高速ダビング時の制限事項があります。「ダビングができる組み合わせ」、「高速ダビングができない」をご覧ください。</td><td>135、136、309</td></tr>
<tr><td>・アナログ放送のみ受信している場合は、あらかじめ時計合わせをしてください。（デジタル放送受信時は、自動的に時計合わせが行われています。）</td><td>234</td></tr>
<tr><td>・他社のレコーダーで記録されたDVD-R DL(2層)ディスクでは、ダビングができない場合があります。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>・電波状態や停電などで録画が停止した番組は、正常に録画終了できていないため編集やダビングができません。そのような番組は録画リストを表示させたとき、「正常に録画できませんでした。」のメッセージを表示します。</td><td>－</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td>HDDに録画された「1回だけ録画可能」または「ダビング10」のタイトルがダビングできない</td><td>・DVDディスクにダビングするときは、CPRM対応のDVD-RW/-Rディスクをお使いください。録画方式はVRフォーマットに限ります。
「1回だけ録画可能」「ダビング10」の番組のダビングについては、132ページをご覧ください。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>BD･DVDディスクからHDDにダビングできない</td><td>・本機はBDやDVDからHDDへのダビングはできません。
ただし、本機のHDD(ハードディスク)からコピーした写真用フォーマットのDVDからはHDDへコピーできます。</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ダビング予約ができない</td><td>・ダビング先の状態を確認してください。「録画ができない、録画が途中で止まる」をご確認ください。
・番組予約の合計が 62 番組（電子番組表予約、裏録予約、日時指定予約、休止中の予約を含む。）になっているときは、ダビング予約ができません。このときは、「予約リスト」で不要な予約を取り消してください。
・ダビング予約は、1 件のみ可能です。
・タイトル保護が設定されている「1 回だけ録画可能」のタイトルや「ダビング 10」で 9 回までコピー済みのタイトルは、ダビング予約ができません。</td><td>300
81
－</td></tr>
<tr><td>・アナログ放送のみ受信している場合は、あらかじめ時計合わせをしてください。（デジタル放送受信時は、自動的に時計合わせが行われています。）
・録画中や、別の予約録画を設定した時間と重なる時間のダビング予約はできません。</td><td>234
81</td></tr>
</table>

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ダビング（つづき）	ダビング予約したのにダビングされていない	• ダビング開始時刻に下記の状態であった場合は、ダビングされません。 ・録画中は、ダビング開始時刻の 3 分前までに、操作を終えてください。 ・再生中は、ダビング開始時刻の 3 分前までに、操作を終えてください。 ・予約録画実行中（ダビング開始時刻の 3 分前までに、録画が終了している必要があります。） ・ダビング中（ダビング開始時刻の 3 分前までに、操作を終えてください。） ・ファミリンク（HDMI、i.LINK）予約をお使いの場合は、ファミリンク予約録画の終了から 5 分以上遅らせて「ダビング開始時刻」を設定してください。	–
		• タイトル保護を設定した以下のタイトル（録画した番組）はダビングできません。 ・「1 回だけ録画可能」のタイトル ・「ダビング 10」で 9 回までコピー済みのタイトル	–
		• アナログ放送のみ受信している場合は、あらかじめ時計合わせをしてください。（デジタル放送受信時は、自動的に時計合わせが行われています。）	234
	DVDディスクへハイビジョン画質でダビングできない	• 本機では、ハイビジョン番組は DVD ディスクにダビングすると、録画画質が変換されます。ハイビジョン画質でダビングするときは BD をお使いください。	–
	HDDからビデオフォーマットのDVD-RW/-Rディスクにダビングすると、映像の縦横比がおかしくなる	• 16：9（ワイド）の番組は、ダビングすると映像が縦長に見えることがあります。テレビで画面サイズの設定を変更して、見やすい映像にしてください。（テレビの設定についてはテレビの取扱説明書をご覧ください。）	–
		• HDD からビデオフォーマットの DVD-RW/-R ディスクにダビングしたときは、1 つのタイトル内に 16：9（ワイド）と 4：3（ノーマル）の映像を混在させることはできません。タイトルの途中で画面サイズが変わったときも、ダビング開始時の画面サイズが継続されます。	–
	ダビング元とダビング先でチャプターの位置がずれる	• ビデオフォーマットの DVD ディスクにダビングした場合は、ダビング元のチャプターマークがコピーされません。	134
		• i.LINK を使ったダビングでは、チャプターマークはコピーされません。	–
	高速ダビングができない	• DVD ディスクには高速ダビングできません。 • 高速ダビングできるのは、BD ディスクです。	128、136
	高速ダビングすると、動作音が大きくなる	•「高速ダビング（最高速モード）」時は、ディスクの回転数が上がるため、動作音が大きくなりますが故障ではありません。「高速ダビング（静音モード）」または「録画画質変換ダビング（等速）」を選択すると、動作音は抑えられます。	140
	DVD-R DL(2層)ディスクにダビングがうまくできない	• ビデオフォーマットで初期化したディスクを使ってダビングした場合、1 層目と 2 層目にまたがってダビングすると、1 層目と 2 層目が別タイトルとして記録されます。	–
		• VR フォーマットのディスクにダビングしたときは、連続でダビングできる時間は 9 時間です。	–
		• 他社のレコーダーで記録された DVD-R DL（2 層）ディスクでは、ダビングができない場合があります。	–

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ダビング（つづき）	二重音声（二ヶ国語など）の音声が記録できない	・下記の場合は、録画時に「主音声」または「副音声」のいずれか 1 つのみが記録されます。どちらの音声が記録されるかは、録画時の「二ヶ国語音声設定」によります。選んだ音声のみが記録されるため、再生中に音声を切り換えることはできません。 ・DVD ディスクにビデオフォーマットでダビングするとき ・録画画質が「XP」（高画質）で、「音声記録方式設定」が「リニア PCM」で記録するとき ・二重音声のタイトルを外部機器から本機の HDD に「外部入力音声設定」が「ステレオ」でダビングするとき	134、278 278 278
	マルチ音声（ステレオ二重音声）の副音声（音声 2）などが DVD へダビングできない	・DR、2倍、3倍、5倍、7倍、HD○○画質で録画した番組は、DVDへダビングすると主音声（音声1）がダビングされます。 副音声をダビングして残したいときは、SXP、XP、SP、LP、EP画質で、残したい音声を選択したうえで録画してください。	54、134
	D-VHS機器が登録できない	・登録の認識が不十分である場合は、両方の機器の電源を入れ直してみてください。 登録は16台までできます。誤って登録した場合は、登録解除もできます。	–
本体の音／動作	電源を「切」にしたのに動作音がする	・録画予約、ダウンロード、番組表情報取得、B-CASカード内の契約情報の更新などを実行しているときは本体内部の電源が入っているため、動作音（冷却ファンが回転）がします。 ・一発（クイック）起動待機中は本体内部の電源が入っているため、動作音（冷却ファンが回転）がします。	25 235
	ディスクトレイを閉めても出てきてしまう	・市販のBDビデオやDVDビデオの場合、リージョンコードが一致しているか確認してください。 ・再生できるディスクかどうか、確認してください。 ・録画されていないDVD-RAMを挿入していませんか。	290 290 –
	ディスクトレイが出ない	・ダビング画面を表示させていませんか。ダビング画面を終了させてから操作してください。 ・本体のリセットボタンを押して本機をリセットしてください。本体表示部に「RESEt」が表示されます。電源が切れ、待機ランプが点灯してから、トレイ開／閉ボタンを押し電源を入れてください。 ・上記の操作を行ってもディスクトレイが出てこないときは、お買いあげの販売店またはシャープお客様相談センターにお問い合わせください。	31、138 294 327
	ディスクを挿入すると「ピピッ」と音がする	・ディスクを読み込むための音で故障ではありません。	–
	何も操作していないのに音がする	・電源が入った状態で一定時間何も操作していないとき、HDD（ハードディスク）の動作音がする場合があります。	–
	録画時や再生時に「カチャ」や「コトコト」と音がする	・本機を使用していてしばらく操作をしていなかった場合は、録画開始時および再生開始時に本体から「カチャ」という音がする場合があります。本体の動作音で故障ではありません。 ・HDD（ハードディスク）への録画時は本体から「コトコト」という音がする場合があります。HDD（ハードディスク）の動作音で故障ではありません。	– –
	電源を切った後、時計表示が出ない	・「電源オフ時計表示設定」を「する」に設定してください。 ・電源を切った後、電子番組表データの取得中は、「EPG」と表示されます。B-CASカード通信中は「ACCESS」と表示されます。時計は表示されません。	284 25

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
本体の音／動作（つづき）	電源を入れると「アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでBS/CS電源を「切」にしました。」のメッセージが出て操作できない	• メッセージが出ても放送が受信できるときは、終了ボタンを押し、「BS･CSアンテナ電源」を「切」に設定してください。	252
		• メッセージが出て放送が受信できないときは、電源を切り、アンテナ線の接続を確認してください。 芯線が曲がったりしていないか確認する	198～202
リモコン	リモコンで操作できない	• リモコンの操作範囲内で使用してください。 • リモコン側のリモコン番号と本体側のリモコン番号が合っていることを確認してください。 • エコモードスイッチを「入」にしていませんか。 • リモコンの電池切れではありませんか。	24 240 35 –
	本機のリモコンで操作すると、他のDVD機器（当社製）やテレビも動作してしまう	• 他のDVD機器（当社製）の場合は、本機のリモコン番号を切り換えてください。 • リモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離してご使用ください。	240 –
	画面が止まり、リモコンで操作できない	• 本体の電源ボタンで電源を「切」にし、電源を入れ直してみてください。 • 電源が切れないときは、本体のリセットボタンを押してください。本体表示部に「RESEt」の表示が出ます。	– 294
	使わないチャンネルをスキップできない	• VHF/UHF（地上アナログ）放送は、「一局ずつ手動で個別設定」でスキップ設定をしてください。 • 地上デジタル放送は、「チャンネルの個別設定」でスキップ設定をしてください。 • BS･110度CSデジタル放送は、「BS･110度CSデジタル放送のチャンネル設定」でスキップ設定をしてください。	249 257～258 260～261
	本機のリモコンでテレビの操作ができない	• リモコンに、テレビのメーカー指定の設定をしてください。 • シャープ製デジタルチューナー内蔵のテレビ「アクオス」の場合は、リモコンのテレビメーカー指定を「シャープC1」または「シャープC2」に設定すればテレビのすべての操作ができます。 その他のテレビでは、電源、音量、選局、入力切換が操作できます。	236 236
	リモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダーを使う」側にしても、テレビの入力が自動で切り換わらない	• この機能が使えるのは、シャープ製デジタルチューナー内蔵のテレビ「アクオス」を接続したときです。 • リモコンのメーカー指定の設定が「シャープC1」または「シャープC2」になっていますか？ • リモコンの自動入力切換の設定は済んでいますか。 • リモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチを操作するときは、リモコンをテレビに向けて操作してください。	237 236 237～239 –
本体表示部のエラー表示	表示：Err	• 動作不具合が発生しました。一度、電源を「切」にし再度電源を入れ操作してください。	–
	表示：P Err	• 写真の取り込みに失敗しました。赤外線を使用したゲーム機などを使用しているときは、使用を止めてから写真を再送信してください。	175
	表示：RC :1 RC :2 RC :3	• 本体のリモコン番号とリモコンの番号が違っています。本体表示部に点滅表示されるリモコン番号に、リモコンの番号を設定し直してください。	240～241
	表示：RC :– –	• リモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチが「テレビを使う」になっています。レコーダーを操作する場合は、「レコーダーを使う」に切り換えて操作してください。	22～23

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
その他	[スタートメニュー]を押してもスタートメニューが表示されない	・メッセージが表示されたときは、メッセージに従って操作してください。 ・テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えてから、[スタートメニュー]を押してください。 ・再生中や追いかけ再生中、ダビング中は、スタートメニューを表示できません。	ー ー ー
	[スタートメニュー]を押すと、本体表示部には「MENU(メニュー)」と表示されるのに、テレビ画面にはスタートメニューが表示されない		
	残量表示が早く減る	・通常の録画(予約録画)と裏録予約した番組の録画が同時に実行されているときは、残量表示が通常よりも早く減ります。	25、52、53
	予約録画実行中、本体表示部が点灯する	・電源を切った状態で予約録画待機状態にしているとき、予約した録画が始まると本体表示部が点灯します。本体表示部を消したいときは、「液晶設定」の「液晶バックライト」を「予約実行時のみ消灯」に設定します。	284
	本機の設定内容が消える	・停電や、電源プラグが抜かれた状態で10分以上放置したときは、設定内容が消えてしまう場合があります。 ・電源が入っている状態で、停電や電源プラグが抜かれて電源が切れたときは、「各種設定」で設定した内容が工場出荷状態となる場合があります。また録画中は、録画していた内容が消去される場合があります。 ・D映像ケーブルを抜くと、「D映像出力設定」が「D1」に戻ります。	ー ー 280
	使用中に本体が熱くなる	・本機を使用中、使用環境によっては本体キャビネットの温度が若干高くなりますが、故障ではありません。安心してお使いください。 ・「BS·CSアンテナ電源」を「入」に設定している場合は、本機の電源を切っても本体キャビネットの温度が多少高くなります。	ー 252
	MDレコーダーとデジタル接続をしてCDからMDに録音したとき、CDとMDの曲番が合わない	・CDの曲間が短い場合は、CDと録音したMDの曲番が一致しないことがあります。 ・視聴メニューでトラックの指定を行った場合などは、CDと録音したMDの曲番が一致しないことがあります。	ー 101
	設定ができない	・i.LINK入力を選択しているときは、スタートメニューから各設定が行えません。テレビ画面に戻してから操作してください。	ー
	「AQUOS純モード」ランプが点灯しない	・ファミリンク対応のアクオスとHDMIケーブルで接続していますか。 ・「ファミリンク設定」の「連動設定」は「する」になっていますか。	205、215~220 168
	テレビのチャンネルが勝手に切り換わる	・ファミリンク予約を設定したときは、予約時間になるとテレビのチャンネルが予約したチャンネルに切り換わります。	ー

エラーメッセージ（例）

ディスクが正しくなかったり操作を誤ったときは、テレビ画面に次のような表示が出ます。

■録画や再生時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応	ページ
SXP 以下の標準テレビ画質の長時間画質でデジタル放送を録画しているときはこの操作はできません。	• HDD（ハードディスク）にデジタル放送を SXP 以下の録画画質で録画しているときに、再生の操作をしたり録画リストを表示させようとしたとき • HDD（ハードディスク）にデジタル放送を SXP 以下の録画画質で録画しているときに、タイムシフト（追いかけ再生）の操作をしたとき • HDD（ハードディスク）にデジタル放送を SXP 以下の録画画質で録画しているときに、HDD モード／ BD・DVD モードの切り換え操作をしたとき	• 録画を停止してから再生などの操作をしてください。 • デジタル放送を録画しながら再生をしたいときは、HDD（ハードディスク）にデジタル放送を録画画質「DR」「2 倍」「3 倍」「5 倍」「7 倍」「HD ○○」で録画してください。	— **62**
この操作はできません。	• 誤った操作をしたとき • 他の動作を行っているため操作できないとき	• 他の動作が終了してから操作してください。	—
このディスクは再生できません。	• 本機で再生できないディスクが入っているとき	• ディスクを確かめて入れ直してください。 • 録画中に停電したり、誤って電源コードを抜きませんでしたか。そのようなディスクは認識できなくなる場合があります。	**290、291** —
このディスクは録画できません。 ディスクを読み込めませんでした。	• 本機で記録（ダビング）できないディスク（CD-R など）や傷、汚れのあるディスクを入れたり、表裏逆に入れたとき • 本機が対応していないディスクを入れたとき	• 録画用ディスクをセットし直してください。 • ディスクを確かめて入れ直してください。 • ダビング中に停電したり、誤って電源コードを抜きませんでしたか。そのようなディスクは認識できなくなる場合があります。	**30、291**
再生できません。 再生できません。停止してください。	• ディスクに傷や汚れがあるなど、途中で再生できなくなったとき • 記録状態が悪く途中で再生できなくなったとき	• 再生を停止し、ディスクを確かめて入れ直してください。	**17、290**
再生できるタイトルが入っていません。 本機ではこのディスクには録画できません。	• 本機に挿入した DVD-RAM に本機で再生できるタイトルがなかったとき。また、本機では DVD-RAM に録画することはできません	――――――	—
システムエラーが発生しました。 電源を「切」にします。	• 電源「入」のときに、HDD（ハードディスク）に問題が生じたとき（自動的に電源が切れます。）	――――――	—
選局・再生に失敗しました。 チャンネルを切り換えてください。	• 受信状況、再生状況により、処理が間に合わないとき • 放送視聴時に電波状態が悪く選局に失敗したとき • 再生時に記録したデータがこわれていて再生に失敗したとき	• 別のチャンネルに切り換えてお楽しみください。 • チャンネルが切り換わらないときは、本体のリセットボタンを先の細いもので押してください。 • 電源を入れるとシステム確認のため「ディスクを確認しています。完了まで 10 分以上かかる場合があります。」のメッセージが表示されたときは、表示が消えるまでお待ちください。 ※ 状況が改善されない場合は、販売店またはシャープお客様相談センターにご相談ください。	**38** **294** — **327**

■録画や再生時のメッセージ（つづき）

テレビ画面表示	エラーの内容	対応	ページ
タイトルが一杯でこれ以上録画できません。 不要なタイトルを消去してください。	• タイトルやチャプターマークが、記録できる上限を超えたとき • タイトル数が制限を超えているとき タイトル数： HDD（ハードディスク） 999※ BD 200 DVD-RW/-R ディスク 99 チャプター数： HDD（ハードディスク） 4000※ BD 1000 DVD-RW/-R ディスク 999 ※放送番組と動画アルバムの合計	• 不要なタイトルを消去してください。 • HDD（ハードディスク）の場合は、不要なチャプターを消去するかチャプターを結合してください。	**118～120** **122**、**126**
タイトルが一杯でこれ以上録画できません。 不要なタイトルを消去するか、他のディスクを使用してください。			
チャプターが記録できる上限を超えましたので録画できません。不要なタイトルやチャプターを消去してから録画してください。			
ディスクが修復できませんでした。	• BD や DVD-RW/-R ディスクのダビング中に停電があった場合、停電回復後データの修復を自動的に行いますが、ディスクに傷や汚れなどがあり修復できなかったとき	――――――	―
ディスクが満杯なので録画できません。 不要なタイトルを消去するか、他のディスクを使用してください。	• ディスクの空き容量がないとき	• 空き容量のあるディスクを入れてください。 • 不要なタイトルを消去してください。	**52** **118～120**
ディスクが満杯なので録画を停止しました。 不要なタイトルを消去するか、他のディスクを使用してください。	• ディスクの空き容量がなくなりました		
ディスクを確認しています。 完了まで 10 分以上かかる場合があります。	• リセット操作により、電源を切った場合など • 停電などにより、HDD や BD、DVD-RW/-R ディスクにディスク情報が正しく書き込まれない状態で録画が停止した場合など	• HDD（ハードディスク）や BD、DVD-RW/-R ディスクの確認が完了するまでお待ちください。 確認は 10 分以上かかる場合があります。	―
ディスクを読み込めませんでした。 ディスクを取り出した後、一旦電源を「切」にしてください。	• ディスクに傷があるなど本機で再生できないディスクを入れたり、表裏逆に入れたとき、表示が出てきます • 本機で対応していないディスクを入れたとき	• ディスクを確かめて入れ直してください。 • ダビング中に停電したり、誤って電源コードを抜きませんでしたか。そのようなディスクは認識できなくなる場合があります。	**17**、**290** ―
ハードディスク残時間が 5 時間を切りました。 タイトル消去を行い、残時間を増やすことをおすすめします。	• ディスク残時間が 5 時間を切ったとき	• 不要なタイトルを消去してください。	**118～120**
ハードディスクが満杯で、録画できません。 不要なタイトルを消去してください。	• ディスクの空き容量がないとき		
ハードディスクが満杯なので録画を停止しました。不要なタイトルを消去してください。	• ディスクの空き容量がなくなりました		
ハードディスクにエラーが発生しましたので操作できません。 ライブ視聴のみ可能です。お早めに最寄のご販売店またはシャープ修理相談センターまでご連絡ください。	• HDD（ハードディスク）に問題がある場合、特殊再生や録画など、HDD（ハードディスク）の動作が必要な操作を行ったとき	• 一度 HDD（ハードディスク）を初期化してください。初期化しても改善されないときはなるべくお早めにお買い上げの販売店、またはシャープお客様相談センターにご連絡ください。	**33**、**327**

■録画や再生時のメッセージ（つづき）

テレビ画面表示	エラーの内容	対応	ページ
ハードディスクを確認中です。確認完了までは、ライブ視聴のみ可能です。	• 停電の後や、電源「入」のまま電源プラグを抜き差ししたとき	• HDD（ハードディスク）の確認に 1 ～ 2 分かかる場合があります。その間は、放送視聴のみの動作となります。しばらくお待ちください。	—
ディスクを確認しています。完了まで 10 分以上かかる場合があります。			
番組放送時間が変更されたため、予約の開始ができませんでした。	• 録画予約した番組の放送時間が変更されたため予約実行されなかったとき	—	—
日付・時刻が設定されていません。 日付・時刻を設定してください。	• 本機の時計合わせをしていない状態で予約設定やダビング操作を行ったとき	• 時計合わせを行い、予約し直してください。	**234**
ファイナライズできませんでした。 ／初期化できませんでした。	• ディスクに傷、汚れなどがあるとき	• ディスクを確かめて入れ直してください。	**17**、**290**
録画禁止になりましたので、録画を停止しライブ放送に戻りました。	• 録画中に、著作権保護のため、放送そのものが録画禁止である番組が始まったとき	—	—
録画禁止のため、録画を停止しました。			
録画禁止の番組です。 タイムシフト視聴できません。	• 著作権保護のため、放送そのものが録画禁止になっていて、タイムシフト視聴ができないとき	• 放送中の映像のみ視聴いただけます。	—
録画禁止の番組です。録画できません。	• コピーガード信号が入った映像が入力されたとき	• 録画できません。	**54**
録画禁止の番組です。 録画できません。	• 著作権保護のため、放送そのものが録画禁止になっている番組を録画しようとしたとき	—	**54**

■特殊再生時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応	ページ
ハードディスク準備中です。 操作できません。	• HDD（ハードディスク）が準備中のときに、特殊再生や録画など、ハードディスクの動作が必要な操作を行ったとき	• 準備が終わるまでは放送視聴のみ可能です。操作可能になるまで、しばらくお待ちください。（寒い場所で使用している場合など、HDD（ハードディスク）の温度が低くなっていると、HDD（ハードディスク）の準備に時間がかかることがあります。）	—
ハードディスクの状態が悪いので 操作できません。	• HDD（ハードディスク）に異常があるときに、特殊再生などの操作を行ったとき	• HDD（ハードディスク）の修理が必要ですので、お早めにお買い上げの販売店、またはシャープお客様相談センターにご連絡ください。	**327**

■予約書き込み機能に関するメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応	ページ
予約の書き込みができるのは BD-RE ディスクのみです。	• BD-R や DVD ディスクなど、BD-RE 以外のディスクが入っているとき	• BD-RE を入れてください。	**30**、**84**
予約の書き込みを行うには BD-RE ディスクを入れてください。	• ディスクが入っていないとき		
ディスク保護されています。 予約の書き込みを行うにはディスク保護を解除してください。	• ディスク保護された BD-RE ディスクが入っているとき	• 録画可能なディスクに入れ換えてください。 • ディスク保護設定を解除してから予約の書き込みを行ってください。	**291** **117**
このディスクはタイトルがいっぱいです。 予約の書き込みを行うには不要なタイトルを消去してください。	• タイトルやチャプターマークが、記録できる上限を超えているとき • タイトル数が制限を超えたとき タイトル数：BD 200 チャプター数：BD 1000	• 不要なタイトルを消去してください。	**118**～**120**
このディスクはダビング予約されています。 予約の書き込みを行うにはダビング予約を取り消してください。	• ダビング予約されたディスクが入っているとき	• 予約リスト画面で、ダビング予約を取り消してください。	**81**
録画やダビング等が終了してから予約の書き込みを行ってください。	• 録画中やダビング中など、ディスクが動作中に予約の書き込み操作を行ったとき	• 録画やダビングが終了してから、予約の書き込みを行ってください。	—
• このディスクには次の予約が設定されています。 ＜予約時間＞ ＜放送局名＞ ＜番組名＞ 予約録画できる時間が過ぎています。 • ディスクに書き込まれている予約情報を削除するには予約リストから削除してください。	• 予約した番組が始まった後に、予約を書き込んだ BD-RE を入れたとき	• 予約リスト画面で、BD-REに書き込んだ予約を削除してください。	**81**
ディスクに予約情報が書き込まれているためダビングはできません。	• 予約を書き込んだ BD-RE を入れてダビングの操作をしたとき	• 他の録画可能なディスクに入れ換えてください。	**291**

■BD/DVD ディスクへのダビング時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応	ページ
1 度にダビングできる数を超えています。次回のダビングで選択してください。	• 放送番組をダビングするとき、ダビング元タイトルやチャプターを選択する画面で、16 タイトル（またはチャプター）を選ぼうとしたとき • 動画アルバムをダビングするとき、31 タイトルを選ぼうとしたとき	• 放送番組は、最大 15 タイトル（またはチャプター）ずつダビングしてください。 • 動画アルバムは、最大 30 タイトルずつダビングしてください。	**139** **143**
デジタル放送のダビングには、BD を使用するか、CPRM 対応の DVD を VR フォーマットに初期化してご使用ください。	•「1 回だけ録画可能」または「ダビング 10」の部分を含んだタイトルを、ビデオフォーマットの DVD-RW/-R や、CPRM 非対応の DVD-RW/-R にダビングしようとしたとき	• BD にダビングするか、CPRM 対応の DVD-RW/-R ディスクを VR フォーマットで初期化して、ダビングしてください。	**32**、**291**
このディスクにはダビングできません。 記録のできるディスクを挿入してください。	• 録画不可ディスクが入っていたとき（タイトル･チャプター数オーバー、保護されたディスク、傷や汚れのあるディスクなど） • BD-RE/-R、DVD-RW/-R 以外のディスクが入っていたとき	• 録画可能なディスクに入れ換えてください。	**17**、**130**、**291**
タイトル保護が設定されています。解除してからダビングしてください。	•「1 回だけ録画可能」または「ダビング 10」で 9 回までコピー済みのタイトルで、タイトル保護をかけたものをダビングしようとしたとき	•「1 回だけ録画可能」または「ダビング 10」で 9 回までコピー済みのタイトルは、オリジナルの移動のみ可能です。タイトル保護がかかったタイトルは、移動ができませんので、タイトル保護を解除してからダビング（移動）してください。	**116**
ディスクが入っていません。 記録のできるディスクを挿入してください。	• ディスク未挿入の状態でダビング操作をしたとき	• 記録用のディスクを挿入し、ダビング操作をしてください。	**130**、**291**
デジタル放送のダビングには、BD を使用するか CPRM 対応 DVD を V Rに初期化してご使用ください。	•「1 回だけ録画可能」または「ダビング 10」の部分を含んだタイトルを、CPRM 非対応の DVD-RW/-R ディスクにダビングしようとしたとき	• CPRM 対応の DVD-RW/-R ディスクを VR フォーマットで初期化して、ダビングしてください。	**32**、**291**
予約できる番組数を超えているため予約できません。	• 最大予約番組数を超えて予約しようとしたとき	• 予約を取り消してから、ダビング予約を設定してください。	**81**

■i.LINK 機器ダビングのメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応	ページ
DR 録画タイトル以外は i.LINK ダビングできません。	• 本機に DR 以外の録画画質で記録されているタイトルを i.LINK 機器へダビングしようとしている	• i.LINK ダビングできるのは、DR 録画画質で記録されているタイトルです。	**147**
選択した機器の電源を入れてからもう一度選んでください。	• 本機に接続した i.LINK 機器の電源が切れている	• 本機に接続した i.LINK 機器の電源を入れてから操作をやり直してください。	**147**
現在選択している機器は録画できない状態です。他の機器から使用中でないか確認してください。	• 本機に接続した i.LINK 機器が再生中	• 本機に接続した i.LINK 機器の状態を確認し録画用のディスクを入れてください。	**147**

■編集・消去・タイトル名変更時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応	ページ
1 度に消去できる数を超えています。次回の消去で選択してください。	• タイトル選択消去で、20 タイトル（またはチャプター）を超えて選択しようとしたとき	• 最大 20 タイトル（またはチャプター）ずつ消去してください。	**119**
結合できないチャプターです。	• 結合できないチャプターを結合しようとしたとき（1 タイトル内でシーン消去やチャプター消去をした際にできるチャプターは結合できません）	――――	—
この位置は指定できません。	• 3 秒以内の範囲を指定して編集しようとしたとき	• 範囲を 3 秒以上に指定しなおしてください。	**122**
このタイトルは保護されています。保護解除してから行ってください。	• タイトル保護設定されているタイトルを消去しようとしたとき	• タイトル保護を解除してからタイトルを消去してください。	**116**
このディスクは保護されています。保護解除してから行ってください。	• ディスク保護されているディスクのタイトル名などを変更しようとしたとき	• ディスク保護を解除してから操作してください。	**117**
チャプターが記録できる上限を超えましたのでこの操作はできません。不要なタイトルやチャプターを消去してから操作してください。	• 編集結果がチャプター数上限（HDD は 4000 ／ BD は 1000 ／ DVD は 999）を超えるとき	• HDD（ハードディスク）の場合は、チャプター結合により、不要なチャプターマークを消去してから編集してください。	**126**

■i.LINK（TS）入力録画時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応	ページ
i.LINK 入力の状態が悪くなったため録画を停止しました。	• 本機に i.LINK 入力録画中、接続している i.LINK 機器の再生が停止したとき	• 録画を行いたいときは、再度再生を行い録画を開始してください。	**149**
	• 一時停止、早送り、早戻しサーチを行ったとき		
	• ケーブルが抜けたときや、機器接続が解除されたとき	• ケーブル接続、機器選択を確認してください。	**146**、**149**
この番組は録画できません。	• データ放送（ラジオ放送）を録画しようとしたとき • TS 入力から 5 秒以内に録画を開始しようとしたとき	• データ放送（ラジオ放送）は録画できません。 • TS 入力から 5 秒以上経過してから録画を開始してください。	— —
録画禁止の番組です。録画できません。	• 録画できない番組を録画しようとしたとき	•「録画禁止」の番組と、D-VHS テープに録画された「1 回だけ録画可能」の番組は、i.LINK 入力録画できません。	—

■ファミリンク録画時のメッセージ

テレビ画面表示		対応	ページ
S05	録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	• 録画ができない放送や番組、または録画ができない記録メディア（HDD・BD・DVD などの録画媒体）です。番組内容または録画メディアを確認してください。	―
S06 S07	録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。 録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	• ファミリンク録画ができない放送です。 ファミリンク録画機能を使用せず、本機の録画機能をご利用ください。	―
S09 S10 S11 S12	録画に失敗しました。 録画に失敗しました。 録画に失敗しました。 録画に失敗しました。	• ファミリンク録画機能を使用せず、本機の録画機能をご利用ください。	―
S13 S14	録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。 録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	• この放送や番組は録画することができません。 • 番組内容を確認してください。	―
S16	録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	• 録画メディア（HDD・BD・DVD などの録画媒体）を確認してください。	―
S17	録画に失敗しました。 現在、再生中のため録画できません。	• 再生を停止した後、再度録画を設定してください。	―
S18	録画に失敗しました。 別の録画を実行中のため、録画できません。	• 現在録画中のため、あらたに録画できません。	―
S19	録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	• 録画メディアが書き込み禁止です。 録画メディアを確認してください。	―
S20	録画に失敗しました。 放送を受信できないため、録画できません。	• 放送が受信できません。設定が正しく行われているか、確認してください。	―
S21	録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	• 録画メディアに録画できません。 録画メディアを確かめてください。	―
S22	録画に失敗しました。 記録可能な容量がありません。	• 録画メディアの容量を確認してください。	―
S23	録画に失敗しました。 視聴制限がかかっています。	• 視聴制限を解除して再度録画を設定してください。	―
S31	録画に失敗しました。 レコーダーが録画できない状態になっています。	• 録画機器を確認してください。	―

■IrSS（高速赤外線通信）機能での写真取り込みに関するメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応	ページ
IrSS 機能に対応した送信機器か確認してください。	• IrSS(高速赤外線通信）機能に対応していない機器から送信している	• 本機が赤外線通信で受信できる写真は IrSS（高速赤外線通信）機能に対応した機器です。（双方向通信には対応しておりません。）	**173**
現在は受信できません。	• データ送受信端子から写真を取り込んでいる • 本機が動作中のため、写真の取り込みができない	• データ送受信端子と IrSS の同時取り込みはできません。データ送受信端子からの取り込みが完了してから、操作してください。 • 本機が動作中は取り込みができません。動作を停止（放送視聴状態）にしてから操作してください。	**175** **175**
この写真は再生できません。	• 写真データが壊れているまたは拡張子が JPEG ファイルでも再生できないファイル	――――――	―
このデータは対応していないため受信できません。	• DCF に準拠していない JPEG ファイルまたは JPEG 以外のファイルを送信した	• DCF に準拠していない JPEG ファイルまたは JPEG 以外のファイルは取り込めません。	**173**、**186**
写真が一杯です。これ以上受信できません。	• アルバム内の写真は 4000 枚までとなっている	• 大切な写真は DVD-RW ディスクにコピーするなどして、アルバム内の写真を消去してから操作してください。	**181**、**183**、**184**
写真のサイズが大きすぎます。 受信できません。	• 画像サイズが縦 4320 ×横 7680 を超えている	• 画像サイズが縦最大 4320 ×横最大 7680 を超えている写真は取り込めません。	**173**
送信機器を本機の受光部に近づけて再度送信してください。	• 距離が離れすぎていたり、受光部に対し送信機器の角度が真っ直ぐではない • 赤外線を利用したテレビゲーム機などを近くで使用している	• 本機の IrSS(高速赤外線通信）受光部と相手側の送光部を 20cm 以内で真っ直ぐ直線上になるようにして送信してください。 • 本体前面の扉は開けた状態で送信してください。 • 赤外線を利用している機器と本機を離す、または操作を止めてから再送信してください。	**175** **175** **175**
データの容量が大きすぎます。 受信できません。	• 3.5MB より大きい容量の写真データを送信した	• IrSS 機能で受信できる写真は最大 3.5MB です。 • データ容量の大きい写真は、データ送受信端子から取り込んでください。	**173** **176**
ハードディスクが満杯で受信できません。不要なタイトルを削除してください。	• ハードディスクの空き容量が無いため写真の取り込みができない	• ハードディスク内のタイトルを消去し、空き容量を増やしてから操作してください。	**118～120**、**181**、**183**

■データ送受信端子からの写真取り込みに関するメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応	ページ
あと 2 分で予約が開始しますので取り込みを中断しました。終了後、再接続してください。	• 予約開始のため写真取り込みを中断したとき	• 予約録画終了後に再接続してください。	**176**
写真が一杯になりましたので中断しました。 不要な写真を消去してください。	• 写真取り込み中に、アルバム内の写真が 4000 枚となったため、写真の取り込みができない	• 大切な写真は DVD-RW ディスクにコピーするなどして、アルバム内の写真を消去してから再接続してください。	**181**、**183**、**184**
写真が一杯なのでこれ以上取り込めません。不要な写真を消去してください。	• アルバム内の写真は 4000 枚までとなっている	• 大切な写真は DVD-RW ディスクにコピーするなどして、アルバム内の写真を消去してから操作してください。	**181**、**183**、**184**
写真の取り込みが出来なくなりました。 接続を確認してください。	• 写真取り込み中に、接続機器の電源を切ったり、接続ケーブルを抜くなどして取り込みができなくなった	――――――	―
写真の取り込みを中断しました。	• 写真取り込み中に停止ボタンを押し、取り込みを中断した	――――――	―

■データ送受信端子からの写真取り込みに関するメッセージ（つづき）

テレビ画面表示	エラーの内容	対応	ページ
写真を取り込む場合は、放送視聴に戻って録画などが終わってから再接続してください。	• 録画や再生など本機が動作しているときに、デジタルスチルカメラをデータ送受信端子に接続した	• 本機が動作中は取り込みができません。動作を停止（放送視聴状態）にしてから操作してください。	176
接続された機器には対応していません。	• デジタルスチルカメラの USB 通信がマスストレージクラスに対応していない	• データ送受信端子から入力可能なデジタルスチルカメラはマスストレージクラスに対応した機器です。詳しくはお使いのメーカーにお問合せください。	176
ハードディスクが満杯なので取り込めません。不要なタイトルを消去してください。	• ハードディスクの空き容量が無いため写真の取り込みができない	• ハードディスク内のタイトルを消去し、空き容量を増やしてから操作してください。	118～120、181、183
ハードディスクが満杯のため中断しました。 不要なタイトルを消去してください。	• 写真取り込み中に、ハードディスクの空き容量が無くなり写真の取り込みができない	• ハードディスク内のタイトルを消去し、空き容量を増やしてから再接続してください。	118～120、181、183

■データ送受信端子からの動画取り込みに関するメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応	ページ
動画の取り込みができなくなりました。	• 転送側機器または、本機の HDD（ハードディスク）にエラーが発生し、動画データの取り込みができない	• 本機側のエラーの場合は、HDD（ハードディスク）を初期化してください。初期化しても改善されないときはなるべく早めにお買い上げの販売店、またはシャープお客様相談センターにご連絡ください。	33、327
動画の取り込みができなくなりました。接続を確認してください。	• 動画データの取り込み中に接続機器の電源を切ったり、接続ケーブルを抜くなどして取り込みができなくなった	――――	―
ハードディスクが満杯のため中断しました。 不要なタイトルを消去してください。	• HDD（ハードディスク）の空き容量が無いため動画データの取り込みができない	• HDD（ハードディスク）内のタイトルを消去し、空き容量を増やしてから操作してください。	118～120、181、183
タイトルが一杯のため中断しました。 不要なタイトルを消去してください。	• 動画データの取り込み中に、タイトルやチャプターマークが、記録できる上限を超えたとき • 動画データの取り込み中に、タイトル数が制限を越えたとき タイトル数：(動画アルバムと放送番組リストの合計) HDD（ハードディスク） 999 チャプター数：(動画アルバムと放送番組リストの合計) HDD（ハードディスク） 4000	• HDD（ハードディスク）内のタイトルを消去し、空き容量を増やしてから再接続してください。 • HDD（ハードディスク）内のタイトルの、不要なチャプターを消去するかチャプターを結合してください。	118～120、181、183、122、126
あと２分で予約が開始しますので取り込みを中断しました。 終了後、再接続してください。	• 予約開始のため動画取り込みを中断したとき	• 予約録画終了後に再接続してください。	187
動画データの取り込み実行中です。 このメッセージ表示中に、再度停止ボタンを押すと、取り込みを停止します。	• 動画取り込み中に停止ボタンを押したとき	――――	―
動画データの取り込みを停止しました。	• 動画取り込み中に停止ボタンを押し、テレビ画面にメッセージが表示されている間に再度停止ボタンを押して取り込みを中断した	――――	―

■写真コピーに関するメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応	ページ
あと 5 分で予約を開始します。 写真のコピーを中断しました。	• 予約開始時刻となるため、写真コピーを中断した	• 予約録画が終了してから操作し直してください。	—
写真のコピーができないため中断しました。 ××××枚コピーしました。	• ディスクの空き容量が一杯になったり、写真保存枚数が制限一杯になったことから中断したとき	――――――	—
写真のコピーを中断しました。	• 写真コピー中に停止ボタンを押しコピーを中断した	――――――	—
写真用に初期化した DVD を挿入してください。	• 写真用フォーマットで初期化されていない DVD-RW ディスクを挿入し、写真コピー操作を行った	• 写真用フォーマットで初期化した DVD-RW ディスクを挿入し直してください。	**32**
次の予約時間と重なるためコピーできません。予約が終了してから操作してください。	• 写真枚数または容量が多く、予約開始時刻と重複する可能性があるとき	• 予約録画が終了してから操作し直してください。	—
ファイナライズされていない DVD ディスクを挿入してください。	• ファイナライズされている写真用フォーマットの DVD-RW ディスクを挿入し、写真コピー操作を行った	• ファイナライズされていない写真用フォーマットの DVD-RW ディスクを挿入し直してください。	—
ディスクに保存できる枚数を超えています。 写真の枚数を少なくして操作してください。	• ディスクに保存されている写真が 4000 枚ある	• ディスクへコピーできる枚数は最大 4000 枚です。	—
ディスクの容量が不足しています。 写真の枚数を少なくして操作してください。	• 空き容量の無いディスクに写真コピーした	• 空き容量のあるディスクをセットするか、またはコピーする写真枚数を減らしてください。	**52**
録画を停止してから操作してください。	• 録画中に写真コピーを行おうとした	• 本機が動作中は写真コピーができません。動作を停止（放送視聴状態）にしてから操作してください。	—

■グループ設定（写真）に関するメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応	ページ
1 グループの制限枚数を超えています。 100 枚以内で選択してください。	• 選択したグループの写真枚数が 100 枚を超えてしまう	• 1 グループ内の写真枚数は最大 100 枚です。100 枚以内になるように写真を選択してグループ作成操作を行ってください。	**180**
グループ数が一杯なので作成できません。 不要なグループを解除してください。	• グループ数が 40 グループとなっている	• アルバム内に設定できるグループ数は最大 40 グループです。不要なグループをグループ解除してから操作してください。	**180**
グループをこれ以上増やせません。 (グループへの追加は可能です)	• グループ数が 40 グループとなっているのにグループを作成しようとした	• アルバム内に設定できるグループ数は最大 40 グループです。不要なグループをグループ解除してから操作してください。	**180**
このグループは保護されています。 保護を解除してから操作してください。	• グループ保護設定されているグループに写真を追加しようとした	• グループ保護を解除してから操作してください。	**183**
写真が 2 枚しかないため実行できません。 グループ全体をグループ解除してください。	• 写真 2 枚のグループで 1 枚の写真を選択しグループ解除しようとした	• グループ解除してください。	**180**

■写真再生時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応	ページ
写真が再生できません。	• 写真データの読み込みに失敗したとき	• アルバムを一度終了し、操作し直してください。	—
	• 写真ファイルが壊れているとき	――――――	—

■その他のメッセージ

テレビ画面表示		エラーの内容	対応	ページ
ー	B-CAS カードを正しく挿入してください。 B-CAS カードを挿入していてもこのメッセージが表示される場合は、カードを差し直してください。	• B-CAS カードの装着が不完全です	• B-CAS カードを正しく挿入してください。	**221**、**222**
A102	この B-CAS カードは使用できません。 正しい B-CAS カードを装着してください。	• B-CAS カードが割れているなど、破損していたり、IC チップが壊れている	• B-CAS カードを一度抜き差ししてみてください。それでもエラーが表示される場合は、B-CAS カスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。	**221**、**222**
A103	・この番組をご覧頂くには、契約登録が必要です。詳細は、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 ・この番組は有料放送です。番組を視聴・録画するにはレコーダーに契約済みの B-CAS カードを挿入してください。	• WOWOW や CS デジタル放送などの有料放送を無契約状態で選局した場合	• 契約済みの B-CAS カードをセットしてください。 • ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。	**221**、**222** —
A107	この B-CAS カードには必要な情報がありません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	• ご覧のチャンネル用の B-CAS カードではありません	• ご覧のチャンネル用の B-CAS カードを挿入してください。	**221**、**222**
C000	アクセスできませんでした。	• 接続しましたが、サーバーへのアクセスができないとき	• 一度別のチャンネルを選局した後、もう一度エラー表示のでたチャンネルを選局し直してみてください。	—
C006	番組で指定された情報センターへの接続に失敗しました。	• 電話回線の接続や電話回線の設定が正しくありません	• 電話回線の接続を確認した上で、電話回線の設定内容をご確認ください。	**262** ～ **267**
C104	番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。	• 電話回線の接続や電話回線の設定が正しくありません	• 電話回線の接続を確認した上で、電話回線の設定内容をご確認ください。	**262** ～ **267**
C105	番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。	• 電話回線の接続や電話回線の設定が正しくありません	• 電話回線の接続を確認した上で、電話回線の設定内容をご確認ください。	**262** ～ **267**
C204	アクセスできませんでした。	• 接続しましたが、サーバーへのアクセスができないとき	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。	—
C208	サーバー証明書が不正のため、アクセスを中断します。	• 放送で送られたルート証明書が信頼できないため、アクセスを中断したとき	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。	—
C209	サーバー証明書に問題があり、アクセスを中断します。	• 放送で送られたルート証明書の形式が不正なため、アクセスを中断したとき	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。	—
E200	放送チャンネルではないため視聴できません。	• このチャンネル（番組）は視聴できません	• 別のチャンネルを選局してお楽しみください。	—
E201	• 天候の影響やアンテナの接続状況などにより、受信状態が悪くなっています。	• 降雪や降雨障害などの電波障害またはアンテナの方向や角度がずれたことによりアンテナ信号が弱くなったとき	• アンテナの向きがずれていませんか。 • 降雪や降雨により電波障害が起こりアンテナ信号が弱くなる場合があります。	**252**、**295**
ー	• ライブ放送の受信状態が回復しました。 • 降雨対応画面選択中です。			
E202	• 放送が受信できません。アンテナの接続状況や調整、アンテナ設定の BS・CS アンテナ電源の設定をご確認ください。 • 放送が受信しにくくなっています。アンテナの接続状況や調整をご確認ください。	• アンテナが接続されていないときや、放送が受信できないとき • 電波状態が悪く放送が受信できないとき	• アンテナ線やチャンネル設定は正しいですか。	**198** ～ **203**、**242** ～ **261**

■その他のメッセージ（つづき）

テレビ画面表示		エラーの内容	対応	ページ
E203	現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。	• 選ばれている放送局で、番組の放送が終了している	• 選ばれている放送局で、番組が放送されていないときに表示されます。	**38**
E204	○○ チャンネルが見つかりません。番組表などでチャンネルを確認してください。	• 放送の無いチャンネルを選局したとき	• 番組表などでチャンネルを確認してください。	**40**
ー	• 放送が受信できないため 録画を停止しライブ放送に戻りました。 • 放送が受信できないため録画を停止しました。 • 受信状態が悪くなっていますので録画を停止しライブ放送に戻りました。 • ライブで放送が受信しにくくなっています。	• アンテナが接続されていないときや、放送が受信できないとき • 電波状態が悪く放送が受信できないとき	• アンテナ線やチャンネル設定は正しいですか。	**198**～**203**、**242**～**261**
E210	○○ チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	• 本機で受信できないチャンネル（サービス）を受信しようとしたとき	• 別のチャンネルを選局してお楽しみください。	―
E301	データの通信に失敗しました。	• 電話回線の接続や通信設定が正しくありません	• 電話回線の接続を確認して通信設定を正しく行ってください。	**262**～**267**
E400	データが受信できません。	• 電波障害等によりデータを受信できない場合など	• 一度別のチャンネルを選局した後、もう一度エラー表示のでたチャンネルを選局し直してみてください。	―
E401	対象地域外のため、データを表示できません。 この受信機では、データを表示できません。	• 対象地域外のデータ放送を選局しているとき	• 別のチャンネルを選局してお楽しみください。	―
E402	データの表示に失敗しました。	• 選んだチャンネルのデータの表示に失敗したとき	• 一度別のチャンネルを選局した後、もう一度エラー表示のでたチャンネルを選局し直してみてください。	―
ー	• このネットワークにはテレビサービスはありません。 • このネットワークにはラジオサービスはありません。 • このネットワークにはデータサービスはありません。	• 放送サービスの無い放送を選んだとき	• 別の放送に切り換えてお楽しみください。	―
ー	現在接続されている機器には、コンテンツ保護の必要な映像信号を出力できません。	• HDMI-DVI 変換ケーブルを使用しHDCP 非対応のモニターと接続した場合に表示されます	――――	**205**
ー	アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	• アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しているとき	• ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	―
ー	アンテナ線の接続や設定に不具合がありますので BS/CS 電源を「切」にしました。 受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナとの接続を確認してください。	――――	• 電源を入れ直してください。 BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送が受信できない場合は、本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してから電源を入れなおしてください。	**198**～**202**
ー	地上 A では番組表は使用できません。 「地上 D」「BS」「CS」に切換えてから 番組表ボタンを押してください。	• アナログ放送受信時に、番組表ボタンを押したとき	• 番組表を見るときは、リモコンの放送切換ボタン 地上D BS CS のいずれかを押して、受信できるデジタル放送に切り換えてから操作してください。	**38**、**40**
ー	外部入力では番組表は使用できません。 「地上 D」「BS」「CS」に切換えてから 番組表ボタンを押してください。	• 外部入力時に、番組表ボタンを押したとき		

こんなときには？（接続・設定時）

映像が乱れたり雑音が聞こえる場合は

- 本機とテレビを接続しているコード類をアンテナ線と一緒に束ねないでください。テレビ放送を見るときに画面にノイズが出るなど、電波妨害の原因となることがあります。
- 機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音などを避けるため、電源コードや他の接続コード類をアンテナ線からできる限り離してご使用ください。

テレビのオートワイド機能が働かないとき

- コンポーネント映像入力端子に接続したときは、テレビのオートワイド機能は働きません。

ビデオデッキを接続していて、テレビの映りが悪いときは

- ビデオデッキなどを中継してアンテナ線を接続すると、テレビの映りが悪くなる場合があります。そのときは、市販のブースターをご使用ください。

ビデオデッキからの映像を正常に録画できないときは

- 市販のビデオソフトなど、コピー防止機能の入ったテープを再生すると、コピー防止機能の働きにより本機では録画（正常な録画）ができません。

本機に接続したビデオデッキの再生映像が見られないときは

- 本機を使用（再生や録画）しているときは、接続したビデオデッキで再生しているビデオの映像が見られません。接続したビデオデッキからの映像を見るときは、本機の録画や再生を停止してからビデオデッキを接続している外部入力に切り換えてご覧ください。

ディスクの再生時に音声が正常に聞こえないときは

- オーディオ機器と接続したときは、「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「映像・音声設定」－「音声出力レベル」（→ **281** ページ）で設定を「ノーマル」にすることをおすすめします。「シフト」に設定すると、ディスク再生時に音声が正常に聞こえない場合があります。

初めて電源を入れたが、「初期設定」画面（→225ページ）が表示されないときは

- 接続後、初めて電源を入れたときに「初期設定」画面が表示されない場合は、次を確かめてください。
  1. 本機とテレビの接続ケーブルがはずれていませんか？
  2. 映像・音声ケーブルで接続している場合、本機の出力端子からテレビの入力端子につながっていますか？
  3. テレビの入力切換ボタンで、本機がテレビに接続されている入力が選ばれていますか？
  4. 上記を確認しても初期設定画面が表示されない場合、次の手順でリセットしてください。

① スタートメニュー 押す

② 「各種設定」を選択 決定する

③ 「本体設定」を選択

④ 「設定リセット」を選択 決定する

⑤ 「リセットする」を選択 決定する

自動的に電源が切れます

⑥ **電源ボタンの赤ランプ点灯後、再度電源を入れる**
⇨初期設定画面表示

保証とアフターサービス

保証書（別添）

● 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

● **保証期間**
お買い上げの日から 1 年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

使い方や修理のご相談など

● 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店、またはシャープお客様相談センターにお問い合わせください。（→ **327** ページ）

補修用性能部品の保有期間

● 当社は、ブルーレイディスクレコーダーの補修用性能部品を、製品の製造打切後 8 年保有しています。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

●「故障かな？と思ったら」（→ **294** ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　　名：ブルーレイディスクレコーダー
- 形　　　名：BD-HDW32
  BD-HDW35
  BD-HDW40
- お買い上げ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- ご　住　所（付近の目印も合わせてお知らせください）
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販売店名
年　月　日	電話（　　）　―

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

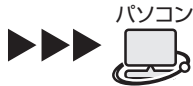
愛情点検

長年ご使用のレコーダーの点検を！
こんな症状はありませんか？
・電源コードやプラグが異常に熱い。
・映像が乱れたり、きれいに映らない。
・その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは、スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
FAX送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。 ▶▶▶ パソコン シャープ　お問い合わせ　検　索

http://www.sharp.co.jp/support/

使い方や修理のご相談

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：043 - 331 - 1626　FAX：043 - 297 - 2696
〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2

受付時間　●月曜～土曜：9:00～20:00　●日曜・祝日：9:00～17:00　（年末年始を除く）

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2009.2）

「修理品引き取りサービス」のご案内

修理品引き取りサービスとは、電話で修理依頼をいただきますと、当社指定の運送業者が、お客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

ご利用内容

ご利用料金

※サービスエリア:日本国内地域。ただし、沖縄県全域（離島を含む）及び鹿児島県奄美市・大島郡を除きます。

■運送費

保証期間内	無　料
保証期間外	1,000円+梱包資材費+代引き手数料

※梱包料を含む往復料金（税別）

■修理料金

保証期間内	無料（保証書記載の「保証規定」に準じます）
保証期間外	有料（修理内容により異なります）

※保証期間内でも有料になる場合があります。詳しくは保証書をご確認ください。

お申し込み

【お客様相談センター】（上記参照）にお電話でお申し込みください。

お引き取り

当社指定の運送業者がお引き取りに伺います。

■お引き取りの時間は下記時間帯よりお選びいただくことができます。

午前中	12:00～14:00	14:00～16:00	16:00～18:00	18:00～21:00

■お引き取り日はご依頼日の翌日以降となります。
■18:00～21:00の時間帯は土、日、祝日を除きます。
■交通事情などの理由によりご指定の時間にお伺いできない場合がございます。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。
※修理品は当社指定の運送業者が梱包箱を持参してお伺いし、梱包させていただきます。

修理・お届け

修理完了後、シャープエンジニアリング（株）よりご連絡いたします。

■ご連絡時にサービス料金（修理料金+利用料）と発送日をご連絡いたします。
■当社指定の運送業者が修理完了品をお届けに伺います。
■サービス料金（修理料金+利用料）を指定運送業者に、現金でお支払いください。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。

仕様

品名				ブルーレイディスクレコーダー		
形名				BD-HDW32	BD-HDW35	BD-HDW40
一般	ハードディスク容量			320GB（ギガバイト）	500GB（ギガバイト）	1TB（テラバイト）
	電源電圧			AC 100V、50/60 Hz		
	外形寸法			幅 434、奥行 299、高さ 67（mm）（突起部を除く）（BD-HDW40 のみ、高さ 76mm）		
	本体質量			約 4.6kg	約 4.9kg	約 5.9kg
	使用温度範囲			＋ 5℃～＋ 35℃		
	使用湿度範囲			10%～ 80%（結露なきこと）		
	動作姿勢			水平		
記録	録画可能ディスク※1			BD-RE SL(1層)Ver.2.1、BD-RE DL(2層)Ver.2.1、BD-R SL(1層)Ver.1.1/1.2/1.2LTH TYPE/Ver.1.3(LTH TYPEを除く)、BD-R DL(2層)Ver.1.1/1.2/1.3、DVD-RW、DVD-R、DVD-R DL(2層)		
	記録圧縮方式 (HDD・BD)		映像	MPEG2、MPEG4 AVC ／ H.264		
			音声	MPEG2 AAC、MPEG1-L2		
	記録圧縮方式 (DVD-RW/-R)		映像	MPEG2		
			音声	ドルビーデジタル (2ch)、リニア PCM(2ch)（録画画質「XP」時）		
	録画時間※2 (HDD)	デジタル放送	BS/CS ハイビジョン画質	約 27 時間	約 44 時間	約 89 時間
			地上 D ハイビジョン画質	約 39 時間	約 63 時間	約 125 時間
			標準画質	約 55 時間	約 89 時間	約 178 時間
		デジタル放送 アナログ放送 外部入力※3	2倍※6	約 55 時間	約 89 時間	約 178 時間
			3倍※6	約 83 時間	約 134 時間	約 267 時間
			5倍※6	約 139 時間	約 223 時間	約 445 時間
			7倍※6	約 195 時間	約 313 時間	約 623 時間
			HD ○○※6	10 段階（HD10 ～ HD01 から選択可能）※6		
			SXP	約 46 時間	約 73 時間	約 149 時間
			XP	約 62 時間	約 96 時間	約 199 時間
			SP	約 111 時間	約 177 時間	約 358 時間
			LP	約 223 時間	約 354 時間	約 717 時間
			EP	約 419 時間	約 664 時間	約 1345 時間
			MN（マニュアル）	20 段階（MN68（SXP 相当）～ MN01 から選択可能）※4		
		連続録画可能時間		最大 12 時間		
	録画時間※2 (BD-RE：25GB 時) (2 層 50GB 時の記録時間は **59** ページ)	デジタル放送	BS/CS ハイビジョン画質	約 2 時間 10 分		
			地上 D ハイビジョン画質	約 3 時間		
			標準画質	約 4 時間 20 分		
		デジタル放送 アナログ放送 外部入力	2倍※6	約 4 時間 20 分		
			3倍※6	約 6 時間 30 分		
			5倍※6	約 10 時間 50 分		
			7 倍※6	約 15 時間 10 分		
			HD ○○※6	10 段階（HD10 ～ HD01 から選択可能）※6		
			SXP	約 3 時間 30 分		
			XP	約 4 時間 40 分		
			SP	約 8 時間 40 分		
			LP	約 17 時間 20 分		
			EP	約 32 時間 30 分		
			MN（マニュアル）	20段階(MN68(SXP相当)～MN01から選択可能)※4		
	録画時間※2 (DVD-RW/-R: 4.7GB 時)		XP	約 1 時間		
			SP	約 2 時間		
			LP	約 4 時間		
			EP	約 6 時間		
			MN01	約 8 時間		
			MN（マニュアル）	65段階(MN65(XP相当)～MN01から選択可能)※4		
再生	再生可能ディスク※1			BD-RE SL(1層)Ver.2.1、BD-RE DL(2層)Ver.2.1、BD-R SL(1層)、Ver.1.1/1.2/1.2LTH TYPE/Ver.1.3(LTH TYPEを除く)、BD-R DL(2層) Ver.1.1/1.2/1.3、BDビデオ、DVDビデオ、DVD-RW、DVD-R、DVD-R DL(2層)、DVD+RW(ビデオフォーマットファイナライズ済)、DVD+R(ビデオフォーマットファイナライズ済)、DVD-RAM(ケースから取り出せるもの)、音楽CD、CD-R (音楽CDフォーマット)、CD-RW (音楽CDフォーマット)、CD-R (JPEGファイル記録)、CD-RW (JPEGファイル記録)		

※ 1 BD-RE Ver.1.0 は本機では使用できません。（カートリッジタイプのディスクは使用できません。）

※ 2 **録画可能時間は目安です。**テレビ画面に表示される「残時間」は、きめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像など（ビットレートの高い映像）が録画できる時間の目安です。
実際の録画可能時間は、放送内容によってはテレビ画面に表示される「残時間」よりも長く録画することができます。

※ 3 アナログ放送や外部入力を録画したときは、録画画質を「2倍」「3倍」「5倍」「7 倍」「HD ○○」に設定していても「SXP」で録画されます。

※ 4 HD ○○、MN（マニュアル）の録画時間については、**58** ～ **60** ページ

※ 5 DCF は、（社）電子技術産業協会（JEITA）の規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

※ 6 2 倍は約 12Mbps（うち連動データ放送 2Mbps）、3 倍は約 8Mbps（うち連動データ放送 2Mbps）、5 倍は約 4.8Mbps、7 倍は約 3.4Mbps で換算した録画時間です。特に、2 倍、3 倍の録画時間は、連動データ放送が計算値（2Mbps）より大きい放送があり、実際に録画できる時間は記載値よりも誤差が大きくなる場合があります。

形名			BD-HDW32	BD-HDW35	BD-HDW40
フォトシステム	保存可能な画像ファイル形式（JPEG）		JPEG ベースライン DCT 準拠 /JPEG（Exif2.2）DCF 準拠※5		
	保存可能なファイルサイズ		容量：最大 3.5MB（IrSS 取り込み時）／最大 20MB（データ送受信端子取り込み時） サイズ：最大縦 4320 ×最大横 7680（最小縦 32 ×最小横 32）		
	保存可能写真数		4000 枚		
チューナー	受信チャンネル	BS デジタル	001 ～ 999ch		
		110 度 CS デジタル	000 ～ 999ch		
		地上デジタル	011 ～ 528ch		
		VHF	1 ～ 12ch		
		UHF	13 ～ 62ch		
		CATV	C13 ～ C63ch		
タイマー	予約番組数		1 年 62 番組（HDD） 8 日 1 番組（BD への予約書き込み）		
接続端子	映像入力		入力 1、入力 2 の 2 系統 ピンジャック：1 V p-p（75 Ω）		
	S 映像入力		入力 1、入力 2 の 2 系統 4 ピンミニ DIN：Y ＝ 1 V p-p（75 Ω） C ＝ 0.286 V p-p（75 Ω）		
	音声入力		入力 1、入力 2 の 2 系統 ピンジャック（L/R）：2 V rms （入力インピーダンス 22k Ω以上）		
	i.LINK 端子		1 系統（i.LINK/IEEE1394 準拠）		
	データ送受信（USB 準拠）		1 系統 DC5V 500mA		
	HDMI 出力		1 系統		
	D1/D2/D3/D4 映像出力		出力 1 の 1 系統 Y：1.0 V p-p（75 Ω） C_B、C_R：0.7 V p-p（75 Ω）		
	映像出力		出力 2 の 1 系統 ピンジャック：1 V p-p（75 Ω）		
	S 映像出力		出力 2 の 1 系統 4 ピンミニ DIN：Y ＝ 1 V p-p（75 Ω） C ＝ 0.286 V p-p（75 Ω）		
	音声出力		出力 1（D 映像出力側）と出力 2（映像・音声出力側）の 2 系統 ピンジャック（L/R）：2 V rms （1kHz 0dB、出力インピーダンス 1.5k Ω以下）		
	光デジタル音声出力		1 系統 光コネクタ：角形光ジャック		
	同軸デジタル音声出力		1 系統 ピンジャック：0.5 V p-p（75 Ω）		
	BS・110 度 CS アンテナ入出力		入力と出力のそれぞれ 1 系統 75 Ω F 型コネクター		
	地上デジタル・アナログアンテナ入出力		入力と出力のそれぞれ 1 系統 75 Ω F 型コネクター		
	LAN 端子（10BASE-T/100BASE-TX）		1 系統		
	電話回線端子		モジュラー式 V.90（56kbps）		
付属品	リモコン、単3形乾電池 2 個、HDMI ケーブル、映像・音声コード、アンテナケーブル（両側 F 接栓ケーブル）、電源コード、B-CAS カード（B-CAS カードユーザー登録はがき、B-CAS カード使用許諾契約約款付き）、取扱説明書（本書）※、かんたん !! ガイド※、接続・設定ガイド※、保証書				

※ **当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.**

		BD-HDW32	BD-HDW35	BD-HDW40
消費電力※1		40W	41W	41W
待機時消費電力※1	クイック起動「する（設定 1）」および「する（設定 2）」時	31W	32W	32W
	クイック起動「する（設定 2）」時の 2 時間以降	同下		
	クイック起動「しない」	1.0W（時計表示点灯）／ 0.9W（時計表示消灯）		
エコモード		0.2W		
年間消費電力量※2		55.0kWh ／年	57.9kWh ／年	57.9kWh ／年

※ 1 消費電力、待機時消費電力は BS・110 度 CS デジタルアンテナ電源供給「切」時の値です。
※ 2 表示値は、JEITA 基準による算出式をもとに算出した参考値です。

- 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 海外では使用できません。このブルーレイディスクレコーダーは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  <This Blu-ray Disc Recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.>
- あなたがテレビ（ラジオ）放送や録画（レコード録音）物などから録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上の権利者に無断で使用できません。

用語の解説

アルファベット

1080i (1125i)
有効走査線 1080 本、インターレース（飛び越し走査）方式。デジタルハイビジョンの高画質です。総走査線数を使って「1125i」と呼ぶこともあります。

1080p (1125p)
有効走査線 1080 本、プログレッシブ（順次走査）方式。総走査線数を使って「1125p」と呼ぶこともあります。

480i (525i)
有効走査線 480 本、インターレース（飛び越し走査）方式。地上放送（VHF/UHF）や BS アナログ放送と同等の画質です。総走査線数を使って「525i」と呼ぶこともあります。

480p (525p)
有効走査線 480 本、プログレッシブ（順次走査）方式。総走査線数を使って「525p」と呼ぶこともあります。

AAC
音声圧縮方式の一つで国際的な標準規格である、Advanced Audio Coding の略です。
地上デジタル /BS デジタル /CS デジタル放送の映像圧縮方式である「MPEG-2」に採用されています。MPEG-1 に採用されている音声圧縮方式「MP3」より、1.4 倍ほど圧縮効率が高くなっています。

AACS
Advanced Access Content System の略で、コンテンツ保護技術の一つです。デジタル放送番組を BD ディスクに録画・再生する場合は、機器および BD ディスクがこの技術に対応していることが必要です。

ADSL 回線
ブロードバンド回線のひとつで、アナログ固定電話回線の音声通話に使用しない帯域を使った回線です。

ADSL モデム
本機やコンピュータなどを ADSL 回線に接続する際に、信号を変換するための機器です。公衆電話回線網で使われる ADSL 信号と、LAN で使われるイーサネットの信号の変換をします。
ADSL の規格は事業者ごとに異なるため、事業者を変更した場合や、引っ越しなどで本機をお使いになる地域が変わった場合には、同じ ADSL モデムがご利用いただけないことがあります。

ARIB（社団法人電波産業会）
電波法で規定される「電波有効利用促進センター」として、総務大臣より指定を受けた機関のことです。

AVCHD
ハイビジョン動画記録フォーマットであり、8cm DVD への記録を H.264/MPEG-4 AVC 方式で行うものです。

B-CAS
デジタル放送は不正コピー等を防ぐためにデータを暗号化しています。番組の著作権保護や有料放送の視聴等に利用されているのが B-CAS カードで、暗号化を解除するための鍵データを記録した IC カードです。発行しているのが株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（B-CAS）です。

CATV
ケーブルテレビ（有線放送）のことです。

CPRM（Content Protection for Recordable Media）
デジタルメディアに対する著作権保護技術のことです。
デジタル放送の「1 回だけ録画可能」「ダビング 10」などの録画制限のある番組を録画・ダビングするには、CPRM 対応の録画用 DVD が必要です。

D 映像端子
コンポーネントと呼ばれる 3 本の輝度･色差信号（Y/C_B/C_R および Y/P_B/P_R）のコード接続を、1 本のコードで行えるように考案された端子です。D 端子は、色差信号の他にも、走査線、アスペクト比、インターレース／プログレッシブの情報を送ることができます。

DD2ch
ドルビーデジタル 2ch の略です。

DR 録画
デジタル放送をそのままの画質でハードディスク（HDD）に録画する方式です。録画した後の編集操作に制限はありますが、デジタル放送ならではの美しい映像を録画することができます。デジタル放送の HD(ハイビジョン)放送はハイビジョン画質で、SD（標準）放送は標準画質で記録されます。

DTS
デジタルシアターシステムズ社が開発した、劇場向けデジタル音声システムのことです。音声 6ch を使って、正確な音場定位とリアルな音響効果が得られます。DTS 対応プロセッサーやアンプとの接続で映画館のような音声が楽しめます。

DTS-HD
DTS と比べてより高音質で多チャンネルに対応した、新しい音声圧縮技術です。原音と同じ音質で再生できる「DTS-HD Master Audio」と、より圧縮率の高い DTS-HD High Resolution Audioの二種類があります。HDMIケーブルを使って DTS-HD 対応の AV アンプやサラウンド機器と接続することで、最大 7.1ch のサラウンド音声が楽しめます。

DVD-R DL
- 片面 2 層の DVD-R ディスクのことです。
- VR フォーマットで使用しているとき、連続で録画できる時間は 9 時間です。

DVI
Digital Video Interface の略で、デジタル方式の映像信号のインターフェースです。液晶モニターやプロジェクターなどに搭載されています。

HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection system）
映像再生機器から表示機器にデジタル信号を送受信する経路で、不正コピーを防止する著作権保護技術です。

HDMI
High Definition Multimedia Interface の略で、ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を 1 本のコードで接続できるデジタル AV インターフェースです。デジタル信号を圧縮せずに転送するので、高品位な画質・音質をシンプルな接続で楽しむことができます。

HDV 規格
DV 規格のカセットテープ（DV/mini DV テープ）にハイビジョンの映像と音声を記録・再生することができる規格です。

i.LINK(TS)
i.LINK とは、i.LINK 端子を持つ機器間で、映像や音声などのデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースです。i.LINK は、IEEE1394 をなじみやすく表現するための呼称で、IEEE（米国・電気電子学会）によって標準化された国際標準規格です。
i.LINK はソニー株式会社の商標です。
TS とはトランスポートストリーム（Transport Stream）の略で、多重信号形式の 1 つです。映像や音声、データなどの個別のストリームを、アプリケーションや伝送路の種類によらずに共通の信号形式で扱い、1 つのストリームとして伝送できるシステムのことです。

JPEG ファイル
静止画ファイルを圧縮する技術の1つです。ファイル容量を小さくできるので、デジタルスチルカメラやインターネットなどで、広く使われています。

LAN
Local Area Network（ローカル・エリア・ネットワーク）の略で、コンピューター・ネットワークの形式のひとつです。
一般家庭や企業のオフィスなど、小さな規模で用いられています。

PCM（Pulse Code Modulation）
アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の 1 つです。音楽 CD はこの方式を利用しています。

RW コンパチブル（RW COMPATIBLE）
VR フォーマットで記録された DVD-RW が再生できる機能を示しています。
この機能がある DVD プレーヤーには、RW COMPATIBLE表示があります。

VR フォーマット
DVD にデジタル放送を録画できる録画方式です。

あ行

インターネット
世界中にある小さなコンピューター・ネットワークがお互いにつながりを持つようになってできた、世界規模のネットワークです。

インターネットサービスプロバイダー
ご家庭のパソコンなどをインターネットに接続するためのサービスを提供している事業者のことです。プロバイダーと呼ばれたり、ISP と表記されることもあります。

裏録予約機能
本機は BS･110 度 CS デジタルチューナー、地上デジタルチューナーをそれぞれ 2 つずつ搭載しており、デジタル放送の番組を 2 つ同時に録画することができます。2 つの番組を同時に録画する場合、どちらかの番組を予約設定で「裏録予約」にすることで同時録画が可能となります。地上アナログ放送と BS/CS/ 地上デジタル放送を同時に録画する場合は、BS/CS/ 地上デジタル放送を「裏録予約」にします。

エコモード
電源切のときの待機電力を抑えるための機能です。

追いかけ再生
HDD（ハードディスク）に録画しながら、録画中の番組を再生して見ることができます。

オリジナル／プレイリスト
他機で作成したプレイリストの再生が楽しめます。（本機でプレイリストを作ることはできません。）

オリジナル
テレビ放送や外部入力などを録画した映像（タイトル）を「オリジナル」と呼びます。

プレイリスト
オリジナルのタイトルから、必要なシーンだけをコピーして再生したりできるタイトルのことを「プレイリスト」と呼びます。（オリジナルタイトルはそのまま残ります。）

音声出力レベル
BD ビデオや DVD ビデオディスクの再生で、ドルビーデジタル音声の平均音声を上げるかどうかを設定する機能です。

か行

ケーブルテレビ（CATV）
契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。

高速ダビング
パソコン上でのデータコピーのように、タイトル（録画した番組）を画質を劣化させることなく、そのままの画質でダビングする機能です。

コピーガード（コピー制御信号）
複製防止機能のことです。著作権者などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。

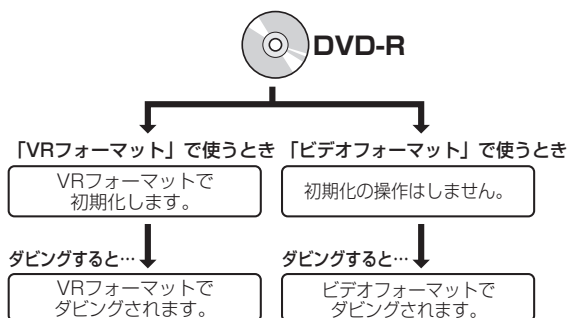
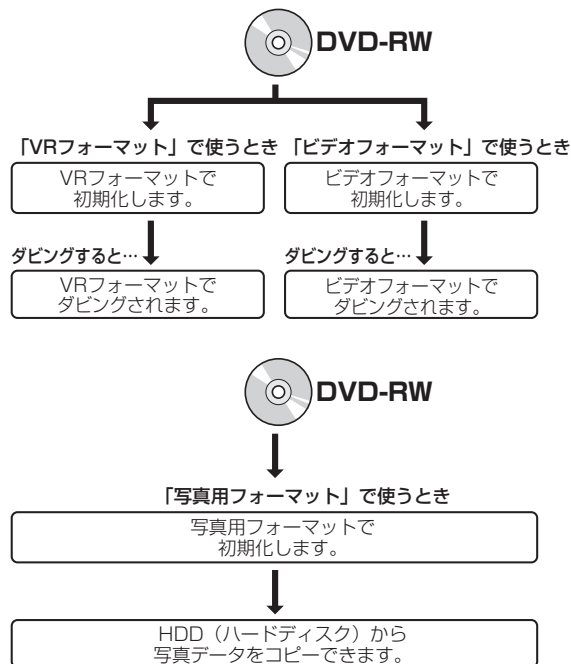
コピー防止機能
複製禁止の機能のことです。著作権者などによって複製を制限する信号が記録されているソフトや放送番組を録画することはできません。

さ行

視聴制限（パレンタルレベル）
デジタル放送や BD ビデオ、DVD ビデオディスクの中には、視聴者の年齢に合わせて、放送やディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのような放送やディスクを視聴したときの規制レベルを設定することができます。

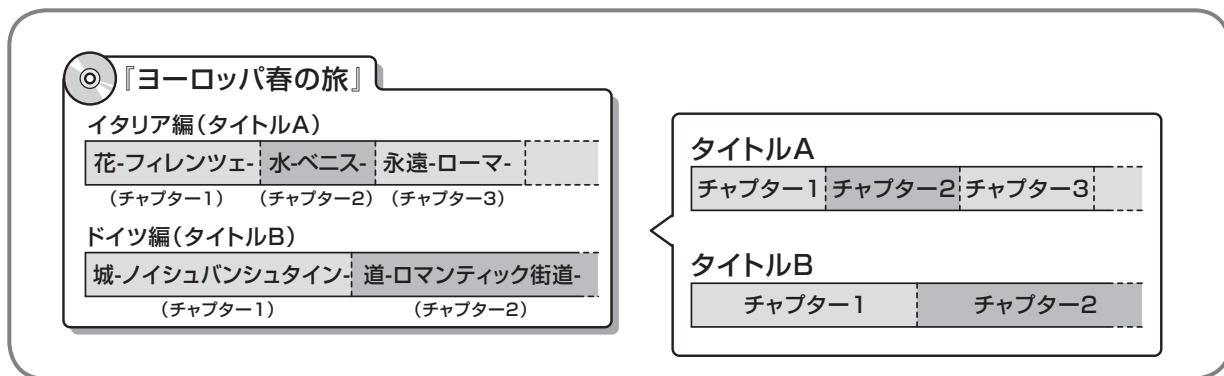
写真用フォーマット
携帯電話やデジタルスチルカメラから HDD（ハードディスク）に取り込んだ写真を DVD-RW にコピーするための専用フォーマットです。

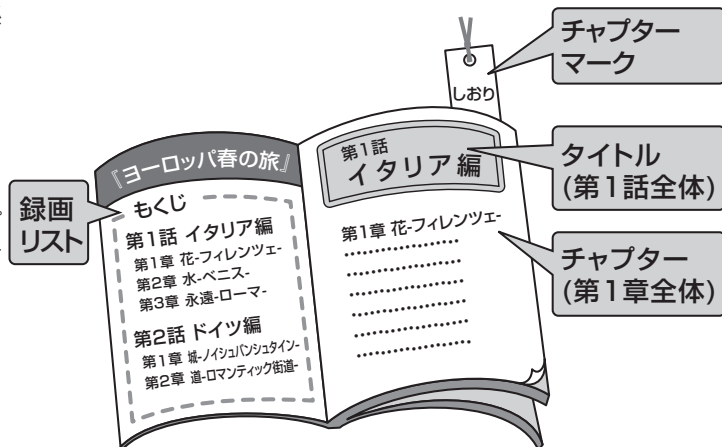
ジャストダビング
HDD（ハードディスク）から BD・DVD ディスクへダビングするとき、1 枚のディスクに収まるようにタイトルの記録時間に合わせて録画画質を選択し、録画する機能です。

初期化
BD･DVDディスクを録画／ダビングできるようにすることです。DVD-RW の場合、初期化には「VR フォーマット」、「ビデオフォーマット」、「写真用フォーマット」の 3 種類があります。DVD-RW/-Rの初期化には「VRフォーマット」と「ビデオフォーマット」の 2 種類があります。

スキップ
選局をしたときに放送のないチャンネルをとばして選局できる機能です。

スプリッター
ADSL 回線でインターネットに接続する際に、インターネット用のデータ信号と電話用の音声信号を分離する機器です。

た行

タイトルとチャプター、ディスク内の構成
録画した番組のことを「タイトル」といいます。
タイトルは、さらに「チャプター（章・区切り）」という単位で構成されています。
実際には、次のような構成になっています。

タイトルとチャプターを短編小説に例えると、次のような関係になります。
- タイトル ＝ 話
- チャプター ＝ 章
- チャプターマークを付ける ＝ しおりをはさむ
- 録画リスト ＝ もくじ

本機では、BD や DVD ディスクに記録されたタイトルにチャプターマークを追加（チャプター分割）したり、チャプターマークを削除（チャプター結合）したりすることはできません。

タイムシフト
本機は放送視聴中に、タイムシフト視聴設定で設定した一定時間ぶんを自動で録画しています。これにより、後から放送をさかのぼって視聴することができます。

ダウンロードサービス
電波を通して本機の性能を向上させるソフトウェア更新サービスを行うことができます。このサービスをダウンロードサービスといいます。ダウンロードを行うことでデジタル放送の新しいサービスに対応することも可能になります。

ダビング 10
- 「ダビング 10」の番組は、本機に録画したあと BD や DVD へ 10 回までのダビングが可能です。ただし、10 回目は移動（ムーブ）となり、ダビングするとハードディスクから番組が消去されます。
- すべてのデジタル放送が「ダビング 10」に対応しているわけではありません。「1 回だけ録画可能」の番組は 1 回のみの移動（ムーブ）となります。

地上アナログ放送
従来の UHF・VHF 放送（アナログ放送）のことです。
地上デジタル放送と対比した呼び方です。

チャプター
ディスクのタイトル中にある章をチャプターといいます。

つづき再生
ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機が記憶し、停止した位置から続けて再生することができる機能です。

デジタル放送
デジタル放送は、ハイビジョン放送（1080i）と標準放送（480i）の 2 つの放送があります。
- HD 放送……ハイビジョン放送のことです。
- SD 放送……標準スタンダード放送のことです。

電子番組表
テレビ画面に表示される番組表のことです。テレビ画面で、視聴したい番組や予約録画したい番組を選べます。

同時録画再生
録画しながら、録画済みの番組を再生して見ることができる機能です。

独立データ放送
テレビ放送とは別に送られてくるサービスで、ニュースや天気予報、株価などの情報を見ることができます。

ドルビーデジタル（5.1ch）
ドルビー社が開発した立体音響効果のことをいいます。ドルビーデジタル（5.1ch）対応プロセッサーやアンプとの接続で、映画館のようなディスクの再生音声が楽しめます。

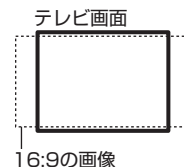
ドルビーデジタルプラス
ドルビーデジタルと比べてより高音質で多チャンネルに対応した、新しい音声圧縮技術です。HDMI ケーブルを使ってドルビーデジタルプラス対応の AV アンプやサラウンド機器と接続することで、最大 7.1ch のサラウンド音声が楽しめます。

ドルビー TrueHD
ドルビーデジタルプラスと比べてより高音質で多チャンネルに対応した、新しい音声圧縮技術です。原音と同じ音質で音声を再生できます。HDMI ケーブルを使ってドルビー TrueHD 対応の AV アンプやサラウンド機器と接続するとことで、最大 7.1ch のサラウンド音声が楽しめます。

ニュース・天気
本機には、電源「切」のとき、地上デジタル、BS デジタル放送のニュース・天気番組を自動的に録画する機能があります。最新のニュース・天気番組情報などを録画するチャンネルを、あらかじめ設定しておくことにより自動で録画されますので、いつでもご覧いただくことができます。

は行

ハブ
複数の機器を LAN に接続するための集線機器です。
LAN などのネットワークのケーブルを分けたり、中継したりする機器です。

パンスキャン
4：3 のテレビと本機を接続しワイド（16：9）記録のディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし 4：3 のサイズにする機能です。

ビットストリーム
圧縮されたデジタル信号のことです。このデジタル信号をそのまま出力することをビットストリーム出力といいます。ビットストリーム出力した音声信号を再生するためには、ドルビー TrueHD や DTS-HD などに対応したオーディオ機器と HDMI ケーブルを使って接続することが必要です。

ビデオフォーマット
市販の DVD プレーヤーで再生できる録画方式です。市販の DVD プレーヤーなどで再生するには、ファイナライズという処理が必要です。

ファイナライズ
DVD-RW/-R を他の機器でも再生できるようにすることです。DVD の場合、DVD-RW や DVD-R に対応した他の DVD プレーヤーで、本機でダビングしたディスク（ビデオフォーマット）を再生できるようになります。（全ての DVD プレーヤーでの再生を保証するものではありません。）
DVD-RW（VR フォーマット）のディスクを再生できる DVD プレーヤーは RW COMPATIBLE 表示の付いた DVD プレーヤーです。

DVD のファイナライズ

市販のDVDビデオと
同等のデータ形式

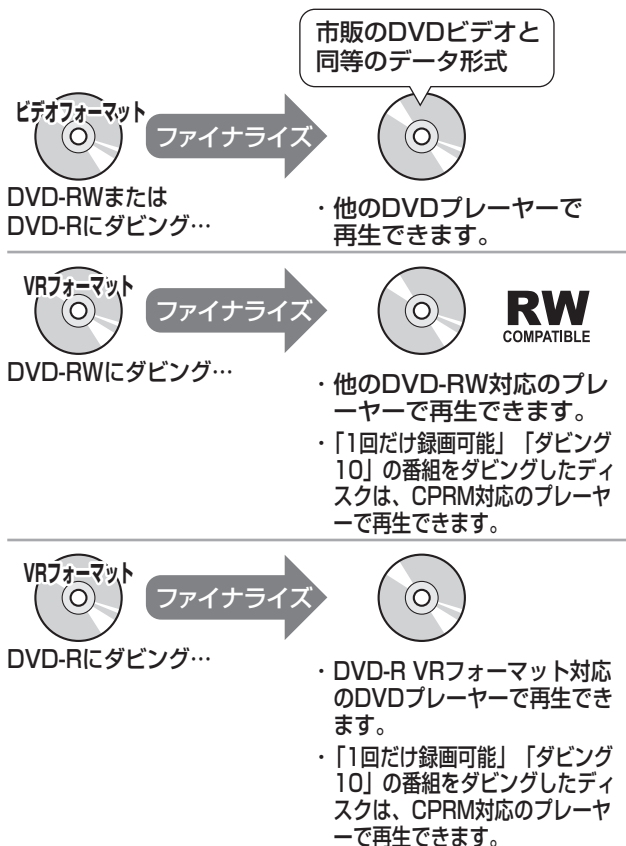
DVD-RWまたは
DVD-Rにダビング…

・他のDVDプレーヤーで再生できます。

DVD-RWにダビング…

・他のDVD-RW対応のプレーヤーで再生できます。
・「1回だけ録画可能」「ダビング10」の番組をダビングしたディスクは、CPRM対応のプレーヤーで再生できます。

DVD-Rにダビング…

・DVD-R VRフォーマット対応のDVDプレーヤーで再生できます。
・「1回だけ録画可能」「ダビング10」の番組をダビングしたディスクは、CPRM対応のプレーヤーで再生できます。

ファミリンク機能
ファミリンク機能とは、HDMI CEC（**C**onsumer **E**lectronics **C**ontrol）を使用し、HDMI で規格化されているテレビや DVD レコーダー、AV アンプを制御するためのコントロール機能です。テレビのリモコンでレコーダーを再生したり、録画、予約録画などが行えます。

フォトシステム
IrSS（高速赤外線通信）機能に対応している携帯電話の写真をハードディスクに保存して、テレビで見たり、デジタルスチルカメラの写真を保存してテレビで見ることができる機能です。

プレイリスト
他機で作成したプレイリストの再生が楽しめます。（本機でプレイリストを作ることはできません。）
オリジナルのタイトルから、必要なシーンだけをコピーして再生したりできるタイトルのことを「プレイリスト」と呼びます。

プログレッシブ（順次走査）方式
映像の 1 フレーム（コマ）を 2 つのフィールド画像で半分ずつ表示するインターレース方式に対し、1 フレームを 1 つの画像で表示する方法です。従来のインターレース方式が 1 秒を 30 フレーム（60 フィールド）で構成するのに対し、初めから 1 秒を 60 フレームで構成することで高品質な画像を再現できます。

ブロックノイズリダクション
低い録画画質で録画した番組の再生時、動きの速い部分で生じるブロック状のノイズを軽減します。

ブロードバンドルーター
広帯域のデータ信号を他のネットワークに接続するための中継機器です。

プロバイダー
一般にはインターネットサービスプロバイダー（ISP、インターネット接続業者）のことをいいます。電話回線などを使って顧客のコンピューターをインターネットに接続するほか、メール利用などのサービスを行うことがあります。

ま行

マルチアングル
BD・DVD ビデオディスクの特長の一つで、同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめる機能です。（マルチアングル記録のディスクで楽しめる機能です。）

マルチ音声
デジタル放送や BD・DVD ビデオディスクの特長の一つで、同じ画像に対して異なる音声をいくつも記録し、音声を切り換えて楽しめる機能です。

マルチビューサービス放送
地上デジタルや BS デジタルの標準テレビ信号を利用した放送です。最大 3 つの映像を同じチャンネルで楽しめます。対応した信号を放送局側が送信する必要があります。

見どころ画面
1 タイトルを 28 等分して静止画表示して、見たいシーンを選んでそこから再生させる機能です。

モスキートノイズリダクション
画像の輪郭部分等で生じるチラツキを軽減します。

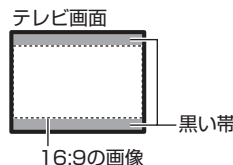
ら行

リージョンコード（再生可能地域番号）
BD ビデオや DVD ビデオは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョンコードといいます。
本機では、BD ビデオはリージョンコード「A」、DVD ビデオはリージョンコード「2」または「ALL」のソフトが再生できます。

リニア PCM 音声
BD・DVD・音楽用 CD に用いられている信号記録方式です。

リモコン番号
本機を操作するためのリモコンの信号の種類です。リモコン番号は、「リモコン番号 1」「リモコン番号 2」「リモコン番号 3」の 3 種類があります。

レターボックス

4：3 のテレビと本機を接続しワイド（16：9）記録のディスクを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。

録画画質
録画するときの画質を設定することができます。
ビデオテープの標準（SP）/3 倍（EP）と同じように、本機の HDD（ハードディスク）に録画するときは以下の録画画質を設定できます。
- DR……デジタル放送をそのままの画質で HDD(ハードディスク）に予約・録画したいときに設定する録画画質です。BD に放送画質のままダビングしたいときも、DR に設定して録画します。
- 2 倍、3 倍……圧縮したハイビジョン画質で、デジタル放送を長い時間録画できる録画設定です。
- 5 倍、7 倍……圧縮したハイビジョン画質で、デジタル放送をより長時間録画できる録画設定です。
- HD ○○……圧縮したハイビジョン画質を 10 段階の中から選択できるマニュアル設定です。
- SXP……BD ディスクに地上アナログ放送をダビングするときにおすすめの録画画質です。
- XP……高画質で録画したいときに設定する録画画質です。ハイビジョン画質（放送画質）での録画はできません。片面一層の DVD ディスクの場合、1 時間録画できます。
- SP……標準の画質です。片面一層の DVD ディスクの場合、2 時間録画できます。
- LP……標準の 2 倍長い時間録画できる録画設定です。
- EP……標準の 3 倍長い時間録画できる録画設定です。
- MN ○○……録画画質を HDD・BD で 20 段階、DVD で 65 段階の中から選択できるマニュアル設定です。

録画画質変換ダビング
ダビングする際に、録画画質を変更してダビングする機能です。
（ダビング元の映像より高画質になることはありません。）

録画（記録）フォーマット（方式）
DVD に記録する場合は、VR フォーマットとビデオフォーマットの 2 つの録画フォーマット（方式）があります。（それに加えて、本機の場合、DVD-RW に写真をコピーするための写真用フォーマットがあります。）録画する前に使用目的に合わせてあらかじめ初期化する必要があります。
- VR フォーマット……HDD（ハードディスク）に録画したデジタル放送の番組を DVD にダビングするときに使う記録方式です。
- ビデオフォーマット……本機でダビングした DVD ディスクを他の DVD プレーヤーで再生することができる互換性に優れた記録方式です（ファイナライズ処理が必要です）。デジタル放送のダビングはできません。
- 写真用フォーマット……HDD(ハードディスク)に取り込んだ写真データを DVD-RW にコピーし保存するための専用フォーマットです。
写真用フォーマットのディスクは、本機では再生できません。DVD の内容を HDD（ハードディスク）にコピーし、HDD から再生することができます。パソコンで再生するときは、DVD のファイナライズを行ってください。

録画リスト
録画した番組が一覧で確認できるリスト画面です。録画リストは、画面リストとタイトル名リストが選択できます。

録画画質と録画時間

録画画質	マニュアル録画画質設定	録画時間（ダビングできる時間）HDD（ハードディスク）(BD-HDW40の場合)※2	BD (25GB)※3	DVD-RW DVD-R (4.7GB)	参考画質（VHS との比較）
(DR) ※1	−	約 89時間※4	約 2時間10分※4	−	
長時間 (2 倍) ※1	HD06	約 178時間※4	約 4時間20分※4	−	
長時間 (3 倍) ※1	HD02	約 267時間※4	約 6時間30分※4	−	
より長時間 (5 倍)	−	約 445時間※4	約10時間50分※4	−	
より長時間 (7 倍)	−	約 623時間※4	約15時間10分※4	−	
高画質 (SXP)	MN68	約 149時間	約 3時間30分	−	
高画質 (XP)	MN65	約 199時間	約 4時間40分	約 60分	S-VHS クオリティー以上
標準画質 (SP)	MN37	約 358時間	約 8時間40分	約120分	S-VHS クオリティー
長時間 (LP)	MN13	約 717時間	約17時間20分	約240分	VHS クオリティー
より長時間 (EP)	MN05	約1345時間	約32時間30分	約360分	VHS 3倍モード
	MN01	約1434時間	約34時間40分	約480分	VHS 3倍モード以下

※ 1　連動データ放送や字幕も記録することができます。
※ 2　BD-HDW32/BD-HDW35/BD-HDW40 の録画時間は **58** ページをご覧ください。
※ 3　2 層ディスクの録画時間は **59** ページをご覧ください。
※ 4　DR は約 24Mbps、2 倍は約 12Mbps、3 倍は約 8Mbps、5 倍は約 4.8Mbps、7 倍は約 3.4Mbps で換算した録画時間です。特に 2 倍・3 倍・HD ○○の録画時間は、連動データ放送が計算値（2Mbps）より大きい放送があり、実際に録画できる時間は記載値よりも誤差が大きくなる場合があります。

さくいん

英数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

ブルーレイディスクレコーダー BD-HDW32/BD-HDW35/BD-HDW40

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ 低消費電力／省スペース

エコモード搭載により、待機時の低消費電力化、業界トップレベルを実現しました。

グリーン材料 すべての基板に無鉛ハンダを使用

使用している基板すべてに鉛を含まないハンダを採用しています。環境に配慮したグリーン材料設計です。

上手に使って、もっともっとエコロジークラス。

◎自動的に電源を切る設定を!

① 電源が入ったままの状態で、約3時間何も操作されないと自動的に電源をオフする機能を採用しています。
② 予約録画中に追いかけ再生や別タイトルの再生を行った場合、操作後に電源ボタンを1回押してください。
予約録画実行後に自動的に電源を切ることができますので、効率的な省エネになります。

■よくあるご質問などはパソコンから検索できます。▶▶▶ パソコン

シャープ　お問い合わせ　検　索

http://www.sharp.co.jp/support/

使い方や修理のご相談

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：043 - 331 - 1626	FAX：043 - 297 - 2696
〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

受付時間 ●月曜～土曜:9:00～20:00　●日曜・祝日:9:00～17:00　(年末年始を除く)

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2009.02)

「修理品引き取りサービス」のご案内

修理品引き取りサービスとは、電話で修理依頼をいただきますと、当社指定の運送業者が、お客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

電話でのお申し込みにあたっては**327**ページの「ご利用料金」「お引き取り時間」「修理・お届け」を併せてご確認のうえご依頼ください。

お申し込み

【お客様相談センター】(0120-001-251)にお電話でお申し込みください。

シャープ株式会社

本　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

Printed in Malaysia

TINSJA305WJQZ Ⓐ
09P03-MA-NK